LET'S MAKE★CHARACTER［レッツ メイク キャラクター］

# CGイラストテクニック

vol.4

ILLUSTRATION AND EXPLANATION by Mitha



イラスト＆解説
**Mitha**

SAI/Photoshopテクニック徹底解説

## ゲームやアニメで使える、塗りのテクニックを大公開！

LET'S MAKE ★ CHARACTER【レッツ メイク キャラクター】

# CGイラストテクニック

CG Illustration Techniques

Illustration and Explanation by Mitha

vol.4



BNN
BugNewsNetwork

# はじめに

はじめまして。イラストレーターのMitha（ミサ）と申します。この度は本書をお手にとって頂き、ありがとうございます。幼い頃から気の向くままに絵を描いてきて、気がついたらイラストでお仕事をしている私がまさかこのような場で、本を書かせて頂くことになるとは夢にも思いませんでした。

さて、本書はキャラクターを描くためのCGイラスト本です。CGと言うからには、まず自分に合ったイラスト用ツールを選ばなければなりません。有名なツールにはPhotshop、Painter、SAI、ComicStudio、Illustrator……など多数の種類があるのですが、この本で使用しているのはPhotshopとSAIのみです。私はよくゲーム関係のお仕事などをさせて頂いてるのもあって、その塗りをうまく再現できるPhotoshopを主軸に昔から使っています。塗りのタイプはアナログほど複雑さがなく、かといってアニメ塗りほどパッキリとしていない、「ゲーム塗り」と呼ばれている手法です。俗に言うPC向けの美少女ゲームなどでよく見られる手法です。

IllustratorやComicStudioなどは、マンガや同人誌などを作成するにはとても便利なのですが、イラストを描く用途としては私はあまり使用しません。PainterはPhotshopとの併用が難しいので使用していません。そこで最近使用することが多くなってきているのはSAIです。SAIはまだ使い始めて1年経ったくらいなので完璧にマスターしているわけではありませんが、ブラシ性能がアナログに近く、非常に使いやすいところが気に入っています。とても滑らかで、線を引いたり塗っているだけでも楽しいので、最近では鉛筆も使わずにSAIで仕上げることもままあるほどです。

このように、SAIでベースを作成し、Photshopで加工して完成させるというのが、今の私の手法になりつつあります。……などと、偉そうに形式ばって使用ツール詳細を紹介してみたりしたのですが、私も使い方をどこかで専門的に学んだわけでもなく、お仕事で活用するために情報を集めたり、独学で試行錯誤して憶えたものばかりだったりします。それに実際はどのツールを使っても、やりようによっては素晴らしいイラストに仕上がるはずです。

ただ、せめてここで紹介するからには、それらを明解に説明しなければならないと思いまして、ツールを絞って分かりやすく、課程を一生懸命考えながら解説したつもりです。難しい技法はあまり使わず紹介したので、コツさえ掴めば案外あっさり描けるかもしれませんね。そう思い、「これから絵を描こう」「いろいろな塗りを勉強したい」と思っている方々の何かしらの参考になればと思い筆を執りました。それではこの著書が少しでもあなたの力になれることを祈って……。

2010年4月　Mitha

# CONTENTS

## Chapter.01 SAIで線画を作成 …… 007





## Chapter.02 SAIとPhotoshopでカラーの着彩 …… 029



## Chapter.03 Photoshopを使った着色テクニック……115





## Chapter.04 カラー&線画ギャラリー……213





# 作業環境と制作工程について

## Core2 Quadプロセッサーと4GBのメモリ

Windows2000を搭載したかなり古い仕様のPCを使用していましたが、執筆途中でCore2 Quadプロセッサーに4GBのメモリを搭載したPCに買い換えました。SAIは、メモリが少なくても快適に作画できるのが特徴ですが、レイヤーを多数使う複雑な作品を描く場合にはある程度のメモリは必要です。例えば、Chapter.02で紹介しているSAIを使った作品制作の終盤では、1.2GBのメモリを使用しています。快適に作業をするならば、2GB以上のメモリの確保をお勧めします。

## Photoshop 7とSAIが中心

最近はラフから塗りまでSAIで行い、仕上げはPhotoshopを使うことが多いです。Photoshopはバージョン7で、最新バージョンの機能に必要を感じていないので、バージョンアップをしていません。同人誌のレイアウトなどにはIllustrator 8を使用しています。

※本書で紹介するPhotoshopはすべてバージョン7に基づいたもので、最新バージョンとはアイコンのデザインや機能の名称が違うことをご了承ください。

## ペンタブレットはBAMBOO

ペンタブレットはワコムのBAMBOOです。付属ソフトなしならば、1万円以下で購入できるエントリーモデルですが、筆圧レベルは512と十分な書き味を実現しています。上位モデルとの違いはショートカットを登録できるファンクションキーの数やサイズの種類などありますが、イラストを描くうえでBAMBOOで不足を感じることはないでしょう。



## アナログラフはシャープペンシル

アナログでラフの作業をする場合は、0.3mmのシャープペンシルで描いています。かなりガシガシと描いてしまうので、手に負担が少ないように芯はちょっと柔らかめのBを使っています。クリンナップの際は、0.3mmのHBのシャープペンシルを使用しています。HBの芯を使うのは、シャープな細い線が引けるような気がするからです。



# Chapter. 01

## SAIで線画を作成



Chapter. 01

# SAIで線画を作成

Chapter.01で線画を描き、Chapter.02でSAIやPhotoshopで着色から加工へ仕上げを行って1枚のイラストを仕上げる工程を紹介します。Chapter.01では線画の作成を通して、ペンの選び方や太さ、入りや抜きの方法などを紹介していきます。

## ラフの準備

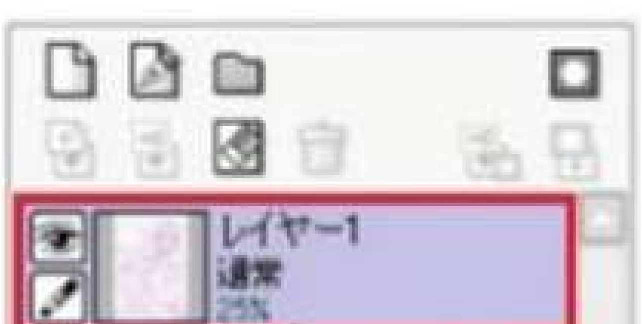
01 今回はアリス風の女の子を描いてみました。これをSAIを使って塗っていきます。最初に鉛筆で描いたラフをスキャンしました（Photoshopを使った線画の補正方法に関しては116〜120ページで紹介しています）。



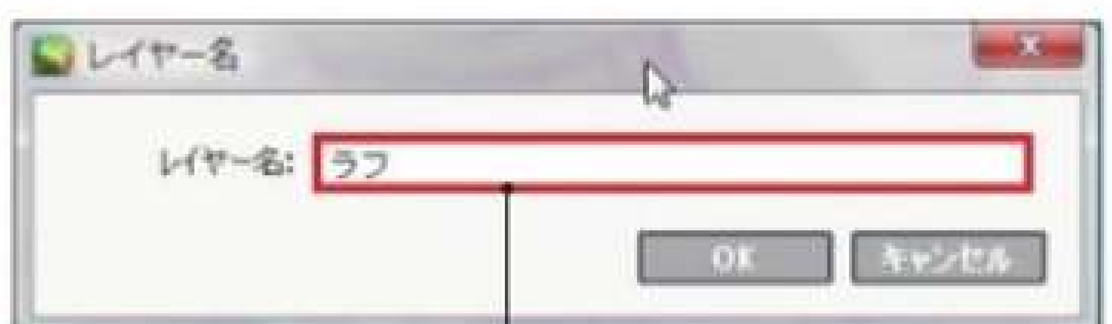
02 SAIで線画を作成します。SAIを起動してスキャンしたラフを読み込みます。



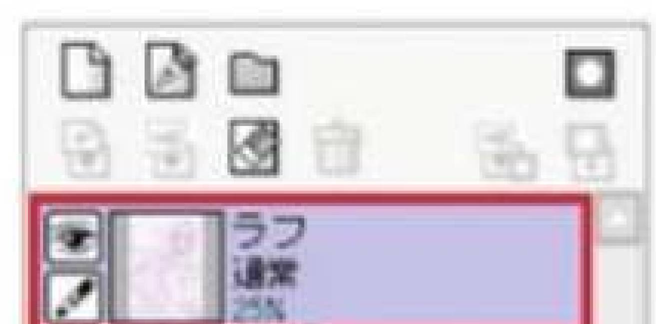
03 レイヤーが多くなることが予想されるので、読み込んだラフのレイヤー名を分かりやすいものに変更します。ここでは「ラフ」に変更しました。




①レイヤー名をダブルクリックしました




②「レイヤー名」に「ラフ」と入力しました




③レイヤー名が「ラフ」に変更されました

## Software

### ペイントソフト「SAI」

SAIは線画の作成から着色も可能なペイントツールです。描き味の気持ちよさは現在発売されているペイントツールの中でもトップクラスで、紙と鉛筆の代わりにSAIで線画を作成したり、Photoshopの代わりにSAIで着色することも可能です。価格も5,250円と手頃で、一ヶ月間試用できます。まだ使ったことのない人はぜひ試してみてください。



価格:5,250 円
問い合わせ先:SYSTEMAX(http://www.systemax.jp/)

**04** これから描く線画を見えやすくするために、「ラフ」レイヤーの「不透明度」を下げます。今回は「25%」に設定しました。

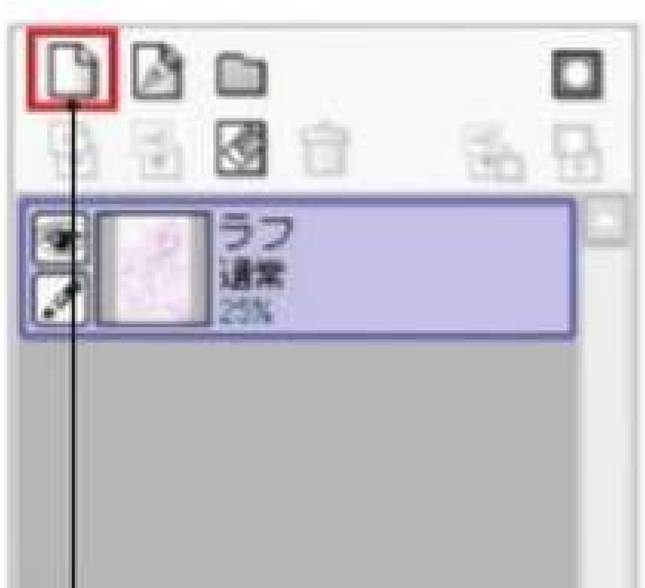



①「不透明度」を「25%」に設定しました



②ビューに表示されているラフが薄くなりました

**05** 「ラフ」レイヤーの上にリボンの線画を描くための新規レイヤーを作成し、名称を「線画_リボン」に変更します。




①「通常レイヤーの新規作成」をクリックしました




②「レイヤー2」が作成されました

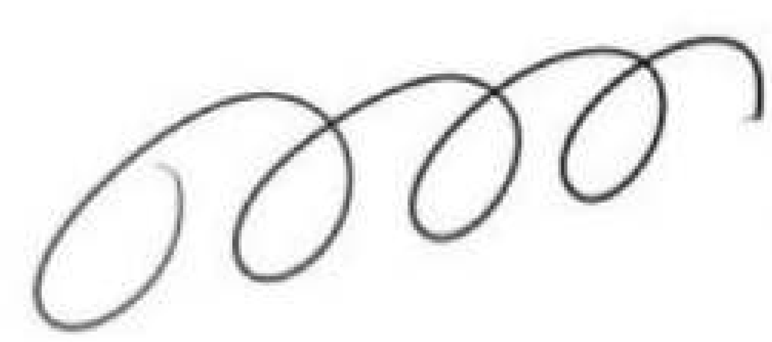



③レイヤーの名称を「線画_リボン」に変更しました

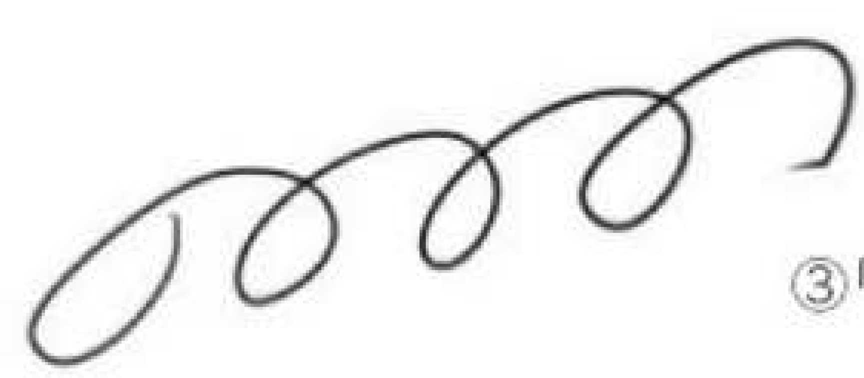
**06** それでは今作成した「線画_リボン」レイヤーにリボンの線画を描いていきましょう。私はSAIで線画を描く時は、「筆」ツールを使っています（なんとなく柔らかい雰囲気が出せるような気がするので）。もちろん「鉛筆」ツールを使ってもいいですし、Adobe Illustratorのようにストロークで線が描ける「ペン入れ」ツールで描いてもよいでしょう。今回はあえて手の軌道をそのまま描写する「筆」ツールで描きました。




①「筆」ツールを選択しました



②「鉛筆」ツールの例



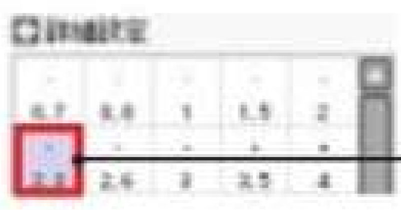
③「筆」ツールの例

## リボンを描く

01 頭のリボンを描きます。あまり力を入れず、ささっと引くと綺麗な線が描けます。




①「筆」ツールを選択しました



②サイズを「2.3」にしました

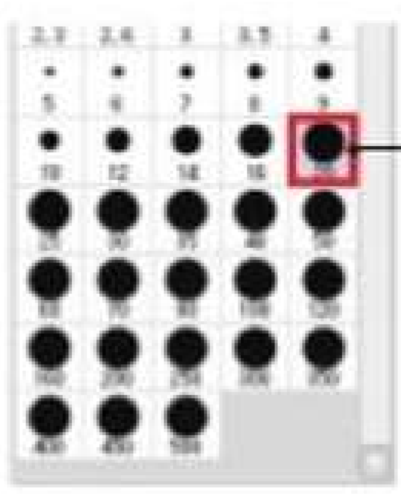


③下絵の「ラフ」レイヤーを参考に線を1本ずつ引いていきます

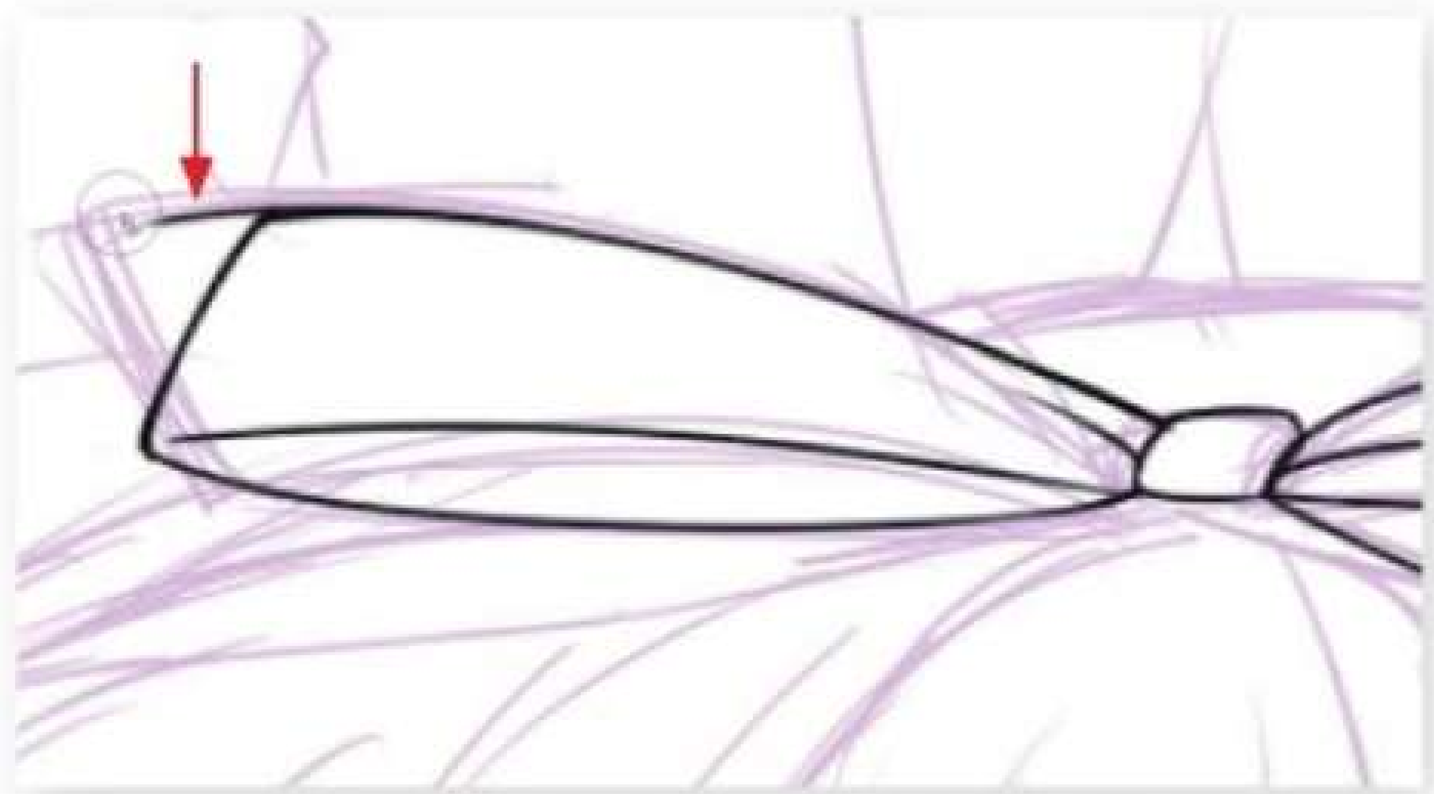
02 はみ出した部分は「消しゴム」ツールで消しましょう。



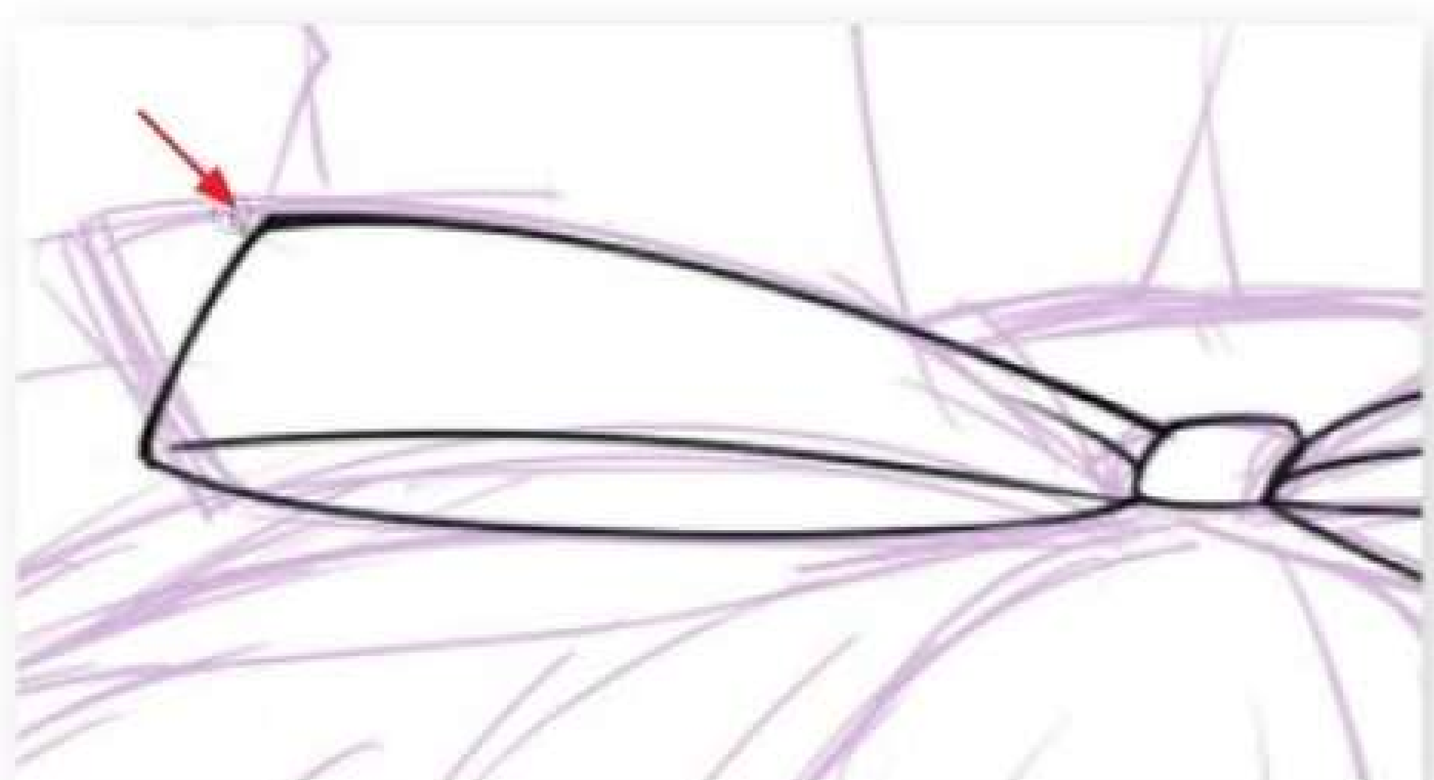

①「消しゴム」ツールを選択しました



②サイズを「20」にしました

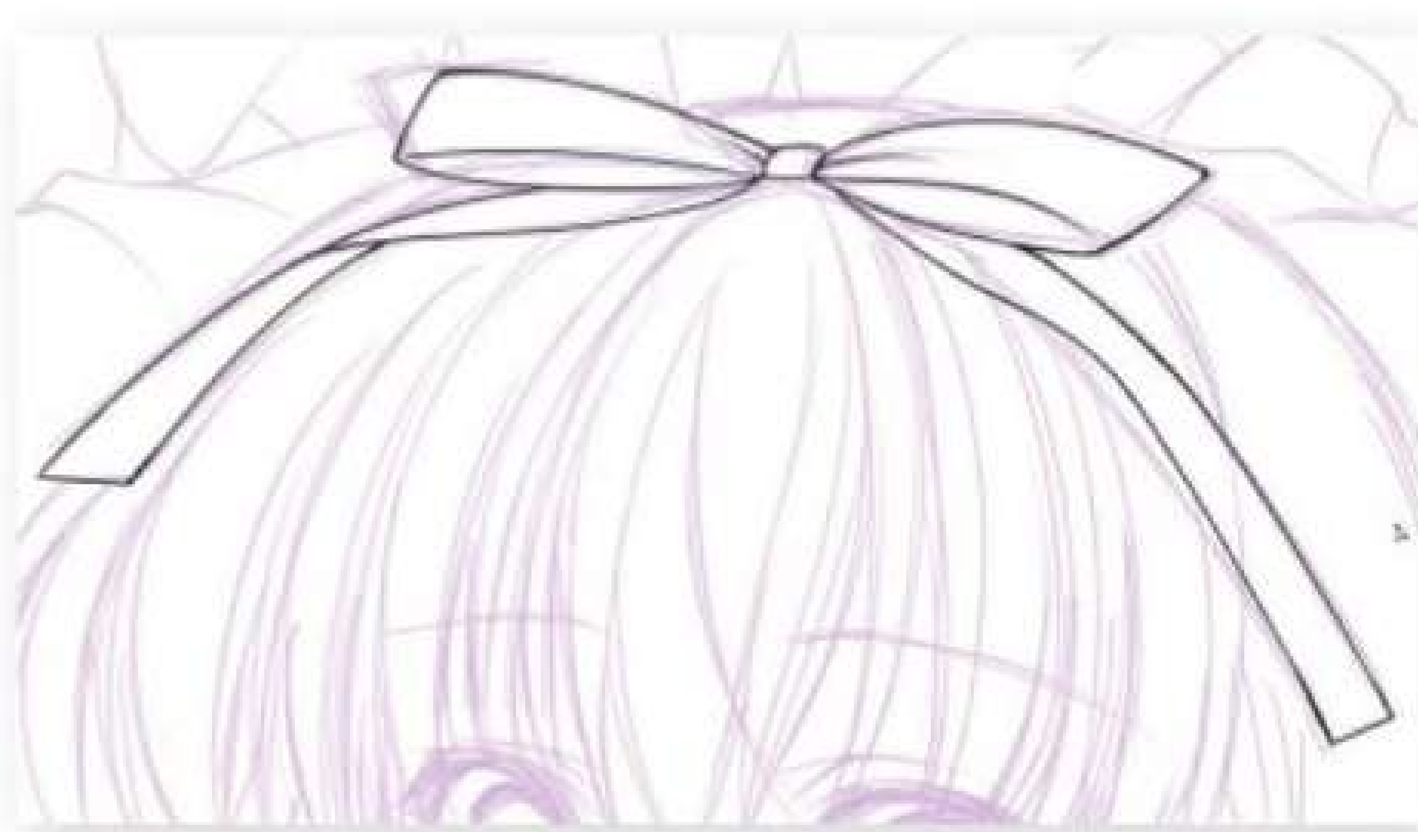


③はみ出した部分を「消しゴム」ツールでなぞります



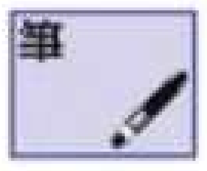
④はみ出した部分が消去されました

03 ラフの線にとらわれ過ぎず、形を調整しながら描いていきます。



## 04

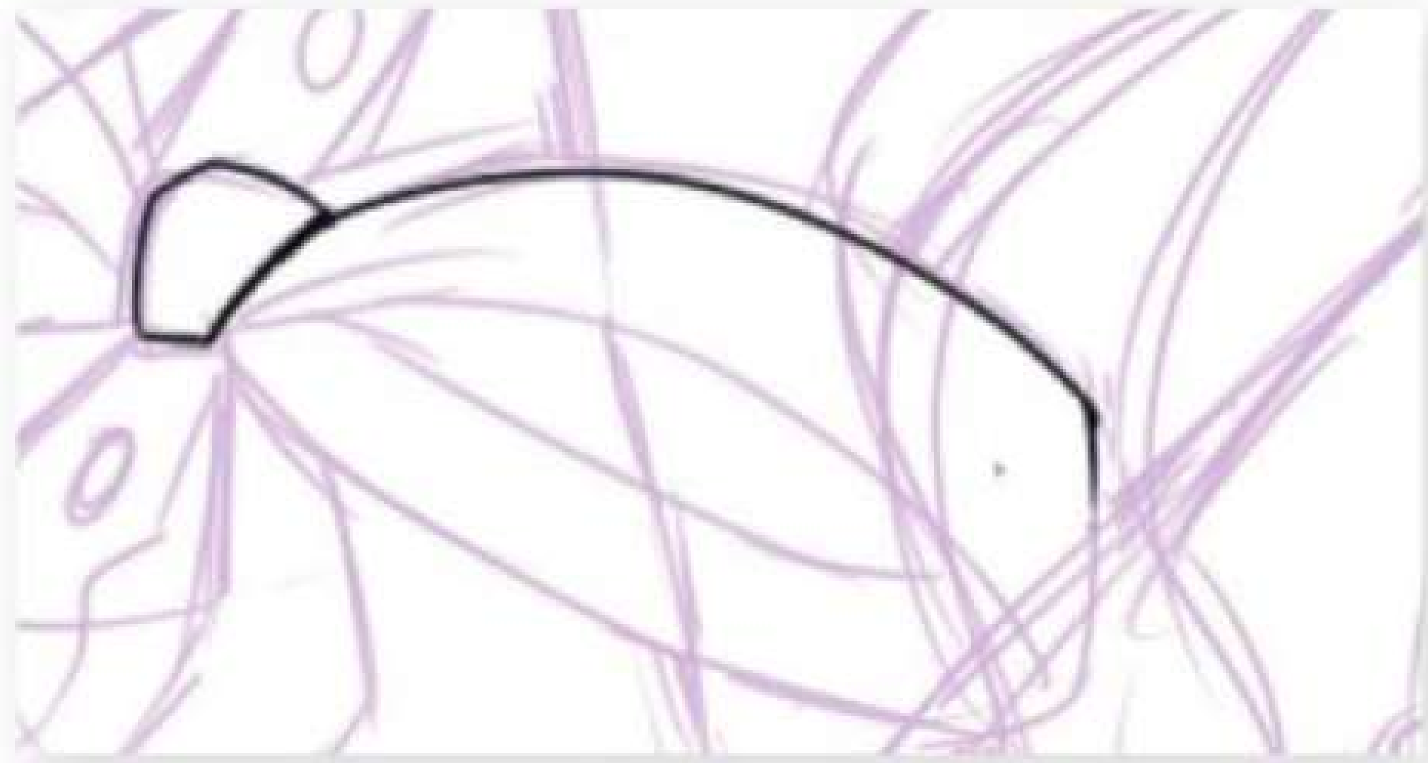
同じように胸のリボンを描きます。

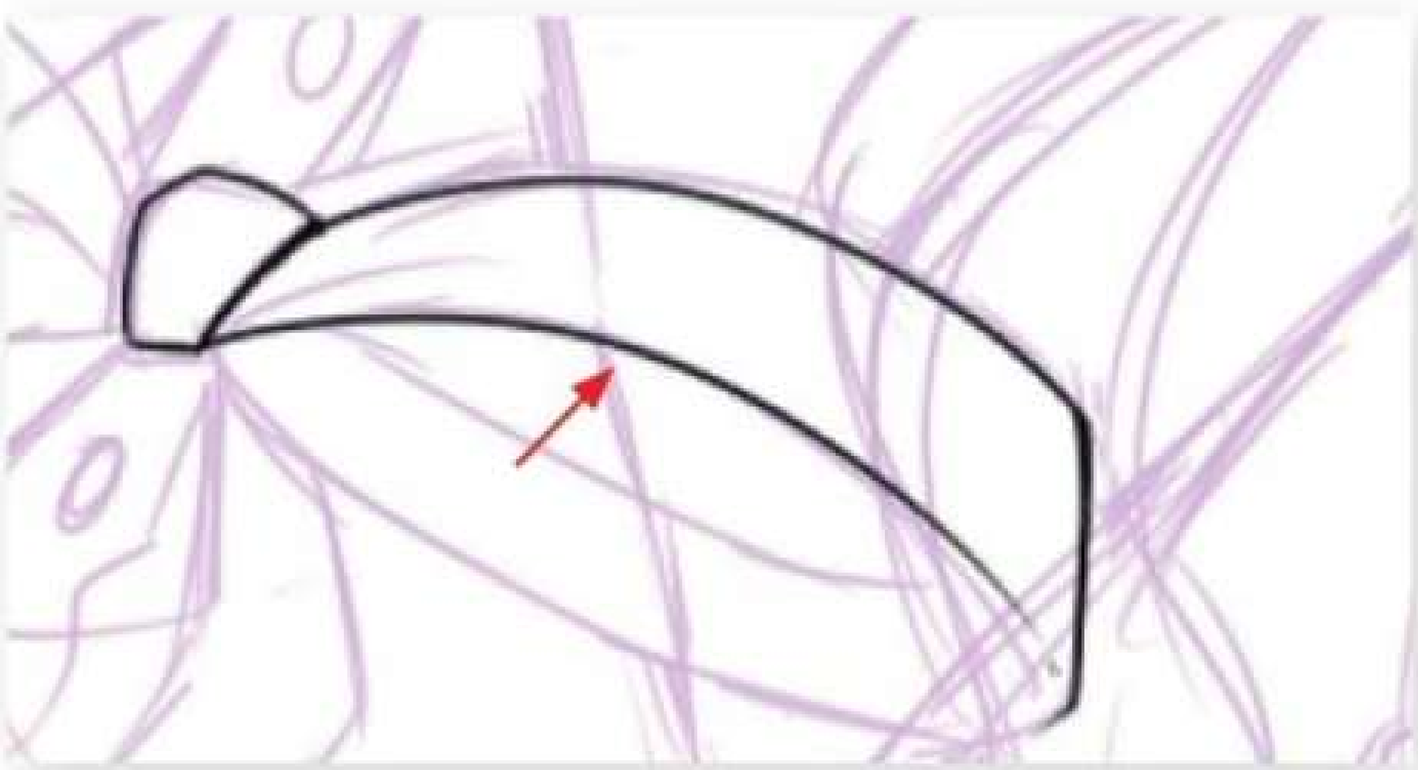


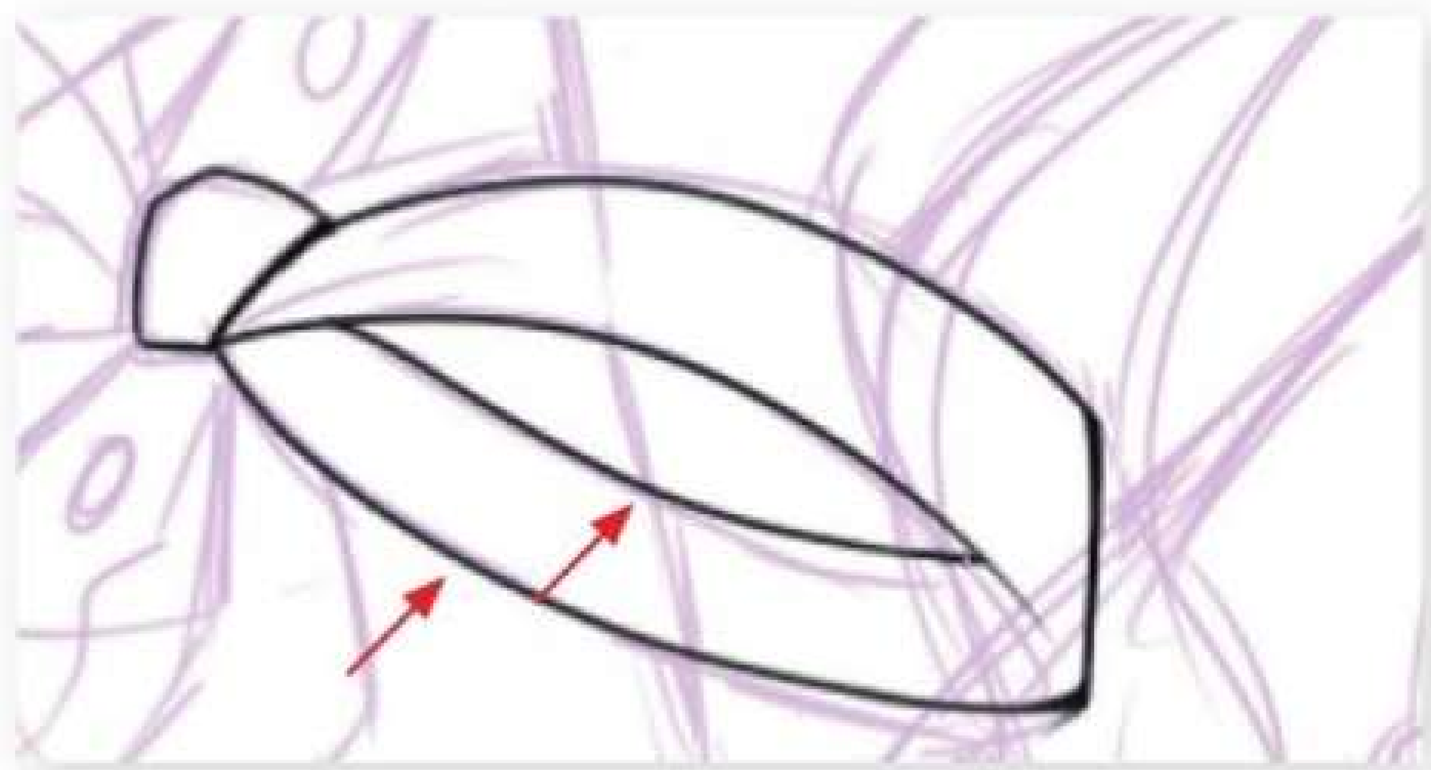

①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「2」にしました







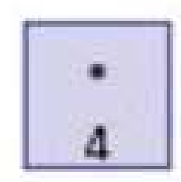
③リボンが立体になるように線を描きました

## 05

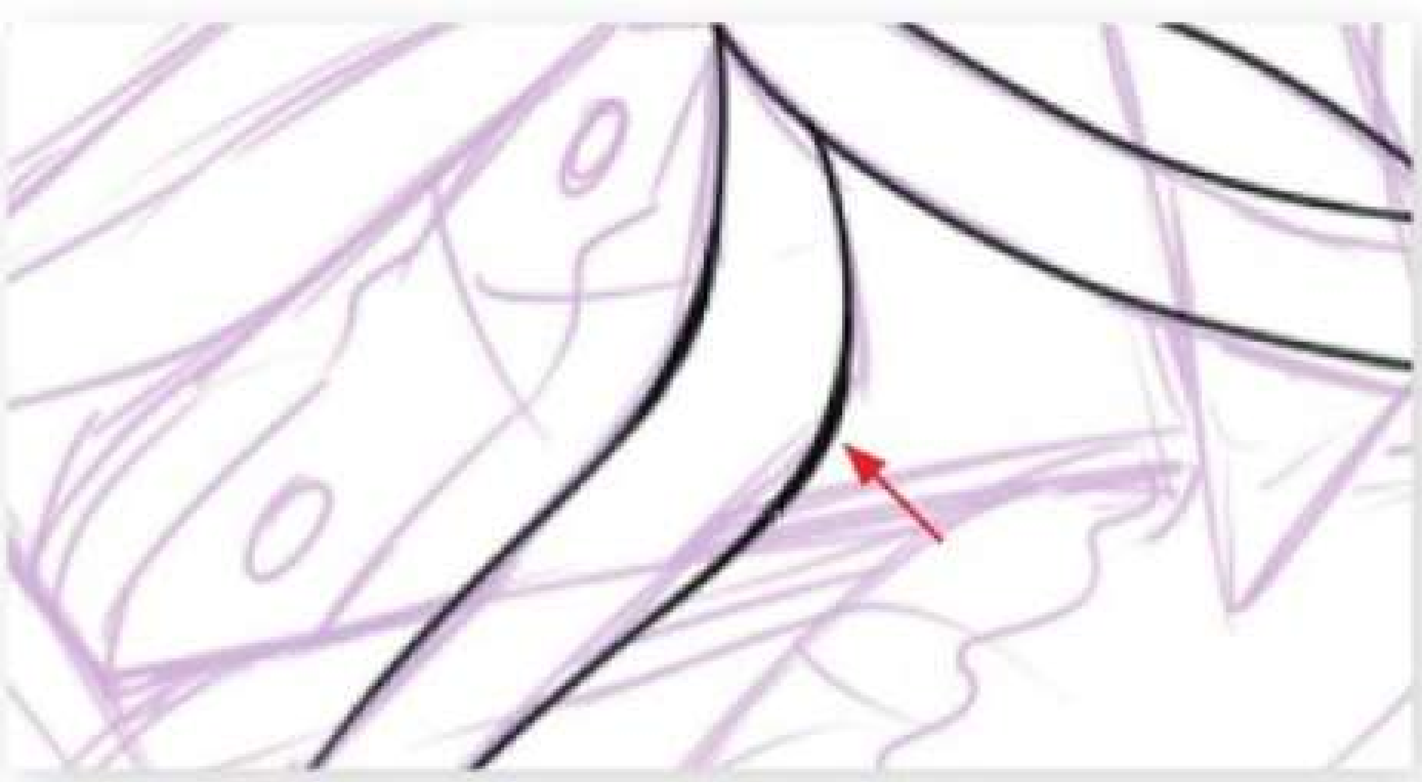
カーブしている部分など、少し太めにしてみると質感が出ます。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「4」にしました





③線画に微妙な強弱をつけました

## 06

このような感じにできました。



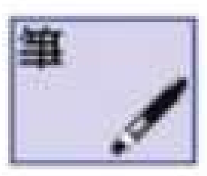
## 顔の輪郭を描く

**01** そろそろ線を引くのも慣れてきたので、体を描くための新規レイヤーを作成し、顔の輪郭を描きはじめます。




①「通常レイヤーの新規作成」をクリックしました

②レイヤーの名称を「線画_身体」に変更しました



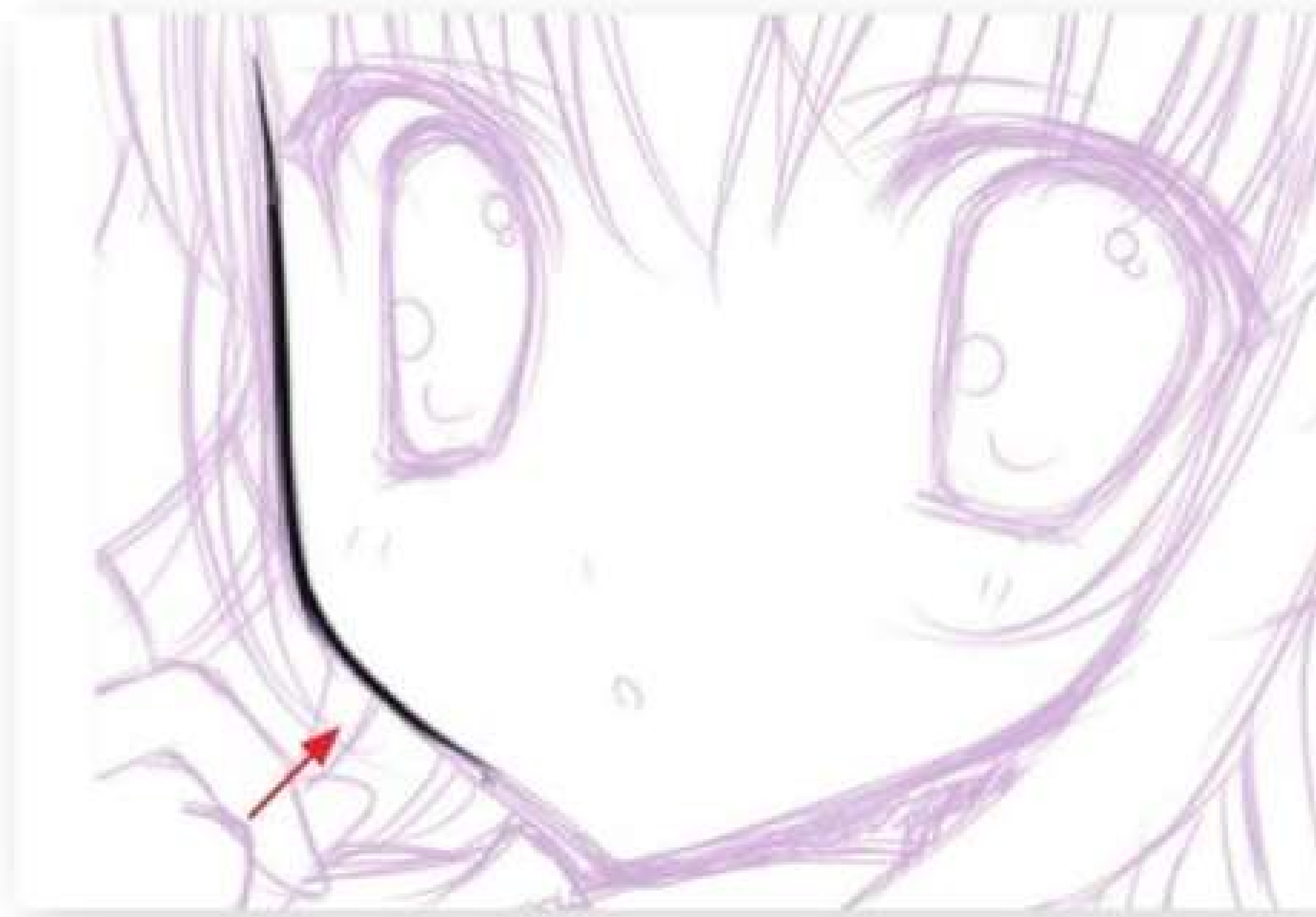

③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「2.6」にしました



↓

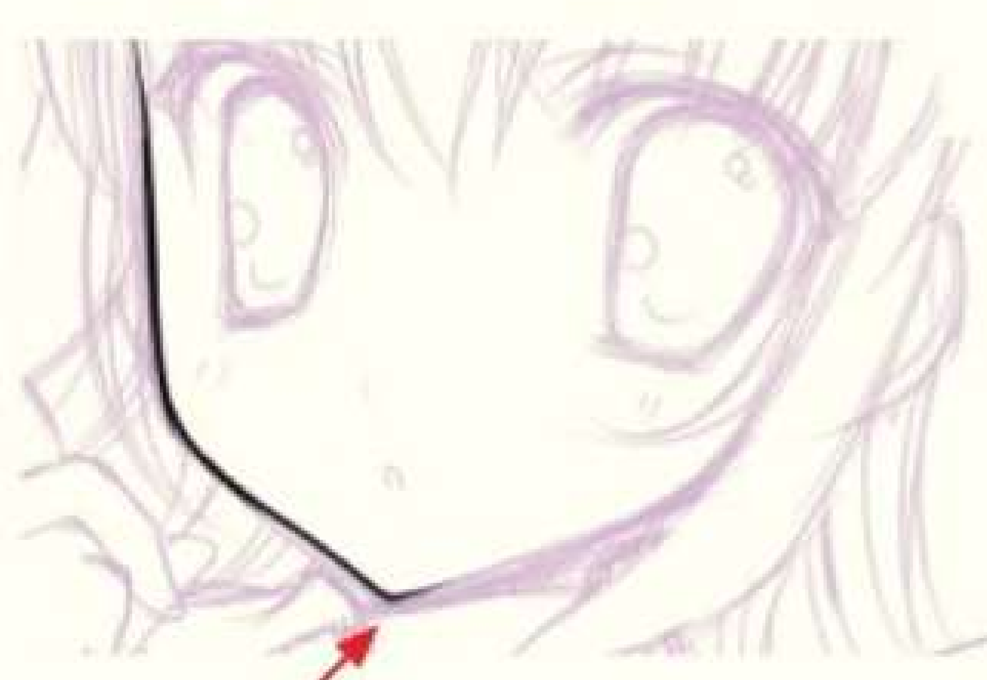


⑤複数の線で輪郭を描きました

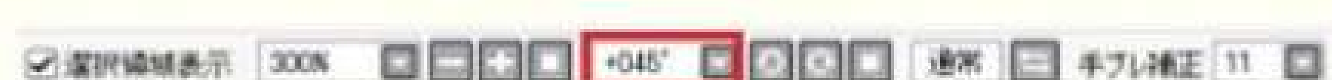
### TECHNIQUE

#### ビューを描きやすい角度に回転させる

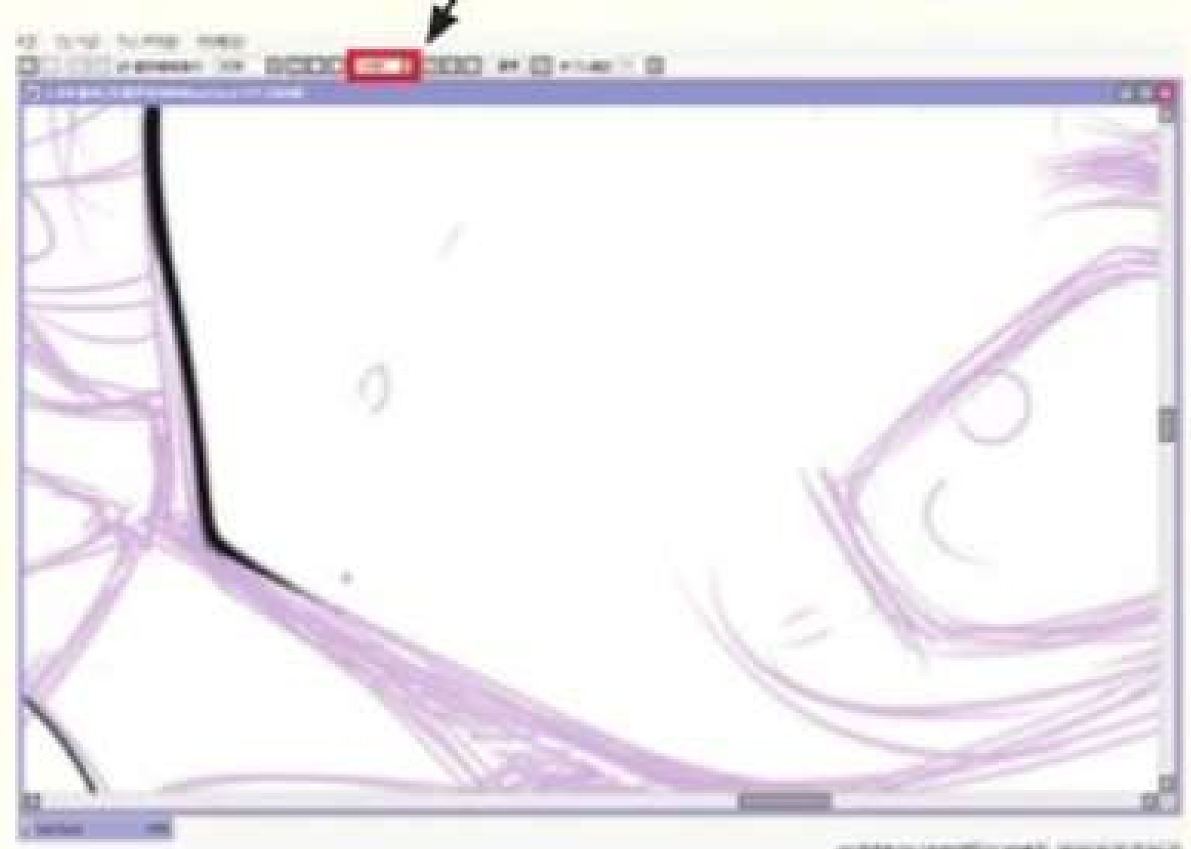
描きにくい角度の時はどんどんビューを回転させて、描きやすい角度に変更しましょう。



①右上に向かう線は描きにくいです




②「ビューの回転角度を設定」メニューを「45度」に設定しました



③ビューを描きやすい角度に回転しました



02

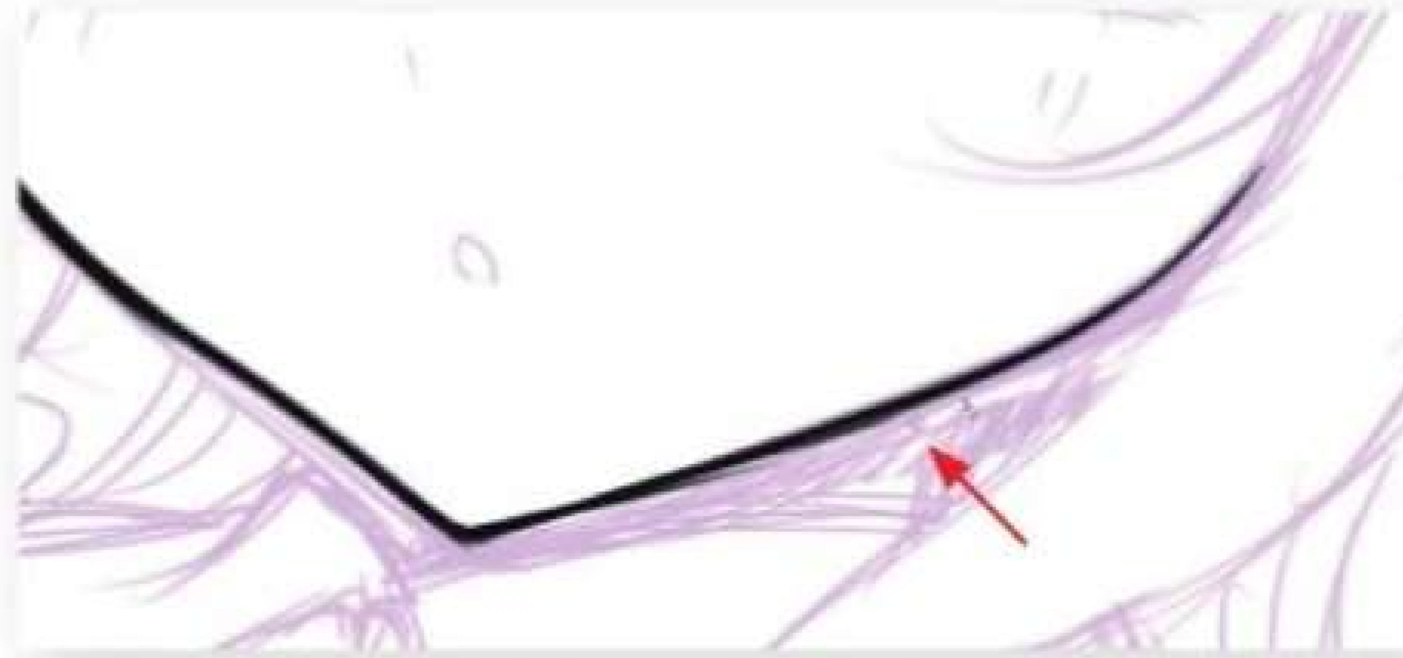
引き続き、ほおの輪郭を描きます。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「2.6」にしました



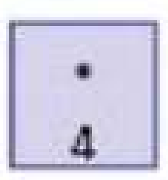
③線画が均一にならないように微妙な強弱をつけます

03

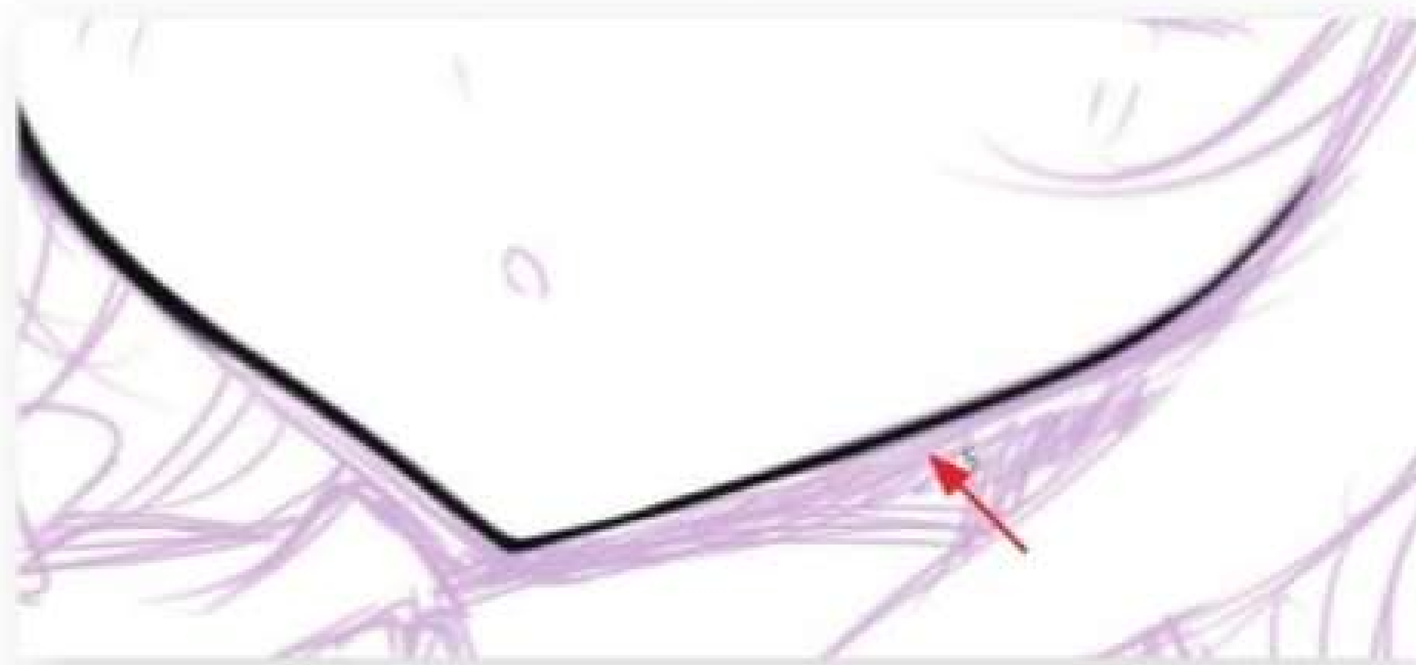
滑らかになるよう気をつけながら、「消しゴム」ツールで整えます。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「4」にしました



③強弱をつけたラインを整えました

04

耳を描きます。髪の毛で隠れてしまうので、あまり細かく描かなくても大丈夫です。




①「筆」ツールを選択しました



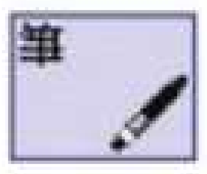

②サイズを「2.6」にしました



③耳も強弱をつけるように描きました

## 腕を描く

01 引き続き、手足を描いていきましょう。指はあまりとがらないように、滑らかなカーブを意識して描くと綺麗に描けます。



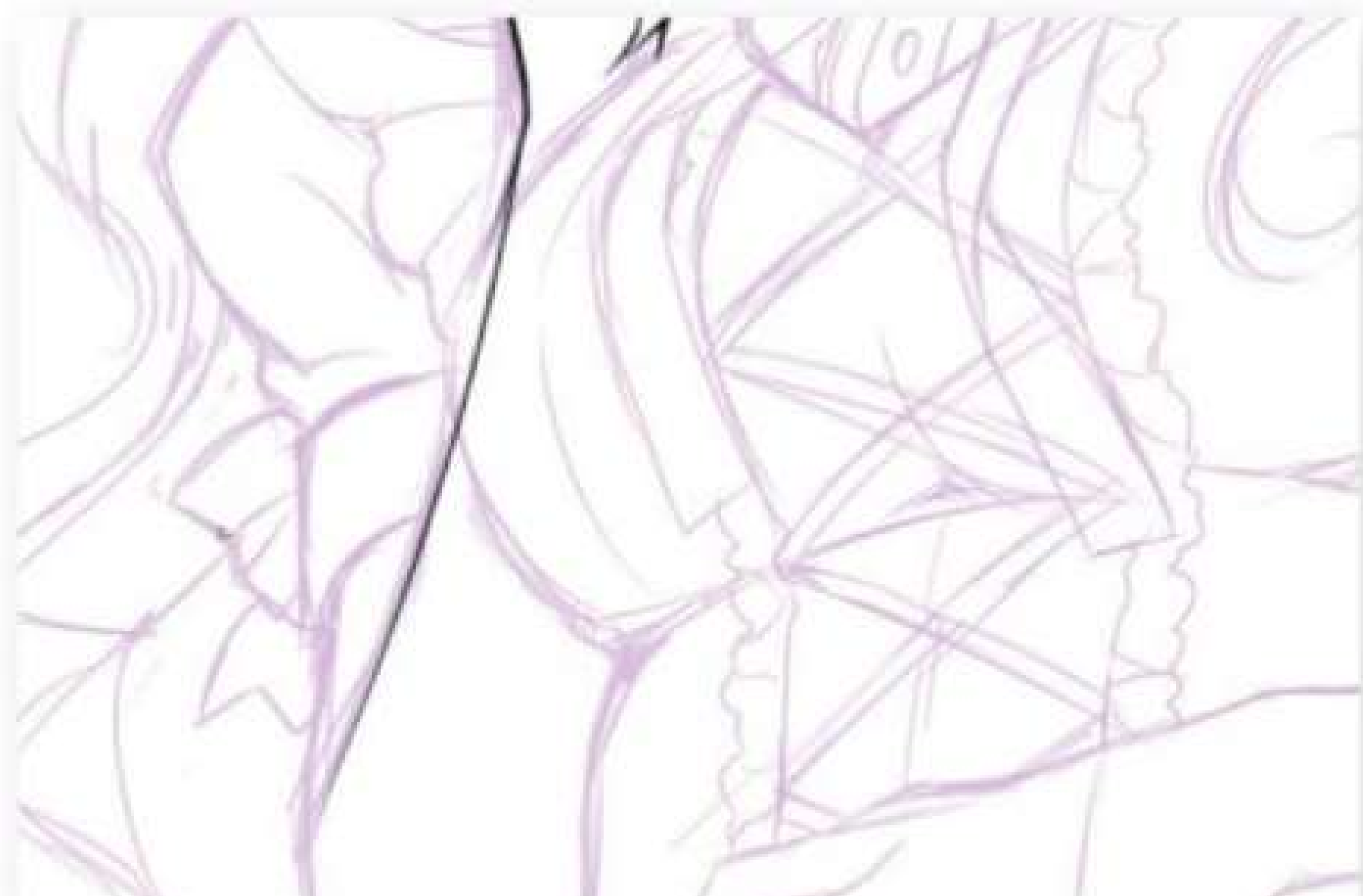
①「筆」ツールを選択しました



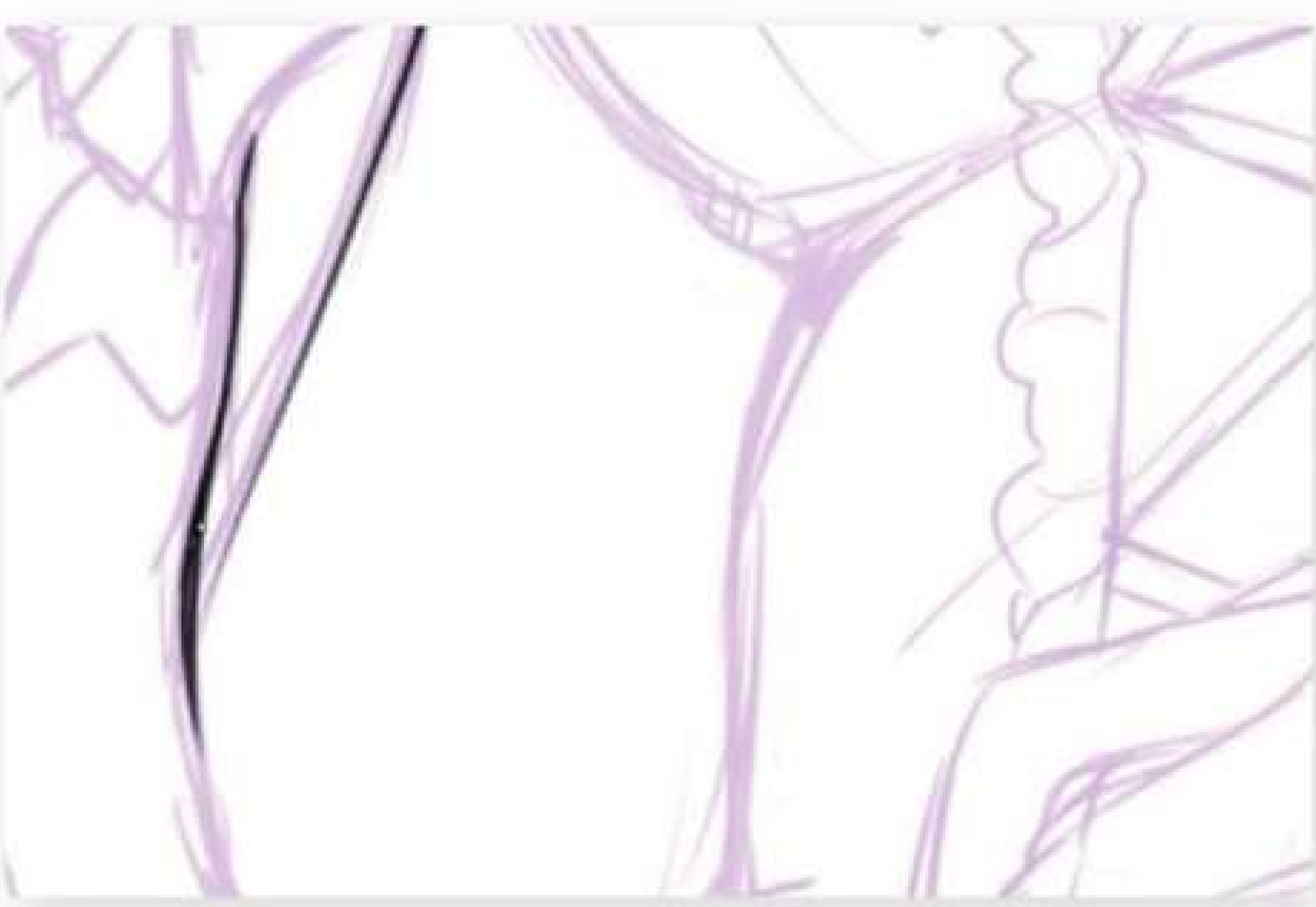
②サイズを「2.6」にしました



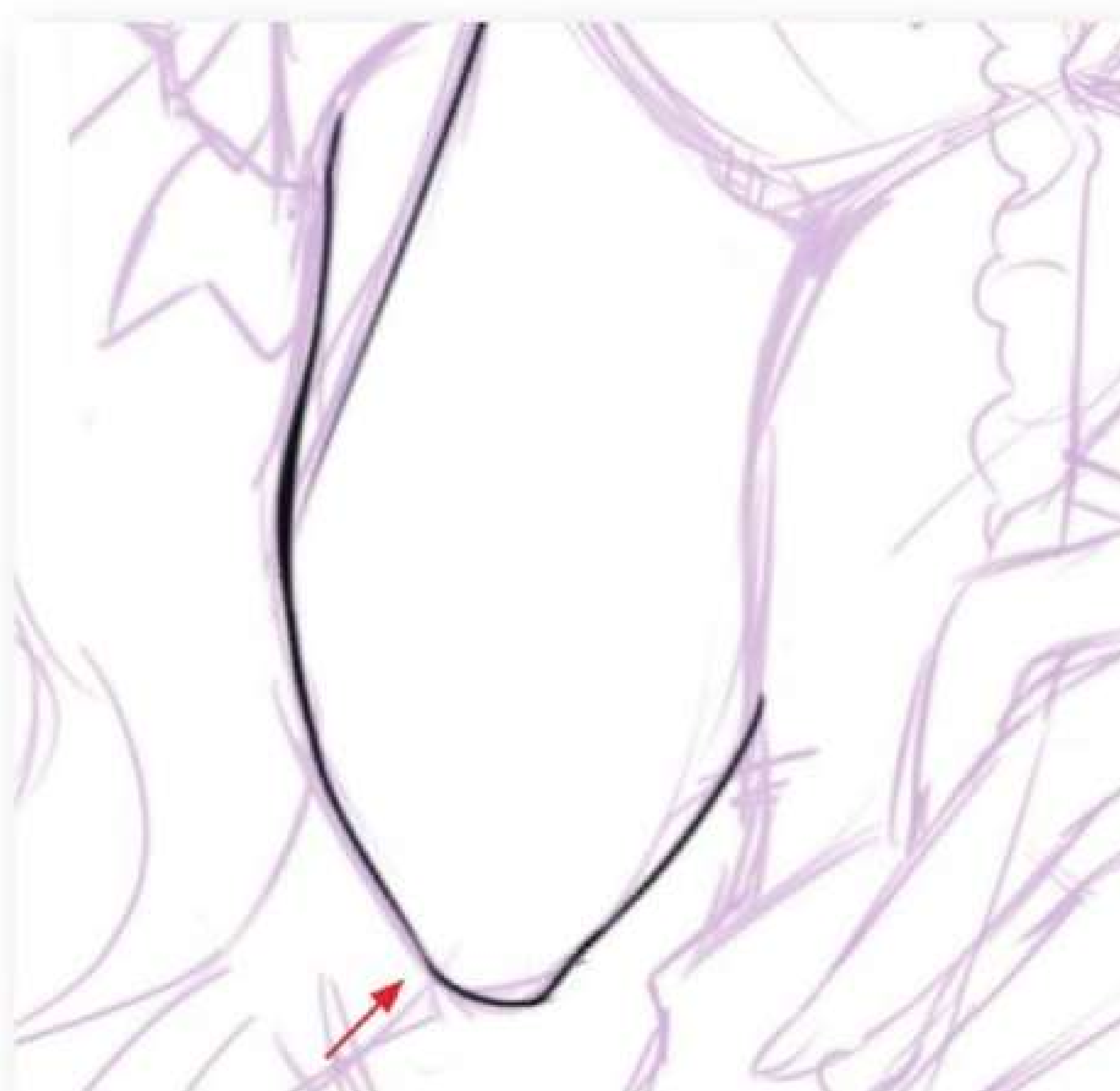
02 腕のような長い線は一気に引くと綺麗に描けます。狙った線が引けるまで、何度もやり直しながら練習するようにしましょう。



03 ひじの部分は丸みに気をつけて描きましょう。あまりとがらないようにするとよいでしょう。



→



**04** 両方の手ができました。



TECHNIQUE

### ブレのない線を描く

SAIには便利な「手ブレ補正」機能が搭載されています。描きやすいように数値を調整してみましょう。数値が少ないほど手のブレをそのまま描画し、数値が大きいほどブレを反映しません。今回は「11」に設定しました。



①「手ブレ補正」の設定は画面上部にあります



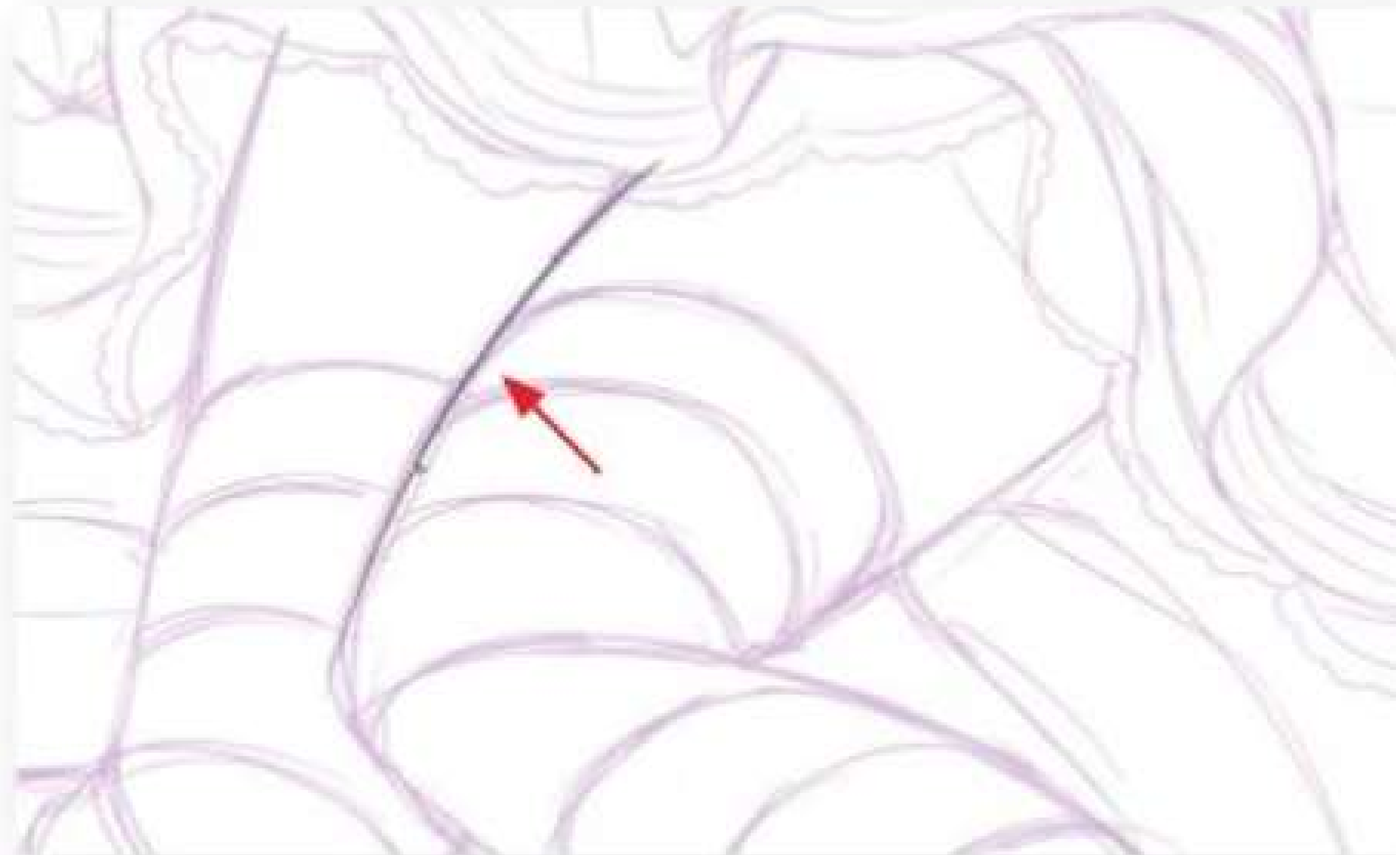
②「手ブレ補正」を弱めの「1」に設定した例です



③「手ブレ補正」をもっとも強めの「S-7」に設定した例です

## 足を描く

**01** 足に移ります。腕の時と同じように滑らかな線になるよう、勢いよく一気に引いていきます。



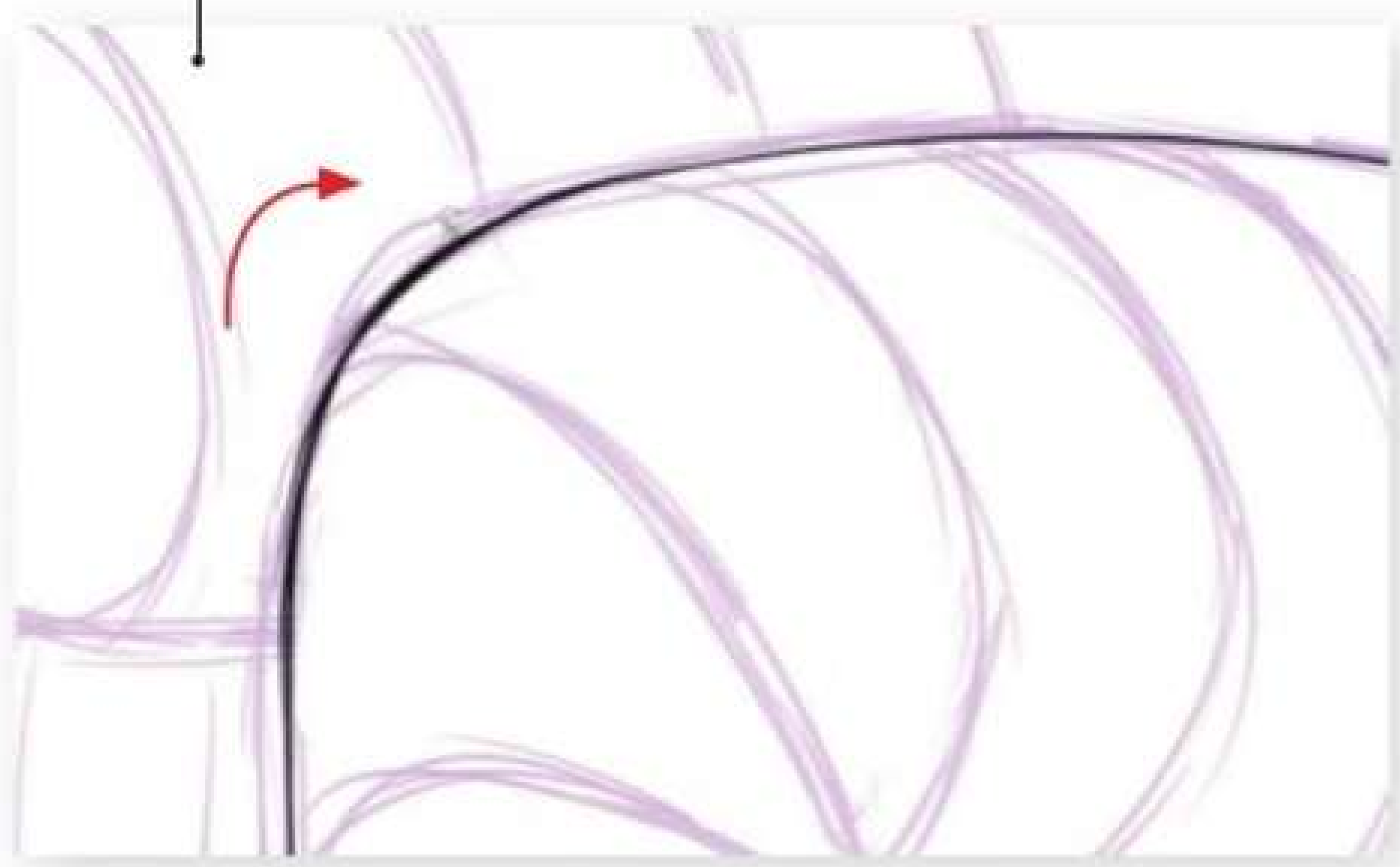
**02** ひざの部分はカーブを意識して、思った形が出せるように何度かなぞっています。




①「ビューを時計周りに回転」をクリックして、ビューを「56度」に設定しました



→



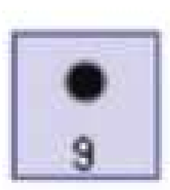
②ビューを描きやすい角度に回転しました

↓

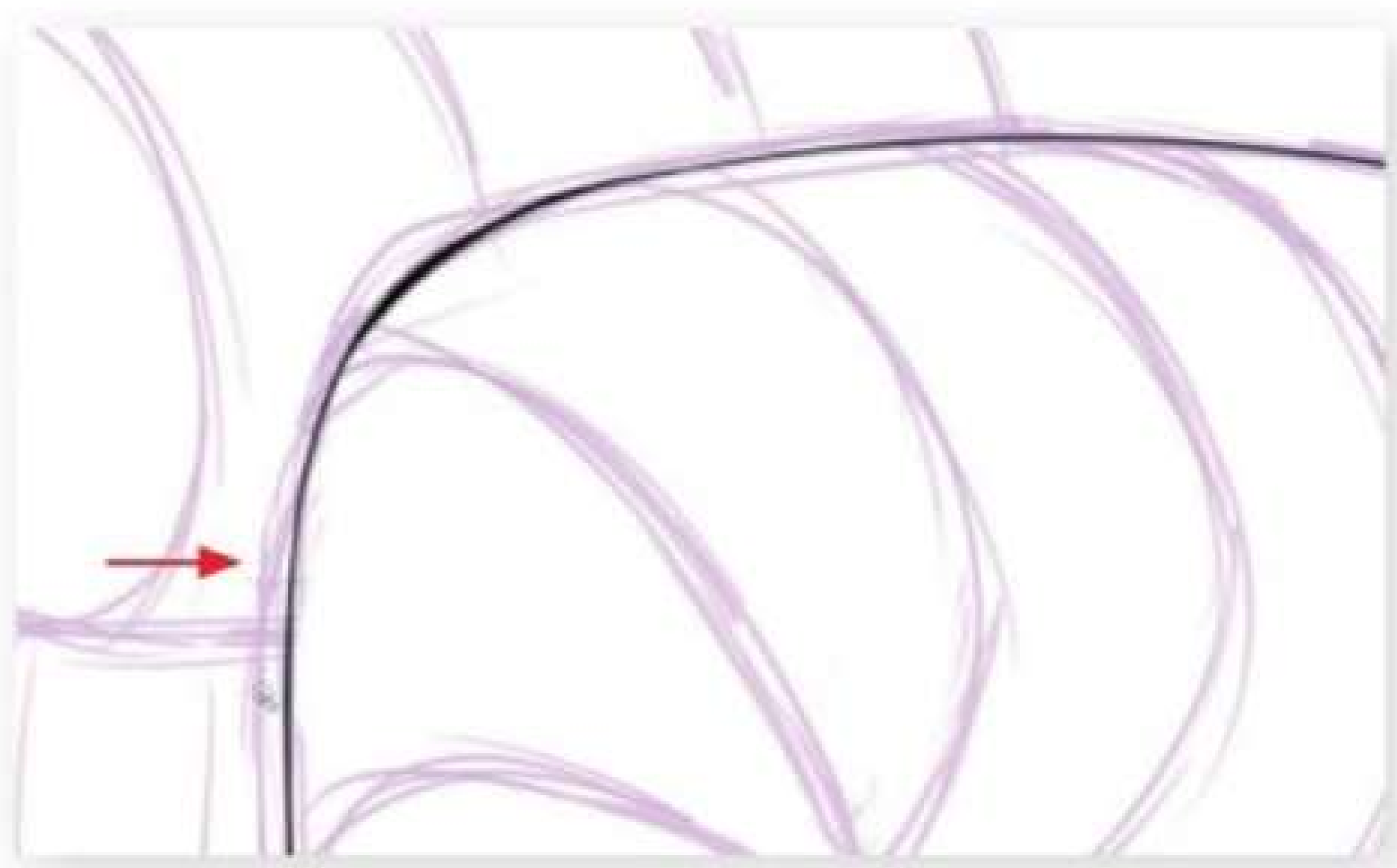
**03** 最後に「消しゴム」ツールで整えます。




①「消しゴム」ツールを選択しました

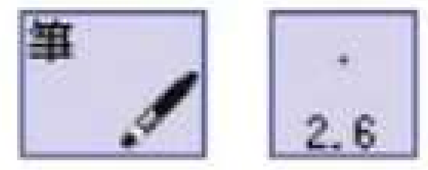



②サイズを「9」にしました



③「消しゴム」ツールでラインの太さを整えました

04 ふくらはぎの滑らかさに注意します。




「筆」ツールを選択し、サイズを「2.6」にしました



05 太ももを描きます。ソックスを履いているので、ゴムの部分を少し食い込ませると柔らかそうな感じになります。



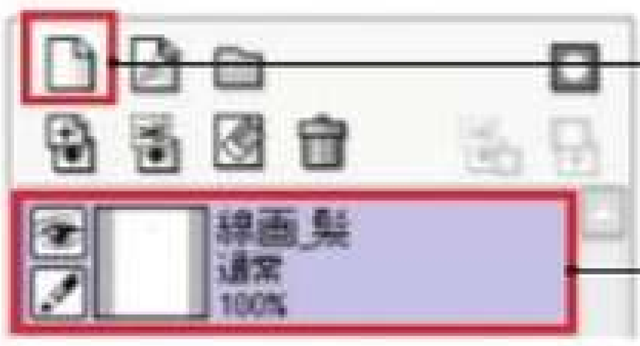
06 ここまでできた状態です。



## 前髪を描く

**01** 髪の毛を描くための、新規レイヤーを作成します。






①「通常レイヤーの新規作成」をクリックしました

②レイヤーの名称を「線画_髪」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました

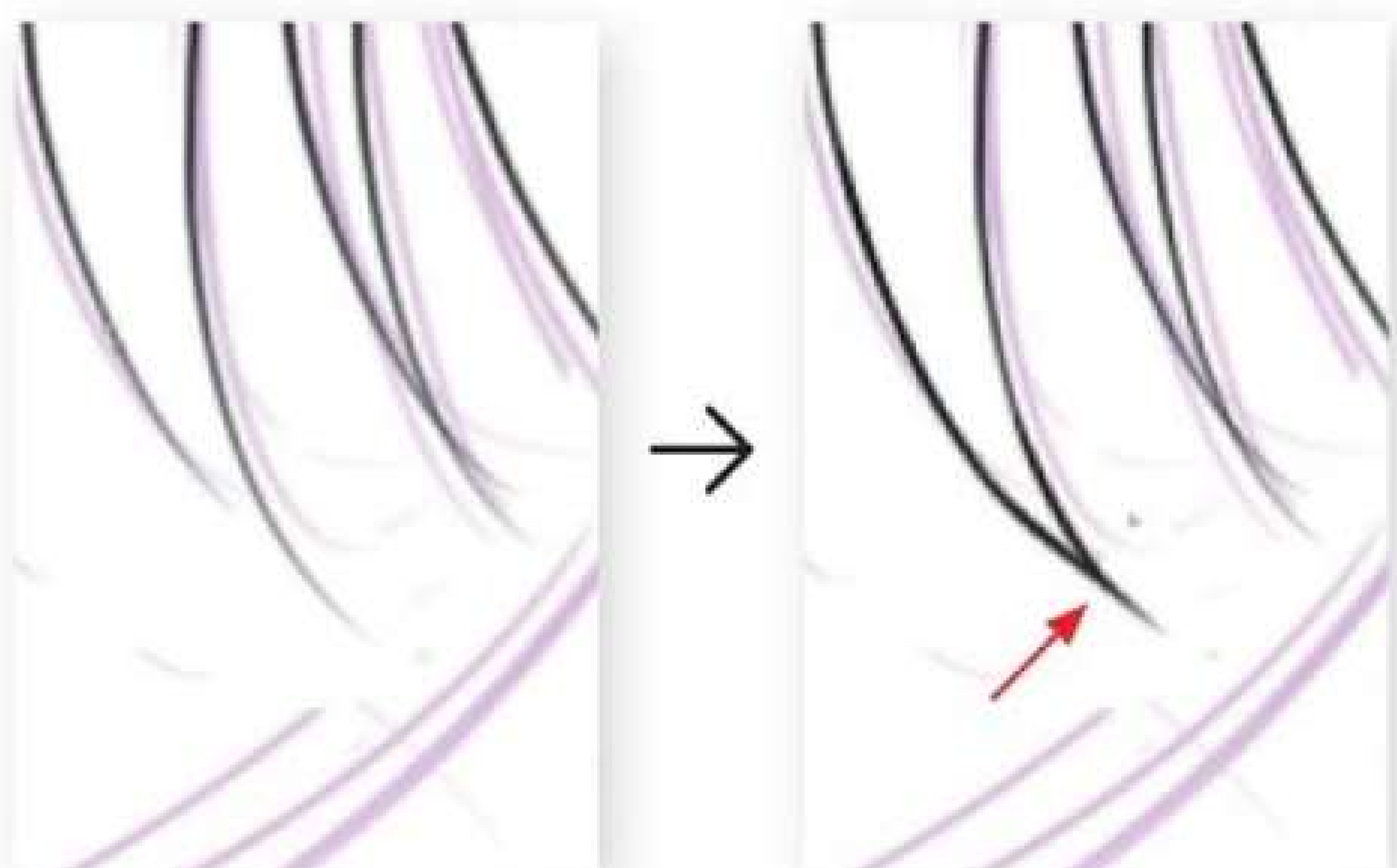


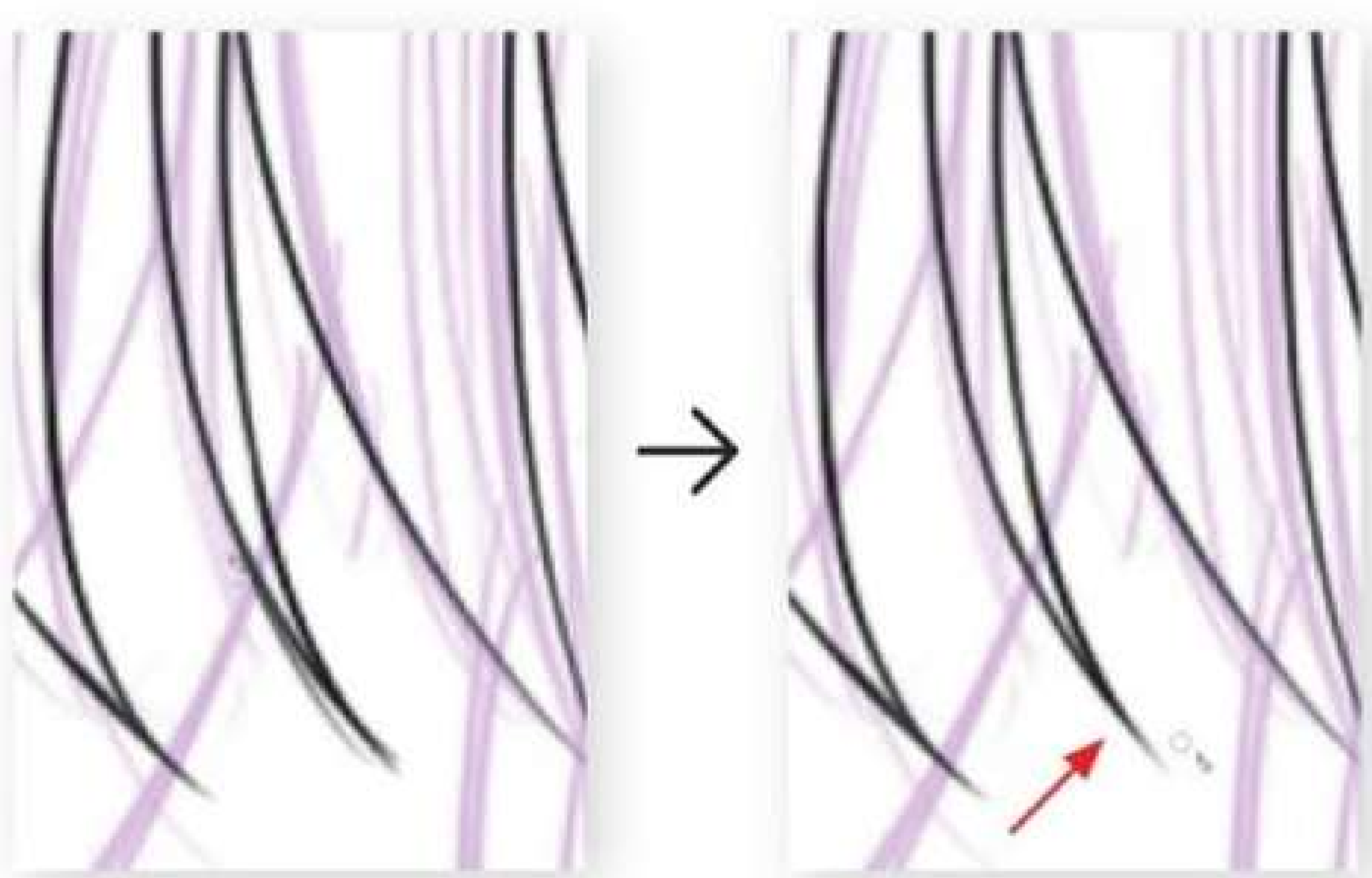

④サイズを「2.3」にしました

**02** この時点ではあまり気にせず、まずは大雑把にざざざっと線を引きましょう。はみ出していたり、線がくっついていなくても気にしません。



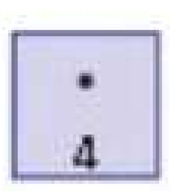
**03** ある程度引けたら、ビューを拡大して、毛先を描き足していきましょう。この時、「消しゴム」ツールなどを使って、毛先はとがらせたほうが仕上がりが綺麗です。一房ずつ丁寧に描きます。








①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「4」にしました

## 横髪と後髪を描く

**01**

横と後ろの髪を描きます。今回の女の子は髪がカールしているので、そのあたりが滑らかに描けるように頑張りましょう。大きなカーブは手首を大きく使うのがコツです。




①「線画_髪」レイヤーを選択した状態です




②「筆」ツールを選択しました

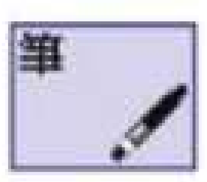



③サイズを「2.3」にしました



**02**

コツコツと根気よく描きます。カーブの部分はたまに太めに描くと、線に柔らかさやメリハリが出ます。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「2.3」にしました



**03**

どんどん描いては、「消しゴム」ツールで整える作業を繰り返しましょう。忍耐です…。だんだん細かくなってきました。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「2.3」にしました



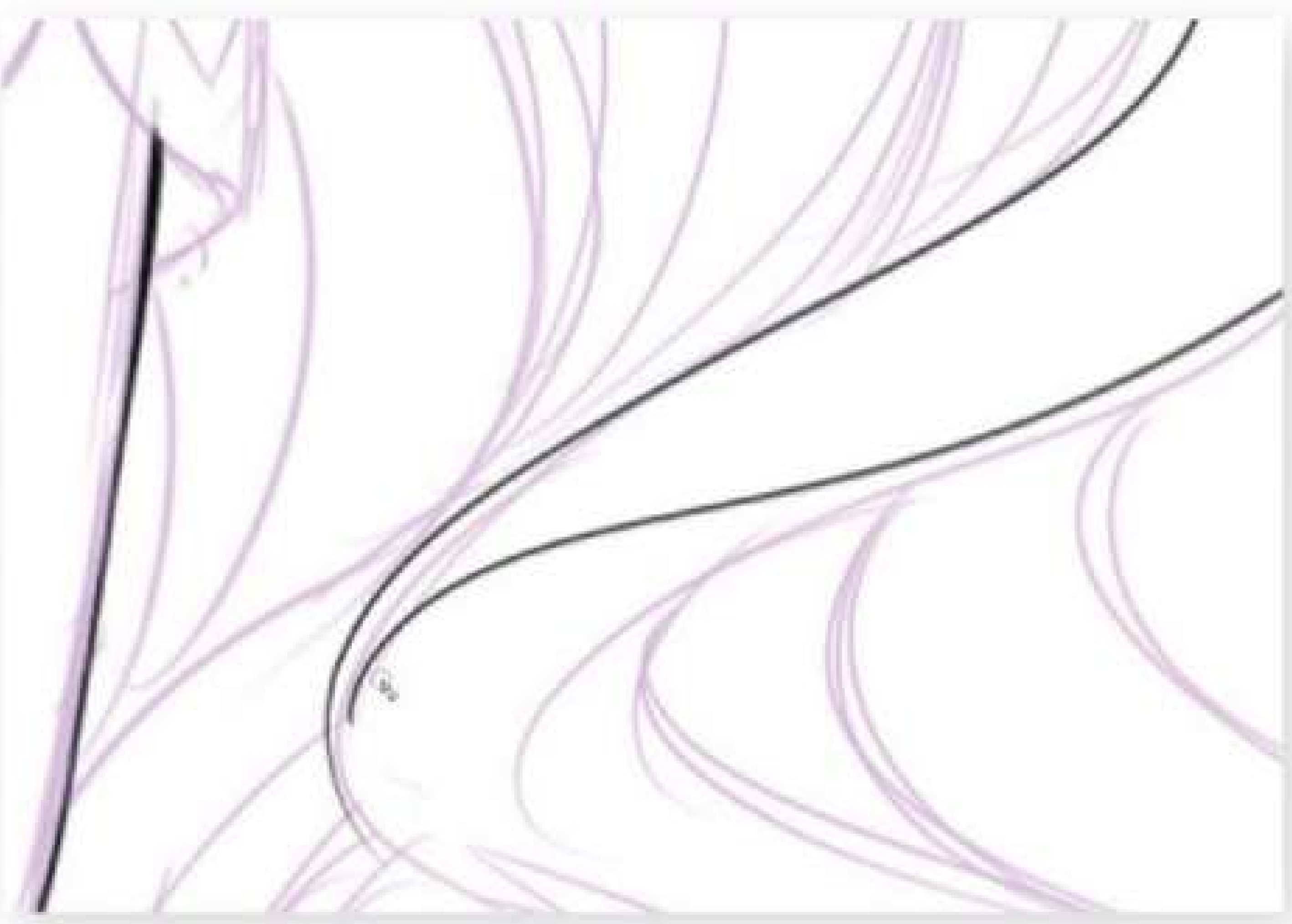
## 04 逆側の髪も同じように描きます。

①「筆」ツールを選択しました　②サイズを「2.3」にしました

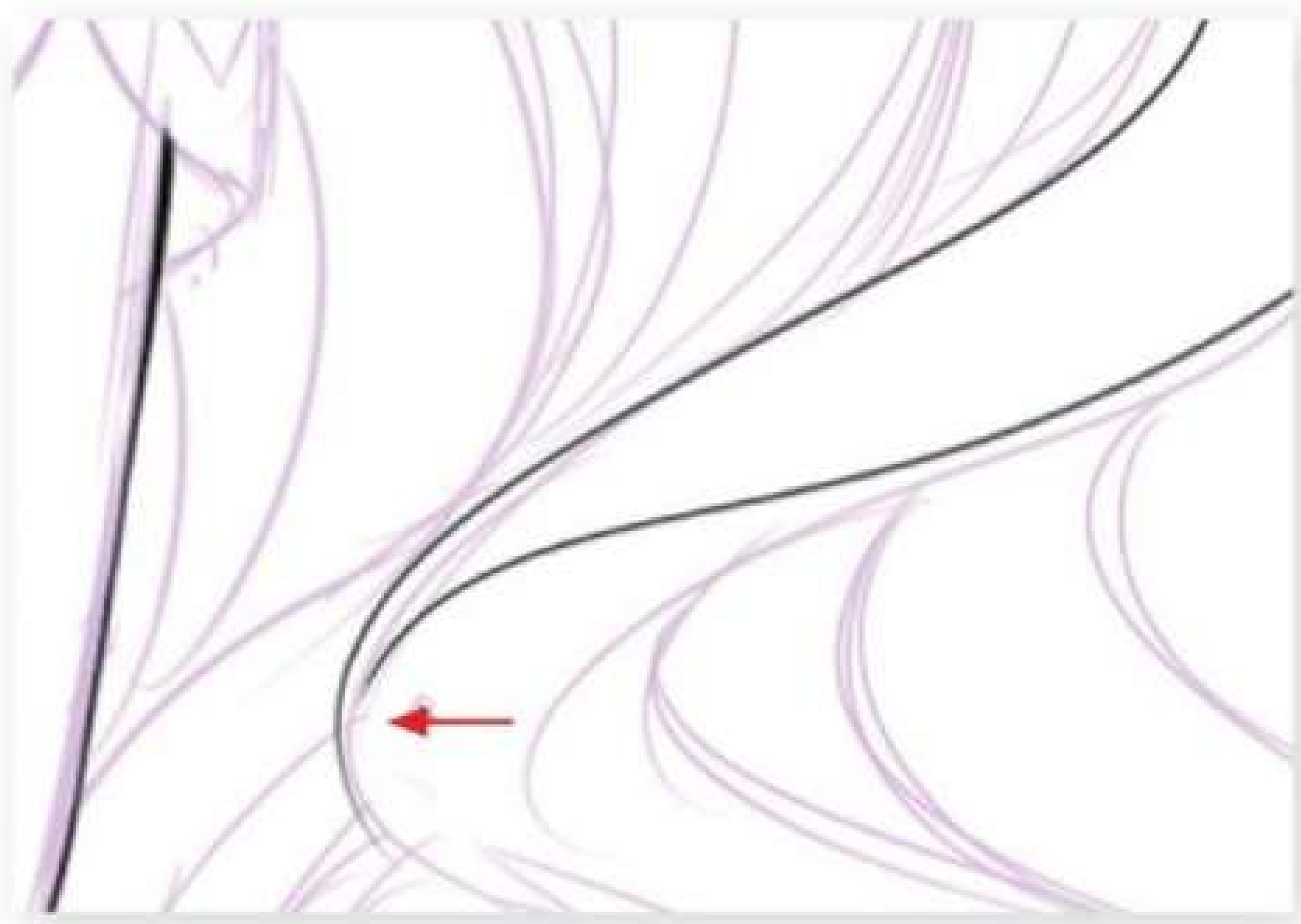


## 05 線の抜き（描画の先端）は「消しゴム」ツールで綺麗に消しても作れます。

①「消しゴム」ツールを選択しました　②サイズを「8」にしました



→



## 06 立体感や量感を意識しながら描きましょう。変だと思ったら何度でも描き直して完成させましょう。

①「筆」ツールを選択しました　②サイズを「2.3」にしました



→



## 服を描く

**01** 今度は服を描くために、新規のレイヤー「線画_服」を作成します。




①「通常レイヤーの新規作成」をクリックしました

②レイヤーの名称を「線画_服」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました

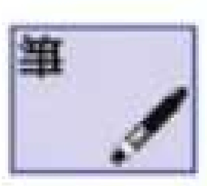



④サイズを「2.6」にしました



⑤襟や肩のフリルを描きました

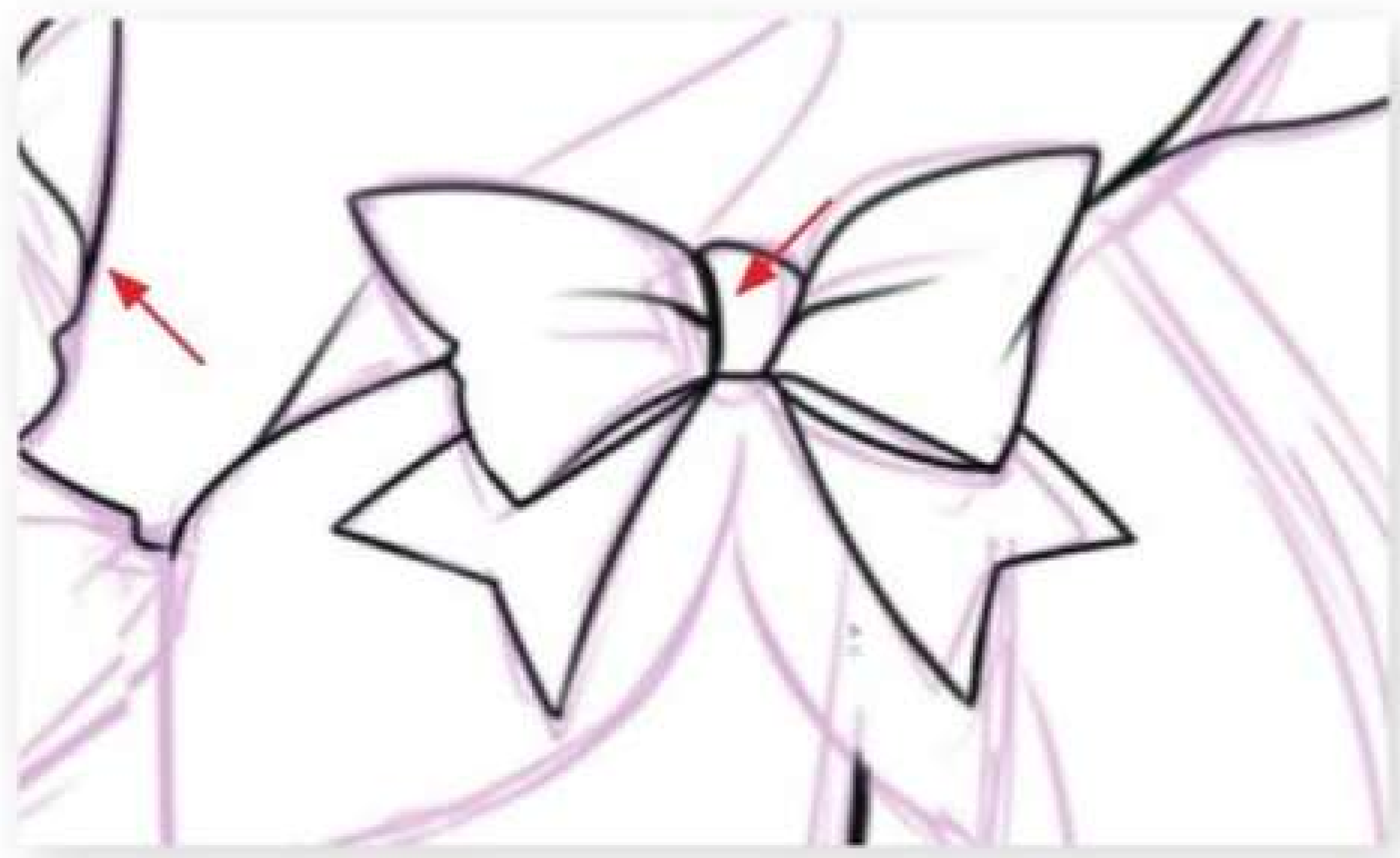
**02** はみ出しは後で消すので、気にせずどんどん描き込みましょう。シワなどは少し細めの「筆」ツールを使うと比較的綺麗に描けます。袖のリボンも描きました。たまに線の太い部分を描いて、メリハリをつけるようにします。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「3」にしました





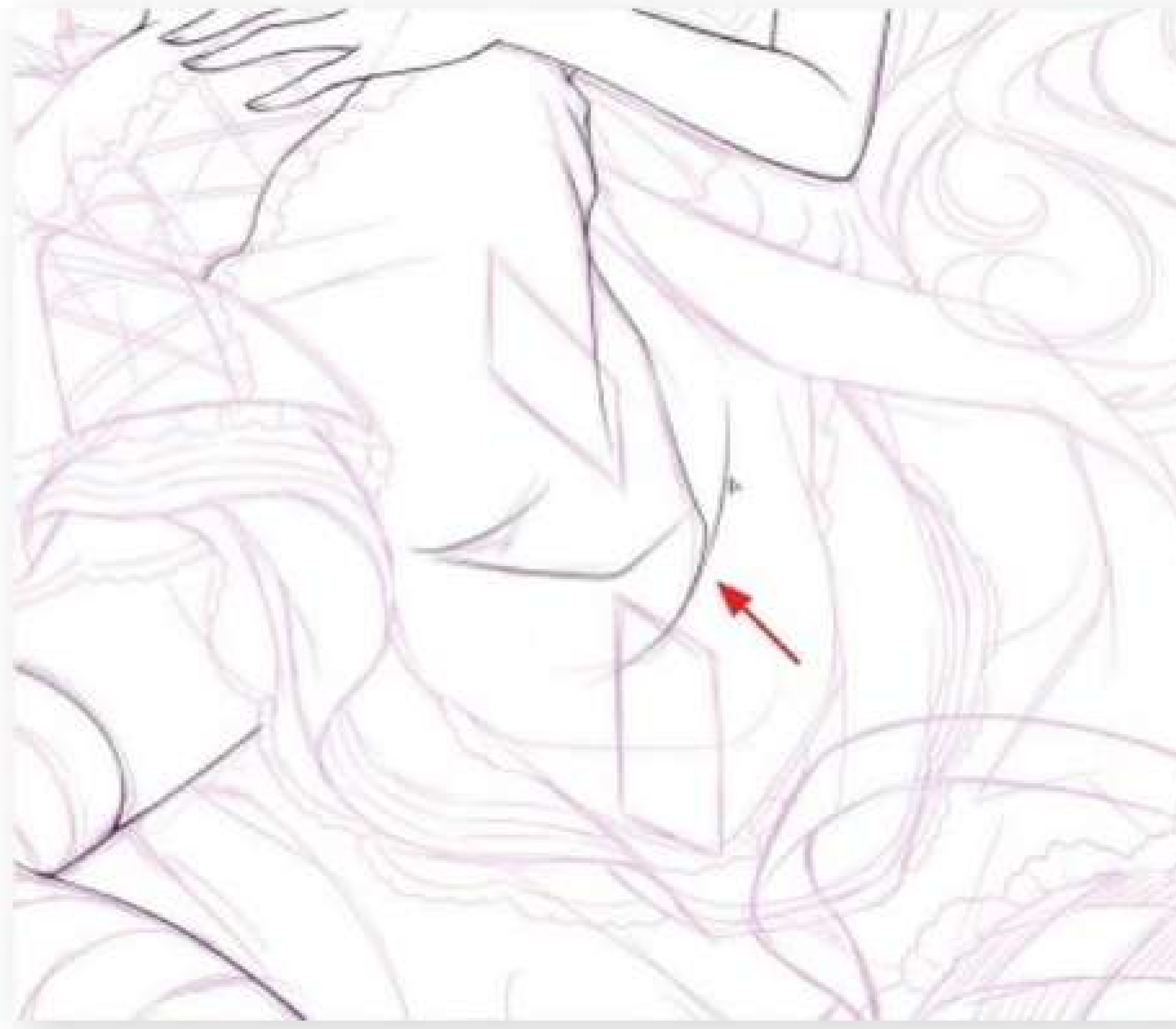
③線の太さに強弱をつけました

## 03

スカートを描きます。このあたりは線の抜きを意識しながら描き込んでいきます。

①「筆」ツールを選択しました

②サイズを「3」にしました

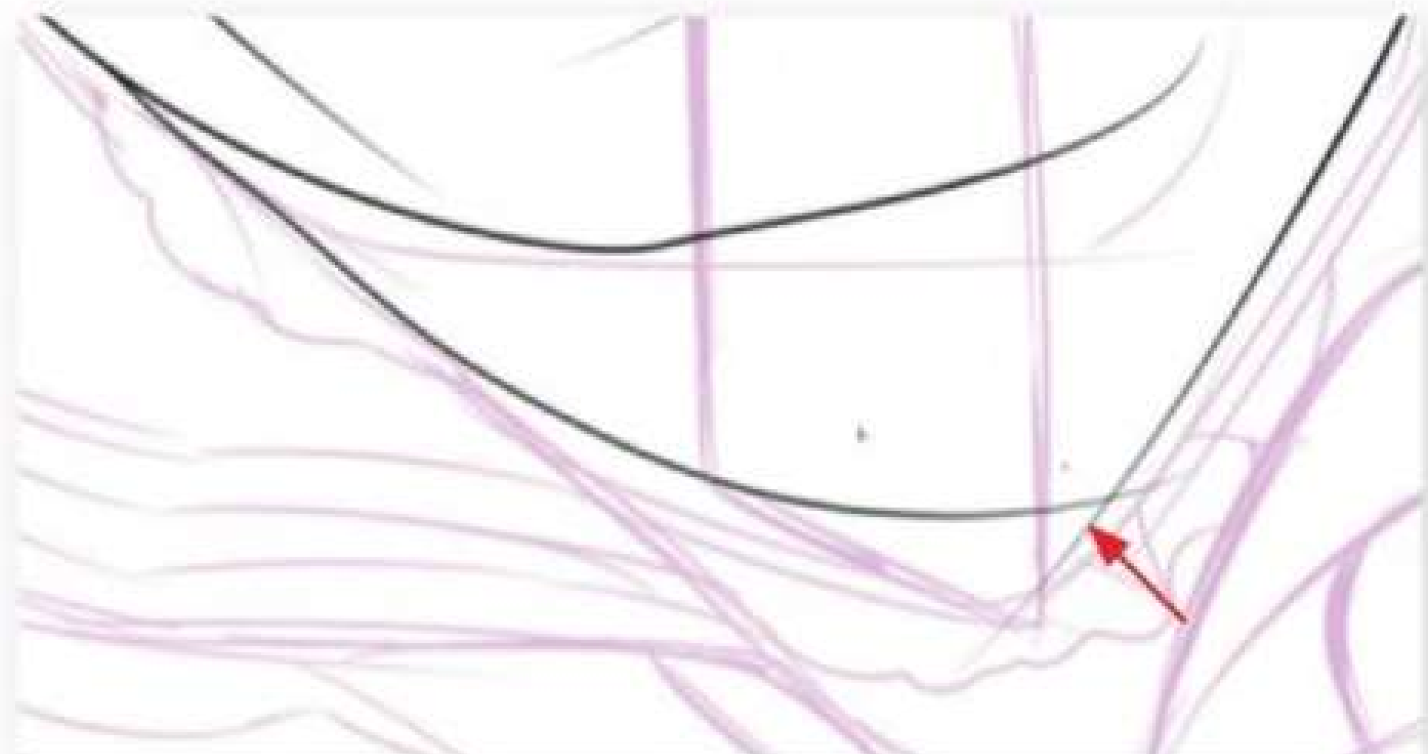


## 04

カーブの部分は難しいので、一度線を引いてから「消しゴム」ツールで整えていきます。柔らかそうな感じになるよう気をつけましょう。

①「筆」ツールを選択しました

②サイズを「2.6」にしました

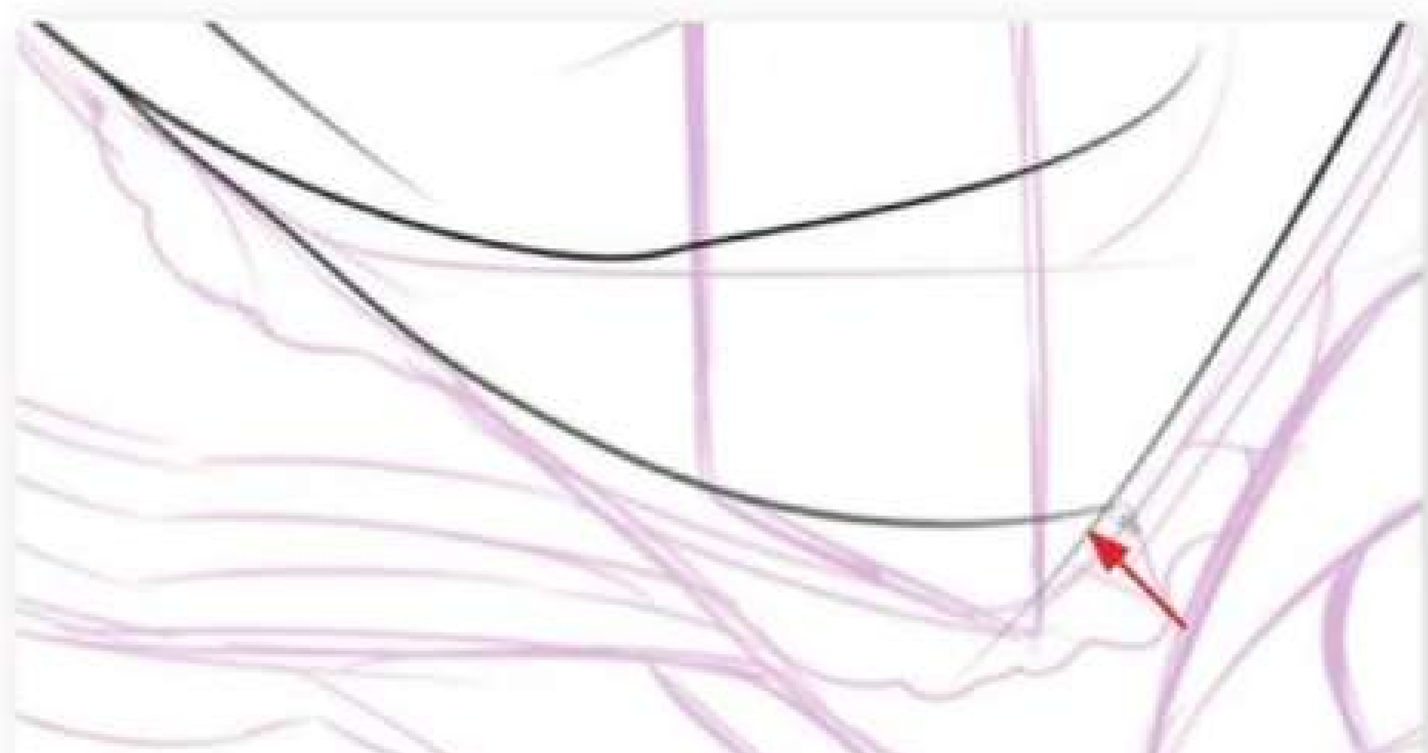


③交差するように線を一気に描きます

↓

④「消しゴム」ツールを選択しました

⑤サイズを「9」にしました

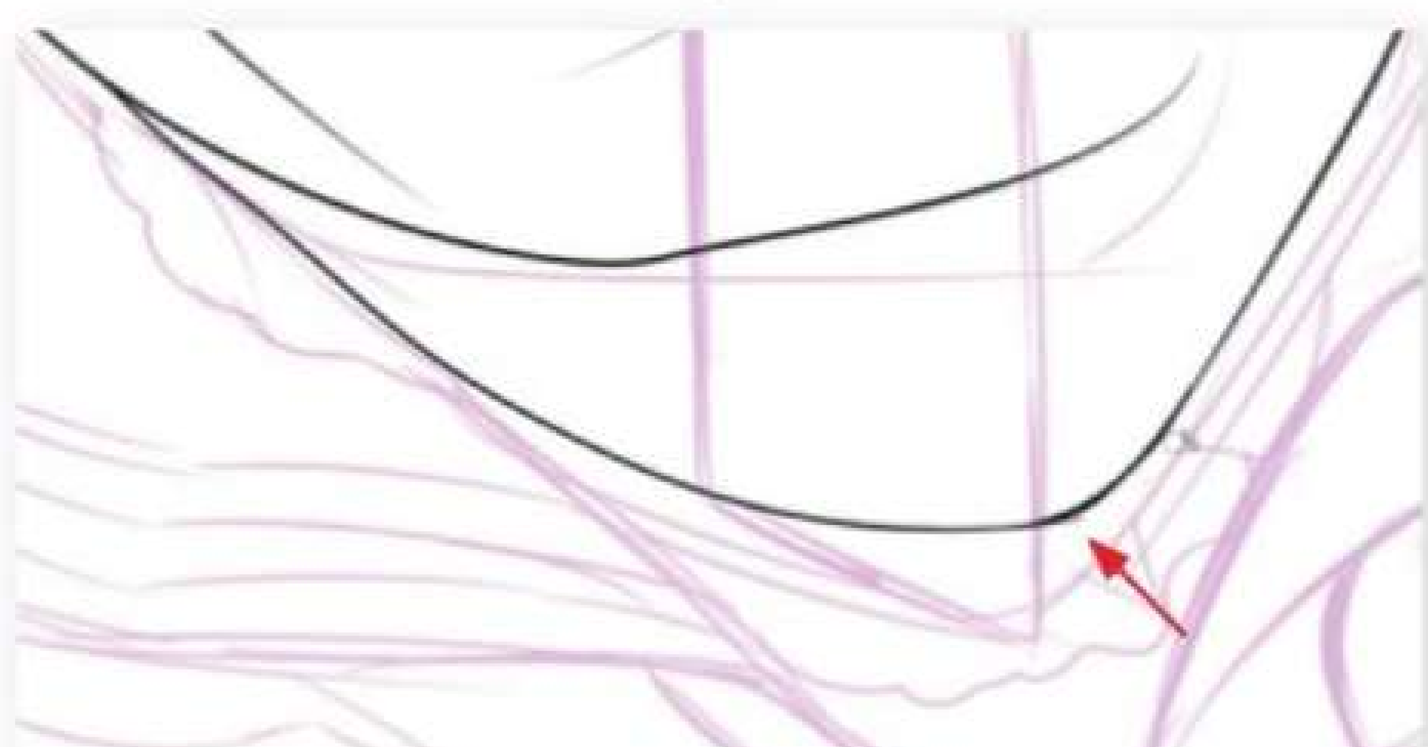


⑥はみ出した線を「消しゴム」ツールで消します

↓

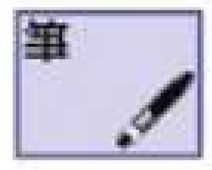
⑦「筆」ツールを選択しました

⑧サイズを「9」にしました



⑨線同士をつなげました

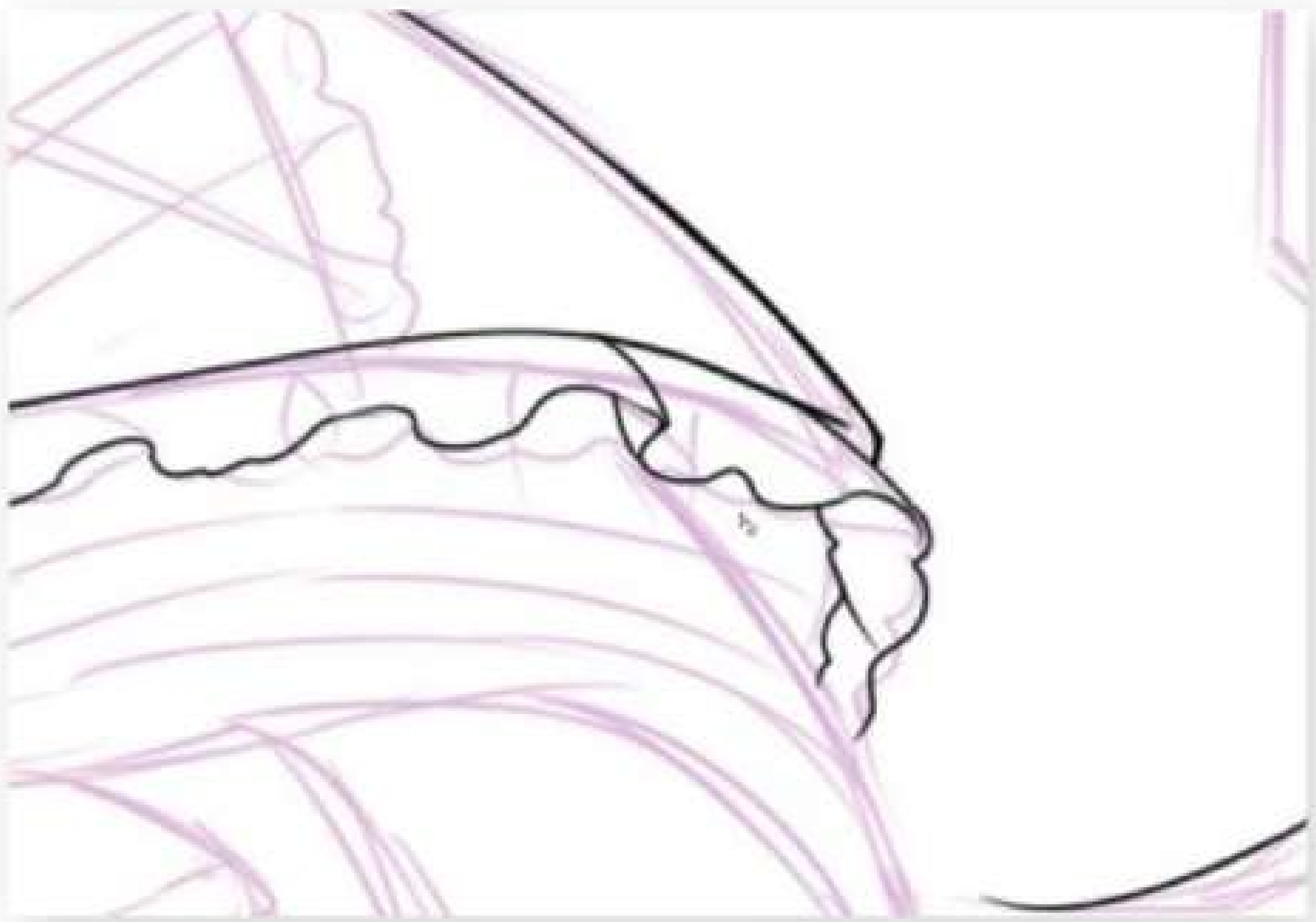
**05** 裾のレースを描き込みます。あまりラフにとらわれず、感覚的に描いています。量が多いのでちょっと大変ですが、根気よく作業します。

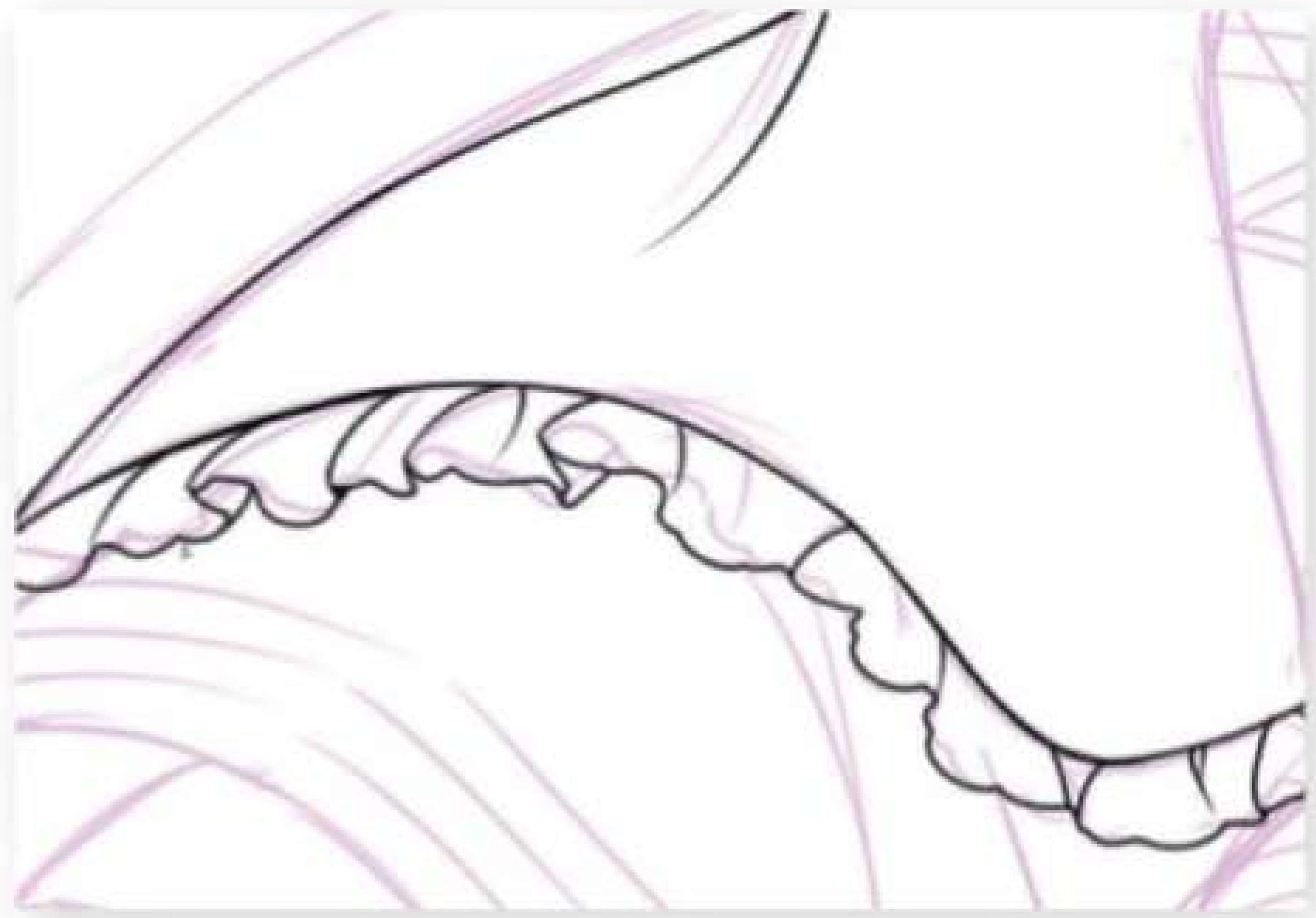


①「筆」ツールを選択しました



②サイズを「2.6」にしました





**06** このような感じで、スカートは大体描けました。



07

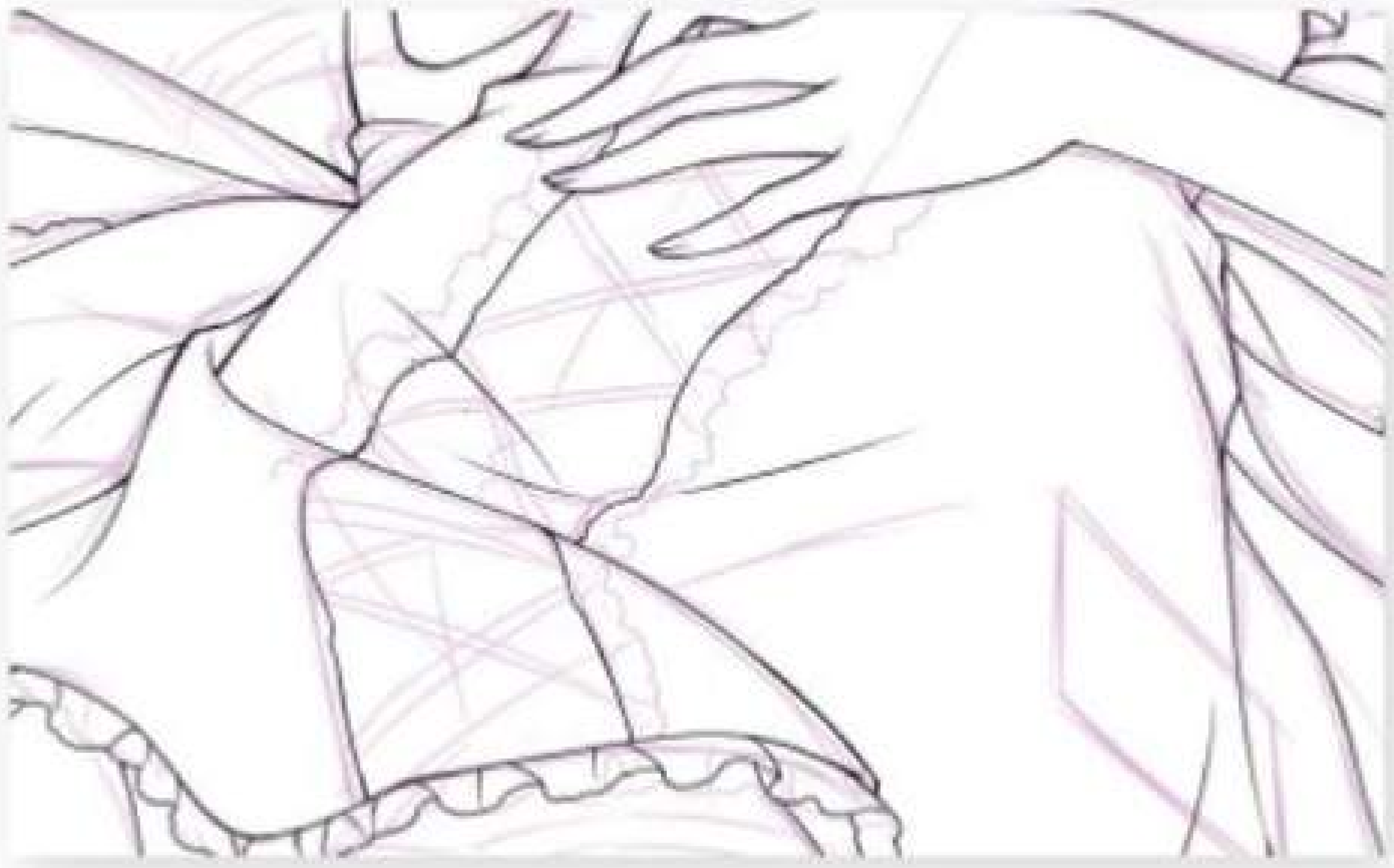
同じようにエプロンのフリルを描きます。手首を上手く使うと綺麗に描けるでしょう。



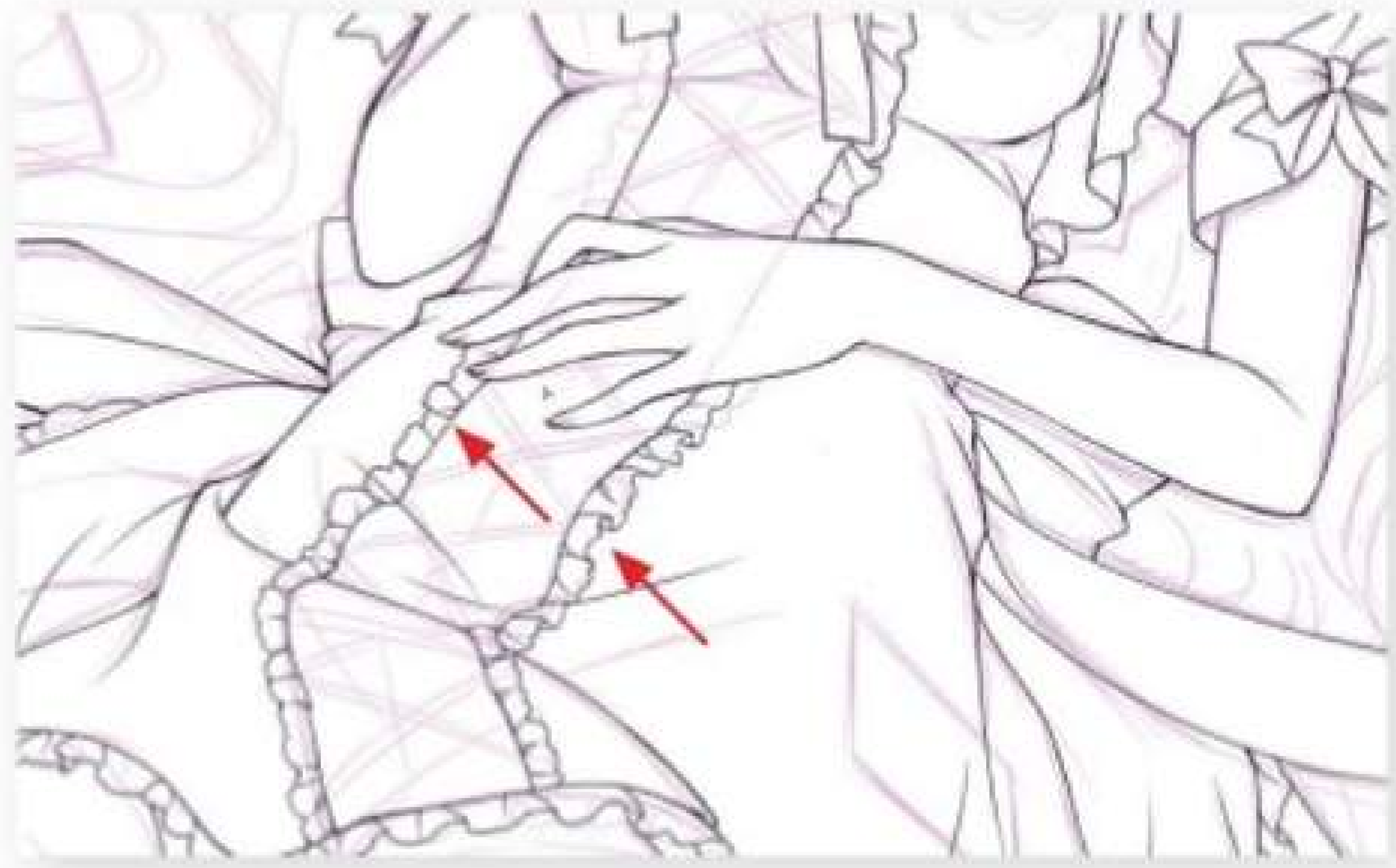

①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「2.6」にしました

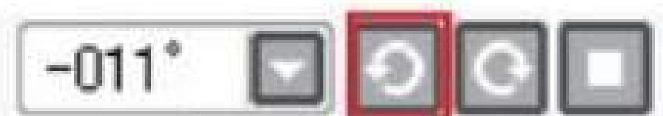


→

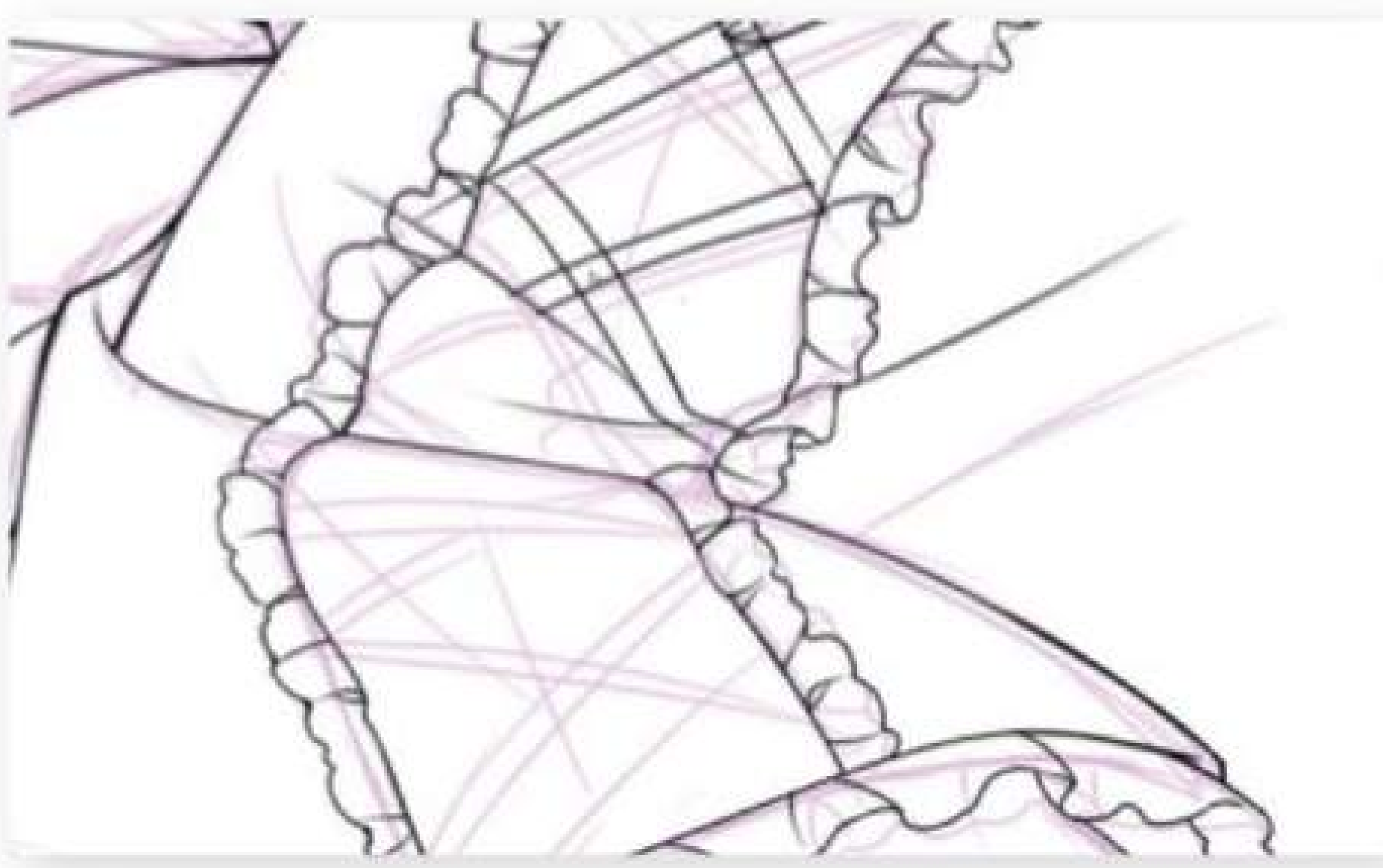


08

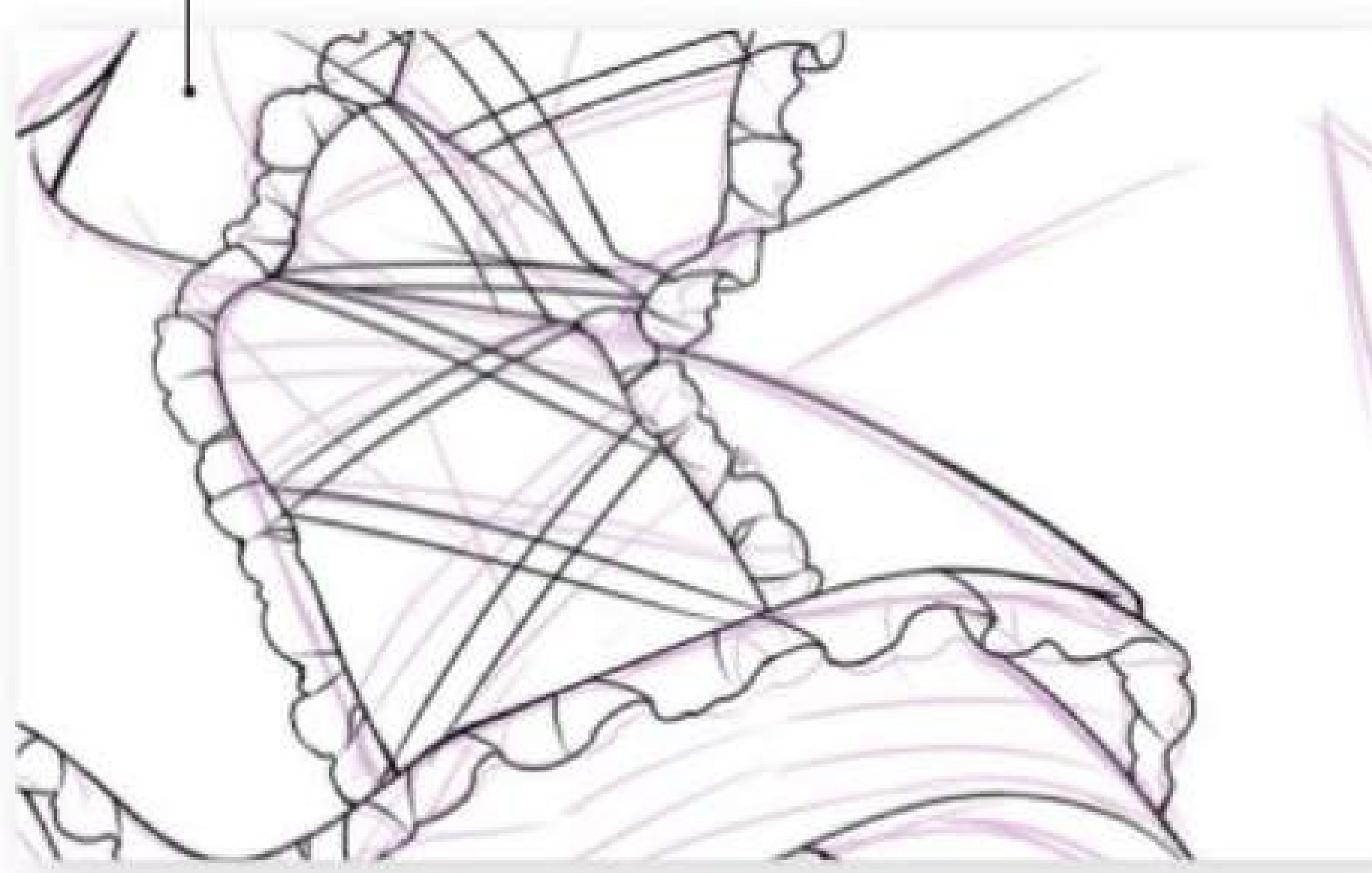
エプロンの真ん中のリボンを描きます。画面の角度を変えながら描くとやりやすいです。交差している部分を後から綺麗に消して、出来上がりです。




「ビューを反時計周りに回転」をクリックして、ビューを「-11度」に設定しました



→



09

一通り線が引けたら、はみ出てしまった部分を丁寧に消していきましょう。切れている線があれば、つなげておくと塗り分けの時に楽です。



## 表情と背景を描く

**01** はみ出しが綺麗に消せたら、各線画のレイヤーを一枚に結合します。レイヤー名は「線画_キャラ」にしました。




②「下のレイヤーと統合」を3回クリックしました

①「線画_服」を選択しました




③レイヤーの名称を「線画_キャラ」に変更しました

**02** 顔の中を描くための新規レイヤーを作成します。まつ毛などの細い部分は、筆の「抜き」を上手く使うと綺麗に表現できます。表情が変わってしまわないように、丁寧に描きましょう。




①「通常レイヤーの新規作成」をクリックしました

②レイヤーの名称を「目」に変更しました

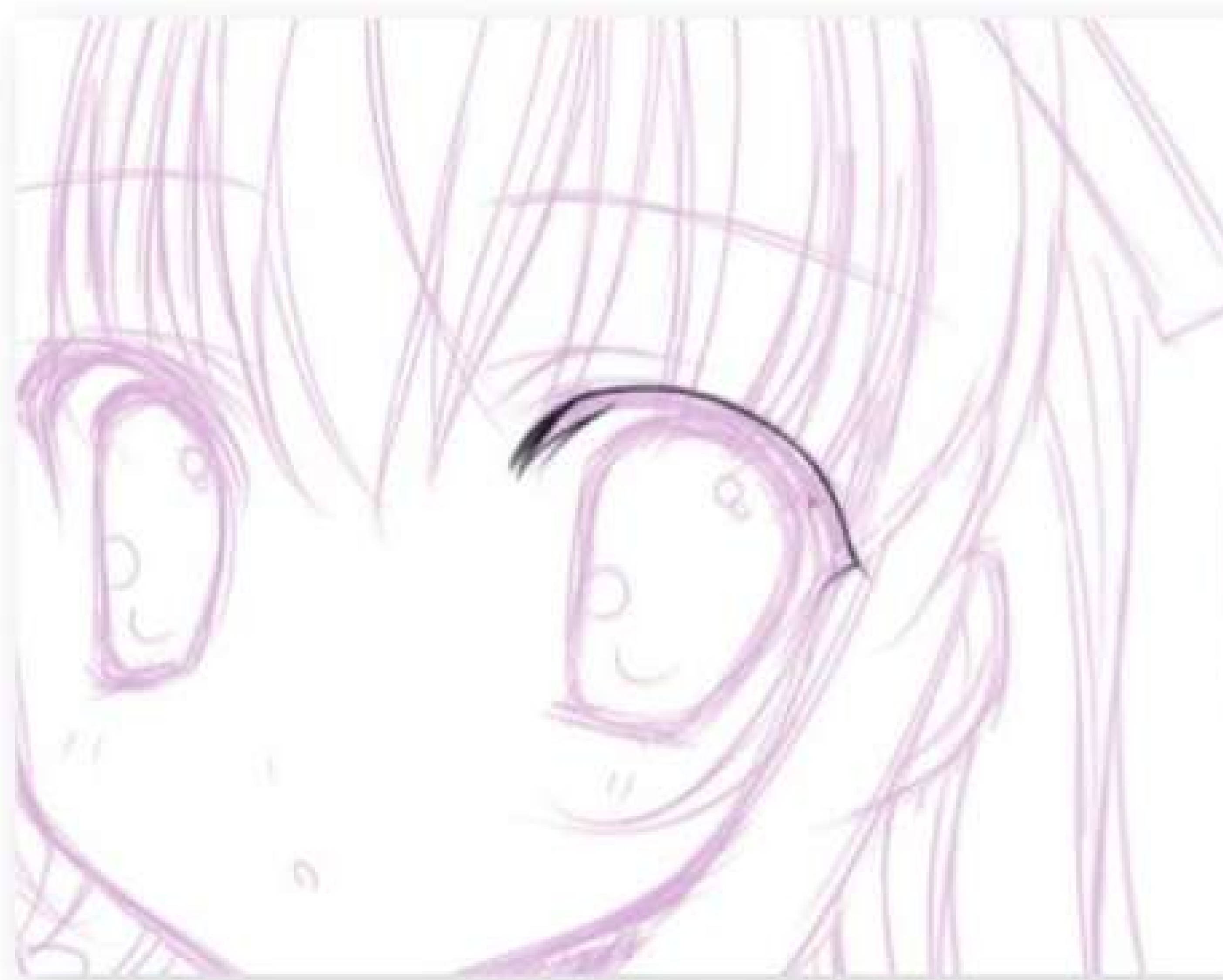
③目アイコンをクリックして、「線画_キャラ」を非表示にしました

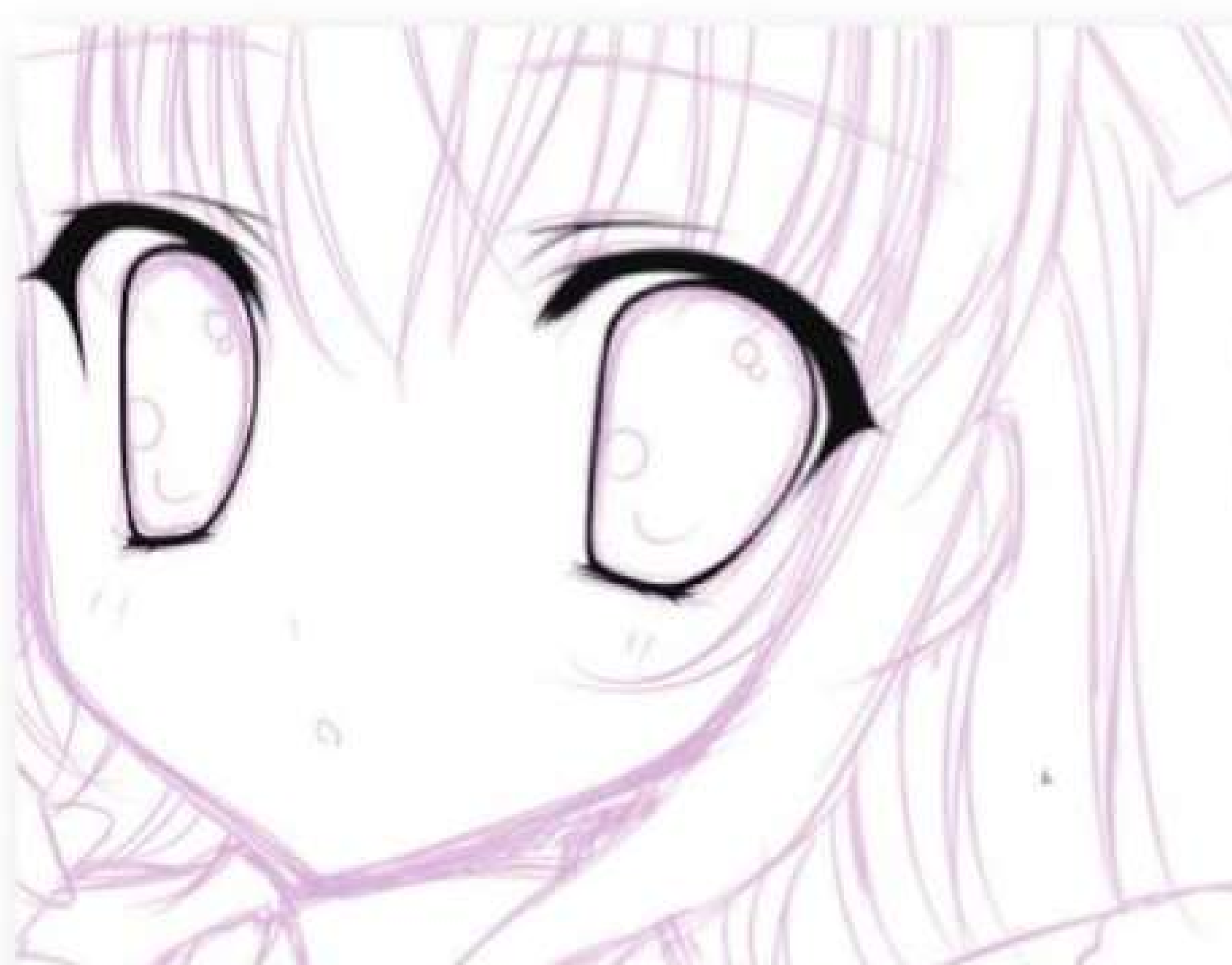



④「筆」ツールを選択しました




⑤サイズを「2.6」にしました

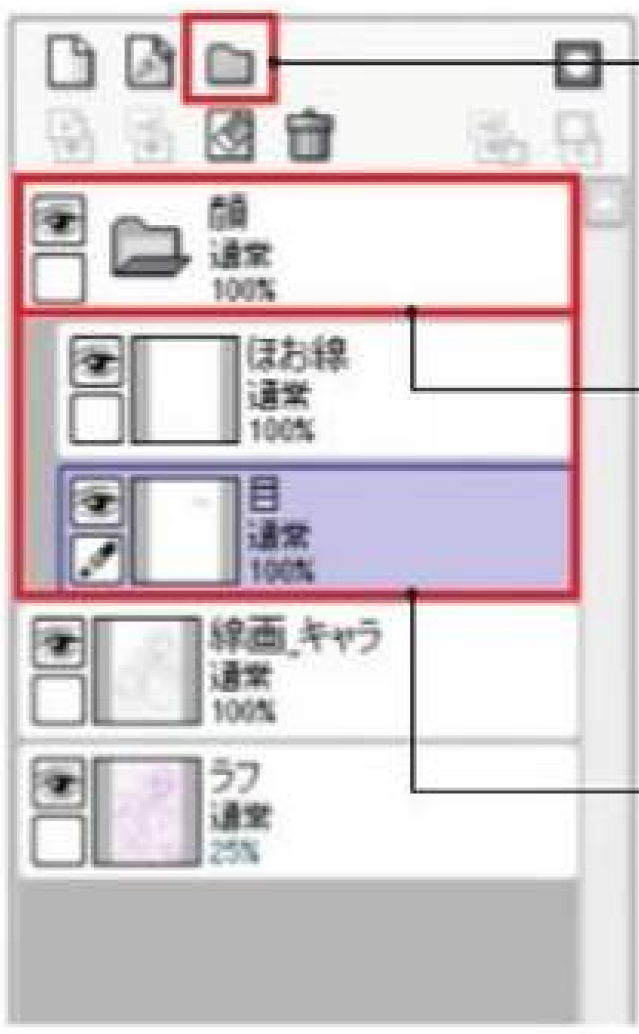




⑥「顔」レイヤーに眼を描きました

## 03

まゆ毛や鼻、口を描き込みます。最後にほおの線を細く描き入れて、顔の線画の出来上がりです。



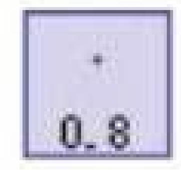

①「レイヤーセットの新規作成」をクリックしました

②レイヤーセットの名称を「顔」に変更しました

③「目」レイヤーを「顔」レイヤーセットの中に移動しました。新規レイヤーを作成し、名称を「ほお線」に変更しました




④「筆」ツールを選択しました




⑤サイズを「0.8」にしました



⑥新規に作成した「ほお線」レイヤーにほおや口の線を描き込みました

## 04

3つの新規レイヤーを作成し、「線画_小物」には小物、「線画_背景」にはクッション、「線画_シーツ」にシーツの線を描いて出来上がりです。




①「通常レイヤーの新規作成」を3回クリックしました

②レイヤーの名称を「線画_小物」「線画_背景」「線画_シーツ」に変更しました



05 全部の線画レイヤーを表示するとこのような感じになりました。



# Chapter. 02

## SAIとPhotoshopでカラーの着彩



Chapter.

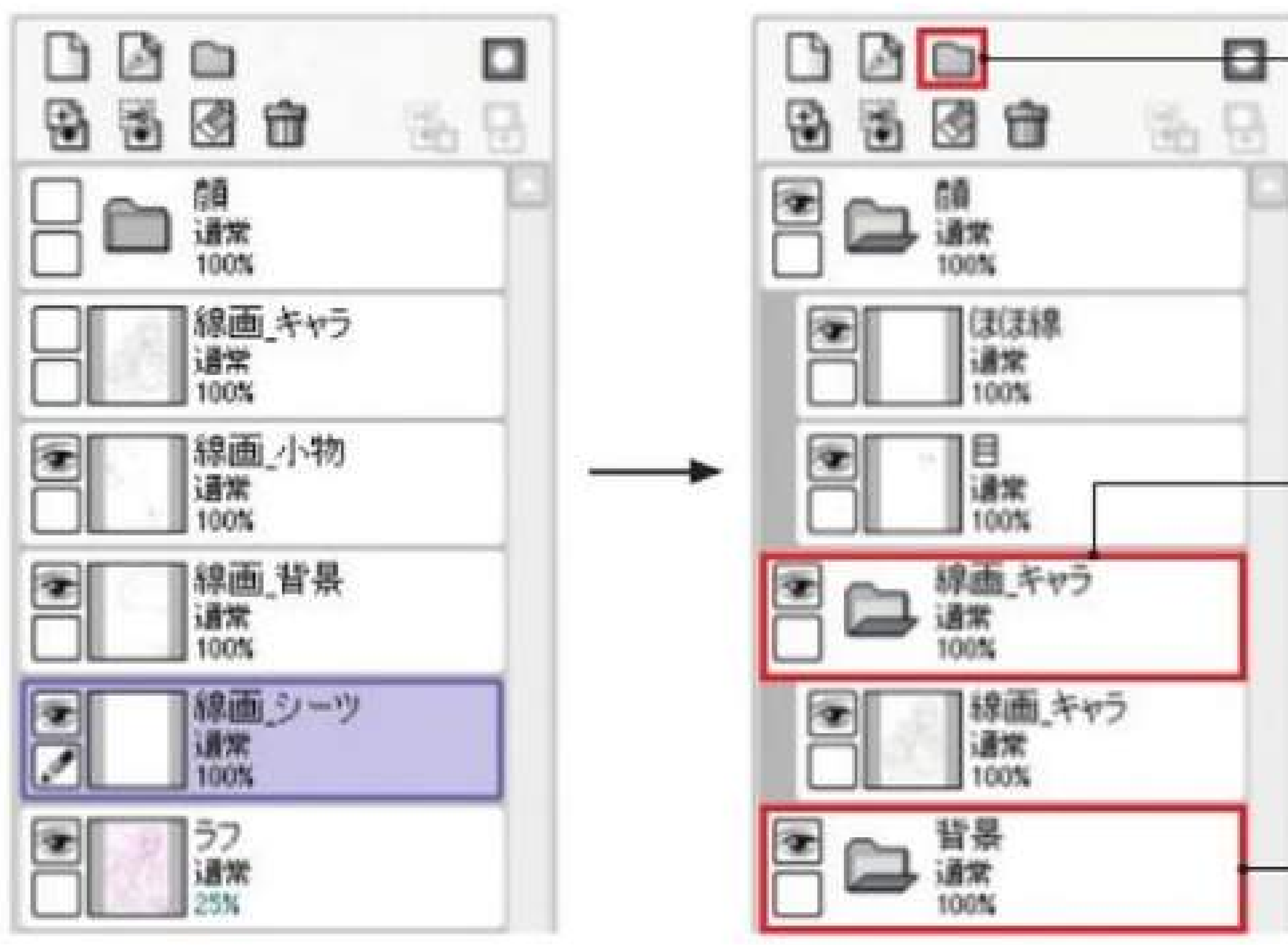
02

# SAIとPhotoshopでカラーの着彩

Chapter. 01で作成した線画にSAIで着色し、Photoshopで加工や仕上げを行います。SAIはレイヤー機能や塗りの選択範囲、微妙なタッチを再現できる着色など、塗りの機能も充実しています。それらの機能を効率よく使って着色する方法を紹介していきます。

## ベース色の着色

01 レイヤーが増えてきたので、レイヤーセットを使って整理しました。




①「レイヤーセットの新規作成」を2回クリックしました

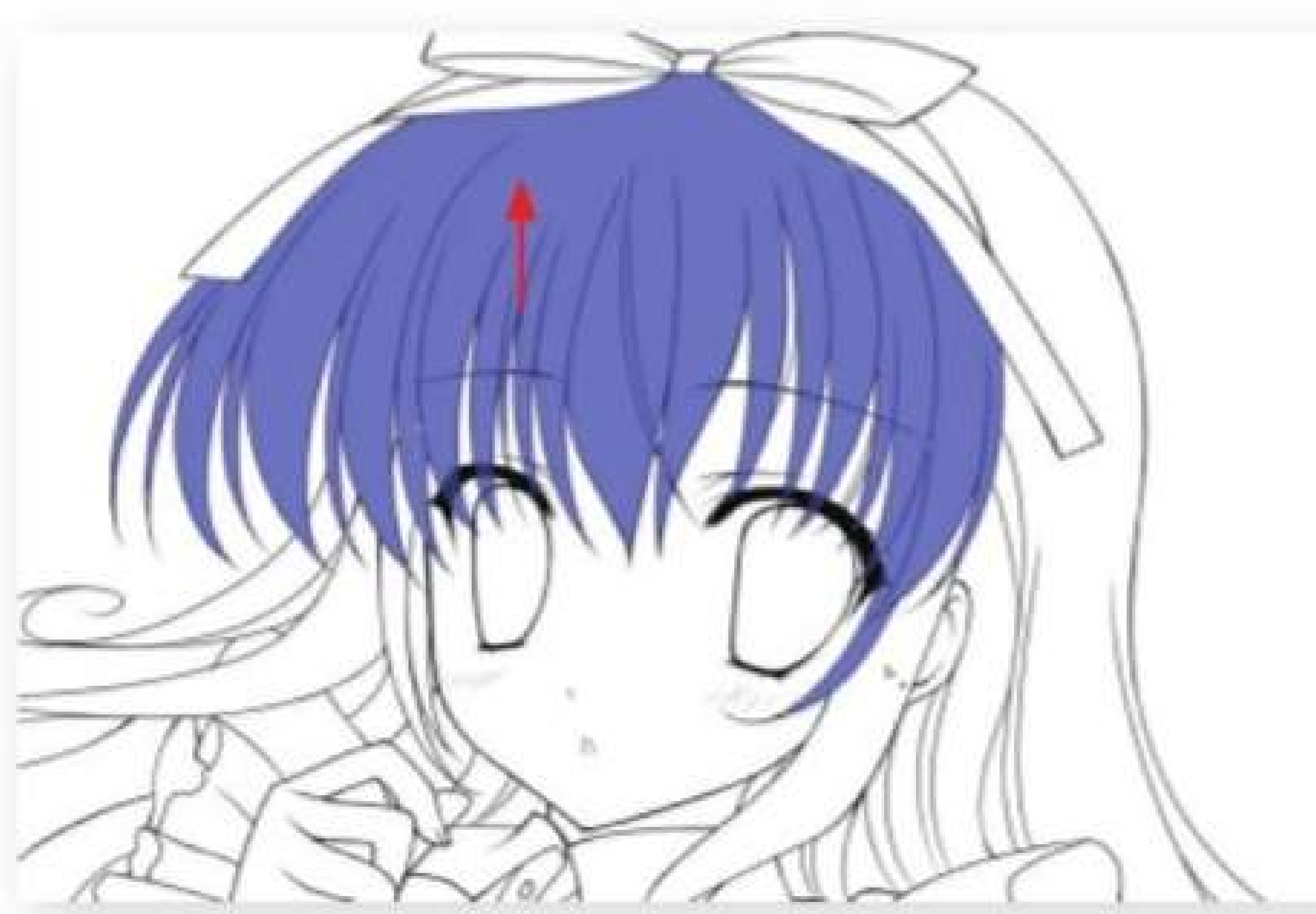
②レイヤーセットの名称を「線画_キャラ」に変更し、「線画_キャラ」レイヤーを中に移動しました

③レイヤーセットの名称を「背景」に変更し、背景関連のレイヤーを中に移動しました

02 パーツごとに塗り分けるためのレイヤー分けに入ります。「線画_キャラ」レイヤーを選択し、「自動選択」ツールで塗りたい範囲を設定します。



②「自動選択」を選択しました



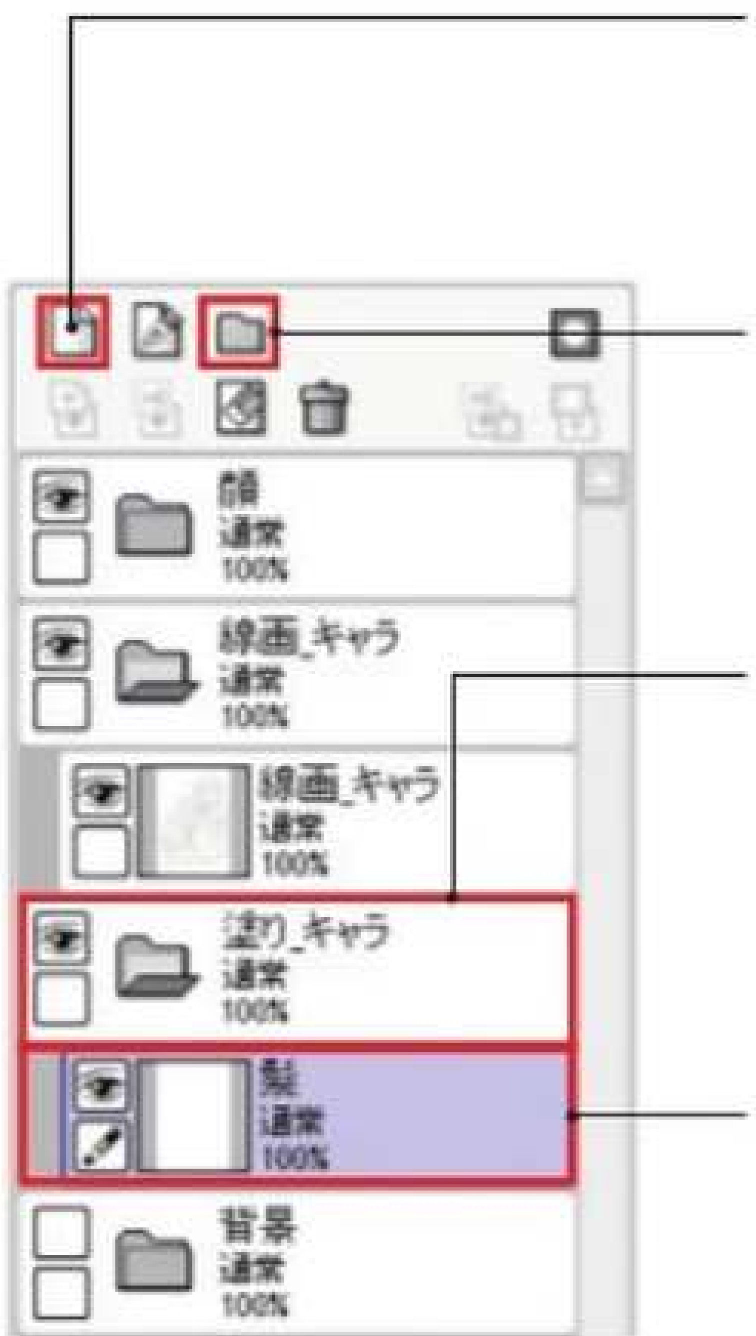
③髪の毛の内側をクリックして、前髪の選択範囲を設定しました




①「線画_キャラ」レイヤーを選択しました

03

新規レイヤーを「線画_キャラ」レイヤーより下に作成し、「バケツ」ツールや大き目のブラシを使って色を塗ります。SAIの「バケツ」ツールはたまに離れた選択範囲同士を一気に塗れない時があるようなので、ブラシのほうがいいかもしれません。




③「通常レイヤーの新規作成」をクリックしました

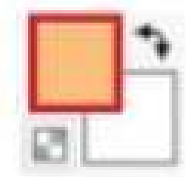
①「レイヤーセットの新規作成」をクリックしました

②レイヤーセットの名称を「塗り_キャラ」に変更しました

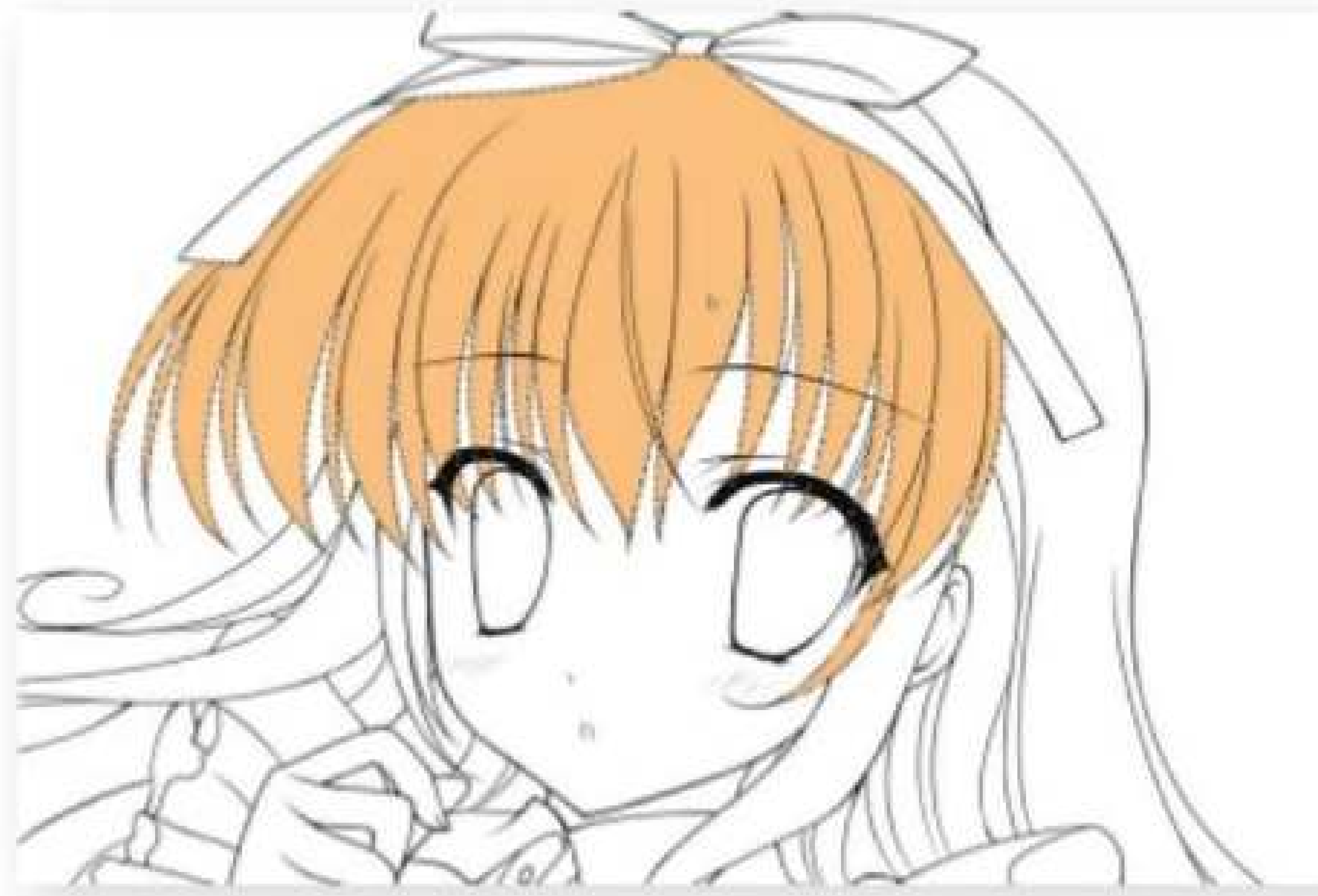
④レイヤーの名称を名称を「髪」に変更しました




⑤「バケツ」ツールを選択しました



⑥「描画色」を選択しました



⑦選択範囲の内側をクリックして、設定した描画色で塗りました

04

他の部分の髪も着色して、髪全体を塗りました。最後に選択範囲を解除します。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「500」にしました



③選択範囲を設定すれば、大きな「ブラシ」ツールでおおざっぱに塗ってもはみ出すことはありません

05

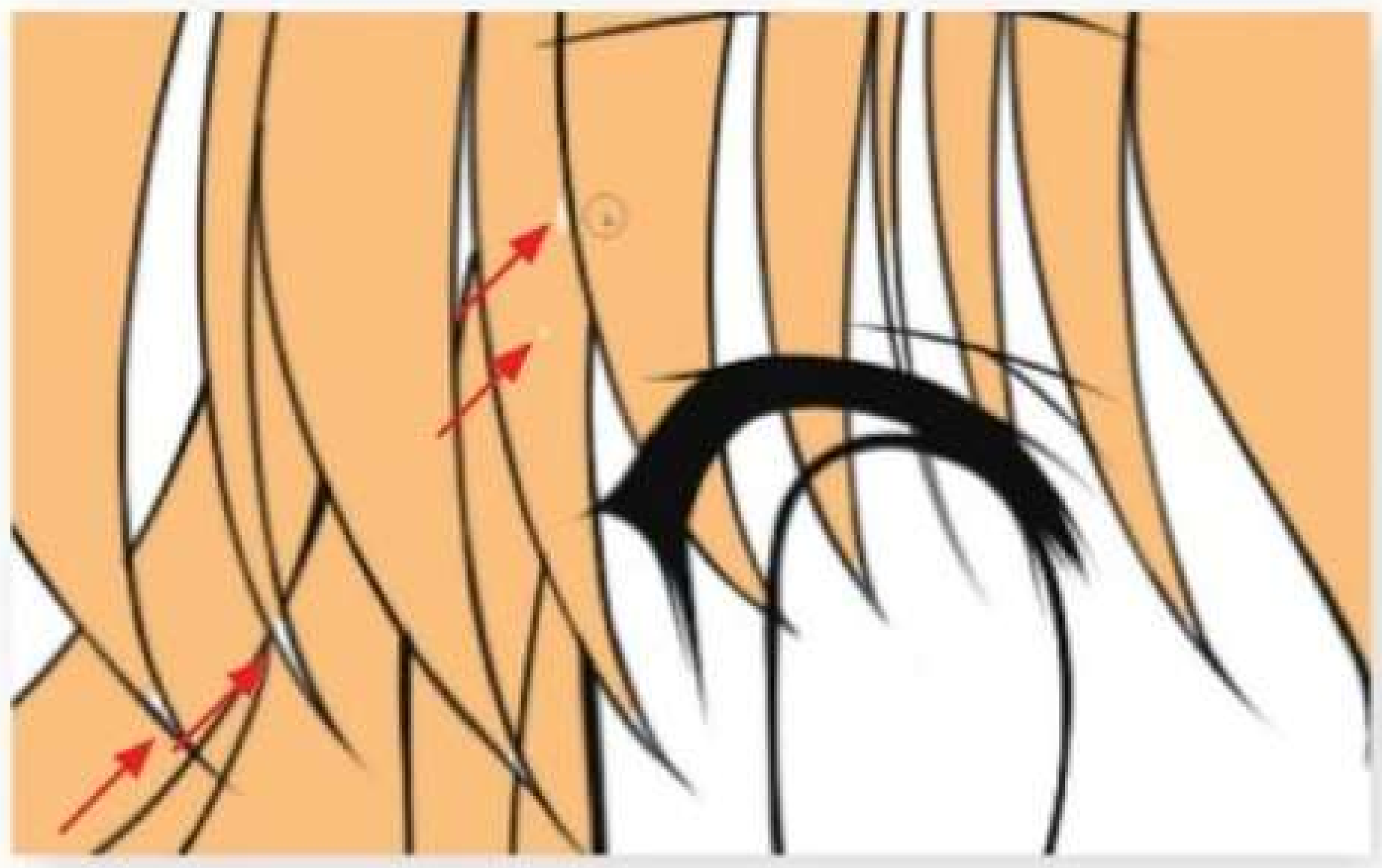
大雑把に色が塗れたら、ビューを拡大してみましょう。細かな塗り残しがあるので（特に毛先などの細い部分）、それを「筆」ツールなどで綺麗に塗りつぶしていきます。地道な作業が続きますが、適度に休憩しながら頑張りましょう。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「3.5」にしました



③ビューを拡大すると、塗りもらしが見つかります

↓



④「筆」ツールで塗りつぶしました

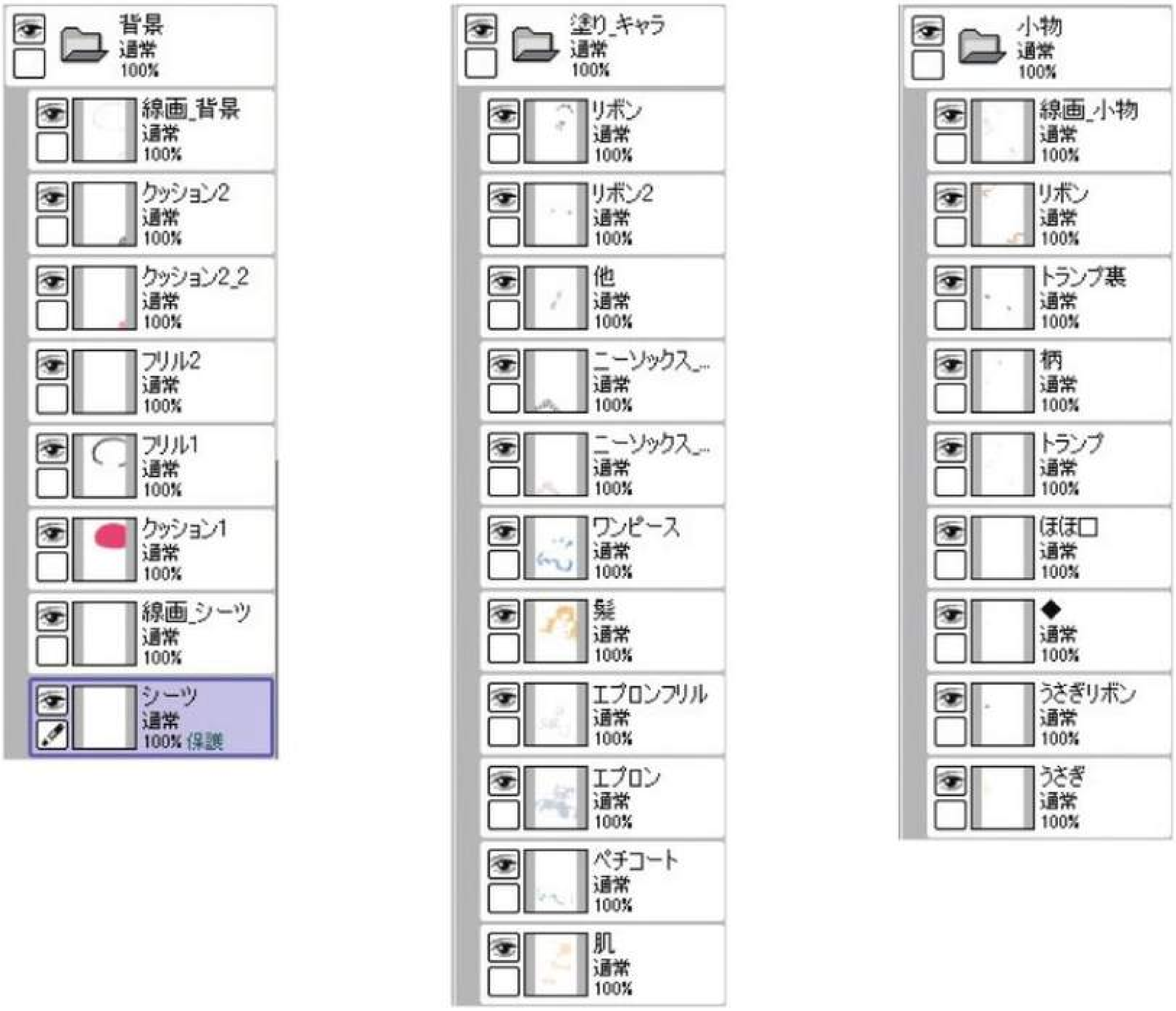
06

このような感じでどんどん塗り分けします。



07

「塗り_キャラ」や「小物」、「背景」レイヤーは、それぞれ別のフォルダにまとめておくと分かりやすくなります。




08

この時点でなんとなく、完成時の色を考えながら変更しておきます。これでやっと色が塗れます。塗り分けができました。

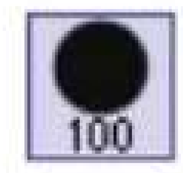


## シーツの陰影の着色

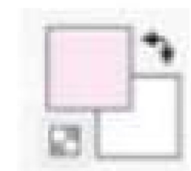
01 「シーツ」レイヤーを選択し、薄い紫色でシーツの影を塗ります。




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「100」にしました



④描画色を設定しました




①「シーツ」レイヤーを選択した状態です



⑤「筆」ツールで塗りつぶしました

02 シーツに描いた影にグラデーションをつけるために、新規レイヤーを作成します。「シーツ」レイヤーの上に一枚新しいレイヤーを追加して、「下のレイヤーでクリッピング」にチェックを入れます。すると、下のレイヤーの範囲内だけに色が塗られます。




②「下のレイヤーでクリッピング」にチェックを入れました

③クリッピングが設定されたことを示すピンクの線が追加されました

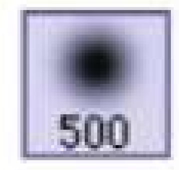
①新規レイヤーを作成し、名称を「影1」に変更しました

03

「筆」ツールで塗った後、「消しゴム」ツールで形を整えます。



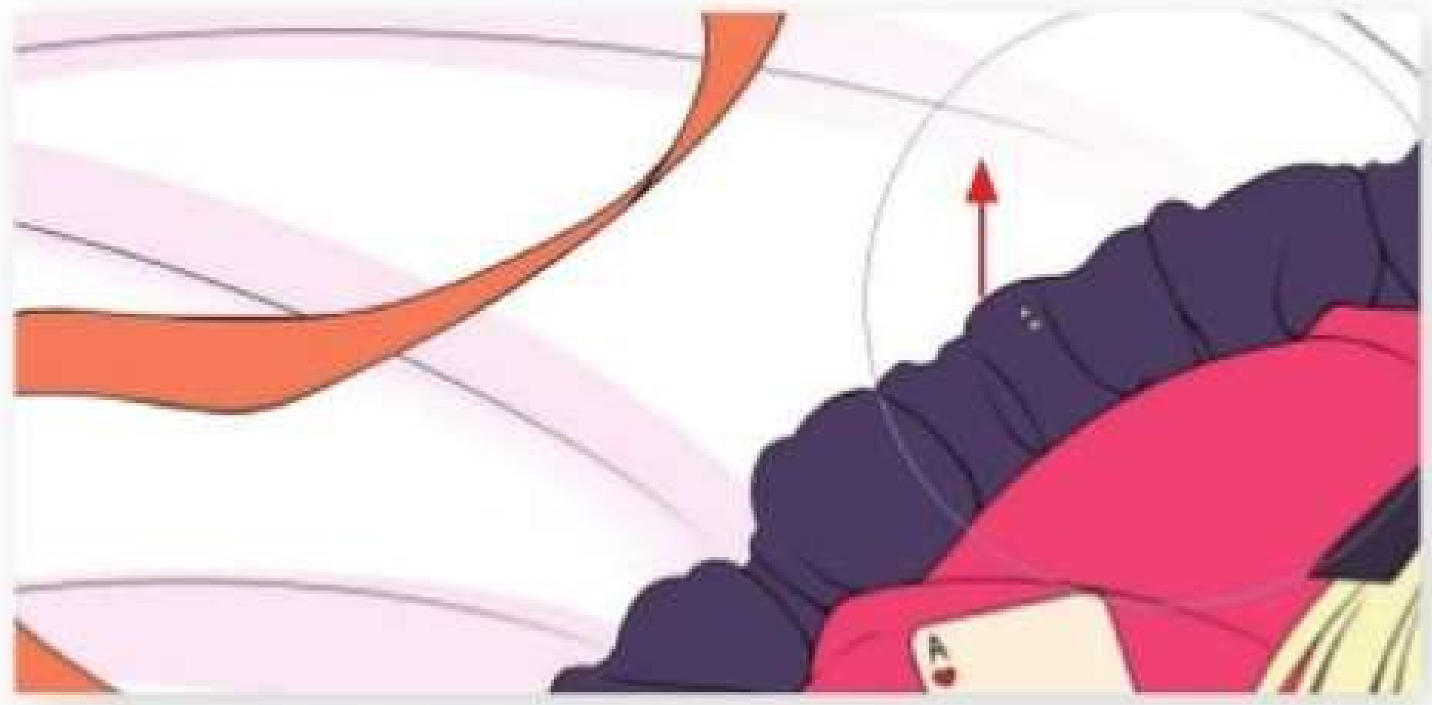

②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「500」にしました



①ぼかす前の状態です



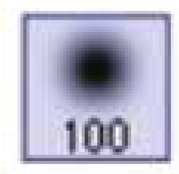
④「消しゴム」ツールで先端をぼかしました

04

「ぼかし」ツールを使うと、大きく綺麗にぼかせえるので便利です。布っぽさを意識しながら塗っていきます。



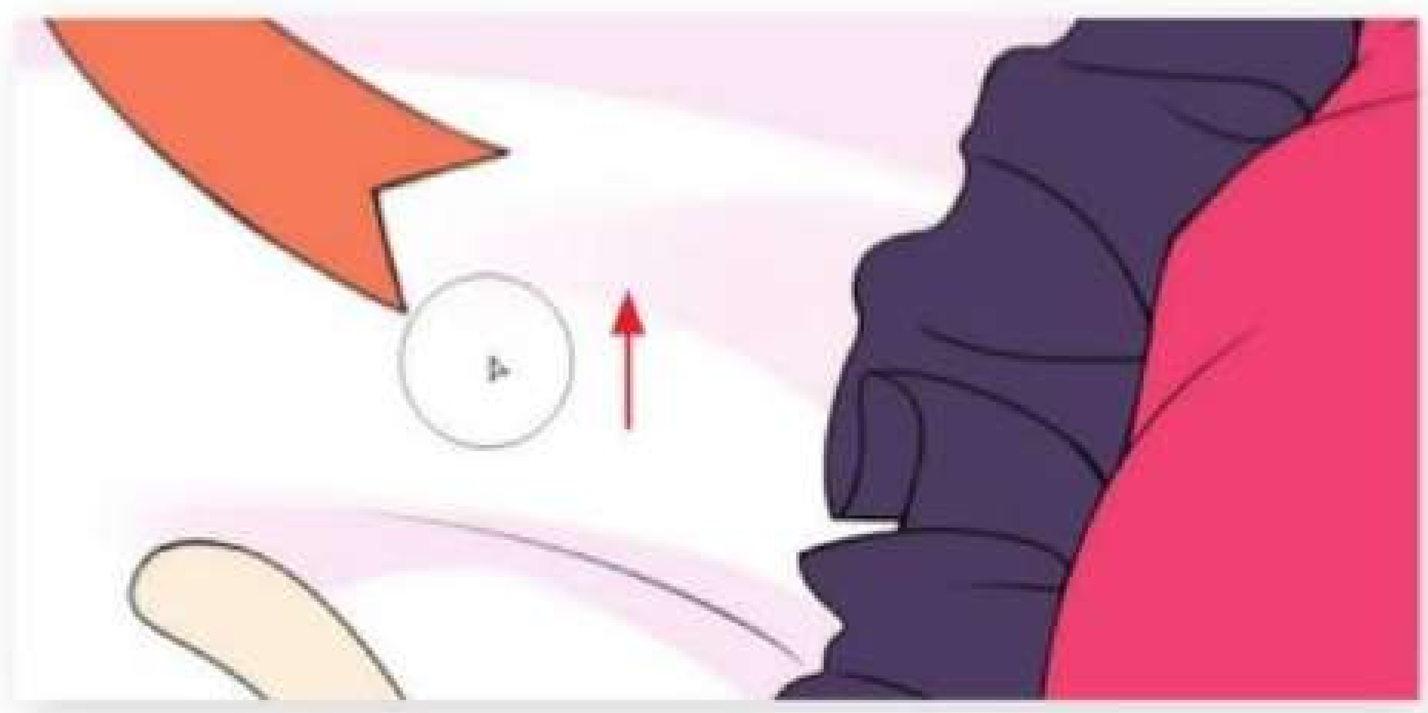

②「ぼかし」ツールを選択しました




③サイズを「100」にしました



①ぼかす前の状態です



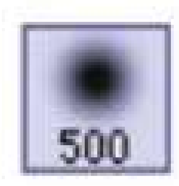
④「ぼかし」ツールで先端をぼかしました

05

シワの部分などは一度「筆」ツールで色を塗ったあと、「ブラシ濃度」を低く設定した「消しゴム」ツールで少し消すとそれっぽいニュアンスになります。たまにアクセントとして入れるといいでしょう。



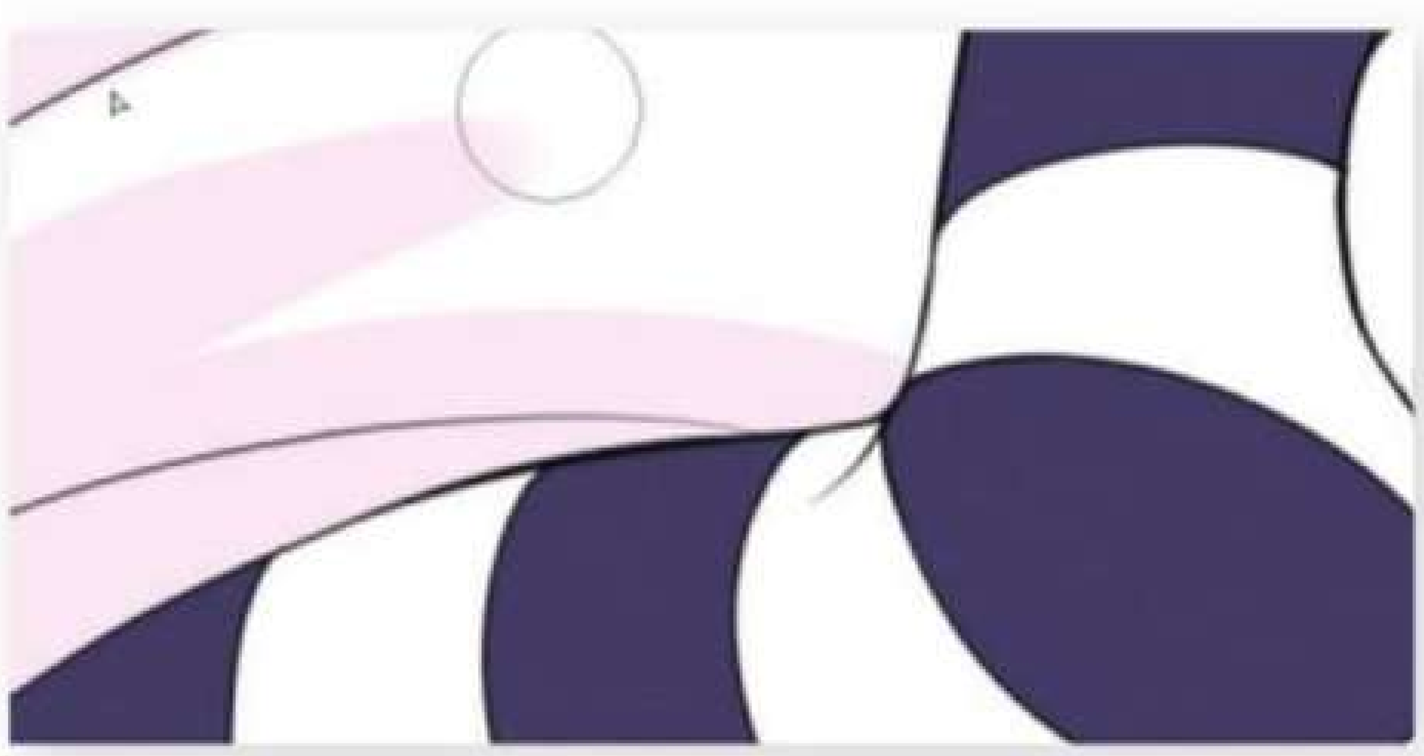

②「消しゴム」ツールを選択しました



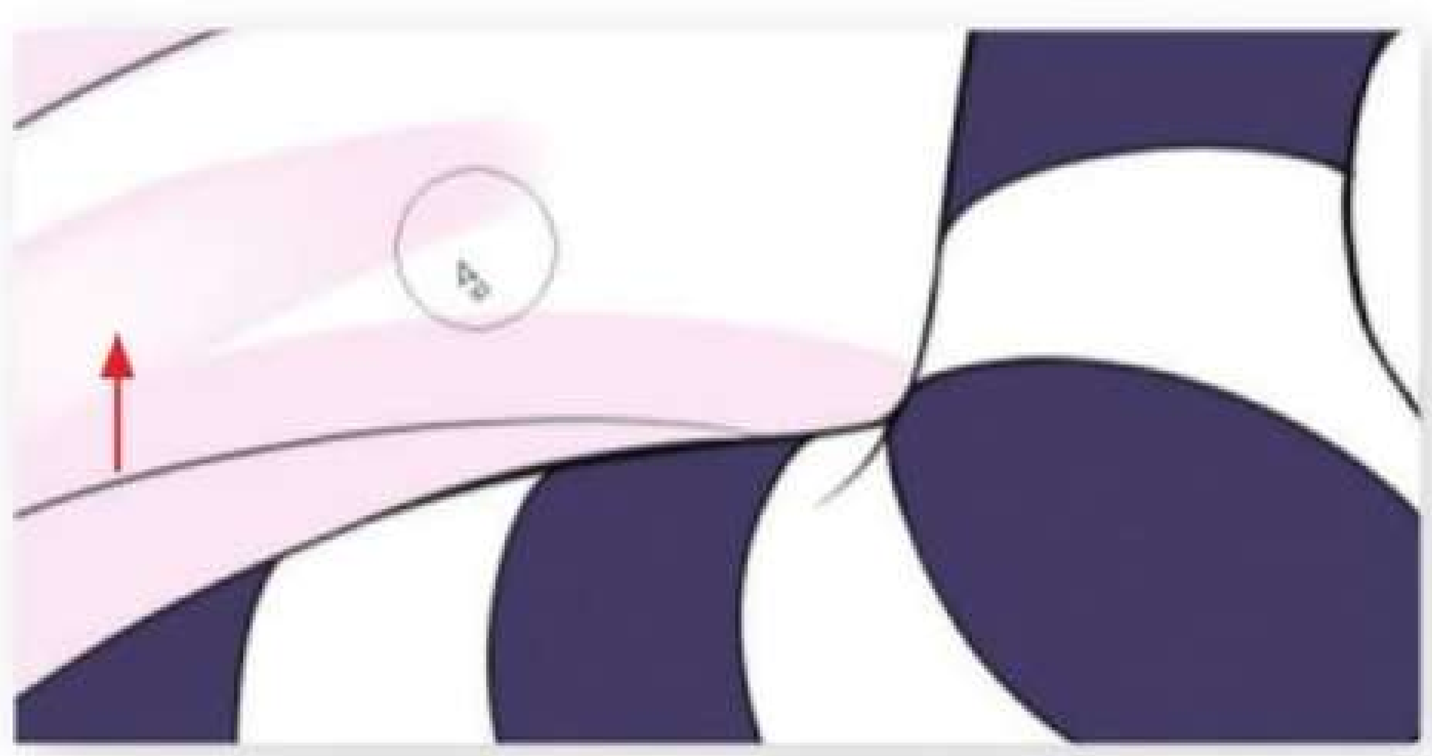

③サイズを「500」にしました




④「ブラシ濃度」を「36」に設定しました



①影を塗りました



⑤「消しゴム」ツールでシワに陰影を加えました

## 06

2段目の影を入れるための新規レイヤーを作成します。「シーツ」レイヤーに塗った影よりも濃い色を選びましょう。今度は主に、キャラクターや小物などからシーツに落ちる影を描き込みます。

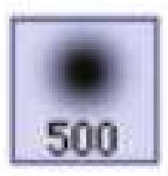



②「影2」レイヤーにクリッピングを設定しました

①新規レイヤーを作成し、名称を「影2」に変更しました



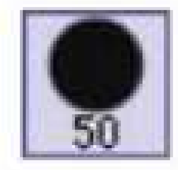

⑦「消しゴム」ツールを選択しました



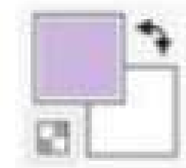

⑧サイズを「500」にしました



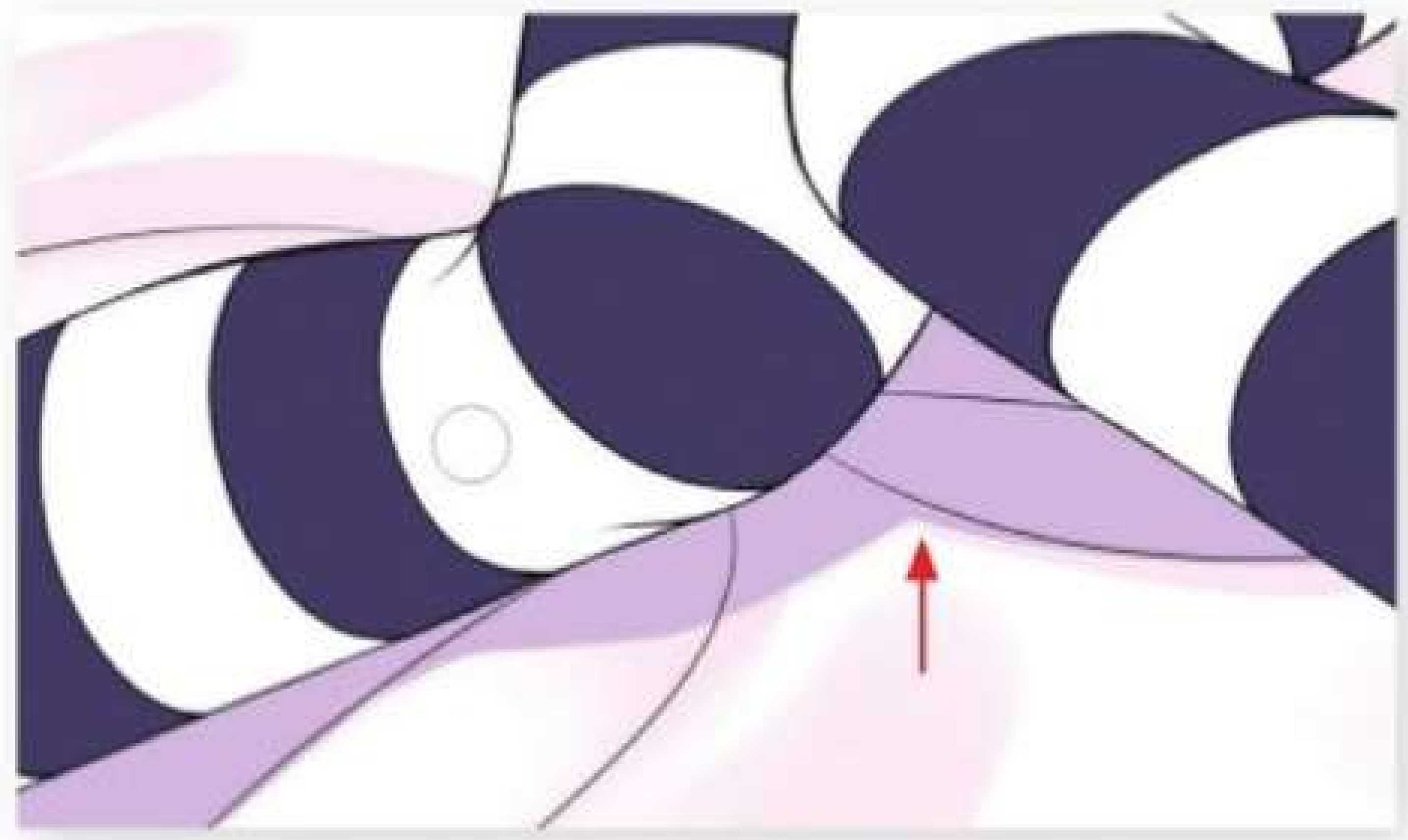

③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「50」にしました

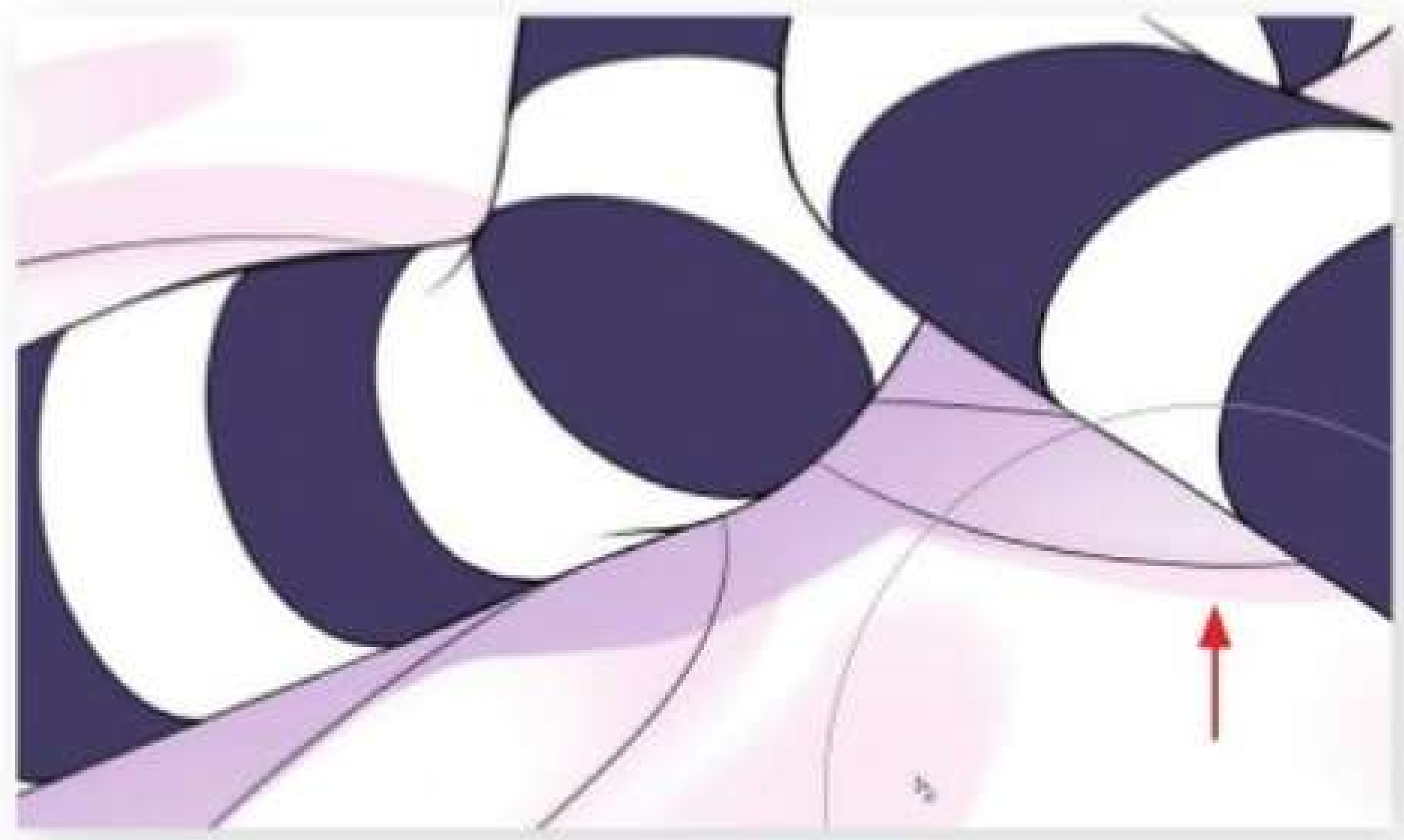


⑤描画色を設定しました



⑥1段目よりも濃い2段目の影を着色しました

↓



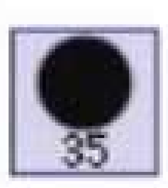
⑨2段目の影を「消しゴム」ツールでぼかしました

## 07

2段目の影をさらに塗ります。



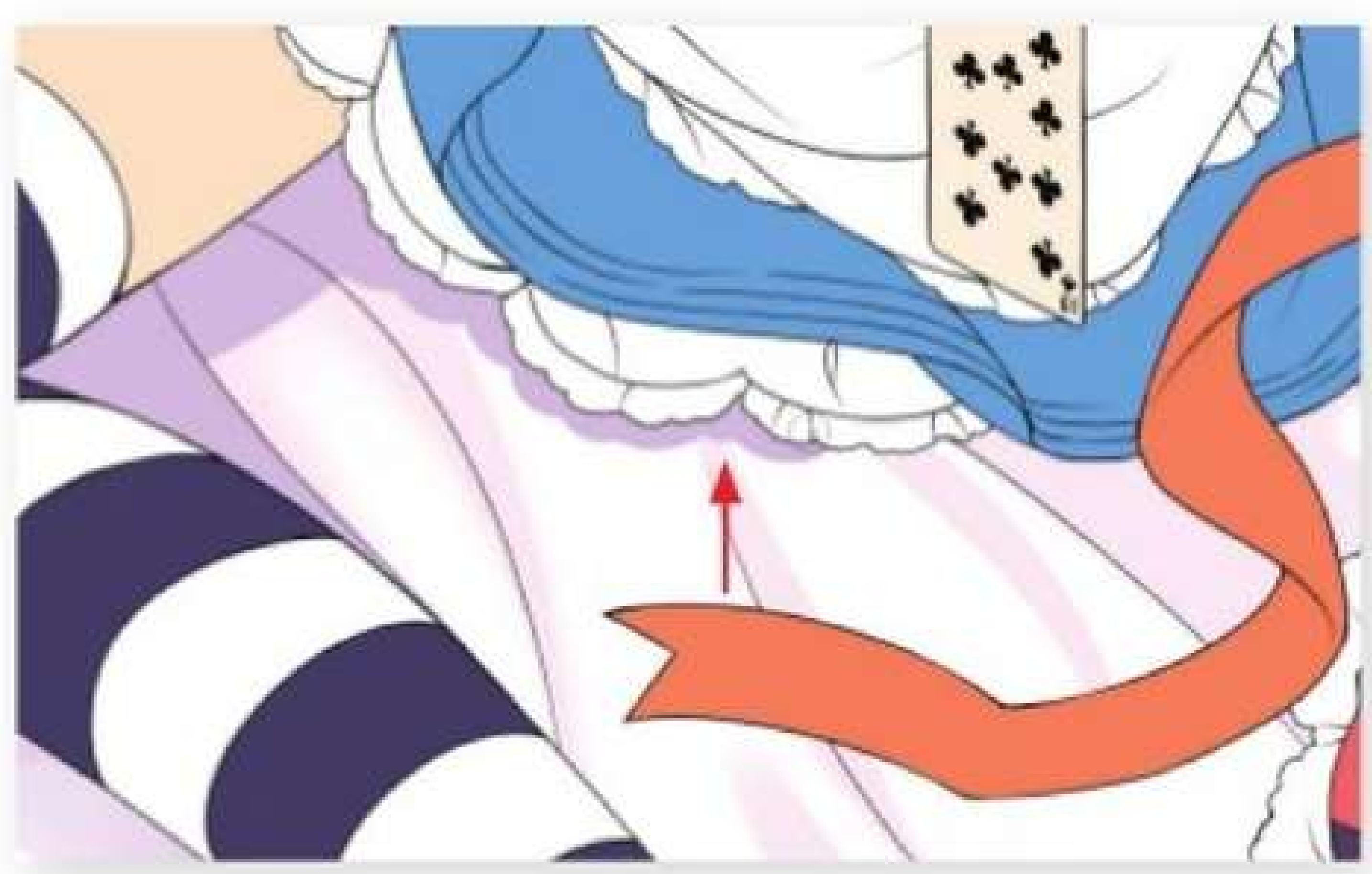

①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「35」にしました



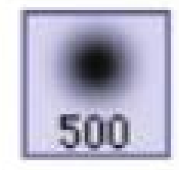
③描画色を設定しました



**08** 大き目の「消しゴム」ツールでなでるようにぼかします。するとグラデーションのような効果が表れ、綺麗になります。




②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「500」にしました



①2段目の影を着色した状態です

→



④「消しゴム」ツールでぼかしました

**09** 足元の影も大き目の「消しゴム」ツールでなでるようにぼかします。




②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「350」にしました



①2段目の影を着色した状態です

→



④「消しゴム」ツールでぼかしました

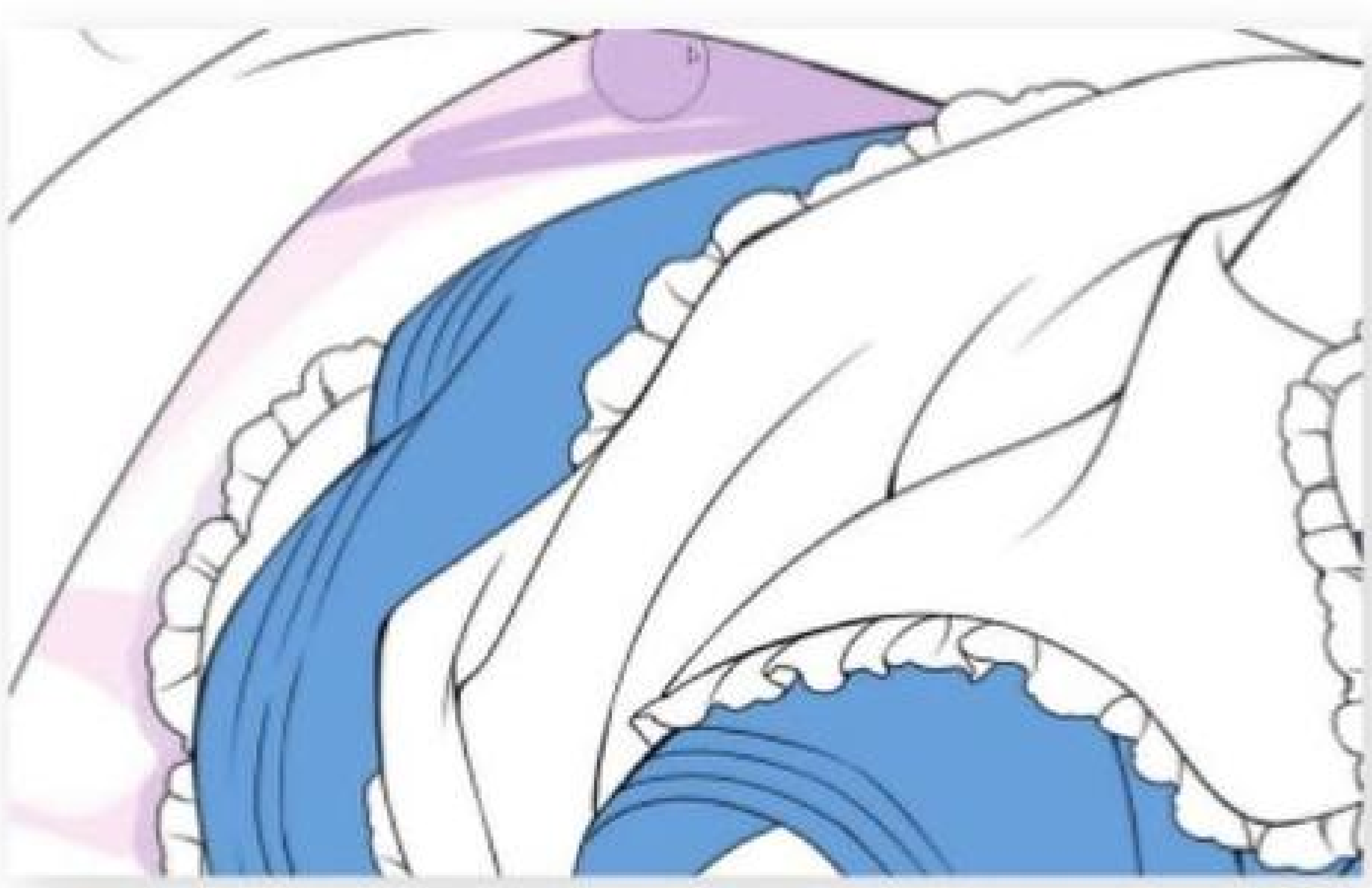
**10** エプロンのひもの影もぼかします。




②「消しゴム」ツールを選択しました

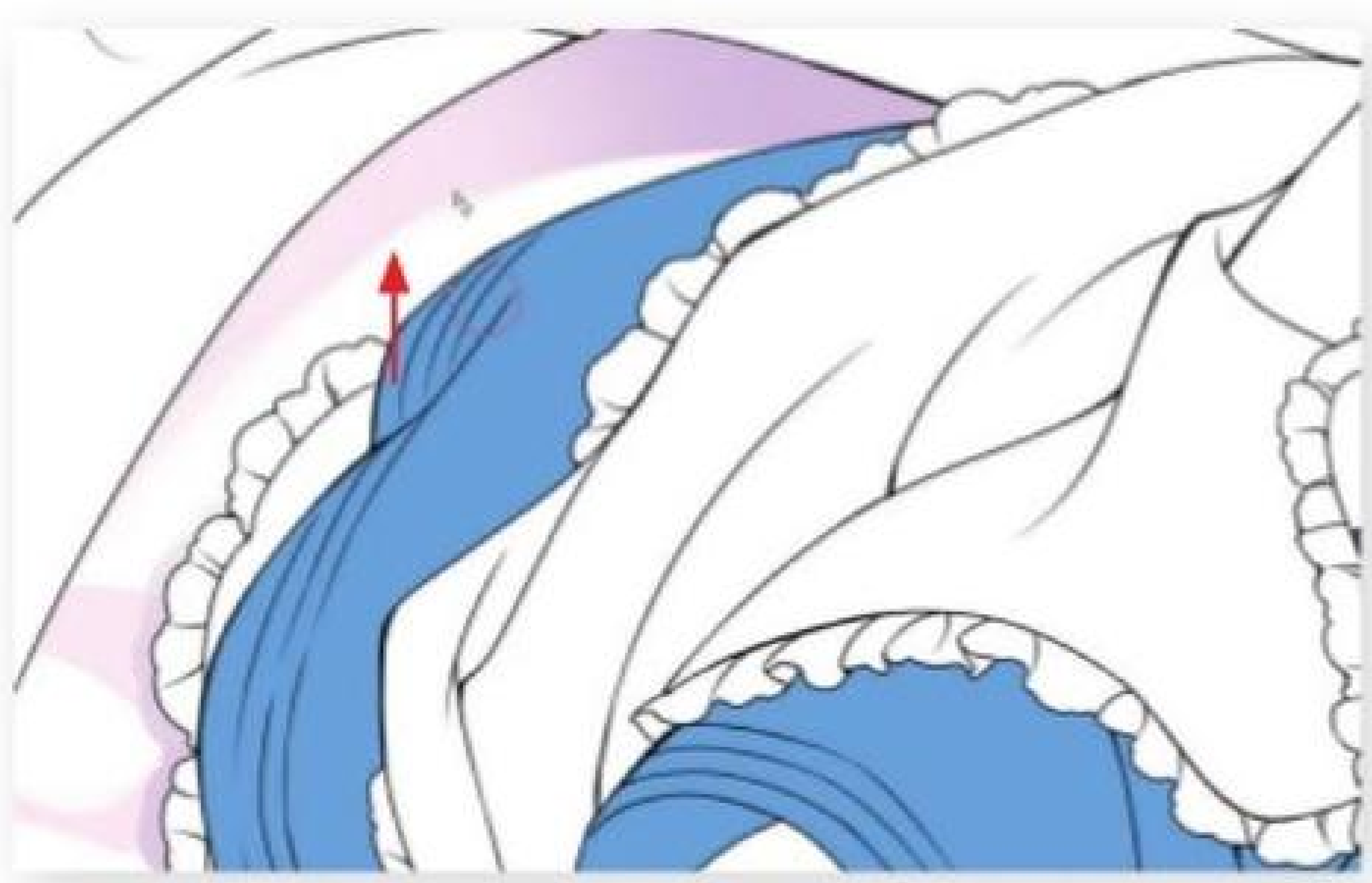



③サイズを「50」にしました



①2段目の影を着色中の状態です

→



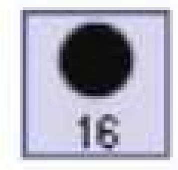
④「消しゴム」ツールでぼかしました

11

小物の下に影をつけましょう。割とシーツに密着して置かれているものなので、あまり影は深く入れないようにします。深く入れるとシーツから浮かんでいるように見えてしまうからです。



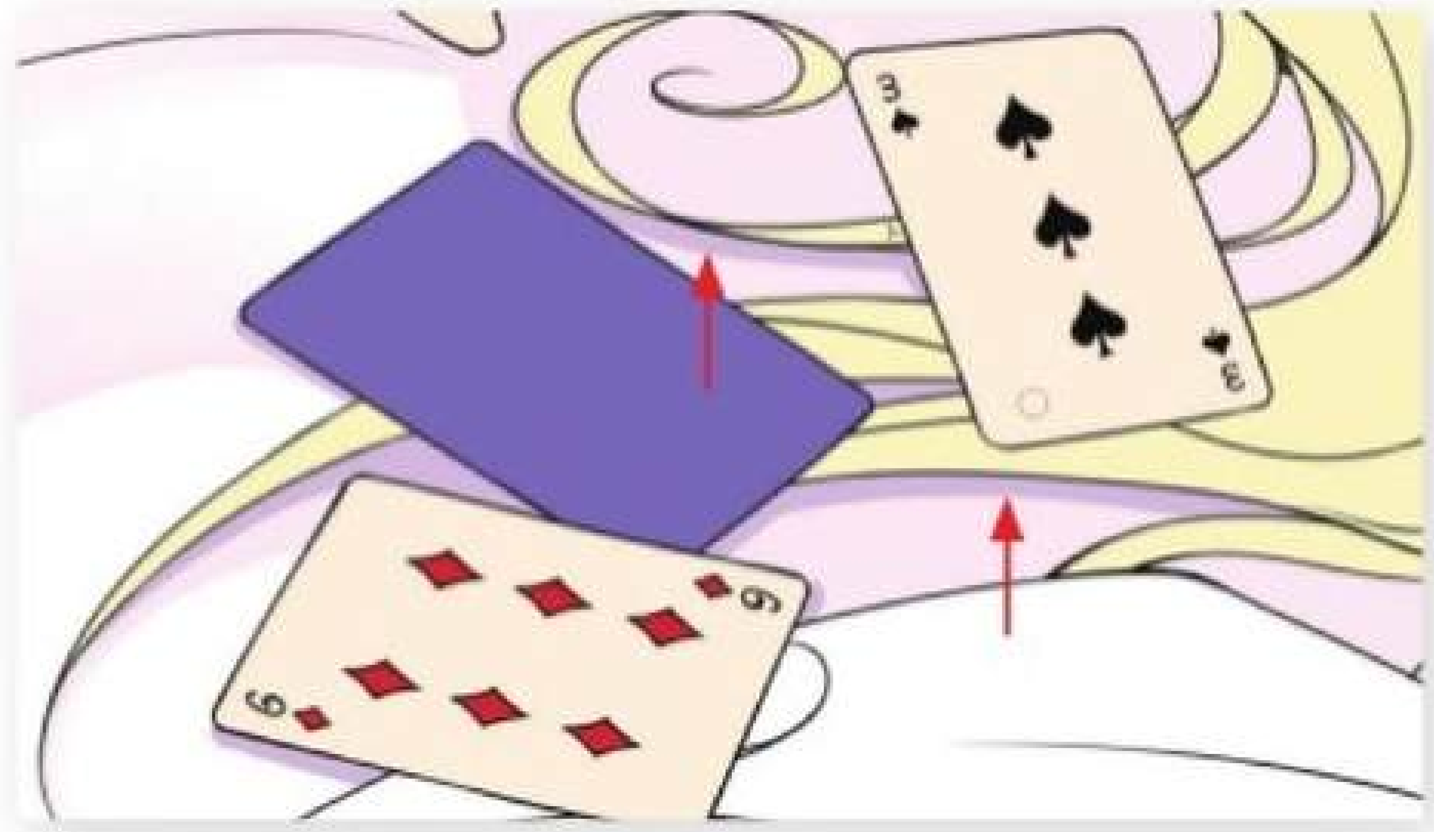

②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「16」にしました



①影を入れる前の状態です



④「影2」レイヤーに影を入れました

12

髪の影も同じように塗ります。




②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「350」にしました



①2段目の影を着色した状態です



④「消しゴム」ツールでぼかしました

13

左上にあるリボンの影を追加します。こちらは先ほどとは違って、若干上から垂れ下がっているように見せたいので、少し離して影を入れます。



## クッションの陰影の着色

**01** クッションの影を塗るために、新規レイヤーを作成します。ここでも最初に大まかに影を乗せていきます。クッションの丸みを考えながら影の分量を決めます。




②「影1」レイヤーにクリッピングを設定しました

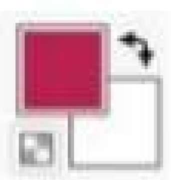
①新規レイヤーを作成し、名称を「影1」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「300」にしました



⑤描画色を設定しました



⑥おおまかに濃い影を塗っていきました

**02** 細かい部分を塗ります。「消しゴム」ツールの「ブラシ濃度」を低めに設定して、余分なところを徐々に消していきます。布っぽさを出すために、あまり色の境目をはっきりとさせないように消します。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「100」にしました




③「ブラシ濃度」を「38」に設定しました



④濃い影を「消しゴム」ツールでぼかしました

03

シワの部分はキャラクターの重みで引っ張られている感じが出るように、「消しゴム」ツールで形を整えます。



①形を整える前の状態です




②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「20」にしました



④「消しゴム」ツールで形を整えました

04

同様にクッションの端も「消しゴム」ツールで形を整えます。



①形を整える前の状態です




②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「80」にしました



④「消しゴム」ツールで立体感が出るように形を整えました

## 05

キャラクターから落ちる影を描くための新規レイヤーを作成します。落ちる影を入れると、重みが増します。

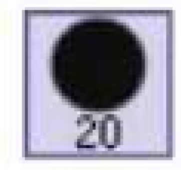



②「影2」レイヤーにクリッピングを設定しました

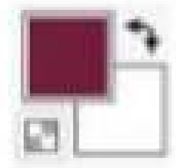
①新規レイヤーを作成し、名称を「影2」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「20」にしました



⑤描画色を設定しました



↓

## 06

大きな「消しゴム」ツールで影の先端をぼかします。




①「消しゴム」ツールを選択しました



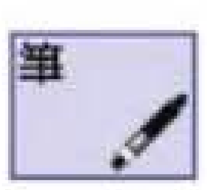

②サイズを「250」にしました



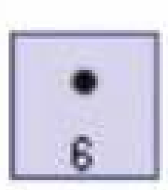
↓

## 07

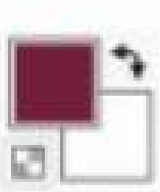
髪の毛の先端の影はくっきり入れました。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「6」にしました



③描画色を設定しました



08

クッションのフリルを塗ります。形をよく考えながら影を置いていきます。先端は「消しゴム」ツールで消してぼかします。




②「影1」レイヤーにクリッピングを設定しました

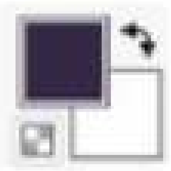
①新規レイヤーを作成し、名称を「影1」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました



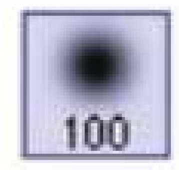

④サイズを「50」にしました



⑤描画色を設定しました




⑦「消しゴム」ツールを選択しました




⑧サイズを「100」にしました



⑥影を追加しました



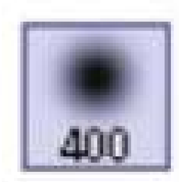
⑨影をぼかしました

09

塗り終わったら「影」レイヤーの「不透明度保護」にチェックを入れ、影の色より少し明るめの色を、「エアブラシ」ツールで乗せていきます。グラデーションさせる感じで、影に少しメリハリが出ます。




②「エアブラシ」ツールを選択しました




③サイズを「400」にしました



①色を入れる前の状態です



④「エアブラシ」ツールで色を乗せて、少し明るくしました

10 このような感じでクッションが塗れました。



## 髪の1段目の陰影

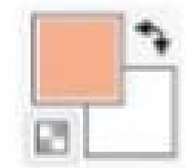
**01** そろそろキャラクターを塗っていきます。髪の毛を塗りましょう。まずは影の分量を見ながら大まかに色を置きます。




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「200」にしました



⑤描画色を設定しました




②「影1」レイヤーにクリッピングを設定しました

①新規レイヤーを作成し、名称を「影1」に変更しました



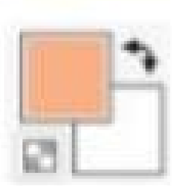
**02** サイズの大きい「エアブラシ」ツールで前髪からぼかします。




①「エアブラシ」ツールを選択しました




②サイズを「200」にしました



③描画色を設定しました



**03** 左上のほうから光が当たっていると仮定しています。その状況を念頭に、「消しゴム」ツールで影の形を取っていきましょう。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「20」にしました

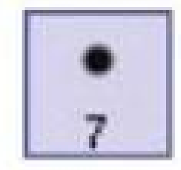


③「影1」レイヤーの左側を「消しゴム」ツールで消して明るくしました

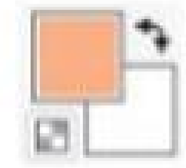
## 04 髪のふさの厚みなどを考えながら影を塗ります。



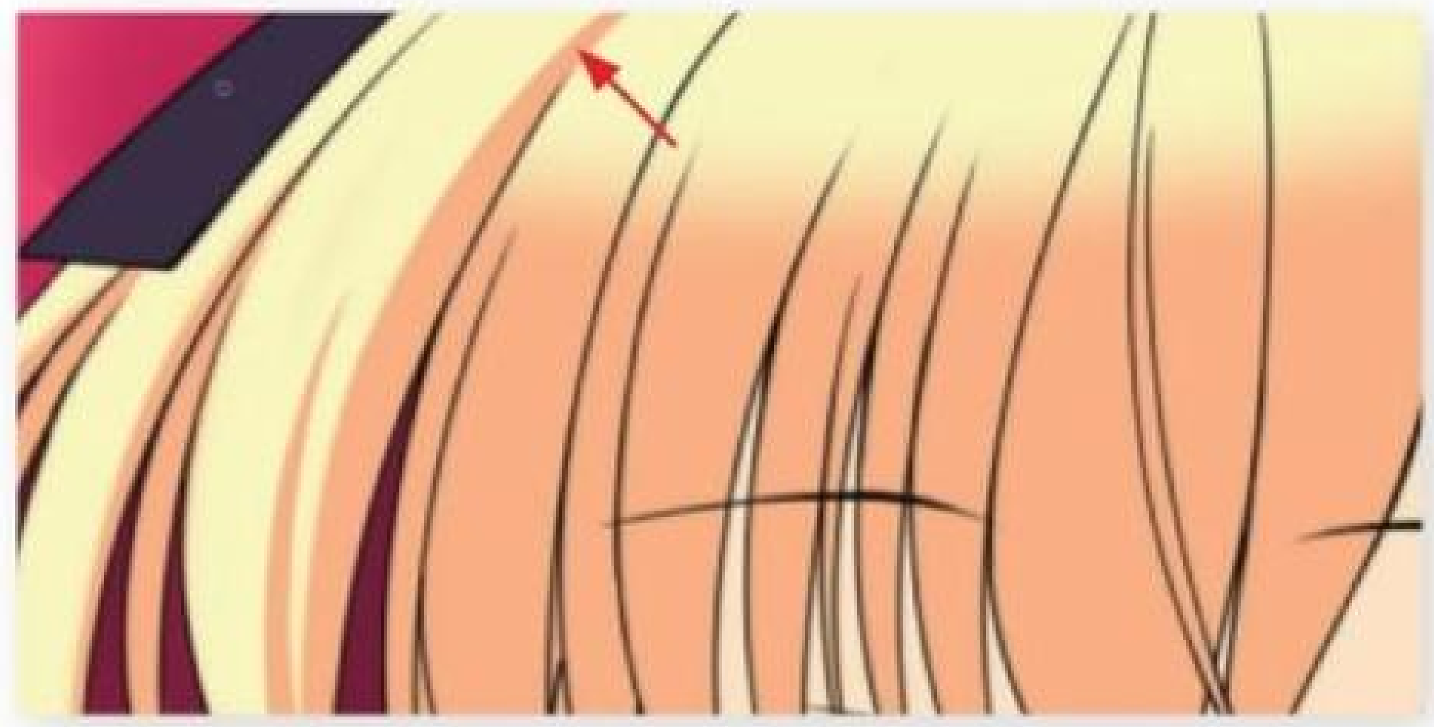
②「筆」ツールを選択しました



③サイズを「7」にしました

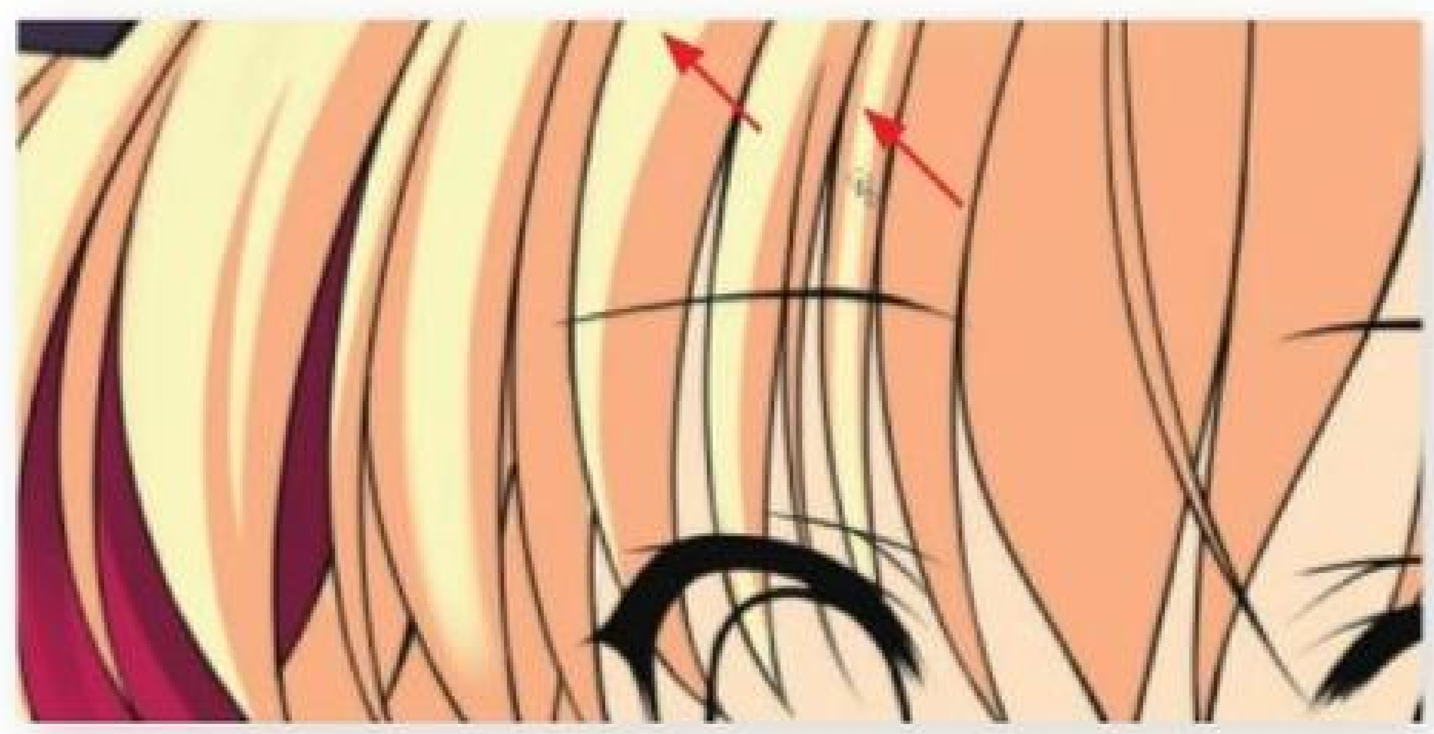

④描画色を設定しました


①さらに「影1」レイヤーを「消しゴム」ツールで消しました


⑤「筆」ツールで立体感を加えました

## 05 あまり影の形が均一になり過ぎないよう気をつけます。


①「消しゴム」ツールで消しました


②「筆」ツールで塗り、さらに「消しゴム」ツールで消しました

## 06 「消しゴム」ツールで大雑把に消し、「筆」ツールで描き込む作業を繰り返します。



①「消しゴム」ツールを選択しました



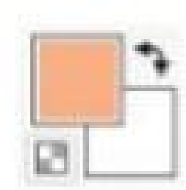
②サイズを「35」にしました



④「筆」ツールを選択しました



⑤サイズを「14」にしました


⑥描画色を設定しました


③大雑把に「消しゴム」ツールで消しました

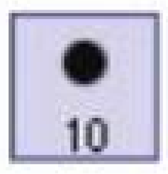

⑦「筆」ツールで影を追加しました

## 07

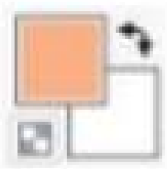
影をさらに入れます。多少ランダムな感じが出るように塗ると、リズムが出ます。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「10」にしました



③描画色を設定しました





## 08

影の先端をぼかします。大きめの「消しゴム」ツールでなでるように消してみましょう。グラデーションがかかって、柔らかい雰囲気になりました。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「250」にしました

## 09

のっぺり感が気になったので、少し消してみました。




②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「35」にしました



①影が均等な状態です



④「消しゴム」ツールでふさに段差をつけました

10

後ろの髪を塗ります。今回の女の子はウエーブヘアなので、ウエーブの立体感に気をつけながら塗ります。丸みが出るように形を取りましょう。



①立体感を出す前の状態です




②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「70」にしました



④「影1」レイヤーを「消しゴム」ツールで消しました




⑤「消しゴム」ツールを選択しました




⑥サイズを「50」にしました



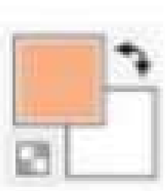
⑦髪の毛の流れに合わせてさらに「消しゴム」ツールで消しました




⑧「エアブラシ」ツールを選択しました




⑨サイズを「200」にしました



⑩描画色を設定しました



⑪髪の毛の先端を暗くしました

11 髪の毛の流れに沿って「影1」レイヤーを消して明るくします。

②「消しゴム」ツールを選択しました

③サイズを「50」にしました



①「影1」レイヤーを削除する前の状態です



④「消しゴム」ツールで明るくしました

12 削除した「影1」レイヤーに立体感が出るように影を追加します。

①「筆」ツールを選択しました

②サイズを「50」にしました

③描画色を設定しました



13 追加した影をうっすらと「消しゴム」ツールで消し、面にリズム感を出します。

①「消しゴム」ツールを選択しました

②サイズを「70」にしました

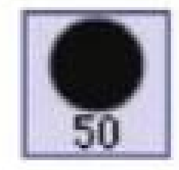


14

バランスを確認しながらほかの場所も「消しゴム」ツールで消し、ハイライトを加えます。




②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「50」にしました



①「影1」レイヤーを消す前の状態です

→



④「消しゴム」ツールでハイライトを追加しました

15

一通り塗れました。ここまで完成した状態です。



## 髪の2段目の陰影

**01** 2段目の影を塗るために、1段目の上に新規レイヤーを作成します。暗くなる部分をよく考えながら色を塗ります。




②「影2」レイヤーにクリッピングを設定しました

①新規レイヤーを作成し、名称を「影2」に変更しました

③「筆」ツールを選択しました

④サイズを「8」にしました

⑤描画色を設定しました



**02** 前髪から落ちる影を塗ります。

①「筆」ツールを選択しました

②サイズを「9」にしました

③描画色を設定しました



**03** 前髪の部分に2段目の影を入れます。あまり影を入れ過ぎると重たく見えるので、分量に気をつけながら塗ります。

①「筆」ツールを選択しました

②サイズを「9」にしました

③描画色を設定しました



**04** 最後に先端を「消しゴム」ツールで消してぼかします。柔らかい雰囲気になります。

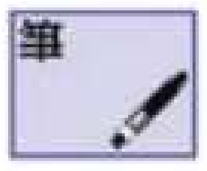
①「消しゴム」ツールを選択しました

②サイズを「300」にしました

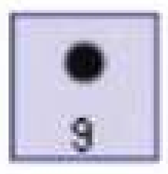


## 05

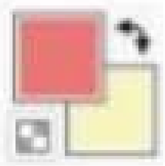
同様に前髪全体に影を描き込みます。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「9」にしました



③描画色を設定しました



## 06

丁寧にぼかします。繰り返すことで前髪の影ができました。




①「消しゴム」ツールを選択しました

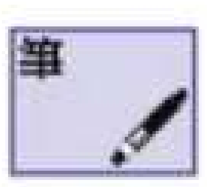



②サイズを「300」にしました



## 07

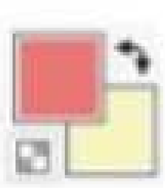
髪が重なって暗くなりそうな部分にも影を入れましょう。立体感が出てきます。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「9」にしました



③描画色を設定しました



④２段目の影を塗りました




⑤「消しゴム」ツールを選択しました




⑥サイズを「120」にしました



⑦影をぼかしました

## 08

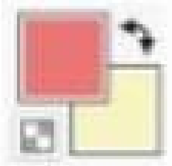
後ろの部分は割と暗くなる部分が大きいと思うので、影の分量も多目にしました。ただ色を置いただけだとちょっと重たい感じなので、少しだけ「消しゴム」ツールで消し、グラデーションをかけてみました。



①「筆」ツールを選択しました



②サイズを「20」にしました


③描画色を設定しました


④２段目の影を塗りました



⑤「消しゴム」ツールを選択しました



⑥サイズを「300」にしました

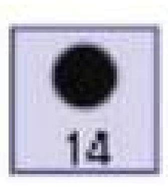

⑦影をぼかしました

## 09

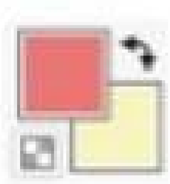
髪の毛の形や立体感を意識しながら影の部分を塗り、「消しゴム」ツールでグラデーションをかけます。



①「筆」ツールを選択しました



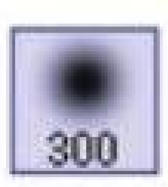
②サイズを「14」にしました


③描画色を設定しました


④２段目の影を塗りました



⑤「消しゴム」ツールを選択しました



⑥サイズを「300」にしました


⑦影をぼかしました

10

同じように右側の部分にも影を塗ります。「筆」ツールで丁寧に影を描き、「消しゴム」ツールで形を整えます。



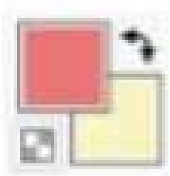
①影を入れる前の状態です




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「20」にしました



④描画色を設定しました



⑤2段目の影を塗りました




⑥「消しゴム」ツールを選択しました




⑦サイズを「20」にしました



⑧影をぼかしました

## 11

たまに塗った上から「ブラシ濃度」を下げた「消しゴム」ツールで、なでるように消してもアクセントになって綺麗です。

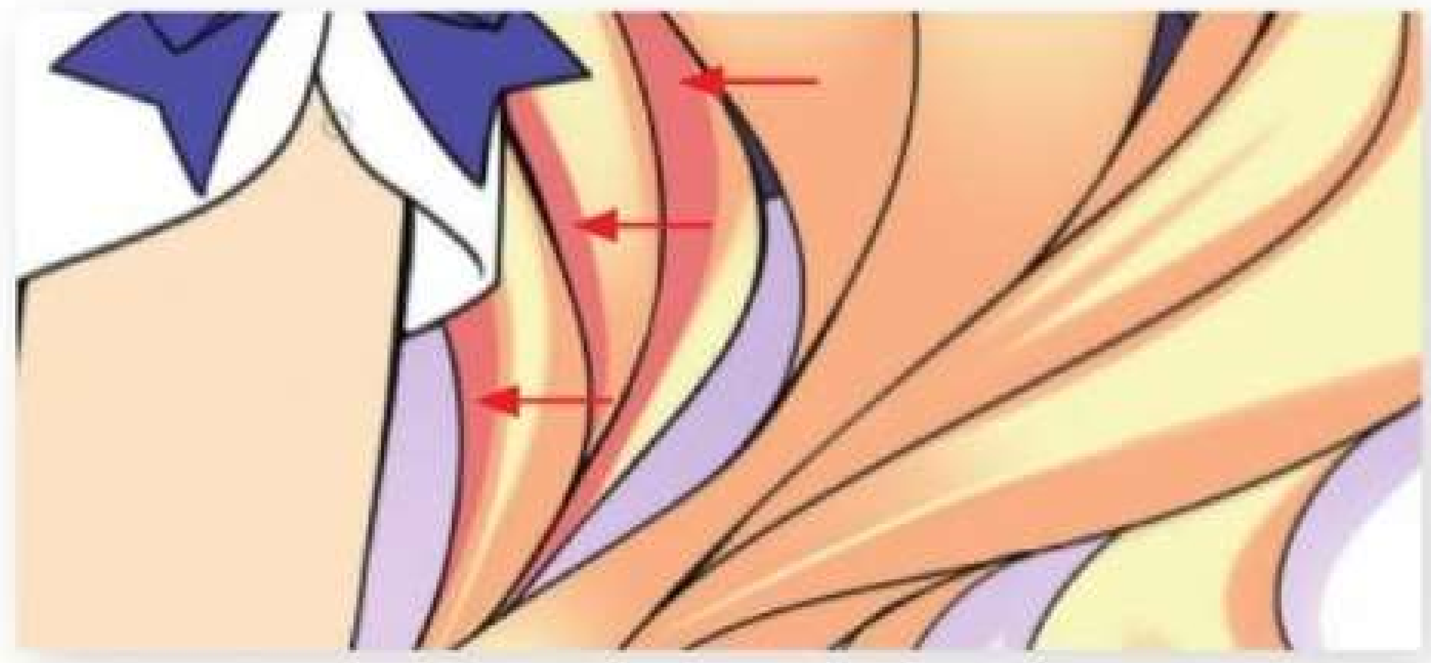
②「筆」ツールを選択しました

③サイズを「12」にしました

④描画色を設定しました



①影を入れる前の状態です



⑤2段目の影を塗りました

⑥「消しゴム」ツールを選択しました

⑦サイズを「30」にしました



⑧影をぼかしました

## 12

入り組んだところを丁寧に描きます。きちんと手を入れると、出来上がりが綺麗です。

①「筆」ツールを選択しました

②サイズを「12」にしました

③描画色を設定しました

⑤「消しゴム」ツールを選択しました

⑥サイズを「30」にしました



④2段目の影を塗りました



⑦影をぼかしました

13

後ろの部分の髪の毛です。腕から落ちる影もきちんと描きましょう。

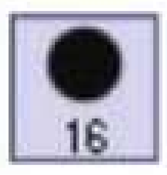


①影を入れる前の状態です

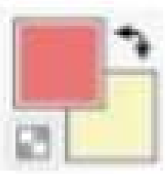
↓




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「16」にしました



④描画色を設定しました



⑤2段目の影を塗りました

14

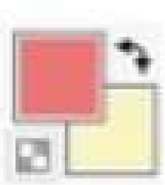
髪の重なるところを中心に描き込みます。さらさらした感じが出るように気をつけましょう。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「14」にしました



③描画色を設定しました



④2段目の影を塗りました

↓




⑤「消しゴム」ツールを選択しました




⑥サイズを「200」にしました



⑦影をぼかしました

**15** 頭の部分にも影を塗ります。「水彩筆」ツールを使って、なでるように色を置いていきます。これだけでも、それなりに綺麗に見えると思います。



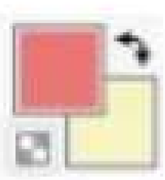
①影を入れる前の状態です




②「水彩筆」ツールを選択しました




③サイズを「40」にしました



④描画色を設定しました



⑤2段目の影を塗りました

**16** 足りない部分を描き足しながら、後は好みで形を整えましょう。頭部の立体感が出てきました。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「35」にしました



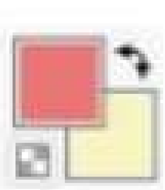
③影を「消しゴム」ツールで整えました




④「水彩筆」ツールを選択しました




⑤サイズを「14」にしました



⑥描画色を設定しました



⑦立体感がでるように影を追加しました

# 髪の3段目の陰影

01 さらに立体的に見えるように、3段目の影を塗ります。このあたりは好みによってなくてもいいでしょう。



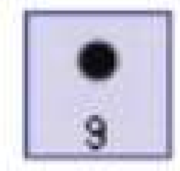

②「影3」レイヤーにクリッピングを設定しました

①新規レイヤーを作成し、名称を「影3」に変更しました

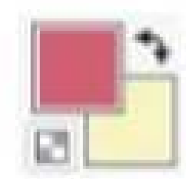
02 影の量は、2段目の影よりもちょっと少なめにすると綺麗です。バランスを見て、一番暗くなるところに効果的に入れましょう。




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「9」にしました



④描画色を設定しました



①3段目の影を入れる前の状態です



⑤3段目の影を塗りました

03 エプロンの影など、人物から髪に落ちる影を描き入れます。重たくならないように、少し影を消しグラデーションにしました。




①「筆」ツールを選択し、サイズを「20」、描画色を設定しました




③「消しゴム」ツールを選択し、サイズを「500」にしました



②3段目の影を塗っている途中の状態です



④影をぼかしました

04 さらに細かく、髪の流れを考えながら影を描き込み完成です。



## ワンピースの1段目の陰影

01

次にワンピースに影を塗るための新規レイヤーを作成します。全体のバランスを考えながら、大まかに影を塗りましょう。

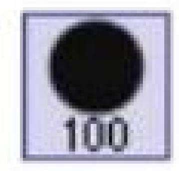



②「影1」レイヤーにクリッピングを設定しました

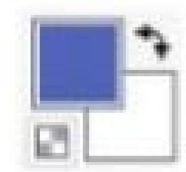
①「ワンピース」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影1」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「100」にしました



⑤描画色を設定しました



02

なんとなく立体感を意識しながら描きます。形は後で整えるので、あまり気にせずどんどん色を塗っていきましょう。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「100」にしました



③描画色を設定しました



03

スカートの裾を、丸く柔らかい感じになるように塗ります。影の分量に気をつけましょう。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「100」にしました



③描画色を設定しました

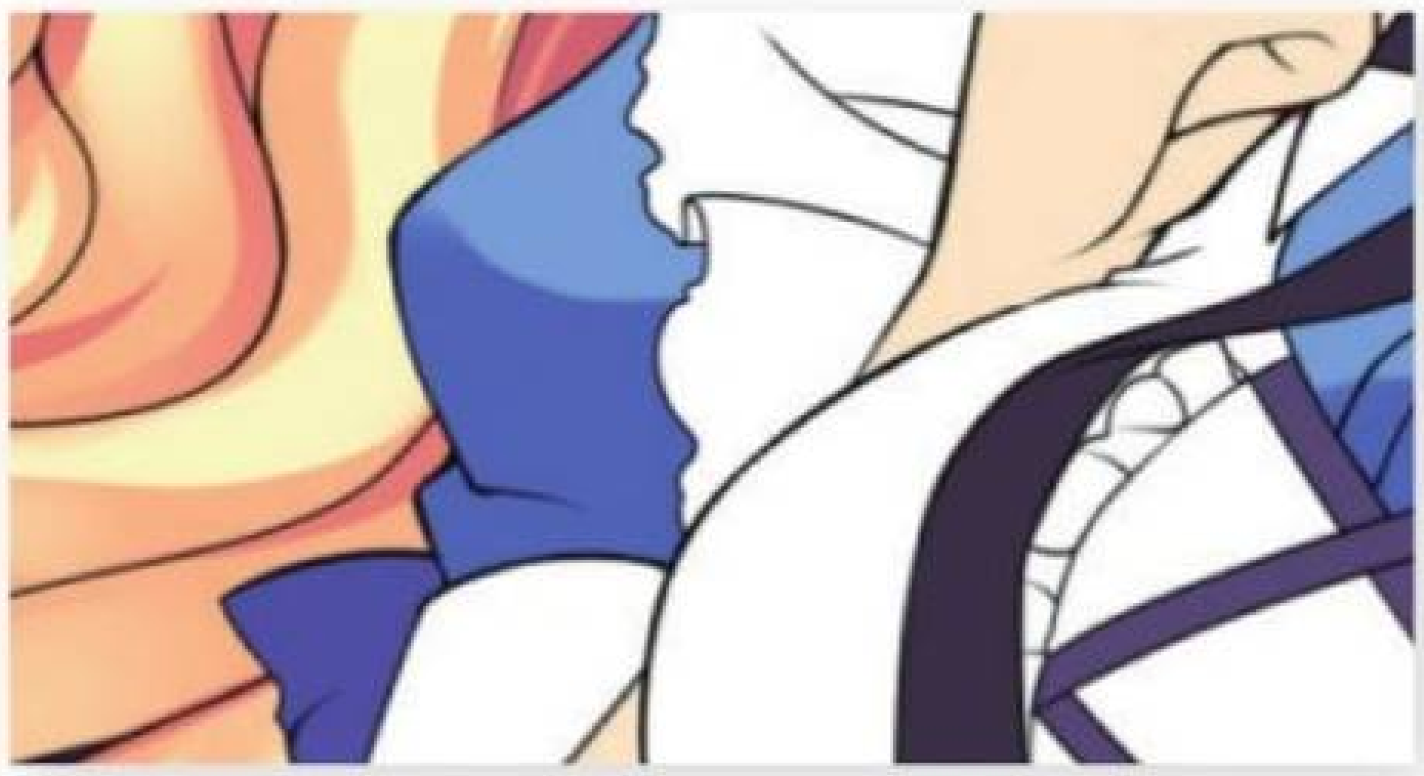


## 04

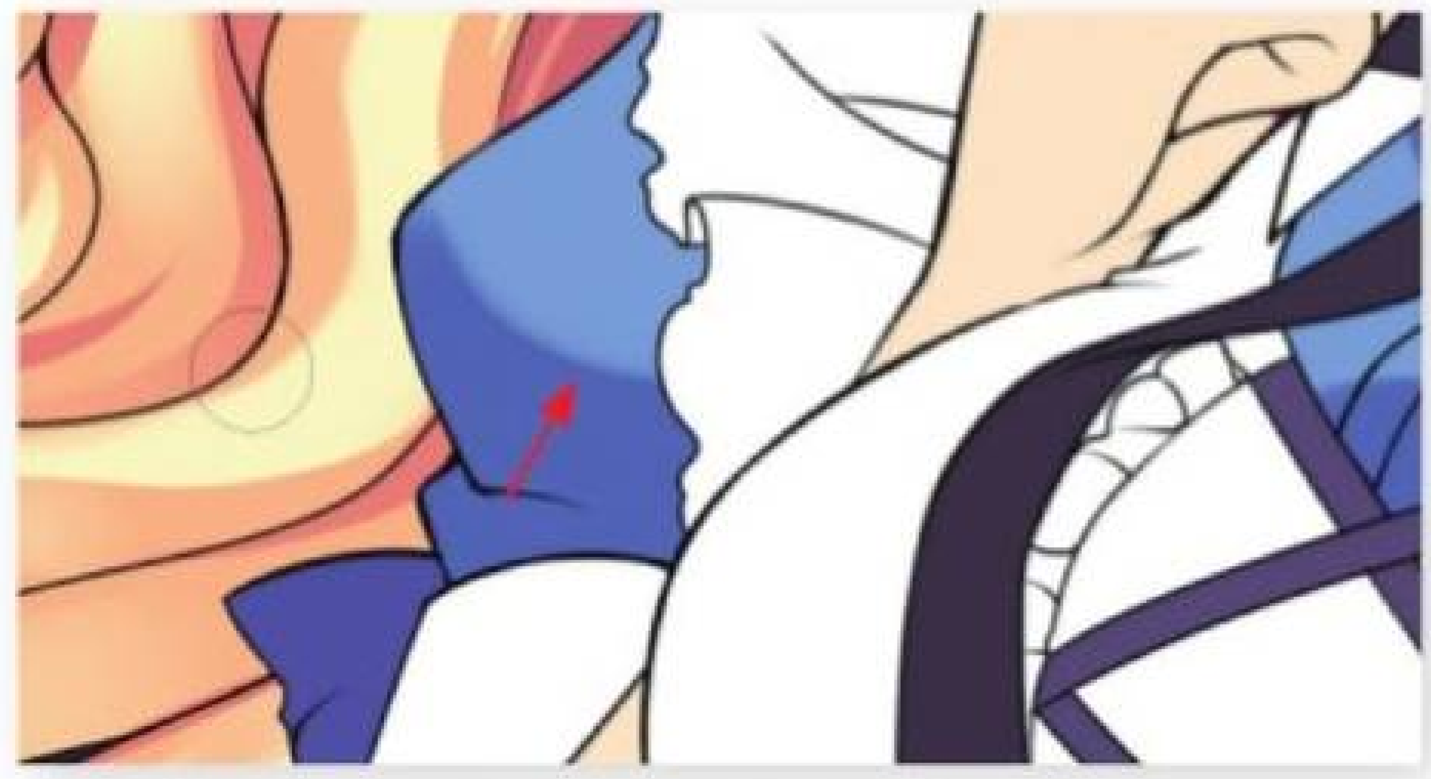
塗った影の形を整えていきます。「消しゴム」ツールを上手く使いましょう。

②「消しゴム」ツールを選択しました

③サイズを「50」にしました



①影を整える前の状態です



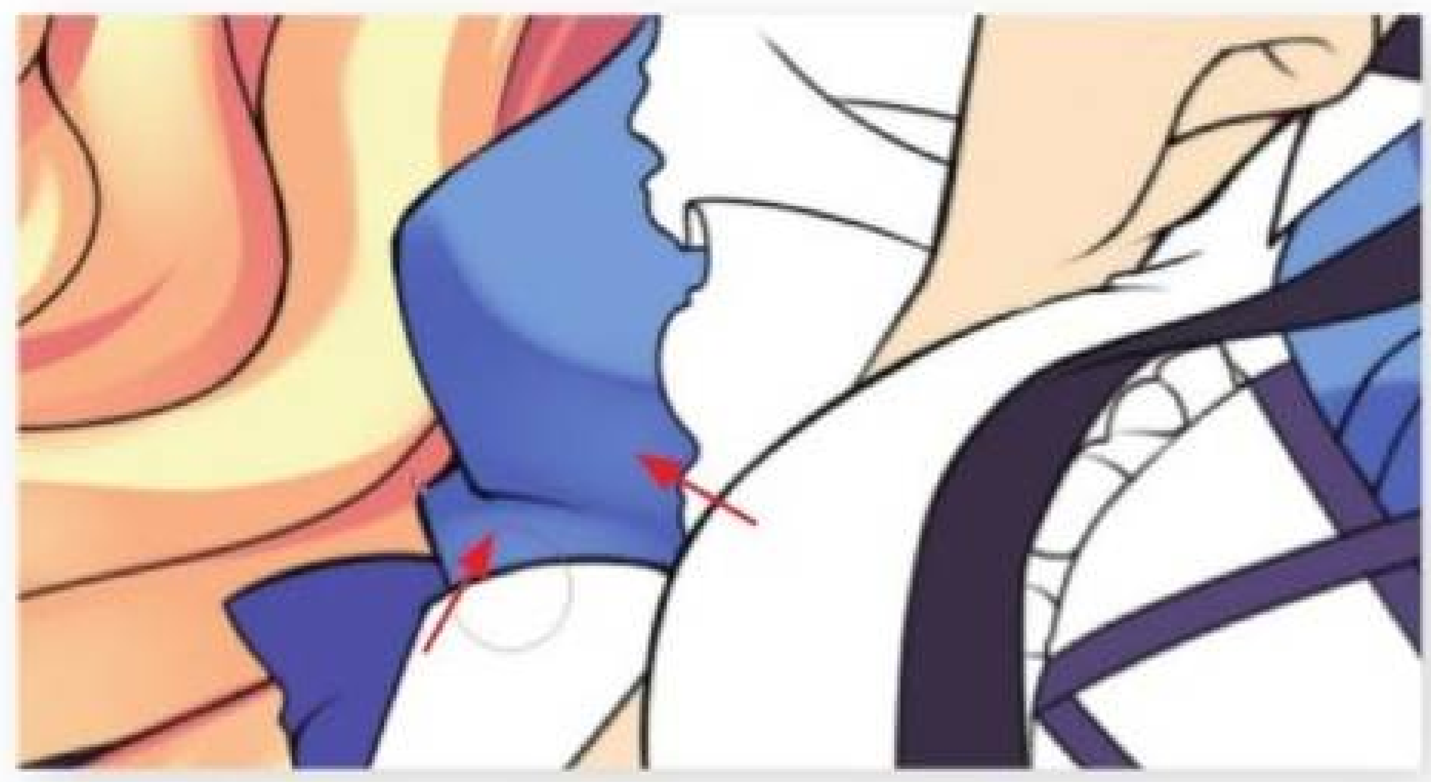
④影を「消しゴム」ツールで整えました

## 05

影はくっきり消さず、「ブラシ濃度」を低めに設定した「消しゴム」ツールでサッとなでるようにします。あまり何度もなぞらないのがコツです。

①「消しゴム」ツールを選択しました

②サイズを「50」にしました



③影をぼかしました

## 06

足りない影を描き足し、形を整えます。

①「水彩筆」ツールを選択しました

②サイズを「50」にしました

③描画色を設定しました



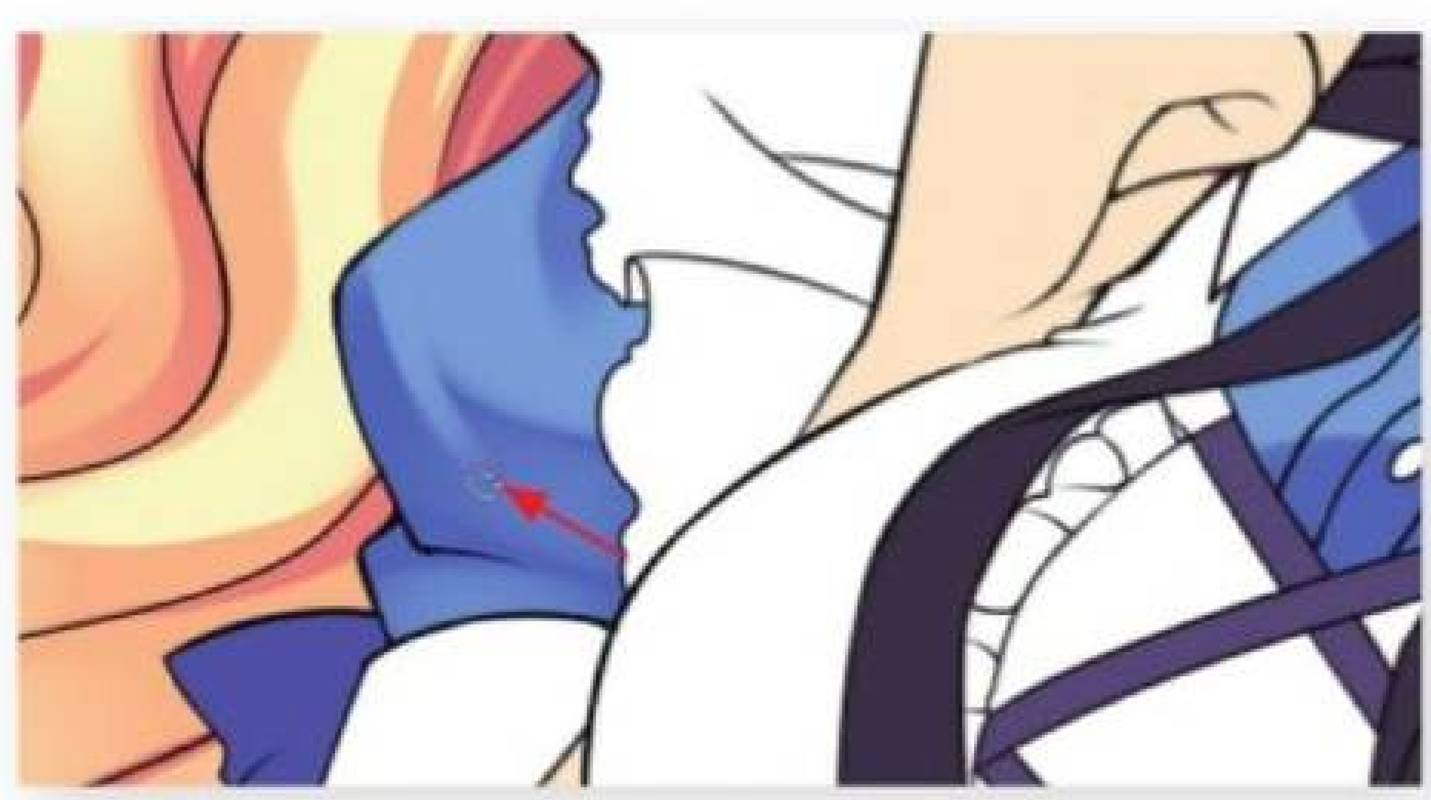
④「水彩筆」ツールで影を追加しました

## 07

少しのっぺりした感じが気になったので「消しゴム」ツールで細い線を入れ、シワを表現しました。

①「消しゴム」ツールを選択しました

②サイズを「14」にしました



③「消しゴム」ツールで影を消しました

## 08

襟元の部分の影を整えます。少し入り組んだ部分ですが面倒がらず、コツコツ塗りましょう。ここでも「消しゴム」ツールを上手く使っていきます。



②「消しゴム」ツールを選択しました



③サイズを「20」にしました


①影を整える前の状態です


④影を「消しゴム」ツールで整えました

## 09

細かいところは細いブラシで描き込みます。「消しゴム」ツールで消す時は、「ブラシ濃度」を適時変えてください。くっきり消したい時は「ブラシ濃度」を高めに、うっすらグラデーションにしたい時は「ブラシ濃度」を低めに設定すると上手くいきます。



①「消しゴム」ツールを選択しました

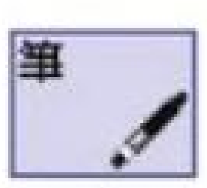


②サイズを「30」にしました

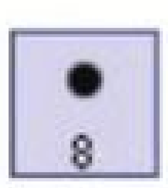

③「ブラシ濃度」を「40」に設定し、影をぼかしました

## 10

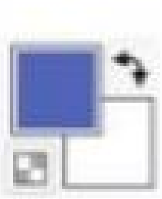
小さめの影をアクセントに入れました。リボンから落ちる影などを描きます。



①「筆」ツールを選択しました

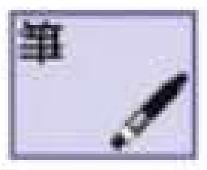


②サイズを「8」にしました


③描画色を設定しました



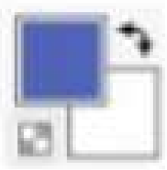
**11** スカートの影を塗ります。面が比較的大きいので、影も大きめに入れるようにします。

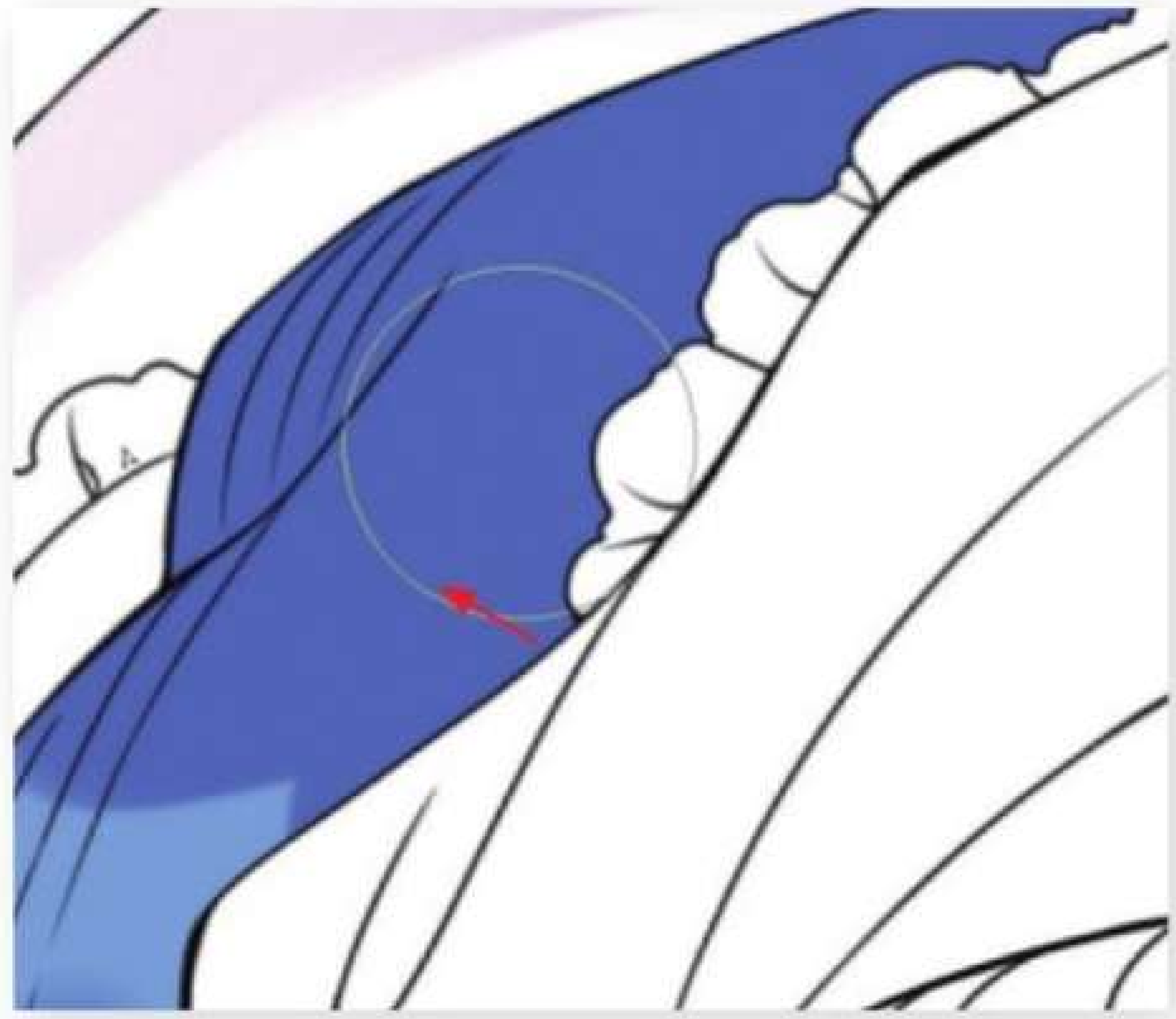


①「筆」ツールを選択しました



②サイズを「120」にしました


③描画色を設定しました


④影を塗りました

↓

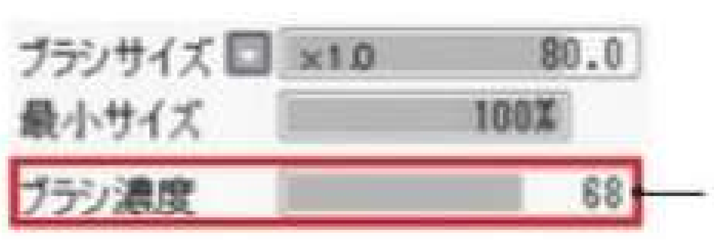
**12** 「消しゴム」ツールの「ブラシ濃度」とブラシの大きさに気をつけて、一筆で影の部分を消しています。うまくできない時は何度でもやり直しましょう。



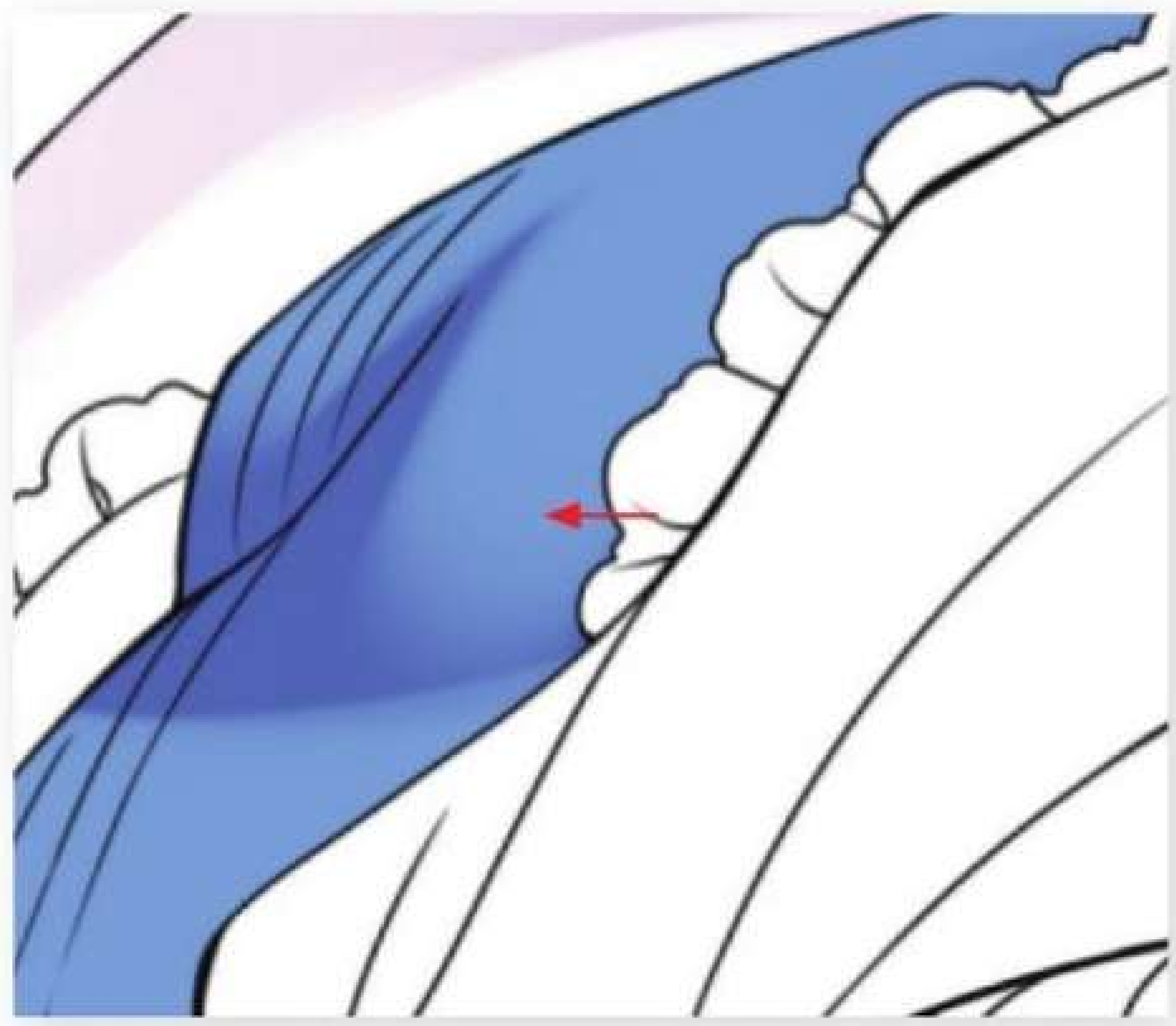
①「消しゴム」ツールを選択しました



②サイズを「80」にしました



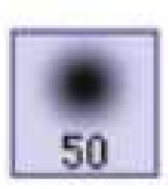
③「ブラシ濃度」を「68」に設定しました


④影をぼかしました

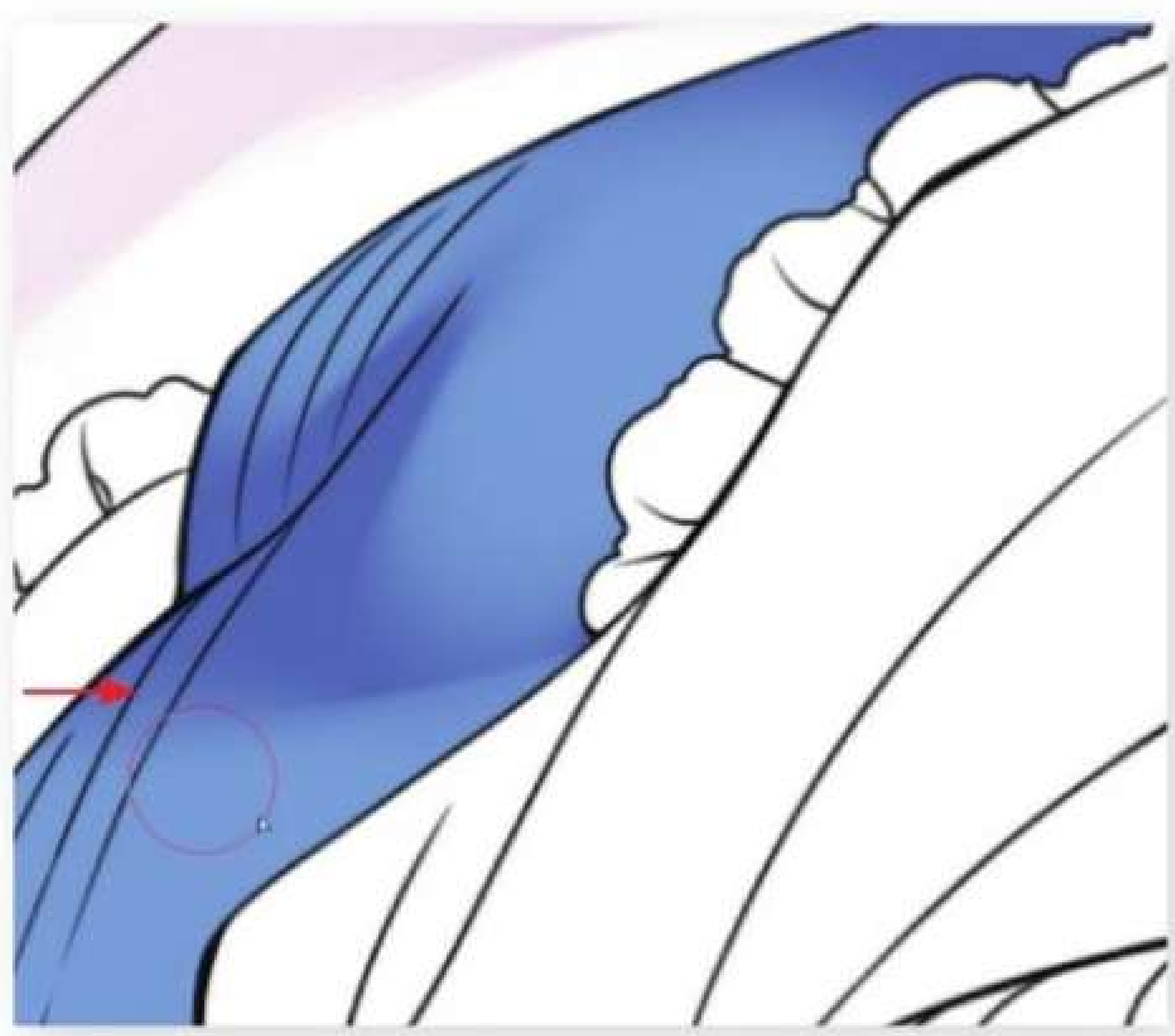
↓



⑤「ぼかし」ツールを選択しました



⑥サイズを「50」にしました


⑦「ぼかし」ツールで影をさらにぼかしました

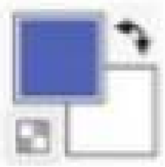
## 13 大きめの影は、グラデーションにして単調にならないように気をつけます。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「120」にしました



③描画色を設定しました




⑤「消しゴム」ツールを選択しました




⑥サイズを「120」にしました



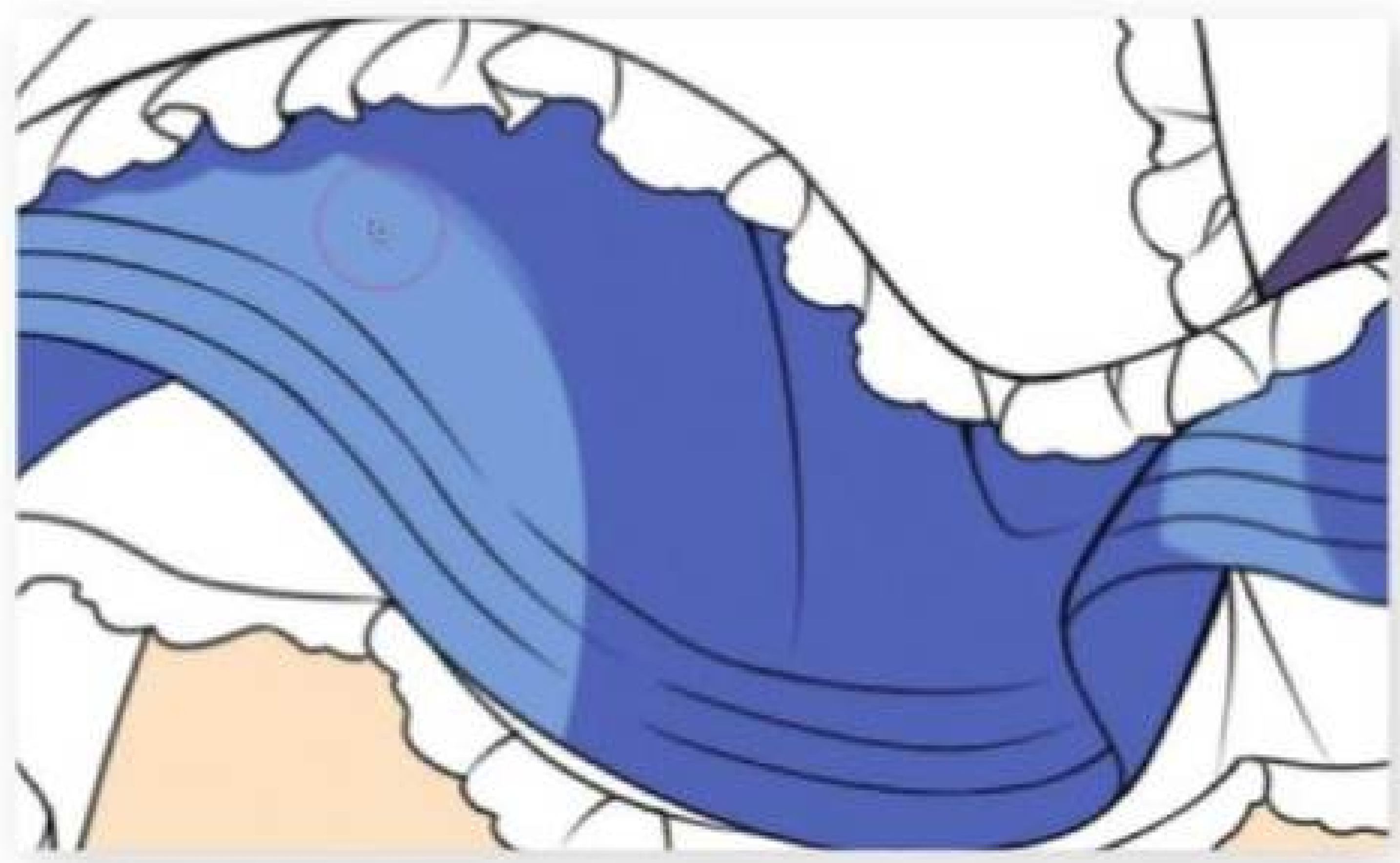
④「筆」ツールで影を塗りました

→



⑦「消しゴム」ツールで影をぼかしました

## 14 どんどん影を塗ります。「消しゴム」ツールを使って、うまくシワを表現します。ブラシの抜き（筆の力の入れ具合）を利用しましょう。



①影を整える前の状態です

↙




②「消しゴム」ツールを選択しました



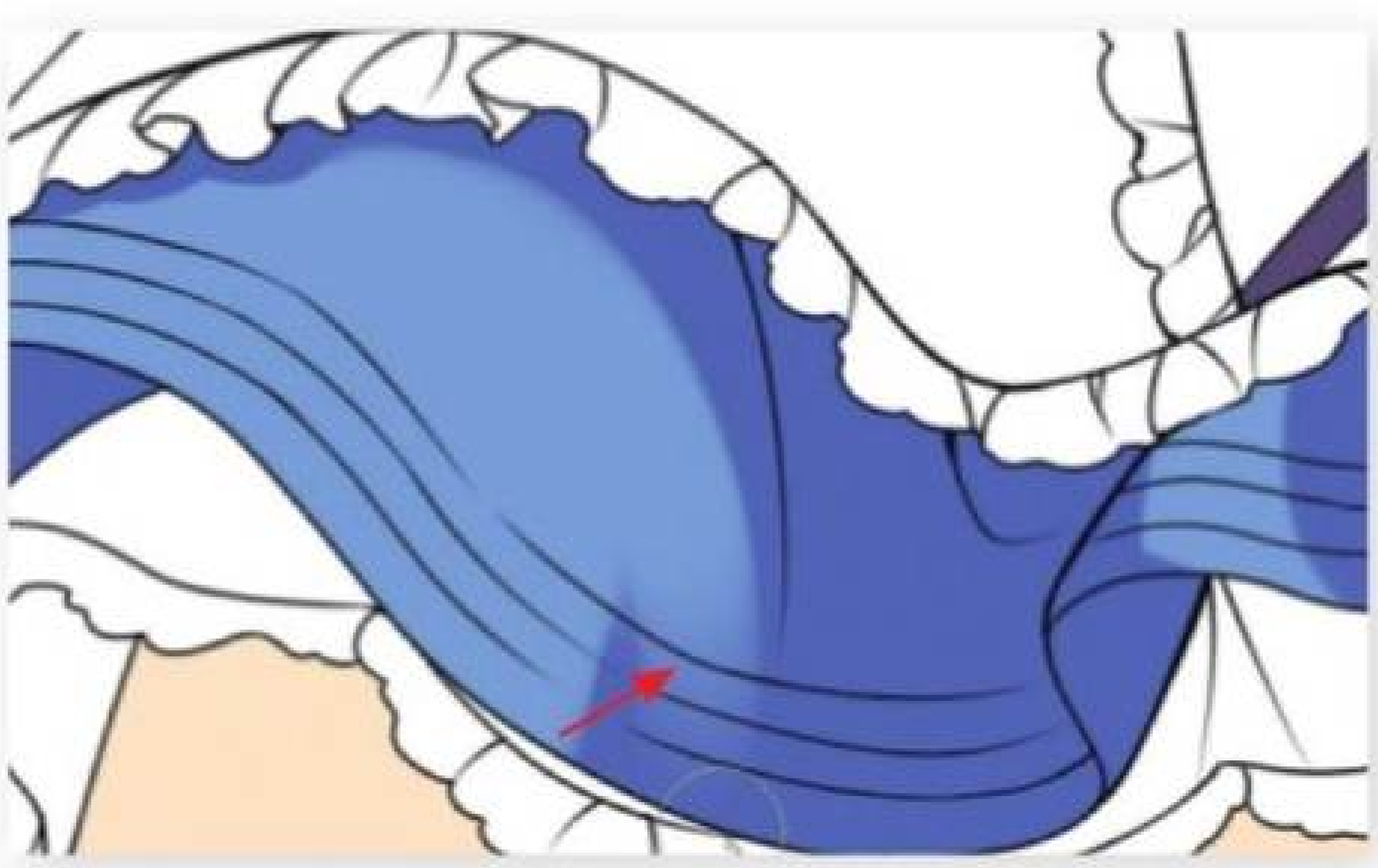

③サイズを「50」にしました




⑤「消しゴム」ツールを選択しました

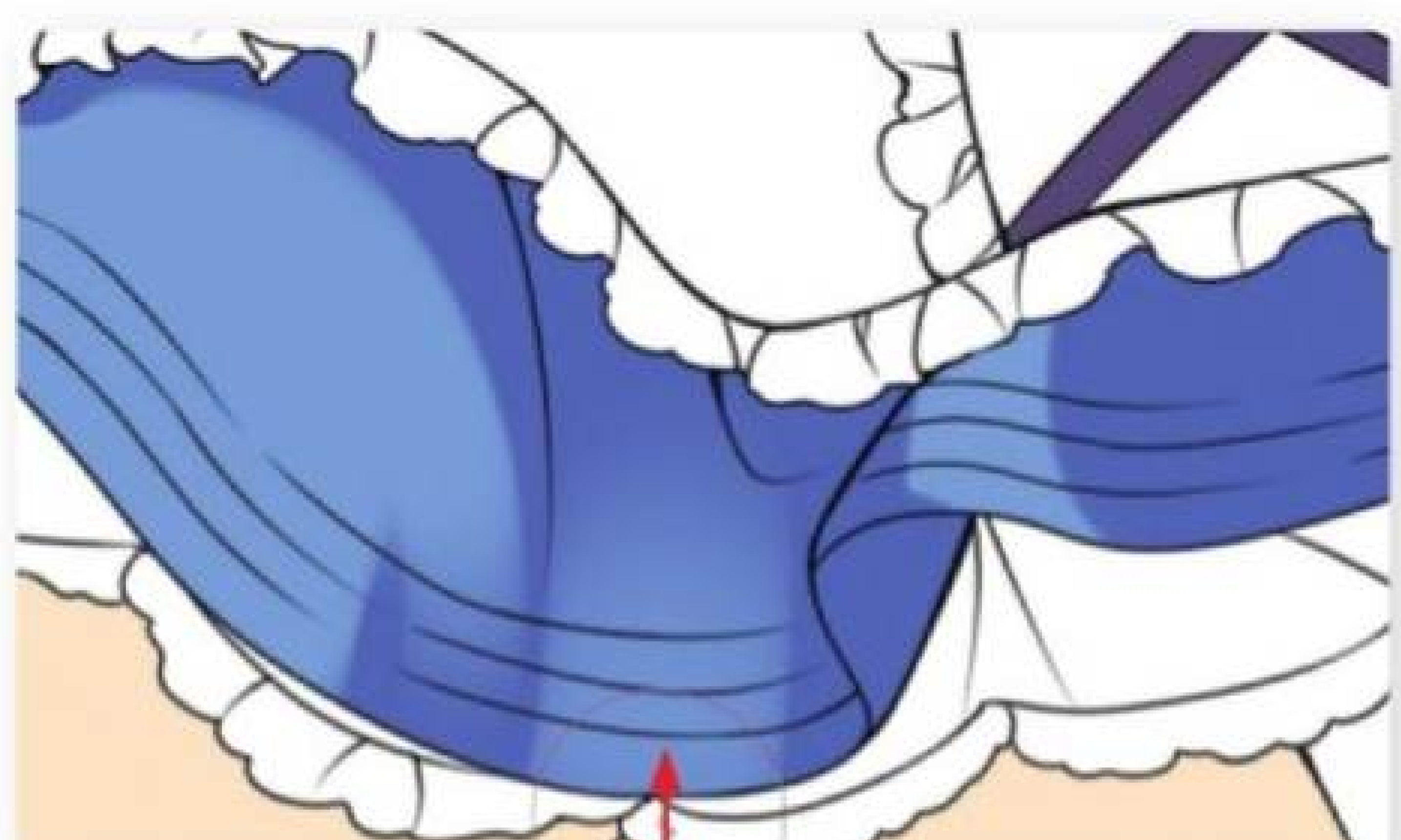



⑥サイズを「100」にしました



④影を「消しゴム」ツールで整えました

→



⑦影をさらにぼかしました

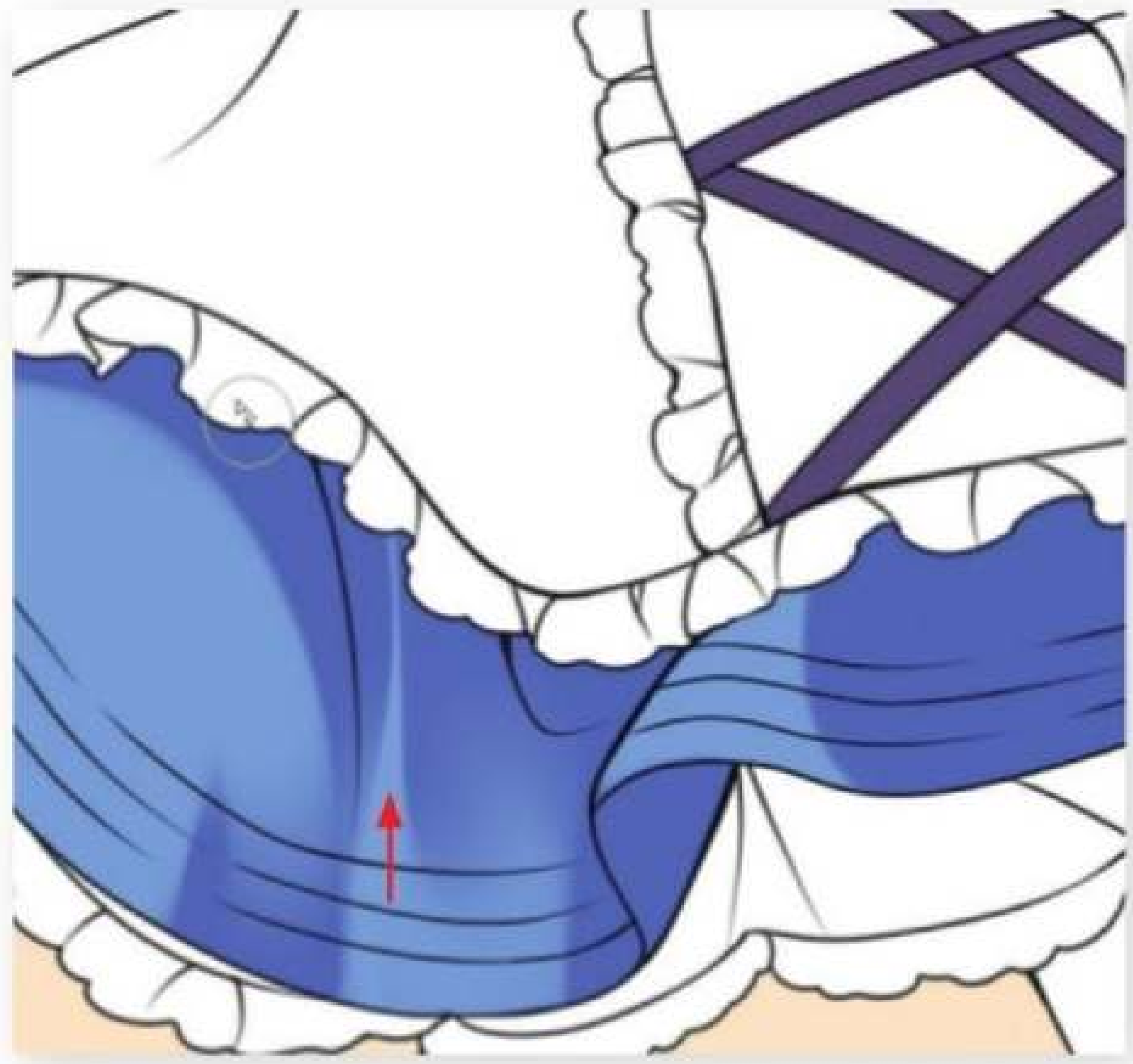
**15** たまにくっきりとシワを入れるとリズム感がでます。



①「消しゴム」ツールを選択しました



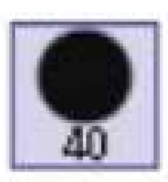
②サイズを「12」にしました



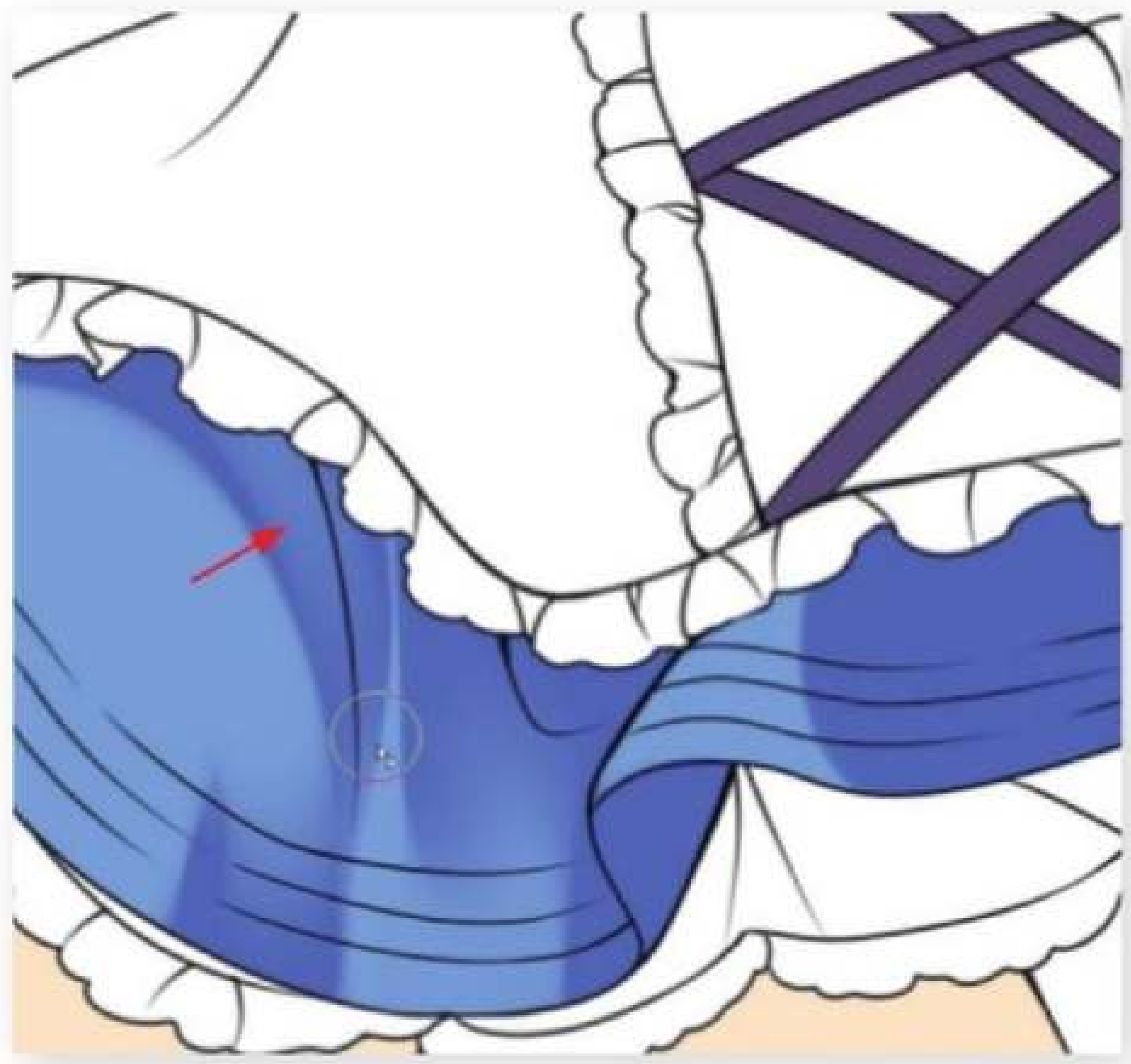
**16** 影を「消しゴム」ツールで薄く消してメリハリをつけます。このような感じで、なるべく単調にならないようにしましょう。



①「消しゴム」ツールを選択しました



②サイズを「40」にしました



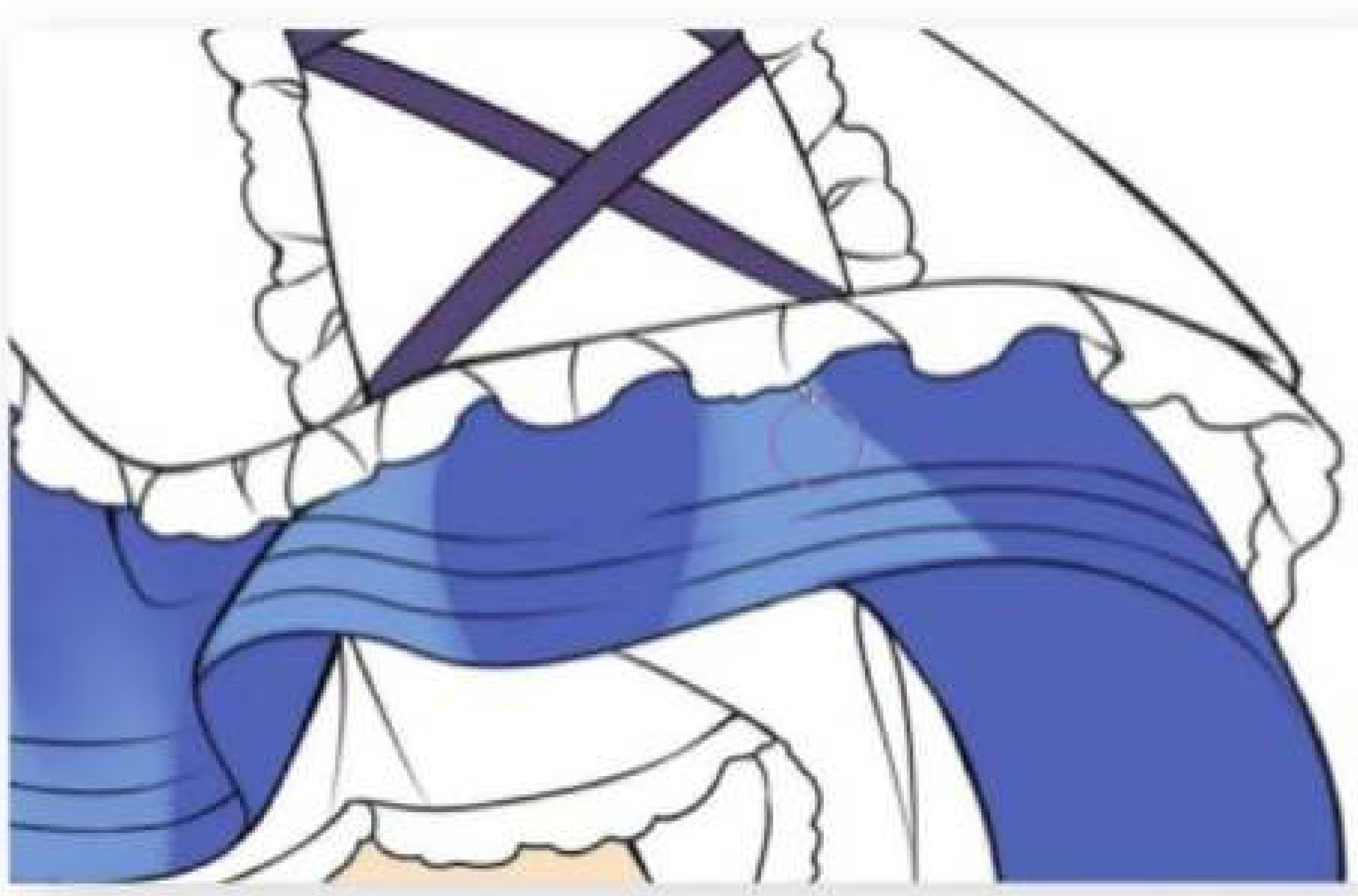
**17** さらに影を塗って、「消しゴム」ツールで整えます。

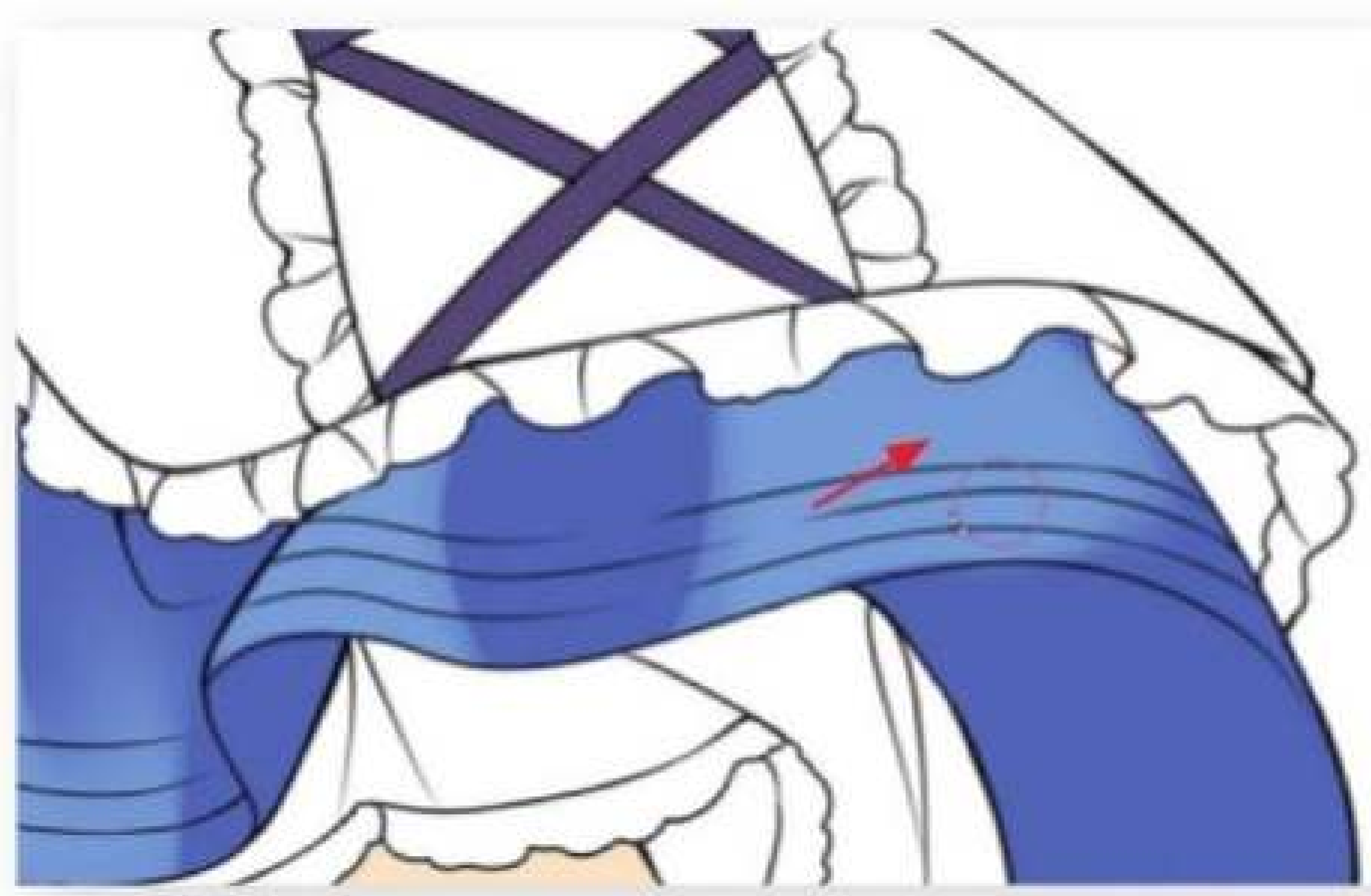


②「消しゴム」ツールを選択しました



③サイズを「40」にしました


①影を塗った状態です


④影を「消しゴム」ツールで整えました

## ワンピースの2段目の陰影

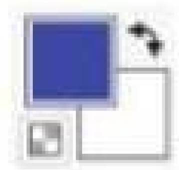
**01** 2段目の影を塗るために新規レイヤーを作成します。描画色は1段目の影よりも濃い色を選びます。ここではエプロンのフリルから落ちる影を塗ります。



③「筆」ツールを選択しました



④サイズを「20」にしました


⑤描画色を設定しました



②「影2」レイヤーにクリッピングを設定しました

①「影1」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影2」に変更しました


⑥2段目の影を塗りました

↓

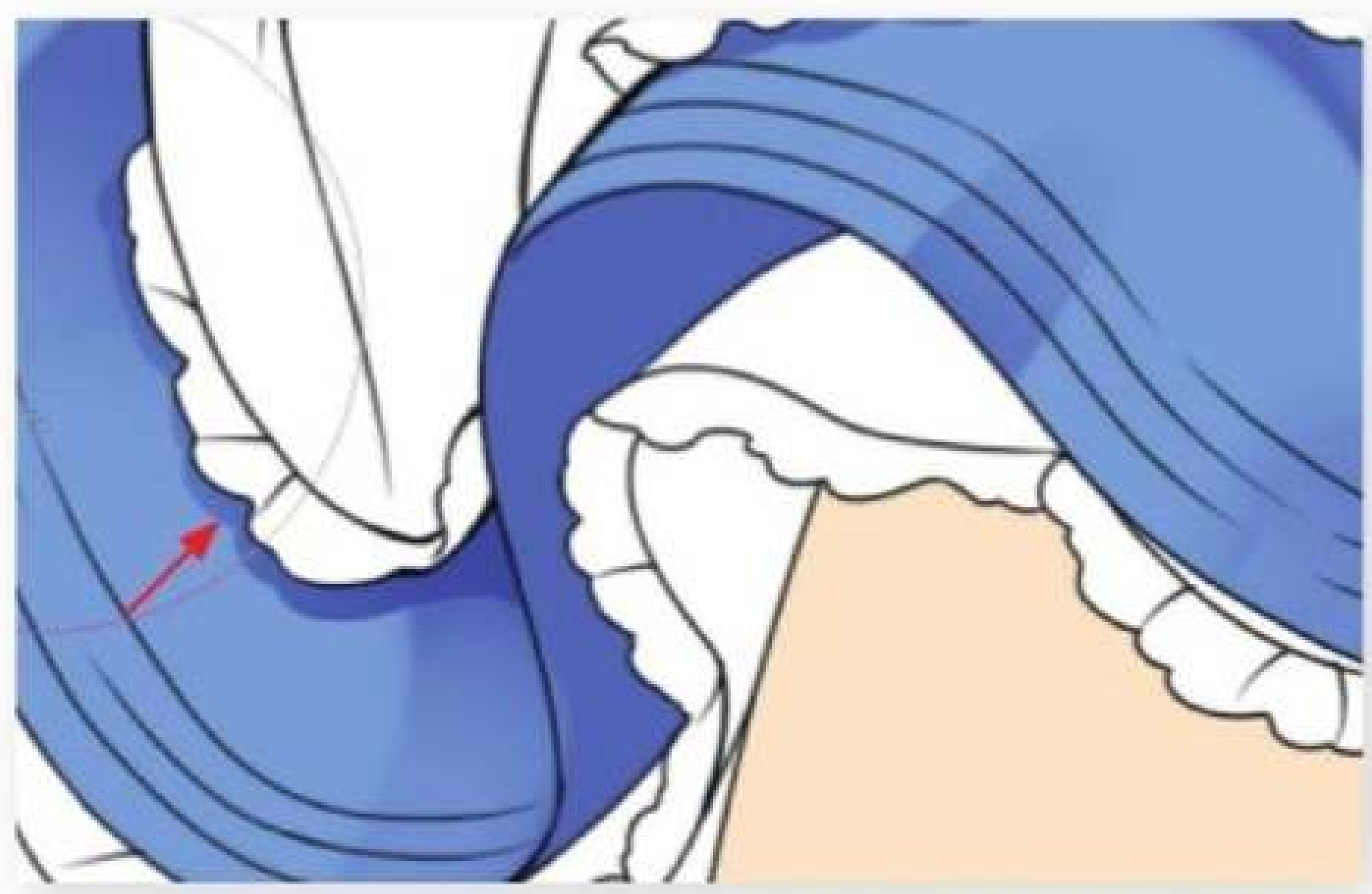
**02** 塗った影の端のほうは「消しゴム」ツールで消して、少し薄くしました。



①「消しゴム」ツールを選択しました



②サイズを「250」にしました


③影を「消しゴム」ツールでぼかしました

↓

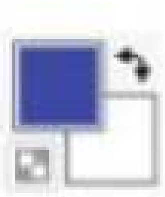
**03** 暗くなりそうな部分をよく考えて、さら2段目の影を塗ります。

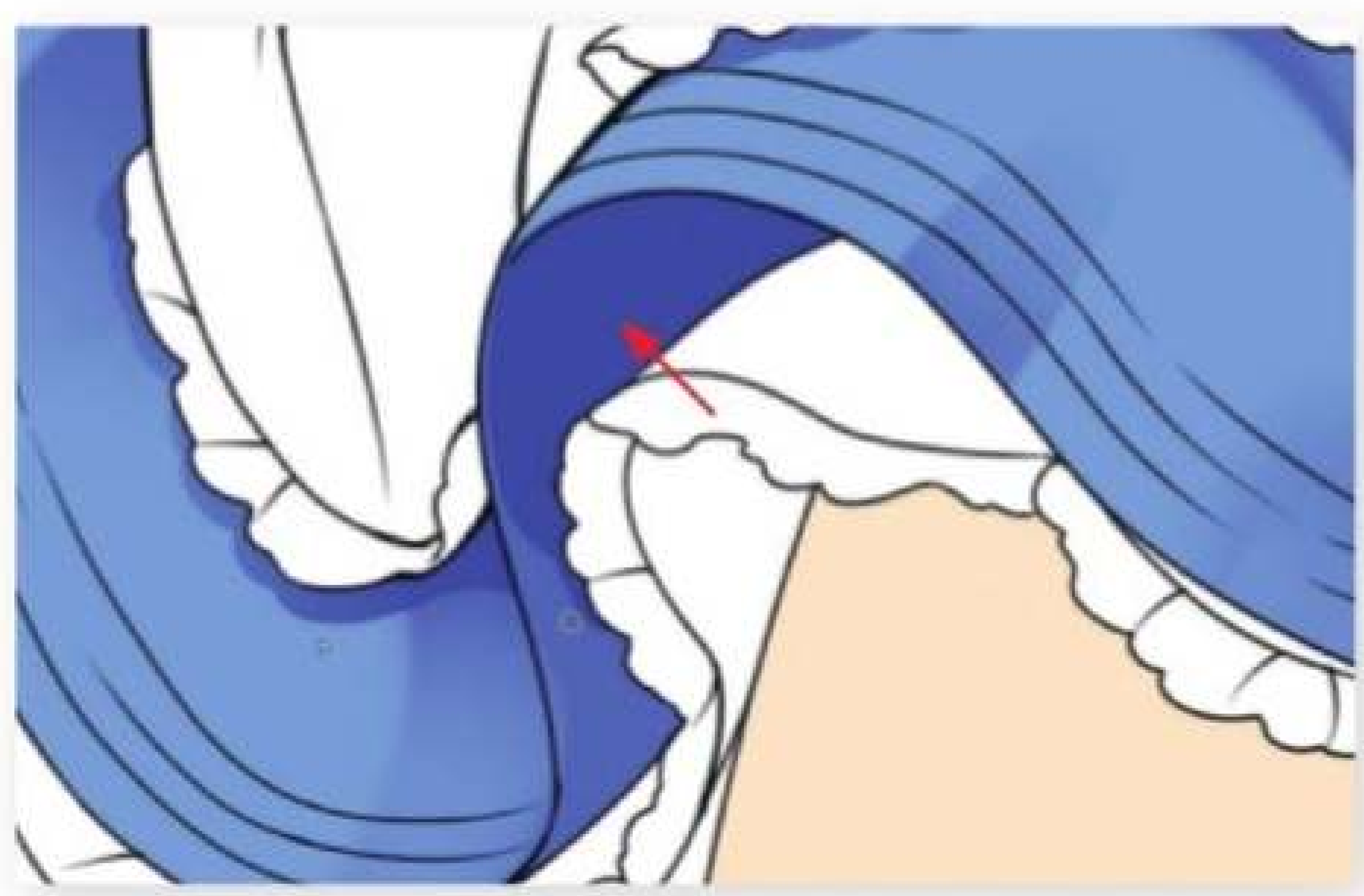


①「筆」ツールを選択しました



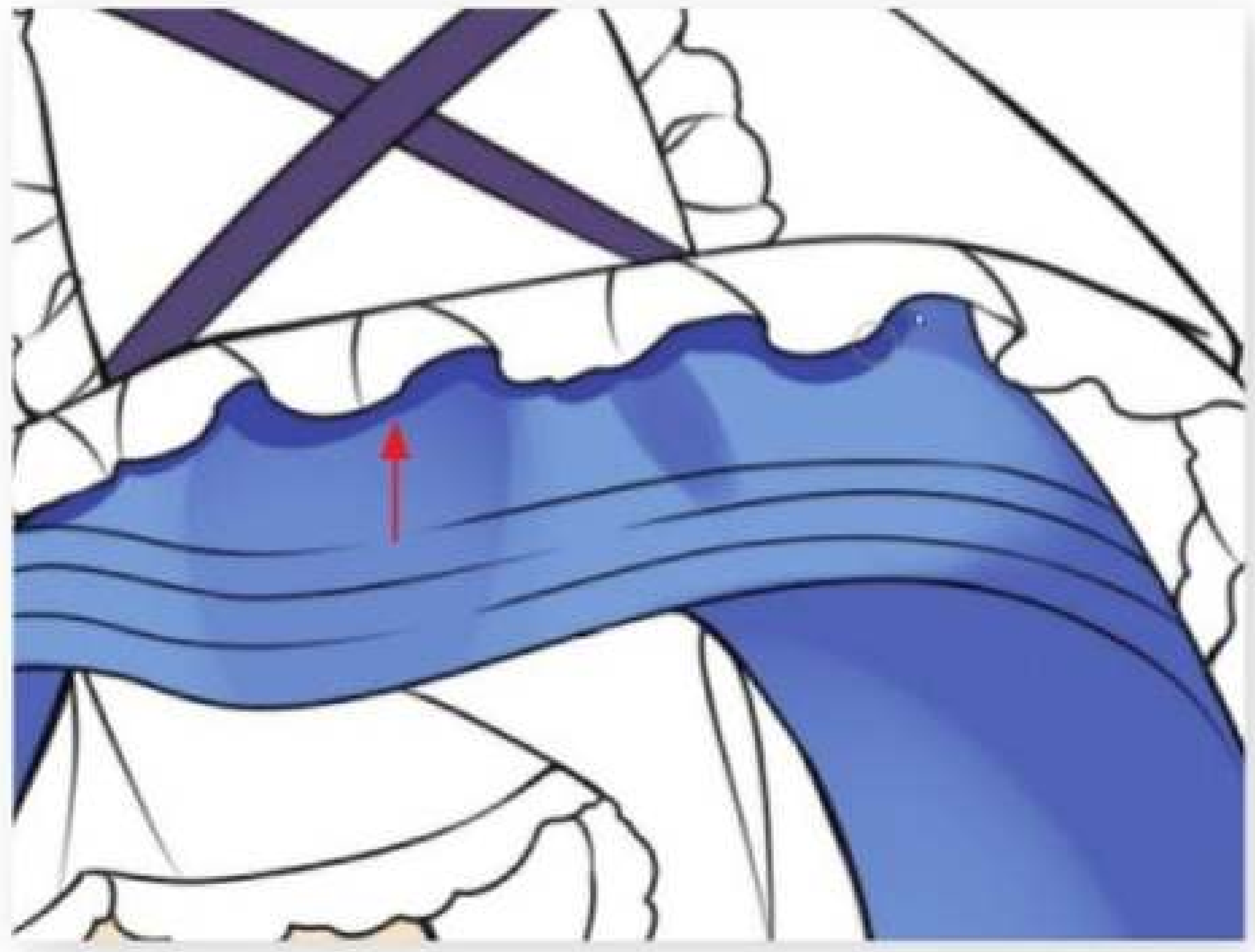
②サイズを「9」にしました


③描画色を設定しました


④「筆」ツールで2段目の影を塗りました

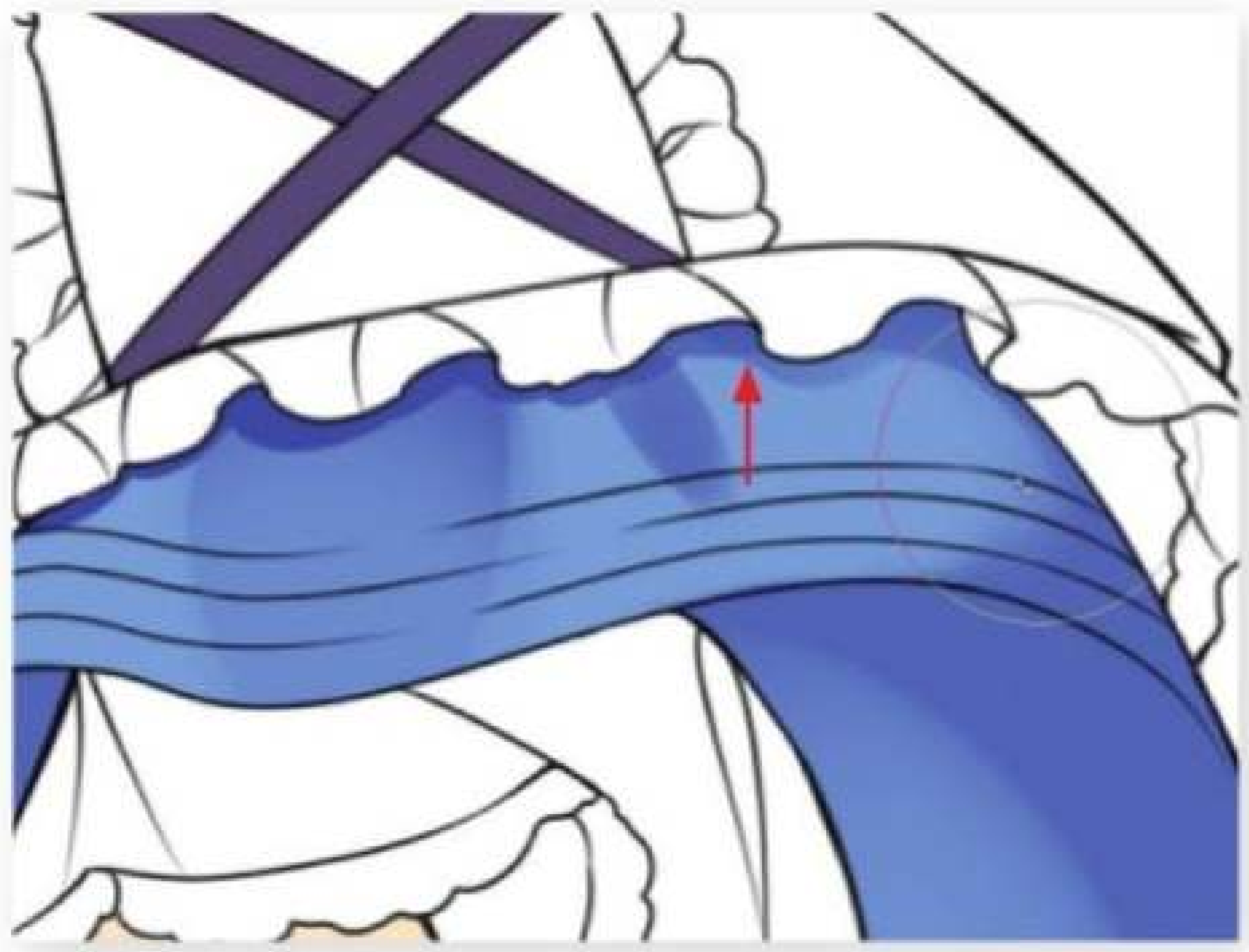
**04** フリルの影の部分をどんどん塗っていきます。大まかでいいので、2段目の影はきちんとフリルの形にすると自然です。

①「筆」ツールを選択しました
②サイズを「16」にしました
③描画色を設定しました



④2段目の影を塗りました

⑤「消しゴム」ツールを選択しました
⑥サイズを「120」にしました



⑦影を「消しゴム」ツールでぼかしました

**05** 襟元の部分に2段目の細かい影を入れていきます。リボンから落ちる影もきちんと塗りましょう。

②「筆」ツールを選択しました
③サイズを「8」にしました
④描画色を設定しました



①2段目の影を入れる前の状態です



⑤2段目の影を塗りました

## 06

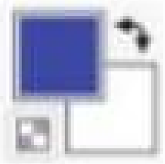
袖に2段目の陰影を塗ります。端はバランスを確認しつつ、「消しゴム」ツールでぼかします。




①「筆」ツールを選択しました



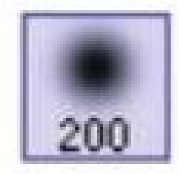

②サイズを「20」にしました



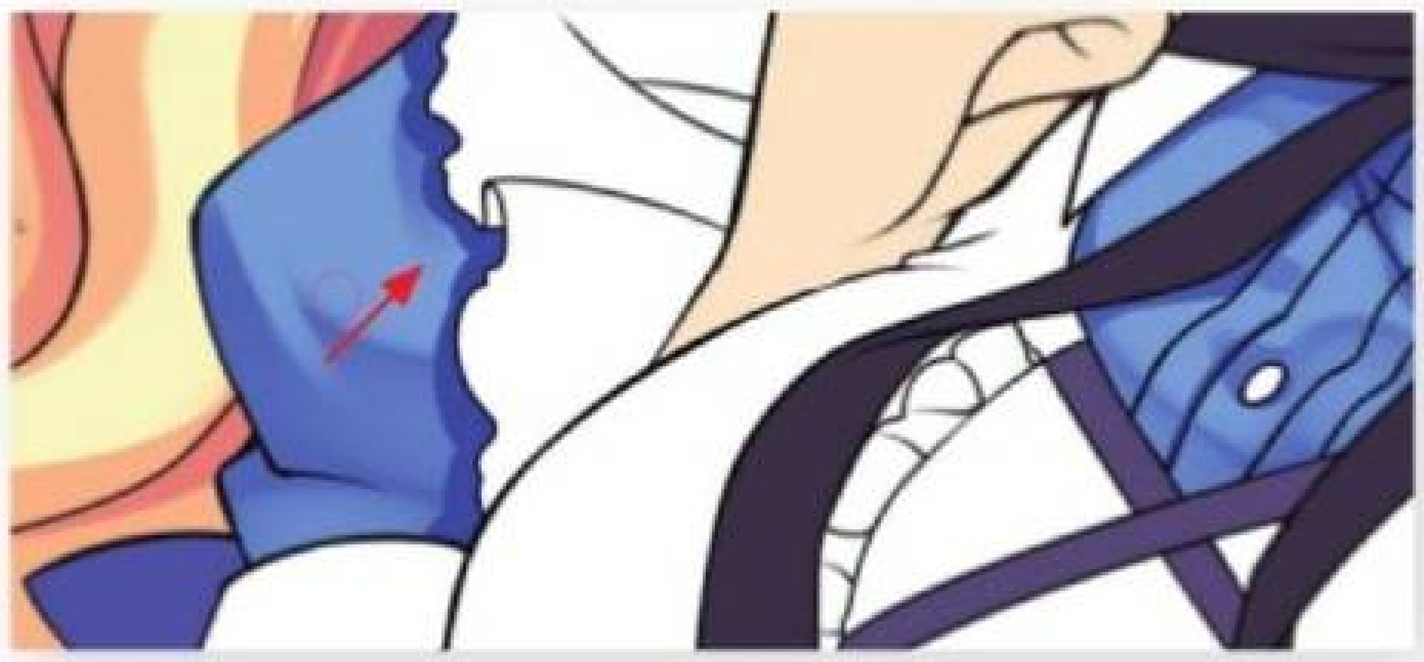
③描画色を設定しました



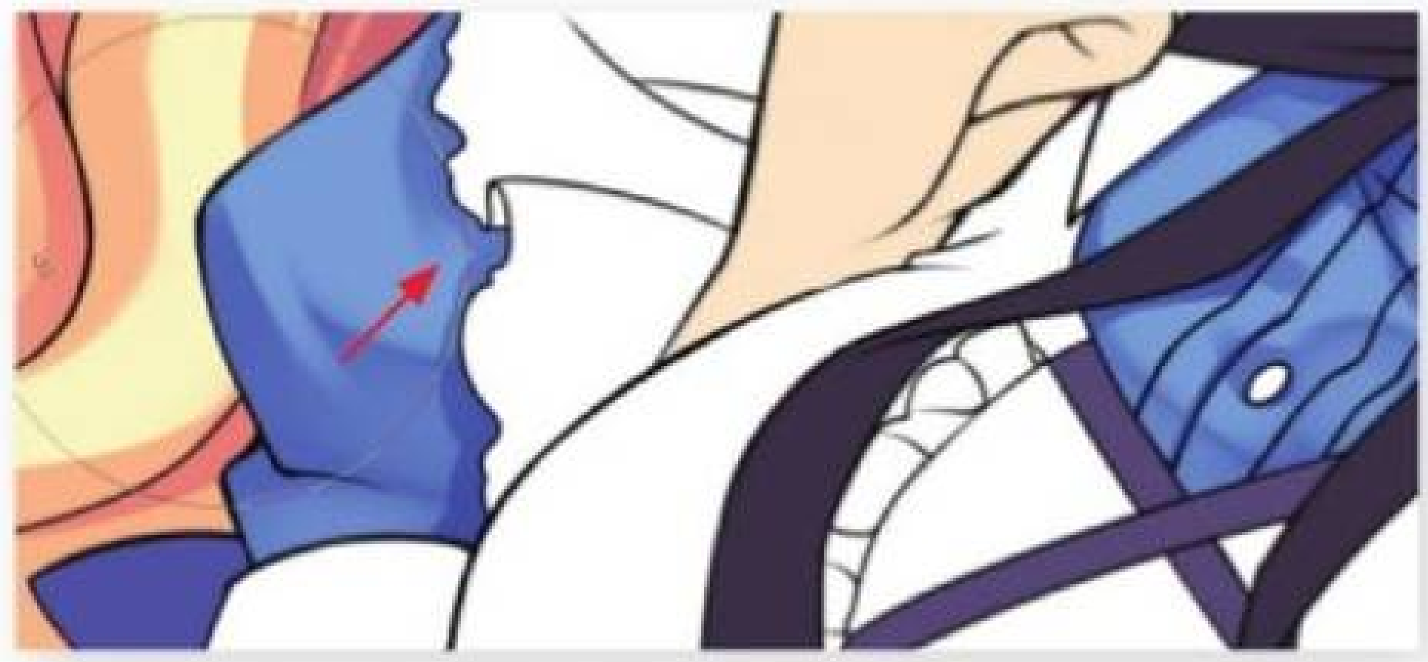

⑤「消しゴム」ツールを選択しました




⑥サイズを「200」にしました



④2段目の影を塗りました



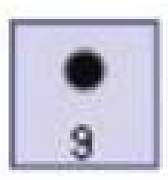
⑦2段目の影をぼかしました

## 07

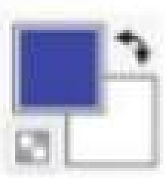
シワの部分にも細かい影をつけます。立体感が出てきました。



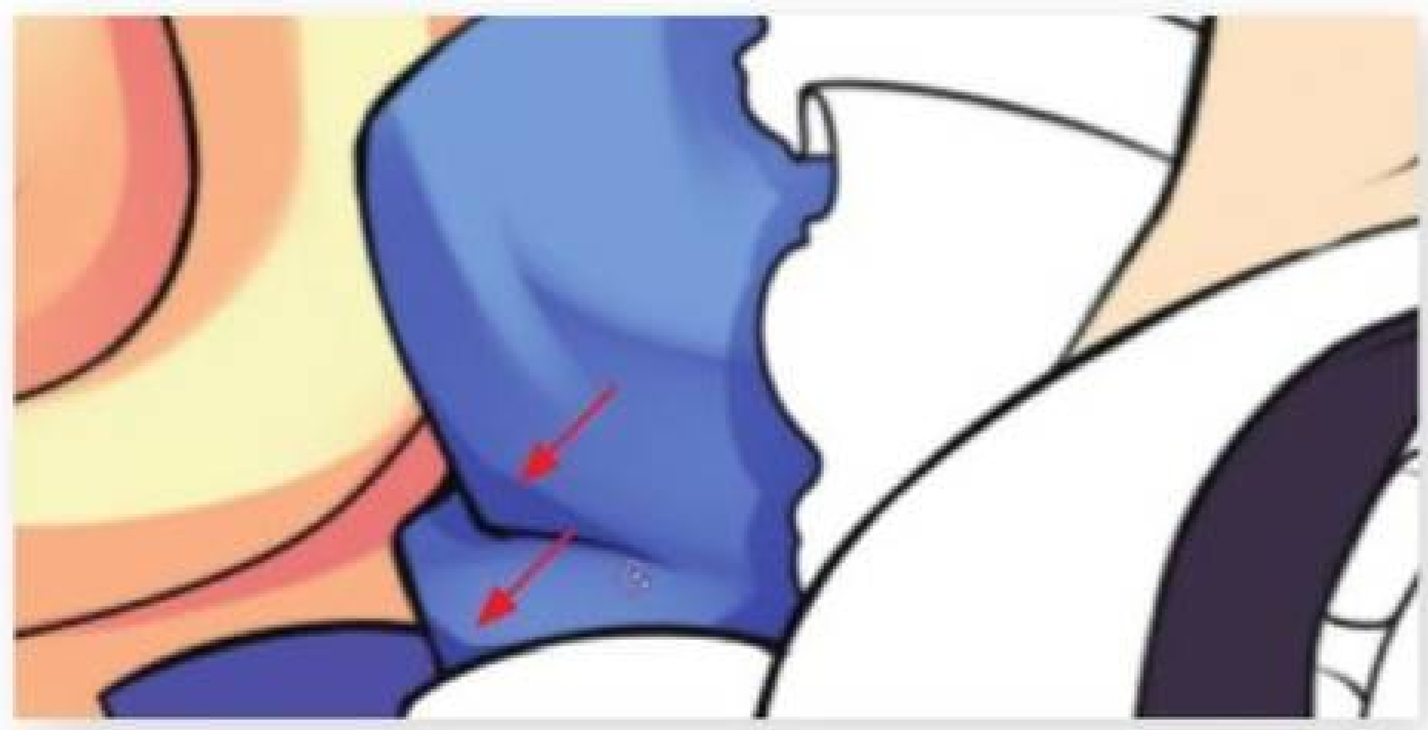

①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「9」にしました

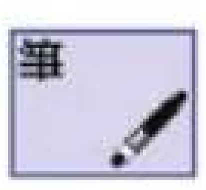


③描画色を設定しました



## 08

反対側の袖も同じように塗ります。胴のあたりも暗くなりますので、影を入れましょう。「消しゴム」ツールで調子をつけて出来上がりです。




①「筆」ツールを選択しました



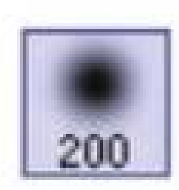

②サイズを「40」にしました



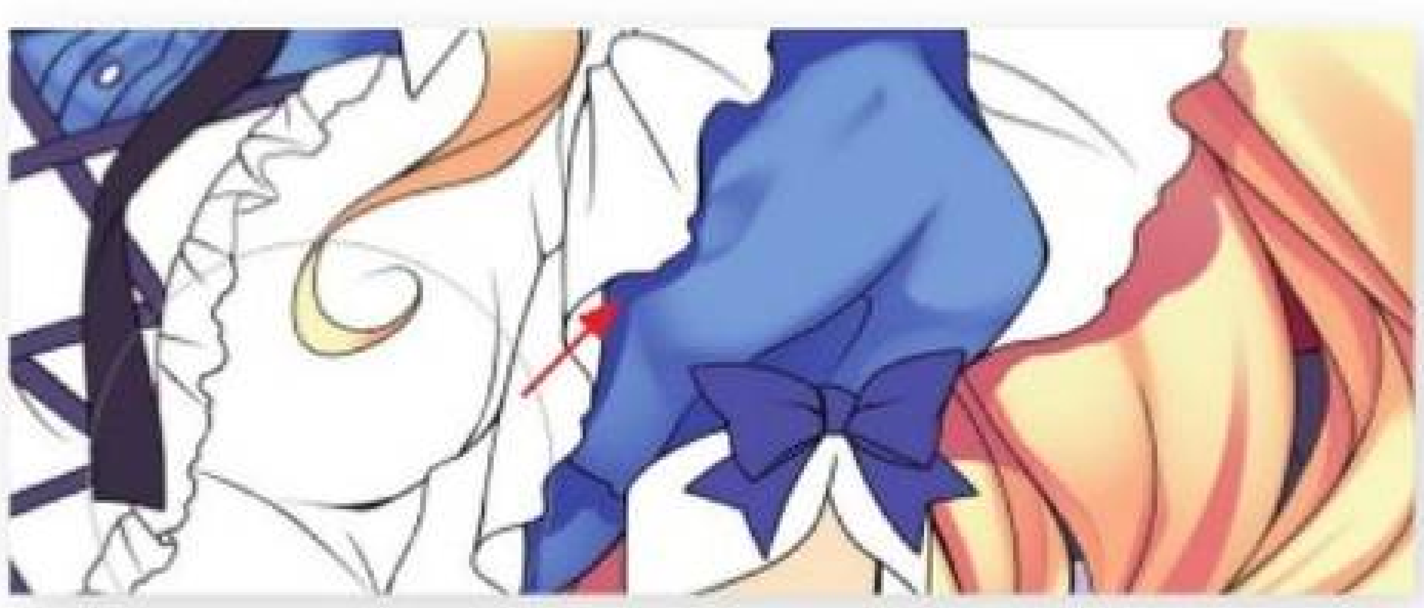
③描画色を設定しました



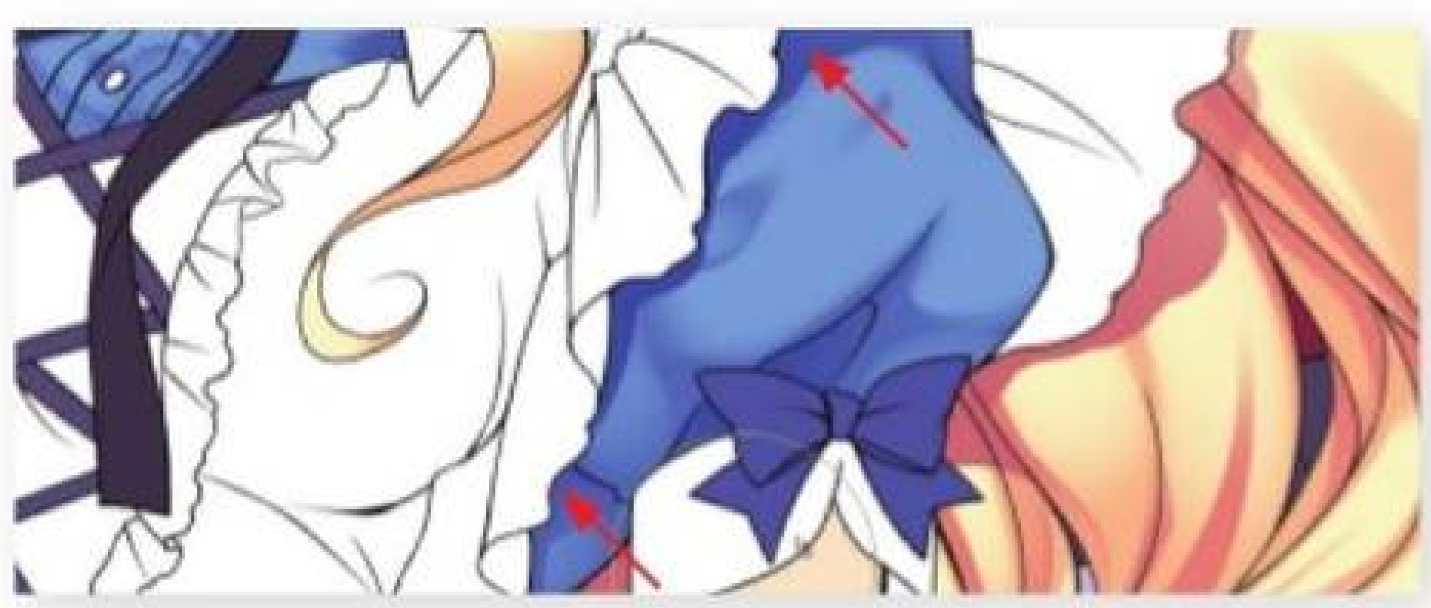

⑤「消しゴム」ツールを選択しました




⑥サイズを「200」にしました



④2段目の影を塗りました



⑦2段目の影をぼかしました

09 ここまでできた状態です。



## 肌の1段目の陰影

**01**

続いて肌を塗ります。「肌」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、クリッピングを設定します。まず大き目の「エアブラシ」ツールで大まかに影を描きます。ほおの部分などは柔らかさを意識するといいと思います。

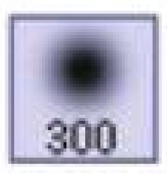



②「影1」レイヤーにクリッピングを設定しました

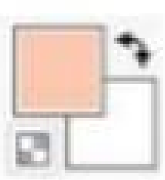
①「肌」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影1」に変更しました




④「エアブラシ」ツールを選択しました




⑤サイズを「300」にしました



⑥描画色を設定しました



③影を入れる前の状態です

↓



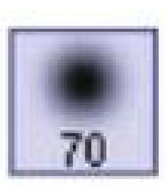
⑦額とほおに影を塗りました

**02**

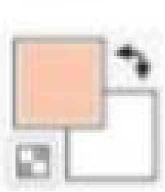
首などの影は、細いブラシで丁寧に描き入れましょう。




①「エアブラシ」ツールを選択しました




②サイズを「70」にしました



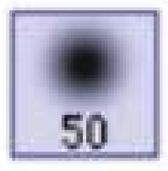
③描画色を設定しました



## 03 あごの部分の影を「消しゴム」ツールで消して、形を調整しました。



①「ぼかし」ツールを選択しました



②サイズを「50」にしました



④「消しゴム」ツールを選択しました



⑤サイズを「50」にしました


③「ぼかし」ツールで影をぼかしました


⑥「消しゴム」ツールで影を削って整えました

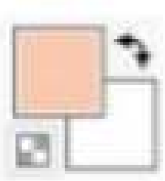
## 04 前髪の影を描きます。髪の毛の形を考えながら、影を入れていきます。細かい形は「消しゴム」ツールを使って整えます。



①「筆」ツールを選択しました

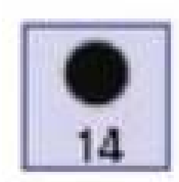


②サイズを「12」にしました


③描画色を設定しました



⑤「消しゴム」ツールを選択しました



⑥サイズを「14」にしました


④「筆」ツールで影を塗りました


⑦影の形を整えました

05

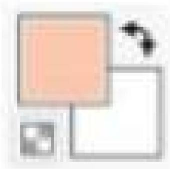
他の前髪も同じように影を塗っていきます。最後に影の先のほうを「消しゴム」ツールで薄く消して馴染ませ、顔の部分は完成です。



①「筆」ツールを選択しました

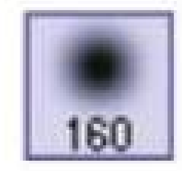


②サイズを「20」にしました

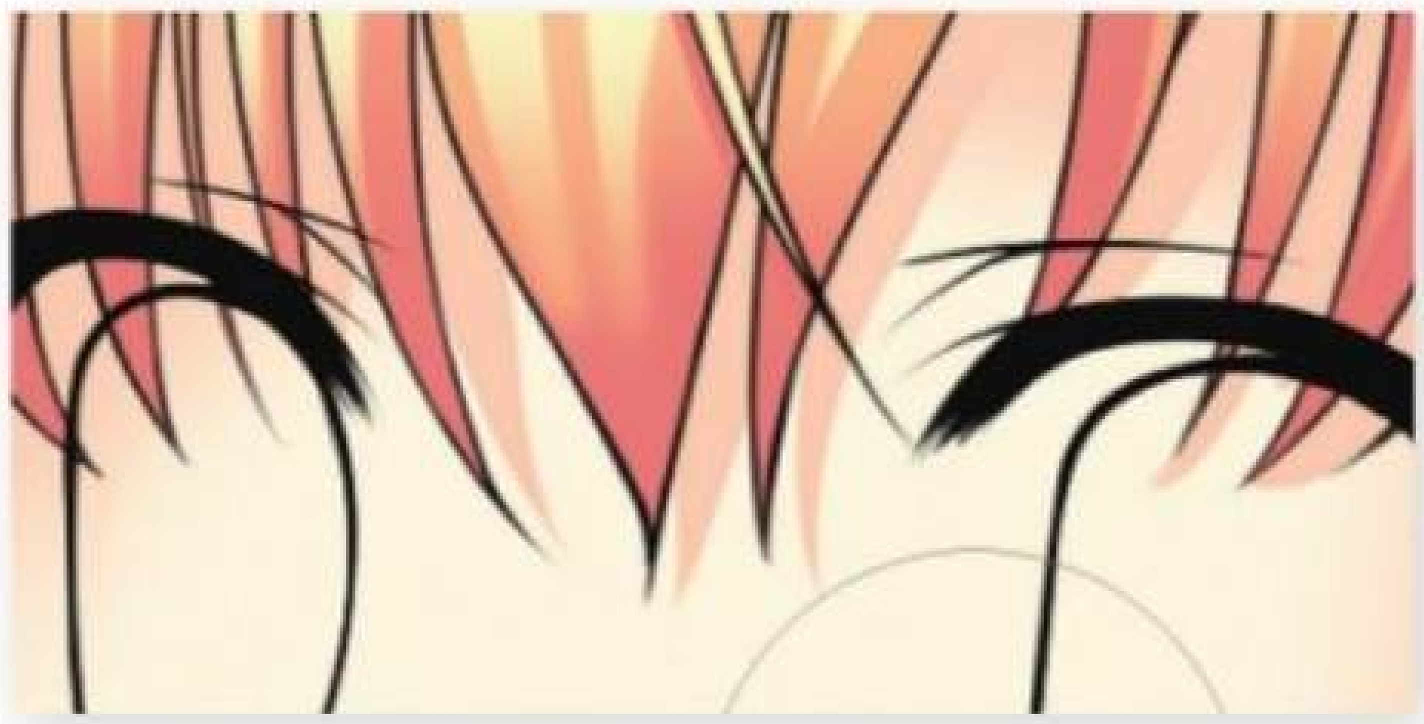

③描画色を設定しました



⑤「消しゴム」ツールを選択しました



⑥サイズを「160」にしました

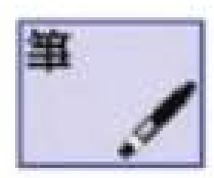

④「筆」ツールで影を塗りました

→


⑦「消しゴム」ツールで髪の先端の影をぼかしました

06

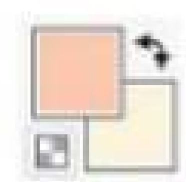
指の形をよく考えながら、「筆」ツールで手の影を塗ります。



②「筆」ツールを選択しました



③サイズを「20」にしました


④描画色を設定しました


①影を入れる前の状態です

→


⑤「筆」ツールで影を塗りました

↓

07

「消しゴム」ツールで影の形を整えます。



①「消しゴム」ツールを選択しました



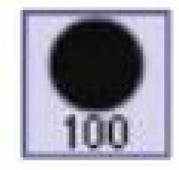
②サイズを「120」にしました


③「消しゴム」ツールで影をぼかしました

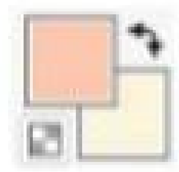
08 腕の影も「筆」ツールでおおまかに塗ります。




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「100」にしました



④描画色を設定しました



①影を入れる前の状態です



⑤「筆」ツールで影を塗りました

09 「消しゴム」ツールで影の形を調整します。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「60」にしました



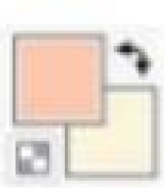
10 柔らかさを出すために、ひじに「エアブラシ」ツールでうっすらと色を塗りました。




①「エアブラシ」ツールを選択しました



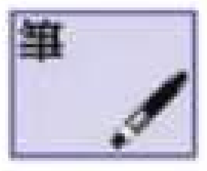

②サイズを「120」にしました



③描画色を設定しました



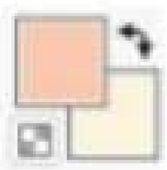
## 11 もう片方の手の影も同様に塗ります。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「30」にしました



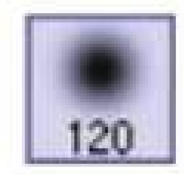
③描画色を設定しました



## 12 影の端の部分を薄く、「消しゴム」ツールで消して調子をつけます。指先も同様に、単調にならないように気をつけます。




②「消しゴム」ツールを選択しました

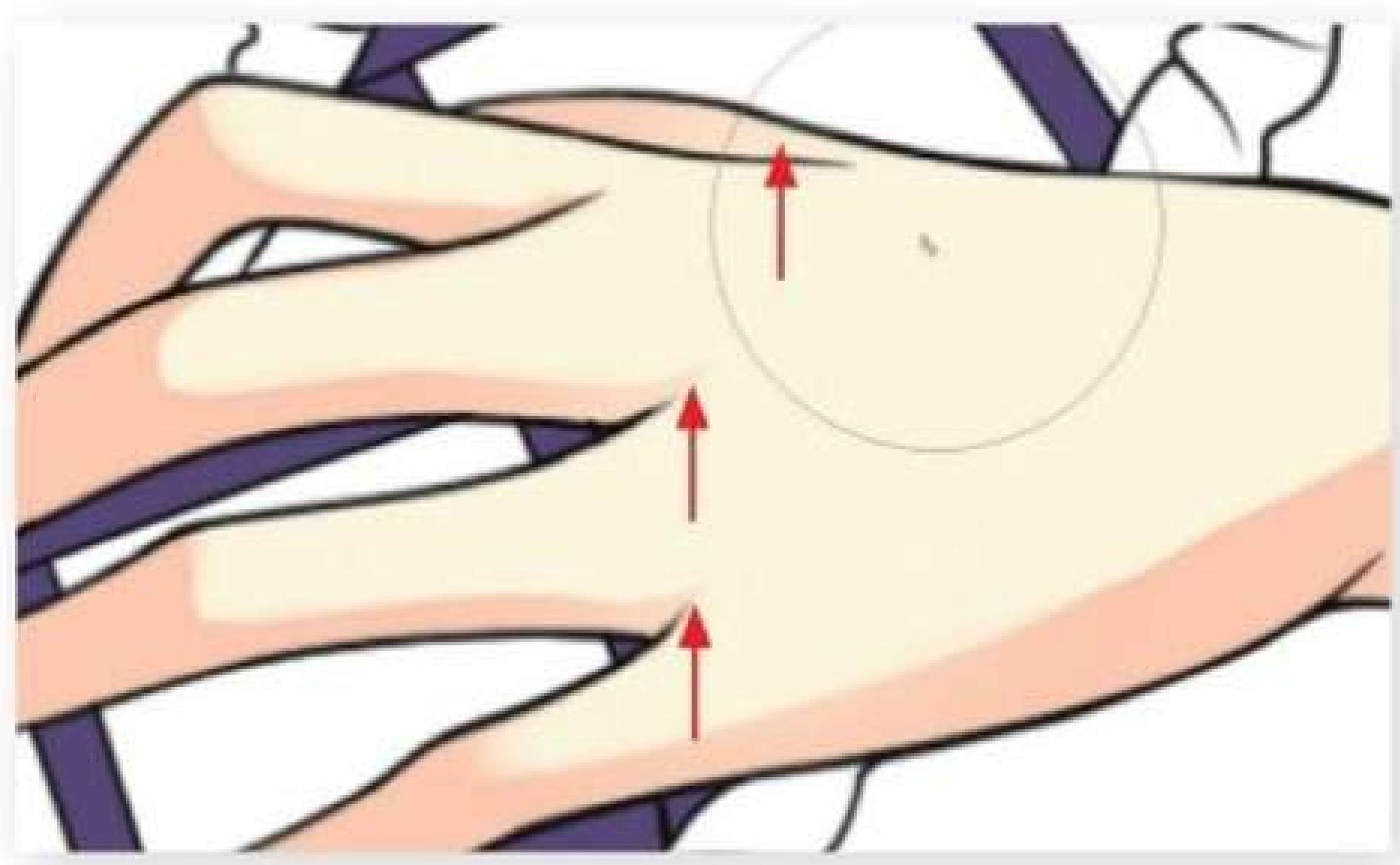



③サイズを「120」にしました



①影をぼかす前の状態です

→



④「消しゴム」ツールで影をぼかしました

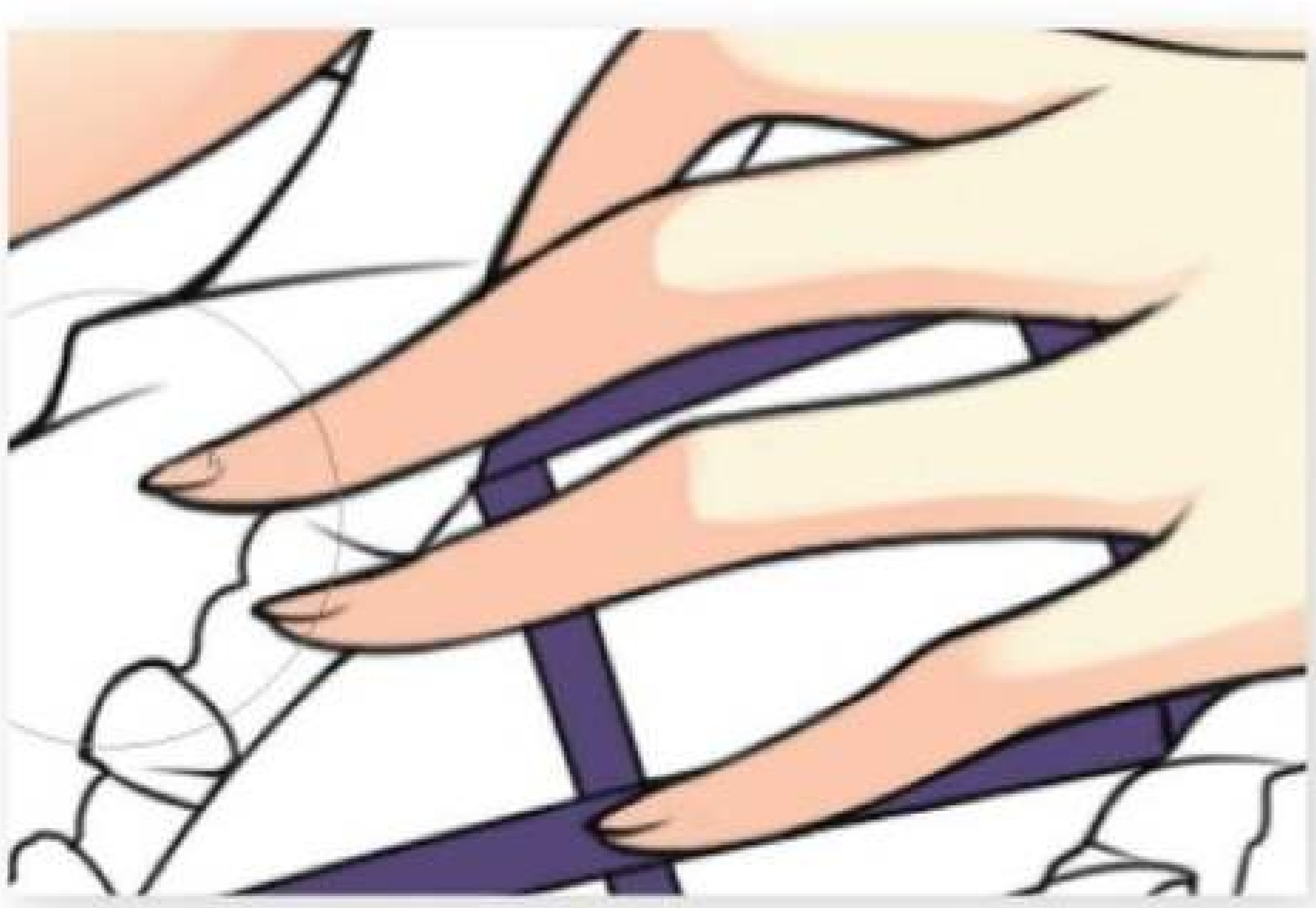
## 13 指先の影もぼかし、調子をつけます。




②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「120」にしました



①影をぼかす前の状態です

→

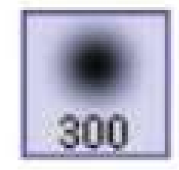


④「消しゴム」ツールで影をぼかしました

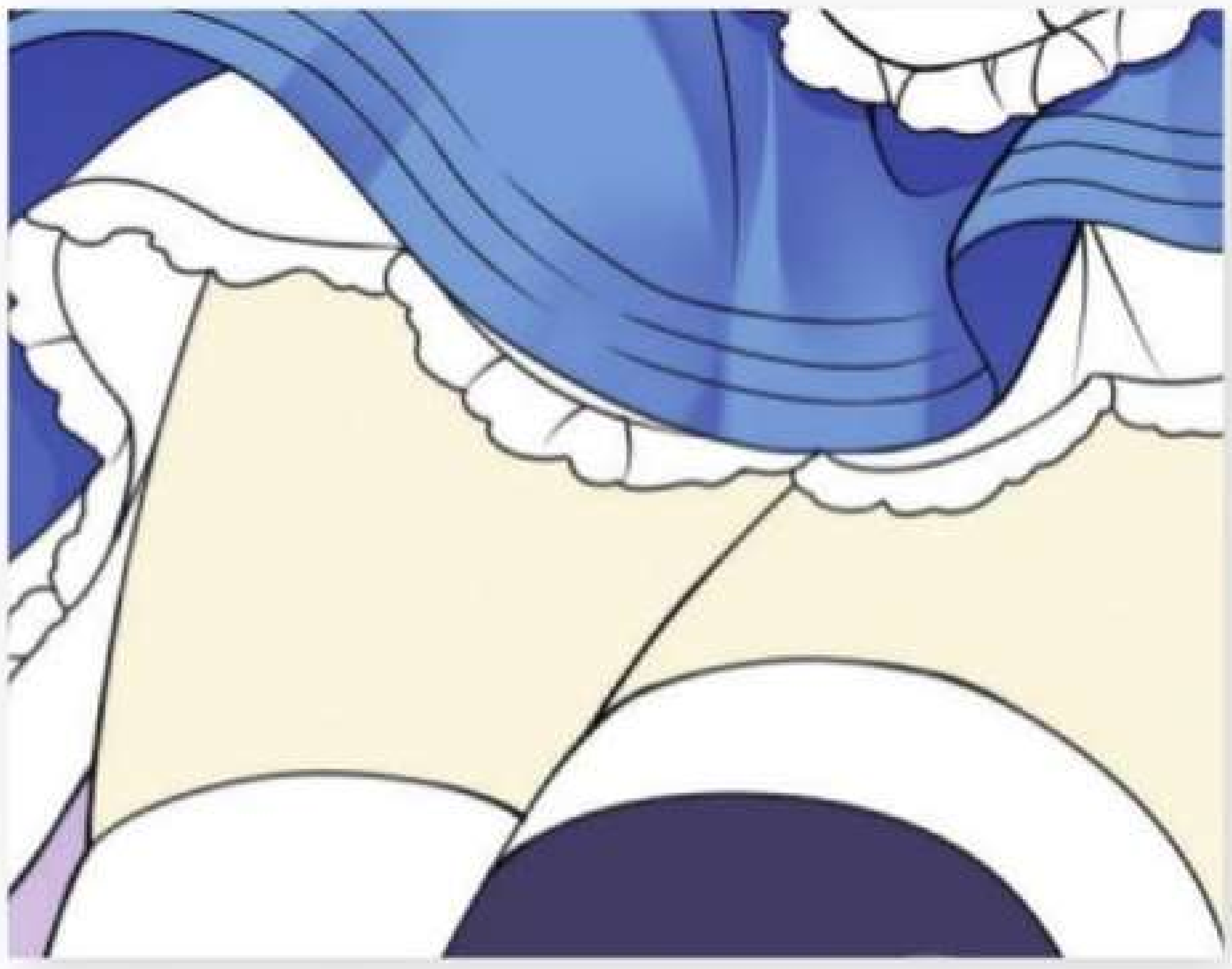
14 足の影を塗ります。ここでも柔らかさを出したいので「エアブラシ」ツールを使います。まずは大まかに影を塗りましょう。



②「エアブラシ」ツールを選択しました



③サイズを「300」にしました


①影を入れる前の状態です


④「エアブラシ」ツールで影を塗りました

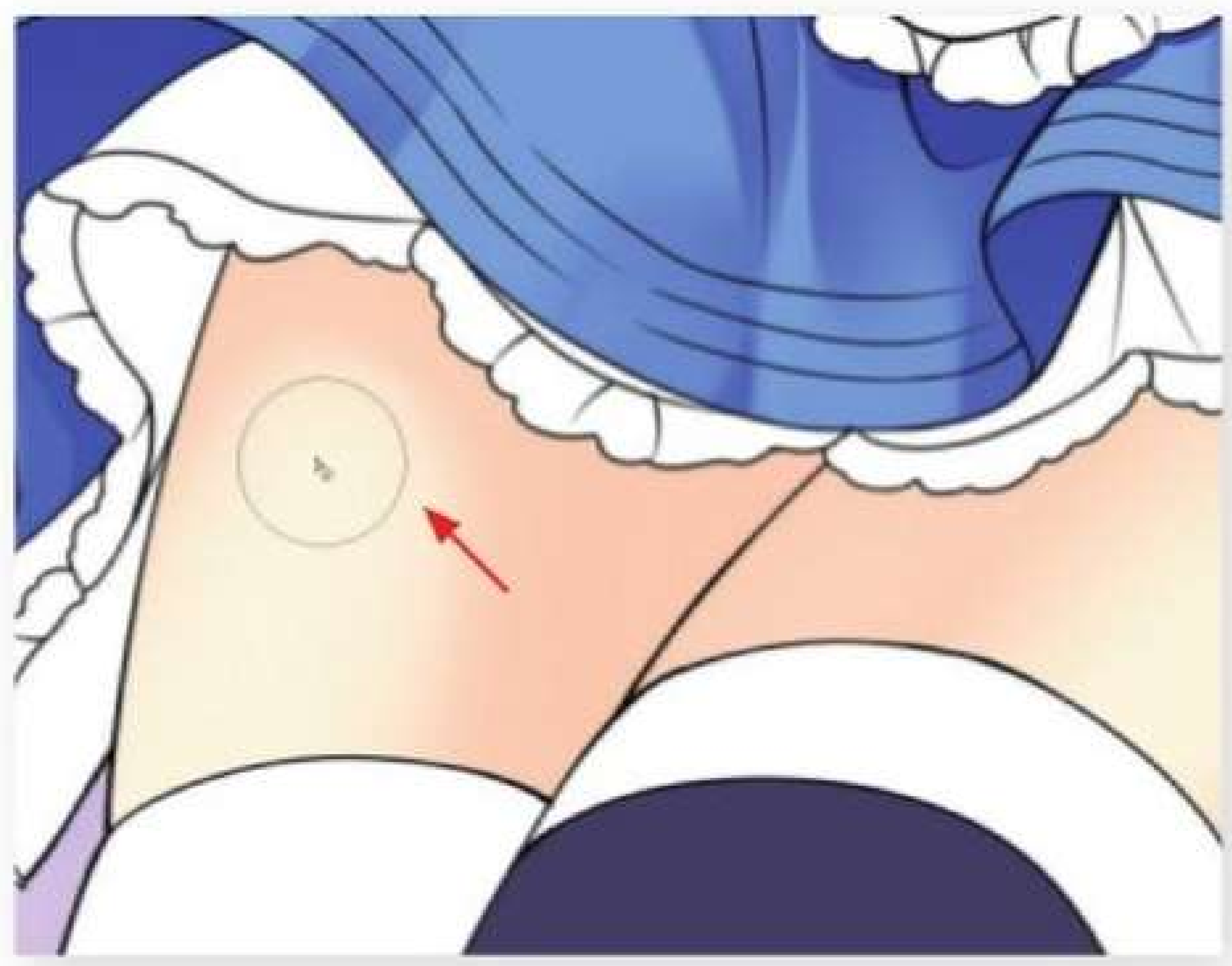
15 「消しゴム」ツールで影の形を整えます。



①「消しゴム」ツールを選択しました



②サイズを「80」にしました



16 「ぼかし」ツールで柔らかくぼかしましょう。これで1段目の影が塗れました。



①「ぼかし」ツールを選択しました



②サイズを「160」にしました



## 肌の2段目の陰影

01

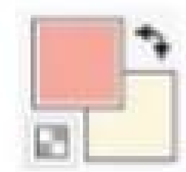
引き続き2段目の影を入れるために新規レイヤーを作成し、服から落ちる影を中心に描きます。ここではフリルの影を描き込みます。フリルの形を意識しながら塗りましょう。




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「20」にしました



⑤描画色を設定しました




②「影2」レイヤーにクリッピングを設定しました

①「影1」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影2」に変更しました



⑥2段目の影を塗りました

↓

02

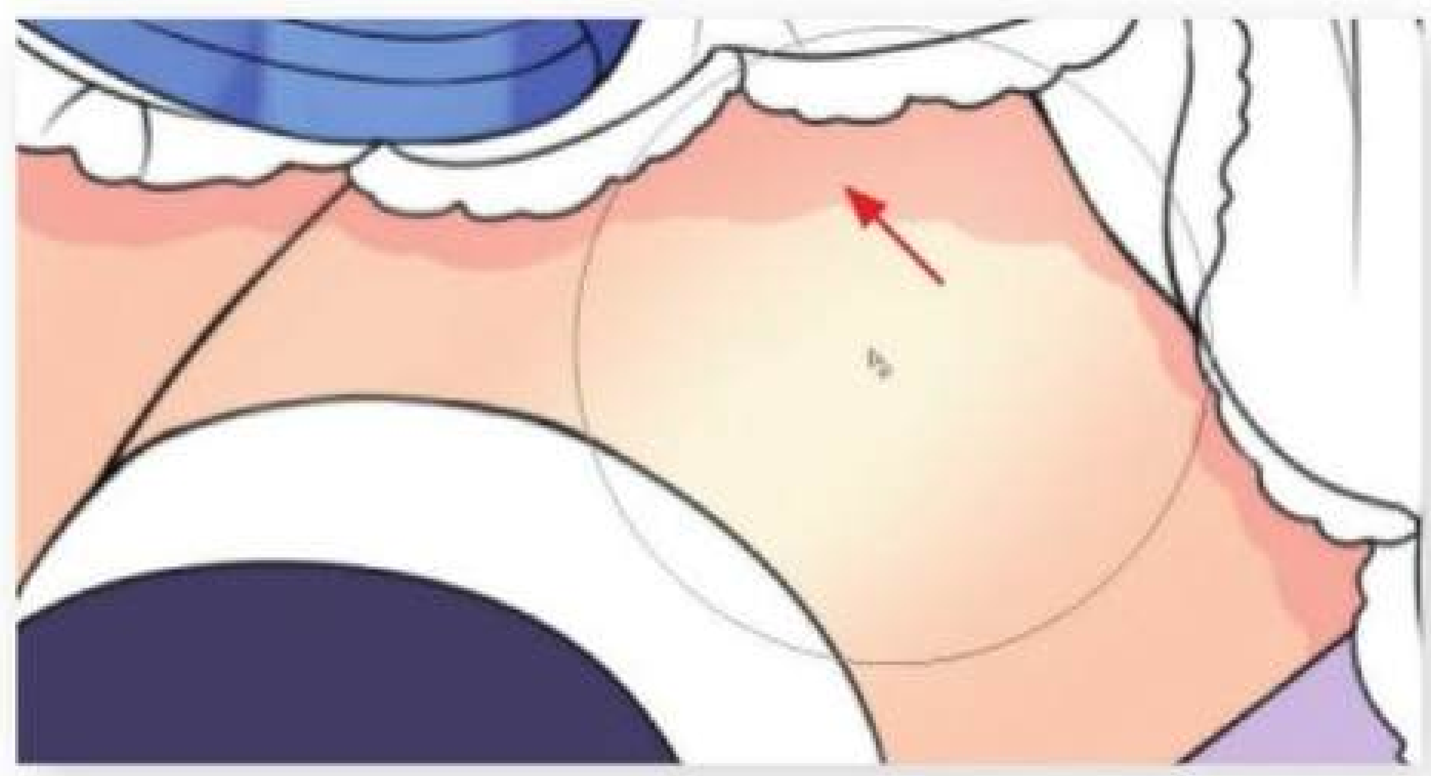
最後に「消しゴム」ツールで薄く消し、グラデーションを作りました。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「250」にしました



③2段目の影をぼかしました

03

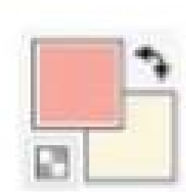
袖の部分の影です。腕の丸みに気をつけましょう。




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「12」にしました



④描画色を設定しました



①2段目の影を入れる前の状態です

→



⑤「筆」ツールで2段目の影を塗りました

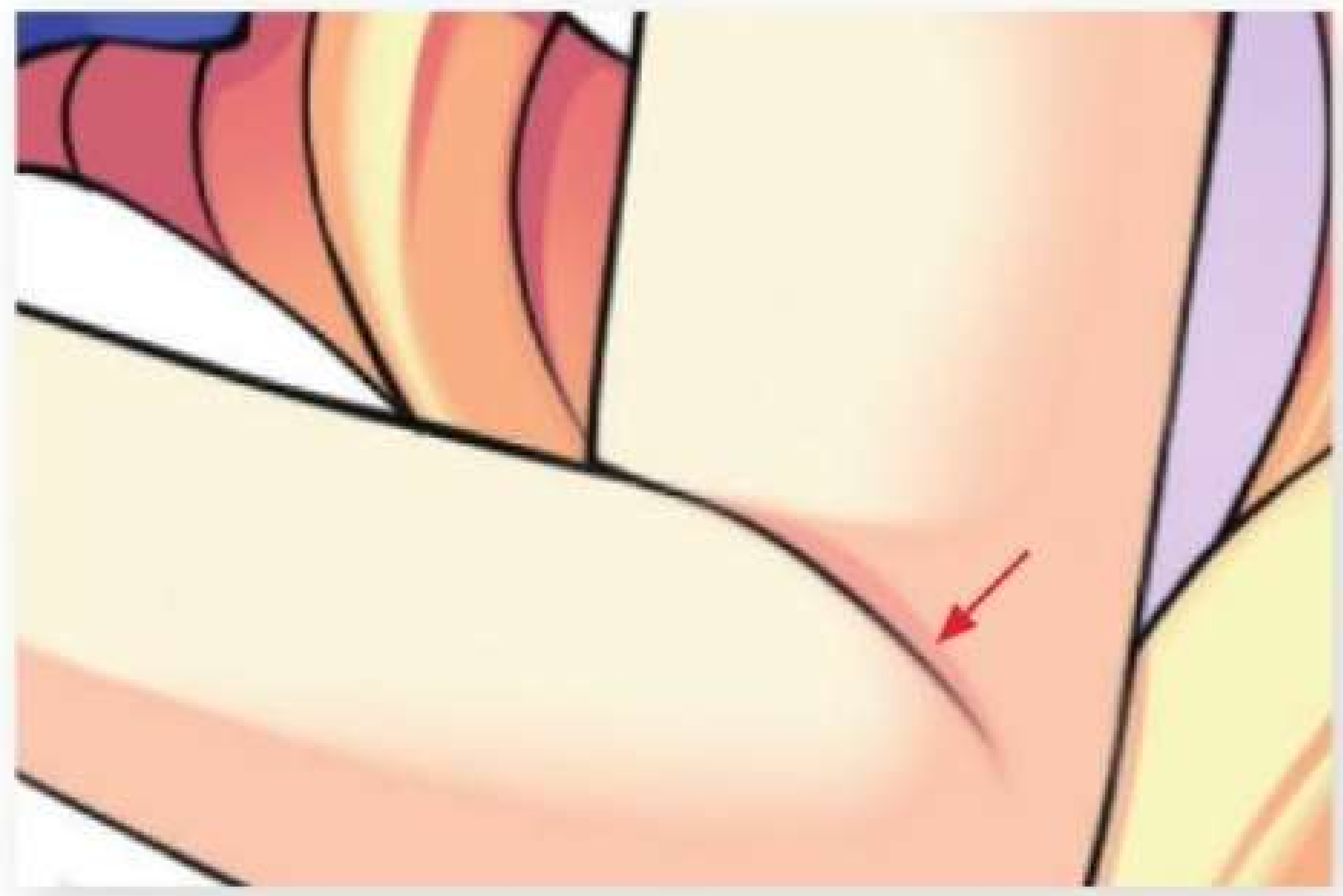
## 04

腕の部分の影を塗ります。腕の丸みに気をつけましょう。

①「筆」ツールを選択しました

②サイズを「12」にしました

③描画色を設定しました

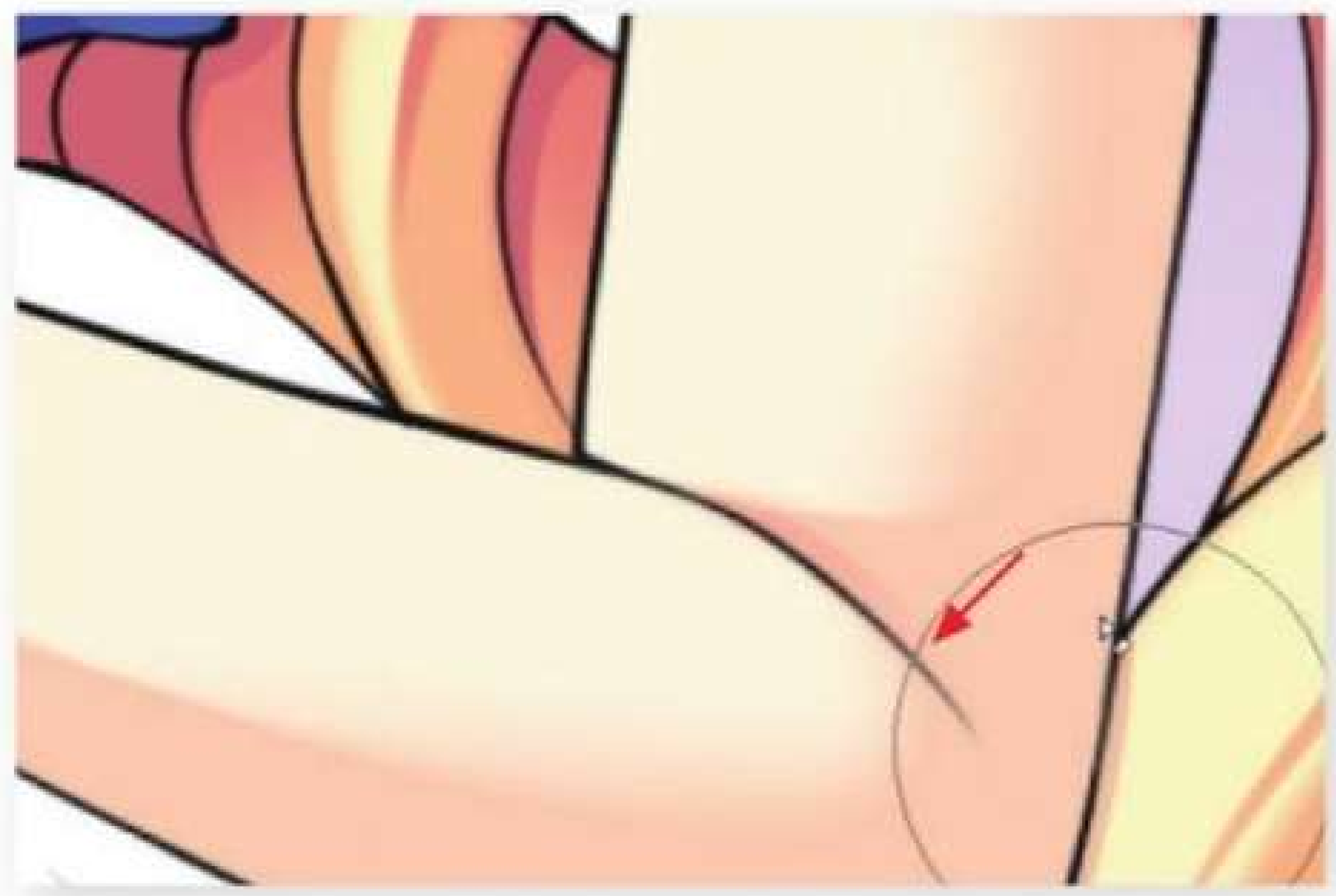


## 05

「消しゴム」ツールで端を薄く消して馴染ませます。自然な感じになりました。

①「消しゴム」ツールを選択しました

②サイズを「120」にしました



## 06

逆の腕も同じように影を塗ります。

①「筆」ツールを選択しました

②サイズを「20」にしました

③描画色を設定しました



## 07

「消しゴム」ツールでグラデーションをつけました。

①「消しゴム」ツールを選択しました

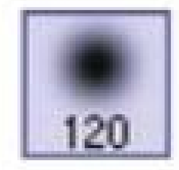
②サイズを「200」にしました



08 指などの細かい部分は丁寧に「筆」ツールで塗り、最後に「消しゴム」ツールで馴染ませます。「ぼかし」ツールを使ってもいいでしょう。



②「消しゴム」ツールを選択しました



③サイズを「120」にしました


①「筆」ツールで影を描きました

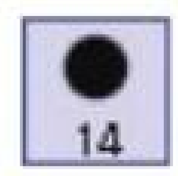
→


④「消しゴム」ツールで影をぼかしました

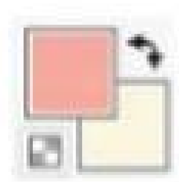
09 ほおにかかる髪の影を塗ります。髪の形に沿って形を取ります。



②「筆」ツールを選択しました



③サイズを「14」にしました


④描画色を設定しました


①影を入れる前の状態です

→


⑤「筆」ツールで影を塗りました



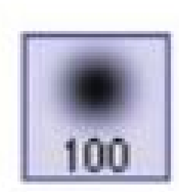
⑥「消しゴム」ツールを選択しました



⑦サイズを「9」にしました



⑨「消しゴム」ツールを選択しました



⑩サイズを「100」にしました


⑧「消しゴム」ツールで形を整えました

→

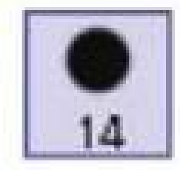

⑪「消しゴム」ツールで影をぼかしました

10

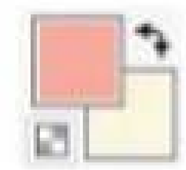
前髪から肌に落ちる影の2段目を塗ります。1段目の影を目安に塗りましょう。




②「筆」ツールを選択しました



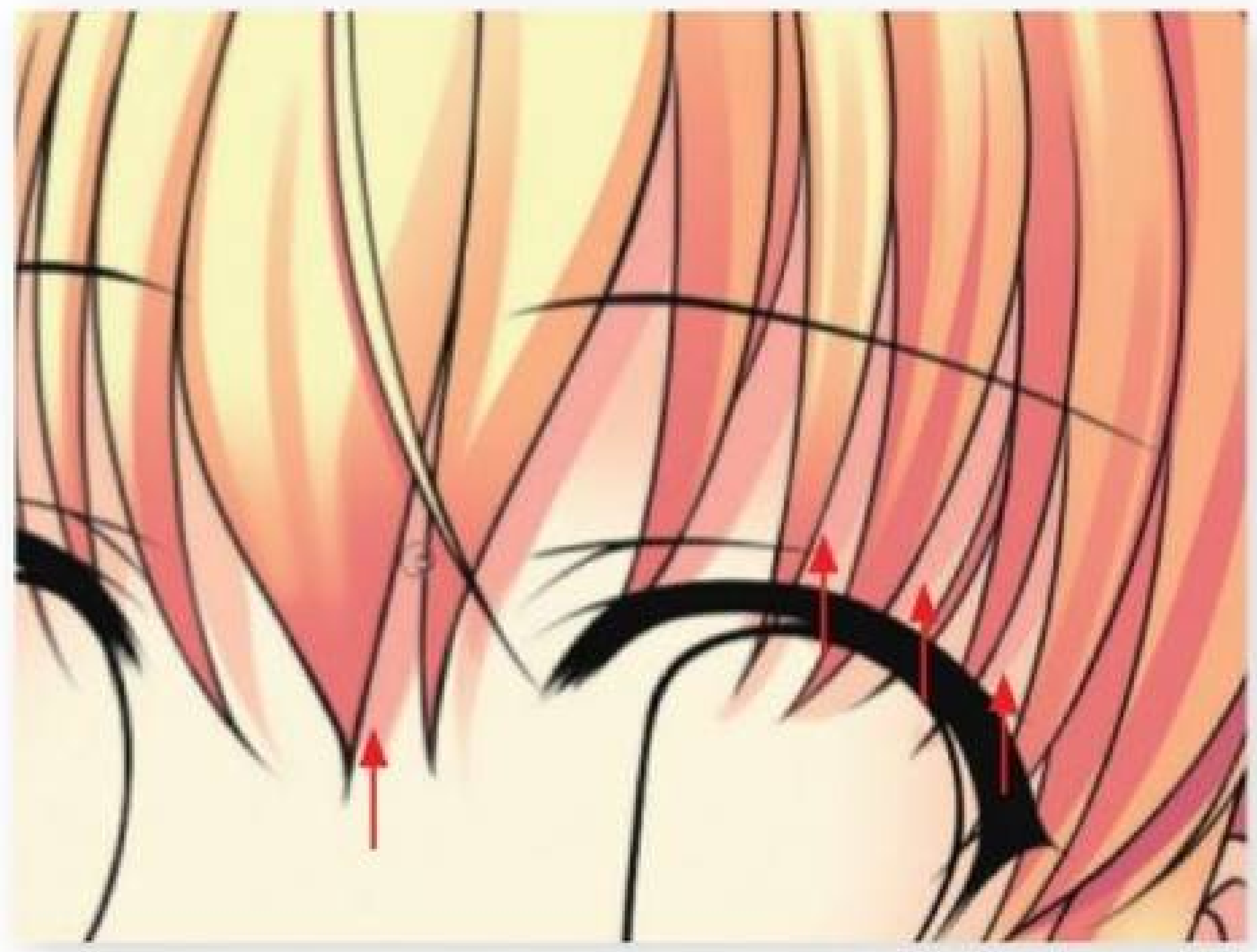

③サイズを「14」にしました



④描画色を設定しました



①2段目の影を入れる前の状態です



⑤「筆」ツールで2段目の影を描きました

11

先端を「消しゴム」ツールでぼかします。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「120」にしました



12

一通り肌が塗れました



# 瞳の着色

01

そろそろ瞳を塗ります。目の線画を選択し、「自動選択」ツールで瞳の部分を範囲指定します。



②「自動選択」ツールを選択しました




①「目」レイヤーを選択しました



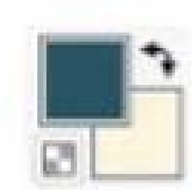
③瞳の内側をクリックして、選択範囲を設定しました

02

目の線画の下に新規レイヤーを作成し、選択範囲を「バケツ」ツールで塗りつぶします。これが瞳のベースになります。レイヤーの名称は分かりやすいように「瞳」にしました。




②「バケツ」ツールを選択しました



③描画色を設定しました




①「目」レイヤーの下に新規レイヤーを作成し、名称を「瞳」に変更しました



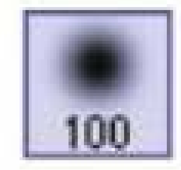
④瞳の内側をクリックして、瞳を塗りつぶしました

## 03

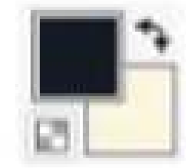
「瞳」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、クリッピングを設定します。それでは瞳を描いていきましょう。まずは「エアブラシ」ツールで上半分を塗ります。




③「エアブラシ」ツールを選択しました




④サイズを「100」にしました



⑤描画色を設定しました




②「瞳2」レイヤーにクリッピングを設定しました

①「瞳」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「瞳2」に変更しました



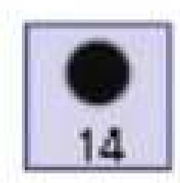
⑥瞳の上半分を「エアブラシ」ツールで塗りました

## 04

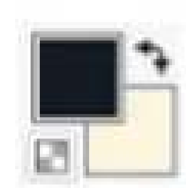
「筆」ツールで丸く瞳孔を描きます。両目でチグハグにならないよう、逆の目も同じようにバランスをよく確認しながら描きます。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「14」にしました



③描画色を設定しました





05 このままだとのっぺりした感じに見えるので、瞳の中心部分を少し明るくしましょう。まずは新規レイヤーを作成し、明るめの色を瞳孔部分に沿って丸く塗ります。

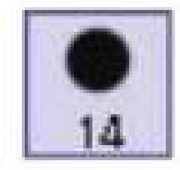



②「瞳3」レイヤーにクリッピングを設定しました

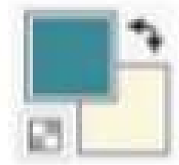
①「瞳2」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「瞳3」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「14」にしました



⑤描画色を設定しました



06 色が塗れたら、縁の部分はぼけ足の大きめな「消しゴム」ツールで消してぼかします。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「70」にしました



07 「ブラシ濃度」は高めに設定して、何度もなでる感じに消していくとうまくいきます。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「160」にしました



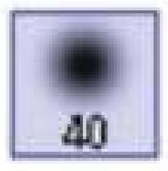

③「ブラシ濃度」を「83」に設定しました



08 最後に「ぼかし」ツールで整えます。



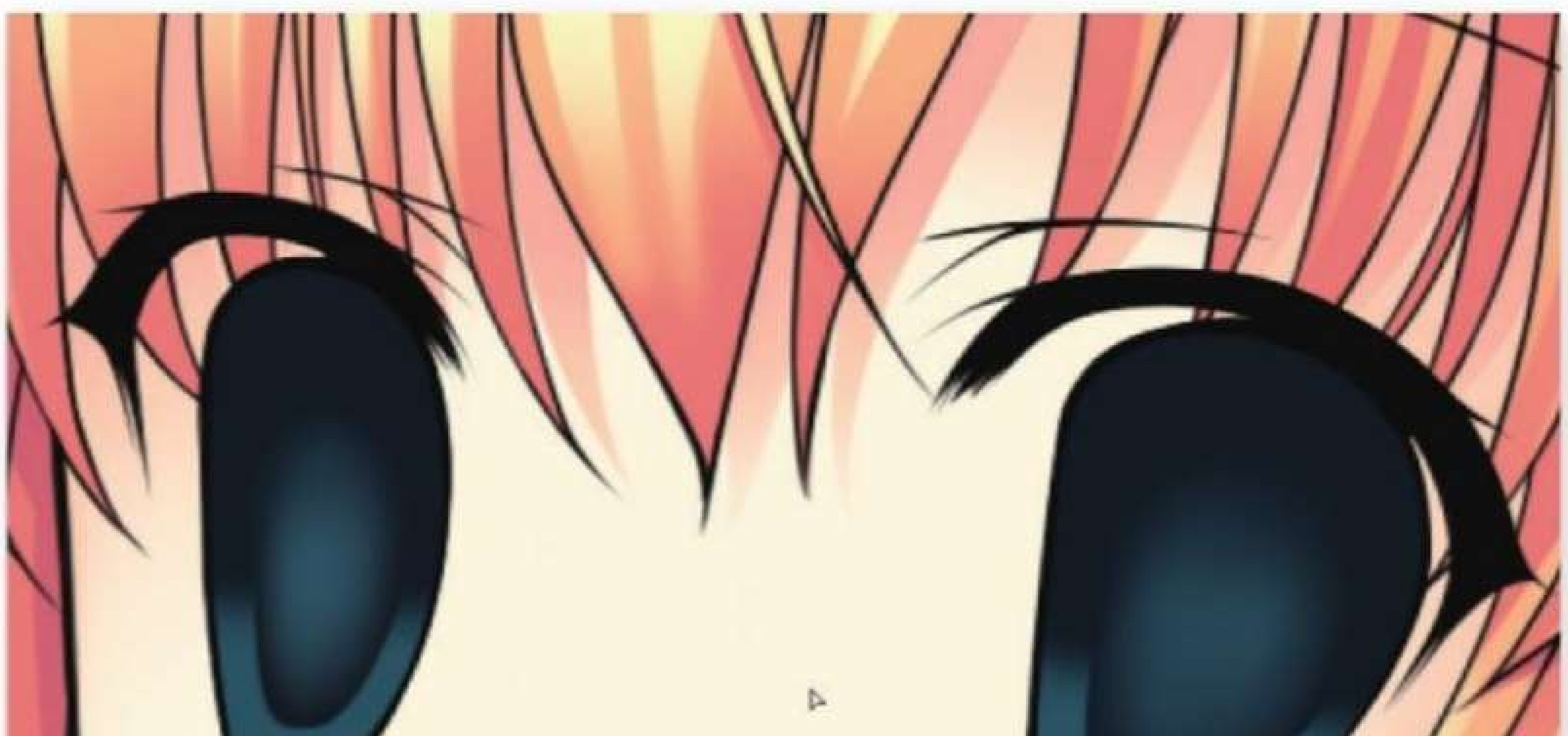
①「ぼかし」ツールを選択しました



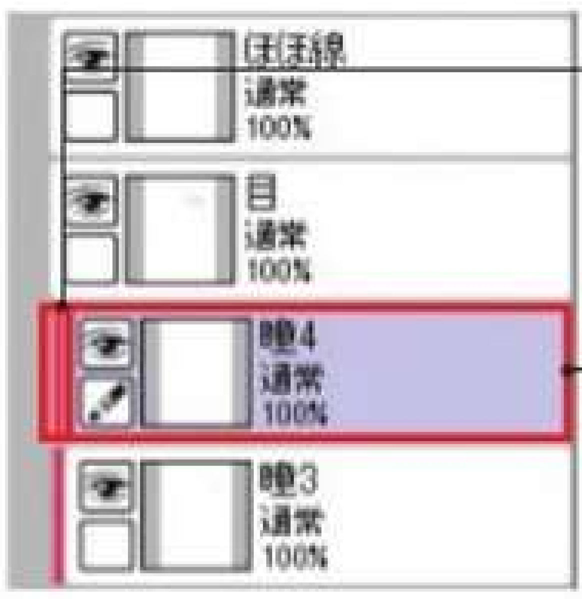
②サイズを「40」にしました



09 逆の眼も同じように塗りました。

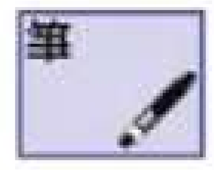


10 瞳孔を少しクッキリさせたいので、下の部分に濃い色で線を入れます。新規レイヤーを作成し、半月のような形に描き入れます。半月の太さは好みで変えてみてください。

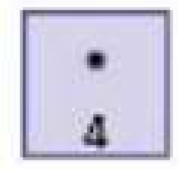



②「瞳4」レイヤーにクリッピングを設定しました

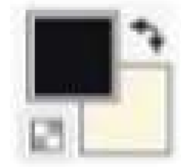
①「瞳3」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「瞳4」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「4」にしました



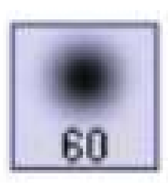
⑤描画色を設定しました



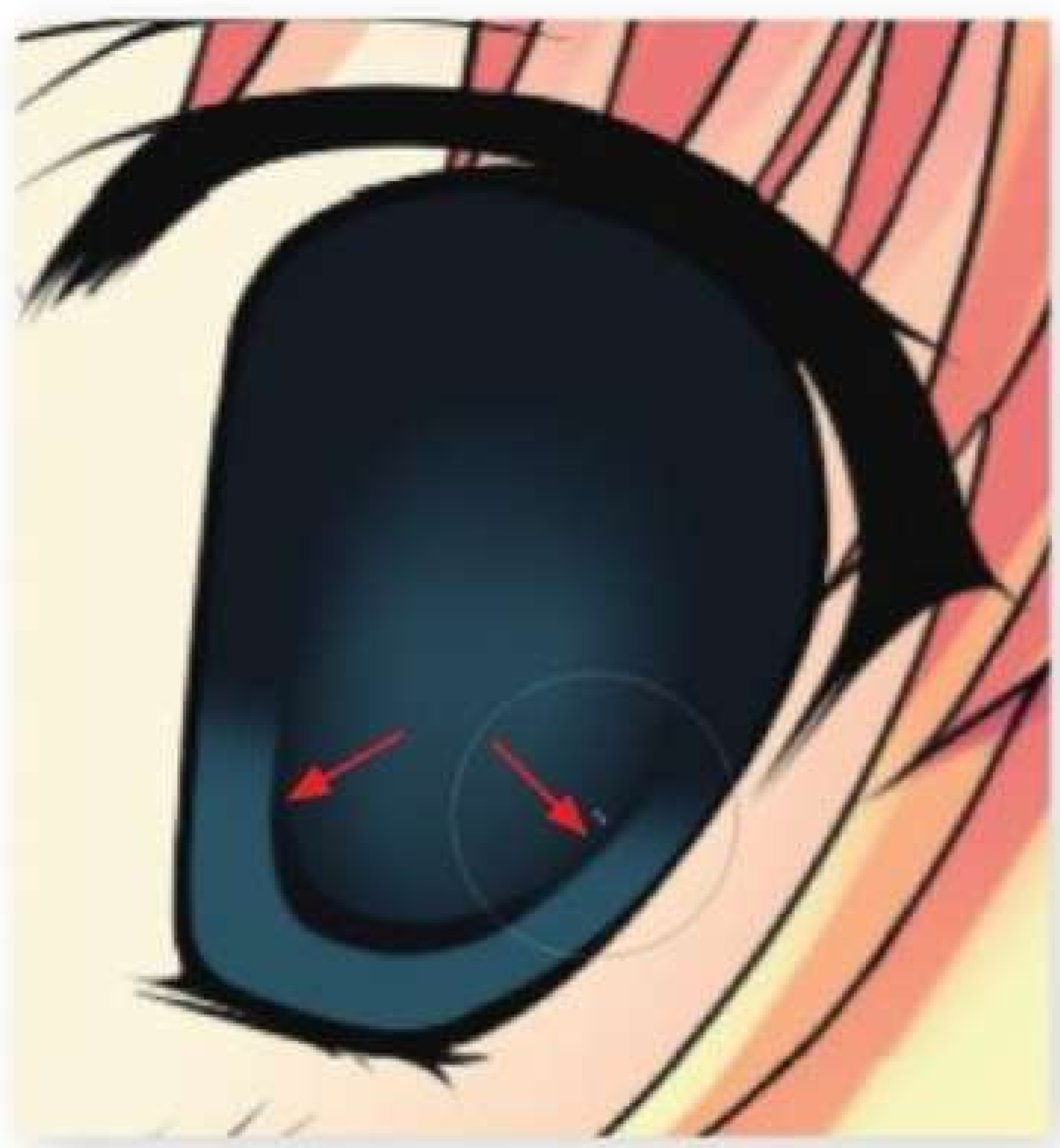
11 このままでもよいですが、両端は「消しゴム」ツールで少し消して馴染ませると綺麗になるでしょう。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「60」にしました



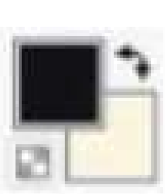
12 ちょっとメリハリが足りないので、瞳の上のほう(1/3くらい)に暗い色を入れました。グラデーションにしたいので、「エアブラシ」ツールを使いました。




①「エアブラシ」ツールを選択しました




②サイズを「120」にしました

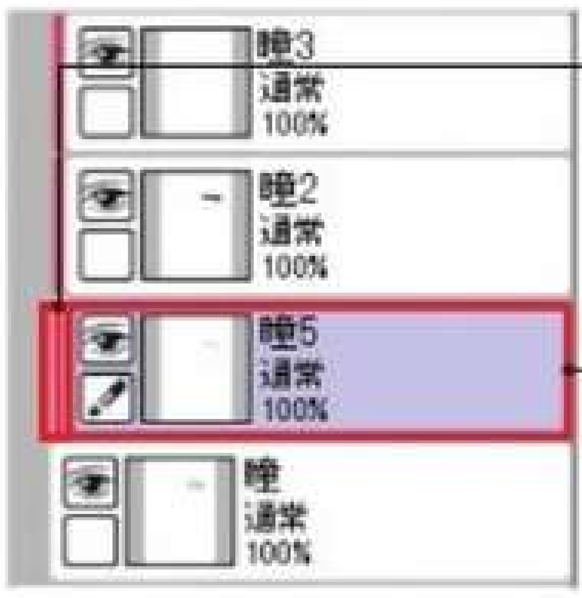


③描画色を設定しました



13

「瞳」レイヤーのすぐ上に新規レイヤーを作成し、明るい色を「エアブラシ」ツールで軽く塗ります。瞳が輝いている感じになります。

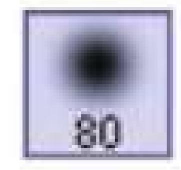



②「瞳5」レイヤーにクリッピングを設定しました

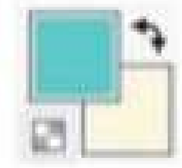
①「瞳」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「瞳5」に変更しました




③「エアブラシ」ツールを選択しました




④サイズを「80」にしました



⑤描画色を設定しました

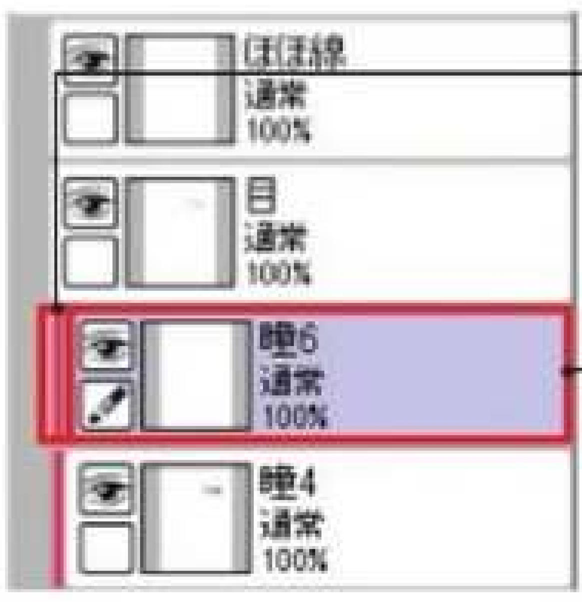


14

逆の眼も同じように作業します。あまり下のほうまで塗らないのがコツです。



**15** 虹彩を細い「筆」ツールで描き込むために、新規レイヤーを作成します。瞳孔は中心に扇状になるように描きます。太さはランダムにするとニュアンスが出ます。




②「瞳6」レイヤーにクリッピングを設定しました

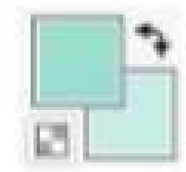
①「瞳4」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「瞳6」に変更しました



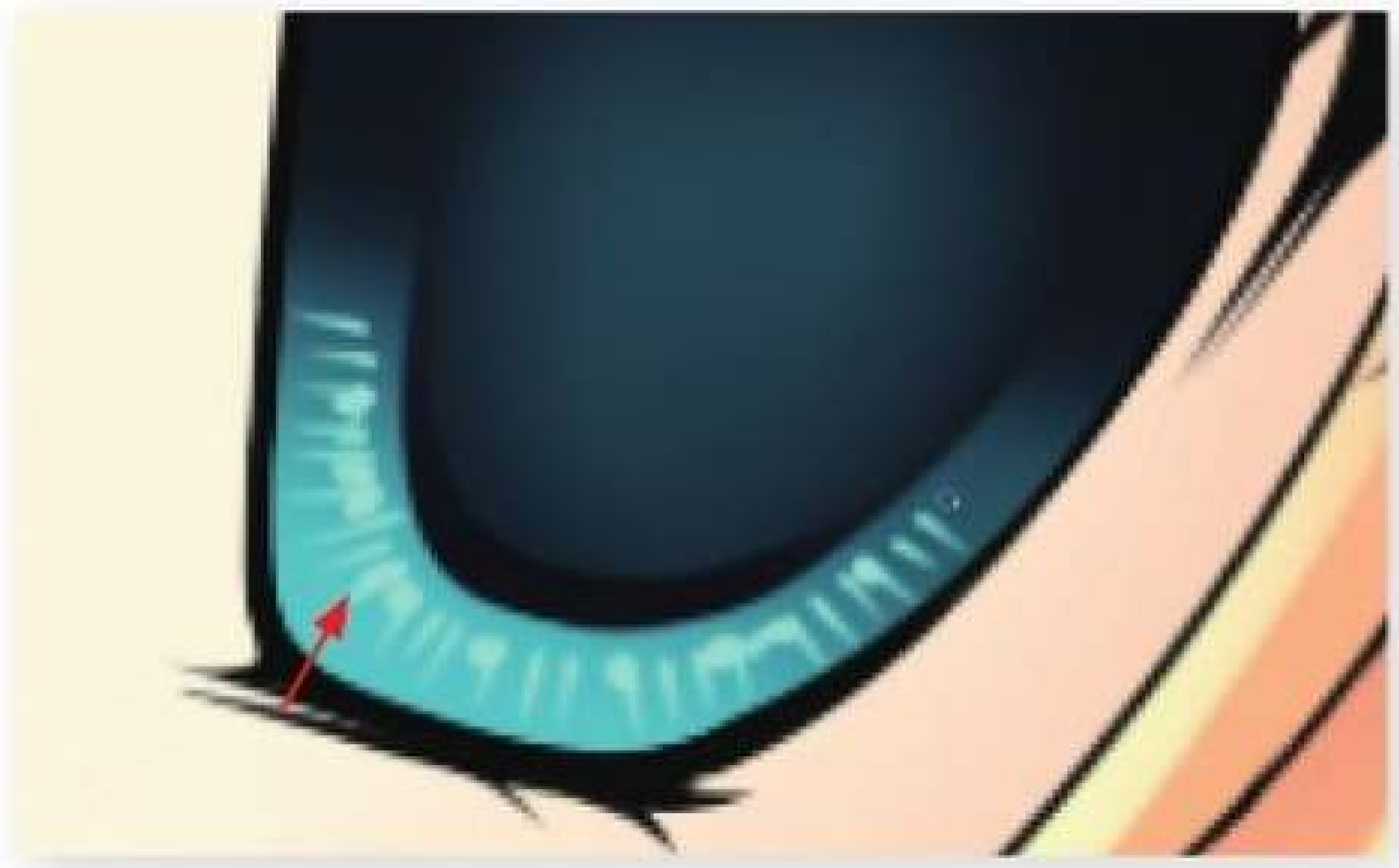

③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「2.6」にしました



⑤描画色を設定しました



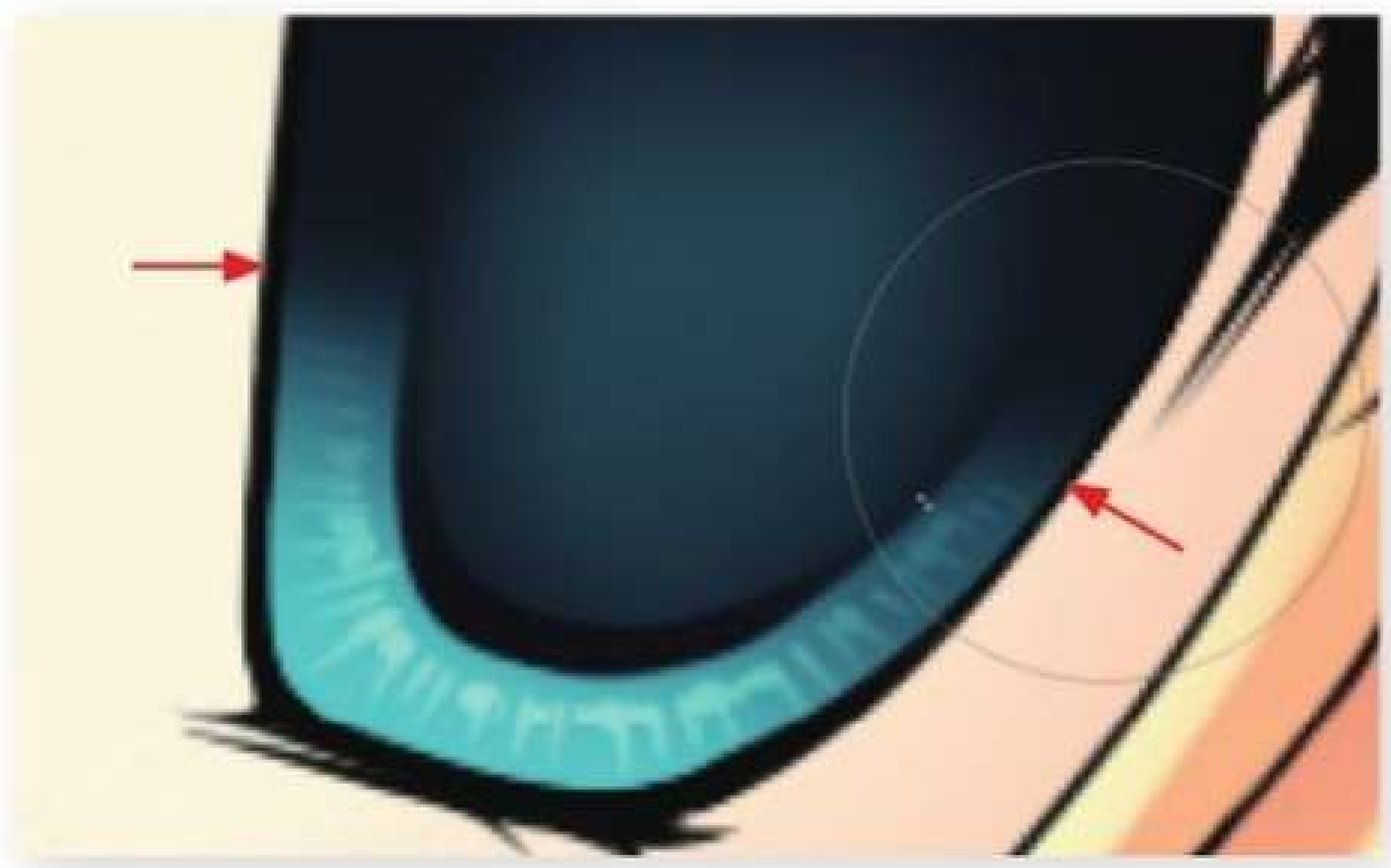
**16** 虹彩が描けたら、両端は「消しゴム」ツールで薄く消します。すると、自然な感じに見えるようになります。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「70」にしました

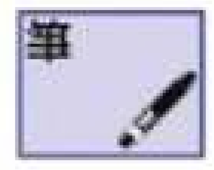


**17** 逆の眼も同様に塗って、瞳のベースは出来上がりです。

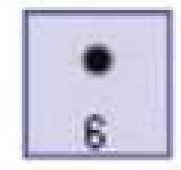


18

次にハイライトを描くために、「目」レイヤーの上に新規レイヤーを作成します。「筆」ツールでハイライトを描きました。




②「筆」ツールを選択しました



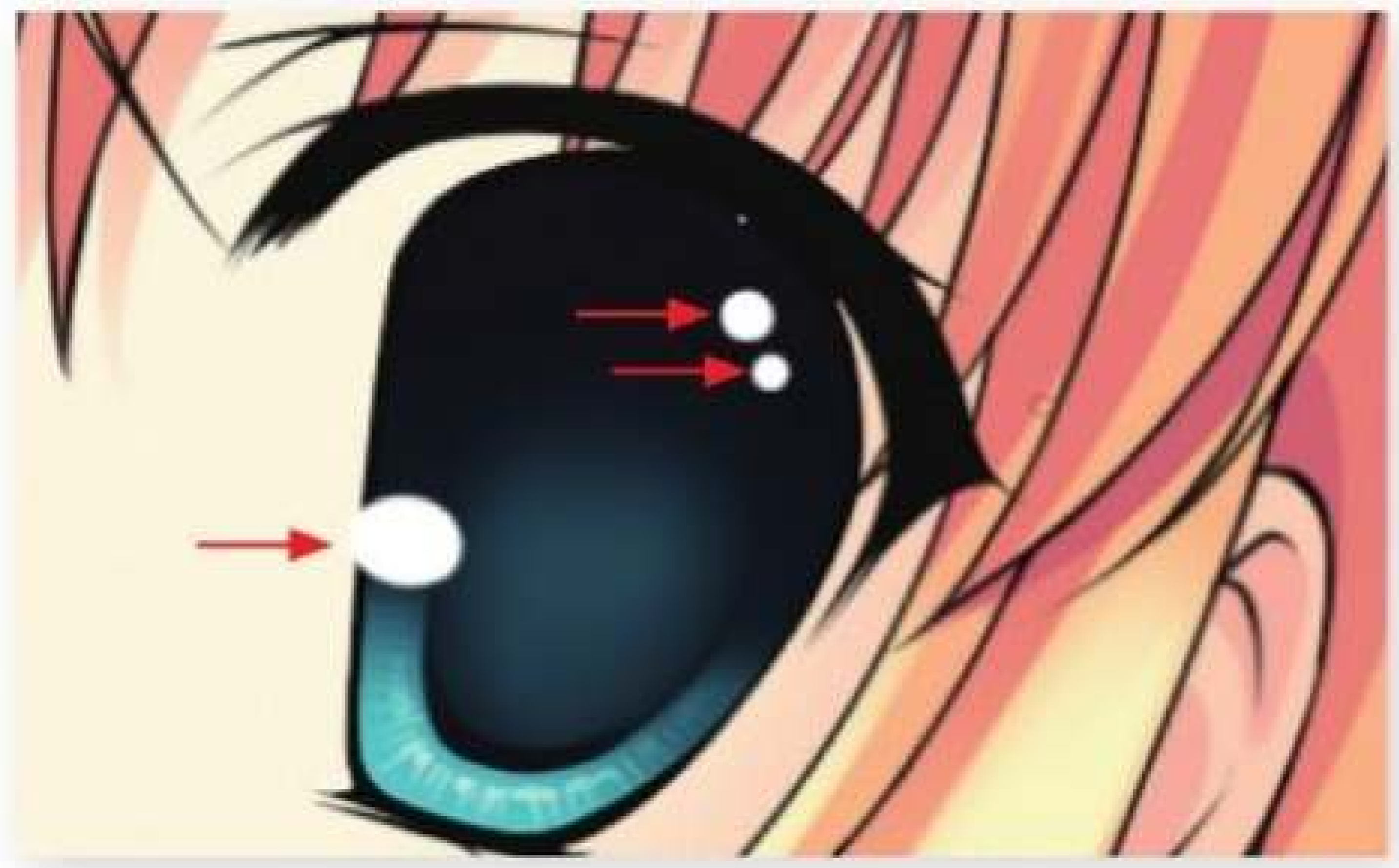

③サイズを「6」にしました



④描画色を設定しました




①「目」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「ハイライト」に変更しました



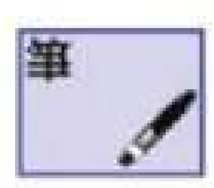
19

逆の眼も同様に塗ります

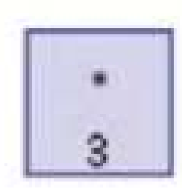


20

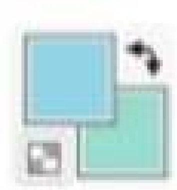
「ハイライト」レイヤーの「不透明度の保護」にチェックを入れます。先ほど塗ったハイライトの縁の部分に色を塗りました。




②「筆」ツールを選択しました



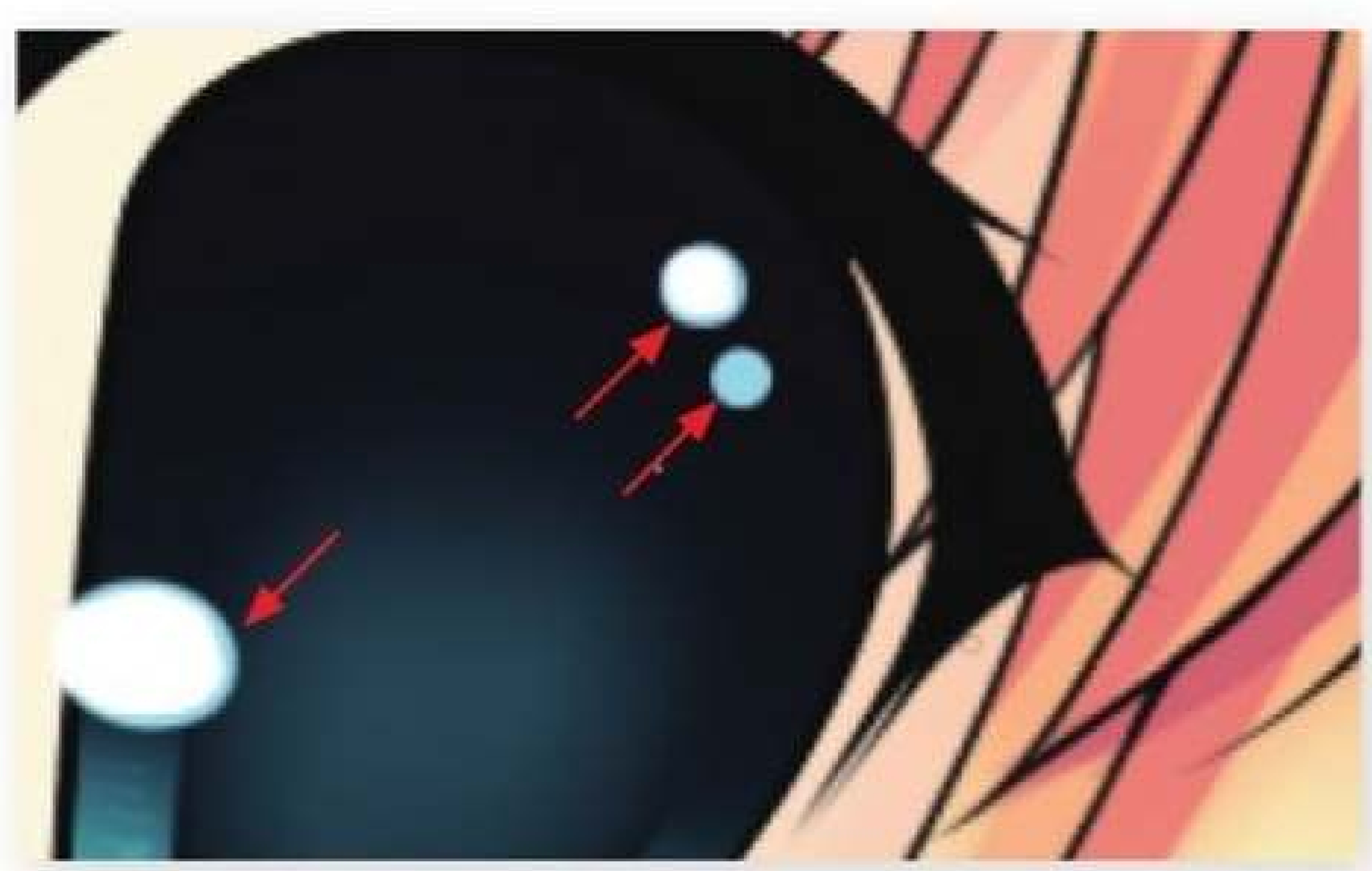

③サイズを「3」にしました



④描画色を設定しました




①「ハイライト」レイヤーに「保護」を設定しました



21

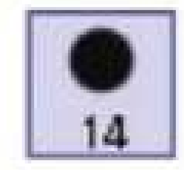
白目の部分を塗るために、「瞳」レイヤーの下に新規レイヤーを作成します。まつ毛の中の部分を繋げるように塗ります。




①「瞳」レイヤーの下に新規レイヤーを作成し、名称を「白目」に変更しました




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「14」にしました

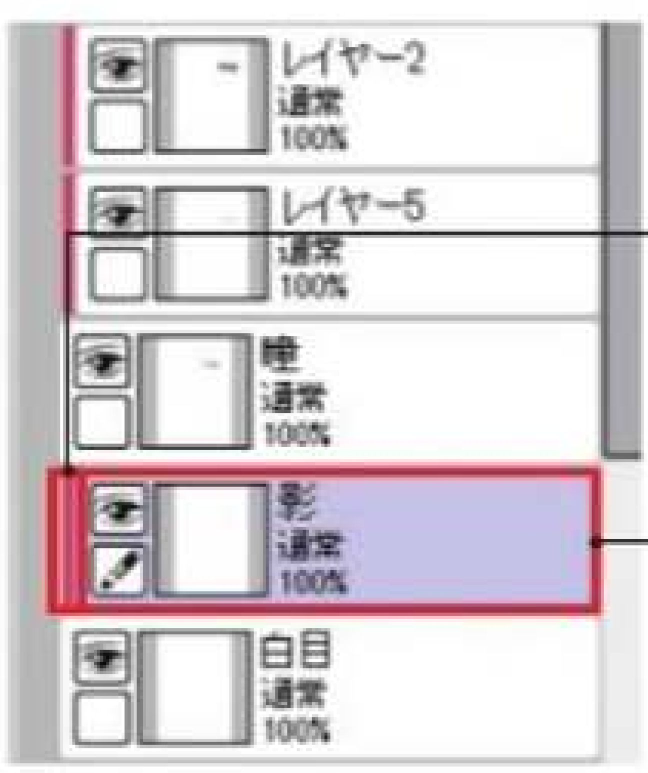


④描画色を設定しました



22

「白目」レイヤーの上に影を塗るための新規レイヤーを作成します。




②「影」レイヤーにクリッピングを設定しました

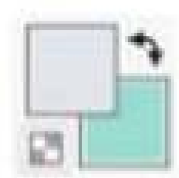
①「白目」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「20」にしました



⑤描画色を設定しました



⑥白目に影を着色しました

23

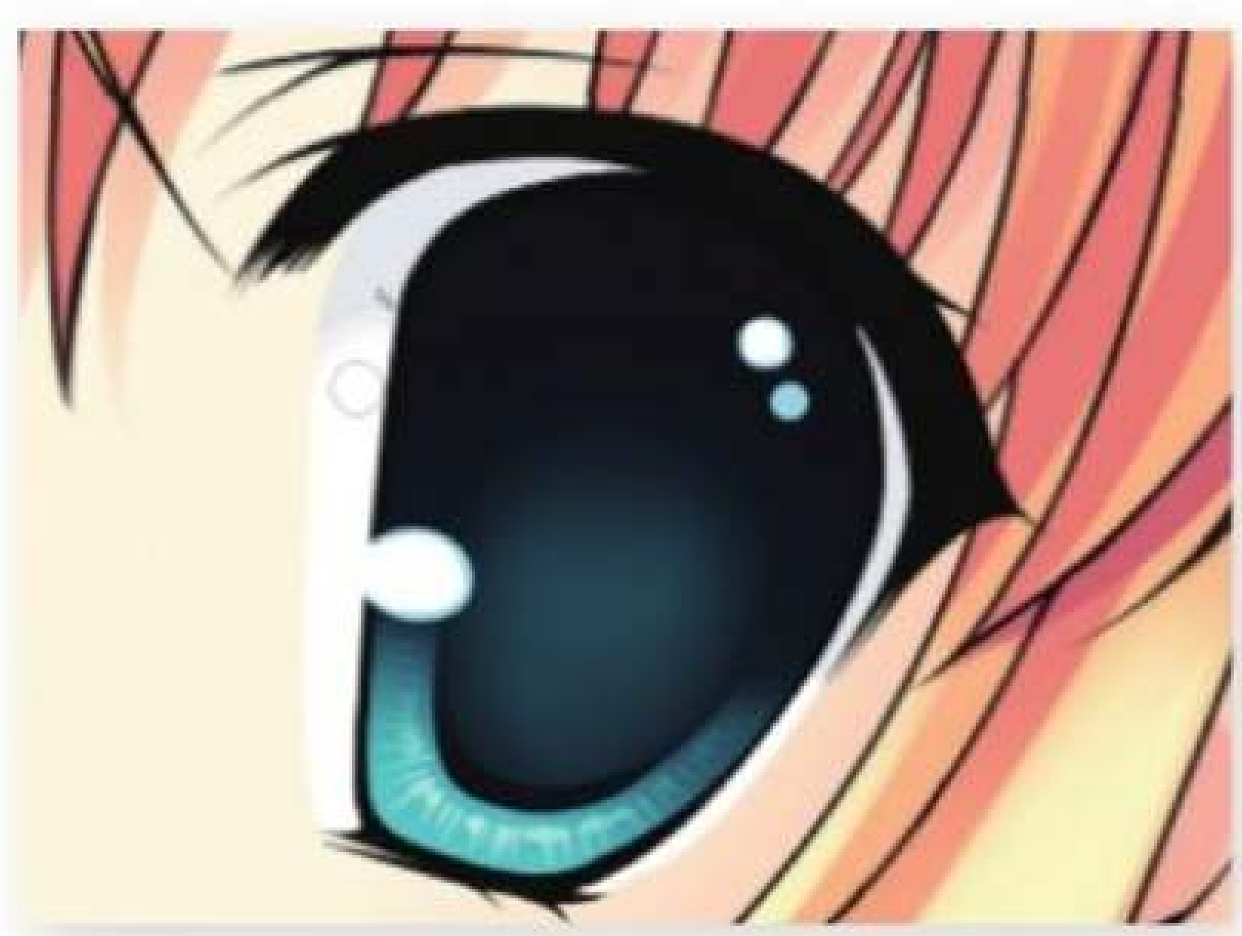
「筆」ツールで影を塗った後、「消しゴム」ツールや「ぼかし」ツールで馴染ませます。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「14」にしました



③「消しゴム」ツールで影をぼかしました

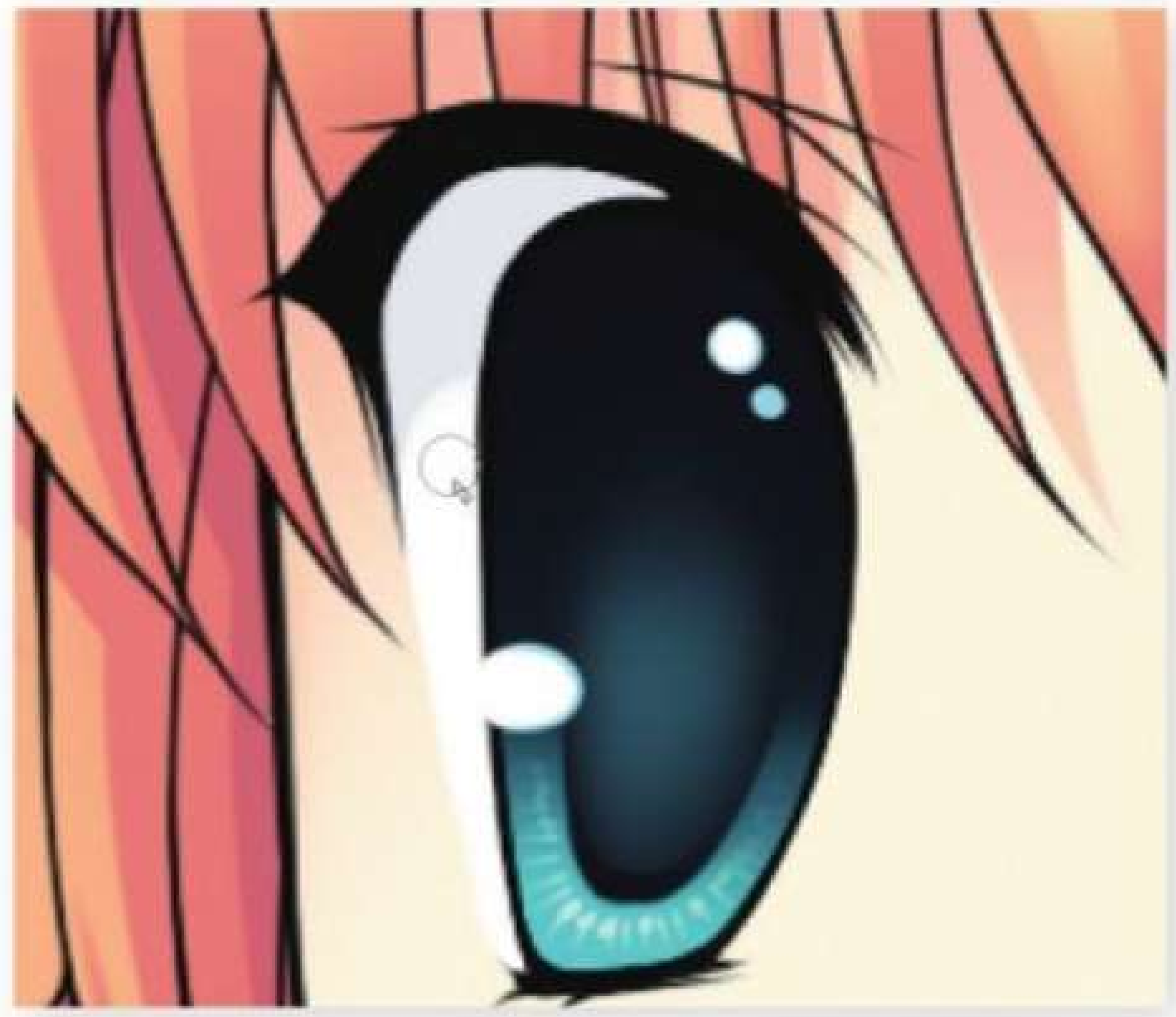
## 24

次に、「目」レイヤーの上に新規レイヤーを作成して、まつ毛の先端部分を中心に色を塗ります。「エアブラシ」ツールを使って、茶色にすると自然な感じになります。




②「目2」レイヤーにクリッピングを設定しました

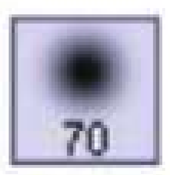
①「目」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「目2」に変更しました



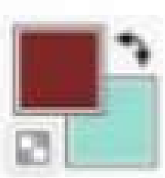
③まつ毛を着色する前の状態です



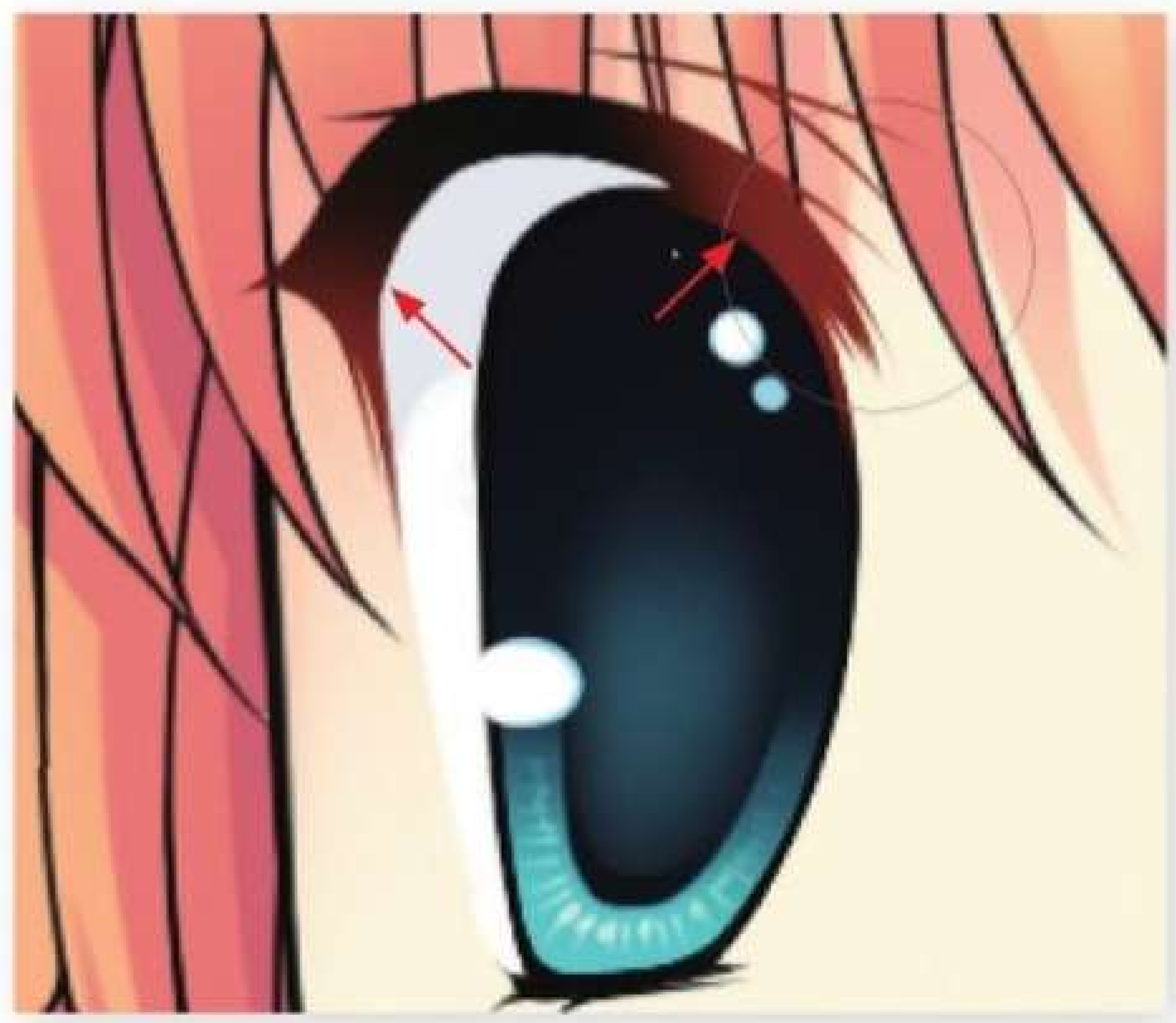

④「エアブラシ」ツールを選択しました




⑤サイズを「70」にしました



⑥描画色を設定しました



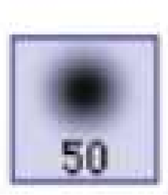
⑦まつ毛の両端を茶色で塗りました

## 25

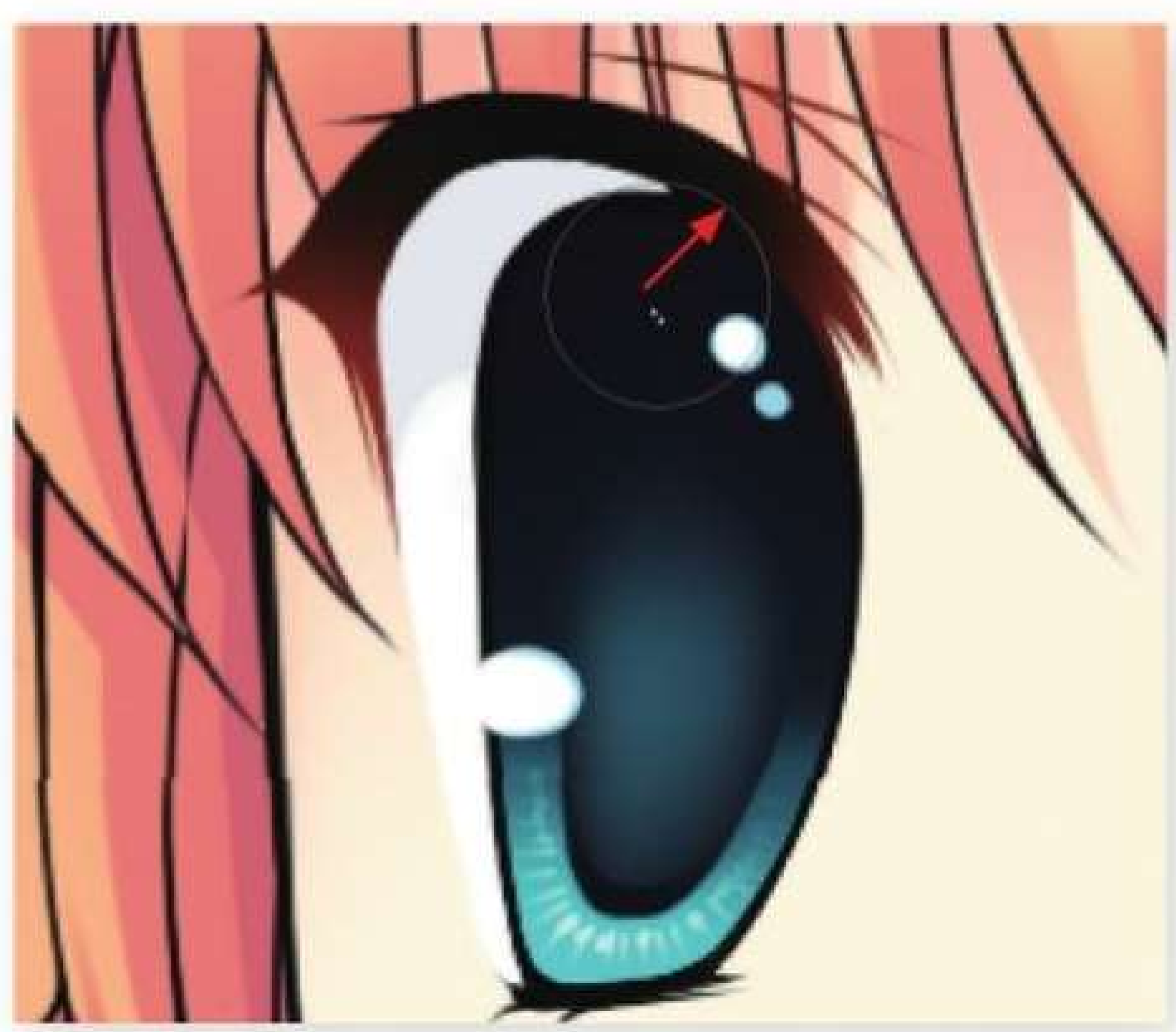
「消しゴム」ツールで塗った範囲を整えます。




①「消しゴム」ツールを選択しました



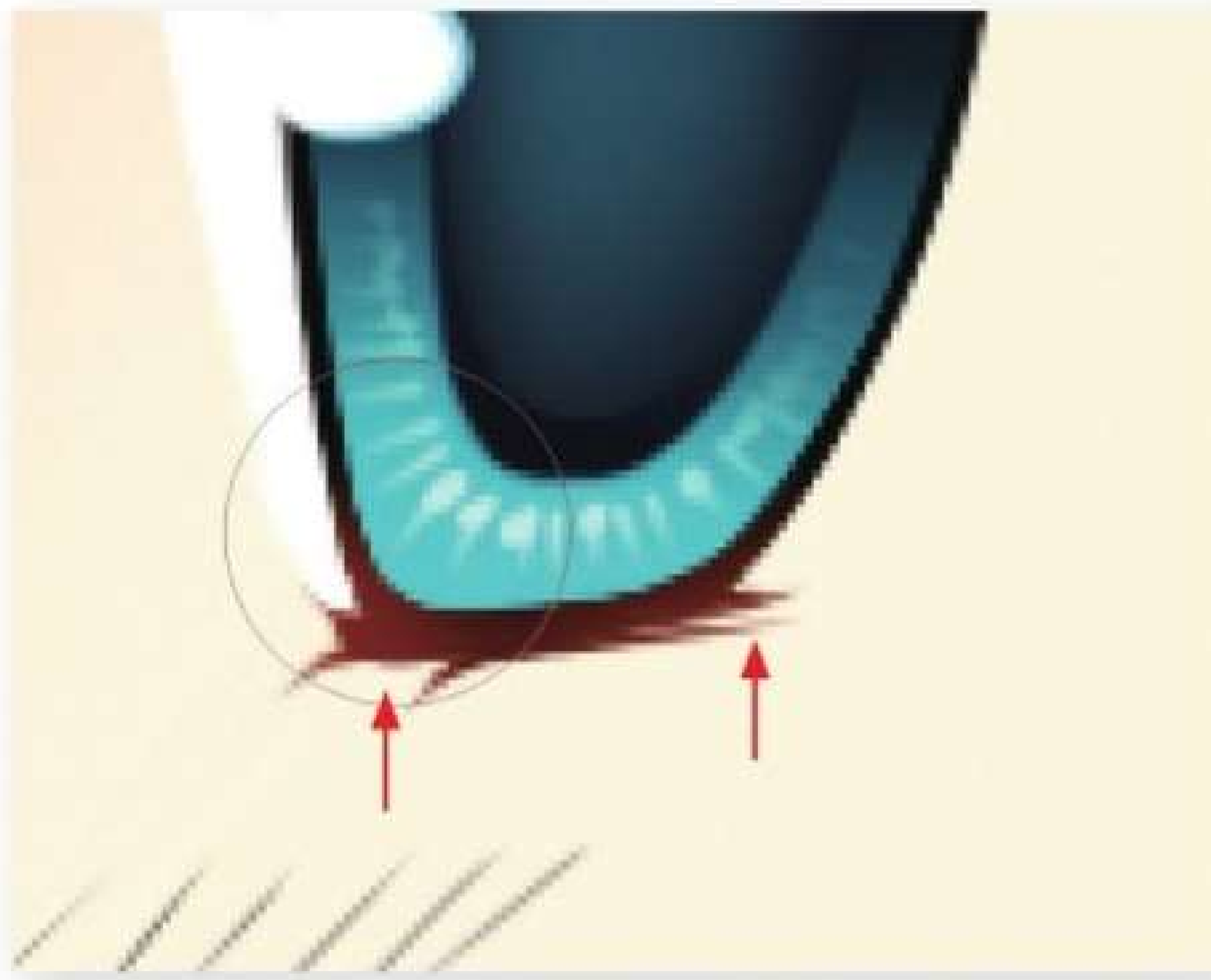

②サイズを「50」にしました



③「消しゴム」ツールで茶色の着色を整えました

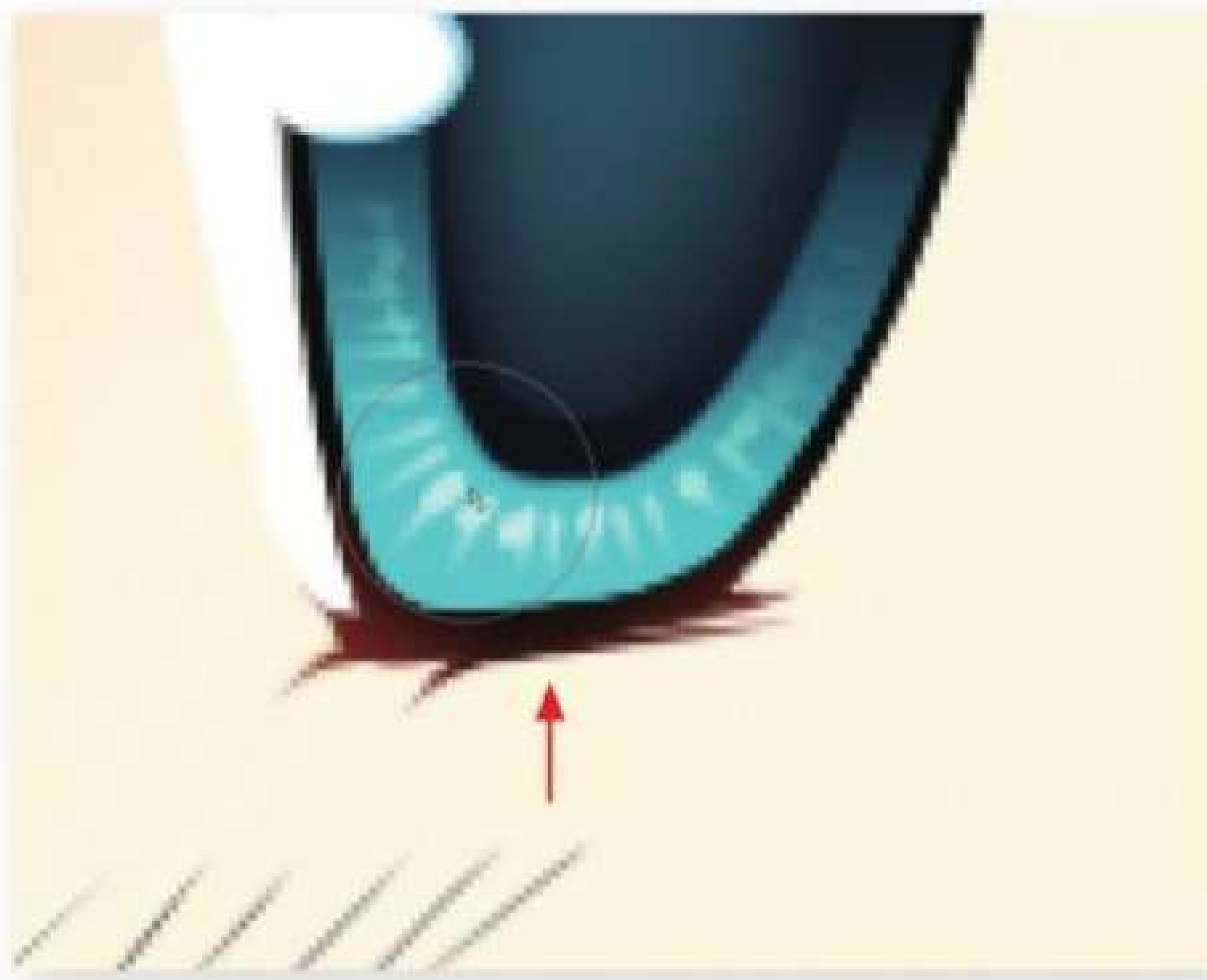
**26** 下まつ毛も同じように茶色で塗ります。細かい部分は細い「エアブラシ」ツールを使うと上手くいきます。

①「エアブラシ」ツールを選択しました
②サイズを「40」にしました
③描画色を設定しました

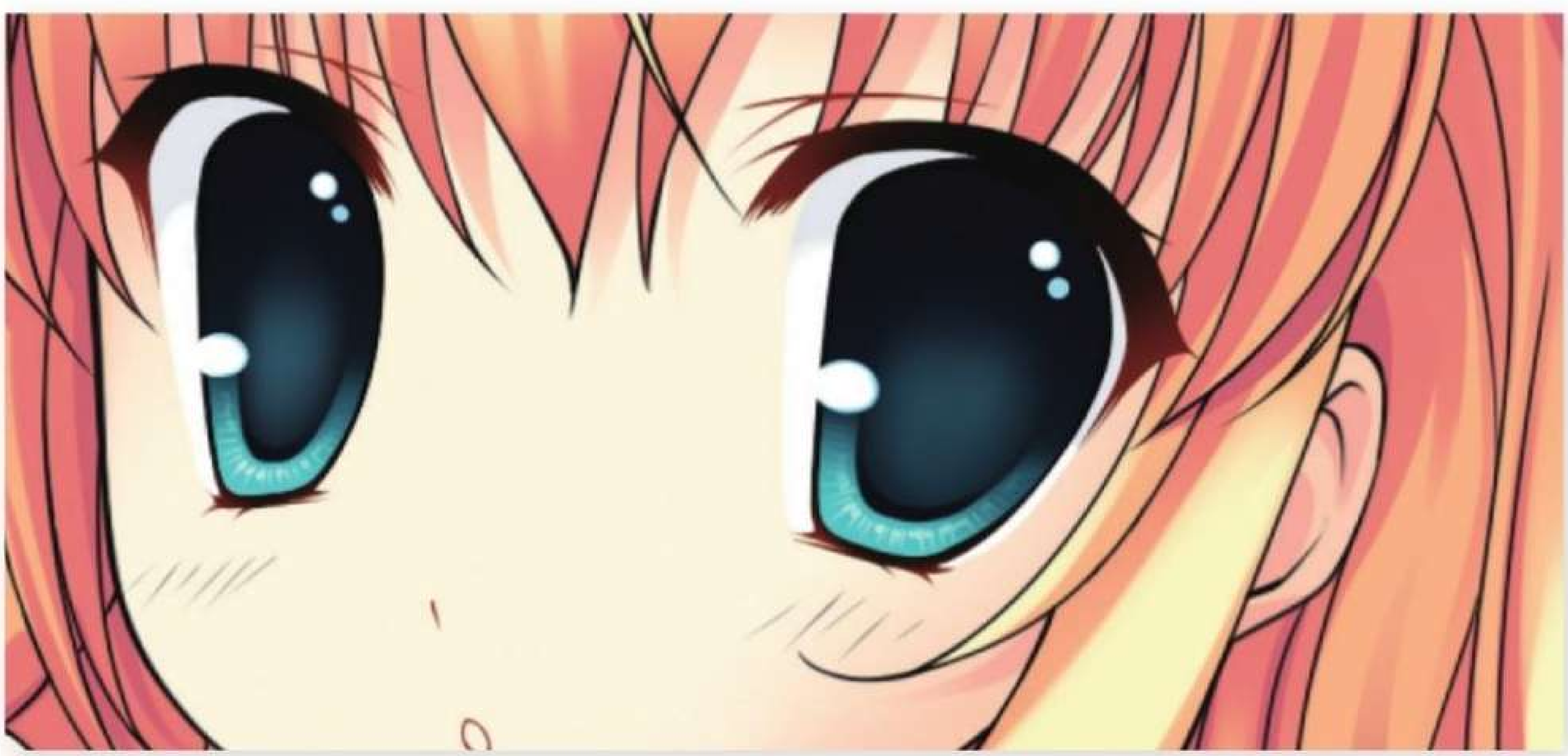


**27** こちらも「消しゴム」ツールで塗った範囲を整えます。

①「消しゴム」ツールを選択しました
②サイズを「30」にしました



**28** 左目も同じように塗りました。



## 29

ついでにまゆ毛の色も同じ「目2」レイヤーに塗ります。髪と同系色で、濃い色にすると浮かなくなります。



①「筆」ツールを選択しました



②サイズを「20」にしました


③描画色を設定しました


④まゆ毛を着色中の状態です

## 30

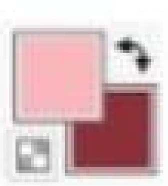
鼻や口の線画や、ほお紅を塗ります。ほお紅は肌の「影」レイヤーの一番上に新規レイヤーを作成し、「エアブラシ」ツールで薄く色を乗せる感じで塗ります（「ブラシ濃度」は低めにして薄く重ね塗りすると綺麗に塗れます）。形は「消しゴム」ツールで消しながら調整しました。



①「エアブラシ」ツールを選択しました



②サイズを「120」にしました


③描画色を設定しました



## 31

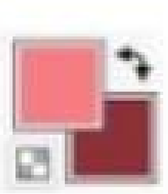
ほおの線画の色を変えて出来上がりです。



①「筆」ツールを選択しました



②サイズを「20」にしました


③描画色を設定しました


④線画を塗っている最中の状態です



32 ここまでできた状態です。



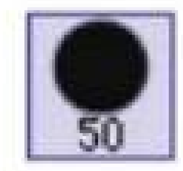
## エプロンの陰影の着色

01

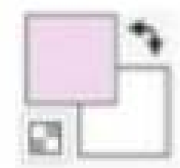
エプロンの影を塗るための新規レイヤーを作成します。全体のバランスを確認しながら、大まかに色を置いていきましょう。



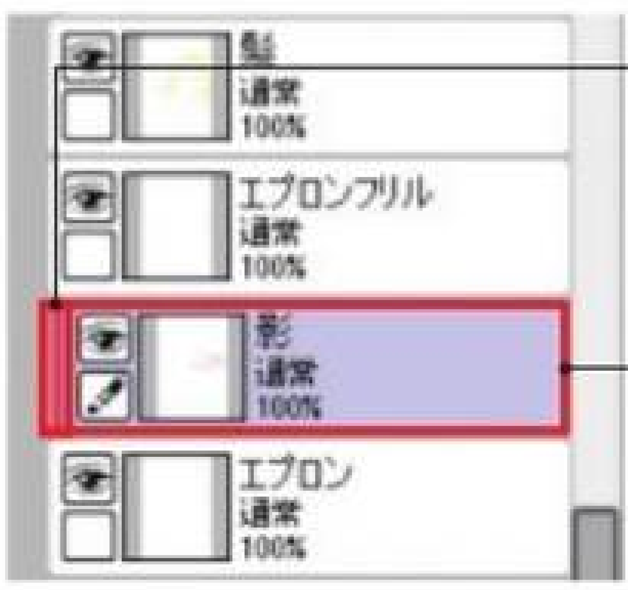

③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「50」にしました



⑤描画色を設定しました




②「影」レイヤーにクリッピングを設定しました

①「エプロン」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影」に変更しました



⑥エプロンの暗くなるところに影を着色しました

02

全体に色を置いたところです。(影の色味を少し変えました)。この時点で、影の量をだいたい決めてしまうと楽です。



03

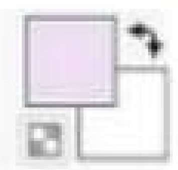
それでは細かく塗り進めましょう。袖のフリルは布の重なりを意識しながら形を取ります。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「16」にしました



③描画色を設定しました




⑤「消しゴム」ツールを選択しました




⑥サイズを「120」にしました



④「筆」ツールで影を描きました



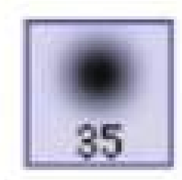
⑦「消しゴム」ツールで影をぼかしました

04

胸の影をぼかします。柔らかさを出すために、影のふちは「ぼかし」ツールを使ってぼかしました。




②「ぼかし」ツールを選択しました




③サイズを「35」にしました



①ぼかす前の状態です



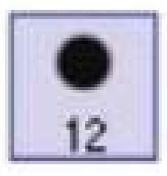
④「ぼかし」ツールで影をぼかしました

05

布が引っ張られているように、細かく影を入れます。



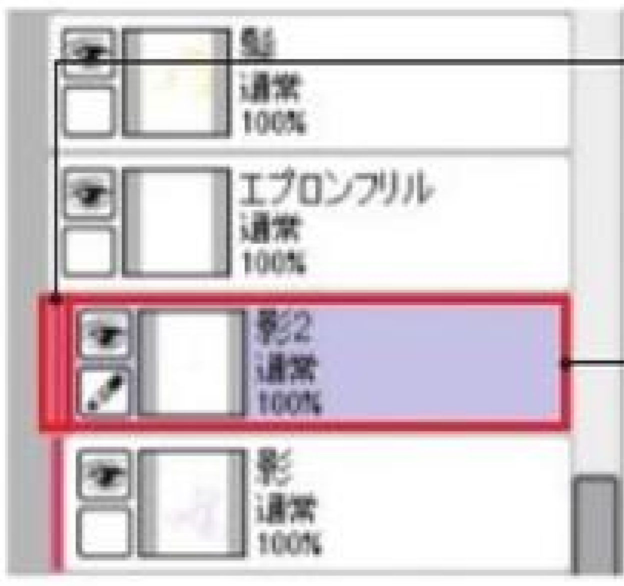

①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「12」にしました



## 06 胸の部分に2段目の影を塗ります。

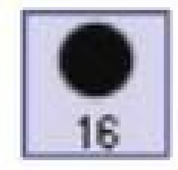



②「影2」レイヤーにクリッピングを設定しました

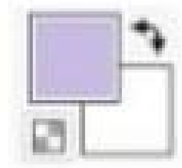
①新規レイヤーを作成し、名称を「影2」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「16」にしました



⑤描画色を設定しました



⑥「筆」ツールで2段目の影を塗りました

## 07 「消しゴム」ツールと「ぼかし」ツールで何度かなでてぼかします。



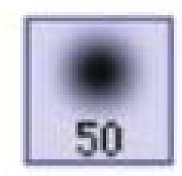

①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「40」にしました




④「ぼかし」ツールを選択しました




⑤サイズを「50」にしました



③「消しゴム」ツールで影を整えました



⑥「ぼかし」ツールで影をぼかしました

## 08 シワを表現するために、「消しゴム」ツールで細くスジ状になるように入れます。このあたりは好みで太さや分量を決めてください。




①「消しゴム」ツールを選択しました



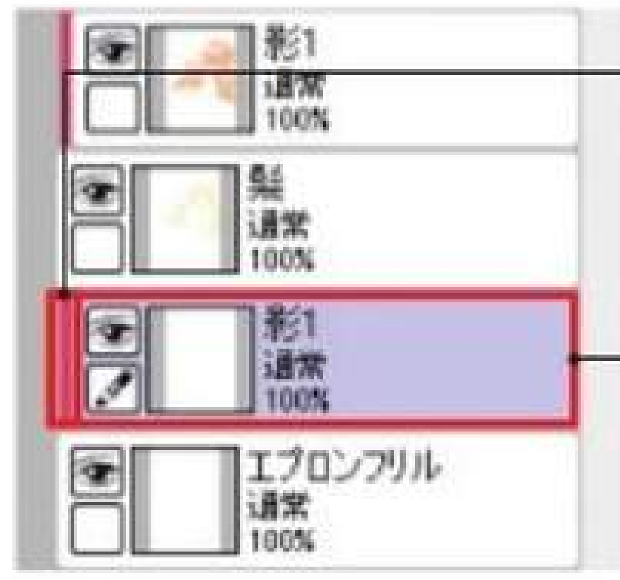

②サイズを「9」にしました



## フリルの陰影の着色

01

前身ごろとスカートの裾についているフリルも同じように塗ります。量が多いのでちょっと大変ですが、頑張りましょう。

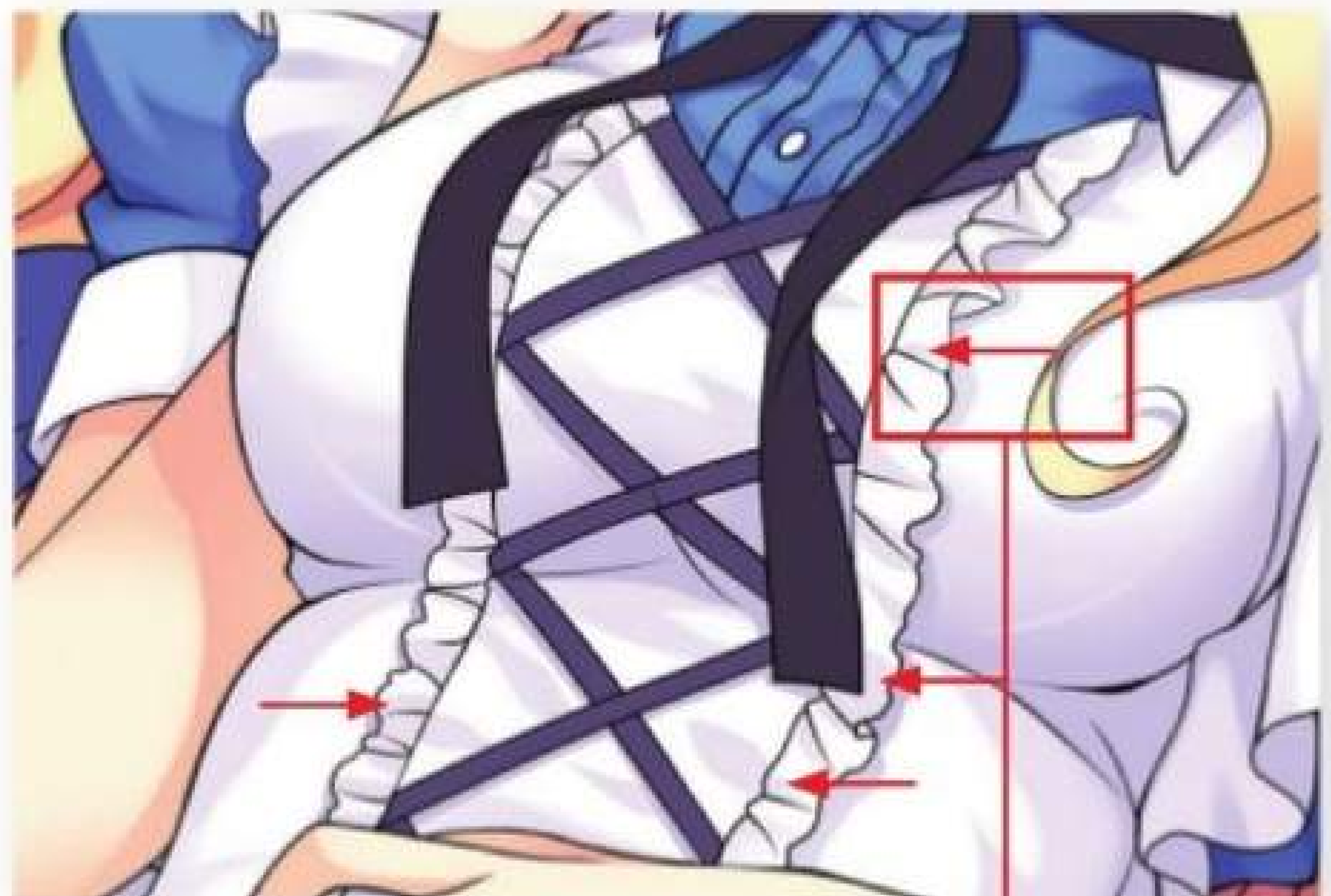



②「影1」レイヤーにクリッピングを設定しました

①「エプロンフリル」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影1」に変更しました



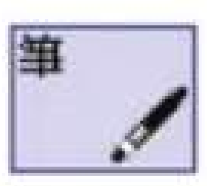
③影を入れる前の状態です



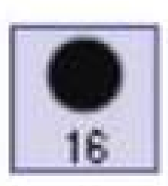
④影を入れ終わった状態です

02

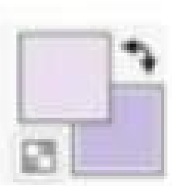
フリルの影は右図のように「筆」ツールで塗り、「消しゴム」ツールでぼかします。



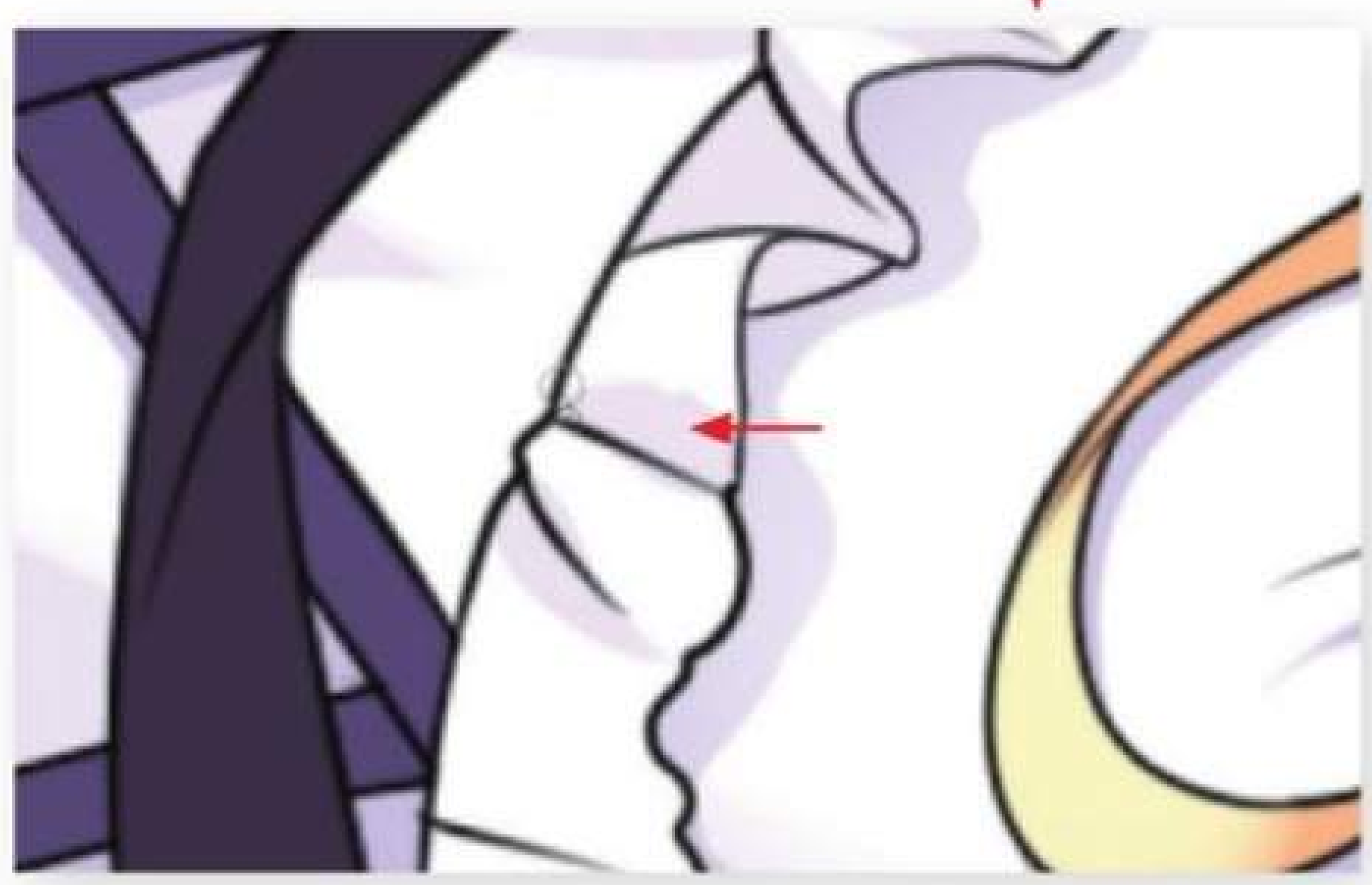

①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「16」にしました



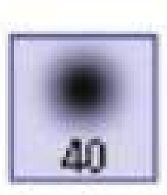
③描画色を設定しました



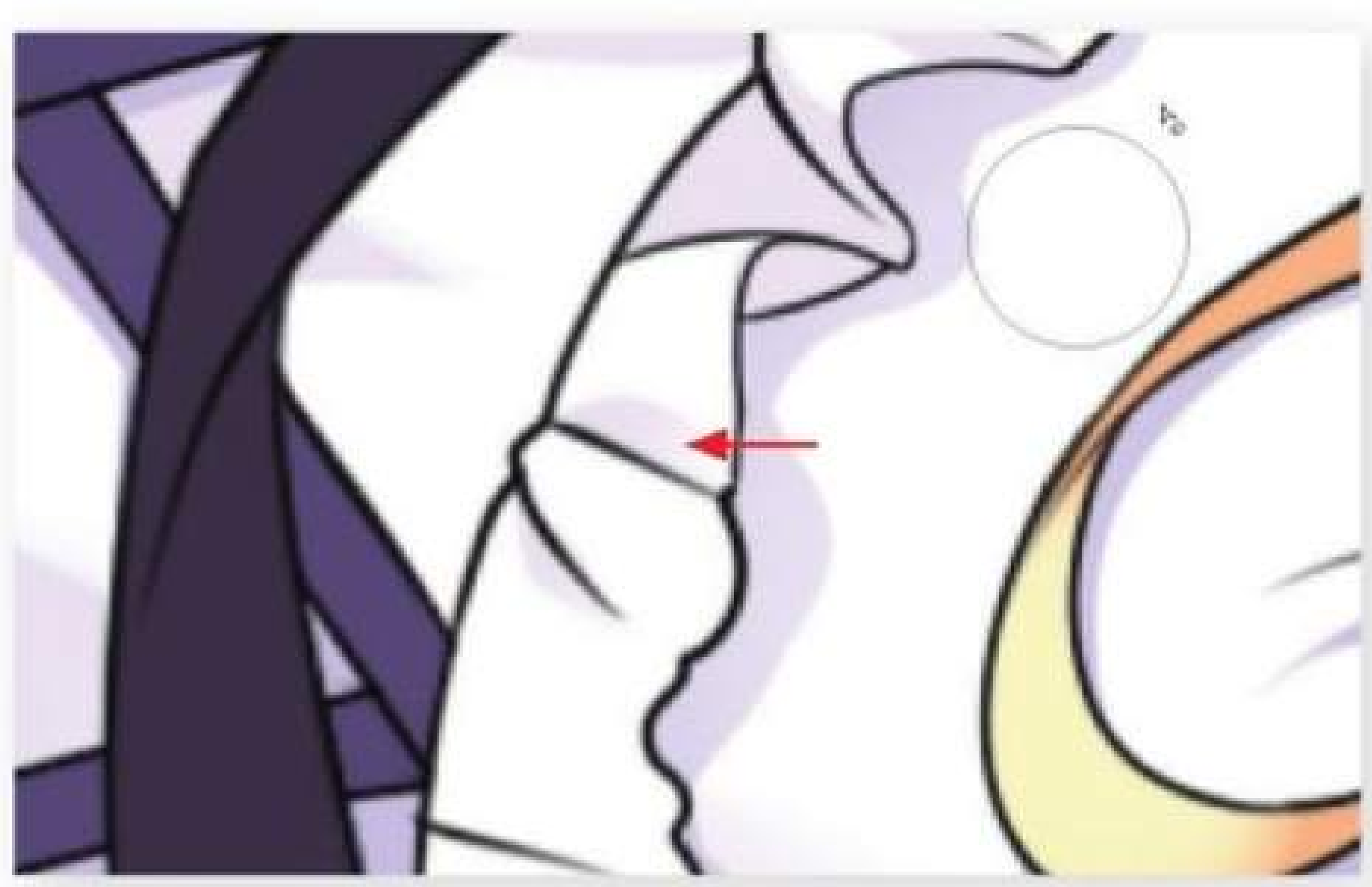
④「筆」ツールで影を塗りました




⑤「消しゴム」ツールを選択しました

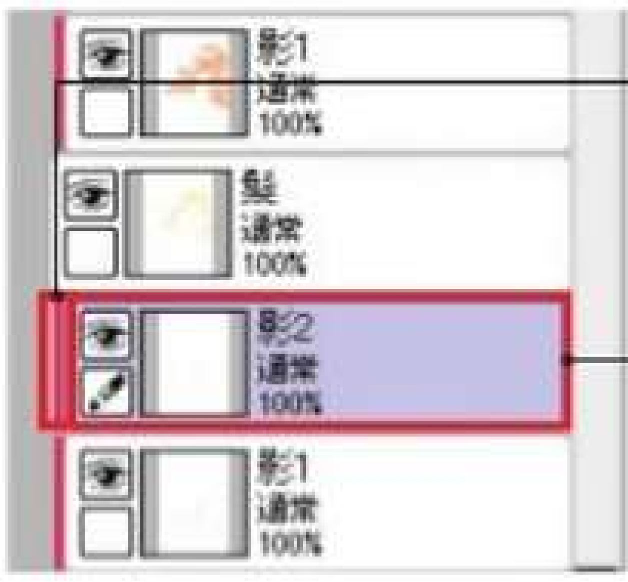



⑥サイズを「40」にしました



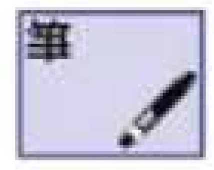
⑦「消しゴム」ツールで影をぼかしました

## 03 一通り塗れたら、エプロンと同じように2段目の影を塗ります。

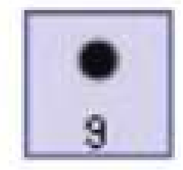



②「影2」レイヤーにクリッピングを設定しました

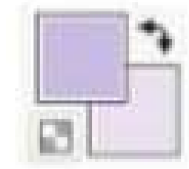
①「影1」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影2」に変更しました



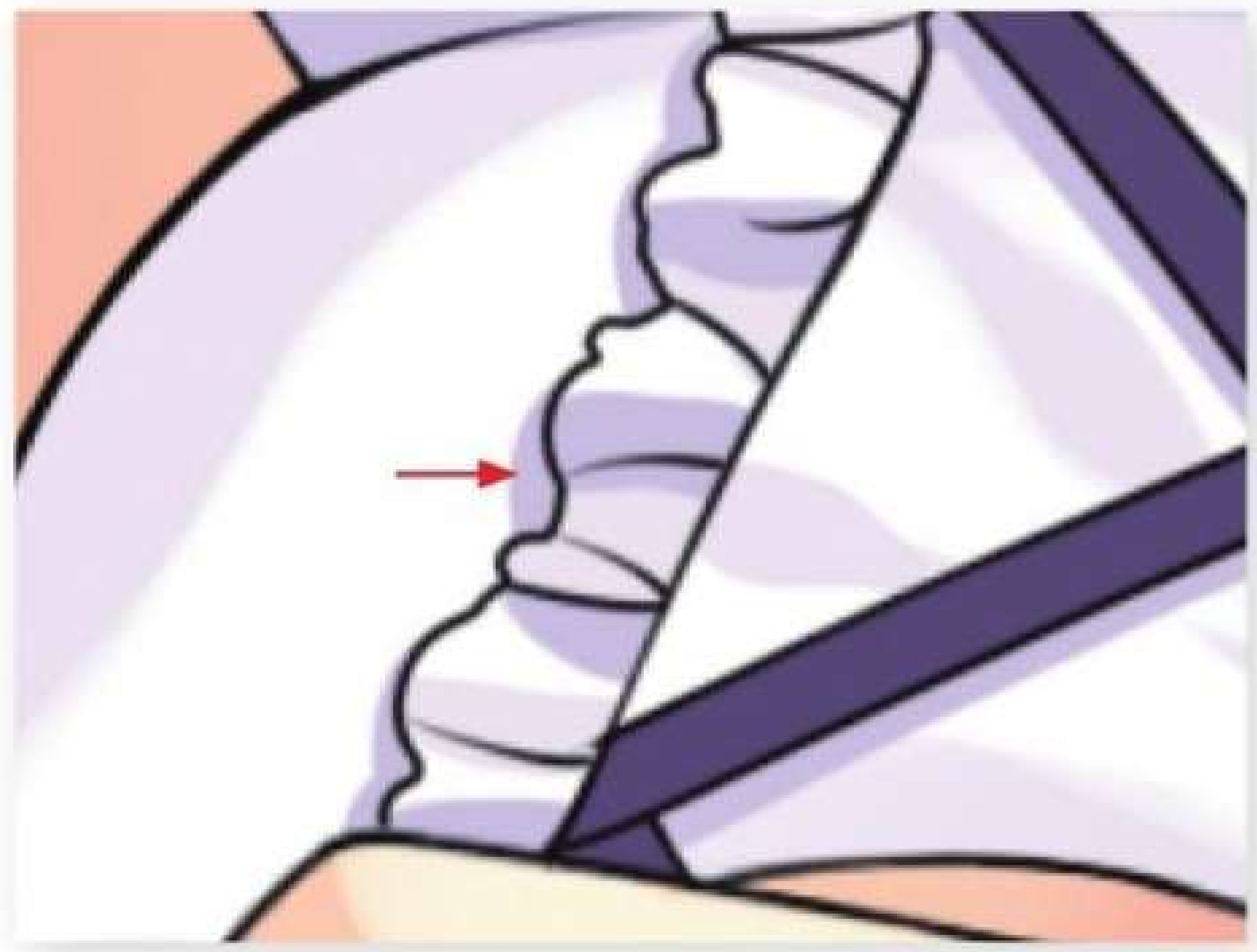

③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「9」にしました



⑤描画色を設定しました

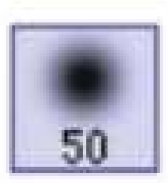


⑥「筆」ツールで影を塗りました

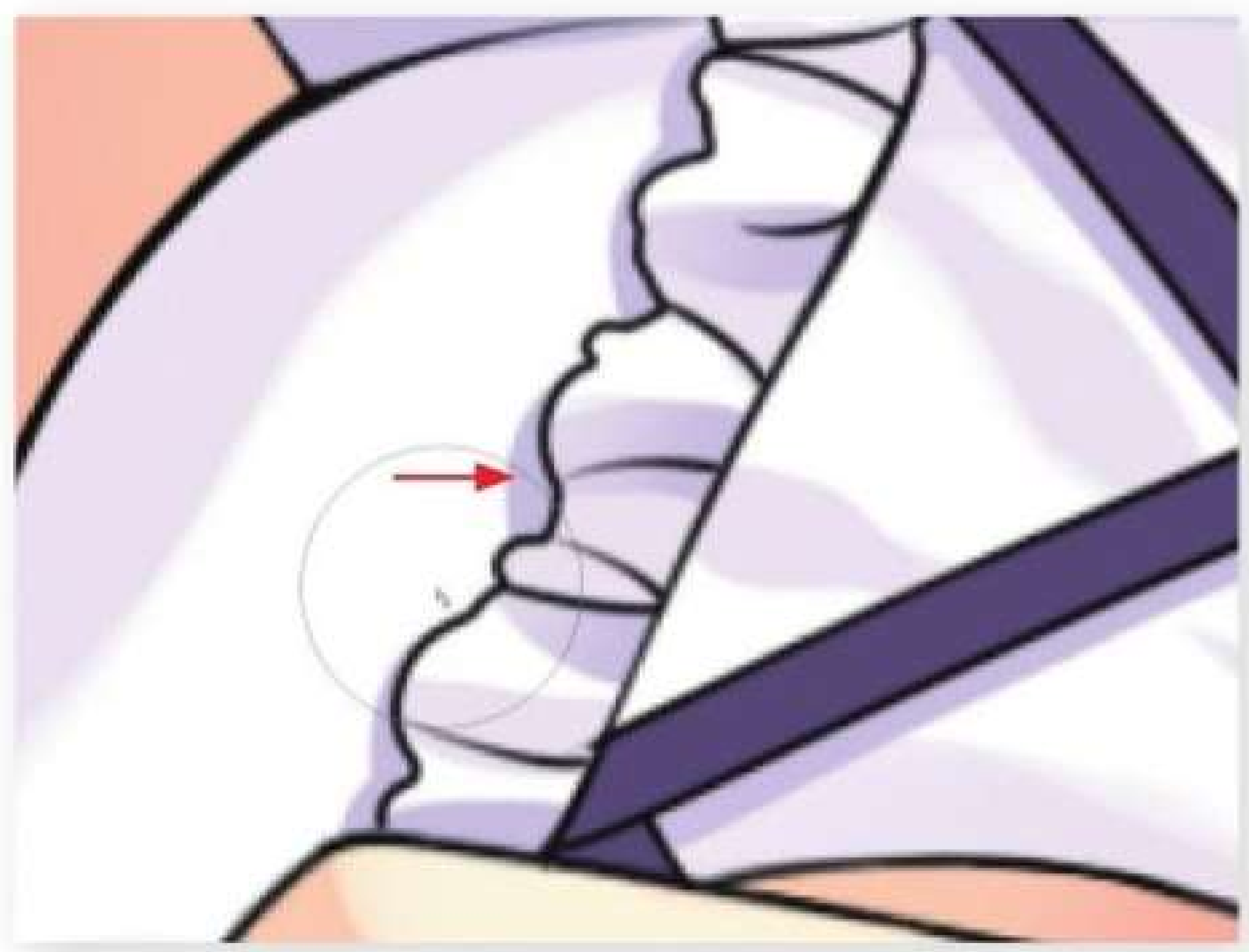
## 04 「消しゴム」ツールで馴染ませ、自然な感じにします。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「50」にしました



③「消しゴム」ツールで影をぼかしました

## 05 細かい裏側部分も忘れずに塗って、エプロンの完成です。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「9」にしました



③描画色を設定しました

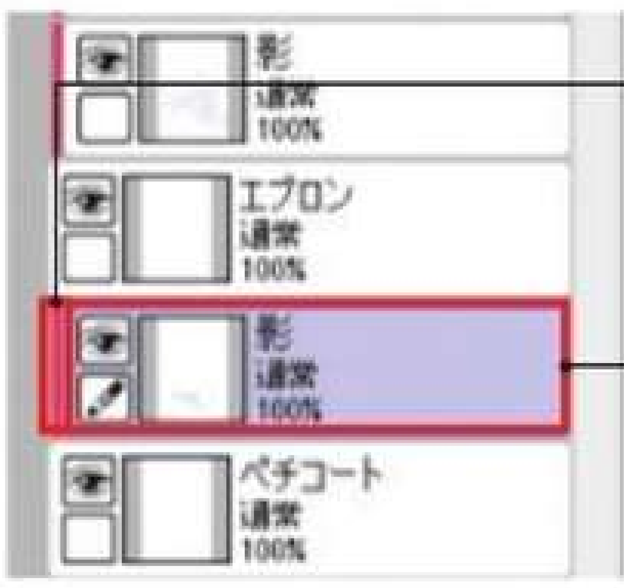


06 ここまでできた状態です。



## ペチコートの陰影の着色

**01** ペチコートの影を塗るために、新規レイヤーを作成します。今までと同じように大まかに影の色を置きましょう。




②「影」レイヤーにクリッピングを設定しました

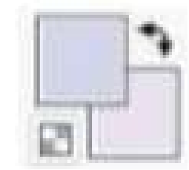
①「ペチコート」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影」に変更しました




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「50」にしました



⑤描画色を設定しました



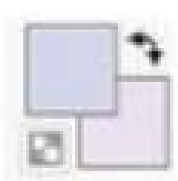
**02** フリルの部分など、細かく影を入れていきます。




①「筆」ツールを選択しました




②サイズを「40」にしました



③描画色を設定しました




⑤「消しゴム」ツールを選択しました




⑥サイズを「20」にしました



④「筆」ツールで影を塗りました



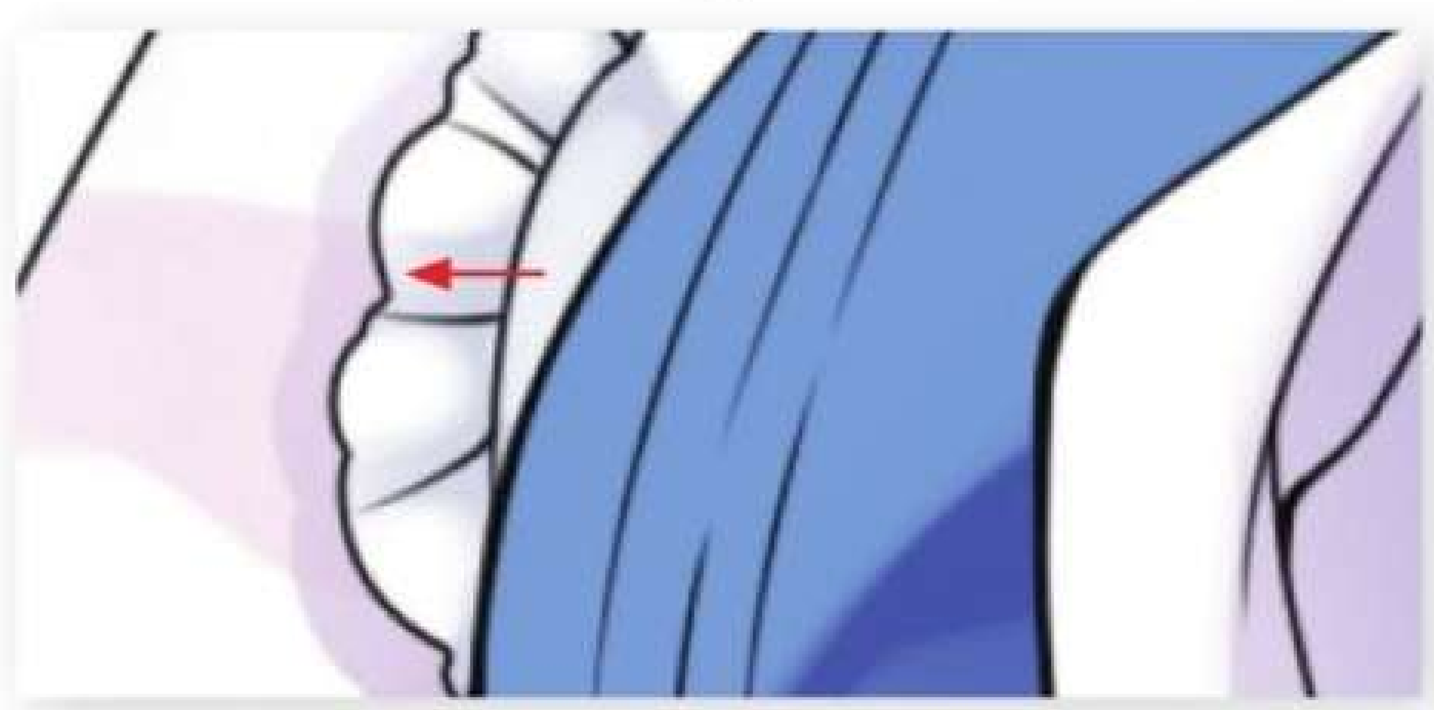
⑦「消しゴム」ツールで影を整えました




⑧「消しゴム」ツールを選択しました




⑨サイズを「50」にしました



⑩「消しゴム」ツールでさらに影を明るくしました

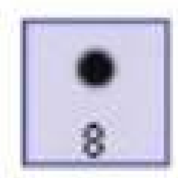
03 ペチコートに影が塗れました。



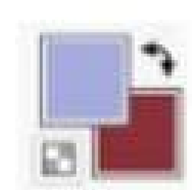
04 引き続き新規レイヤーを作成し、2段目の影を入れます。ワンピースとペチコートの間の空間（高さ）に注意しながら、影を入れます。



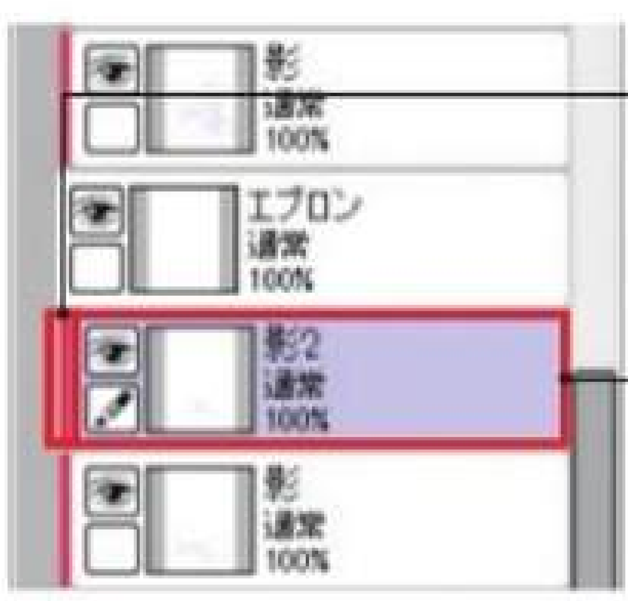

③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「8」にしました

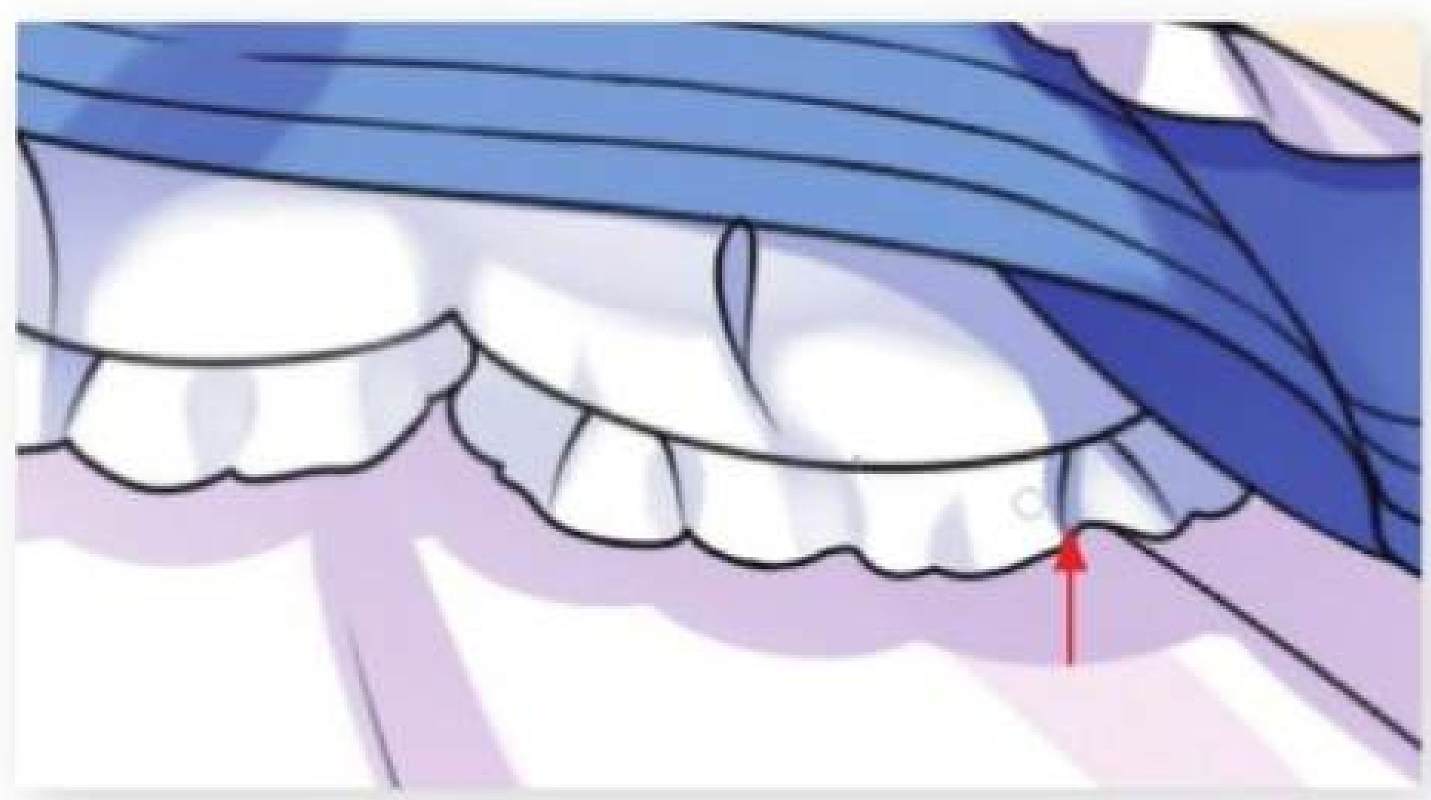


⑤描画色を設定しました




②「影2」レイヤーにクリッピングを設定しました

①「影」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影2」に変更しました



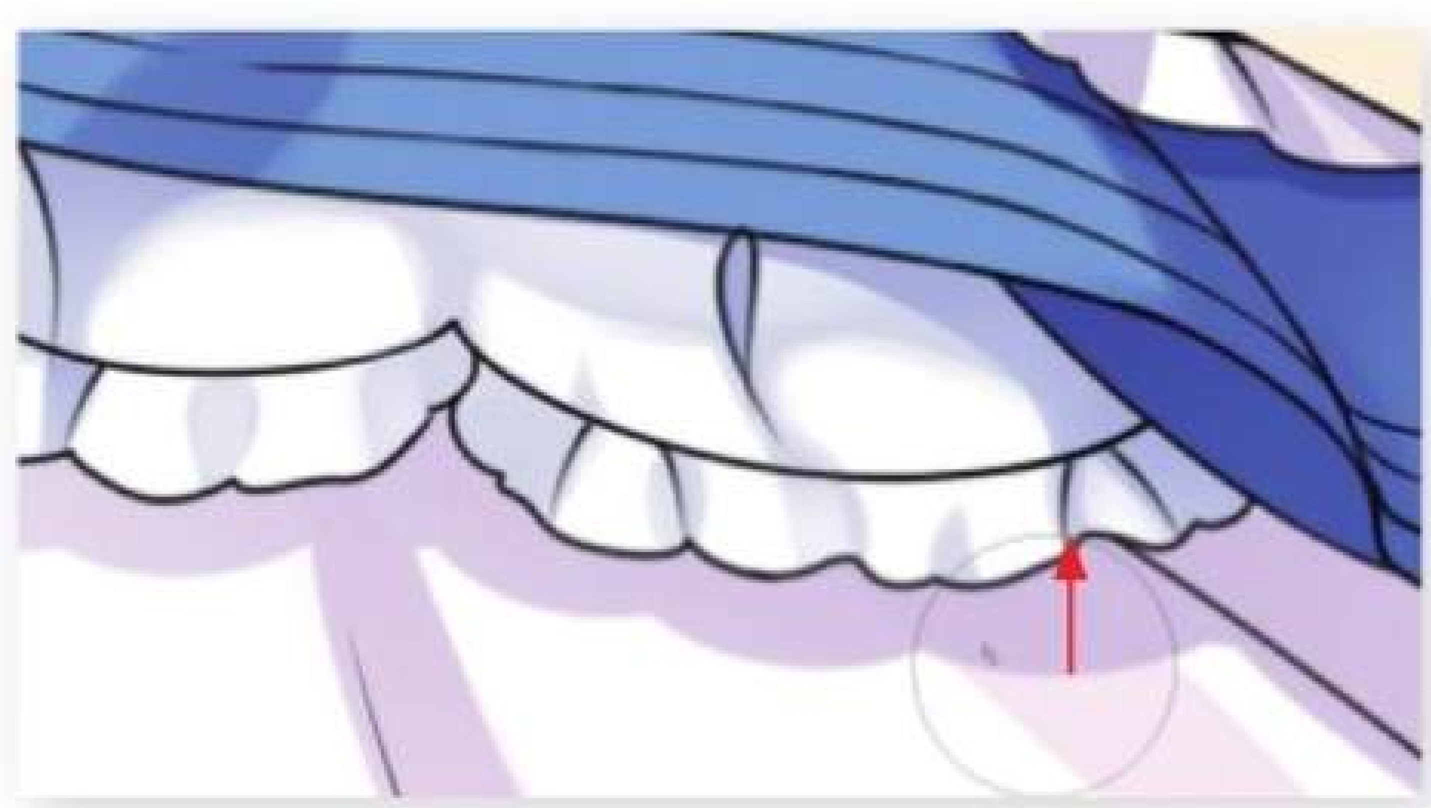
05 自然につながるように、「消しゴム」ツールでグラデーションさせます。




①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「70」にしました



06 このような感じでペチコートが塗れました。



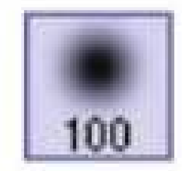
## ニーソックスの陰影の着色

### 01

ニーソックスの白い縞模様に影を入れるために、新規レイヤーを作成します。



③「エアブラシ」ツールを選択しました



④サイズを「100」にしました


⑤描画色を設定しました

②「影」レイヤーにクリッピングを設定しました



①「ニーソックス_白」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「影」に変更しました


⑥ソックスの白い部分に影を塗りました

### 02

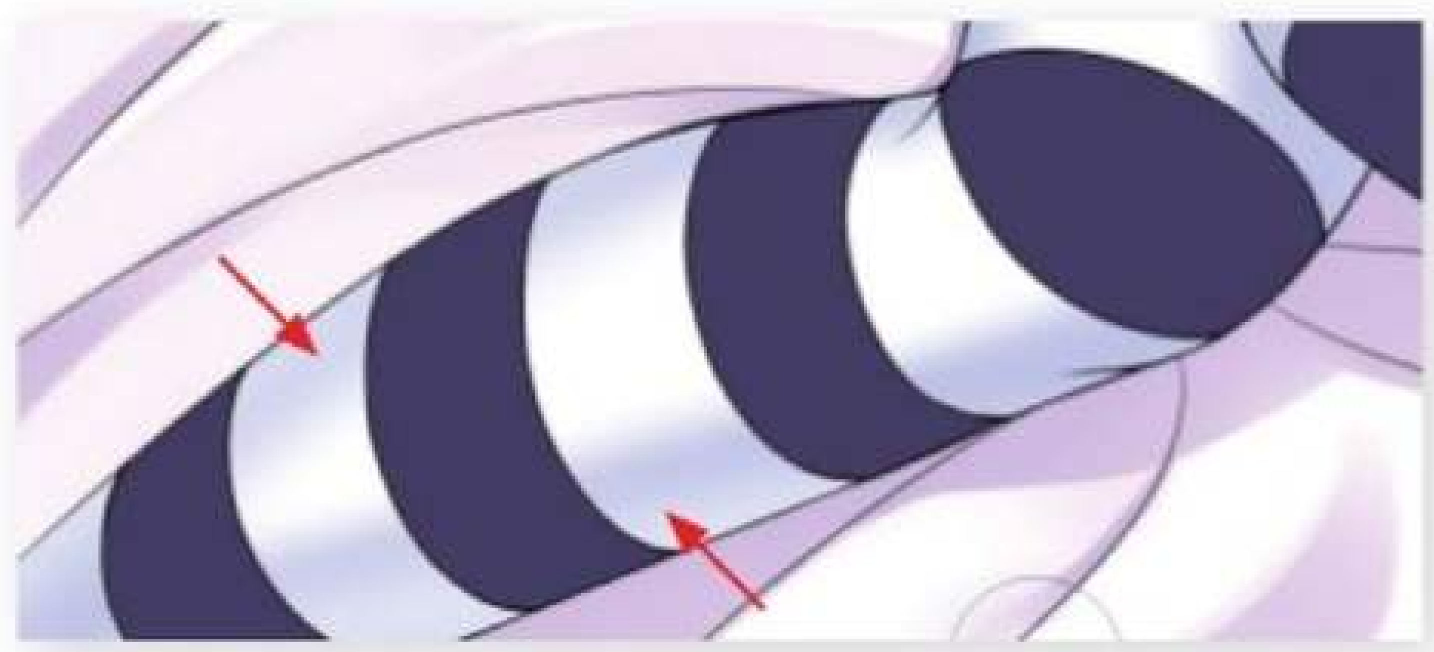
形を整えた後、端の部分にうっすらと「消しゴム」ツールで陰影を整えます。すると、色を塗っただけよりも立体感が出ます。



①「消しゴム」ツールを選択しました



②サイズを「120」にしました

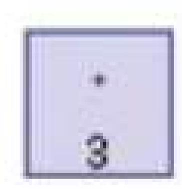

③「消しゴム」ツールの白い部分の陰影を調整しました

### 03

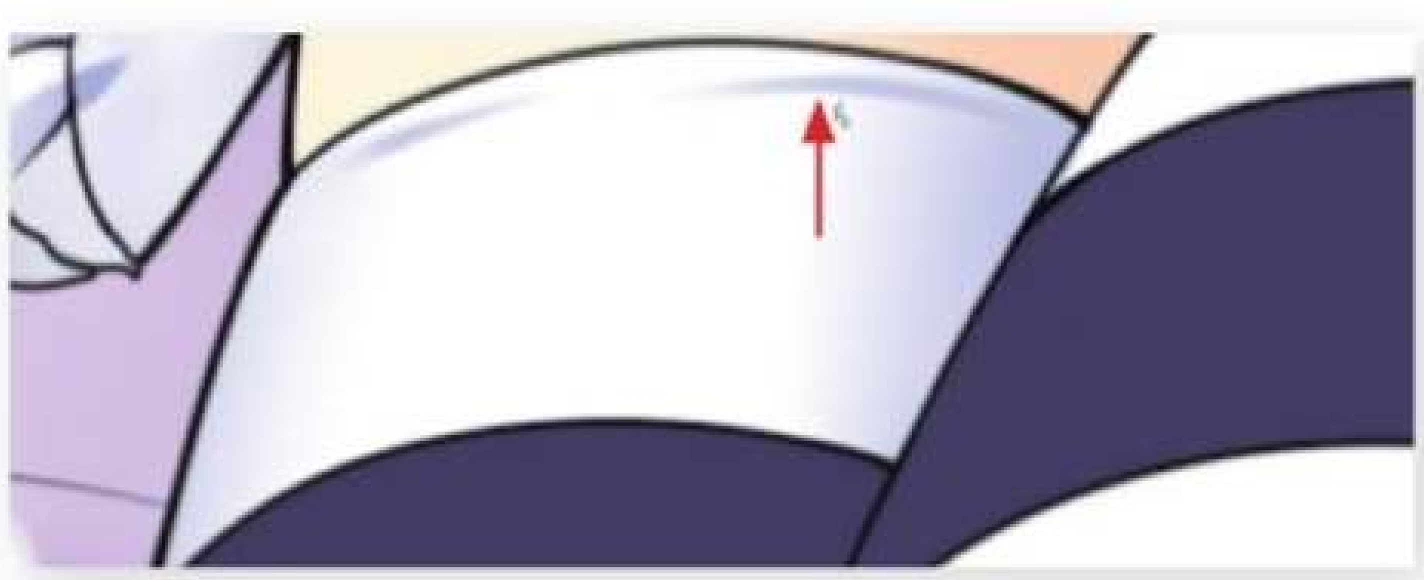
ソックスのゴムの部分に細い「筆」ツールで影をつけました。「消しゴム」ツールも上手く活用しましょう。これでキュッとしまった表現になります。



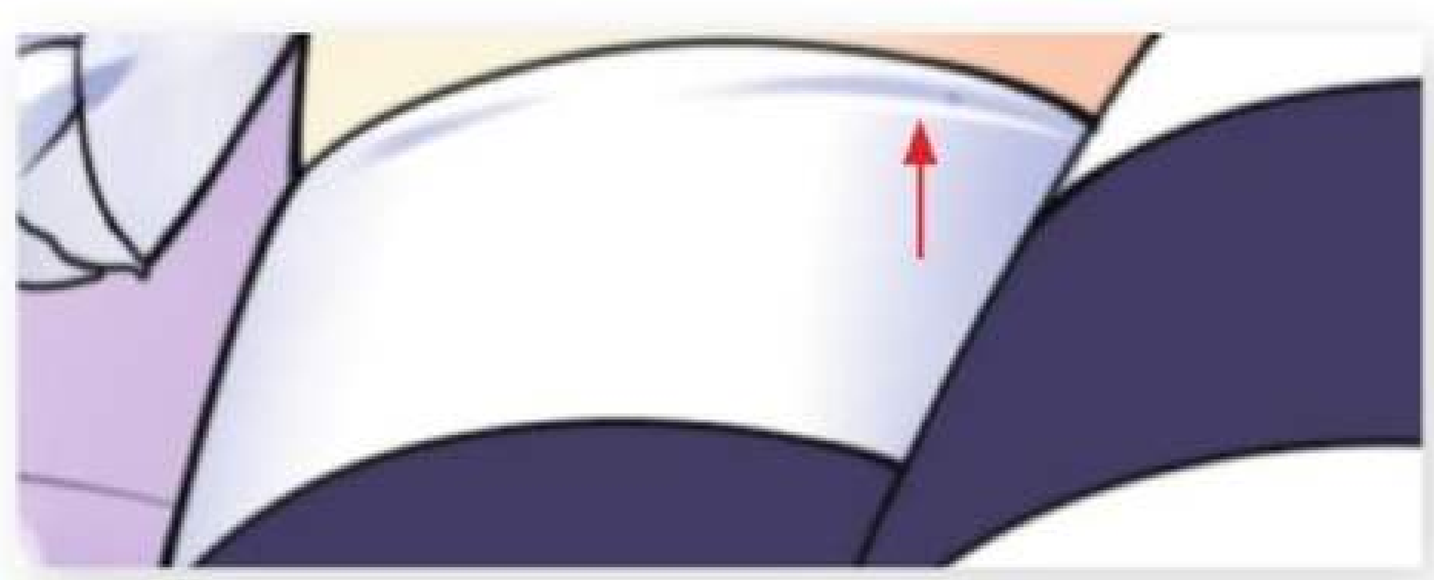
②「消しゴム」ツールを選択しました



③サイズを「3」にしました

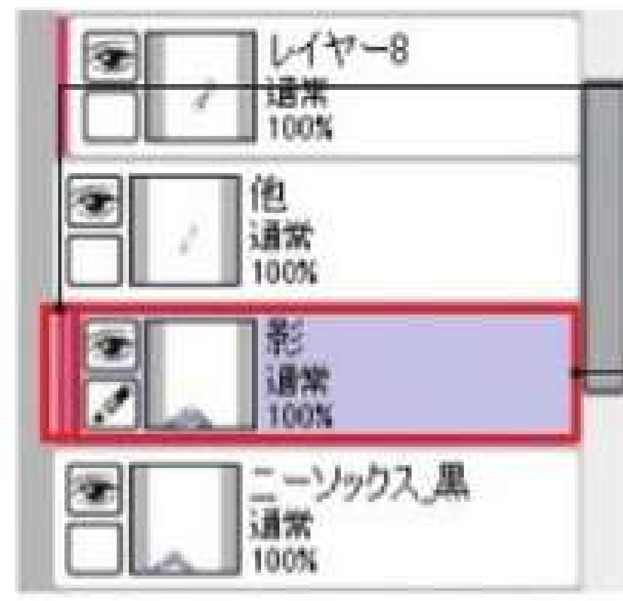

①「筆」ツールで影を塗りました

→


④「消しゴム」ツールでハイライトを入れました

## 04

次はソックスの黒い縞模様に影をつけるために、新規レイヤーを作成します。




②「影」レイヤーにクリッピングを設定しました

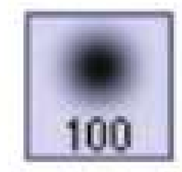
①新規レイヤーを作成し、名称を「影」に変更しました

## 05

白いほうの影に合わせて、黒い縞模様に影を塗ります。




②「エアブラシ」ツールを選択しました




③サイズを「100」にしました



④描画色を設定しました



①黒い部分に影を入れる前の状態です

→



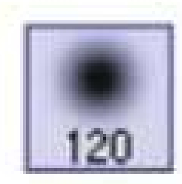
⑤「エアブラシ」ツールで影を塗りました

## 06

白いほうと同様に「消しゴム」ツールで陰影を調整して完成です。




②「消しゴム」ツールを選択しました

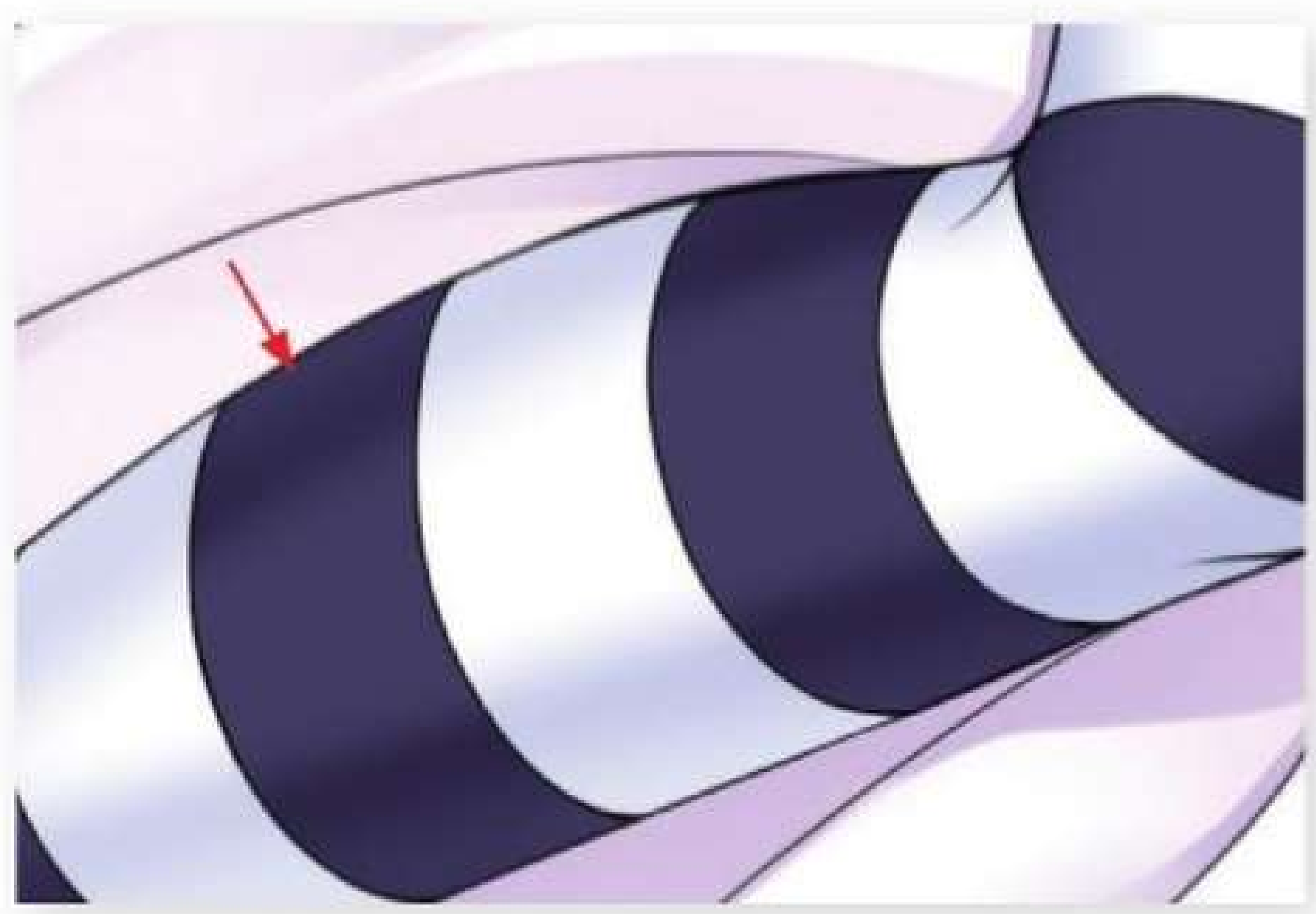



③サイズを「120」にしました



①黒い部分の影を調節する前の状態です

→



④「消しゴム」ツールで影を調節しました

07 小物も塗りました。ここまで完成した状態です。

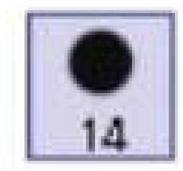


## 線画の着色

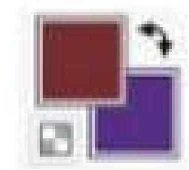
01 一通り色が塗れたところで、線画の色を塗りに馴染むように変更します。基本的に、塗った色と同系の濃い色で塗るのがコツです（Photoshopを使った同様の方法を199〜201ページでも紹介しています）。




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「14」にしました



⑤描画色を設定しました




②「髪・肌」レイヤーにクリッピングを設定しました

①「線画＿キャラ」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「髪・肌」に変更しました



⑥線画の色を変更している途中の状態です

02 余裕があれば、パーツごとにレイヤーを分けておくと、色を変更したい時に楽です。右図は4色でキャラの線画を塗ったところです。黒い線画の時と比べると全体的に柔らかいイメージになりました。




①線画の各色ごとにレイヤーを作成しました



②線画を着色した4つのレイヤーみを表示しました

## 03

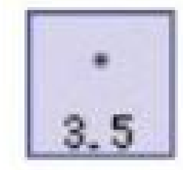
次はハイライトを入れるための新規レイヤーを作成します。このレイヤーに髪の毛のツヤを描き入れます。ここでは分かりやすいように青色で描きました。基本的にはジグザグですが、なんとなくランダムになるように、バランスに注意しながら描きます。



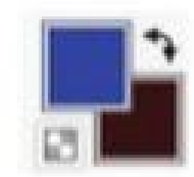

①「影」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「髪ハイライト」に変更しました




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「3.5」にしました



④描画色を設定しました



⑤青い描画色でハイライトを描きました

## 04

塗れたら色を変更します。今回は金髪の女の子なので、ハイライトは白にしました。




②「不透明度保護」にチェックを入れました

①「髪ハイライト」を選択した状態です




③「筆」ツールを選択しました




④サイズを「100」にしました



⑤描画色を設定しました



⑥青く塗ったハイライトを白に変更しました

## 05

前髪だけでなく、横の髪にも入れてみます。





## 06

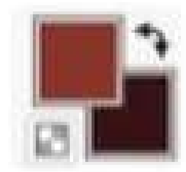
髪のサラサラした感じを出したいので、細い「筆」ツールで髪を描き入れます。




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「2.6」にしました



④描画色を設定しました



①髪を描き入れる前の状態です



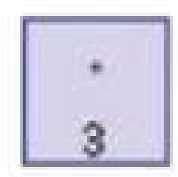
⑤「筆」ツールで細い髪を描きました

## 07

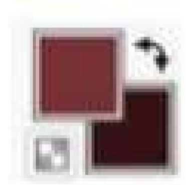
カールの部分など、バランスを考えながら描きましょう。手首を上手く使って一気に線を引くと綺麗です。




②「筆」ツールを選択しました




③サイズを「3」にしました



④描画色を設定しました



①髪を描き入れる前の状態です



⑤「筆」ツールで細い髪を描きました

## 08

顔にもハイライトを入れます。なんとなく光の向きを考えて塗ると上手く描けます。




①「筆」ツールを選択しました



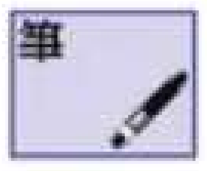

②サイズを「3.5」にしました



③描画色を設定しました



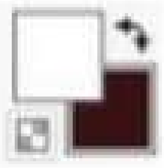
## 09 ニーソックスにも同じようにハイライトを入れます。



①「筆」ツールを選択しました



②サイズを「20」にしました


③描画色を設定しました



⑤「消しゴム」ツールを選択しました



⑥サイズを「200」にしました


④「筆」ツールで大まかにハイライトを入れました


⑦「消しゴム」ツールでハイライトをぼかしました



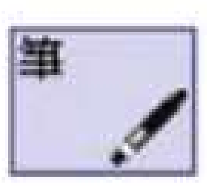
⑧「消しゴム」ツールを選択しました



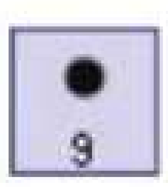
⑨サイズを「20」にしました


⑩「消しゴム」ツールでハイライトの形を整えました

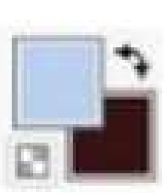
## 10 洋服などの細かい部分にも、ハイライトを入れます。



①「筆」ツールを選択しました



②サイズを「9」にしました


③描画色を設定しました



11

少し画面が寂しく感じたので、花びらを散らしてみました（シーツの色もちょっと変えてしまいました）。花びらが全部塗れたら、ファイルを保存します。



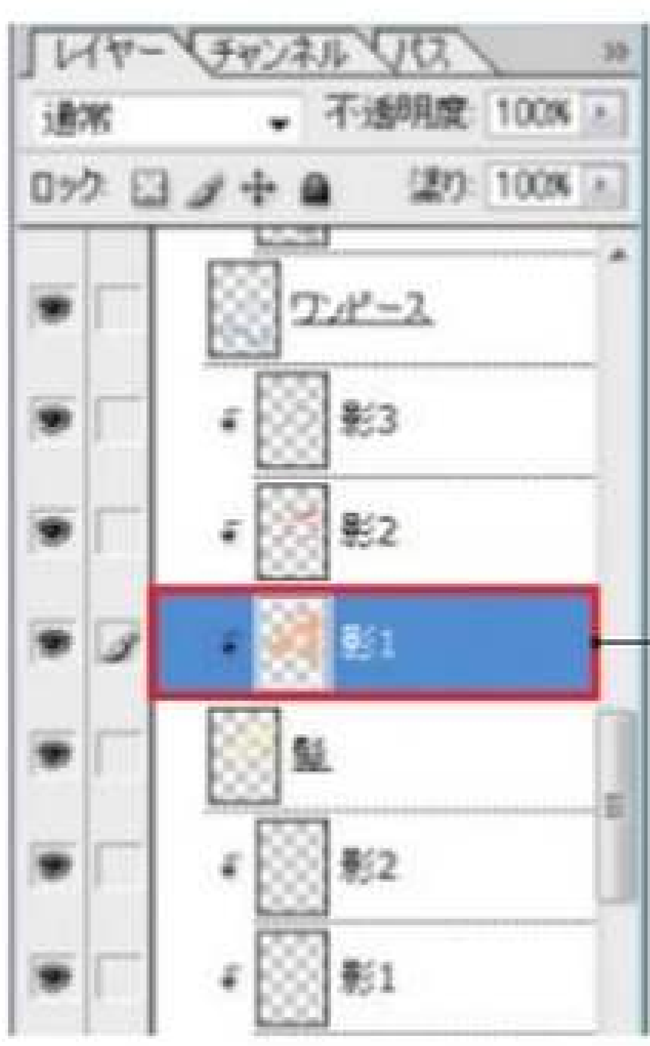
## Photoshopで最終調整

**01** Photoshopを起動して、加工などの最終調整を行います。

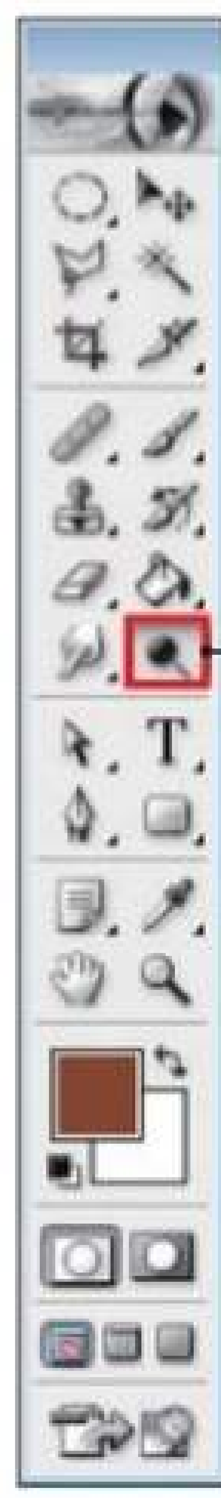


SAIで保存したファイルをPhotoshopで読み込みました

**02** 「覆い焼き」ツールを選択して、髪の毛の影に効果を入れます。黄色味を帯びたグラデーションになります。




①「影1」レイヤーを選択しました



②「覆い焼き」ツールを選択しました



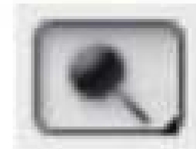
③影を調節する前の状態です



④「覆い焼き」ツールでグラデーションにしました

03

単調な部分を「覆い焼き」ツールでグラデーションにします。髪の毛だけではなく、服などにも入れるとよいでしょう。



①「覆い焼き」ツールを選択しました



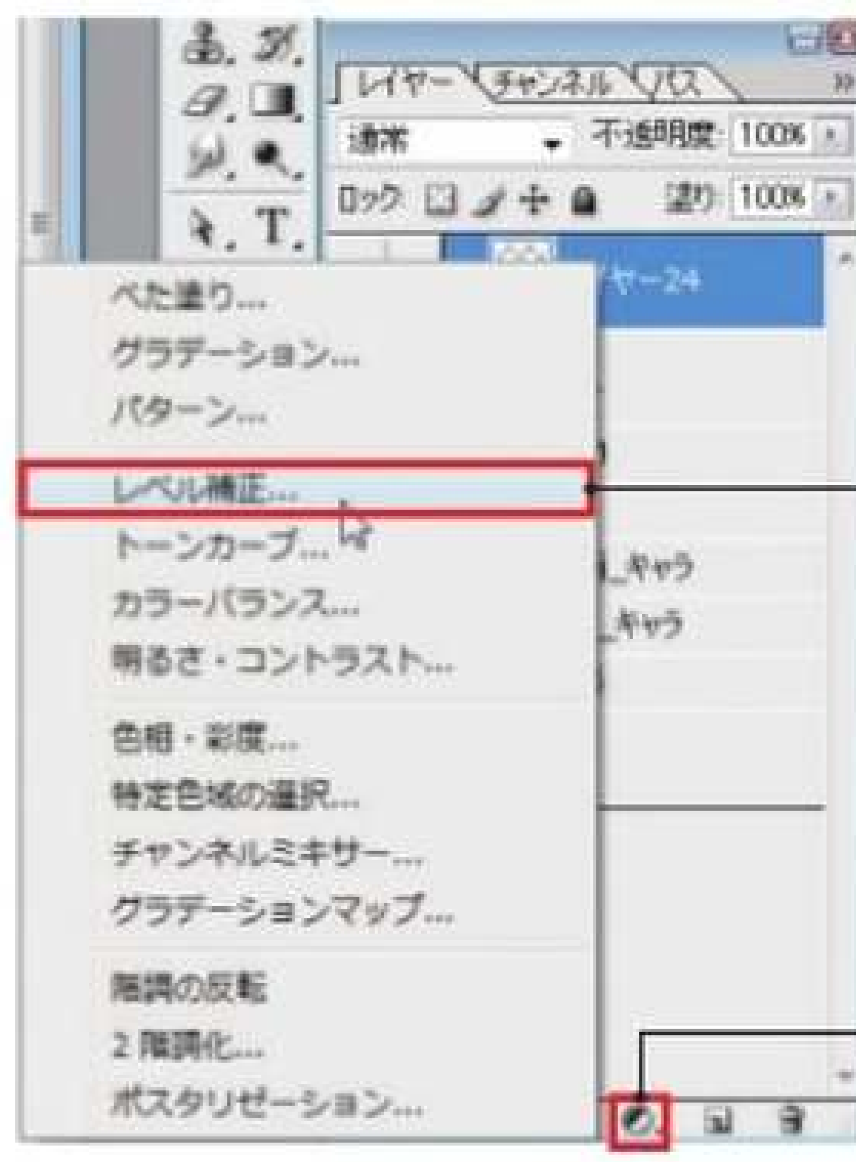
②影を調節する前の状態です



③「覆い焼き」ツールでグラデーションにしました

04

一通り効果を入れたら、もうちょっとメリハリが欲しいので調整レイヤーを作成します。「レベル補正」を選択しました。

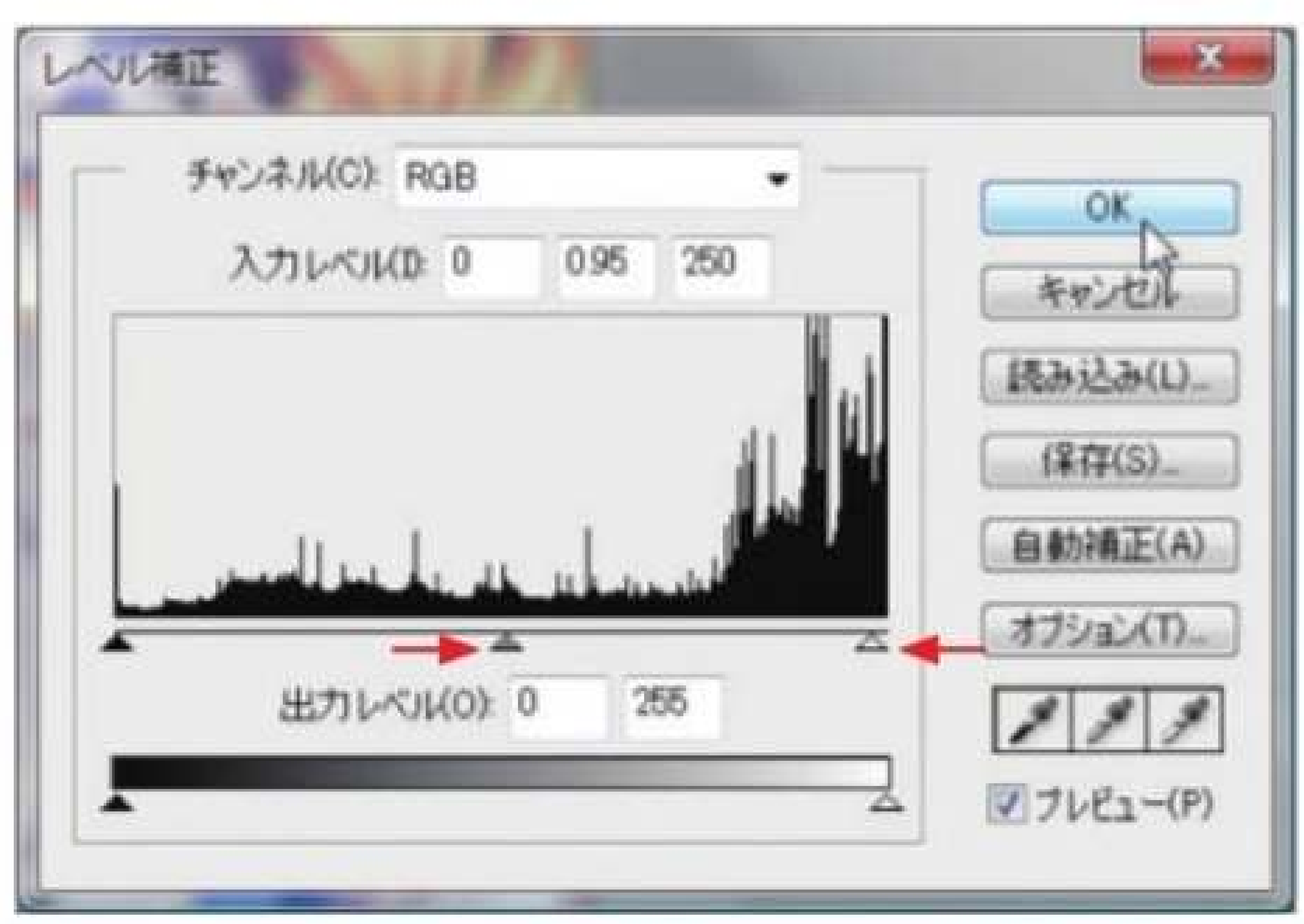



②表示されたメニューから「レベル補正」を選択しました

①「調整レイヤーを新規作成」ボタンを選択しました

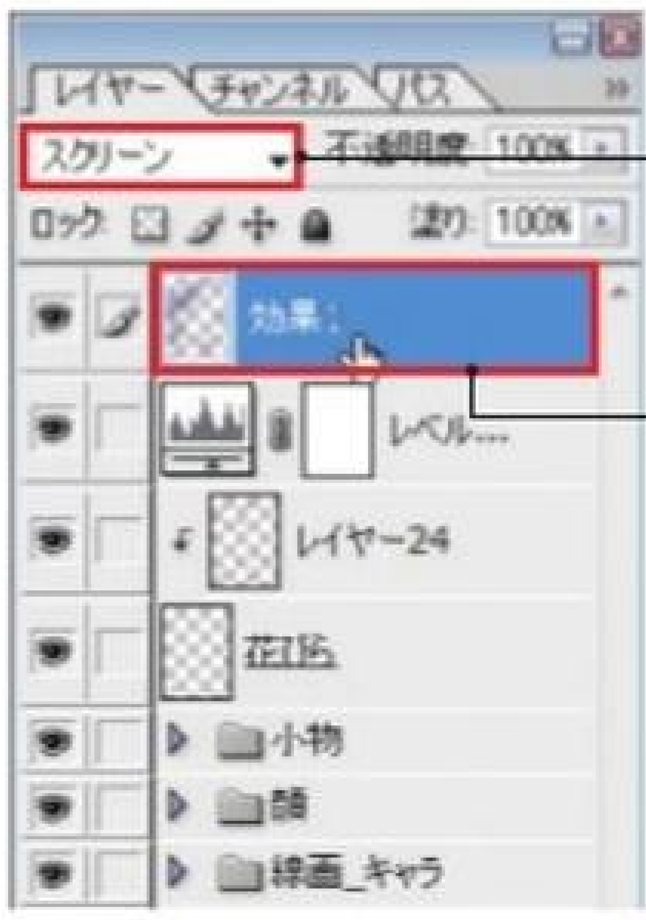
05

コントラストを少し出したいので真中の「中間調」を右に、右側の「ハイライト」を左に動かしてプレビューを確認しながら調整します。



06

全体に効果を入れるための新規レイヤーを作成します。大き目の「ブラシ」ツールを選択し、シーツに軽く色を乗せます。レイヤーの「描画」モードを「スクリーン」にしましょう。




④「描画モード」を「スクリーン」に設定しました

①新規レイヤーを作成し、名称を「効果1」に変更しました




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズを「1245」、描画色を設定しました



③大きなブラシでランダムに着色を行いました



⑤シーツの影にメリハリがつきました

07

もう一枚新規レイヤー「効果2」を作成し、今度は外側の部分を「ブラシ」ツールで塗ります。「描画モード」を「覆い焼き（リニア）」にしてみました。「効果2」レイヤーの「不透明度」を変更したりして、バランスを調整してください。

③「描画モード」を「覆い焼き（リニア）」に設定しました




④「不透明度」を「33％」に設定しました

①新規レイヤーを作成し、名称を「効果2」に変更しました



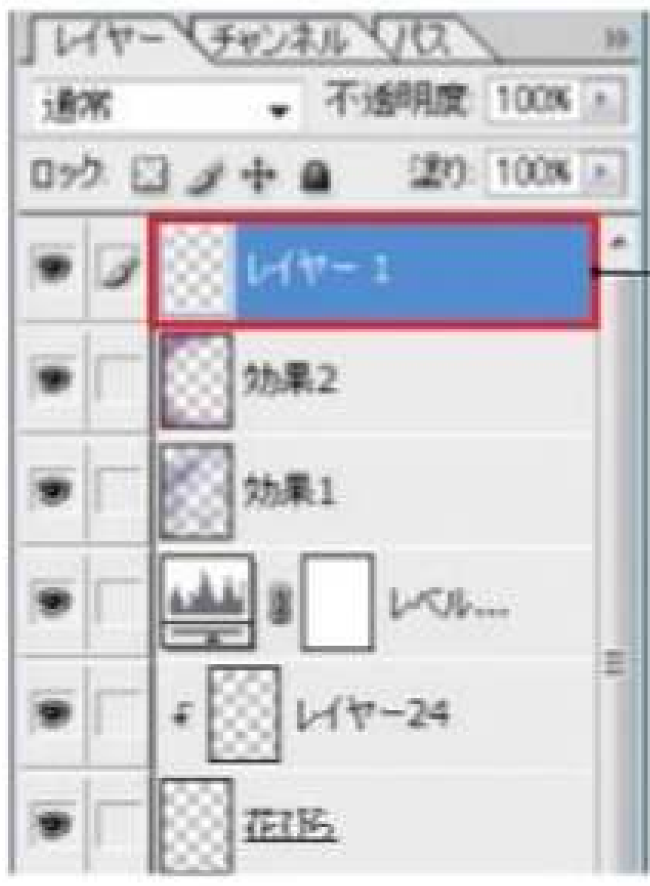
②周囲に着色を行いました



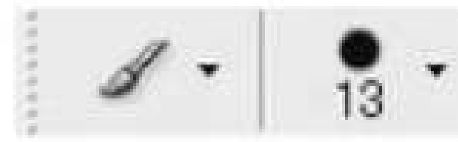
⑤うっすらと光っているような効果を実現しました

08

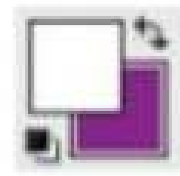
今度は光の粒を飛ばすための、新規レイヤーを作成します。小さなブラシで粒を描き入れます。




①新規の「レイヤー1」を作成しました




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズを「13」にしました



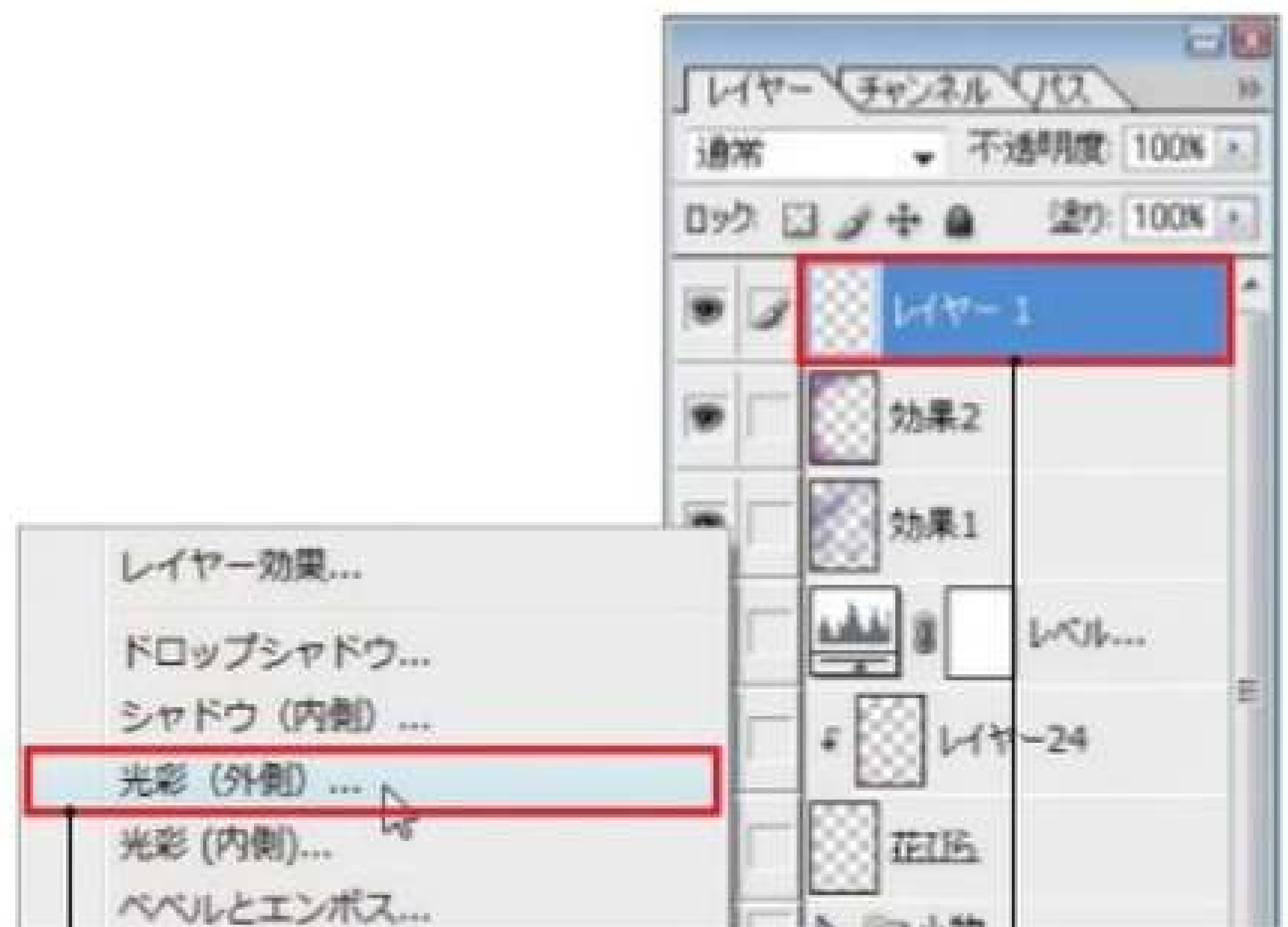
③描画色を設定しました



④「ブラシ」ツールで粒を描きました

09

全体にバランスよく描けたら、効果をつけます。メインメニューの「レイヤー」メニュー→「レイヤースタイル」→「光彩（外側）」を選択します。

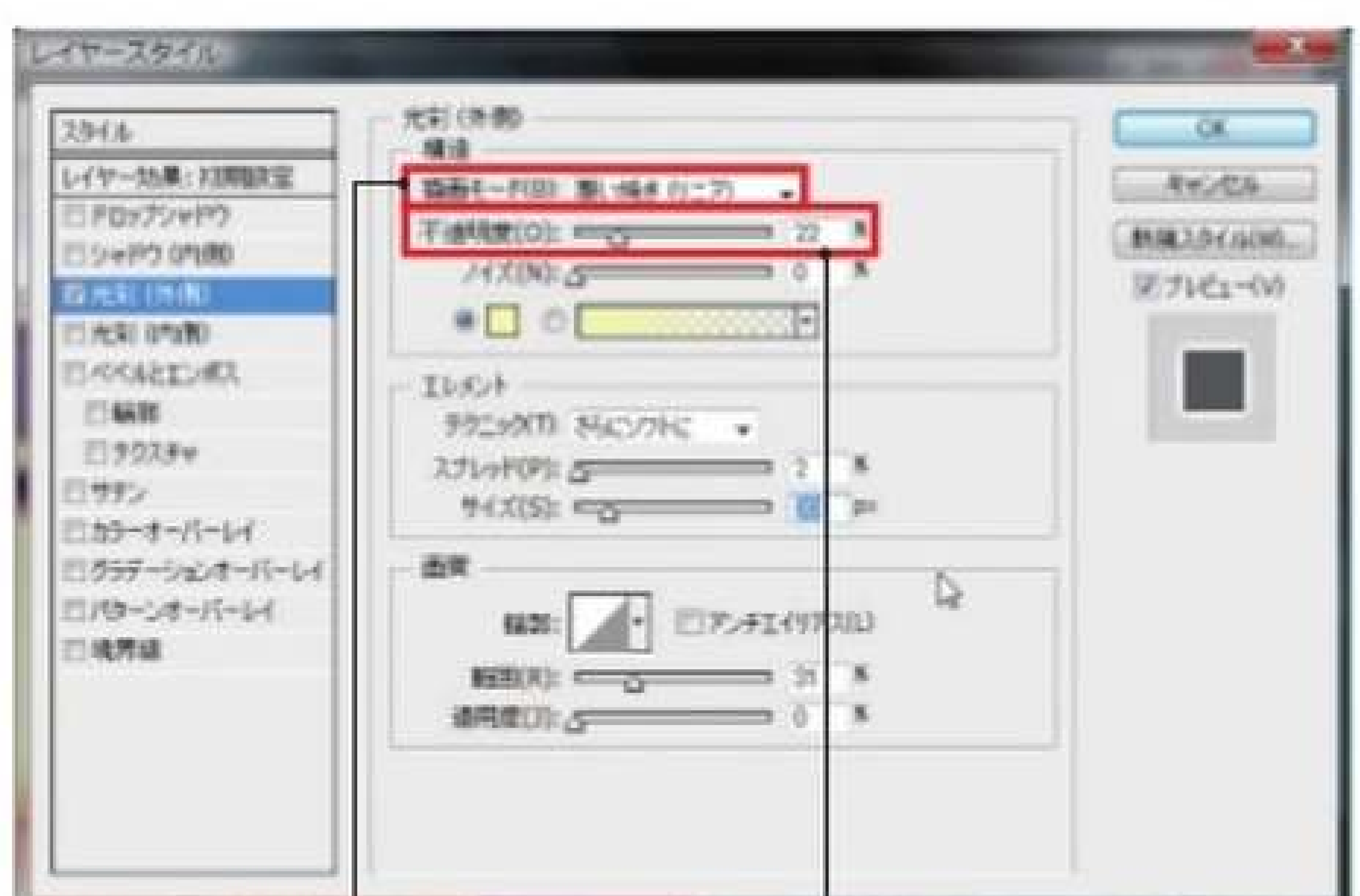



②「光彩（外側）」レイヤーを選択しました

①「レイヤー1」レイヤーを選択しました

10

表示された「レイヤースタイル」ダイアログの「描画モード」を「覆い焼き（リニア）」、「不透明度」を「22%」にしました。スプレッドとサイズも変更しました。プレビューを確認しながら、いろいろ試してみるといいでしょう。



①「描画モード」を「覆い焼き（リニア）」にしました

②「不透明度」は「22%」にしました

11 描き込んだ粒がうっすら光った感じになりました。



12 シーツの部分が少し寂しい気がするので、柄を入れました。別で用意したドット模様を、「シーツ」レイヤーの上に「描画モード」の「乗算」で合成しました。「不透明度」を調整して、馴染むようにします。



②「描画モード」を「乗算」、「不透明度」を「25％」に設定しました

①新規レイヤーを作成し、名称を「ドット素材」に変更しました



13 別で用意した罫線を合成して、画面を飾ります。罫線はフォントなどを利用しても簡単にできます。自由変形を使って、角度や位置を変えてリズムを出します。数本の罫線をバランスよく配置しましょう。



新規レイヤーを作成し、名称を「罫線」に変更しました



14 最後に気なる部分などを修正して、
完成です。お疲れ様でした。



# CHAPTER.03

## Photoshopを使った着色テクニック



CG Illustration Techniques

Illustration and Explanation By Miltia

Chapter. 03

# Photoshopを使った着色テクニック

ここからは新しく線画を作成し、Photoshopで着色から仕上げまで作業をします。Photoshopは多数のレイヤーを使用して部分的に着色したり、陰影を濃さごとに着色することができます。Photoshopの使い方によって、クオリティや作業効率を大幅に上げることが可能です。

## ラフの準備

01 まずラフ絵を準備します。今回は図のような感じでキャラクター中心のイラストを描いてみました。この絵は直接紙に描きました。



02 トレース台を使い、ラフ絵を線画に起こします。その際に使う紙は、市販のコピー用紙から漫画原稿用紙まで、無地ならなんでもOKです。ただ、ある程度厚さがあって表面が滑らかなものを使うと、比較的綺麗に線が引けるかもしれません。かすれやゴミなども出にくいので個人的にオススメです。今回はHBのシャーペンで、細さは0.3㎜を使用しました。



03 それでは線画をスキャンします。グレースケールの解像度は600dpiで取り込みました。スキャナの設定によっては結構差が出るので、各自の環境に合った調整を事前にしておいたほうがいいかもしれません。ちなみに、女の子の顔は可愛らしく描いてあげたいので、この段階の線画では表情は描きません。後からじっくり描き加える予定です。ここでは、ゴミや線のかすれがあるので、ざっと粗い部分を飛ばします。



この段階の線画では表情は描きません

## Software

### フォトレタッチソフト「Photoshop」

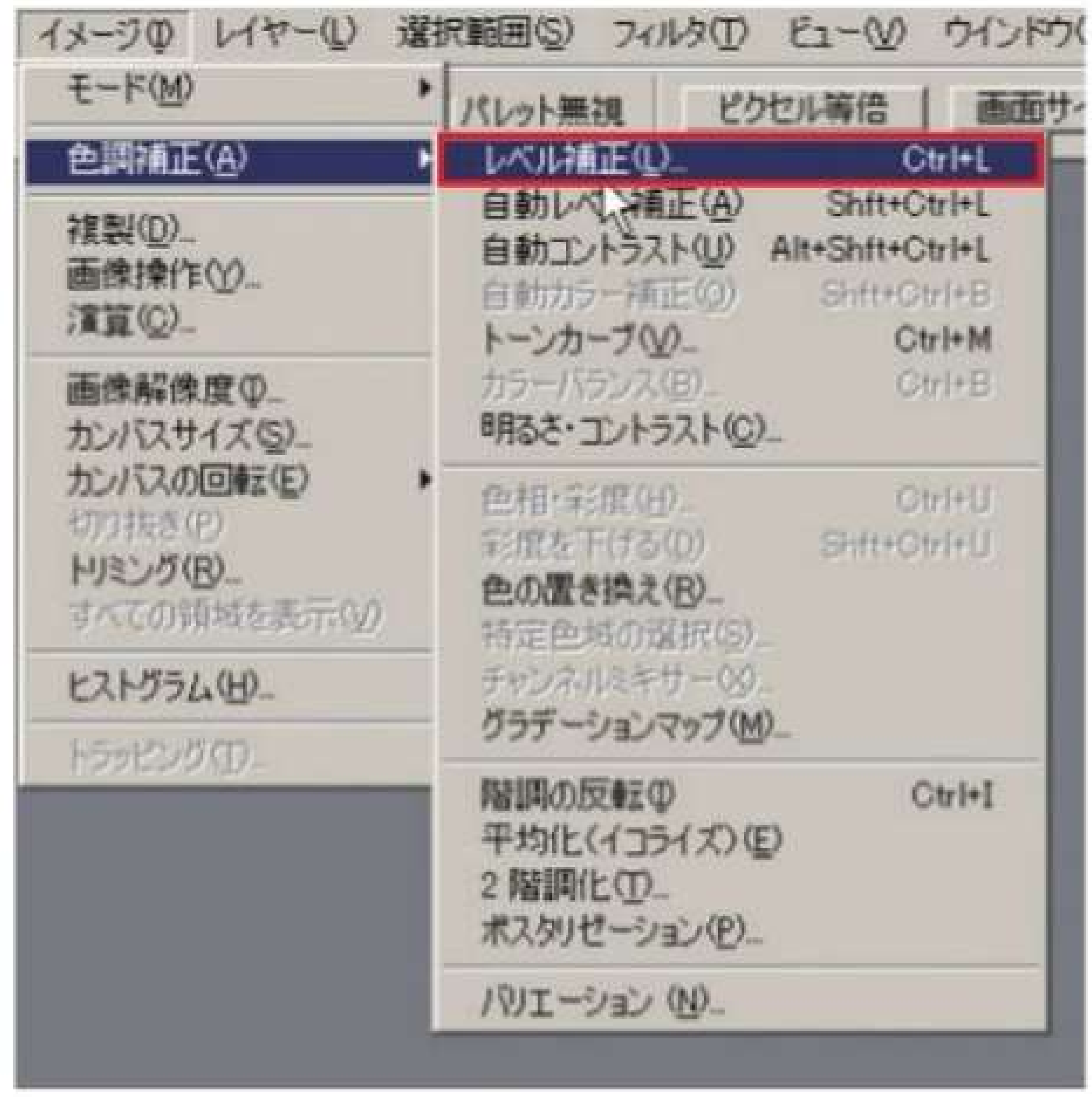
Chapter.03で使用するソフトはアドビの画像編集ソフト「Photoshop」です。ペンタブレットと組み合わせて使えば、紙と筆を使ったアナログそのままのスタイルで着色することが可能です。なお、本書で使用しているPhotoshopは、2002年に発売されたPhotoshop 7です。画面のデザインや一部の機能が最新バージョンと異なることをご了承ください。



価格：99,750 円
問い合わせ先：アドビ システムズ
（http://www.adobe.com/jp/）

04

ここからはPhotoshopの作業に入ります。メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「レベル補正」を選択します。




05

「レベル補正」ダイアログには、「シャドウ」、「中間調」、「ハイライト」の小さい三角形のスライダーがあります。その中から「ハイライト」（右側の白い三角）を少し左に移動させます。




06

すると画面が明るくなり、ゴミやかすれなどをなくすことができます。やり過ぎると大切な線も消えてしまうので、「プレビュー」チェックボックスにチェックを入れてドキュメントを確認しながら調整しましょう。



修正前の状態

→



ハイライト変更後の状態

**07** 次に線の濃さを調整します。真中にある「中間調」を今度は右に動かします。

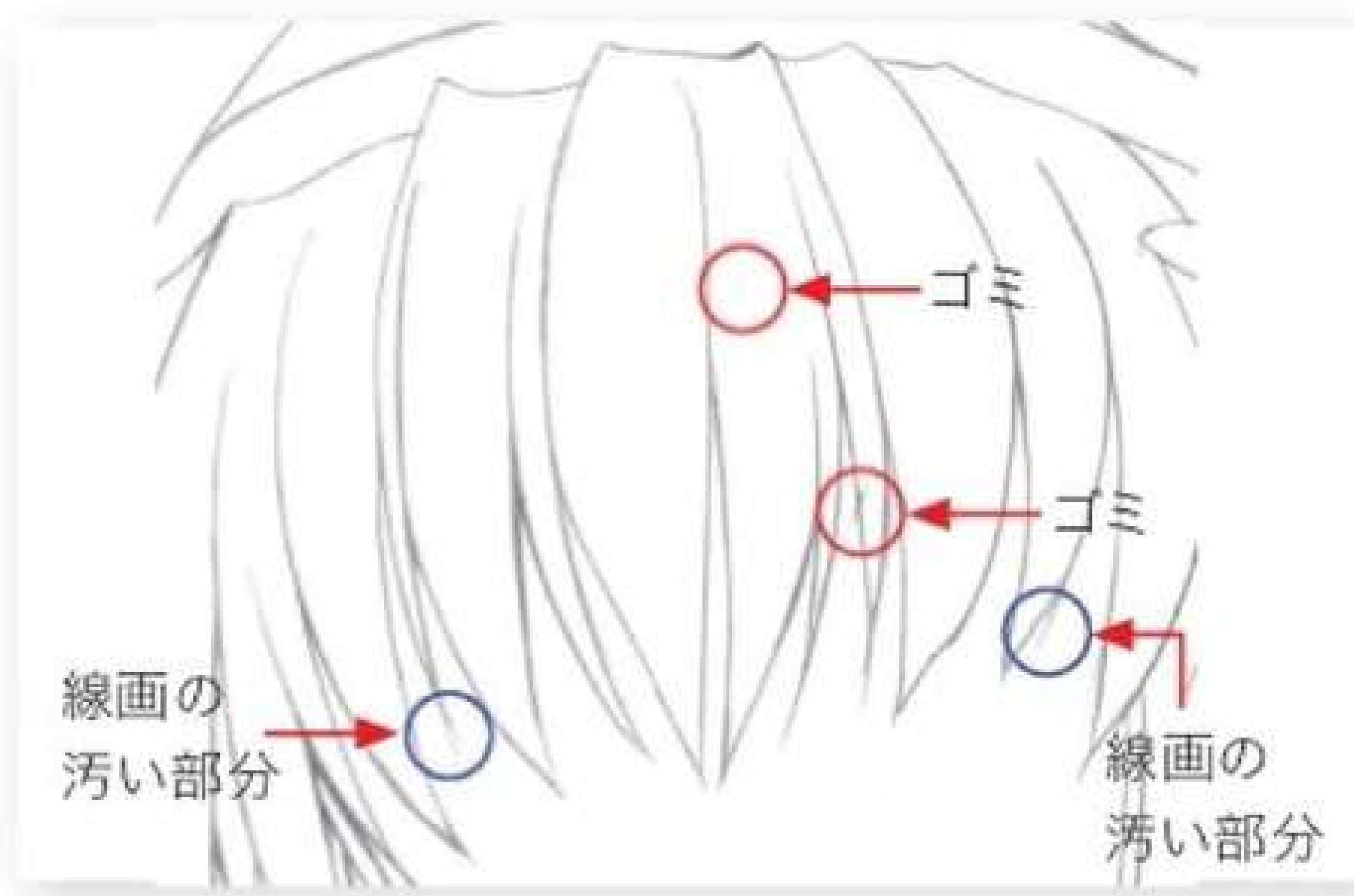


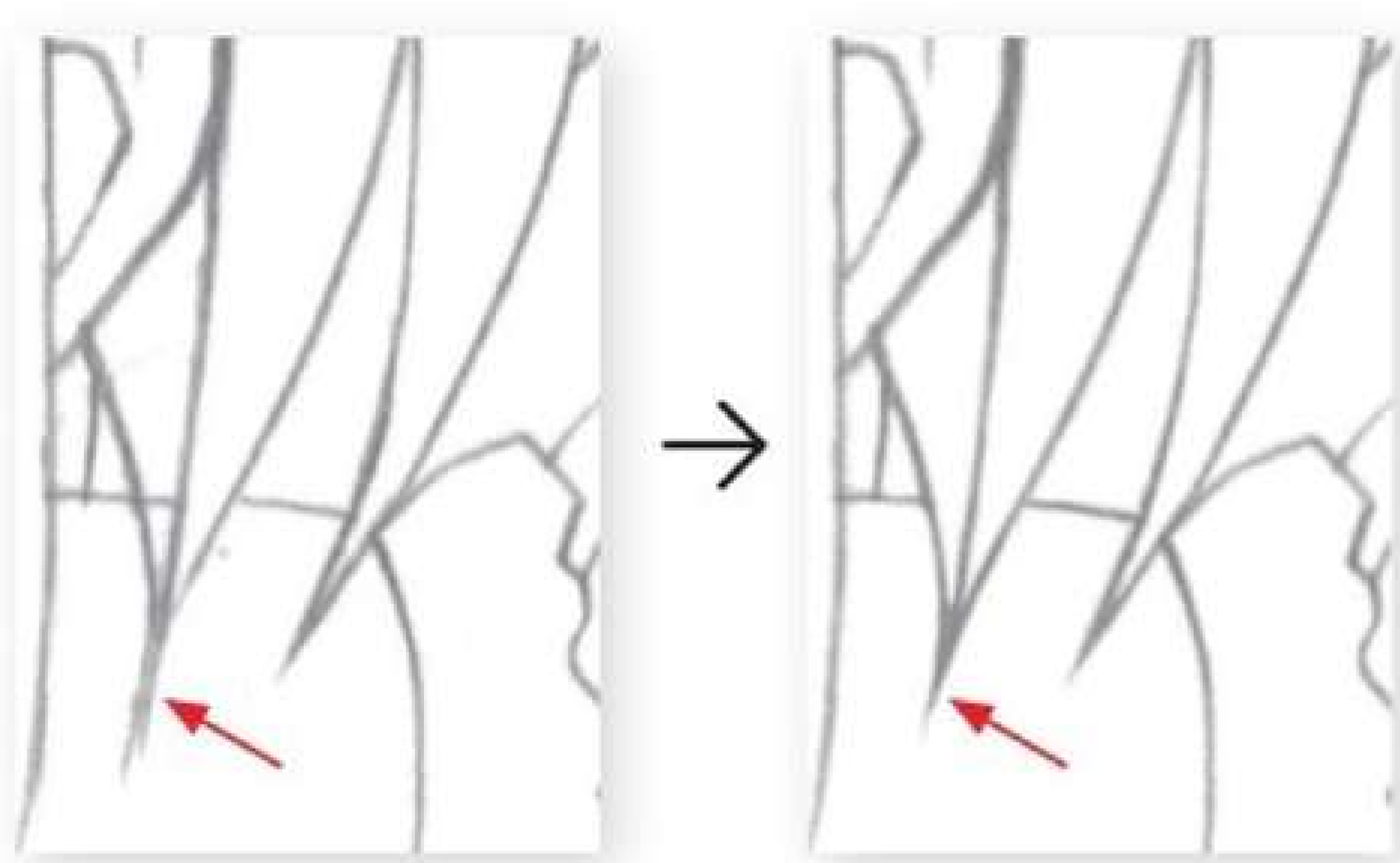

**08** すると線が濃くなります。線が薄い場合はこれで調整できます。この段階で薄いゴミや汚れはだいだい取れました。



修正前の状態　　中間調変更後の状態

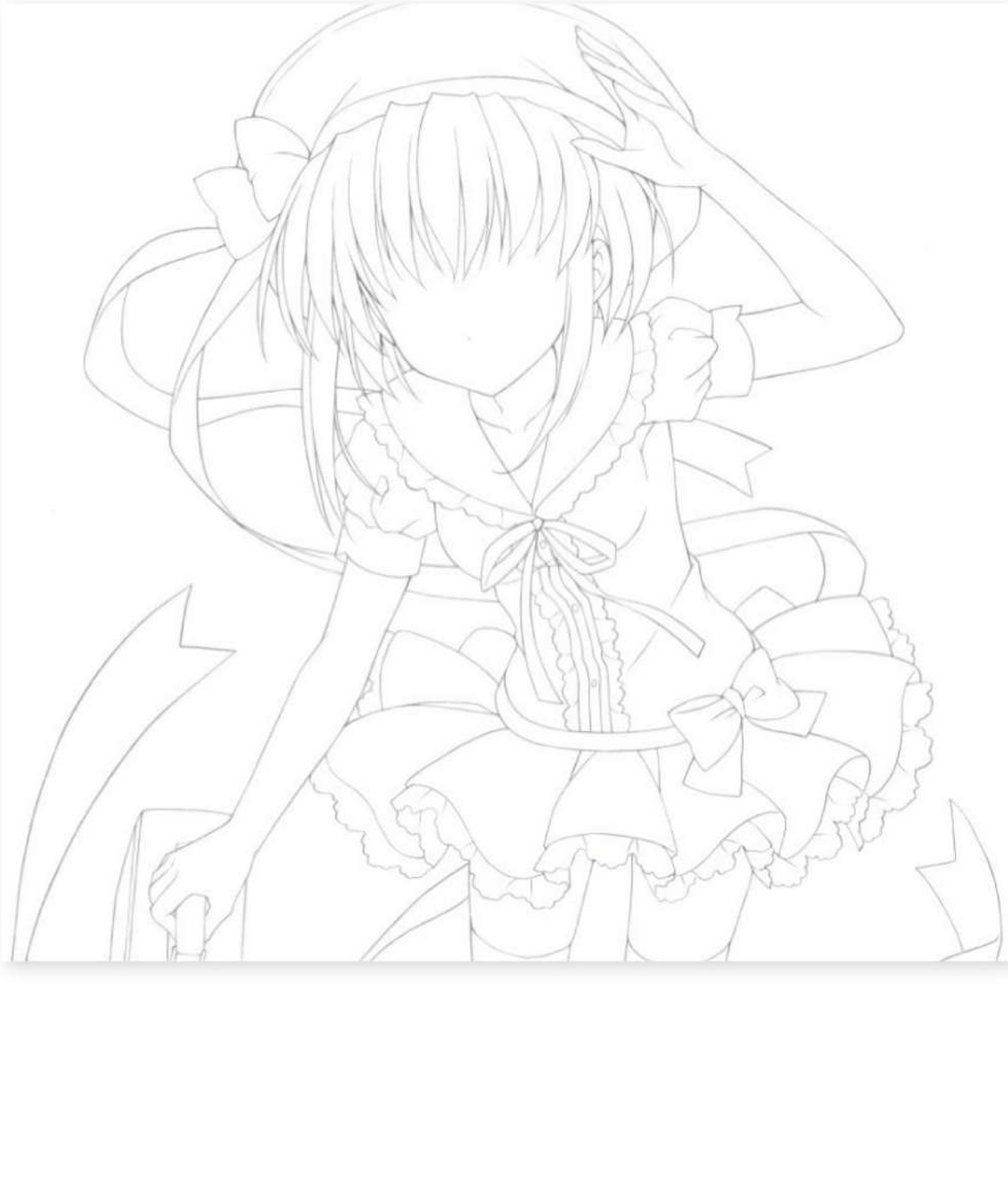
**09** 残ったゴミ（赤丸部分）は根気よく「消しゴム」ツールで取り除きます。その際、線画の汚い部分（青丸のような部分）も修正していきましょう。切れてしまった線も「ブラシ」ツールで描き足しておきます。このゴミ消しが意外と楽しいのですが、ここでこだわるとけっこう時間がかかってしまうので、なるべく時間かけちゃダメ…と念じるように消します。



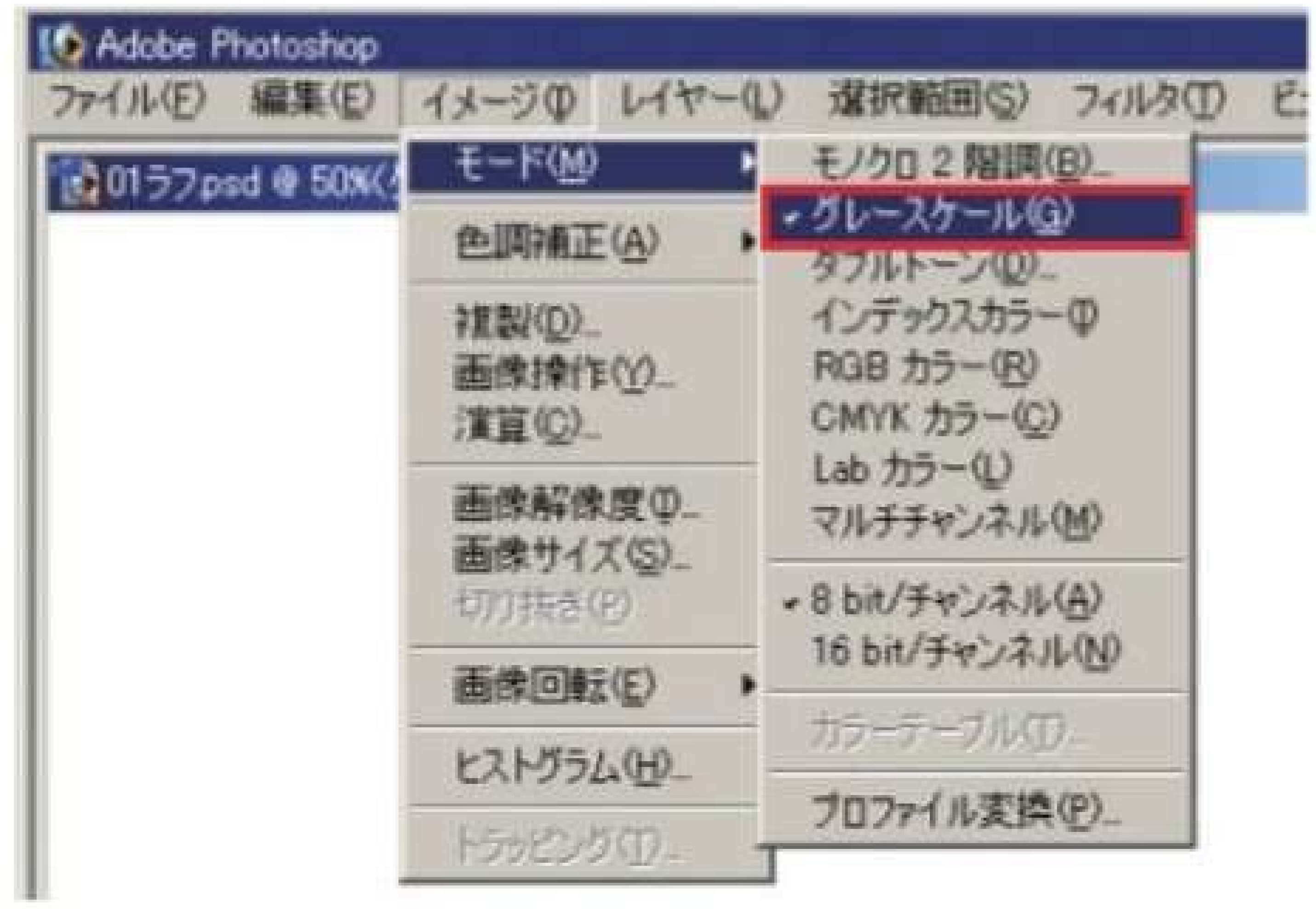
10

一通りゴミ取りや線画の修正が終わりました。実際スキャンからここまで、のんびりでしたが3時間ほどです。ちょっと時間をかけ過ぎてしまいました…。



## 「線画」レイヤーの作成

**01** 次は線画をレイヤー化していきましょう。まずはメインメニューの「イメージ」メニュー→「モード」が「グレースケール」になっていることを確認します。




**02** さらに余計なレイヤーがある場合は「レイヤー」パネル右上の三角形をクリックして、レイヤーパネルメニューから「画像を統合」（場合によっては「レイヤーを削除」）を選択して、「背景」レイヤーの１枚のみにしておきます。




①レイヤーが複数ある場合は、「画像を統合」や「レイヤーを削除」を使ってレイヤーを１枚にします

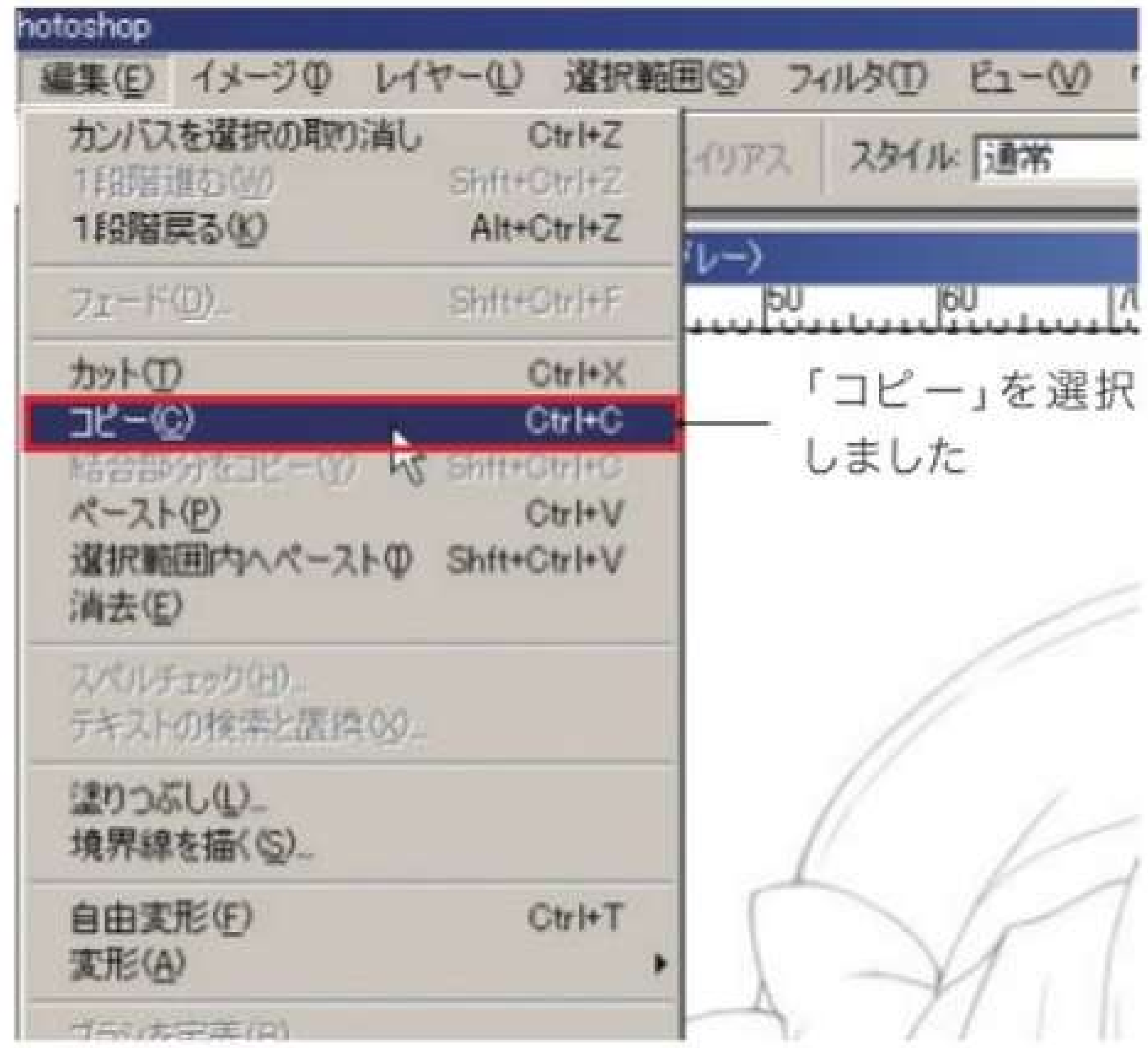
②「背景」レイヤーのみにしました

**03** メインメニューの「選択範囲」メニュー→「すべてを選択」を選び、画面全体を選択します。ショートカットは「Ctrl+A」（Win）／「Command+A」（Mac）です。



**04**

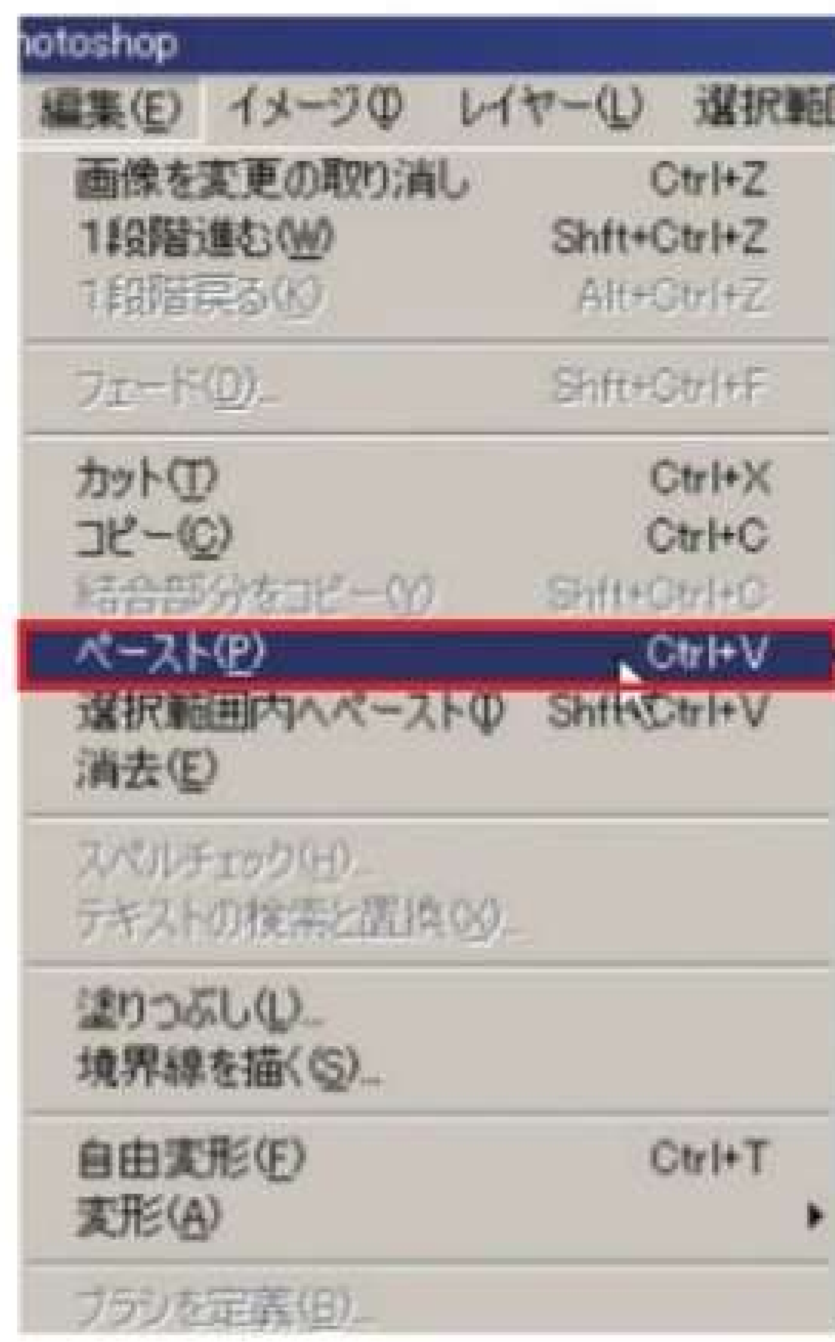
全体を選択した状態で、メインメニューの「編集」メニュー→「コピー」を選択します。ショートカットは「Ctrl+C」（Win）／「Command+C」（Mac）です。現在選択されている画面がコピーされました。




「コピー」を選択しました

**05**

メインメニューの「編集」メニュー→「ペースト」を選択します。ショートカットは「Ctrl+V」（Win）／「Command+V」（Mac）です。コピーやペーストは頻繁に使うので、ショートカットで覚えてしまうと便利です。




「ペースト」を選択しました

**06**

すると、「背景」レイヤーを複製した「レイヤー1」ができました。




「背景」レイヤーが複製されました

## 線画を描く

**01** 新しくできた「レイヤー1」を選択した状態で、メインメニューの「選択範囲」メニュー→「選択範囲を読み込む」を選択します。




**02** 「選択範囲を読み込む」ダイアログが表示されるので、「反転」チェックボックスにチェックを入れて、OKを選択します。




**03** すると線画の部分だけが選択されました。

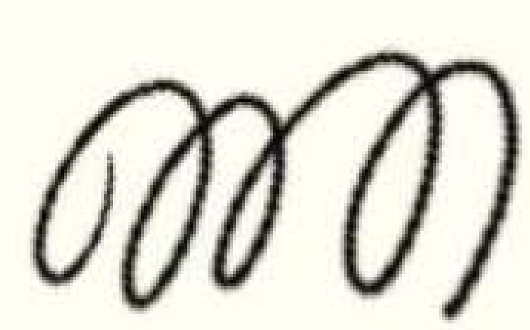


### TECHNIQUE

**「選択範囲を読み込む」で線画のみを選択する**

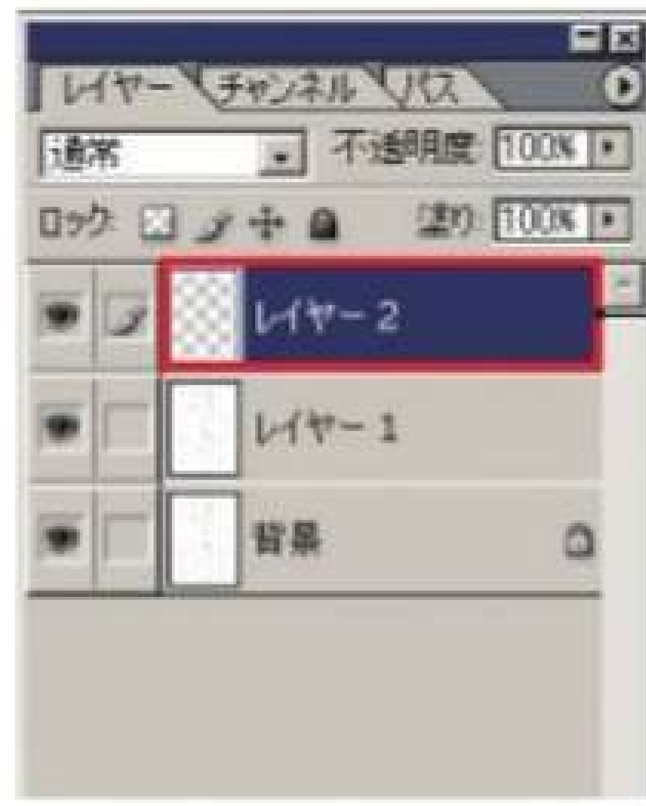
線画のみを選択したい場合、「自動選択」ツール＋「選択範囲の反転」を使って選択できますが、髪の毛のように閉じられた範囲が多い場合にすべてを選択するのは困難です。「選択範囲を読み込む」を使えば、不透明部分を一度に選択範囲として設定することができます。線画の選択に便利な機能です。


選択範囲設定前の状態


選択範囲設定後の状態

04

選択した線画に色を塗るための「レイヤー2」を新規作成します。「レイヤー」パレットの下部にある「新規レイヤーを作成」ボタンをクリックしましょう。




新規の「レイヤー2」が作成されました

05

「レイヤー−2」に「塗りつぶし」ツールを使って黒く塗りつぶします。



②「塗りつぶし」ツールを選択しました

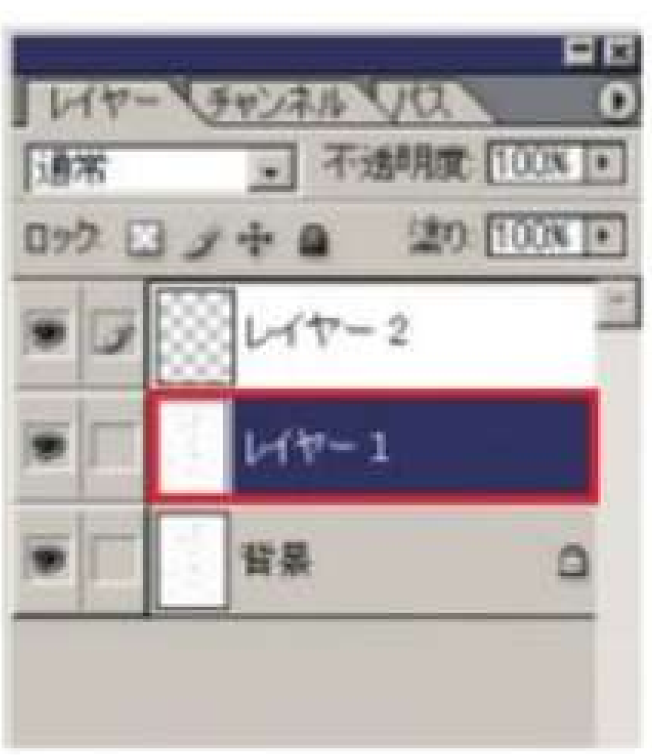
①「描画色」は「黒」を選択しました



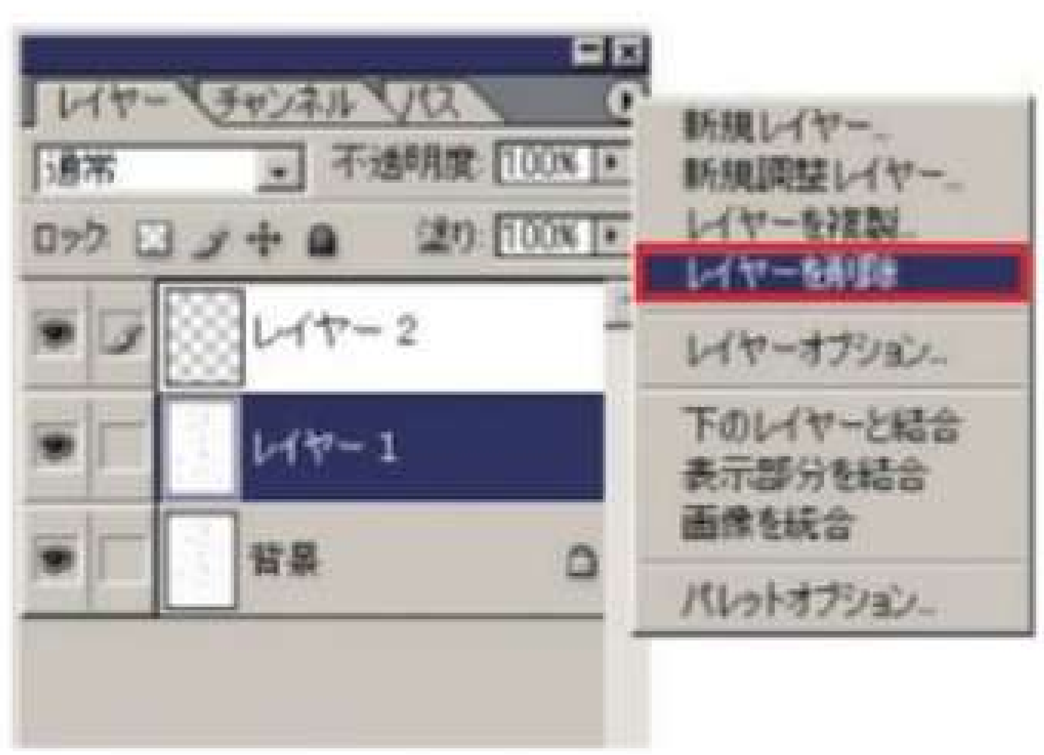
③選択範囲をクリックして色を流していきます

06

「背景」レイヤーを複製したレイヤー（この場合は「レイヤー１」）は必要ないので削除します。




①「レイヤー１」を選択しました




②レイヤーパネルメニューから「レイヤーを削除」を選択しました




③「レイヤー１」が削除されました

**07** 「背景」レイヤーに描かれている絵も必要ないのでメインメニューの「選択範囲」メニュー→「すべてを選択」を選択し、メインメニューの「編集」メニュー→「消去」を選び、消します（単純に「消しゴム」ツールを使って消してもかまいません）。「レイヤー2」は線画を塗りつぶしたレイヤーであることを分かりやすくするため、「線画」と名前をつけておきましょう。これで線画がレイヤー化されました。




①「背景」レイヤーを選択し、描画を削除しました

②「レイヤー2」の名称を「線画」に変更しました

**08** 次に顔の中のパーツを描きます。まず線画と同じ解像度でラフを再度スキャンし、ラフ絵の顔の部分を「長方形選択」ツールで範囲選択します。選択範囲はアバウトで大丈夫です。選択された部分を「移動」ツールで線画ファイルのほうにドラックし、選択範囲をペーストします。これが顔を描く時の下絵になります。



①「長方形選択」ツールを選択しました



②新たにラフをスキャンし、表情の部分のみを「長方形選択」ツールで選択しました



③線画のファイルに貼り付けるようにドラッグしました




④選択した範囲が「レイヤー1」として追加されました

**09** このままでは見づらいので下絵のレイヤーの「描画モード」を「乗算」にします。さらに「不透明度」を下げて見やすいようにします。




②「描画モード」は「乗算」を選択しました

③「不透明度」は「43%」を選択しました

①「レイヤー1」を選択しました



**10** 下絵が調整できました。次に顔のパーツを描くための新規レイヤー「目_線画」を作成します。少し面倒でもレイヤーには分かりやすく名前をつけておくほうがいいです。私もよく忘れるのですが…。




新規レイヤーを作成し、名称を「目_線画」に変更しました

**11** 「目_線画」レイヤーを選択した状態で「ブラシ」ツールや「消しゴム」ツールなどを使って、下絵をなぞっていきましょう。



12

顔のパーツが完成しました。そして下絵に使った「レイヤー1」（表情をスキャンしたレイヤー）は必要ないので消去します。いつもより可愛く描いてあげることができたかな？ 顔のパーツをPCで描くのは、綺麗に仕上がるのと後で修正がしやすいからです。それとゲームの絵のように、表情を変えたい時にも線画と別にしておくと便利です。次は塗り分けです。




①「レイヤー1」を選択しました



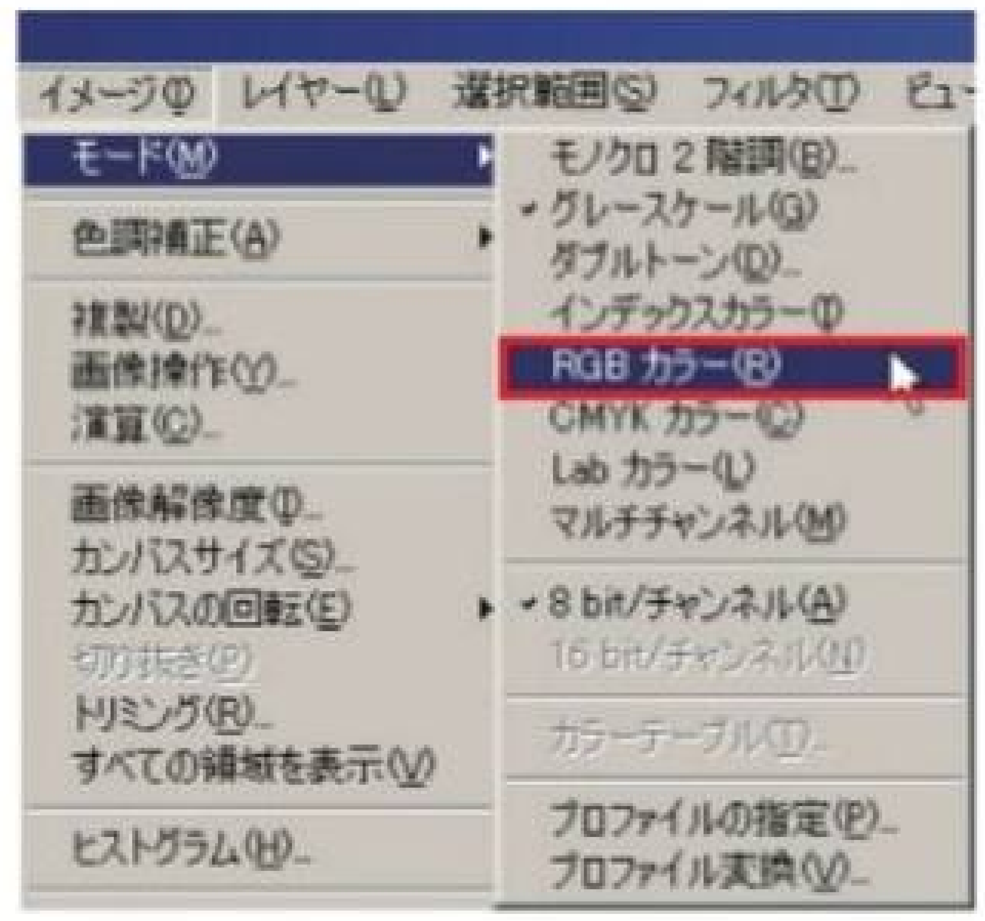

②「レイヤー1」を削除しました



## パーツの塗り分け

**01**

メインメニューの「イメージ」メニュー→「画像解像度」で「解像度」を確認すると、「600」になっています。カラーイラストだと通常は350dpiくらいあれば十分なので、変更する場合はこの工程のあたりで調整しておきましょう。次にメインメニューの「イメージ」メニュー→「モード」→「RGBカラー」を選択します。するとレイヤーを統合するかどうかダイアログが表示されるので、「統合しない」を選択します。これで描画モードが「RGBカラー」になりました。




①「RGBカラー」を選択しました




②「統合しない」を選択しました

**02**

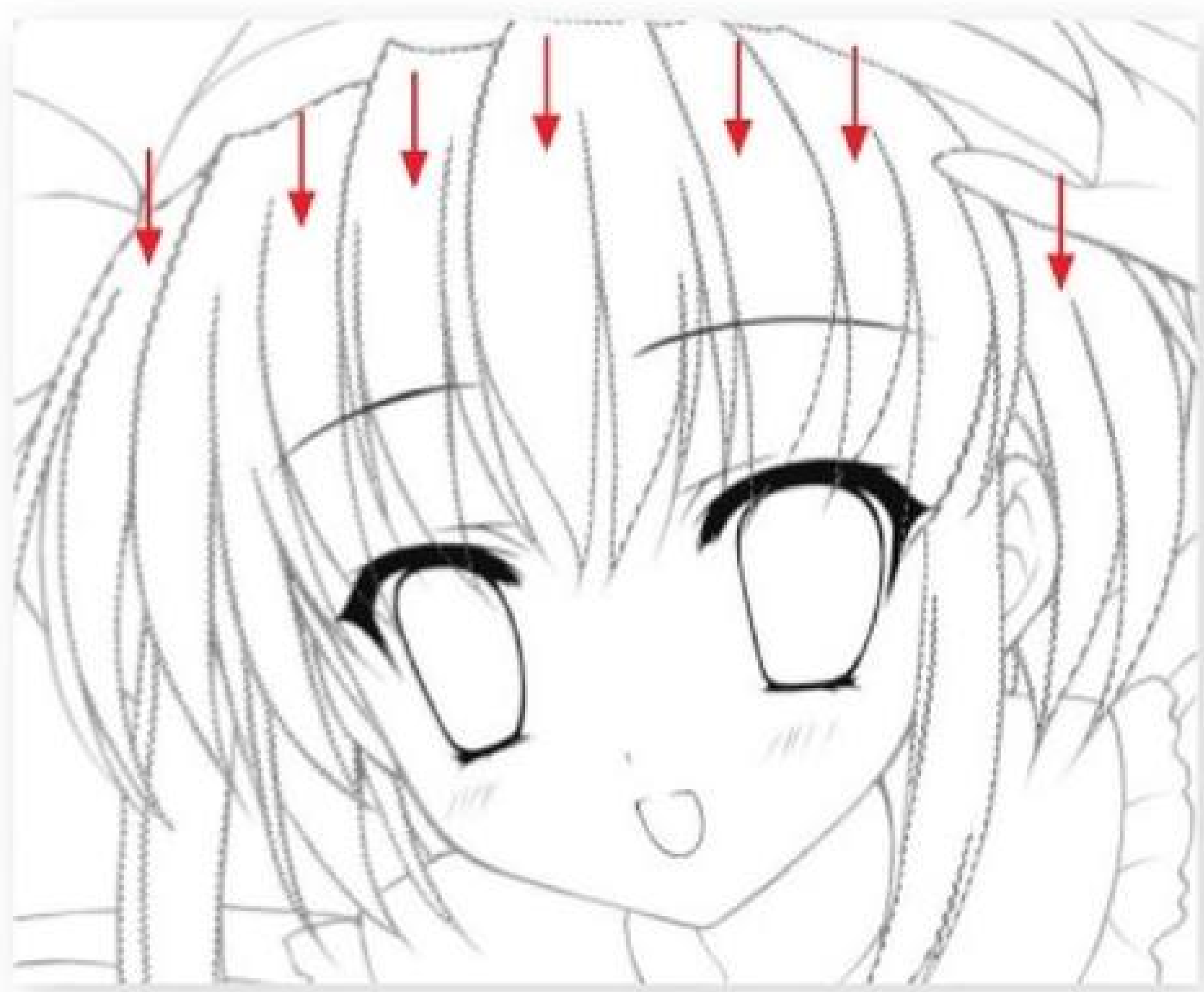
初めに髪の毛の塗り分けをしましょう。まず「線画」レイヤーを選択し、「自動選択」ツールを使って髪の毛の部分をクリックします。「Shift」キーを押しながら選択範囲をクリックすると、選択範囲が解除されずに追加されます。




①「線画」レイヤーを選択しました



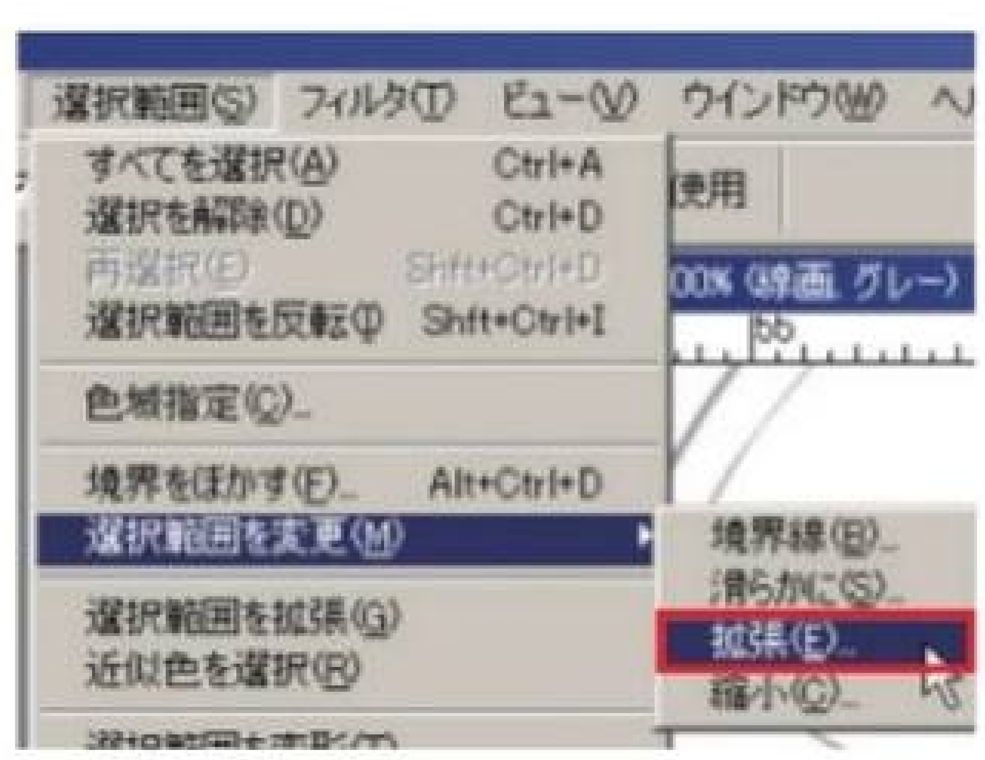
②「自動選択」ツールを選択しました



③「Shift」キーを押しながら複数の範囲を選択しました

**03**

次に選択範囲を広げます。メインメニューの「選択範囲」メニュー→「選択範囲を変更」→「拡張」を選択します。



04

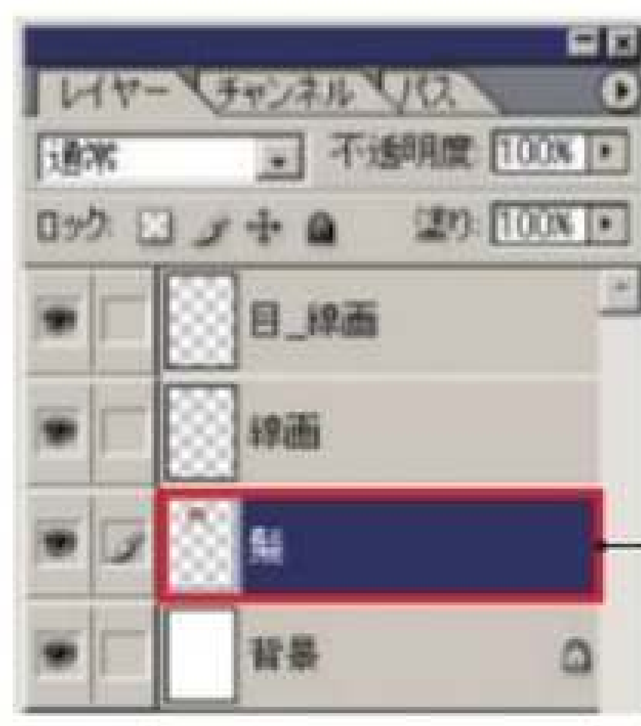
「選択範囲を拡張」ダイアログが表示されるので、「拡張量」に「2」を入力して「OK」をクリックします。このへんは線画の太さなどによって変わってくるので、何度か数値を変えて試してみてください。私の線画は細めなので、普段2pixelくらいにしています。






05

「線画」レイヤーの下に髪の毛を着色するための新規レイヤー「髪」を作成します。




新規レイヤーを作成し、名称を「髪」に変更しました

06

「髪」レイヤーを選択し、適当に色を選んで「塗りつぶし」ツールで塗りつぶします。おおまかに色がつきました（この時、「線画」レイヤーに塗ってしまわないよう気をつけましょう）。



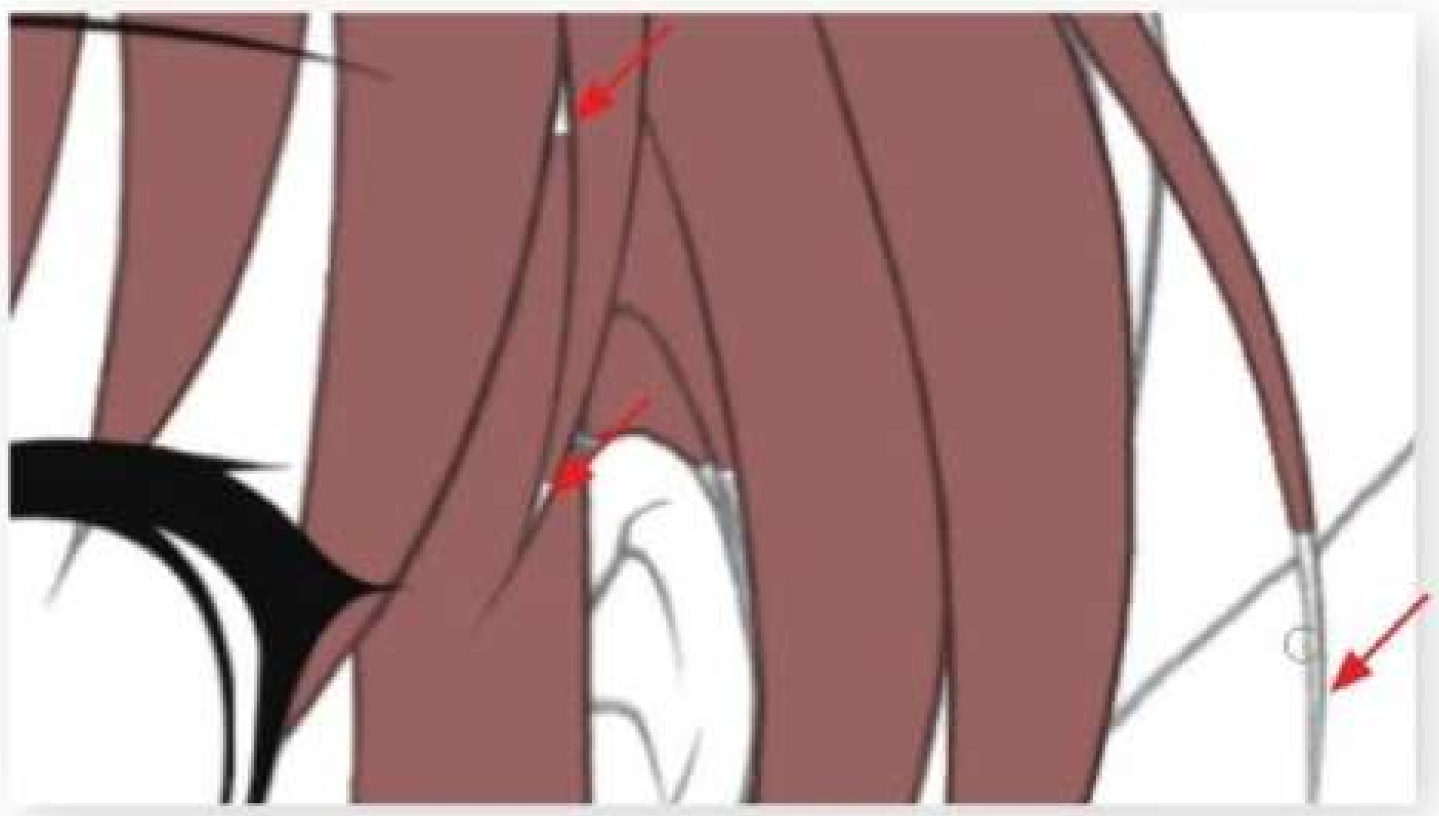
①「塗りつぶし」ツールを選択しました

②描画色を選択しました



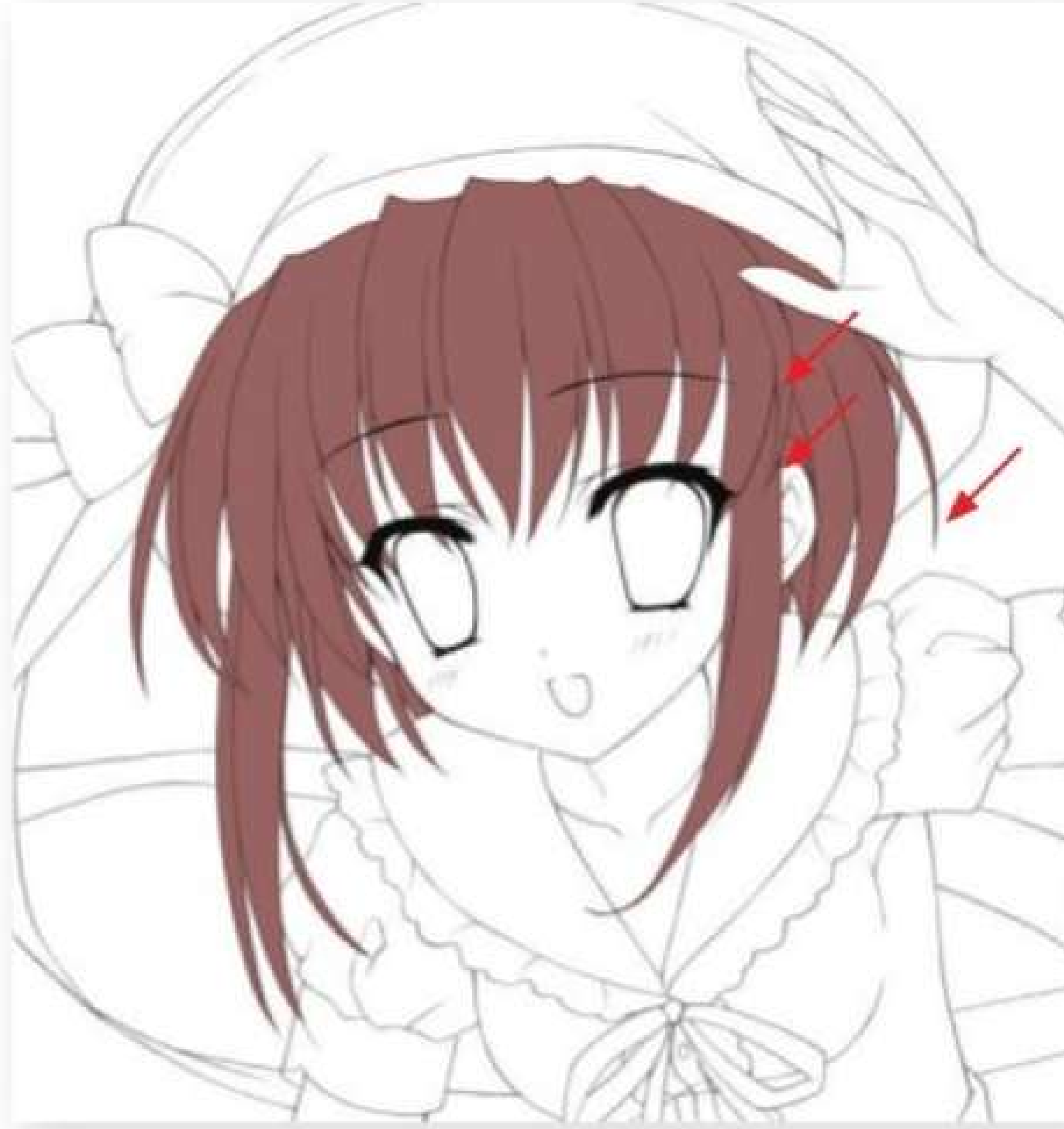
③選択範囲をクリックし、描画色で塗りつぶしました

07 選択範囲を解除して、塗り残しを「ブラシ」ツールで塗っていきます。はみ出しは「消しゴム」ツールで消しましょう。面倒ですが、根気よく作業していきます。



選択範囲で選択できなかった範囲を「ブラシ」ツールで塗りつぶします

→



08 塗り分けができました。線画を綺麗に作っておくと、この作業時間が短縮されます。それではこれを参考に、どんどんパーツを分けていきましょう！



09 すべてのパーツがレイヤーに分けられました。レイヤーはだいたいこのような感じです。「キャラ塗り」と「リボン」の2つの「レイヤーセット」を使ってフォルダにまとめました。




②キャラのレイヤー分けは新規のレイヤーセット「キャラ塗り」にまとめました

①各パーツをレイヤーに分けました

③「背景リボン」レイヤーは新規のレイヤーセット「リボン」にまとめました

10 早速塗っていきたいところですが、今は塗り分けのために見やすい色で塗ってあるだけなので、今度は塗りやすいように色を変更しましょう。まず、色を変更したいレイヤーをクリックし、「透明ピクセルをロック」をクリックします。すると、透明部分が保護され、色がはみ出さなくなります。




②「透明ピクセルをロック」アイコンをクリックしました

③「襟・スカート」の透明部分が保護されました

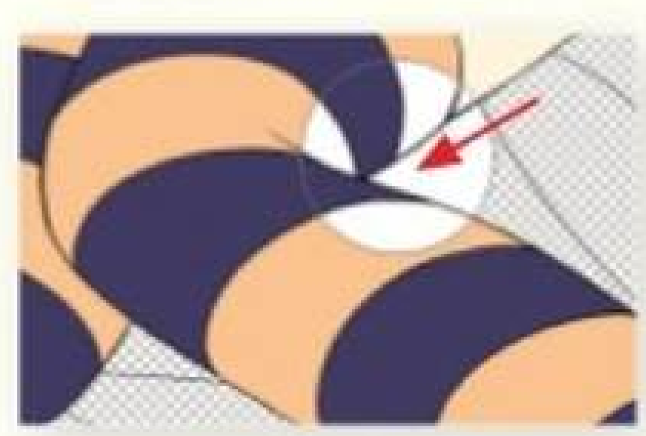
①「襟・スカート」レイヤーを選択しました

TECHNIQUE

### 透明部分に色を乗せない「透明ピクセルをロック」

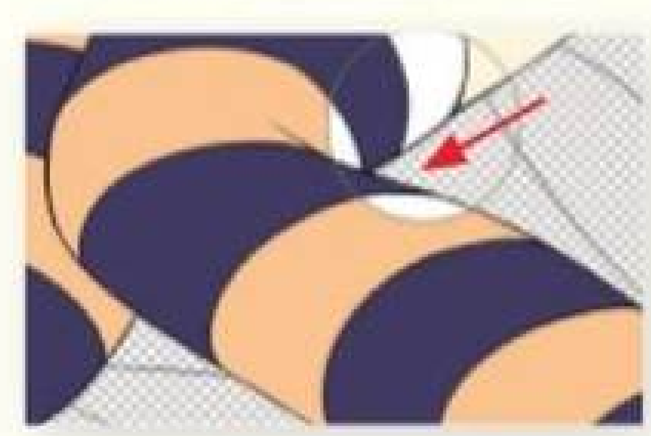
「透明ピクセルをロック」にチェックを入れると、着色前の範囲には色が乗りません。大きなブラシで塗っても着色されることはないので、作業の効率を上げることができます。

■「透明ピクセルをロック」をOFFにした状態



背景も同時に着色されました

■「透明ピクセルをロック」をONにした状態



大きなブラシで塗っても透明部分には着色されることはありません

11 それから「ブラシ」ツールで好きな色を塗りましょう。他にもメインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「色相・彩度」を使っても色を変えることができます。



12 色変えができました。私の場合、塗っているうちにどんどん変更してしまうので、大雑把になんとなく決定です。

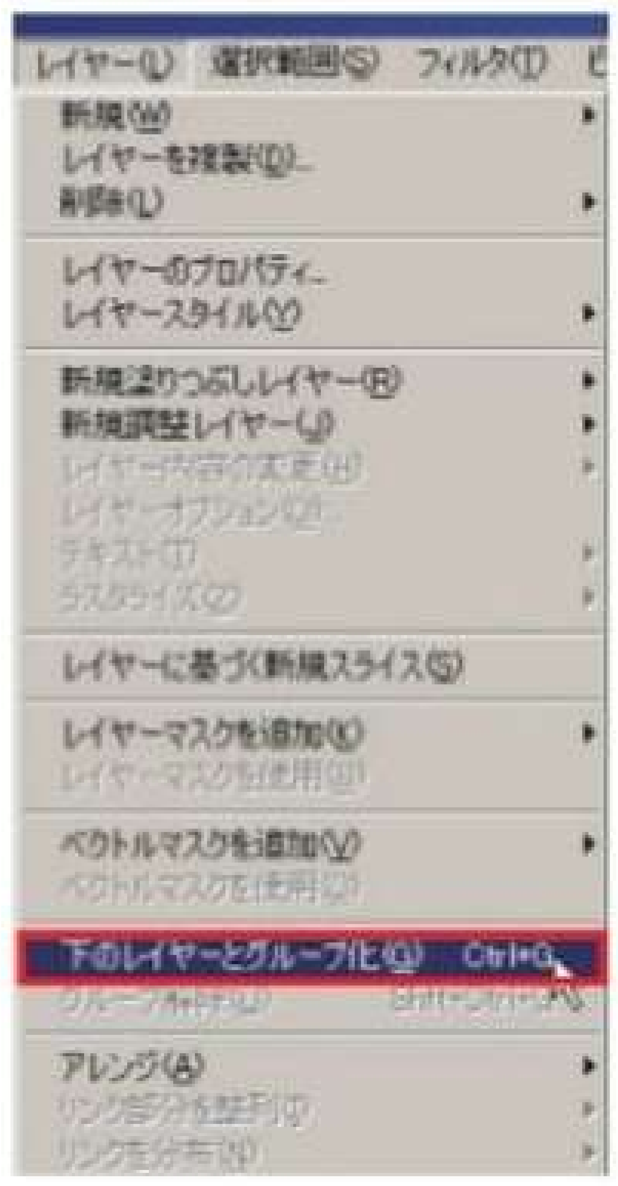


## 肌の陰影の着色

**01** いよいよ影の塗りです。まずは肌を塗っていきます。「肌」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、メインメニューの「レイヤー」メニュー→「下のレイヤーとグループ化」を選択します。




①新規レイヤーを作成し、名称を「影」に変更しました




②「下のレイヤーとグループ化」を選択しました



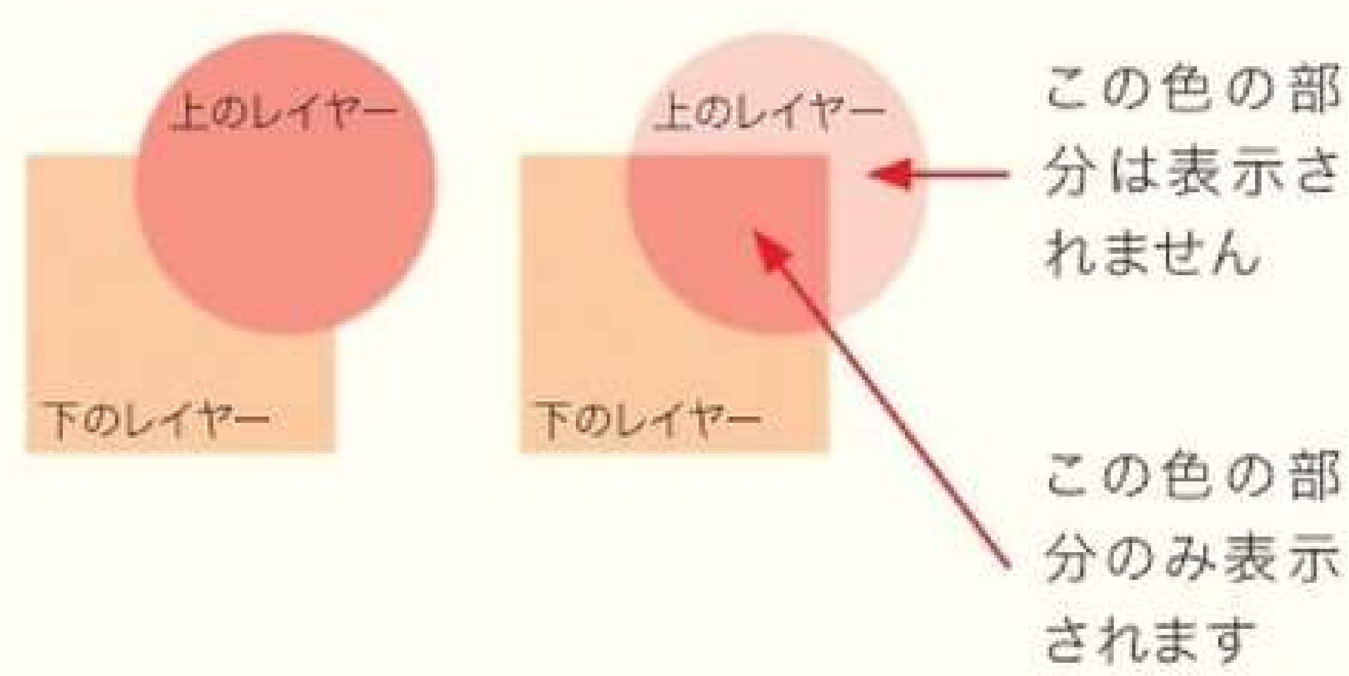

③「影」レイヤーが「グループ化」されました

TECHNIQUE

### はみ出しを気にせず塗れる「グループ化」

グループ化を設定することによって、「肌」レイヤーの範囲からはみ出た部分は見えなくなります。

■グループ化の設定なし　■グループ化の設定あり



02

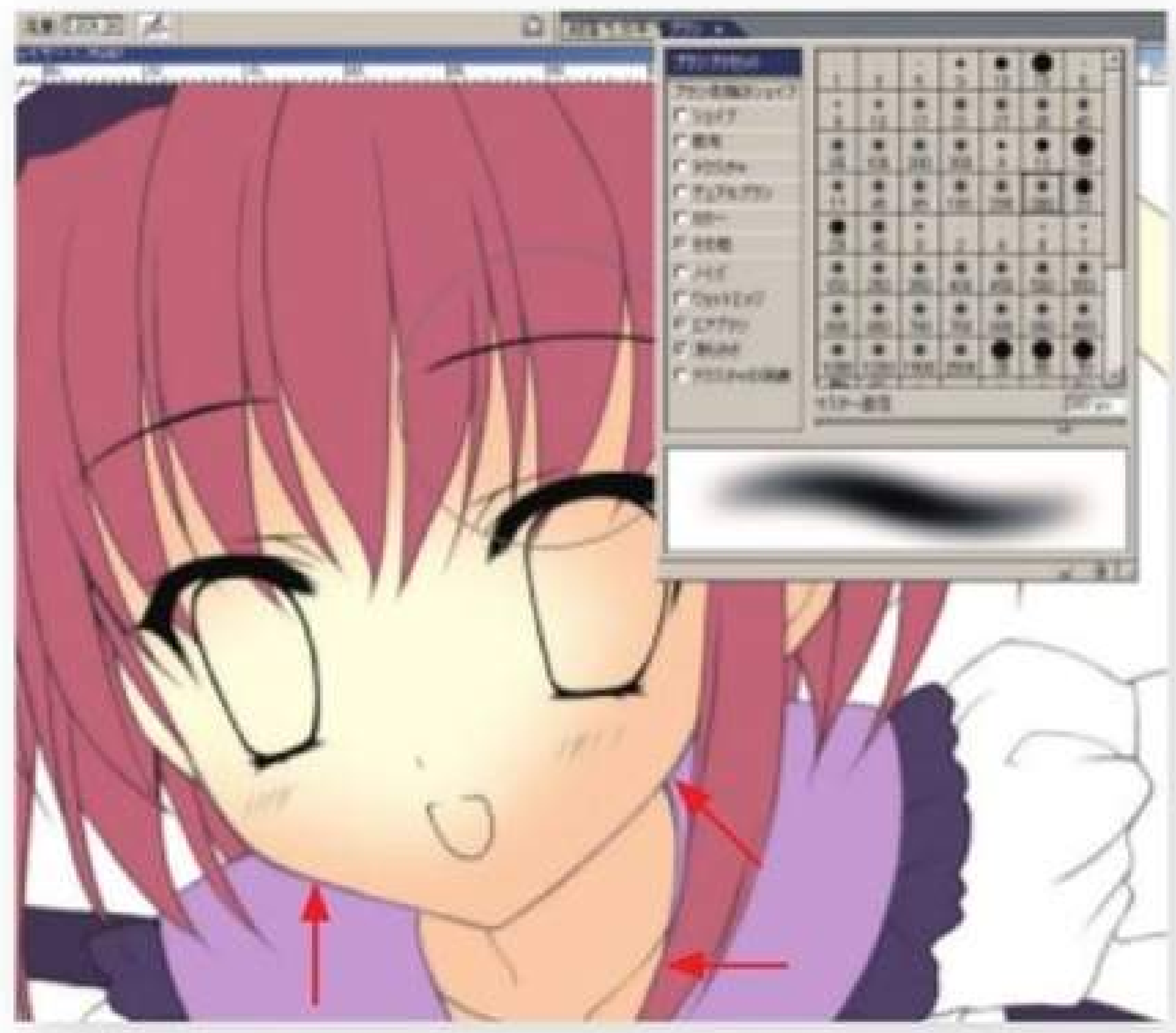
グループ化されたレイヤーに影をつけていきます。今回、光源の位置は左上に設定しました。ものの形を考えながら塗りましょう。まず、ボケ足の大きいブラシで画像のようにアバウトに影をつけます。




①「影」レイヤーを選択中です



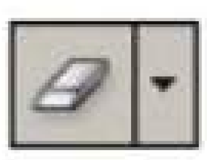
②「ブラシ」ツールを選択しました



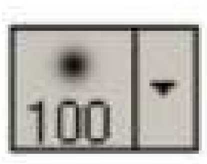
③サイズは「300」にし、影をつけていきました

03

その後で輪郭に沿うように「消しゴム」ツールで整えていきます。



①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「100」にしました

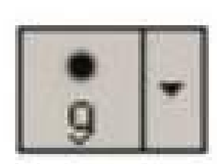


04

髪の毛の影も塗ります。こちらも先ほど塗った部分を「消しゴム」ツールで整えます。髪の毛の形をよく確認しながら消していきます。



②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズを「9」にしました



①影を整える前の状態

→



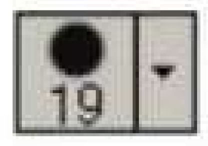
④影になる部分以外を「消しゴム」ツールで削除しました

## 05

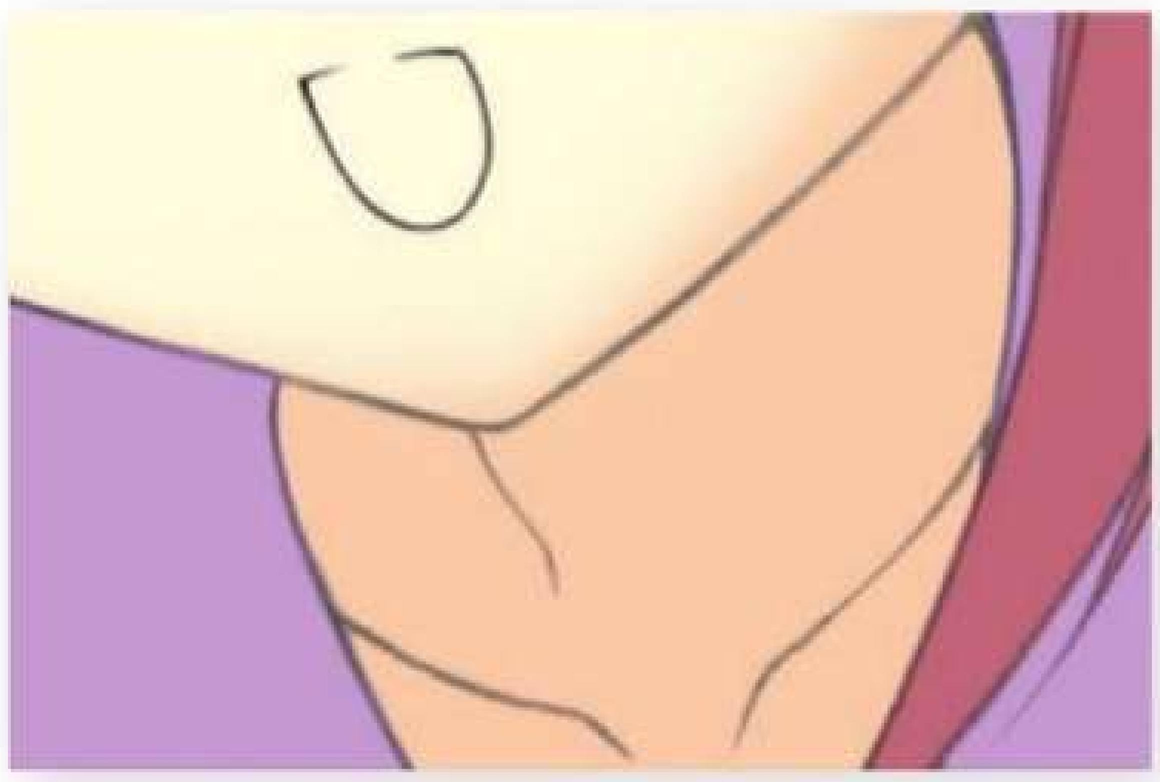
同じように首の部分を塗ります。鎖骨の立体感に気をつけて塗りましょう。



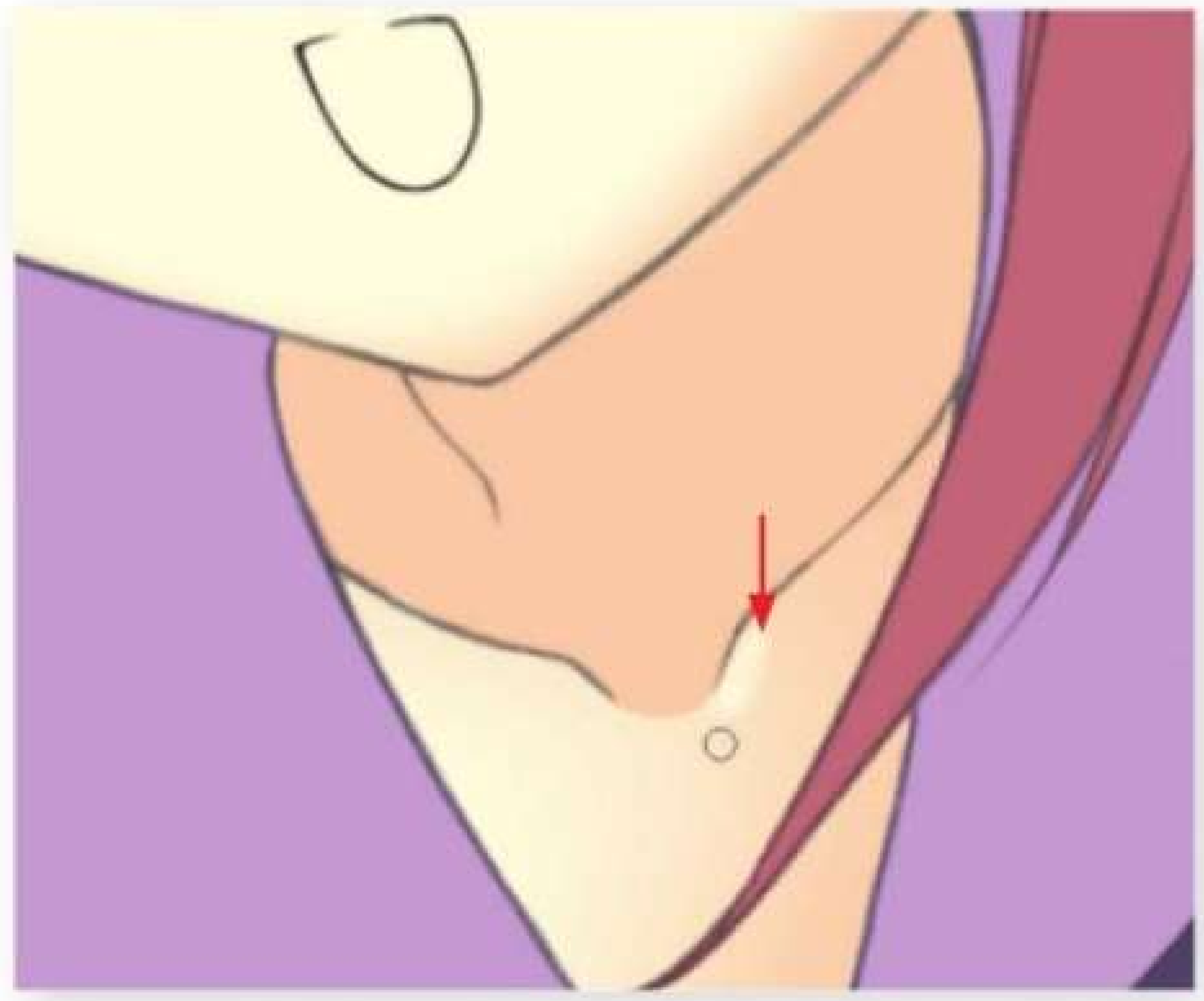
②「ブラシ」ツールを選択しました




③サイズを「19」にしました



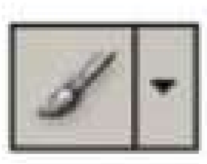
①影を整える前の状態です



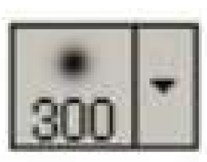
④鎖骨の出っ張り部分を明るくしました

## 06

次に手足を塗ります。こちらもボケ足が大きめの「ブラシ」ツールで大まかに影をつけます。



①「ブラシ」ツールを選択しました




②サイズを「300」にしました



③腕に影を塗りました

## 07

「消しゴム」ツールで整えます。この時、「消しゴム」ツールの「不透明度」を下げると、消える度合いが調整できます。いろいろ試してみてください。



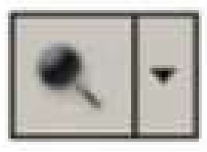
①「消しゴム」ツールを選択しました

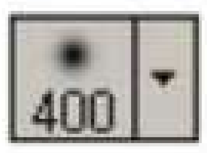



②「不透明度」を「40」に設定しました

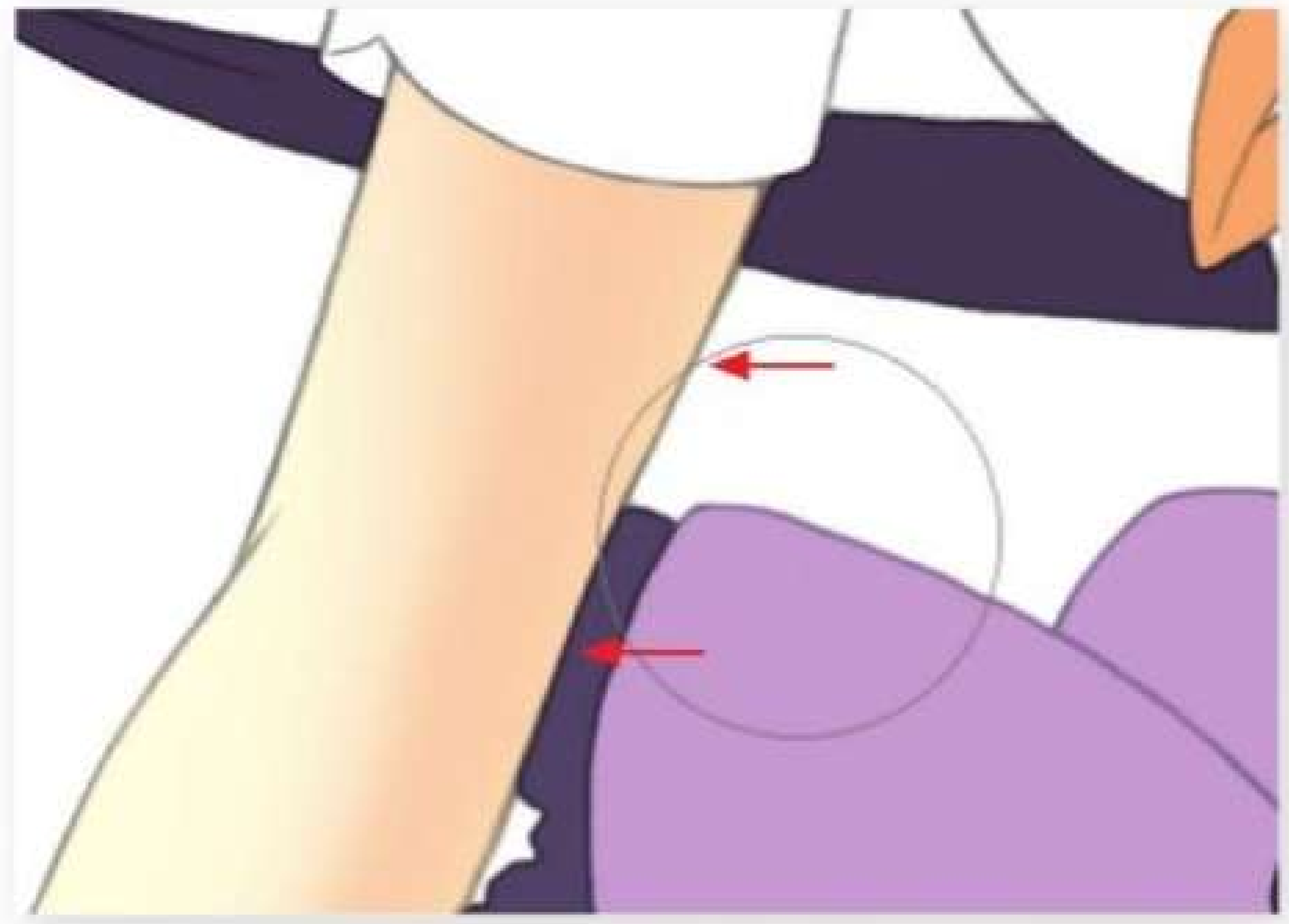
## 08

影が塗れたら線画に近い部分に「覆い焼き」ツールでうっすらとハイライトを入れます。なんとなく立体感が出るような気がするので、個人的に好きな手法です。


①「覆い焼き」ツールを選択しました



②サイズを「400」にしました



## 09

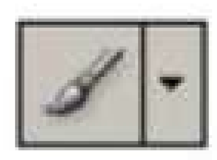
「覆い焼き」ツールの設定はだいたい右のようにしていますが、絵によって調整が必要です。

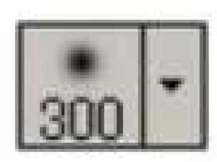



①「範囲」は「ハイライト」ツールを選択しました
②「露光量」は「20」を選択しました

## 10

左腕を塗ります。基本的に面積の広い部分にボケ足が大きい「ブラシ」ツールで塗ります。


②「ブラシ」ツールを選択しました



③サイズを「300」に選択しました


①影を整える前の状態です

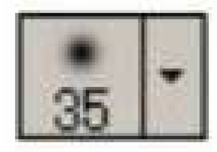
→


④光が当たらない場所を中心に影を塗りました

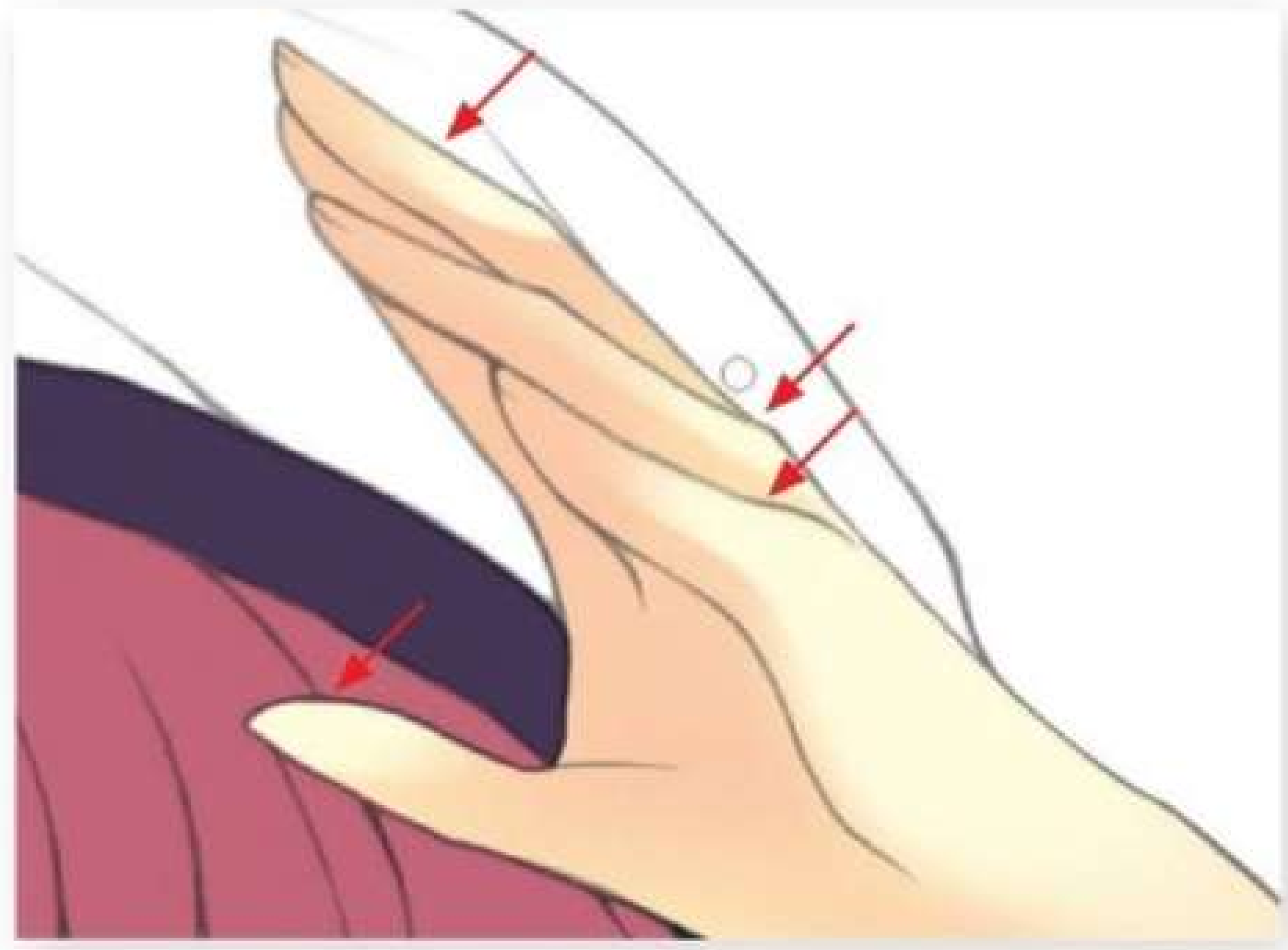
11

指などの面積の小さい部分は、あまりボケ足の大きくない「ブラシ」ツールで塗ります。


①「ブラシ」ツールを選択しました

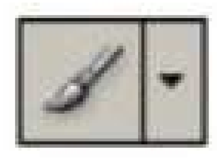


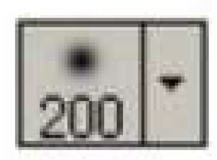
②サイズを「35」にしました


→


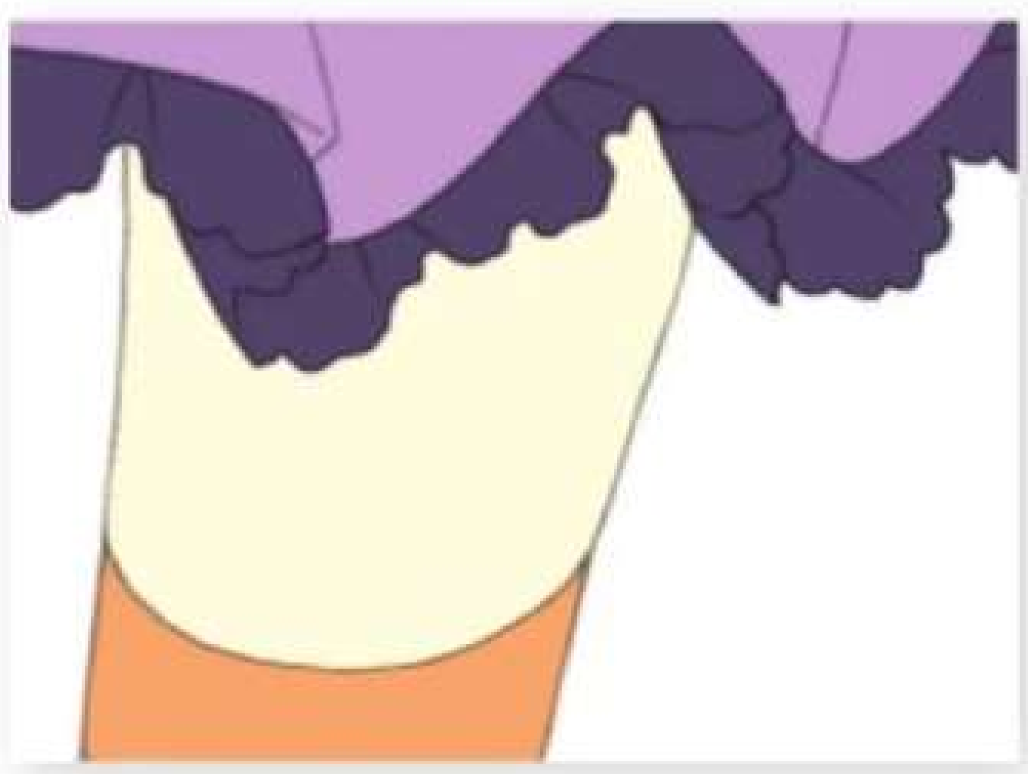
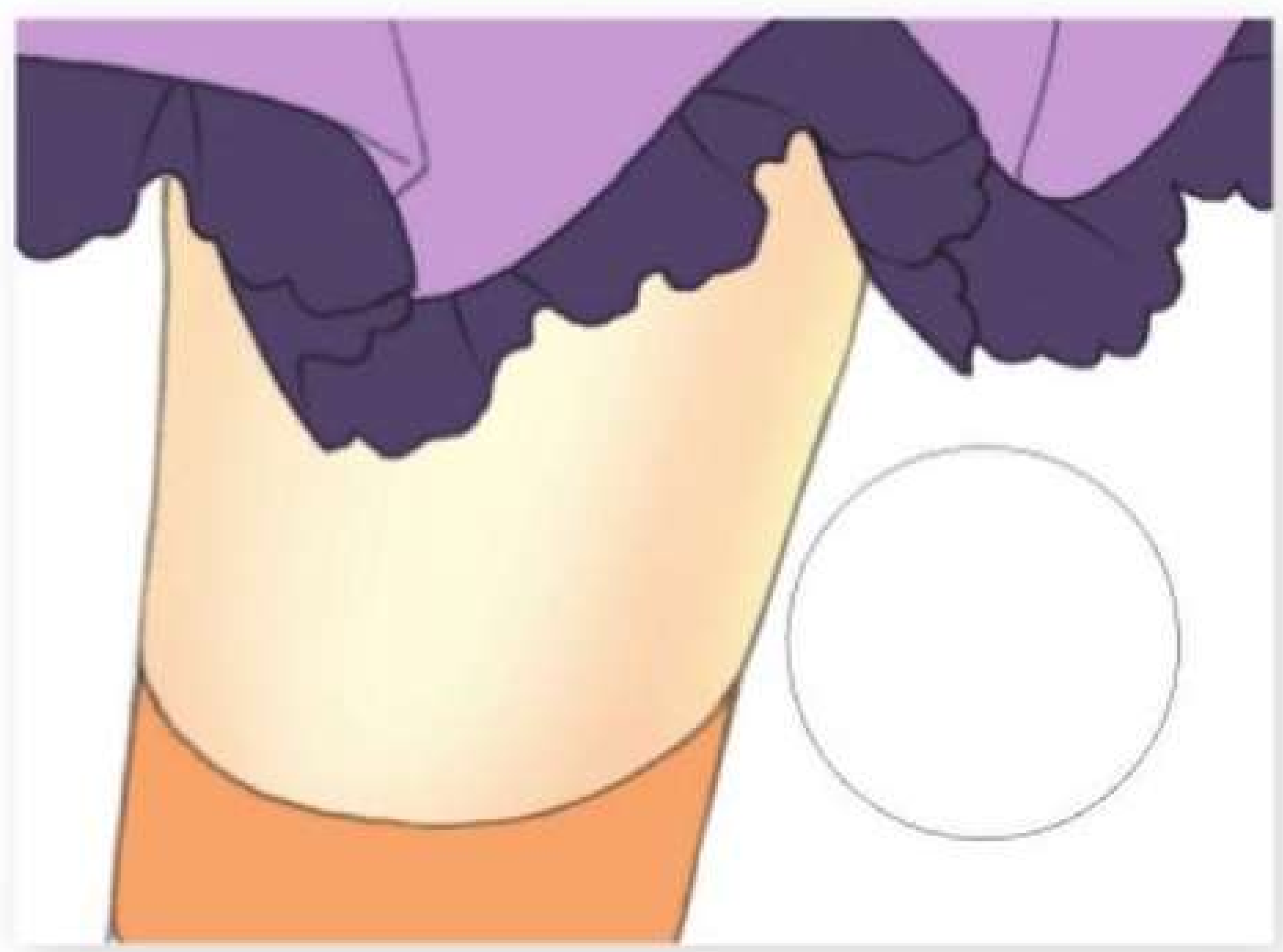
12

脚も同じ要領で塗っていきます。ここもボケ足を大きく、柔らかそうな質感をイメージしながら塗るといいと思います。


①「ブラシ」ツールを選択しました



②サイズを「200」にしました

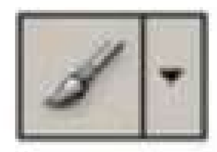

→


13 一通り肌の影が塗れたら、2段目の影を入れます。こうすることによって、より立体感が出ます。影のレイヤーの上に新規レイヤー「影2」を作成し、先ほどと同じように「グループ化」を設定します。

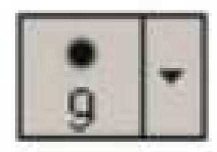



新規レイヤー「影2」を作成し、「グループ化」を設定しました

14 「影2」レイヤーを選択した状態で、髪の影を描きます。色味は少し赤よりの肌色を選択しました。



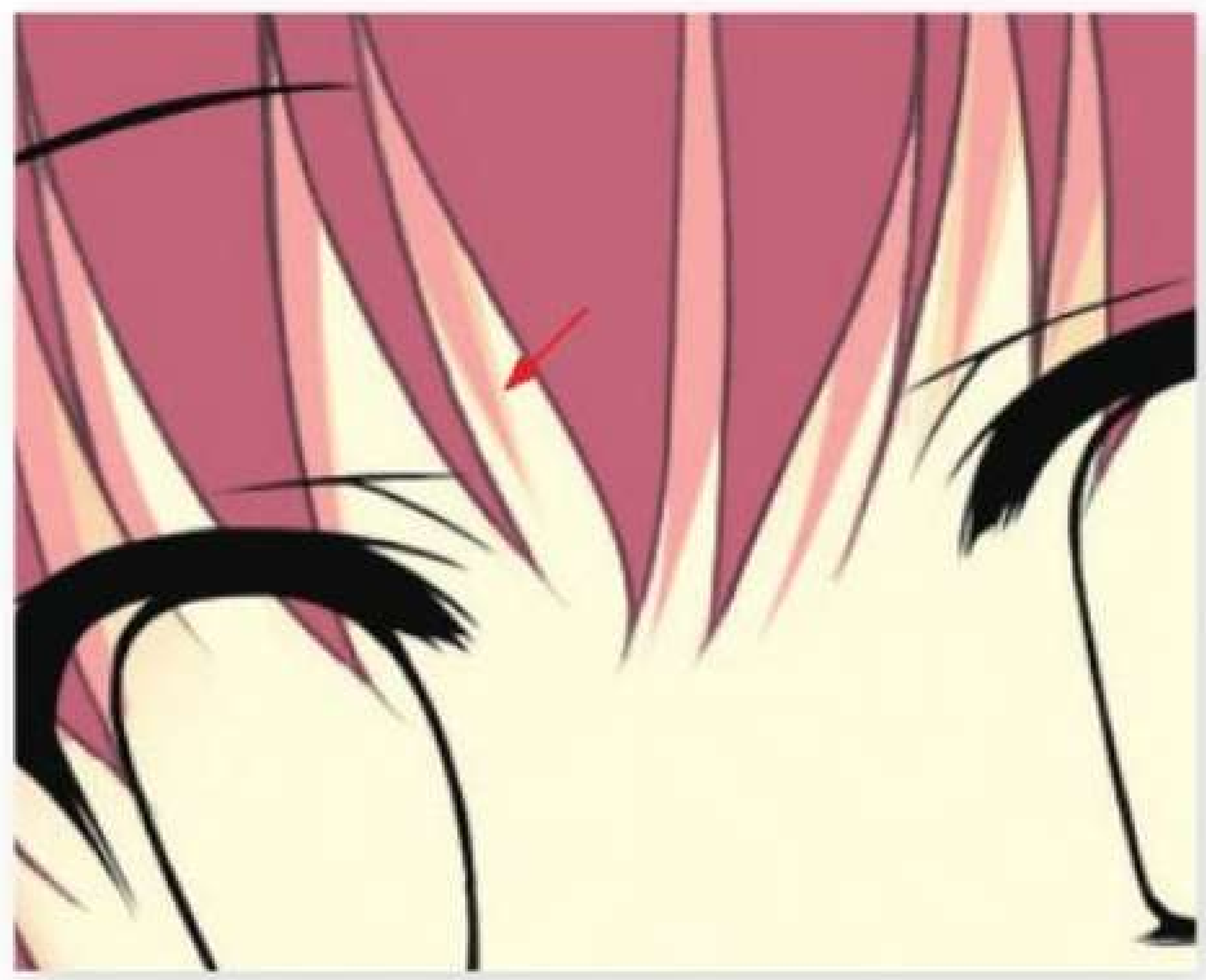
②「ブラシ」ツールを選択しました




③サイズを「9」にしました

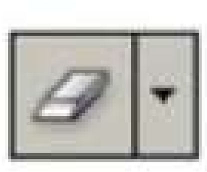


①影に色味を入れる前の状態です

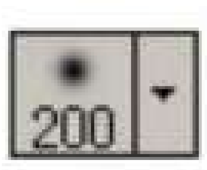


④赤みのある影をさらに追加しました

15 影の先端をボケ足の大きい「消しゴム」ツールで消します。すると微妙なグラデーションになります。



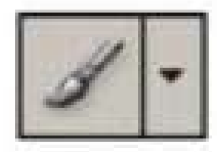
①「消しゴム」ツールを選択しました

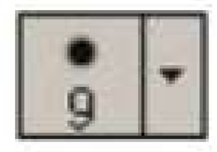



②サイズを「200」にしました

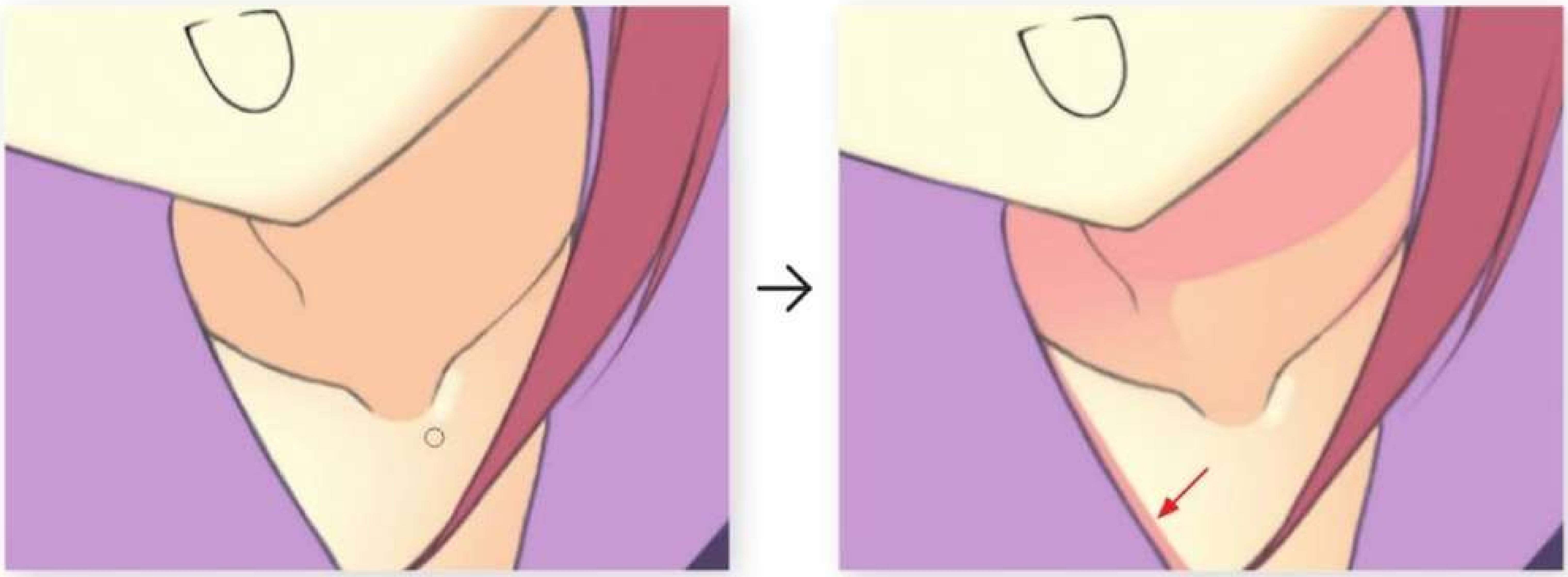


16 首と胸元にも影をつけます。服など肌に近いものから落ちた影はあまりぼかさず、はっきりした影にするとそれらしく見えます。

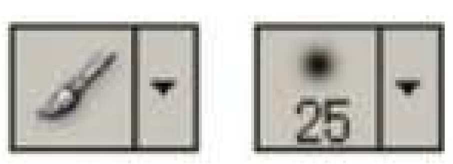

②「ブラシ」ツールを選択しました



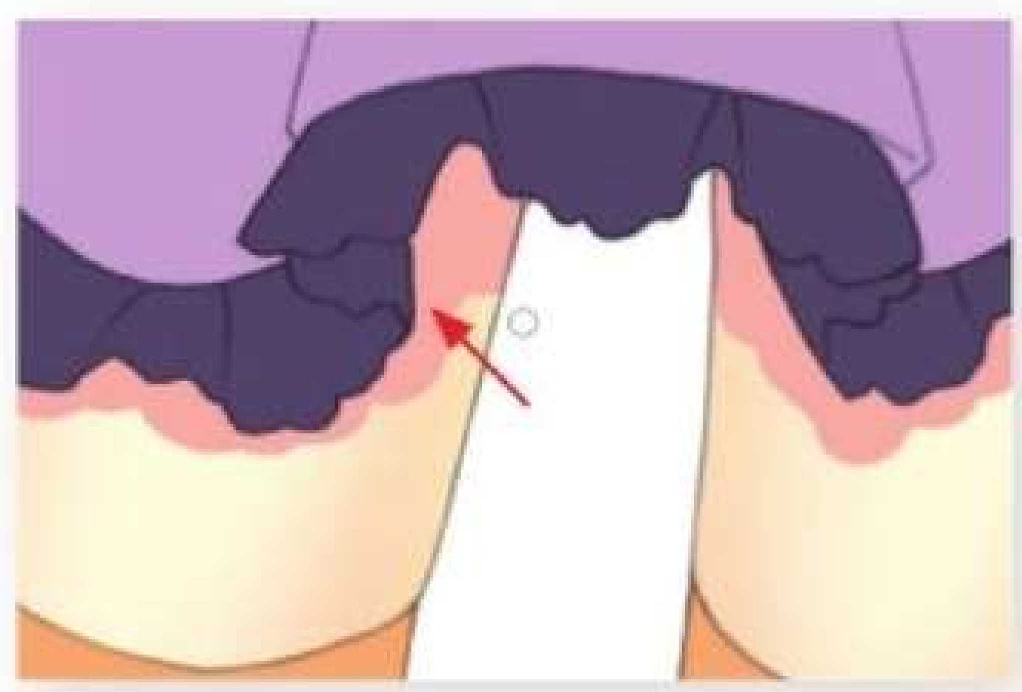
③サイズを「9」にしました


①影を入れる前の状態です

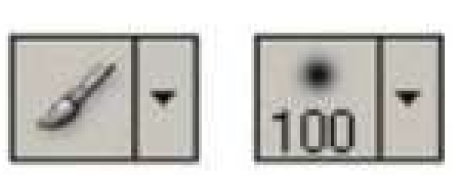
17 スカートから落ちる影を塗ります。はっきりとした影を乗せます。



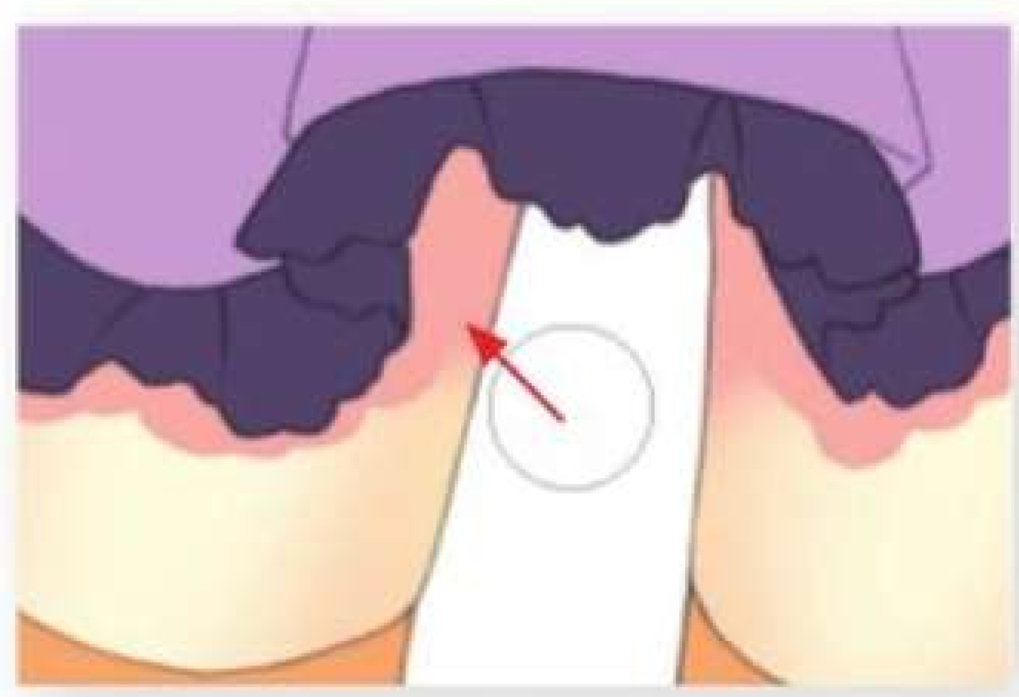
「ブラシ」ツールを選択し、サイズを「25」にしました



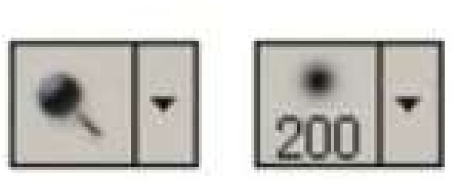
18 側面の部分にボケ足の大きな「ブラシ」ツールで影をつけると、馴染んだ感じになります。



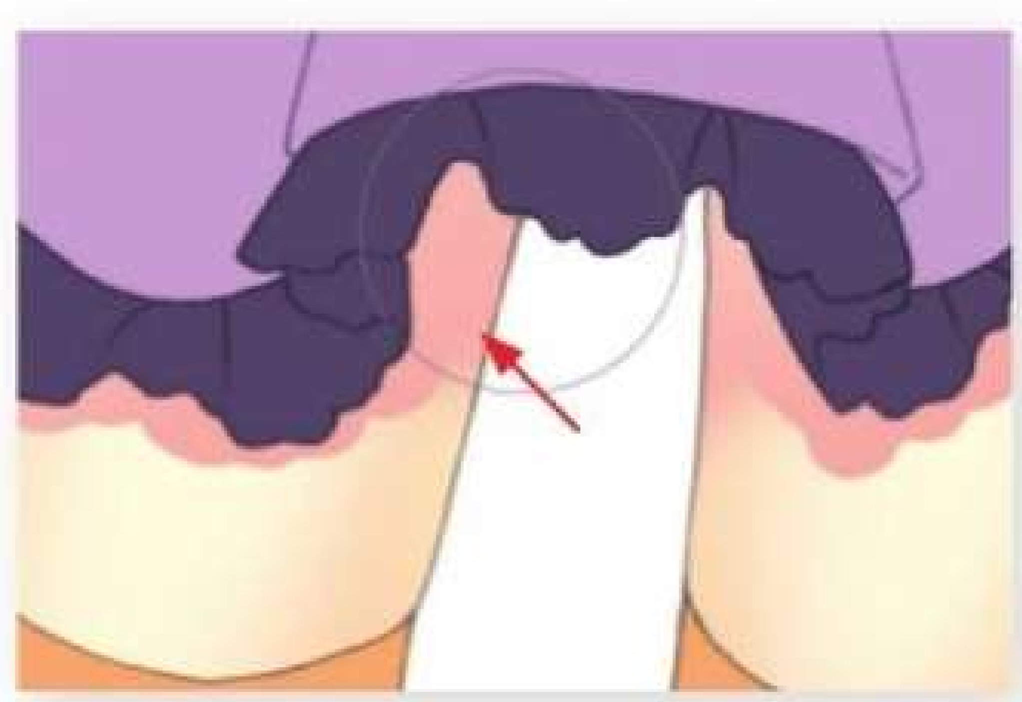
「ブラシ」ツールを選択し、サイズを「100」にしました



19 さらに「覆い焼き」ツールで調整します。



「覆い焼き」ツールを選択し、サイズを「200」にしました



20 同じように腕にも影を入れて完成です。2段目の影は、バランスを見て描き込んでください。



↓



## 髪の陰影の着色



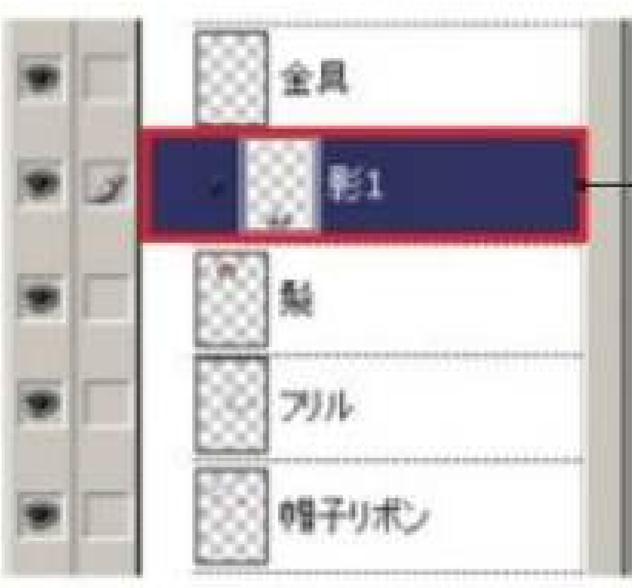
**01** 次は髪の毛を塗りましょう。肌の影塗りと同じように「髪」レイヤーの上に新規でレイヤーを作成し、グループ化させます。大まかに影をつけ、「消しゴム」ツールで形を作っていきます。




①影を入れる前のレイヤーの状態です



②影を整える前の状態です



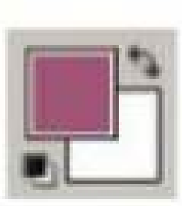

③新規レイヤー「影1」を作成し、「グループ化」を設定しました



④「ブラシ」ツールを選択しました




⑤サイズを「19」にしました



⑥描画色を選択しました

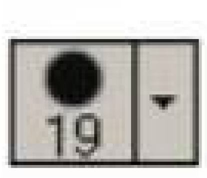


⑦ブラシで大まかに影を入れました

**02** 光源の方向や影の分量に気を配りながら、形を整えていきます。このままでもそれらしく見えますが、ちょっとアニメ調になり過ぎたので、ぼかしなどを入れて少し柔らかい雰囲気にしました。



①「消しゴム」ツールを選択しました



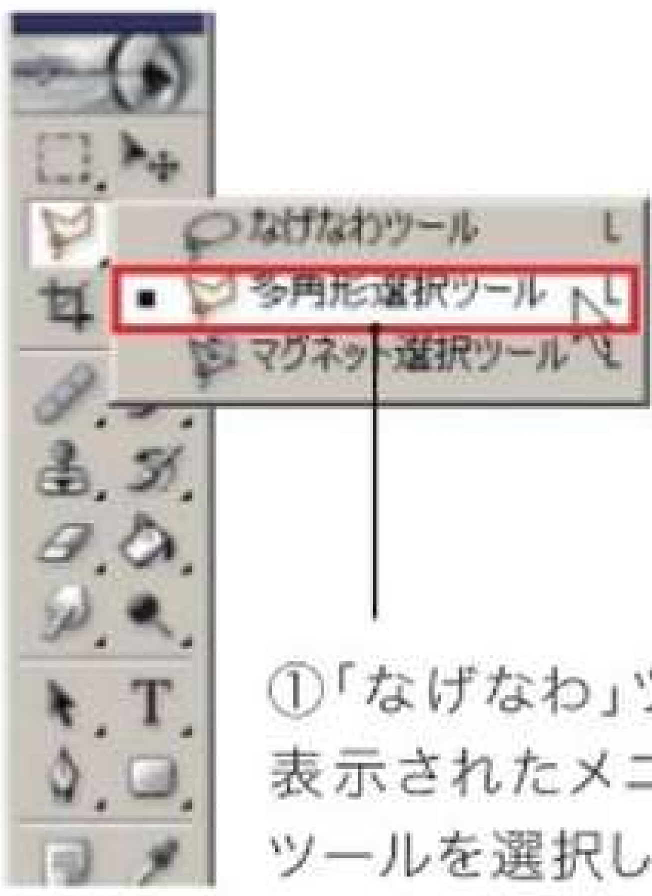

②サイズを「19」にしました



③影の形を「消しゴム」ツールで整えました

03

塗った影の部分を「多角形選択」ツールで大まかに囲います。




①「なげなわ」ツールのアイコンを押し続け、表示されたメニューの中から「多角形選択」ツールを選択しました



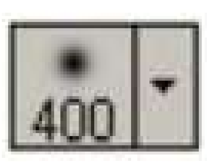
②ぼかしたい範囲を「多角形」ツールで選択しました

04

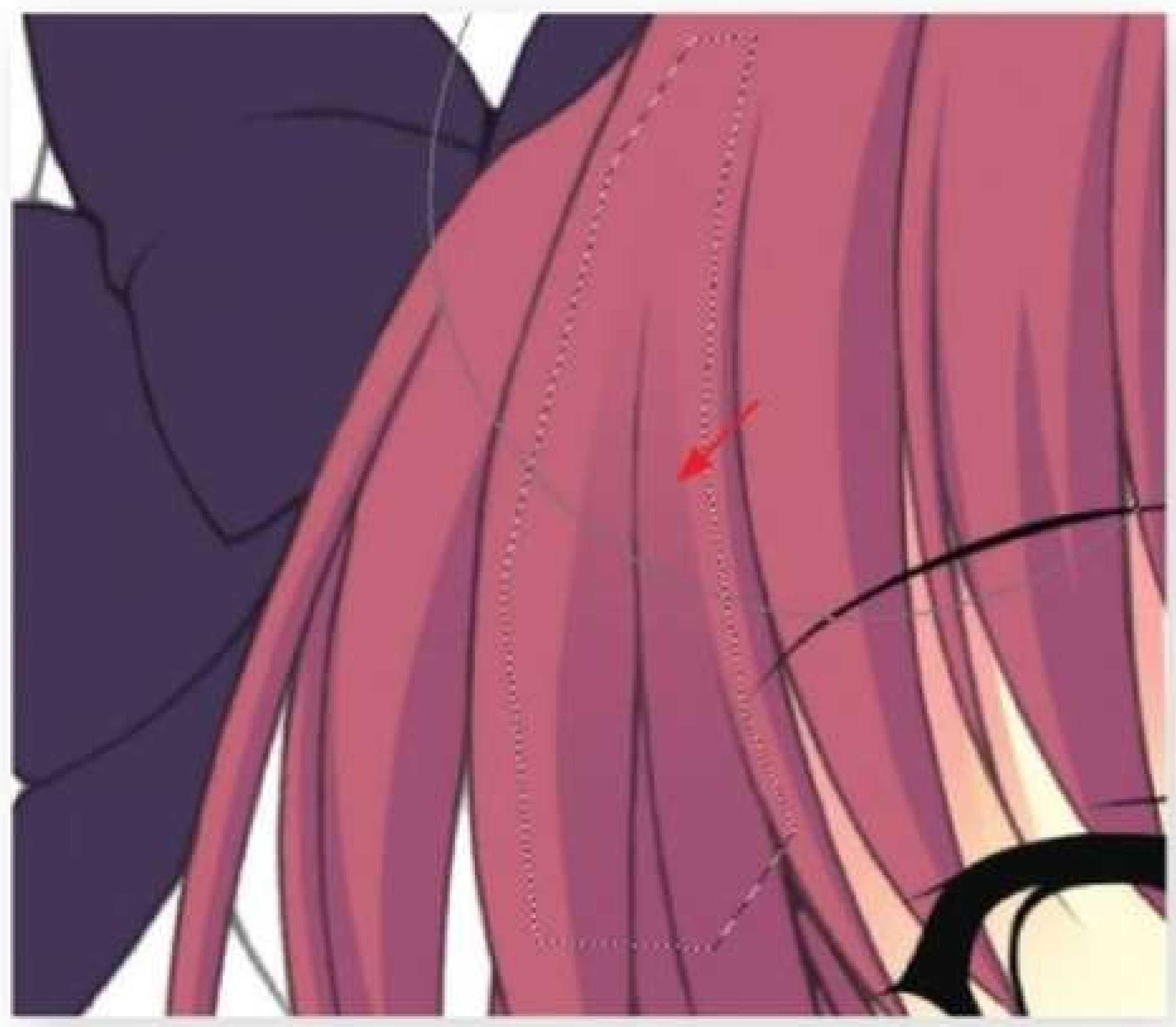
選択した影のとがった部分を、ボケ足の大きな「消しゴム」ツールで丁寧にグラデーションができるように消しましょう。



①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「400」にしました



③サイズの大きな「消しゴム」ツールで影をぼかしました

05

バランスを確認しながら消していくと、このような感じになりました。さらに少し足りない部分や細かいところをつけ足しましょう。このへんは感性に任せる感じでどんどん塗っていきます。



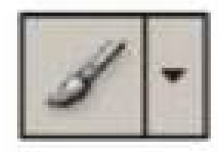
「影1」レイヤーのすべての先端をぼかしました

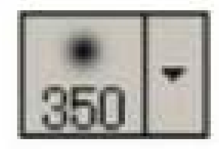
## 06

一通り塗れたところでぼかしを入れるための新規にレイヤー「ぼかし」を作成し、グループ化を設定します。毛先の部分にうっすらとブラシでぼかしを入れると、もっと柔らかい感じになります。ぼかし終わったら、このレイヤーは下のレイヤーと統合しておきます(普段私は面倒なので、この部分は影と同じレイヤーに描いてしまいます。



①新規レイヤーの「ぼかし」を作成し、「グループ化」を設定しました


②「ブラシ」ツールを選択しました



③サイズを「350」にしました

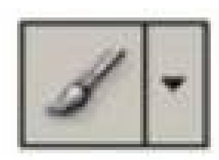

④「髪」レイヤーと「影1」レイヤーの境目をぼかしました

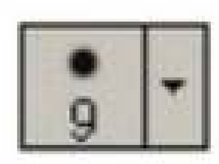
## 07

次に2段目の影を入れます。肌の時と同じように新規にレイヤー「影2」を作成します。色は1段目の影よりも濃く、さらに色相は若干紫よりにしてみました。髪の毛の奥まった部分を中心に、暗くなりそうなところに影を塗っていきます。

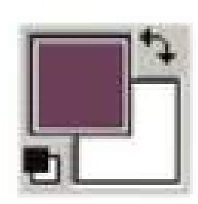


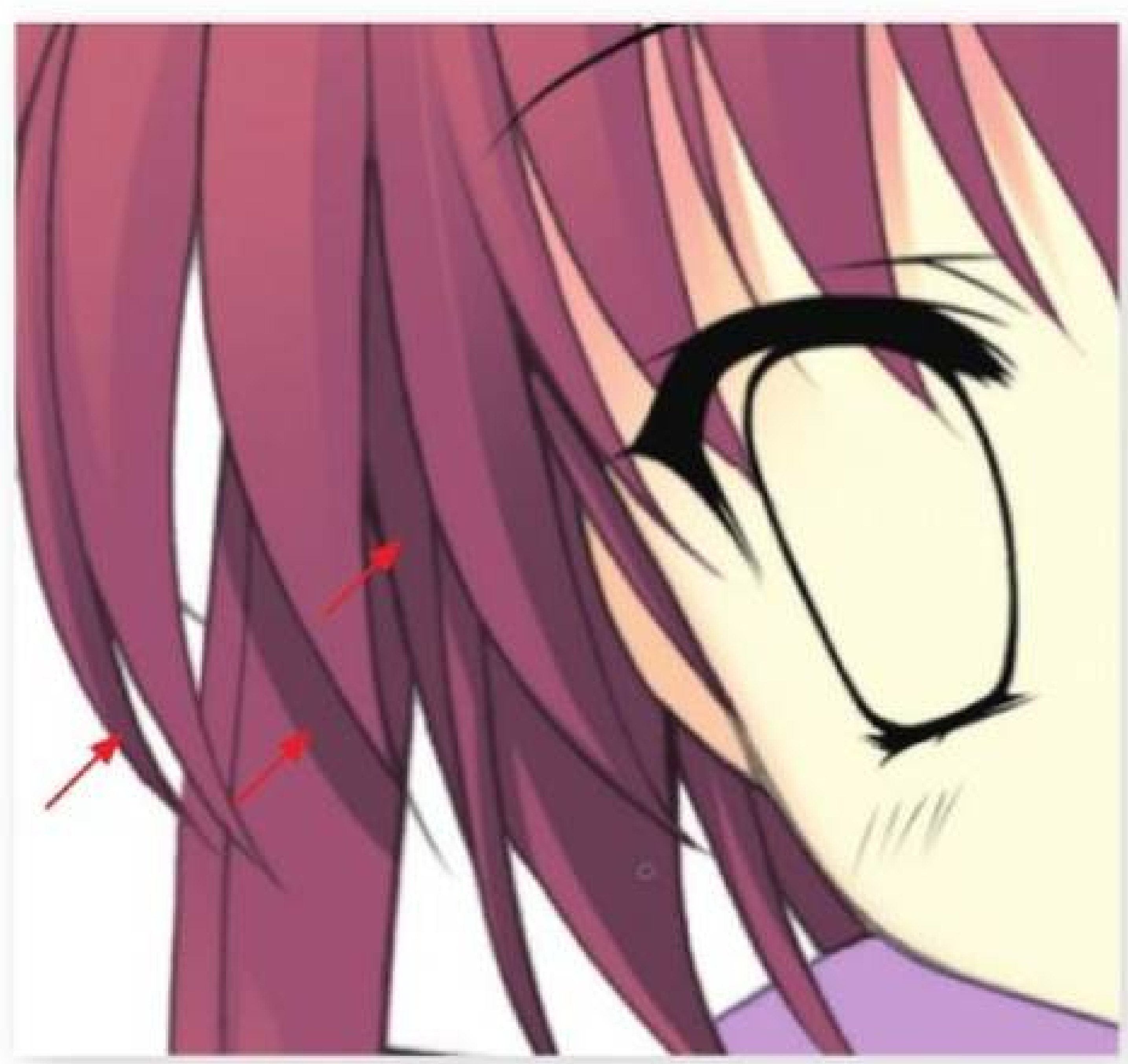
①新規レイヤーの「影2」を作成し、「グループ化」を設定しました


②「ブラシ」ツールを選択しました



③サイズを「9」にしました

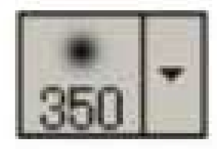

④描画色を選択しました


⑤「影2」レイヤーに濃い影を描き込みました

08 毛先にぼかしを入れて影の出来上がりです。



①「ブラシ」ツールを選択しました




②サイズを「350」にしました



③ぼかす前の状態です

↓

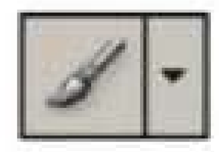


④「影2」レイヤーに描き込んだ2段目の影をぼかしました

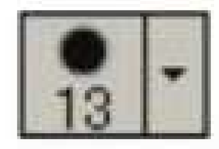
**09** 次にハイライトを入れましょう。新規レイヤー「髪ハイライト」を作成し、ベースの色よりも明るい色を選び「ブラシ」ツールで適当にすじを入れます。




①新規レイヤーを作成し、名称を「髪ハイライト」に変更しました



②「ブラシ」ツールを選択しました

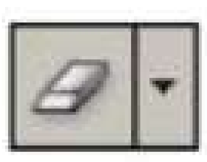



③サイズを「13」にしました

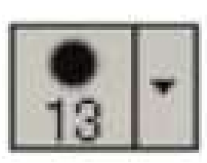




**10** 「消しゴム」ツールでハイライトの形を整えます。この時はぼかしの少ないものを使うと作業がしやすくなります。光の方向などを意識しながら、描いていきましょう。



①「消しゴム」ツールを選択しました




②サイズを「13」にしました

**11** 左右の髪にもハイライトを少し入れて完成です。ハイライトはあまり入れ過ぎても悪目立ちしてしまうので、加減して入れましょう。

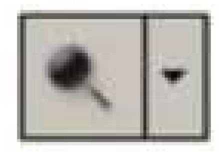


12

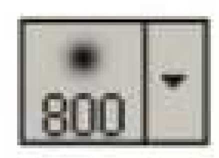
最後に一番下の「髪」レイヤーを選択して、「覆い焼き」ツールでさっと光を入れます。ボケ足の大きなブラシがいいでしょう。露光量は20%くらいです。色によっては飛び過ぎてしまうので、絵の種類によって調整してください。こうすることでベースののっぺりとした感じがなくなります。これで髪の毛は完成です。



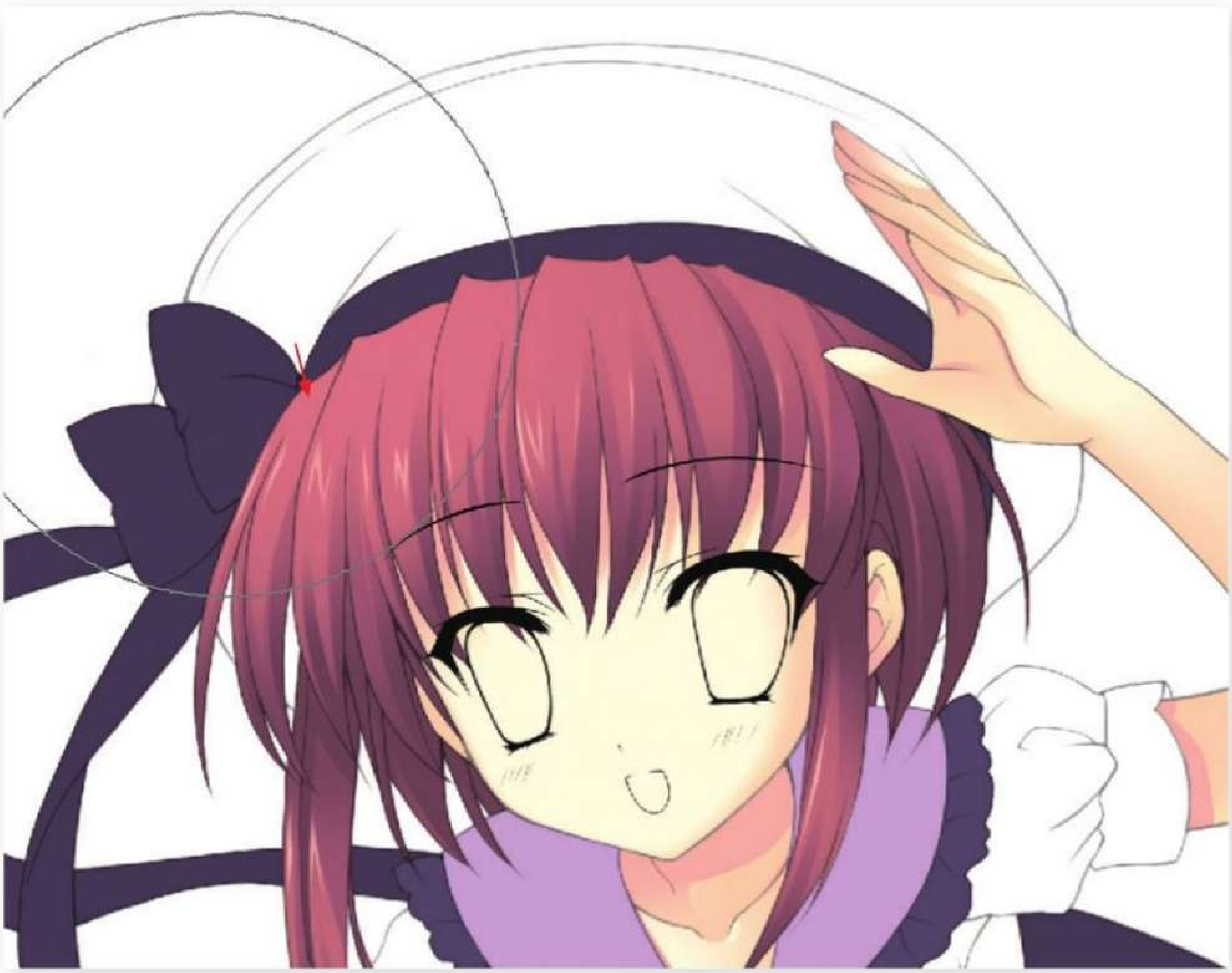

①「髪」レイヤーを選択しました



②「覆い焼き」ツールを選択しました




③サイズを「800」にしました



## 目の着色

**01** このあたりで目を塗りましょう。目が塗られていると、モチベーションも上がってきます。なので私は普段、一番最初に塗ってしまうことが多いです。現在のレイヤーは右のような感じです。「線画」レイヤーの上に顔パーツの線画レイヤー（「目_線画」レイヤー）があります。




**02** 「目_線画」レイヤーが選ばれていることを確認して、「自動選択」ツールで瞳の部分を選択します。



①「自動選択」ツールを選択しました



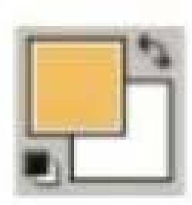
②瞳の中を選択しました

③「Shift」キーを押しながらもう片方も選択しました

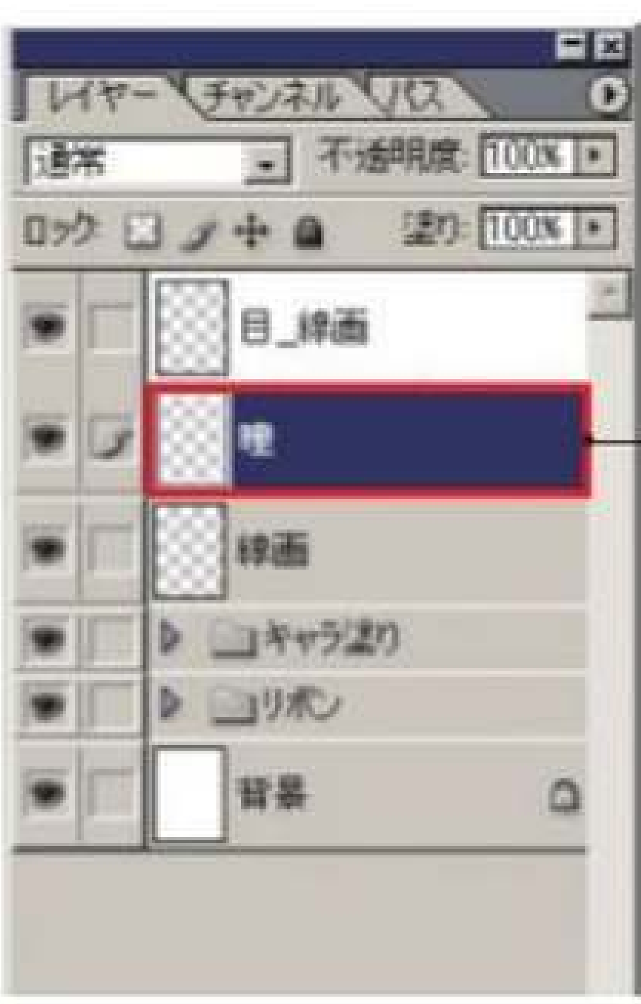
**03** 選択範囲を拡張したあと、線画の下に新規レイヤーの「瞳」を作成し、好きな色で塗りつぶします。今回は黄色にしました。



②「塗りつぶし」ツールを選択しました



③描画色を選択しました




①新規レイヤーを作成し、名称を「瞳」に変更しました



**04** 新規のレイヤーセットを作成し、名称を「目」に変更して目関連のレイヤーをまとめました。瞳孔の部分を塗るための新規レイヤー「瞳孔」を作成し、「Ctrl＋G」(Win)／「Command＋G」(Mac)キーでグループ化します。




①目の線画と瞳のベースを塗る2つのレイヤーがあります



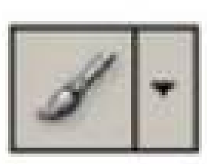

②「目」のレイヤーセットを作成し、2つのレイヤーを中に移動しました

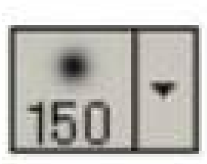
④「瞳孔」の透明ピクセルをロックしました



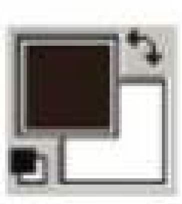

③「瞳」の上に瞳孔を塗るための新規レイヤー「瞳孔」を作成し、「グループ化」を設定しました

**05** まずは瞳孔部分を塗ります。ボケ足のあるブラシで瞳の上半分より少し下まで塗ります。


①「ブラシ」ツールを選択しました



②サイズを「150」にしました


③描画色を選択しました



TECHNIQUE

### 「グループ化」で下のレイヤー範囲のみ着色

133ページでも解説した通り、「グループ化」を設定すると、その下のレイヤーの描画エリアのみ描画されます。瞳のような最小の面積の範囲を意識して塗るのは大変な作業ですが、「グループ化」を設定すれば大雑把に塗っても瞳の面積しか表示されません。

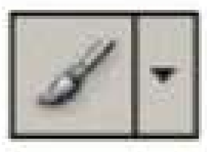

「グループ化」設定前の状態

↓

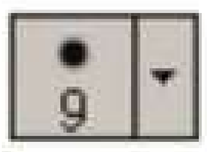

「グループ化」設定後の状態

06

次に小さめのブラシで瞳孔を描きます。この時描きにくければ、上に新しくレイヤーを作ってもいいでしょう。



①「ブラシ」ツールを選択しました

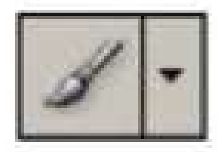


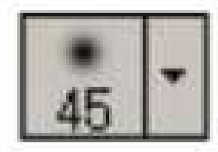

②サイズを「9」にしました



07

新規レイヤー「瞳孔2」を作成し、真中の部分に色を置きます。






②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「45」にしました

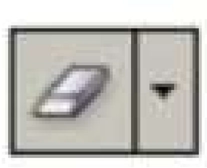



①新規レイヤー「瞳孔2」を作成し、「グループ化」を設定しました



08

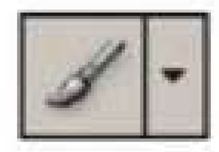
さらにボケ足の強い「消しゴム」ツールで大きさを整えます。

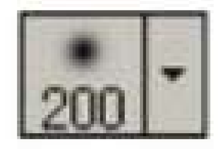


「消しゴム」ツールを選択しました

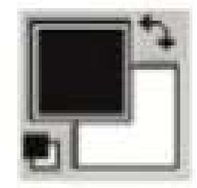


**09** 瞳の暗いところを着色するための新規レイヤー「暗」を作成します。瞳の上のほう3分の1くらいに暗めの色を塗ります。ボケ足の大き目の「ブラシ」ツールで、ふわっと乗せる感じです。


③「ブラシ」ツールを選択しました



④サイズを「200」にしました


⑤描画色を選択しました

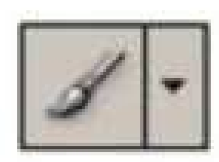



②「暗」の透明ピクセルをロックしました

①新規レイヤー「暗」を作成し、「グループ化」を設定しました

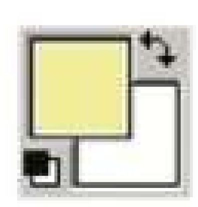


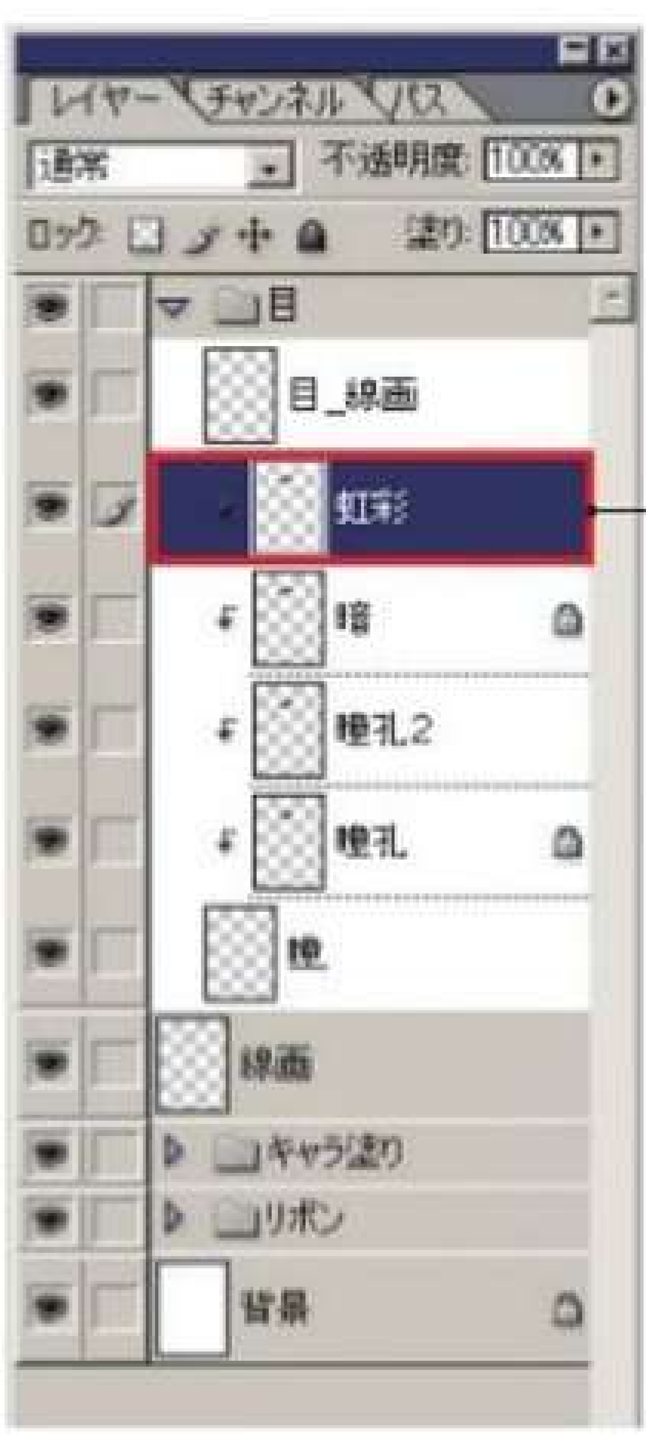
**10** 次に虹彩を描き入れるための新規レイヤー「虹彩」を作成します。ベースの色より薄い色で、ちょんちょんとブラシで色を置きます。


②「ブラシ」ツールを選択しました



③サイズを「4」にしました


④描画色を選択しました




①新規レイヤー「虹彩」を作成し、「グループ化」を設定しました



## 11

瞳孔を強調するために、新規レイヤー「瞳孔3」を作成します。濃い色を図のように描き入れます（ベースの色が少し寂しかったので、上のほうにオレンジ色でグラデーションを入れました）。




①新規レイヤー「瞳孔3」を作成し、「グループ化」を設定しました



②オレンジのグラデーションを追加しました

## 12

ハイライトを描くために、「目_線画」レイヤーの上に新規レイヤー「ハイライト」を作成します（「グループ化」は設定しません）。




①新規レイヤーを作成し、名称を「ハイライト」に変更しました



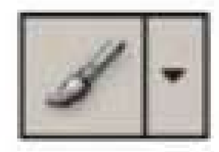
②ハイライトを追加しました

13

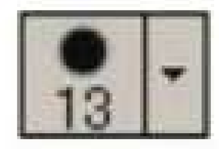
白目を描くために、「瞳」レイヤーの下に新規レイヤー「白目」を作成し、そこに彩色します。分かりやすいようにブルーグレーで塗っています。



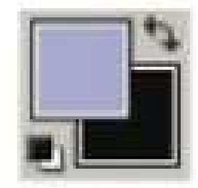

①新規レイヤーを作成し、名称を「白目」に変更しました



②「ブラシ」ツールを選択しました




③サイズを「13」にしました

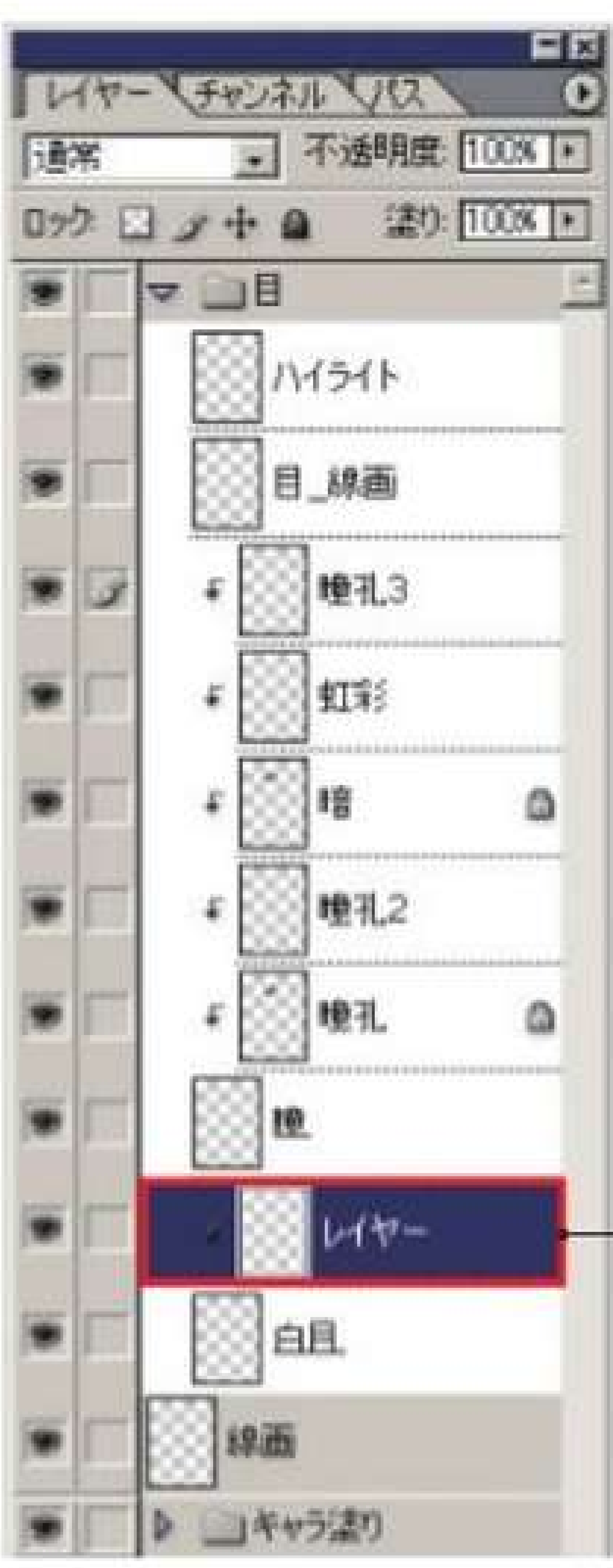


④描画色を選択しました



14

「白目」レイヤーの上に「グループ化」を設定した新規レイヤーを作成し、影を塗ります。




新規レイヤーの「レイヤー」を作成し、「グループ化」を設定しました

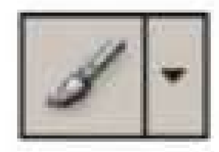


15

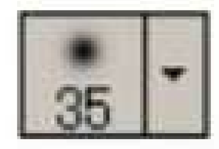
これで瞳が塗れました。このままでもいいですが、もうちょっと自然な感じにするために、まつげの部分にも色を塗りましょう。「目_線画」レイヤーに「グループ化」を設定した新規レイヤー「線画着色」を作成しました。まつげの境目の部分に茶色を塗っていきます。



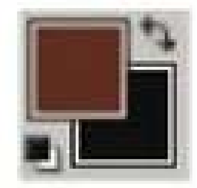

①新規レイヤー「線画着色」を作成し、「グループ化」を設定しました



②「ブラシ」ツールを選択しました




③サイズを「35」にしました



④描画色を選択しました

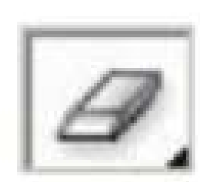


16

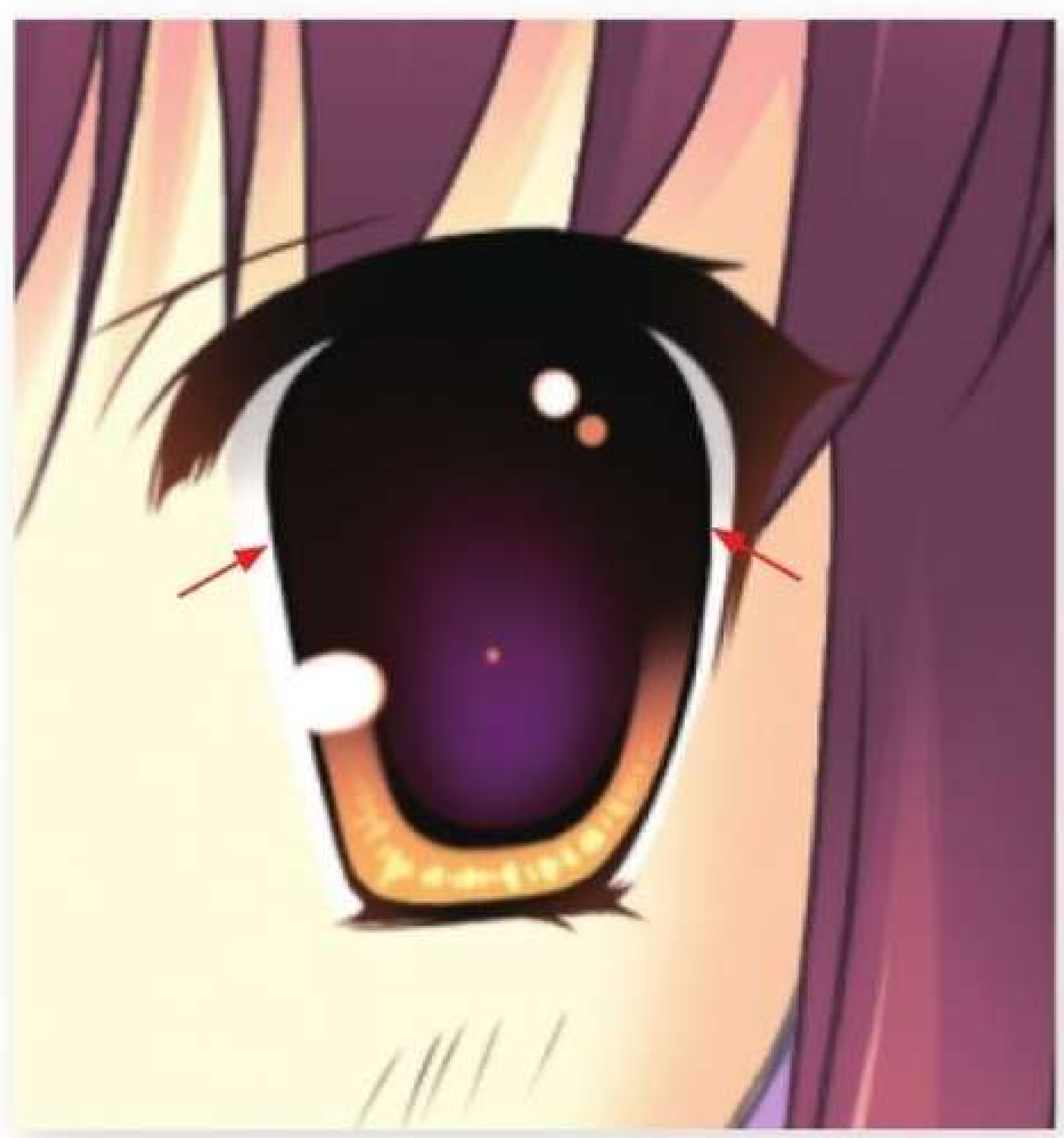
上手く馴染むよう、「消しゴム」ツールで消して調整します。




①「線画着色」を選択中です



②「消しゴム」ツールを選択しました



**17** ついでに眉毛や鼻などの色も、同じ「線画着色」レイヤーに色を塗って変更します。




「線画着色」を選択中です



**18** 次に口を塗ります。「白目」レイヤーの上に新規レイヤーの「口」レイヤーを作成し、ベースを塗ります。さらに新規レイヤーを作成し、「グループ化」を設定して影を入れます。




口を描くためのレイヤーを2つ作成し、「レイヤー3」には「グループ化」を設定しました

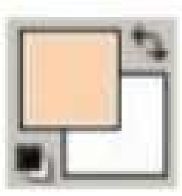


19 肌の「影」レイヤーに戻り、鼻と口の影を描きます。「消しゴム」ツールでぼかすと自然な感じに見えます。






①「キャラ塗り」グループの「影」レイヤーを選択しました



②描画色を選択しました

20 肌の「影2」レイヤーの上に新規レイヤー「頬紅」を作成し、薄いピンク色でほおを塗ります。最初はアバウトに色を置いて、「消しゴム」ツールで形や大きさを調整するとやりやすいと思います。最後に「覆い焼き」ツールでちょいっとハイライトを入れて完成です。






新規レイヤー「頬紅」を作成し、「グループ化」を設定しました

## 服の陰影の着色

**01** 服を塗りましょう。「帽子・服」レイヤーの上に「グループ化」を設定した「影1」レイヤーを作成します。ここでもバランスを確認しながら、大まかに影を置きます。今回は可愛らしくピンクで塗ってみました。



①着色前の状態です




②「帽子・服」レイヤーの上に新規レイヤー「影1」レイヤーを作成し、「グループ化」を設定しました



③服に影を着色しました

**02** ここからは「消しゴム」ツールで地道に消しながら形を取っていきます。その際、場所によっては「不透明度」を変えながら消すとよいでしょう。




②「不透明度」は28%に設定しました



①影を入れる前の状態です



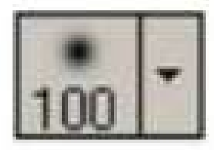
③「消しゴム」ツールで影を薄くしました

## 03

胸などは柔らかく、ボケ足の大きな「ブラシ」ツールで塗ります。



②「ブラシ」ツールを選択しました




③サイズを「100」にしました



①影を入れる前の状態です

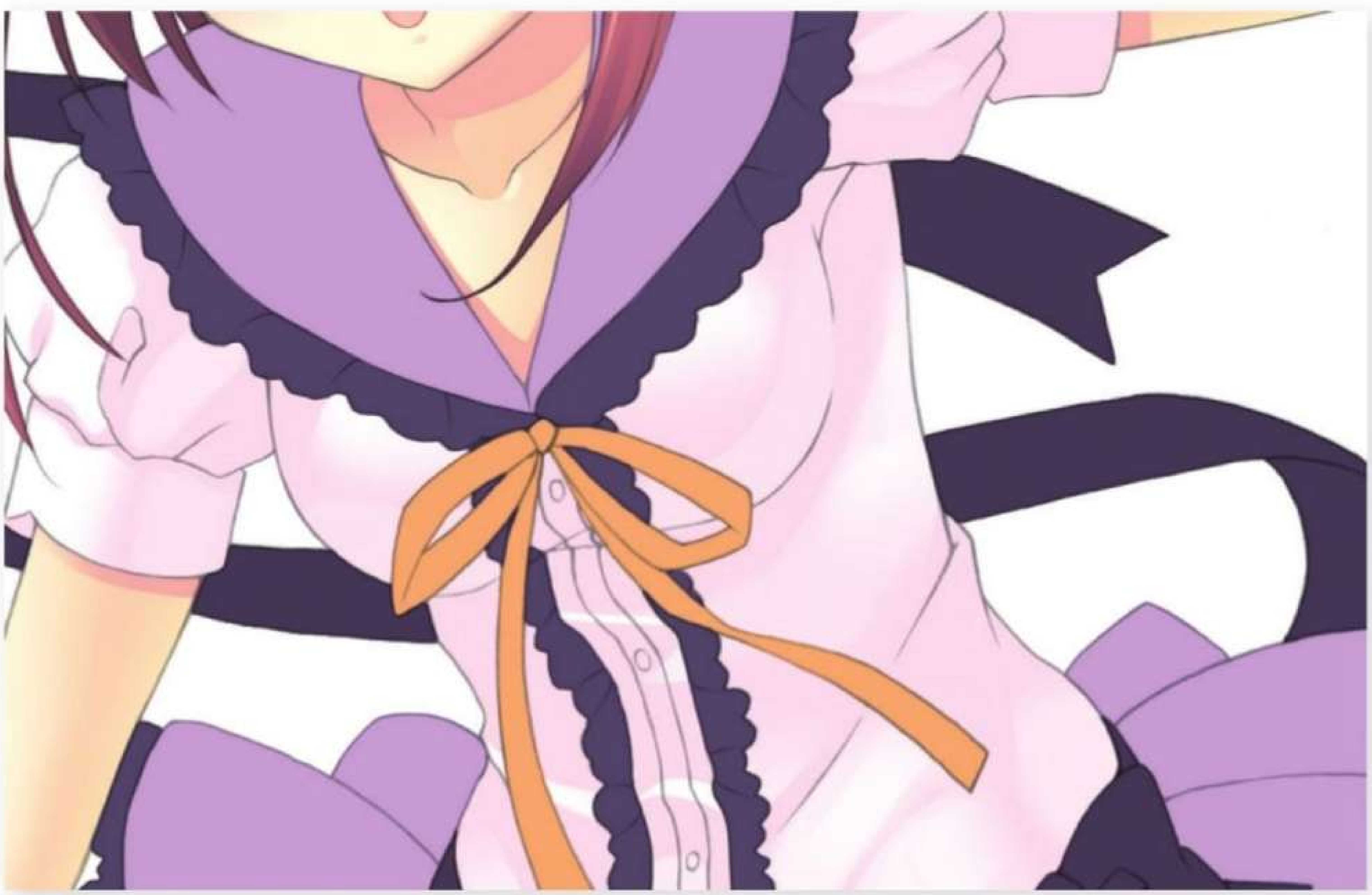
→



④影の境目をぼかしました

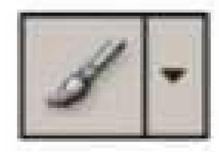
## 04

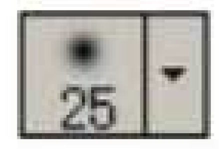
1段目の影が塗れました。影は一枚のレイヤーで塗りづらければ、何枚かのレイヤーを使って塗ってもいいと思います。



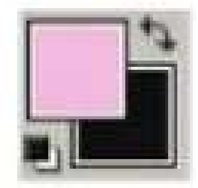
## 05

2段目の影を塗るために、新規レイヤー「影2」を作成します。布などが重なって暗くなりそうなところに色を置いていきます。


②「ブラシ」ツールを選択しました



③サイズを「25」にしました


④描画色を選択しました



①新規レイヤー「影2」を作成し、「グループ化」を設定しました


⑤2段目の影を塗る前の状態です


⑥太めの「ブラシ」ツールで影を塗ります

## 06

そしてまた「消しゴム」ツールで整えます。


①「消しゴム」ツールを選択しました


②影の形を「消しゴム」ツールで整えます

## 07

先端をボケ足の大きい「消しゴム」ツールで消して、自然な雰囲気にします。


①「消しゴム」ツールを選択しました



②サイズを「230」にしました


③影の形を「消しゴム」ツールでぼかします

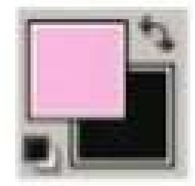
08 フリルの下などにも影を入れます。体からあまり離れていないパーツの影は、あまりぼかさずくっきりと入れるとそれらしく見えます。



②「ブラシ」ツールを選択しました




③サイズを「13」にしました



④描画色を選択しました

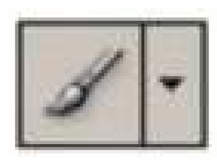



①「影2」レイヤーを選択中です

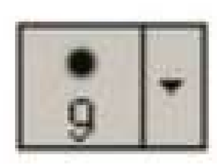


⑤襟の下に影を入れました

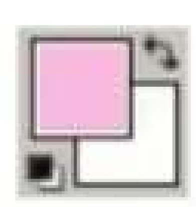
09 同様に「影2」レイヤーに腰のリボンの影を塗ります。



②「ブラシ」ツールを選択しました



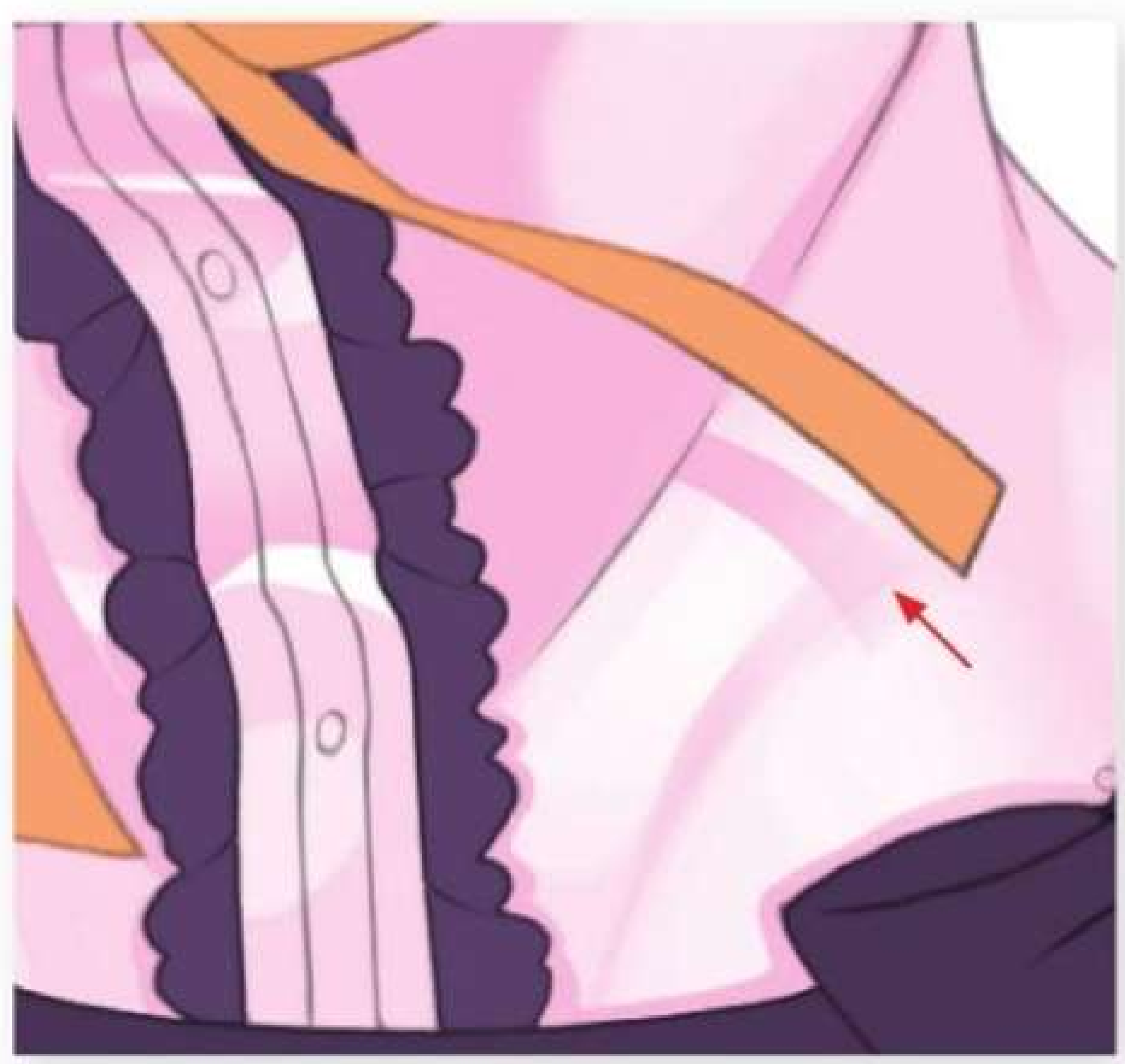

③サイズを「9」にしました



④描画色を選択しました




①「影2」レイヤーを選択中です



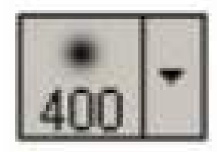
⑤リボンの影を入れました

## スカートと襟の陰影の着色

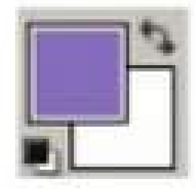
**01** 次はスカートと襟の部分を着色します。新規レイヤー「影1」を作成し、「グループ化」を設定します。まずは大き目の「ブラシ」ツールでアバウトに塗って、影の分量を決めます。



②「ブラシ」ツールを選択しました




③サイズを「400」にしました



④描画色を選択しました

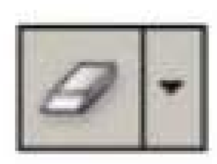



①新規レイヤー「影1」を作成し、「グループ化」を設定しました

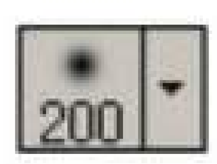


⑤スカートの襟に影を入れました

**02** それから「消しゴム」ツールで細かく形を整えます。「多角形選択」ツールを使って範囲指定をすると、ぼかしたい範囲だけを綺麗にぼかすことができますので活用しましょう。



②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズは「200」にしました



①影を入れる前の状態です

→



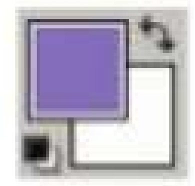
④ぼかしたい範囲を「多角形選択」ツールで指定して、大きめの「ブラシ」ツールでぼかしました

03 スカートのひだを塗っていきます。スカートの布が折り重なった部分にまず影をくっきり目に入れましょう。


②「ブラシ」ツールを選択しました

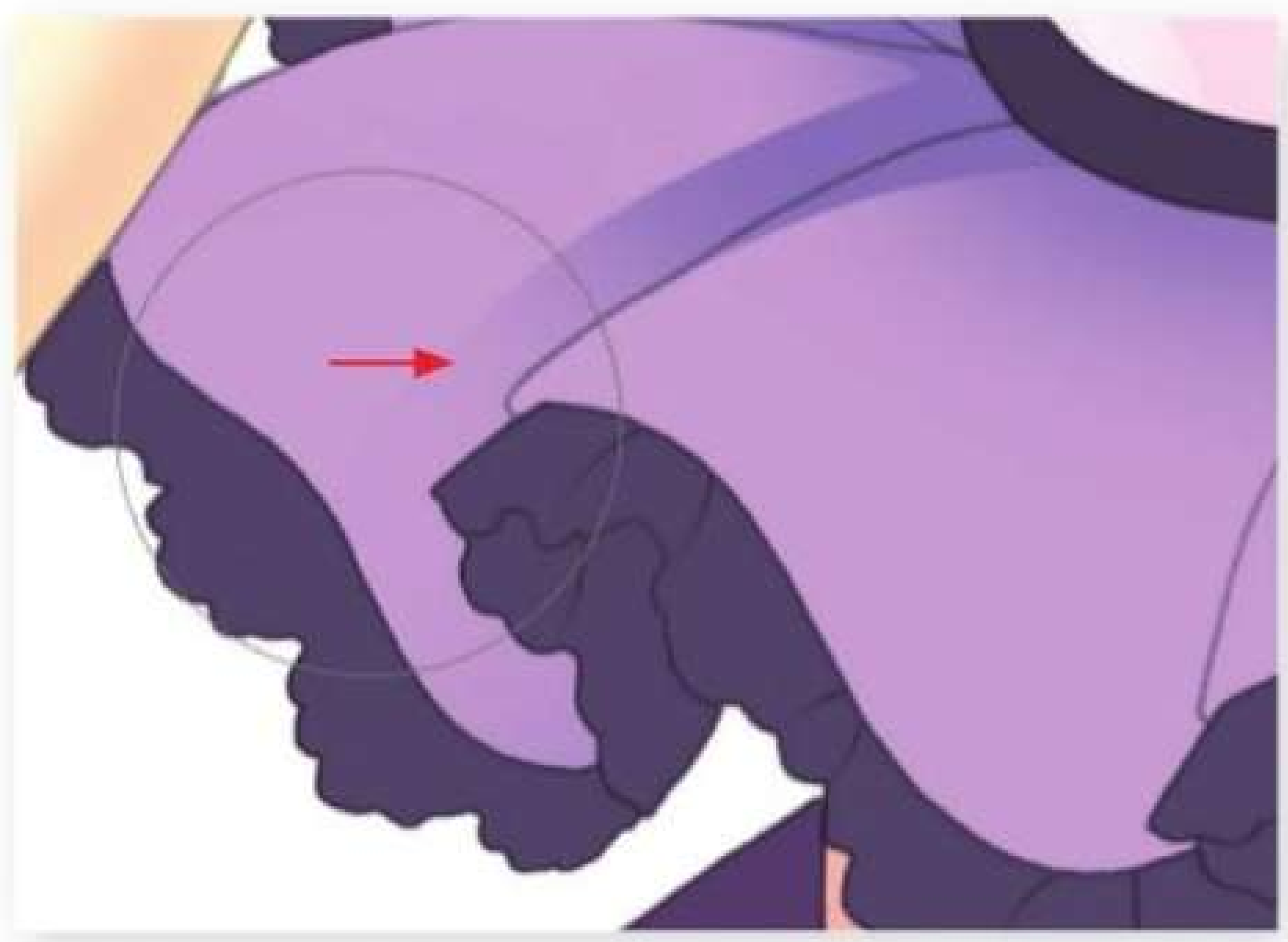


③サイズを「19」にしました


④描画色を選択しました

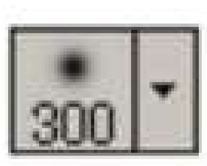

①影を入れる前の状態です


⑤くっきり目の影を入れます


③太めの「消しゴム」ツールでぼかします

04 そのあとボケ足の大きい「消しゴム」ツールで、途中までうっすらと消します。その時「消しゴム」ツールの不透明度を低くし、何度もなでるように消すと綺麗にできるようになります。


①「消しゴム」ツールを選択しました



②サイズを「300」にしました

05 少し面積の広い部分はボケ足の大き目の「ブラシ」ツールで塗ります。

①「ブラシ」ツールを選択しました

②サイズは「65」にしました

③描画色を選択しました



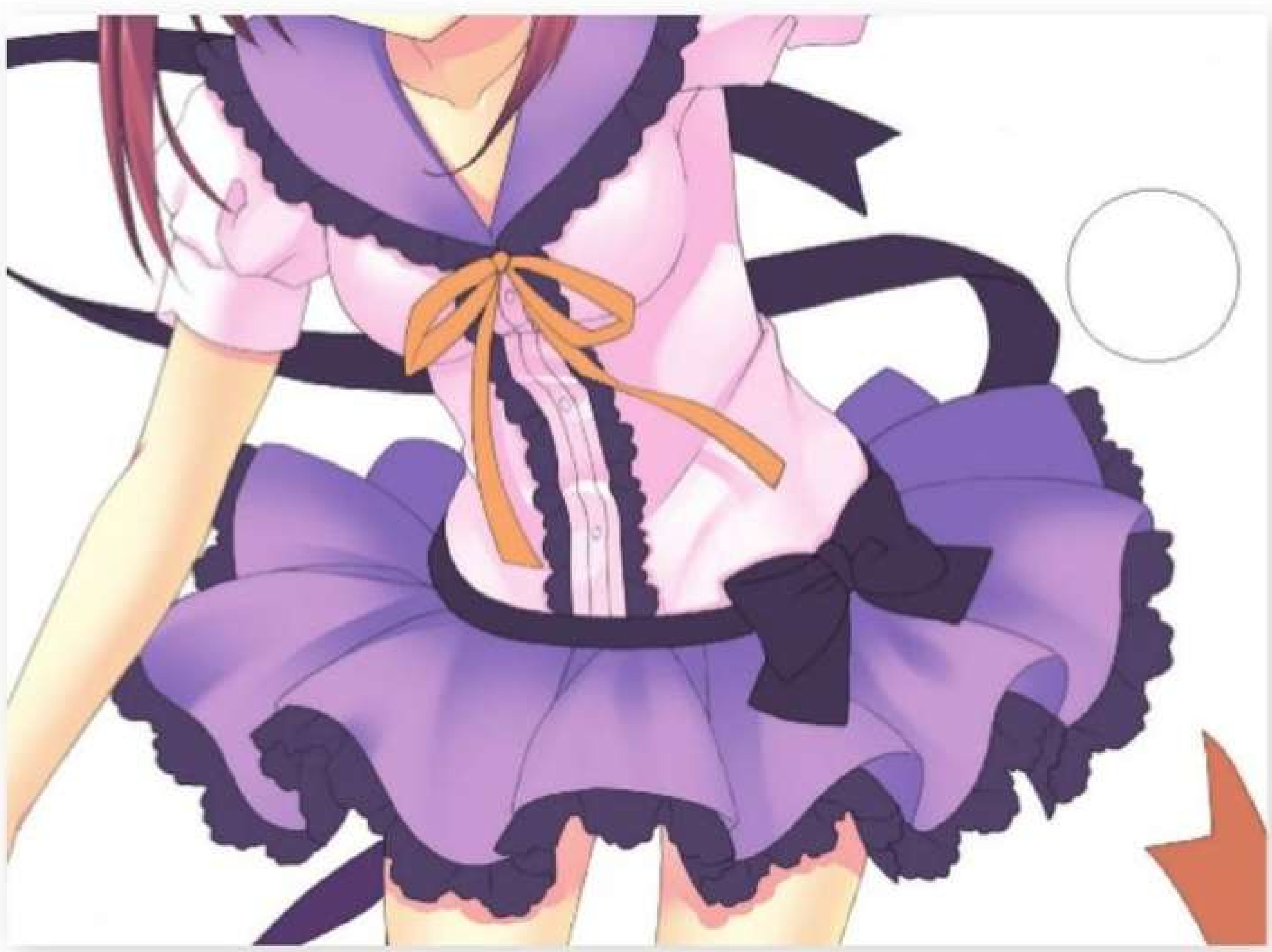
06 あとは「消しゴム」ツールで消して、綺麗にグラデーションを作りましょう。

①「消しゴム」ツールを選択しました

②サイズは「300」にしました



07 このような感じに塗れました。



## 08

立体感が足りないので、ここでもさらにもう1段影を入れるために新規レイヤー「影2」を作成します。2段目の影は、少し青みのある紫色にしてみました。1段目よりさらに暗くなりそうな部分に影を入れます。




①新規レイヤー「影2」を作成し、「グループ化」を設定しました




②「ブラシ」ツールを選択しました

③サイズを「13」にしました

④描画色を選択しました



## 09

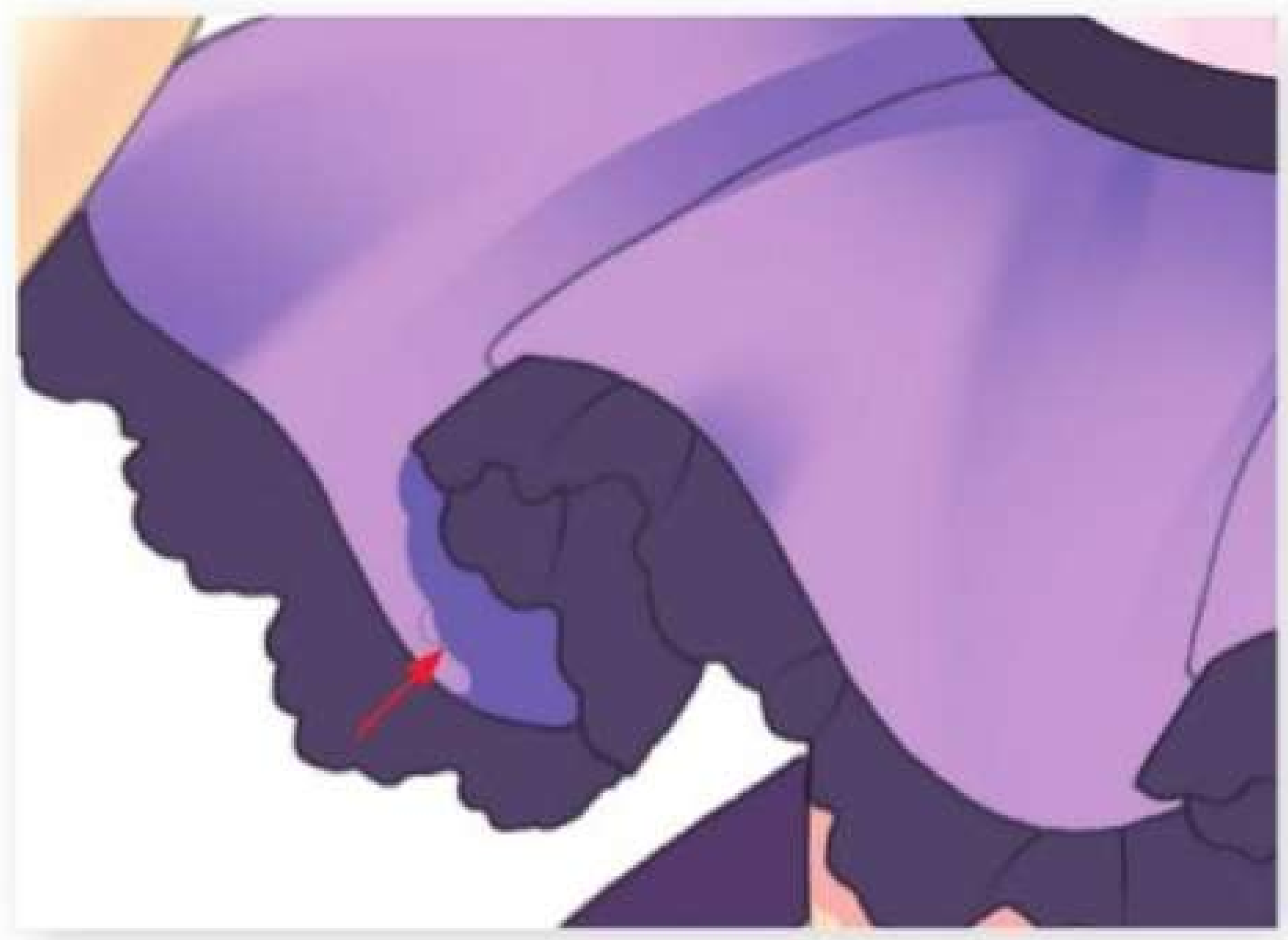
フリルの影も描き入れます。




①「ブラシ」ツールを選択しました

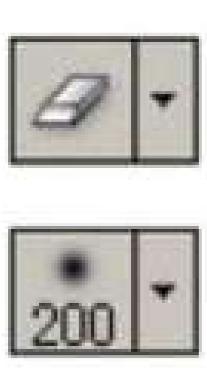
②サイズを「19」にしました

③描画色を選択しました



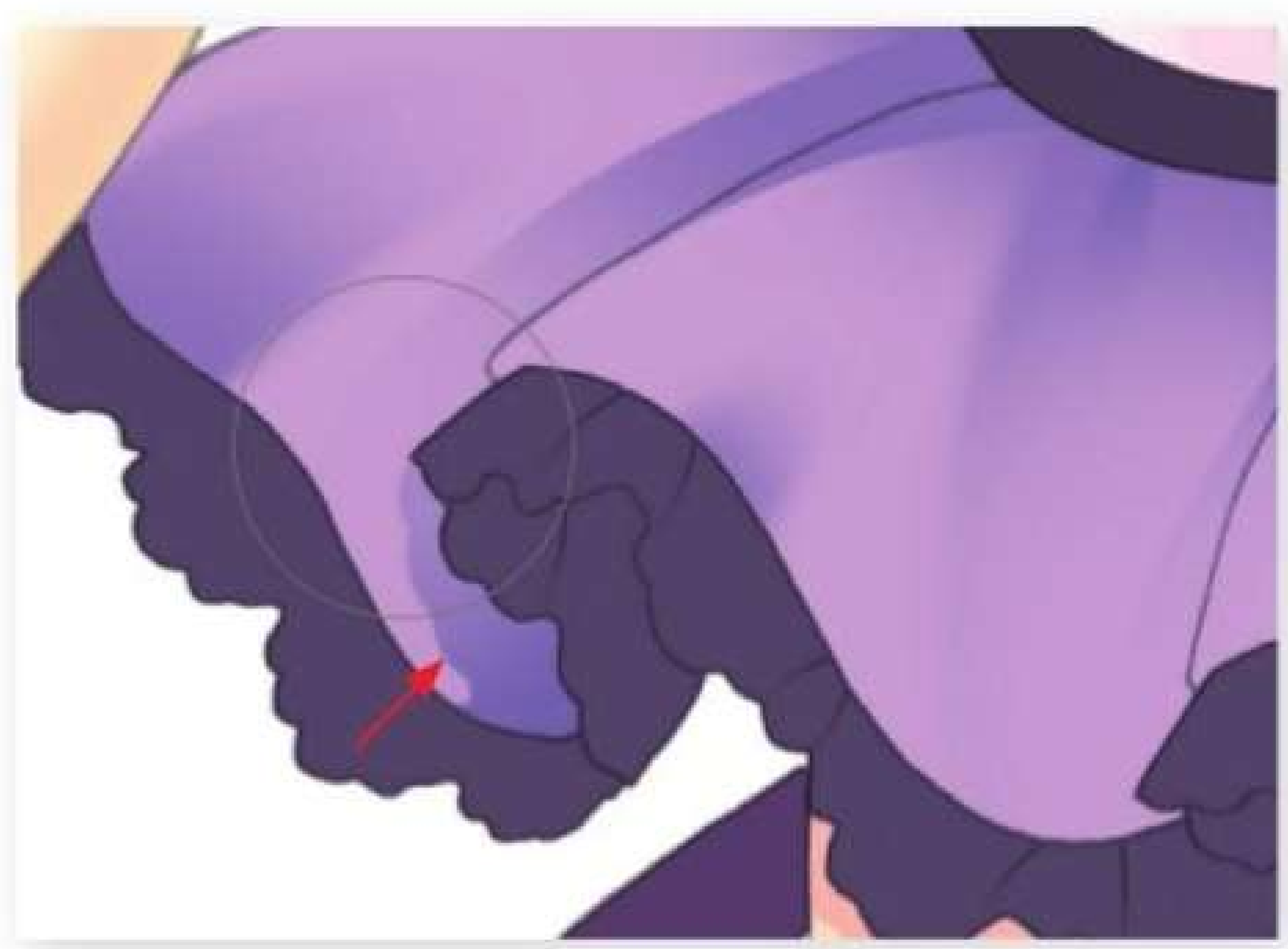
## 10

ここでも「消しゴム」ツールでグラデーションのように描画させると自然です。



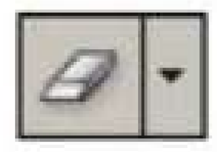

①「消しゴム」ツールを選択しました

②サイズは「200」にしました

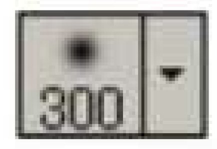


11

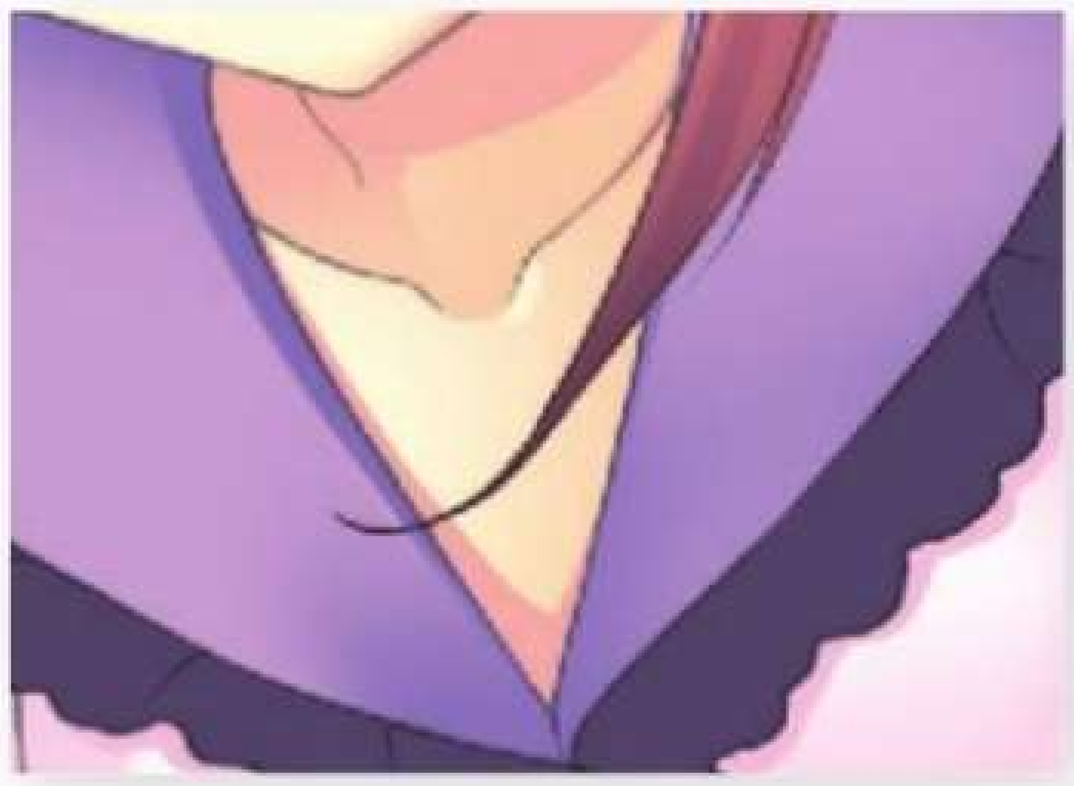
襟の部分にも髪の毛の影を入れましょう。影を塗り、大きなサイズに設定した「消しゴム」ツールでうっすらと消します。



②「消しゴム」ツールを選択しました




③サイズは「300」にしました



①影を入れる前の状態



④グラデーションになるように影を薄くしました

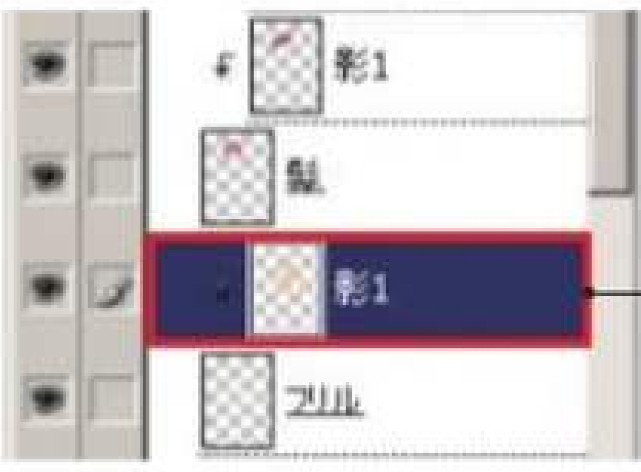
12

これでスカートと襟はひとまず完成です。フリルの色が少し色が暗い気がするので、黄色っぽい色に変更しました（私の場合色は、塗っている最中でもころころ変えてしまいます…）。



## フリルの陰影の着色

01 ここでも相変わらず、影の分量を決めるために大まかに色を置きます。




新規レイヤー「影1」を作成し、「グループ化」を設定しました



02 あとはひたすら「ブラシ」ツールと「消しゴム」ツールを使い、影の形を整えていきます。フリルの立体感と光の方向を頭でよく考えながら描き込みましょう。このあたりは少し根気のいる作業になると思います。これで1段目の影を塗り終わりました。



03 次は他と同じように、2段目の影を入れます。1段目の色よりも、若干ピンクよりにしました。立体感を意識しながらどんどん塗っていきましょう。影の端は「消しゴム」ツールで消してぼかしを入れます。



04 ペチコートも同じように塗ります。スカートから落ちる影を描き入れると立体感が増します。私は面倒なので普段同じレイヤーに描いてしまいますが、描き難いようならもう一枚新規レイヤーを追加するとあとで調整もしやすくなります。



## ニーソックスの陰影の着色

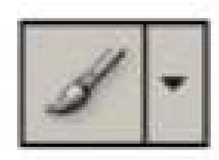
01 次はニーソックスを塗ります。縞の部分に影をつけましょう。ここでも色はピンクに近いオレンジに設定しました。縞の色に応じてレイヤーを分けます。



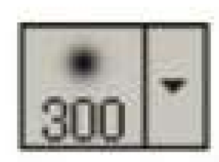
カラーピッカーで描画色を設定しました



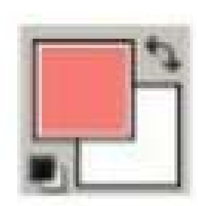
02 ニーソックスに陰影を塗るための新規レイヤー「影」を作成し、グループ化を設定します。肌の時のように、ボケ足の大きめの「ブラシ」ツールで塗ります。光の方向を意識しながら色を置いていきます。



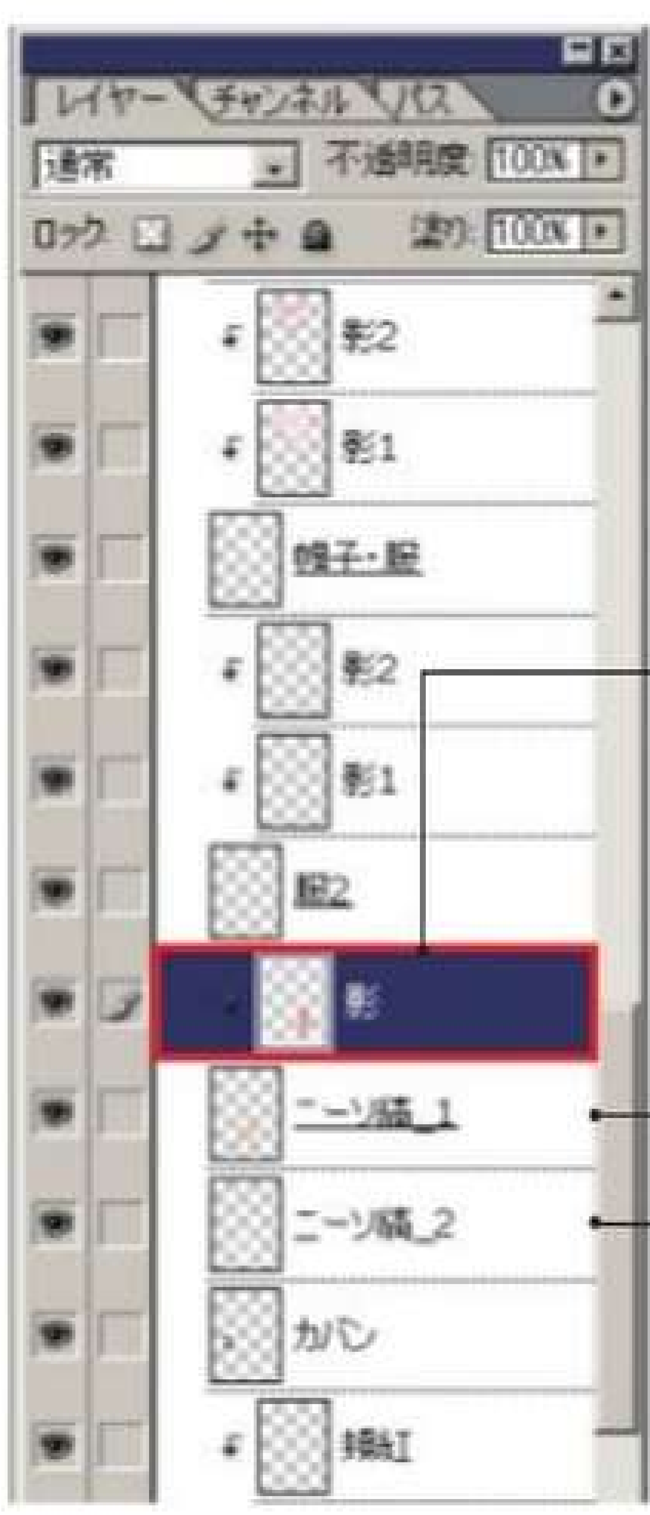
②「ブラシ」ツールを選択しました




③サイズは「300」にしました



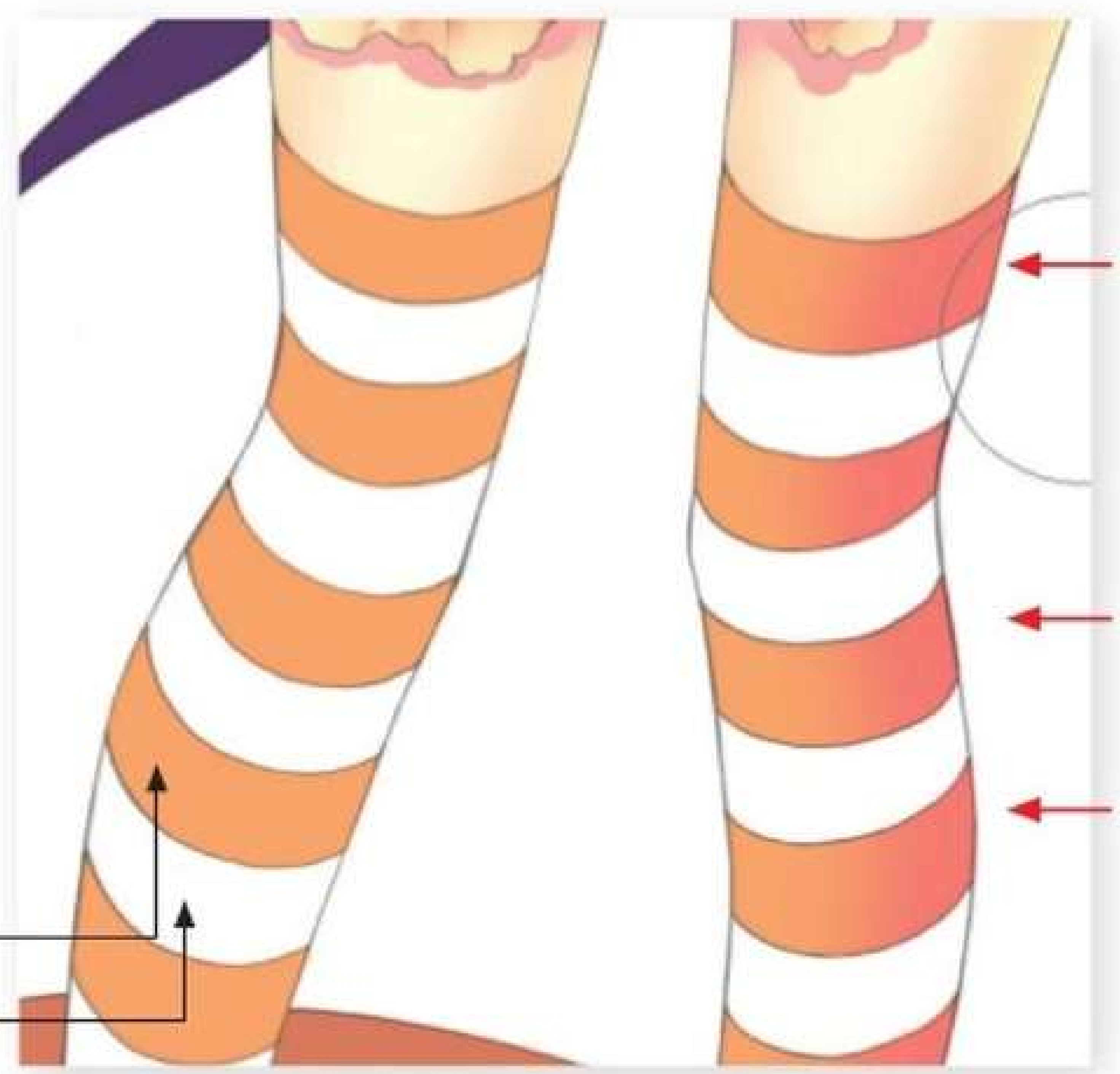
④描画色を選択しました




①新規レイヤー「影」を作成し、「グループ化」を設定しました

ニーソックスのオレンジを塗ったレイヤーです

ニーソックスの白を塗ったレイヤーです

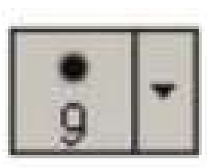


**03** 右足はこのような感じに仕上げます。ある程度、骨格を考えながら塗りましょう。

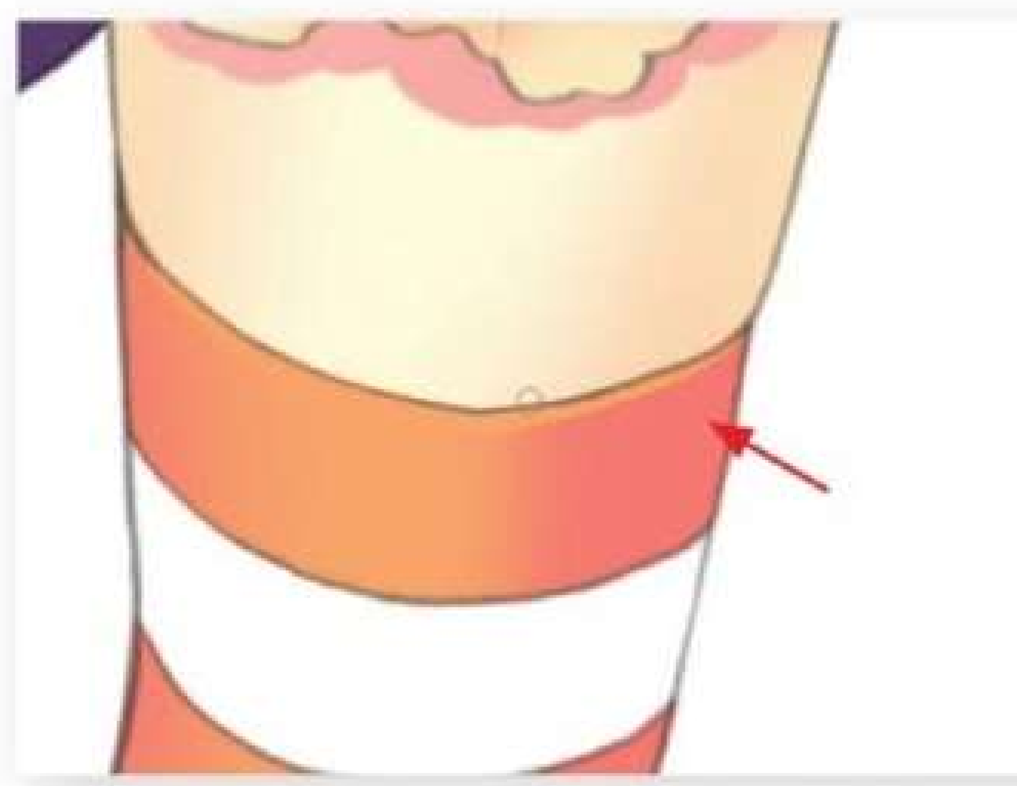


**04** 太ももの部分にゴムの影を入れると、ニーソックスっぽい雰囲気が増します。


①「消しゴム」ツールを選択しました

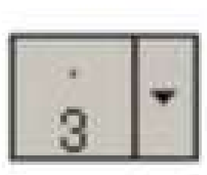


②サイズは「9」にしました

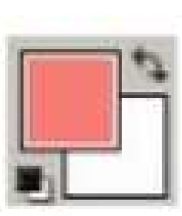

③「影」レイヤーの描画を「消しゴム」ツールで削除して、ハイライトを描きます

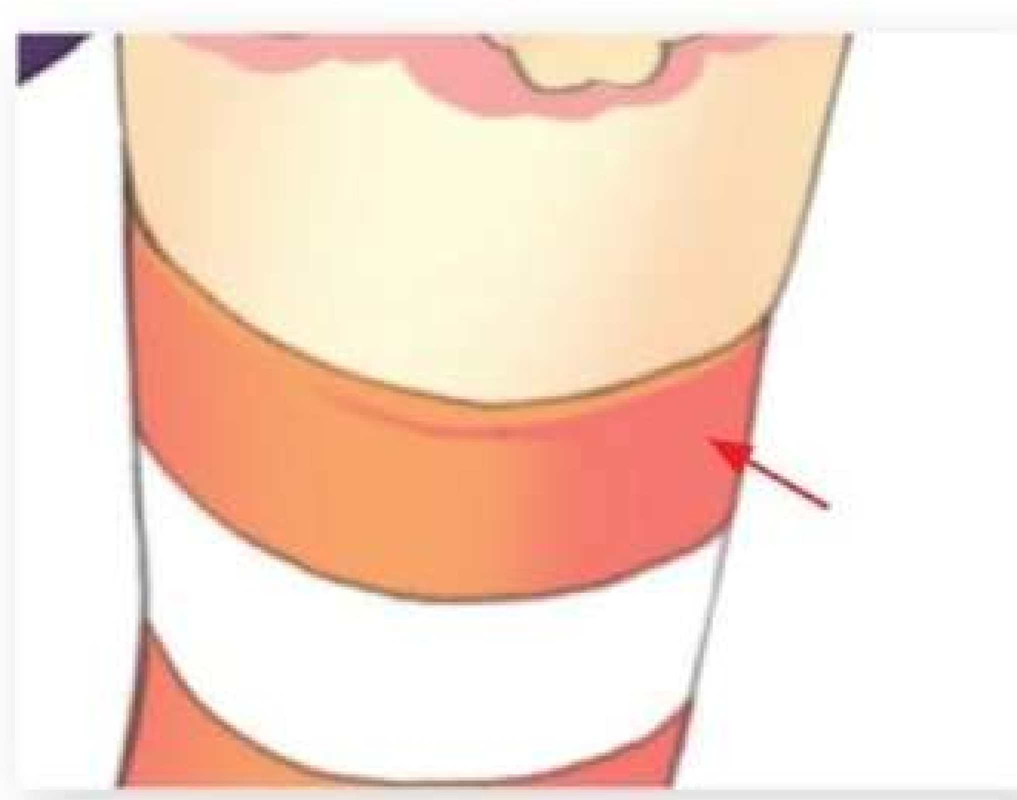
↓


④「ブラシ」ツールを選択しました



⑤サイズは「3」にしました


⑥描画色を選択しました

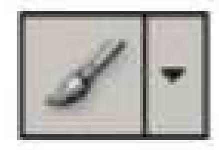

⑦「ブラシ」ツールで影を描きます

**05** 白い縞の影を塗ります。色は薄いグレーを選択しました。

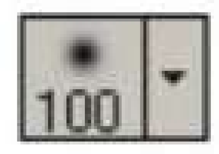
カラーピッカーで描画色を設定しました



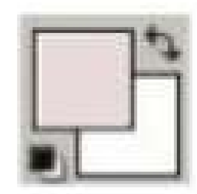
**06** 「ニーソ縞_2」レイヤーの上に新規レイヤーの「影」を作成し、「グループ化」を設定します。オレンジの縞々の影に合わせて塗ります。はみ出たら「消しゴム」ツールで消して合わせます。



②「ブラシ」ツールを選択しました



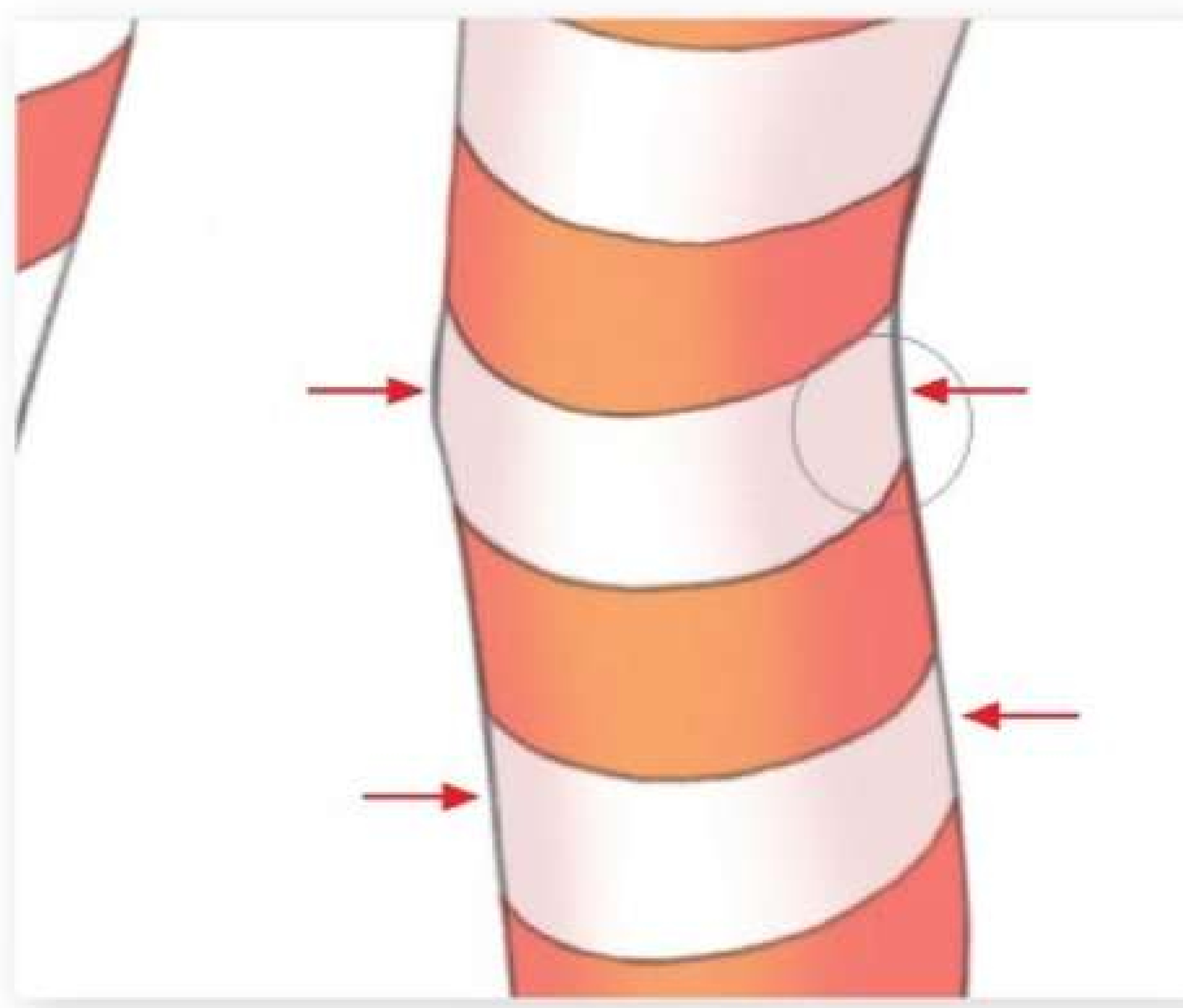

③サイズは「100」にしました



④描画色はカラーピッカーで設定した色です




①新規レイヤー「影」を作成し、「グループ化」を設定しました

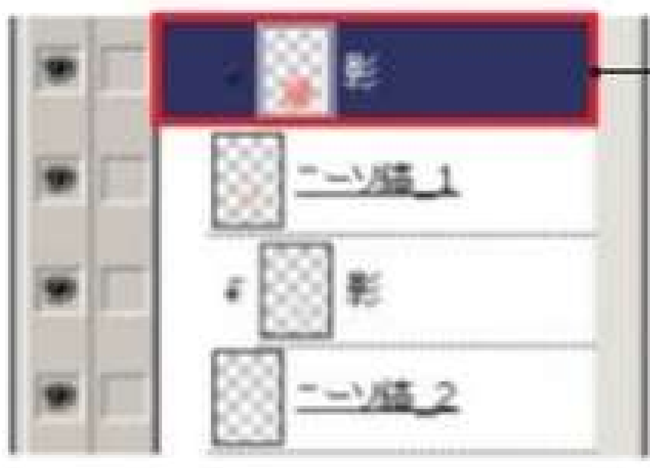


**07** カンバスの表示を縮小して、縞のラインが綺麗にそろっているかを確認しながら塗ります。

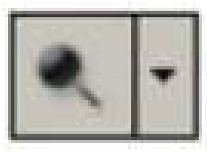


## 08

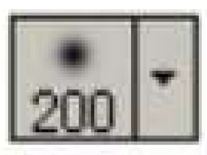
一通り塗れたら、影の端に「覆い焼き」ツールで軽くタッチを入れます。あまりきつく入れても変なので、露光は15%前後がいいと思います。



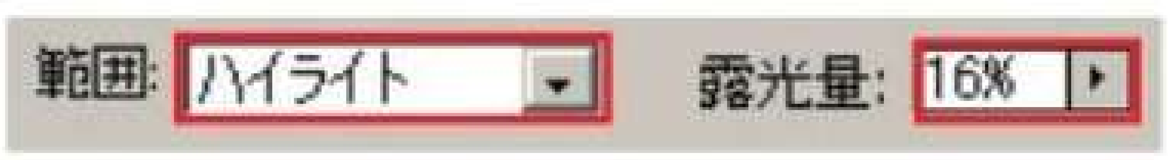

①ニーソックスの白の「影」レイヤーを選択中です



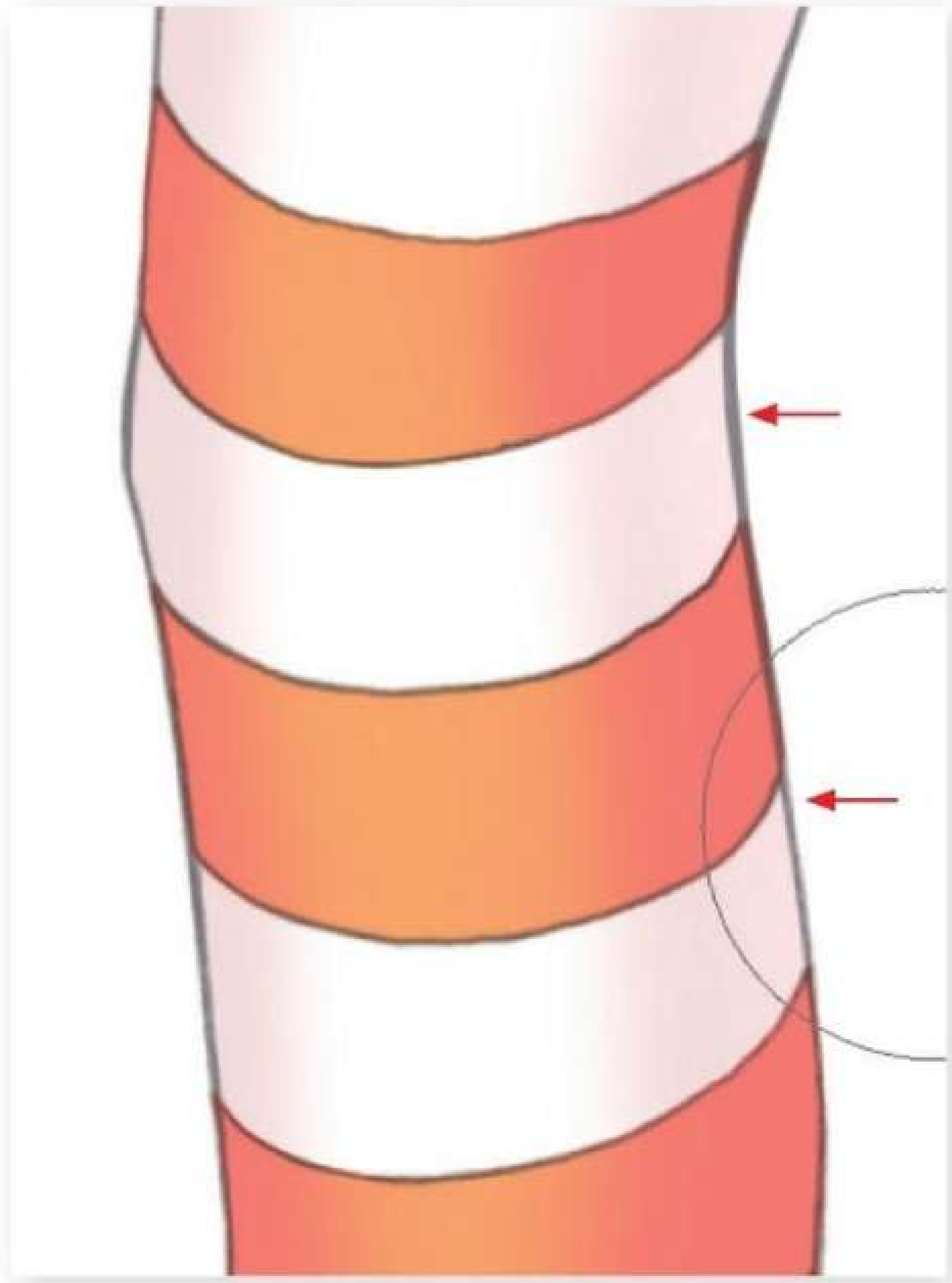
②「覆い焼き」ツールを選択しました




③サイズは「200」にしました

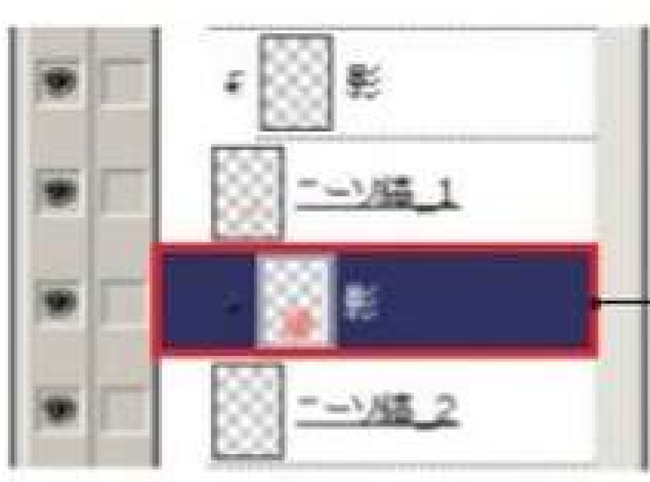



④「範囲」は「ハイライト」、「露光量」は「16」に設定しました

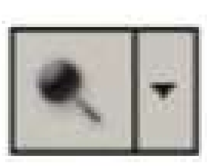


## 09

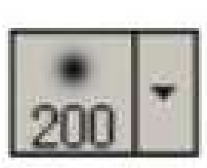
オレンジのほうにもちょっとだけ「覆い焼き」ツールを軽く入れます。単調さを抑えることができます。このあたりは好みで入れます。ニーソックスは完成です。



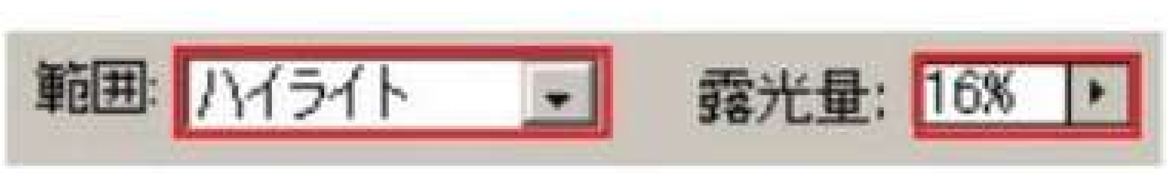

①ニーソックスのオレンジ色の「影」レイヤーを選択中です



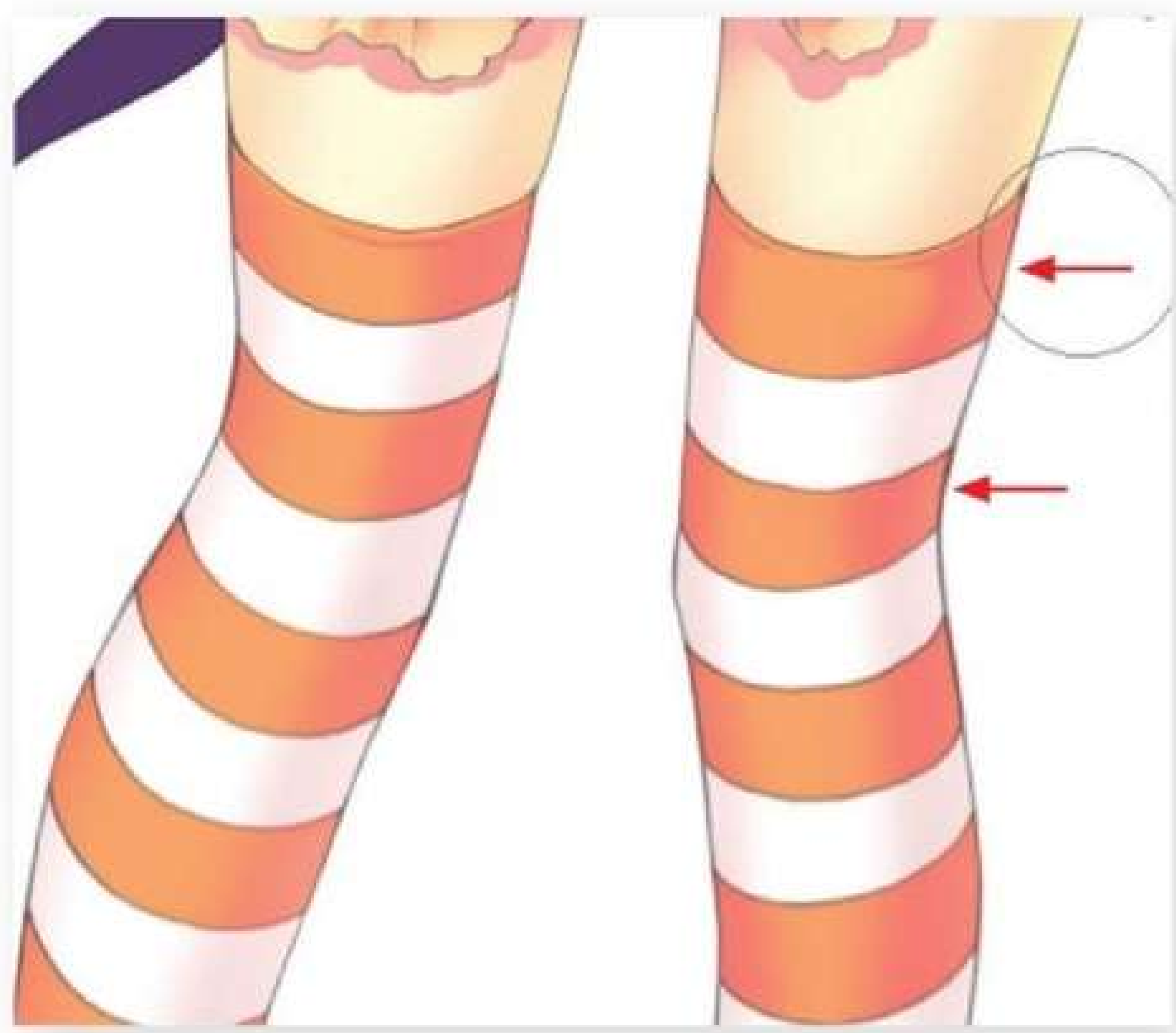
②「覆い焼き」ツールを選択しました




③サイズは「200」にしました

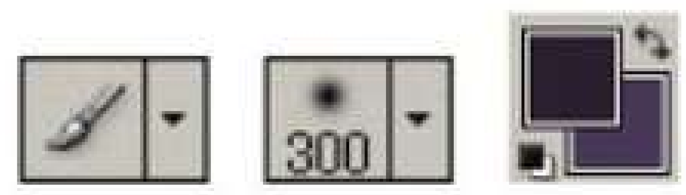



④「範囲」は「ハイライト」、「露光量」は「16」に設定しました

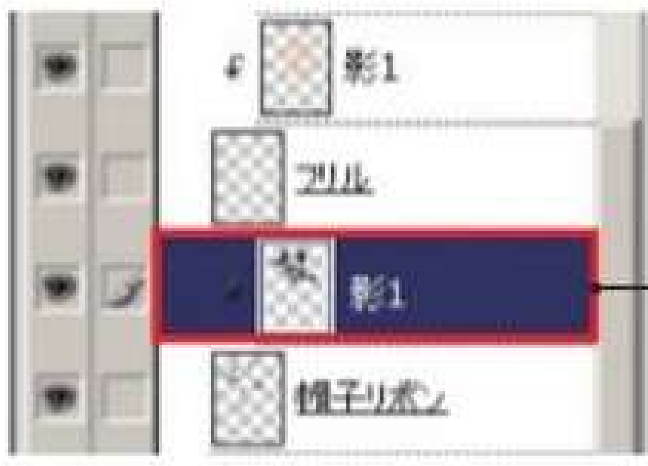


## 帽子のリボンの陰影

**01** 次は帽子のリボンを塗ります。ここでも全体のバランスを確認しながら、ざっと色を置きます。




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「300」、描画色を設定しました




①新規レイヤーの「影1」を作成し、「グループ化」を設定しました

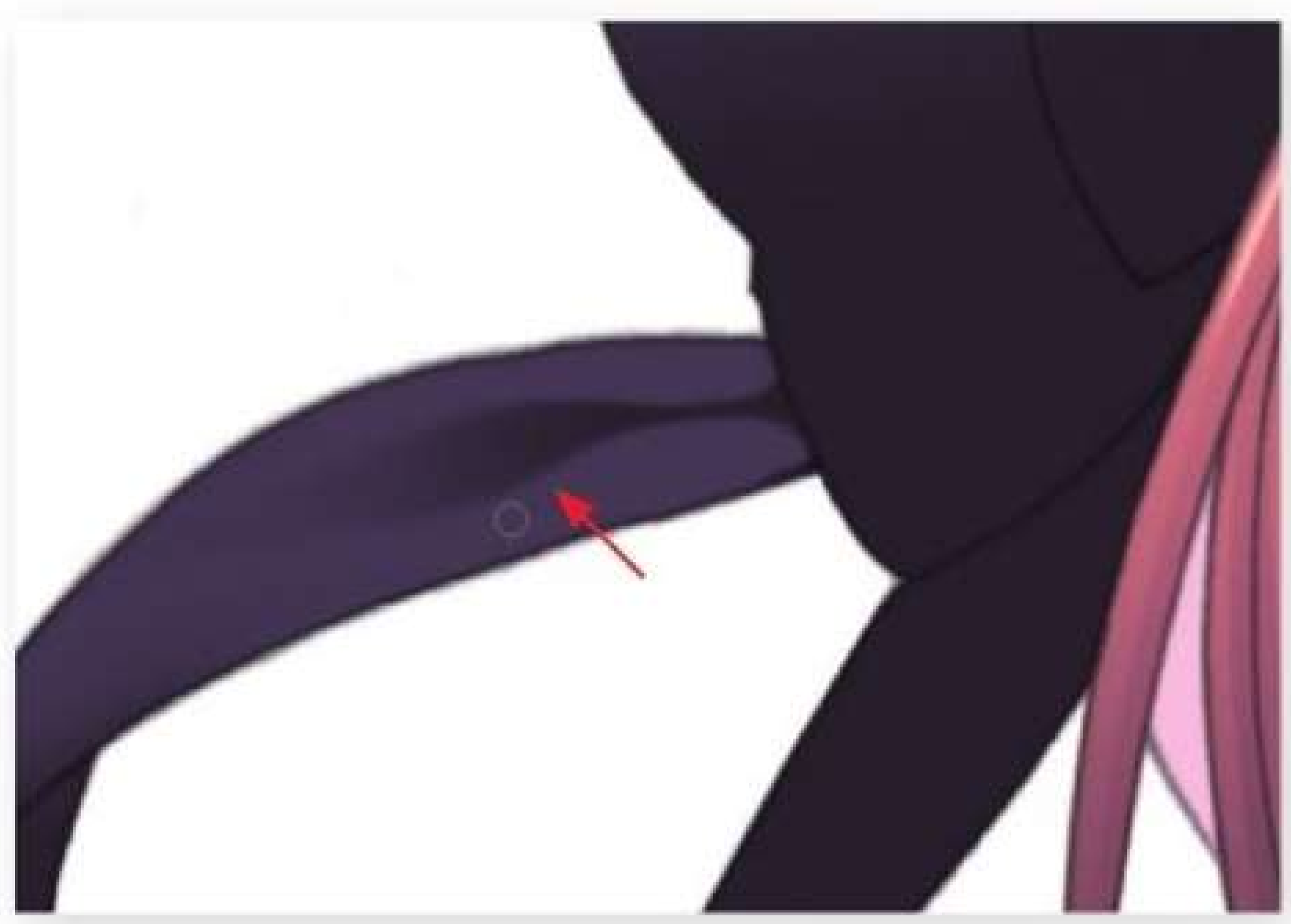


③影を入れる前の状態です



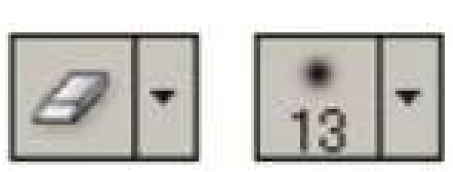
④黒を選択した「ブラシ」ツールで陰影を描画しました

**02** 細かいところを塗ります。リボンを縛ってできたシワを描き入れます。「消しゴム」ツールを上手く使って形を整えましょう。



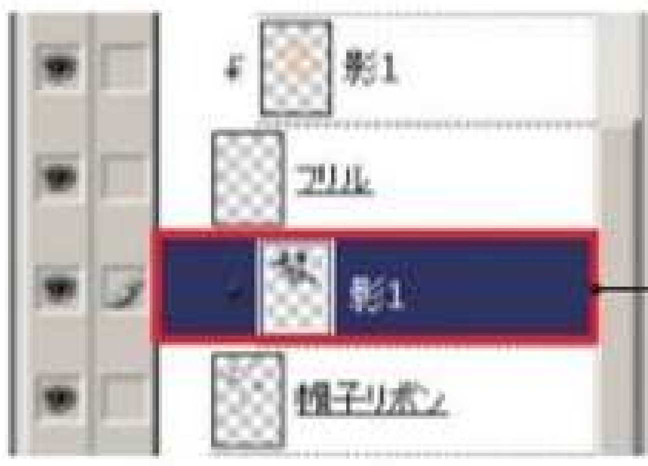



①「影1」レイヤーを選択中です




②「消しゴム」ツールを選択し、サイズは「13」にしました

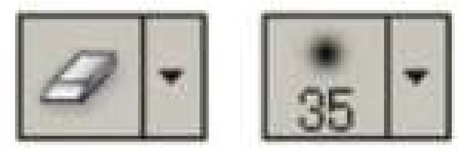
## 03 「多角形選択」ツールを使うと隣接部分にはみ出さず、上手く塗れます。




①「影1」レイヤーを選択中です



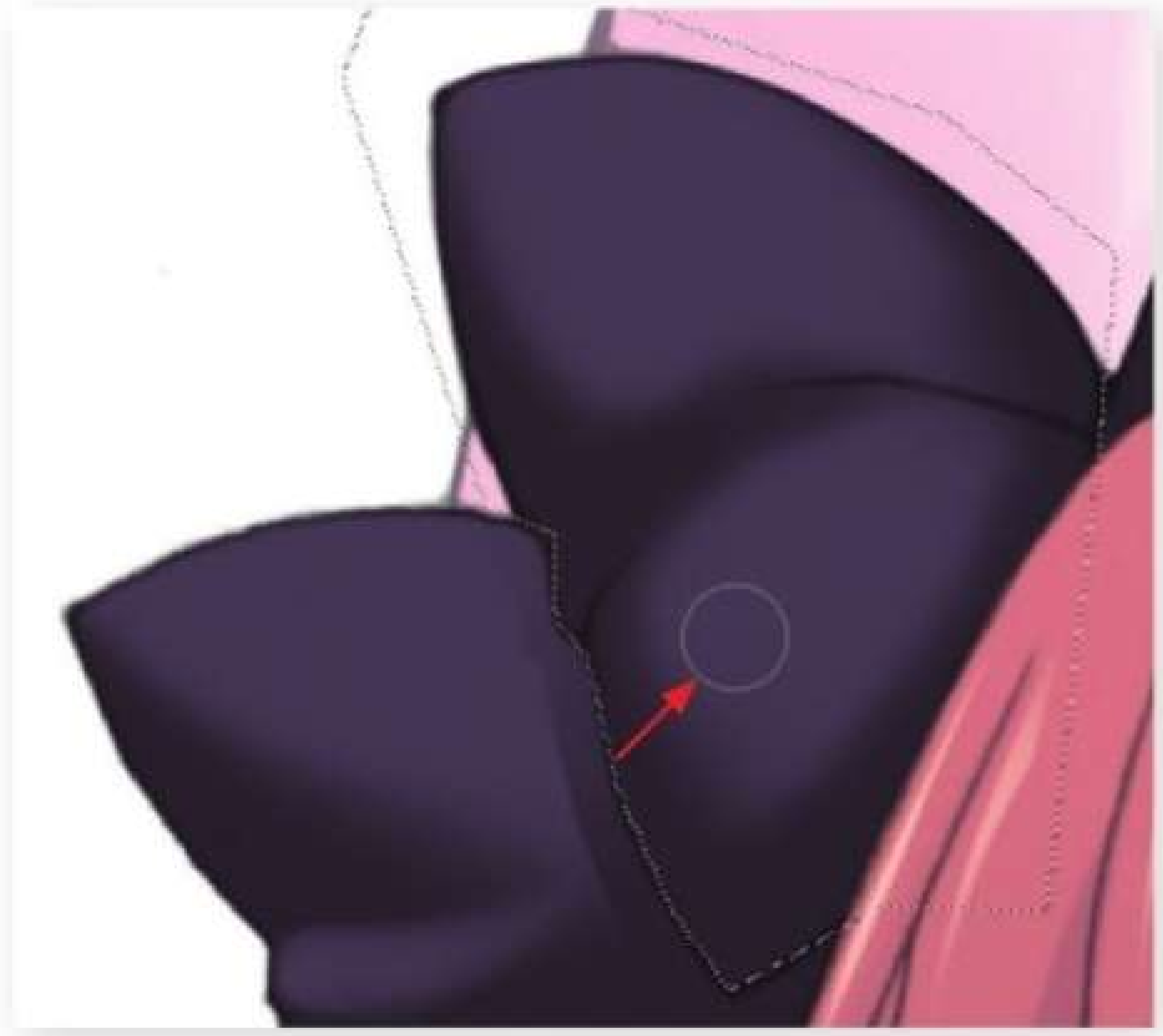
②「多角形選択」ツールで選択範囲を設定しました




③「消しゴム」ツールを選択し、サイズは「35」にしました



④影を細かく入れる前の状態です

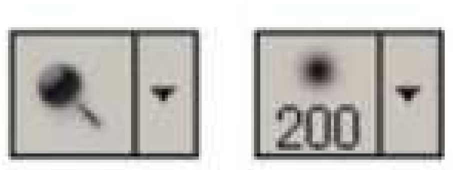


⑤「多角形選択」ツールで選択範囲を設定してから「影1」レイヤーの描画を「消しゴム」ツールで消して陰影をつけます

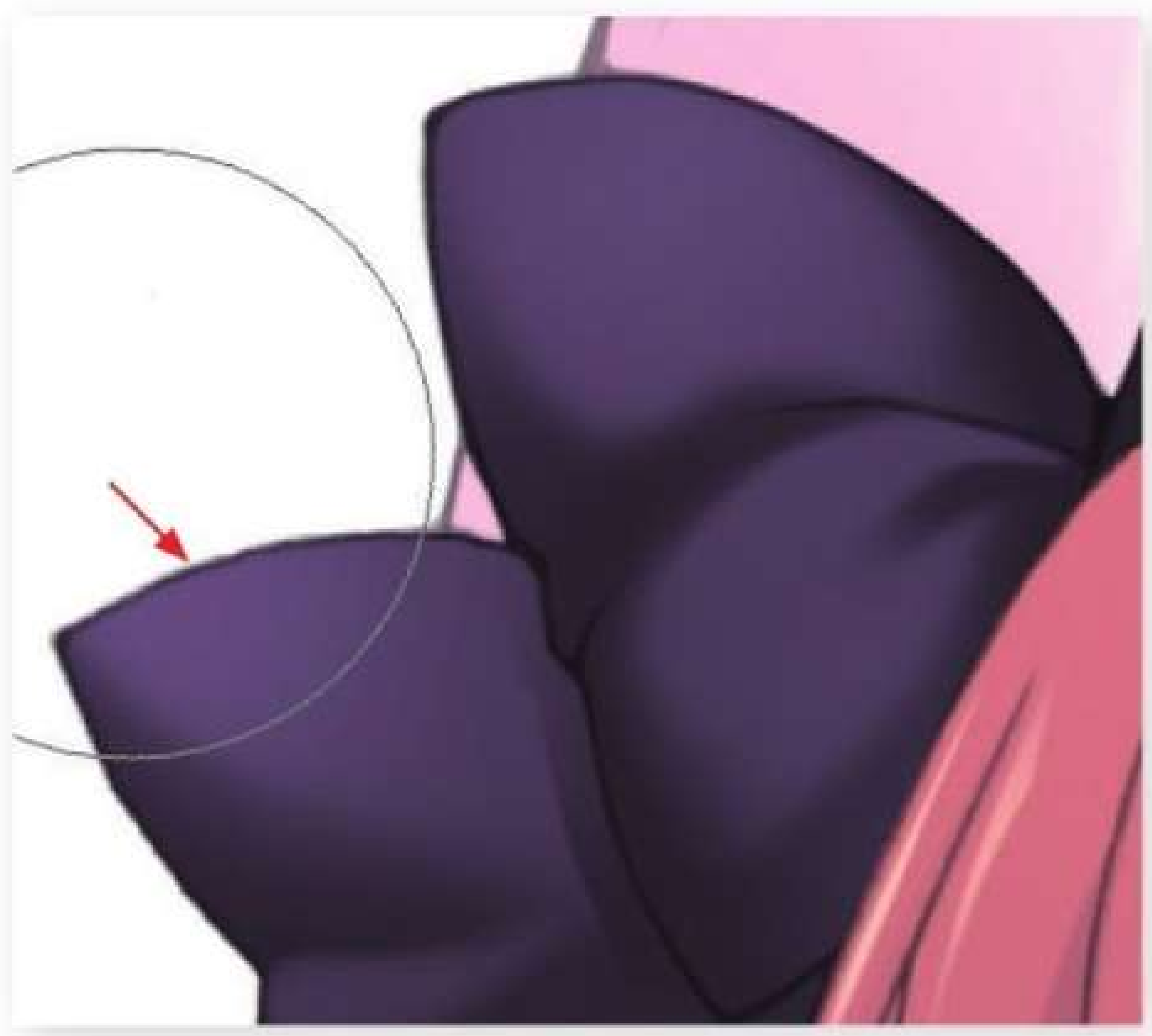
## 04 少し寂しいので、ベースの部分に「覆い焼き」ツールでうっすら光を入れます。バランスを確認しながら、やり過ぎないように注意しましょう。




①「帽子リボン」レイヤーを選択しました




②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「200」にしました

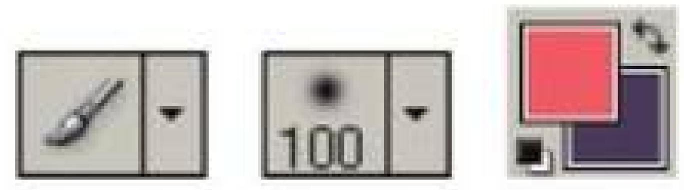


05 完成です。場合によってはもう1段影を入れてもいいと思います。

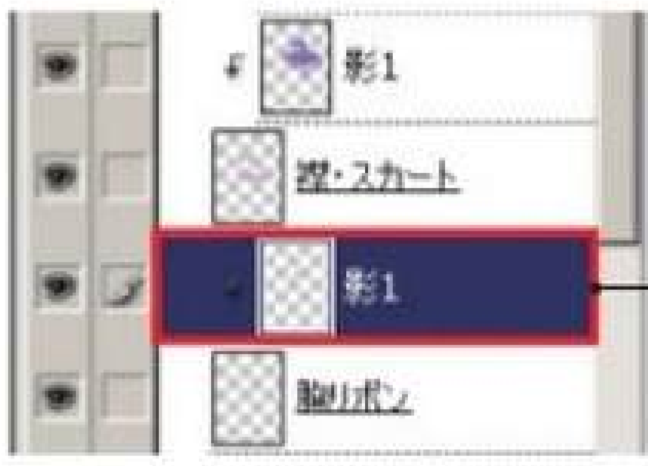


## 胸のリボンの陰影

**01** 胸元のリボンを塗ります。こちらは細いリボンですね。構造をよく考えて影を塗りましょう。




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「100」、描画色を設定しました




①新規に「影1」レイヤーを作成し、「グループ化」を設定しました



③影を入れる前の状態

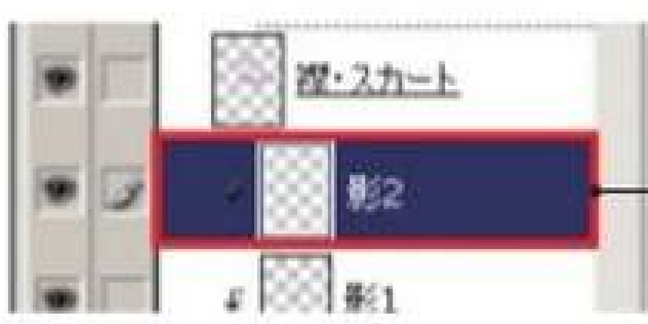
→



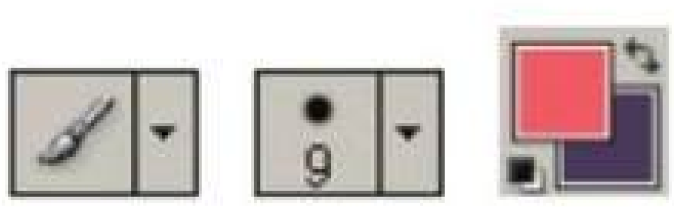
④胸のリボンに陰影を描きました

↓

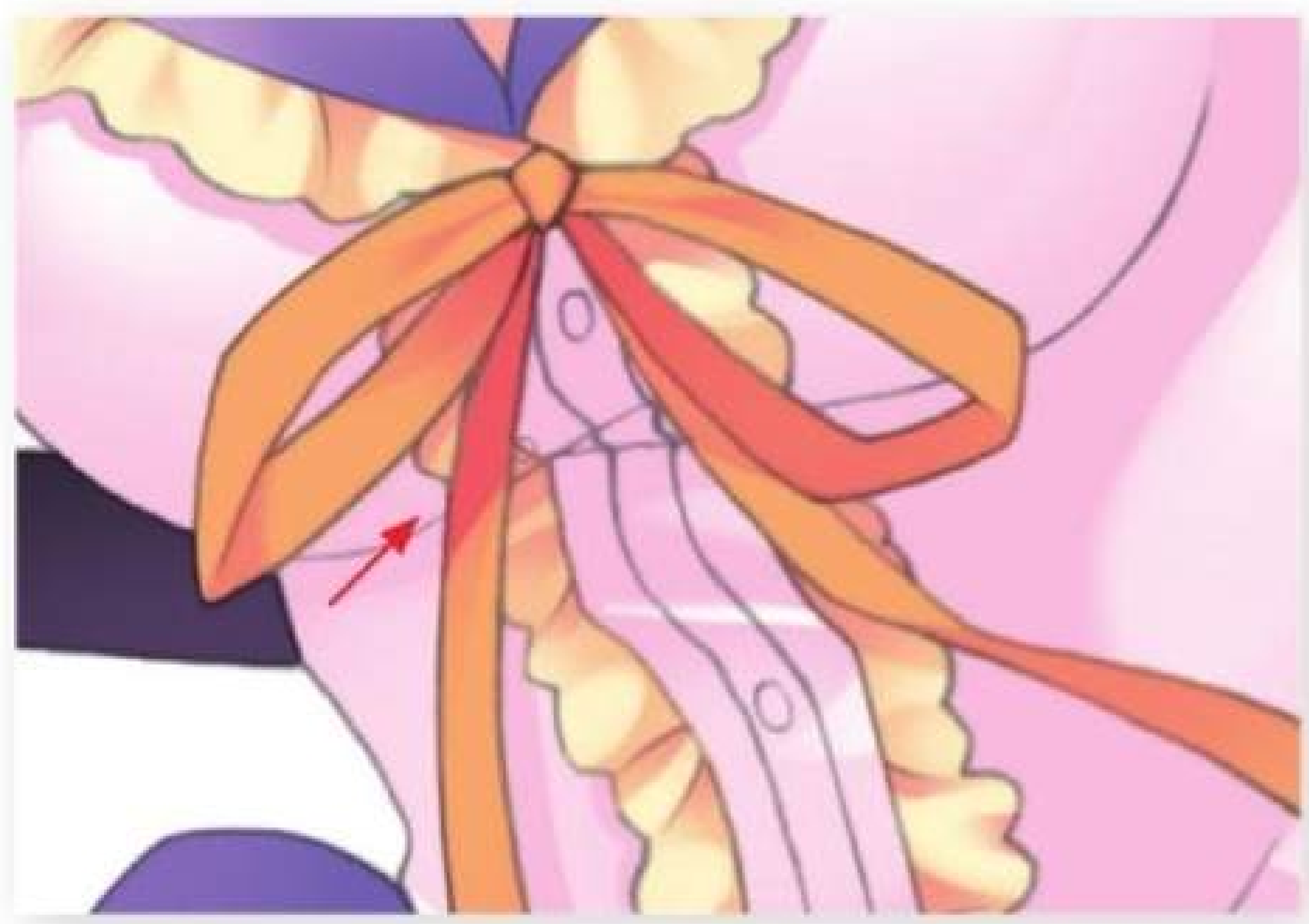
**02** 立体感を出すために、影は2段にしました。新規レイヤー「影2」を作成し、色は赤みの強いオレンジです。




①2番目の影のレイヤー「影2」を作成し、「グループ化」を設定しました



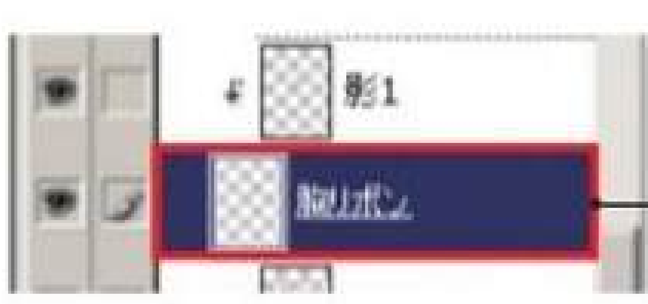

②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「9」、描画色を設定しました



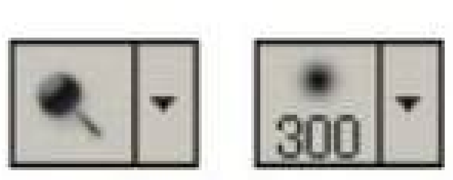
③さらに陰影を描き足しました

↓

**03** ベースを「覆い焼き」ツールで、うっすらとなでるようにグラデーションを描きました。胸のリボンは出来上がりです。




①「胸リボン」レイヤーを選択しました




②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「300」にしました

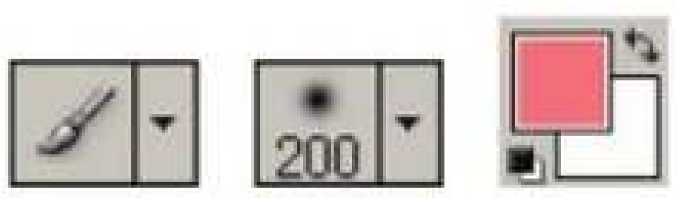


## 背景のリボンの陰影

**01** 背景のリボンの着色にいきましょう。影をつけるにあたって、リボンの色を華やかなピンクに変更します。




①「背景リボン」レイヤーを選択しました




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「200」、描画色を設定しました



③レイヤーわけした仮の色の状態

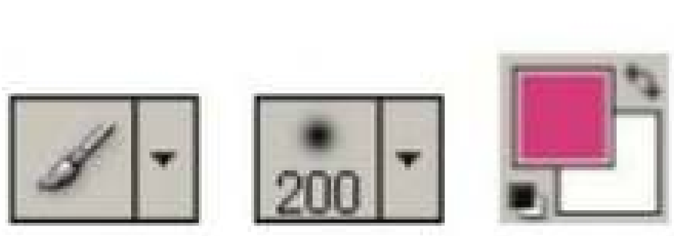


④リボンをピンクに塗りました

**02** ここでも新規レイヤーを作成し、影の分量を確認しながら大まかに色を置きます。このように塗ると、全体のイメージが掴みやすいのでお勧めです。




①「背景リボン」レイヤーの上に「影1」レイヤーを作成し、「グループ化」を設定しました




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「200」、描画色を設定しました



③リボンに陰影をつけました

## 03

細かく影を整えていきます。こういう部分は、ブラシの不透明度を低めに設定して何度もなでるように塗ると綺麗に塗れます。ぼかしは大きめがいいでしょう。




①「影1」レイヤーを選択中です




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「35」、描画色を設定しました



③陰影を入れる前の状態です



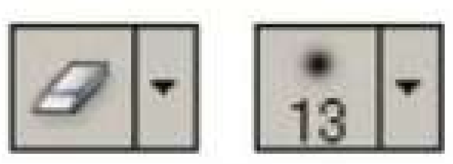
④リボンの細かい陰影を描画します

## 04

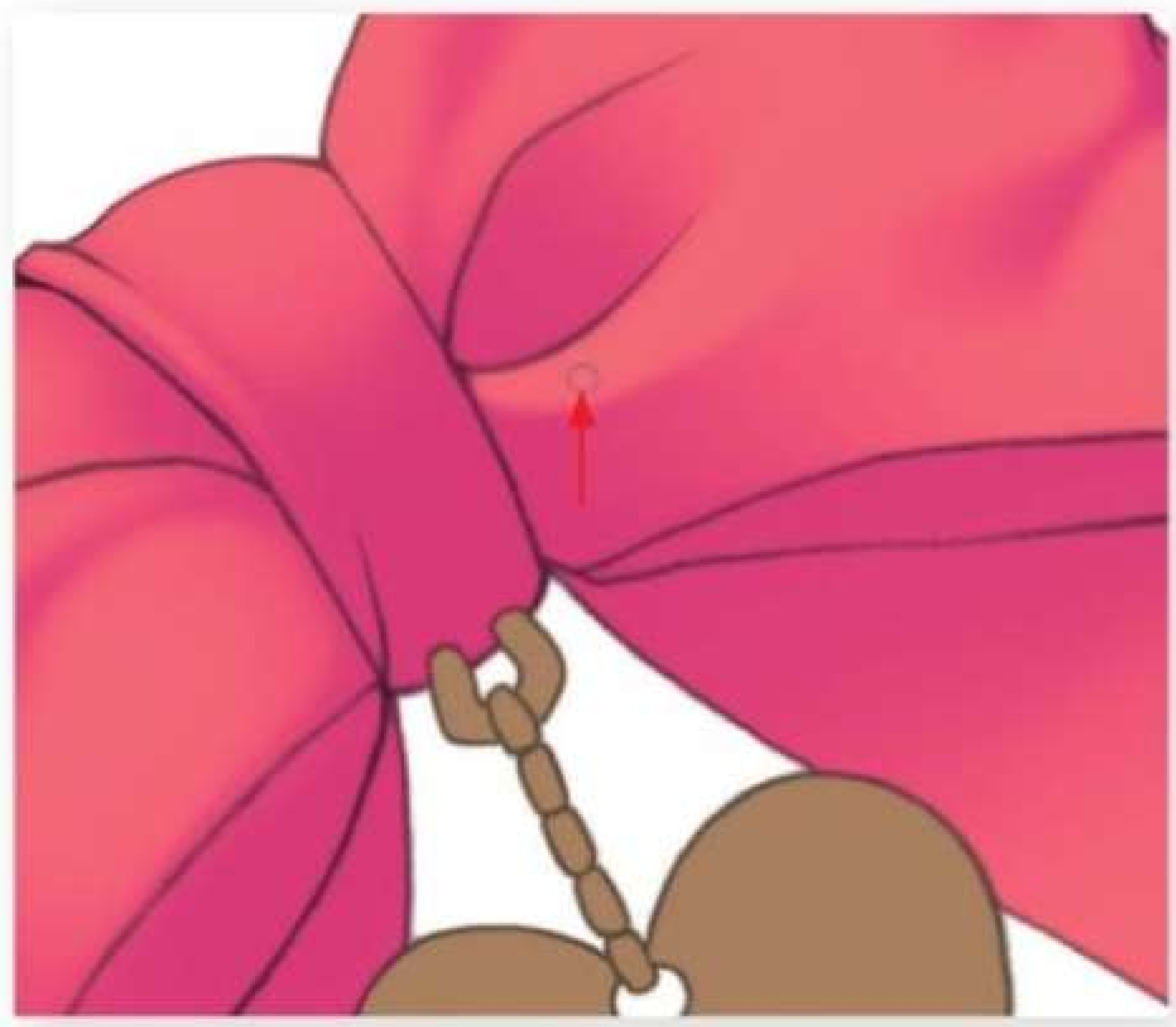
シワの形をよく考えながら塗ると立体的になります。




①「影1」レイヤーを選択中です




②「消しゴム」ツールを選択し、サイズは「13」にしました



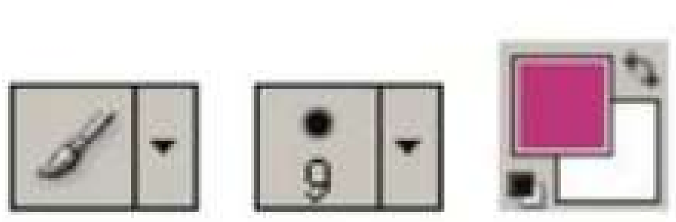
③ハイライトと陰影を強調して立体感を出します

## 05

まだ立体感が足りない感じなので、新規レイヤーを作成して2段目の影を入れましょう。1段目より暗い色で塗ります。




①「影1」レイヤーの上に新規レイヤー「影2」作成し、「グループ化」を設定しました




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「9」、描画色を設定しました



③さらに濃い影を着色しました

## 06

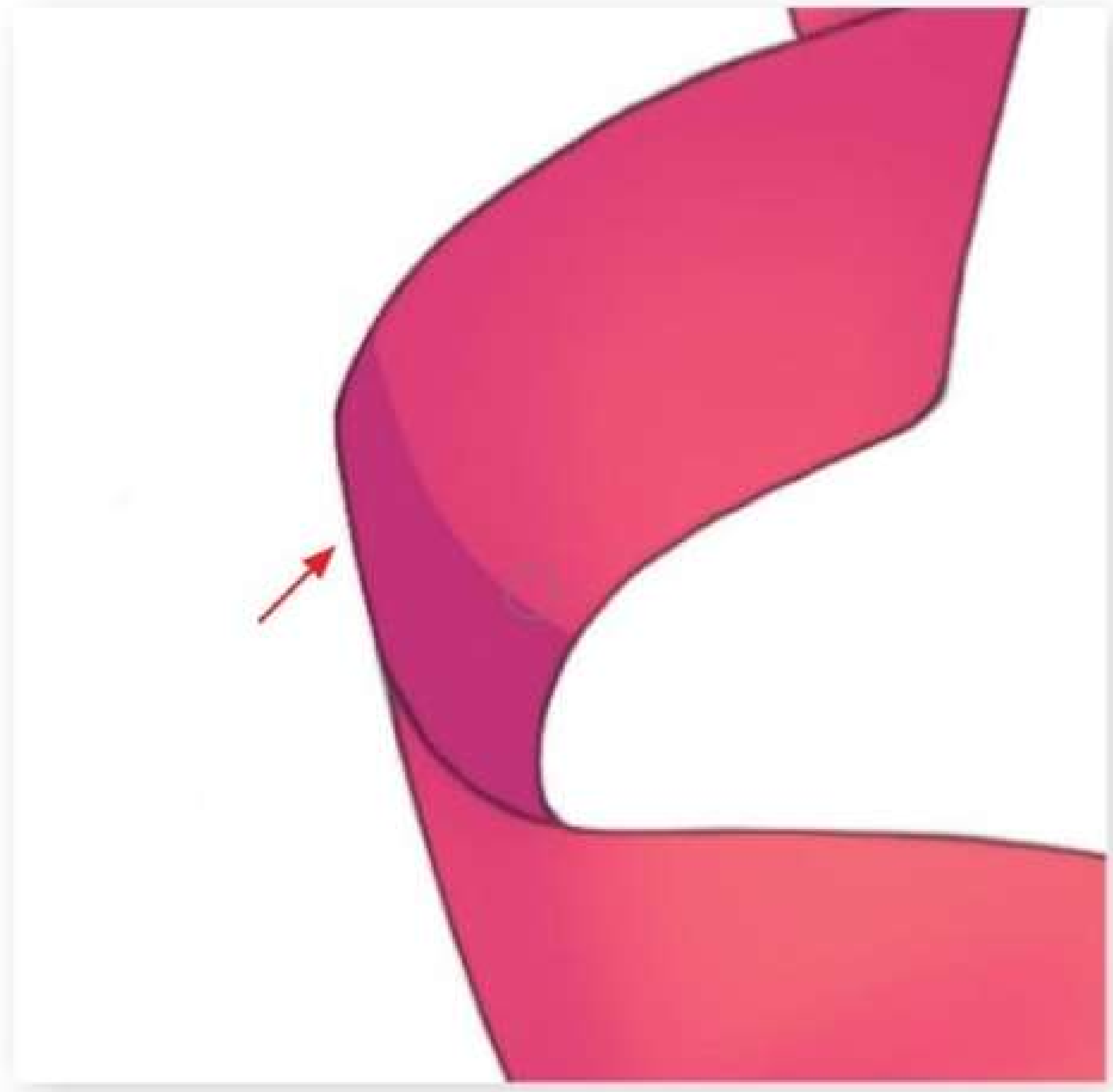
リボンの重なっているところなど、さらに暗くなりそうなところに影を置きます。




①「影2」レイヤーを選択中です




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「19」、描画色を設定しました



③濃い影を追加しました

## 07

少し色味が寂しいので、ベースの色にグラデーションを入れます。ベースレイヤーの「透明ピクセルをロック」にチェックを入れて、大きめのブラシで少し黄みよりのオレンジ色を入れました。リボンはひとまず完成です。




①「背景リボン」レイヤーを選択しました

②「背景リボン」レイヤーの透明ピクセルをロックしました



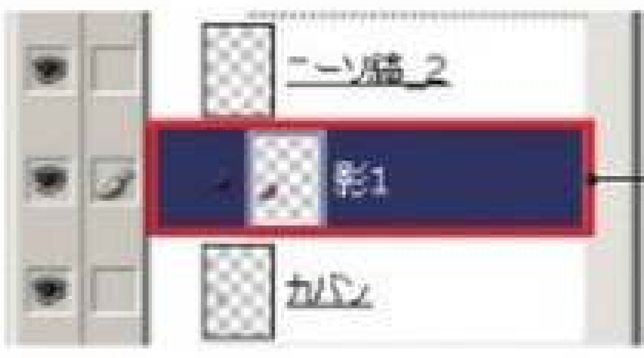

③「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「850」、描画色を設定しました



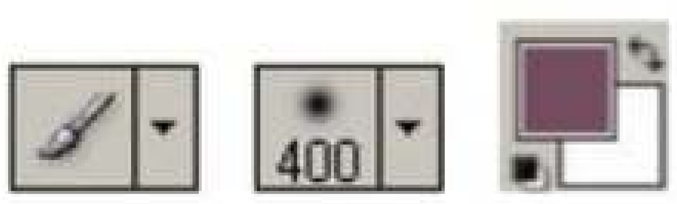
④リボンに黄色系のオレンジで陰影を追加しました

## カバンの陰影の着色

01 新規レイヤーを作成して、右手に持ったカバンの陰影を塗ります。色はしっくりこなかったので、茶系に変更しました。




①カバンレイヤーの上に新規レイヤー「影1」を作成し、「グループ化」を設定しました

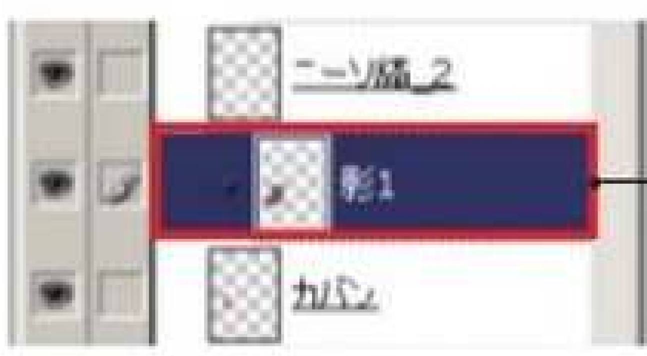



②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「400」、描画色を設定しました



③カバンの影を濃い茶色で塗りました

02 左上から光が当たっていることを意識しながら、影を置きましょう。



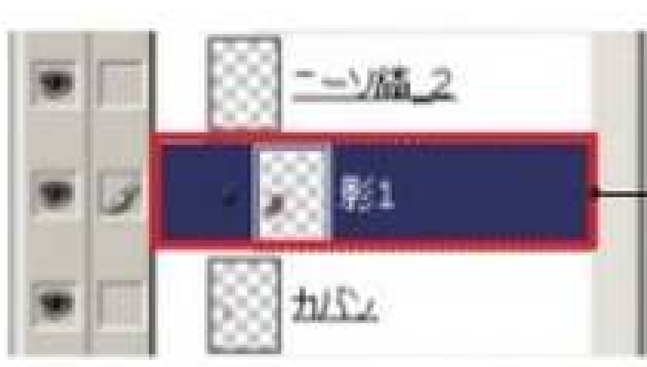

①「影1」レイヤーを選択中です




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「550」、描画色を設定しました




03 「多角形選択」ツールを使って範囲を選択し、左上の部分から「消しゴム」ツールで消してグラデーションをかけます。「消しゴム」ツールの不透明度を低めにして、徐々に消していくと上手くいきます。




①「影1」レイヤーを選択中です

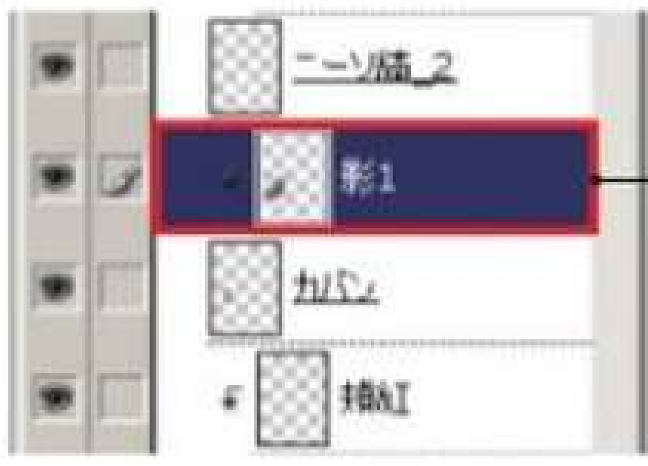



②「消しゴム」ツールを選択し、サイズは「550」、描画色を設定しました

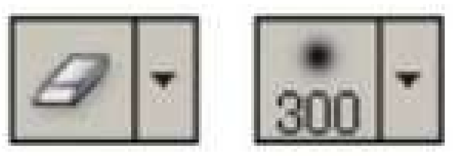


③上面の左上が明るくなるように陰影をつけました

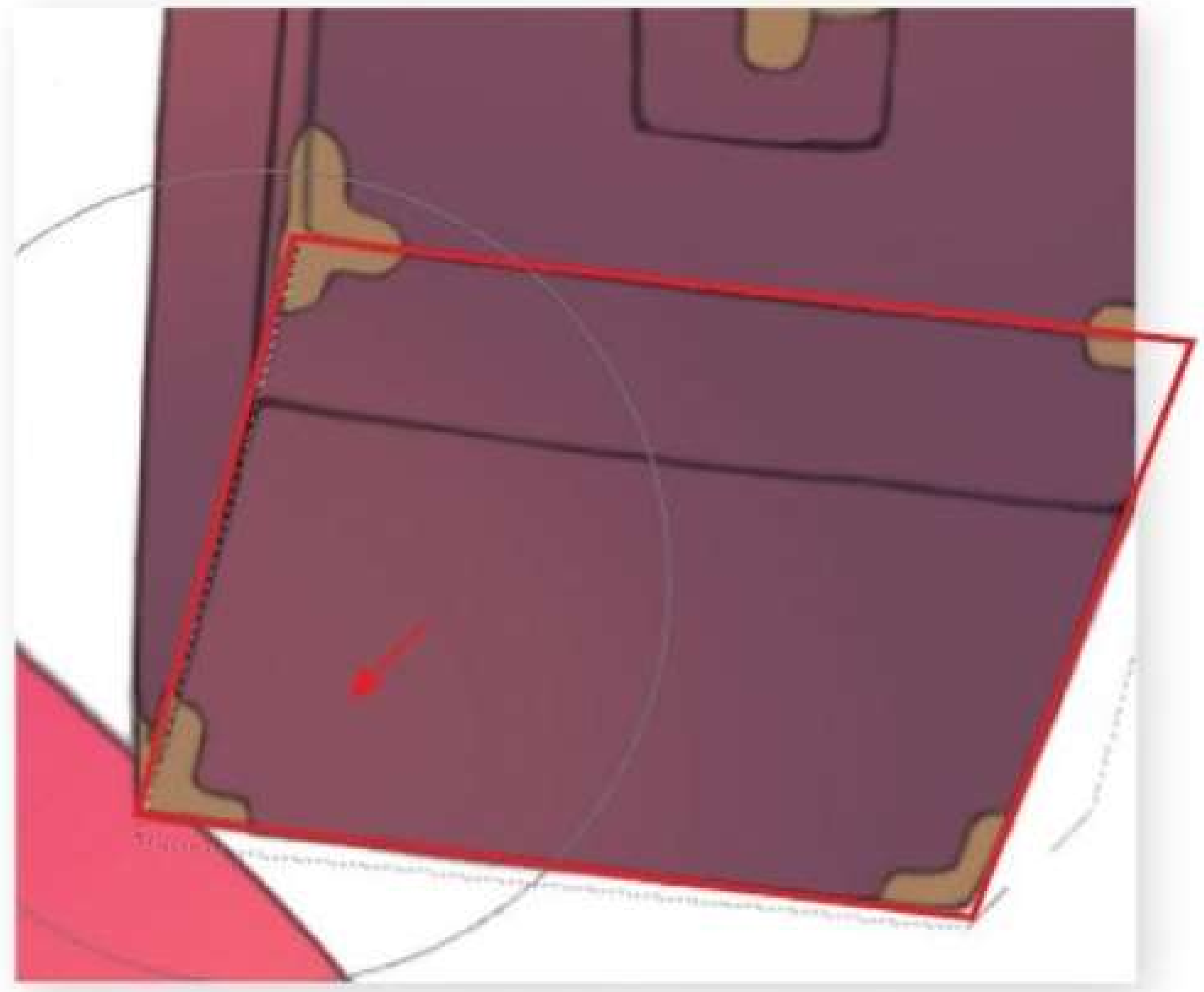
**04** 側面も同じように「多角形選択」ツールで選択して塗ります。




①「影1」レイヤーを選択中です



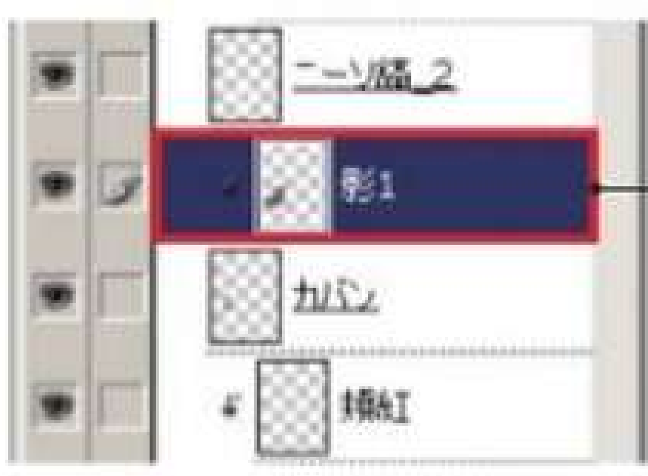

②「消しゴム」ツールを選択し、サイズは「300」にしました



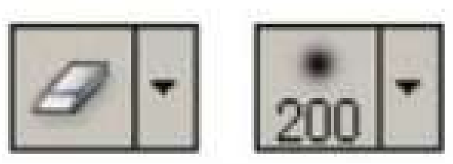
③左下が明るくなるようにのみに陰影をつけました

↓

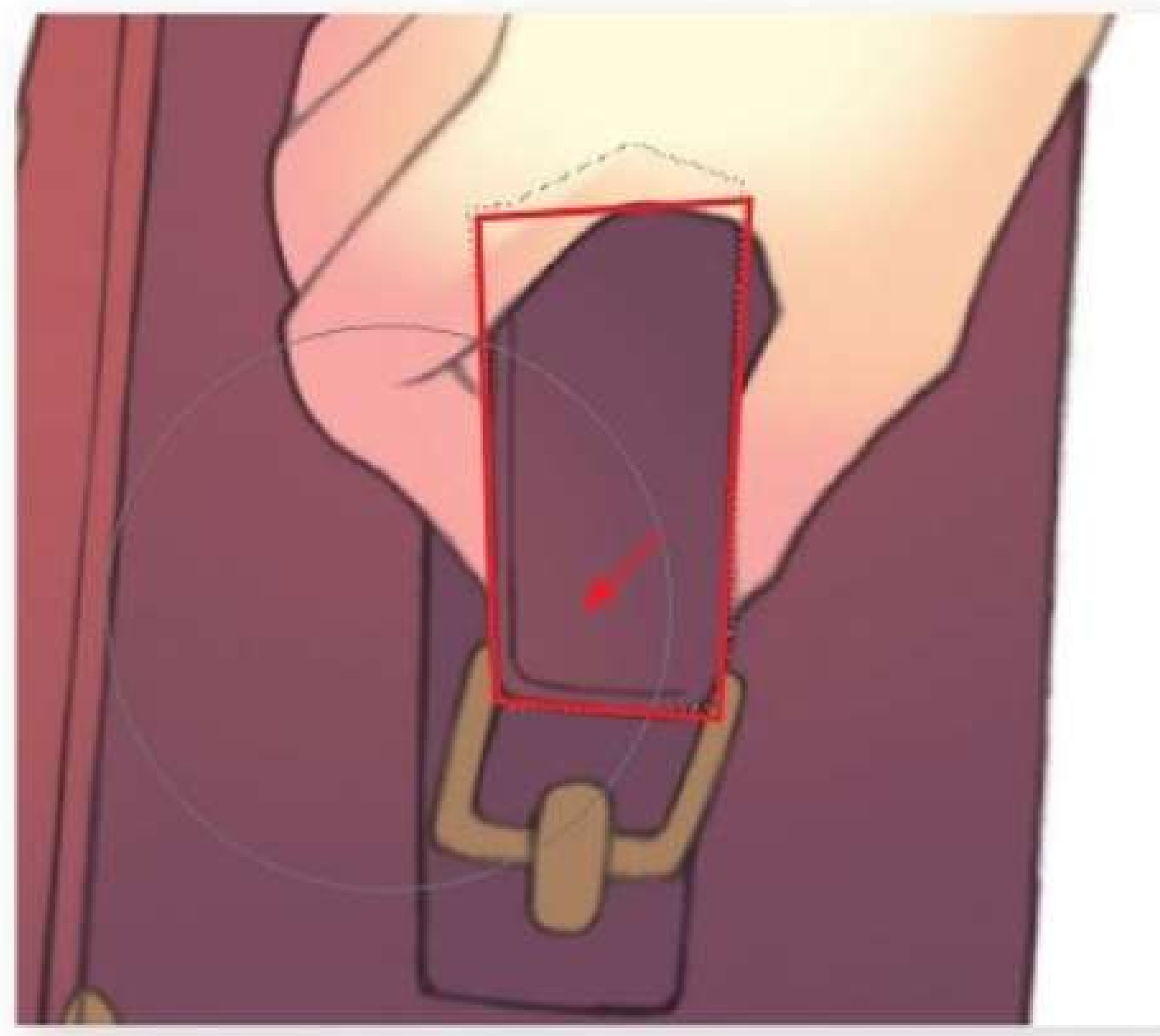
**05** 持ち手も範囲を設定して大きな「消しゴム」ツールで塗ります。




①「影1」レイヤーを選択中です




②「消しゴム」ツールを選択し、サイズは「200」にしました



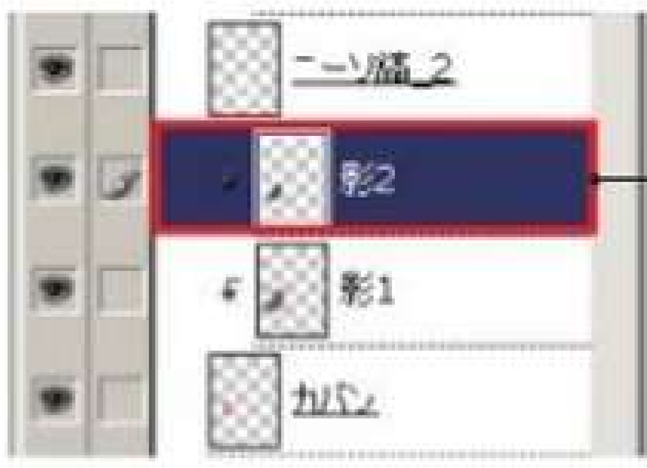
③左下が微妙に明るくなるように陰影をつけます

↓

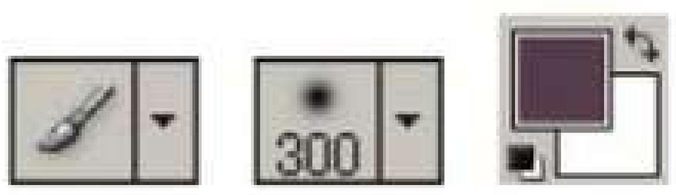
**06** ここまで完成した状態です。



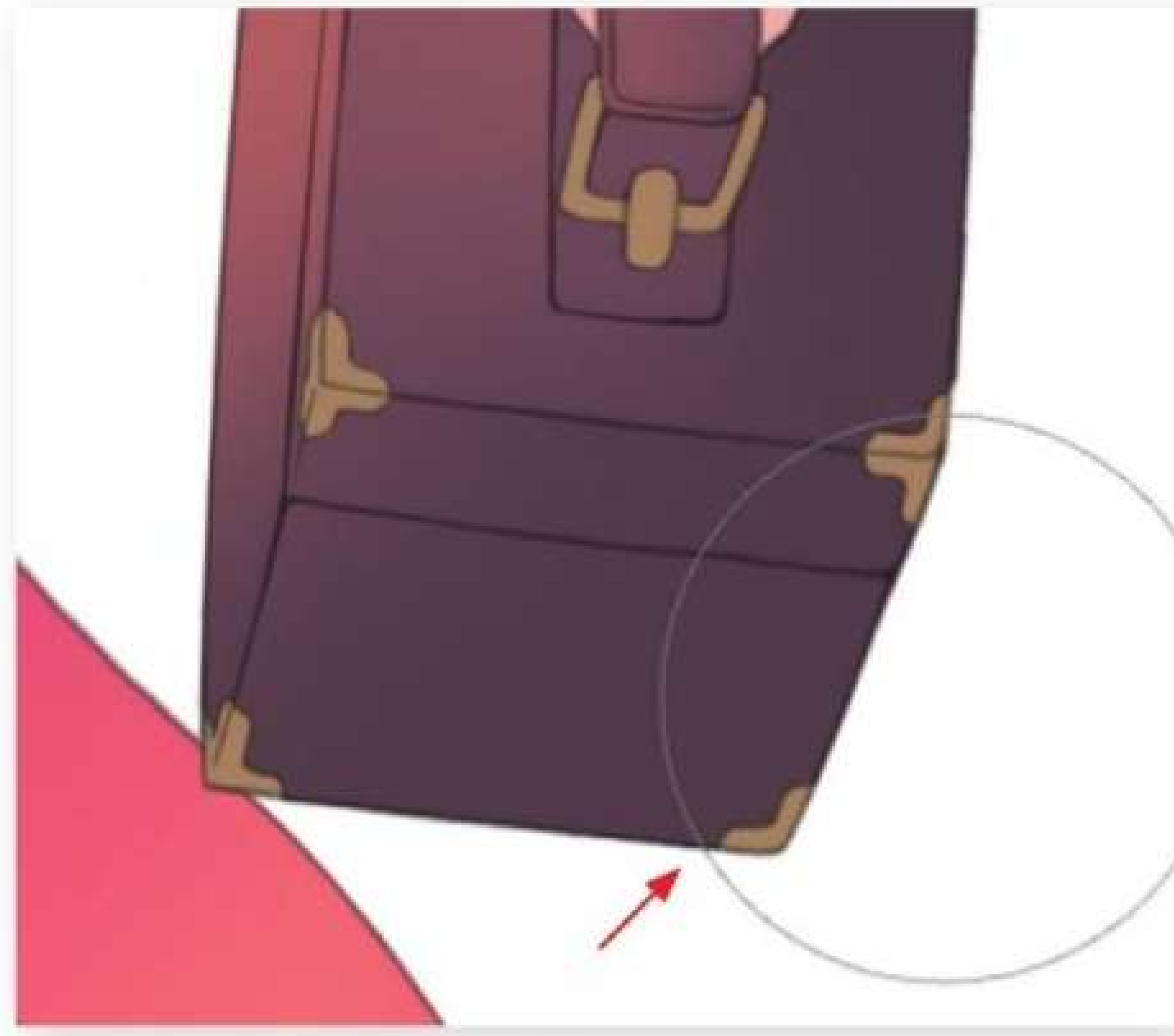
07 立体感が足りないので2段目の影を入れましょう。下のほうにブラシでグラデーションを入れました。




①新規レイヤーを作成し、名称を「影2」に変更しました。

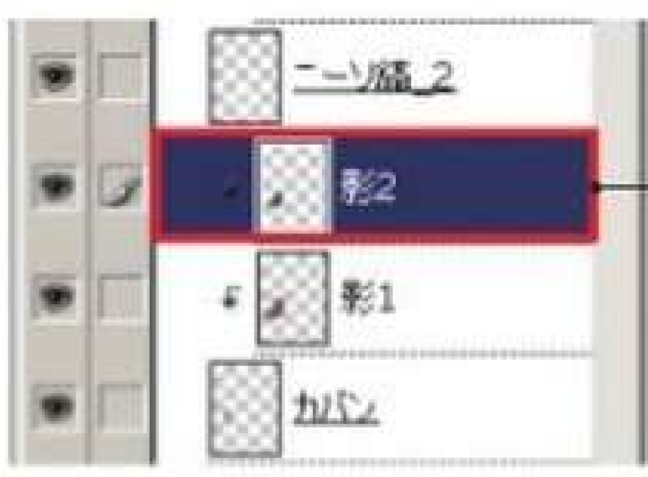



②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「300」、描画色を設定しました



③右側に陰影を追加しました

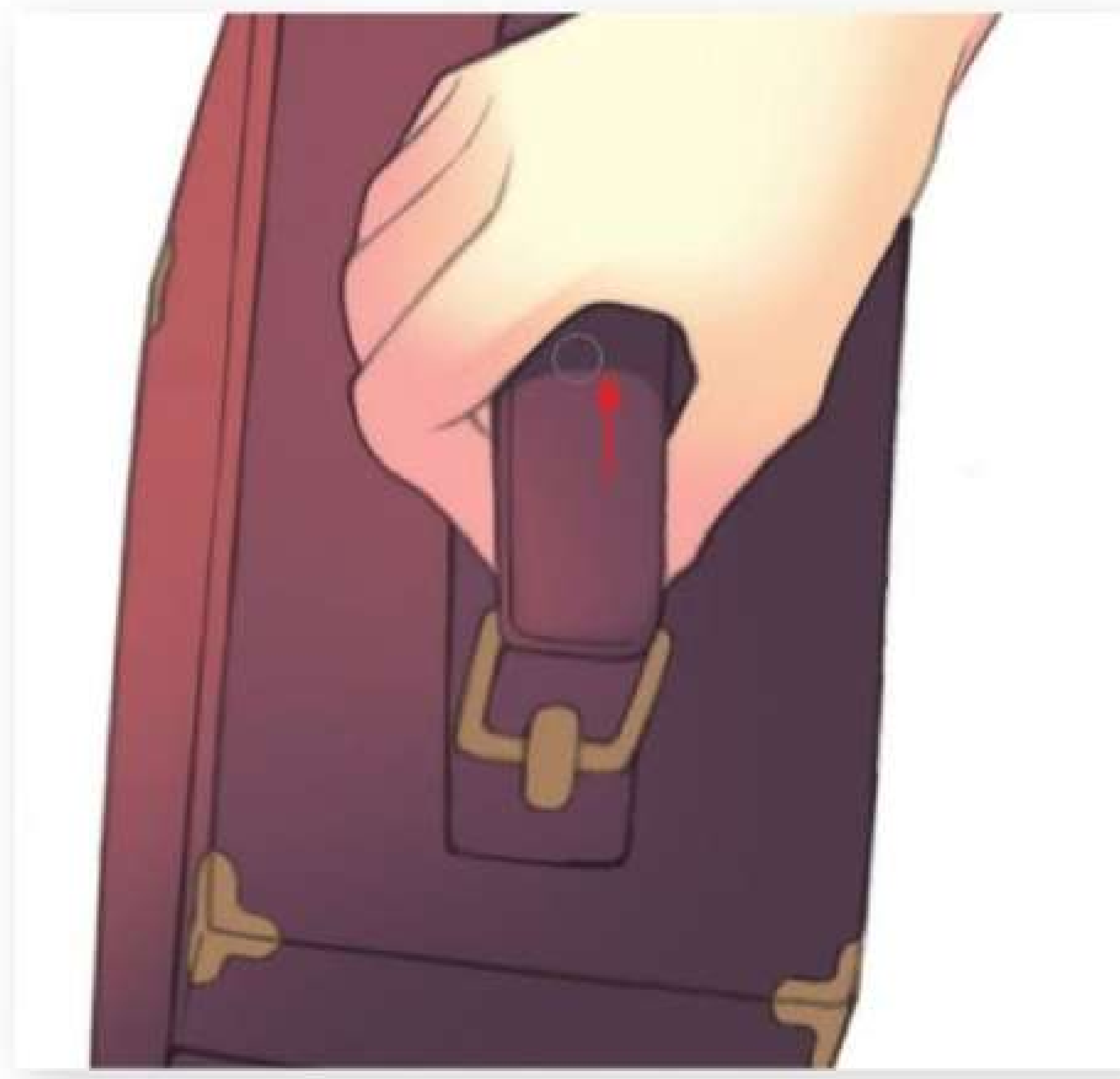
08 持ち手の部分はくっきりと影を入れます。



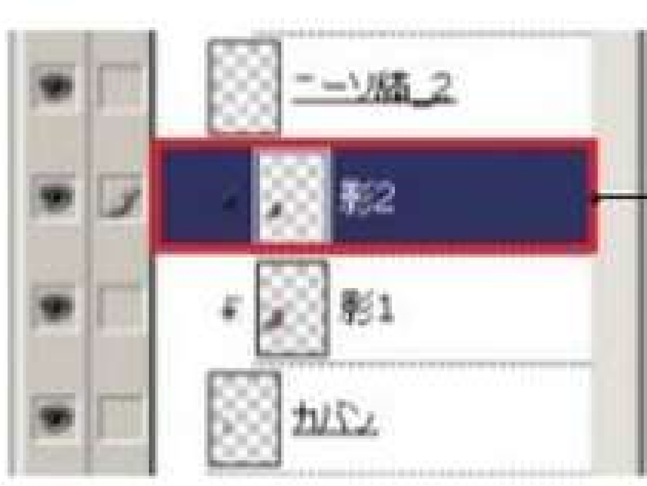

①「影2」レイヤーを選択中です



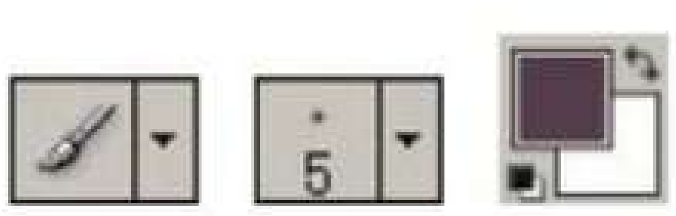

②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「19」、描画色を設定しました



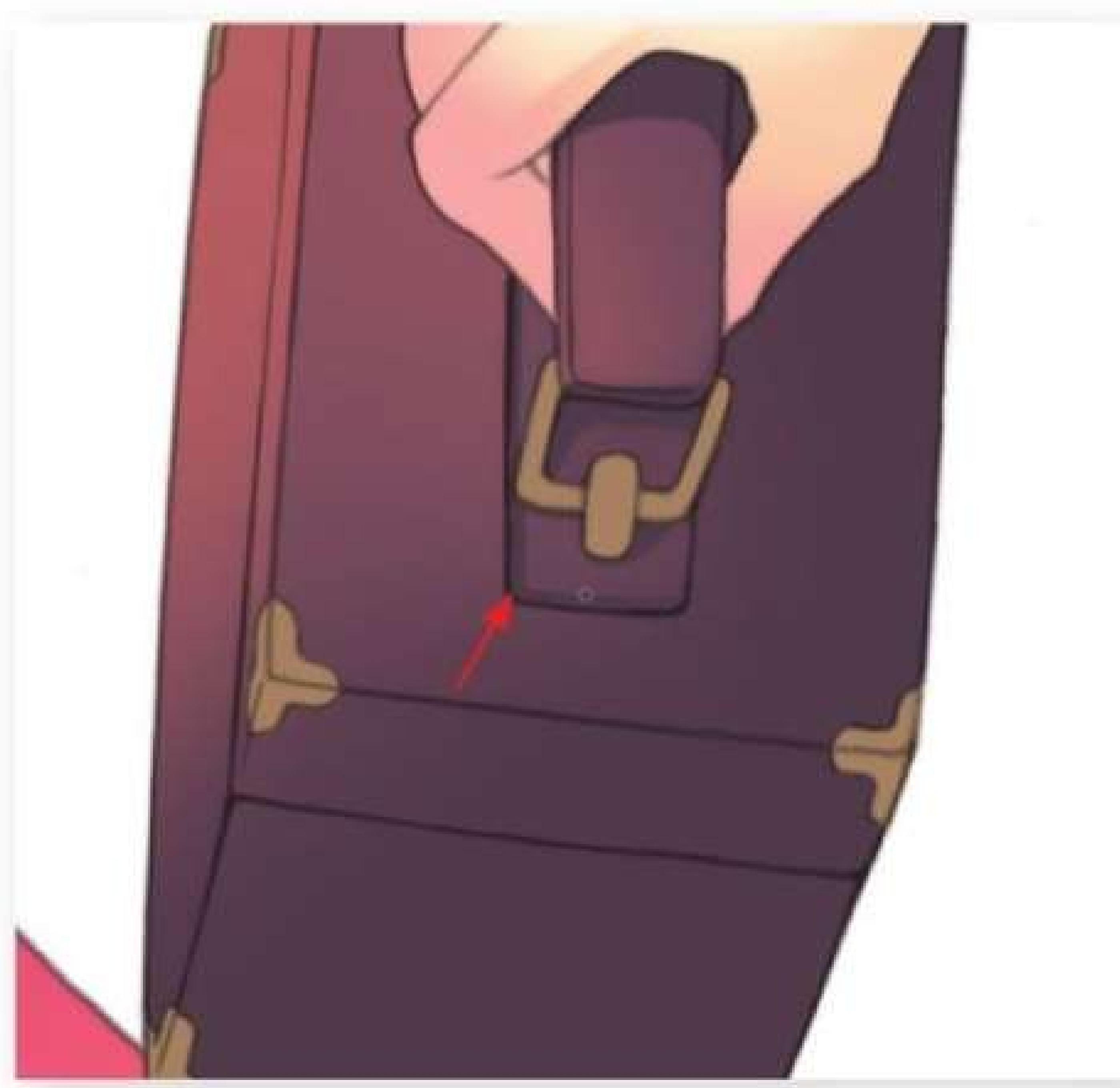
09 金具の影や、パーツの立体感を描き入れます。




①「影2」レイヤーを選択中です

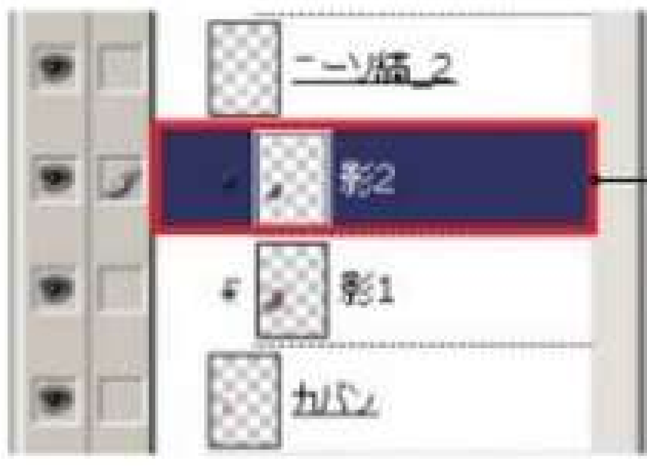



②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「5」、描画色を設定しました

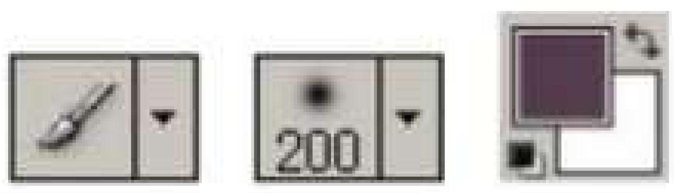


10

手から落ちる影なども描き入れましょう。こちらは少しぼかしてみました。




①「影2」レイヤーを選択中です

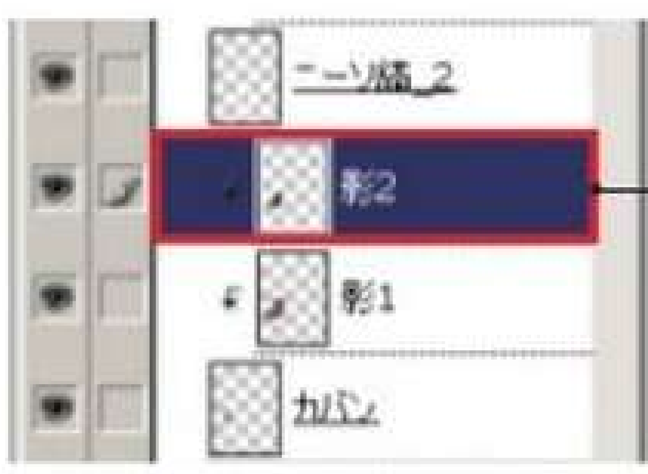



②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「200」、描画色を設定しました

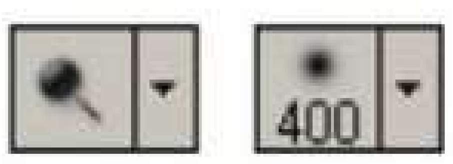


11

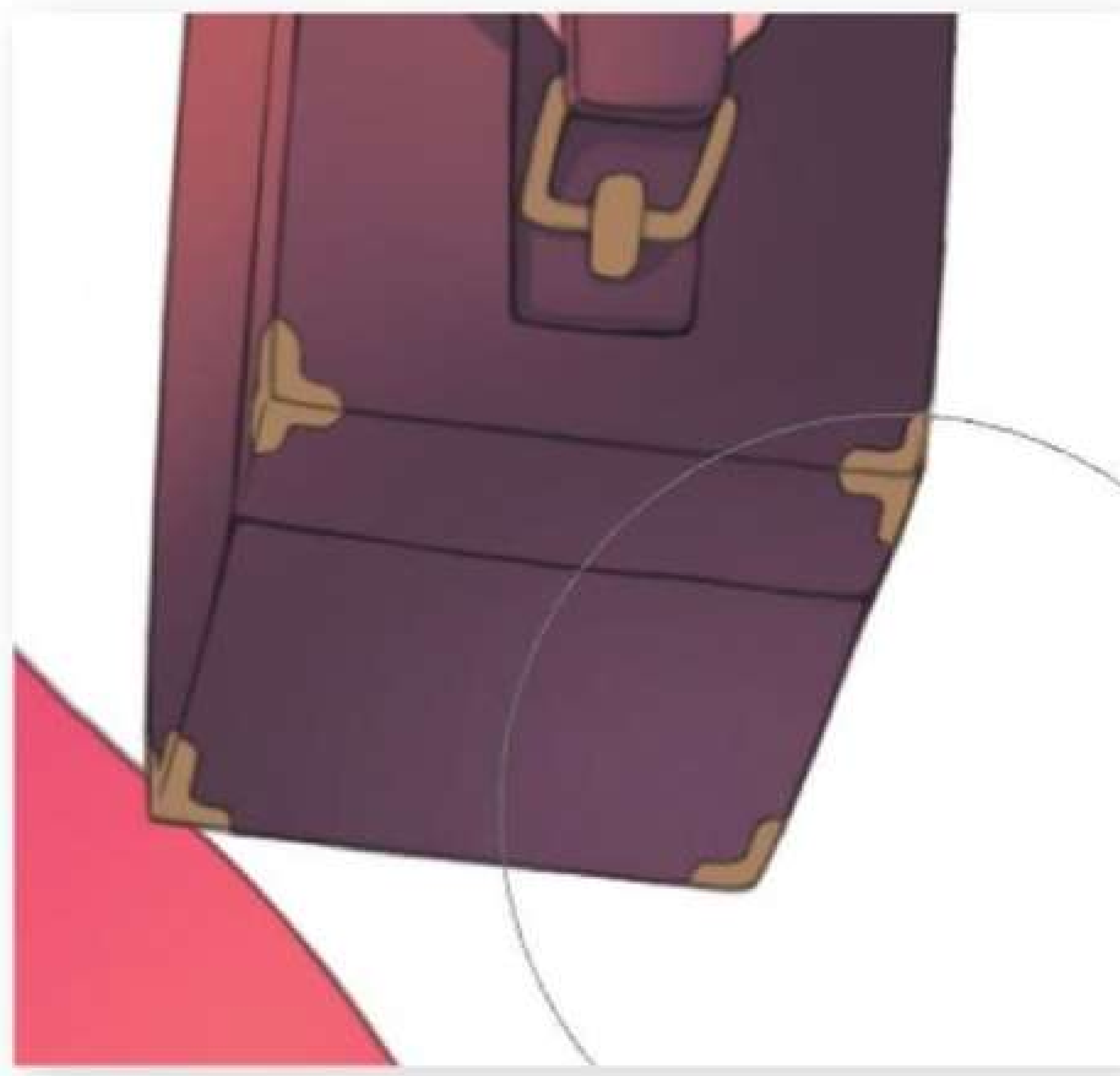
側面の影の端のほうは、「覆い焼き」ツールで光を入れました。




①「影2」レイヤーを選択中です

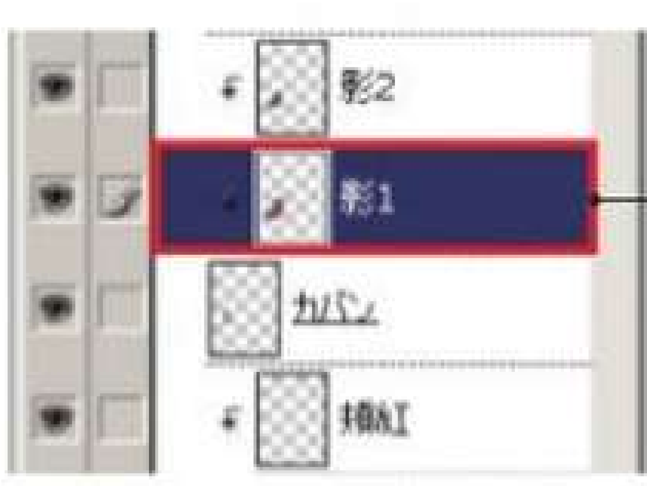



②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「400」にしました

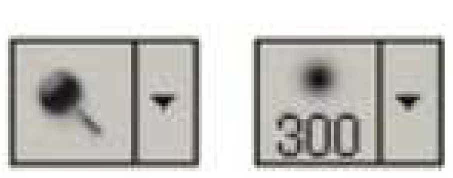


12

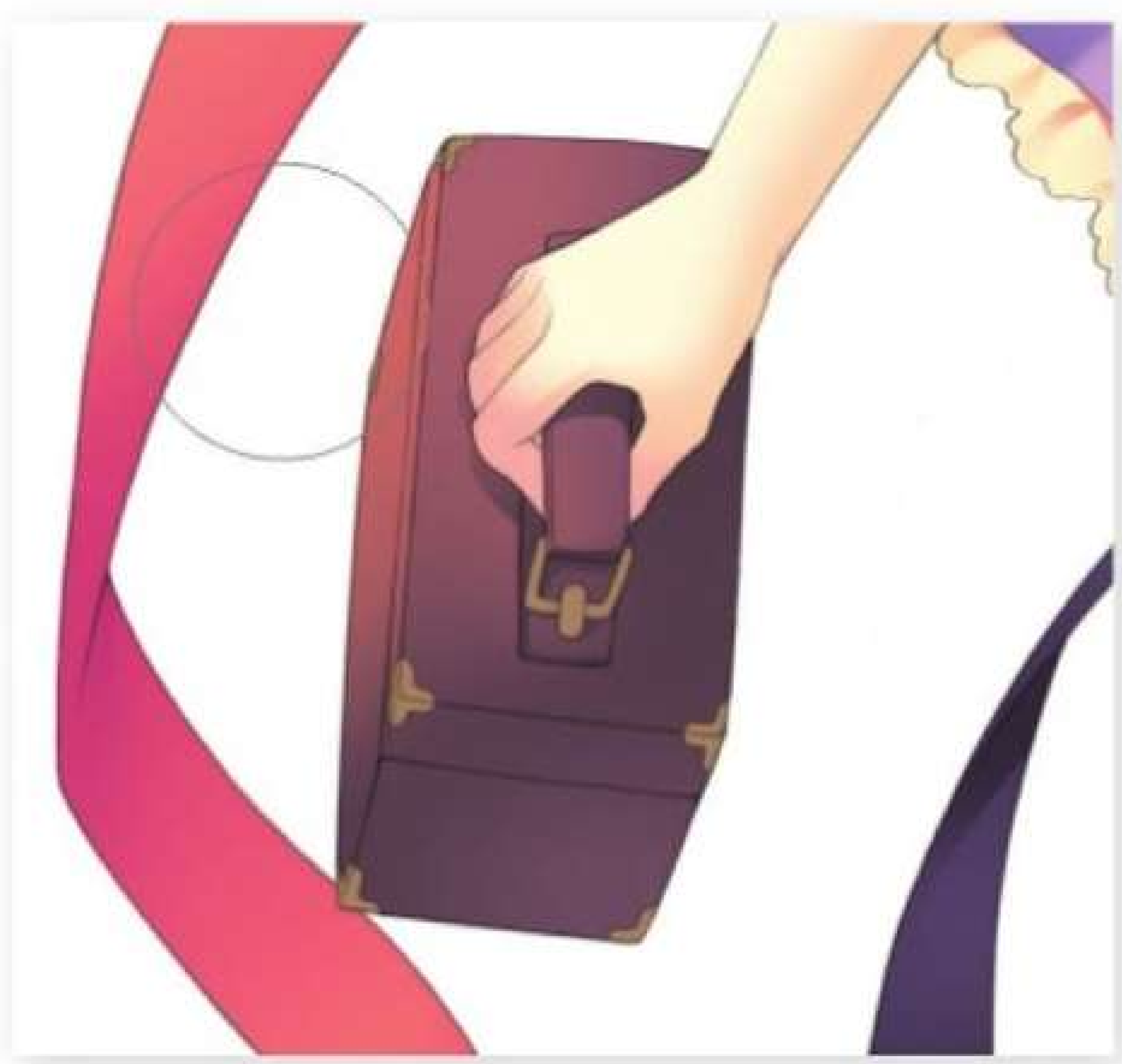
「影1」レイヤーを少し「覆い焼き」ツールで明るくし、カバン本体の完成です。




①「影1」レイヤーを選択しました



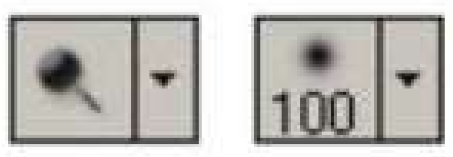

②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「300」にしました



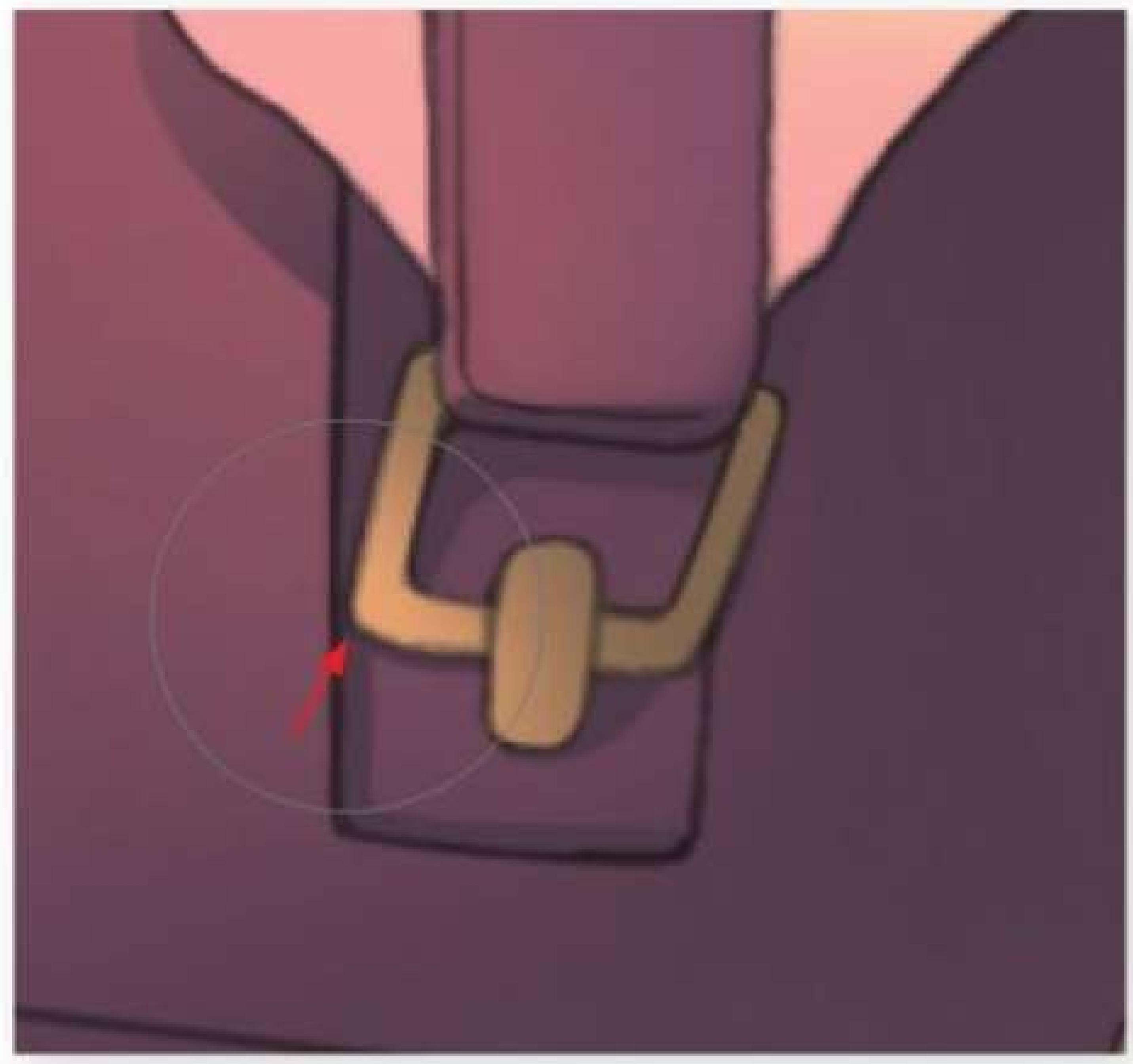
13
カバンの金具に陰影をつけます。こちらも「覆い焼き」ツールで光沢を入れていきますが、この時露光量は少し多めにします（今回は30％に設定しました）。グラデーションになるよう何度かなでるような気持ちで塗ります。



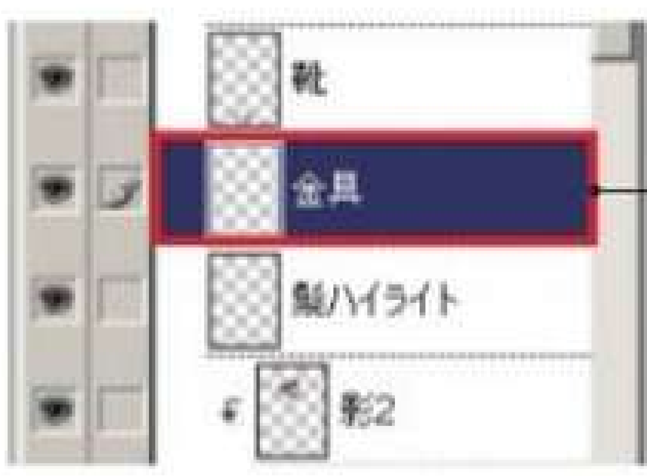
①「金具」レイヤーを選択しました



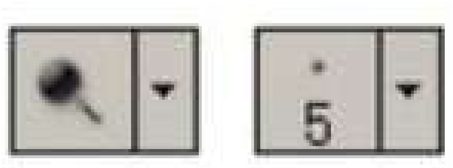
②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「100」にしました



14
グラデーションができたら、今度はもっとはっきりと光を入れます。この時、ブラシはボケ足の少ないものを使うとやりやすいと思います。



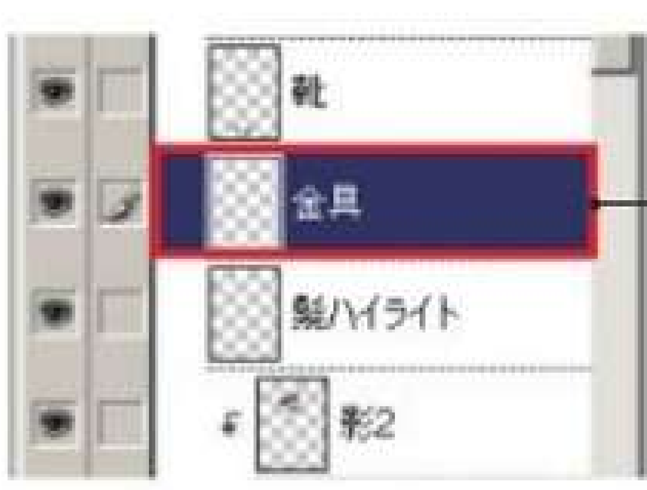
①「金具」レイヤーを選択中です



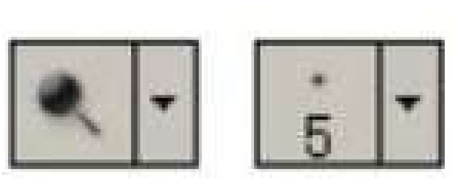
②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「5」にしました



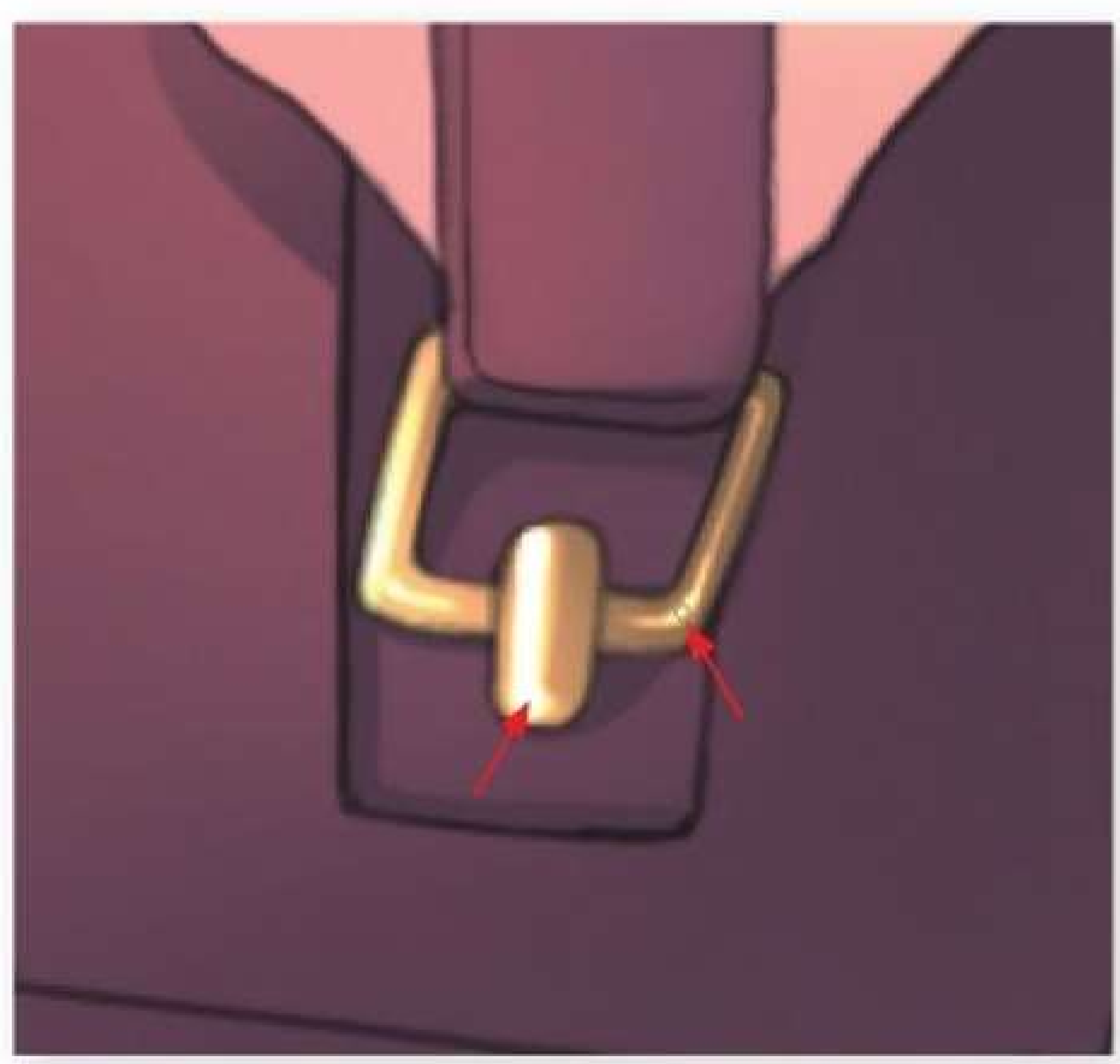
15
「覆い焼き」ツールの露光量が多いと一気に光ってしまうので、調整しながら徐々に塗るようにすると上手くいくでしょう。



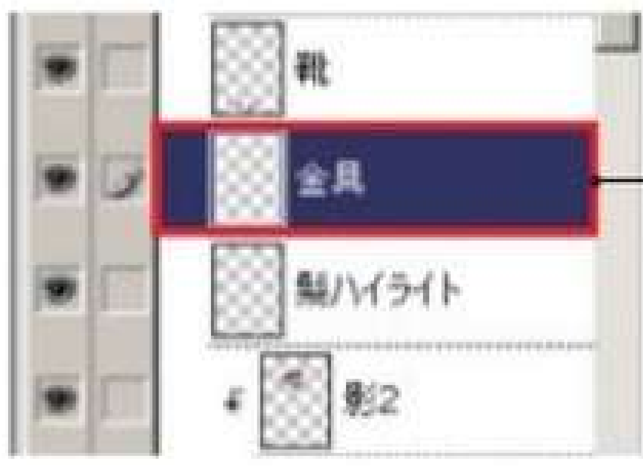
①「金具」レイヤーを選択中です



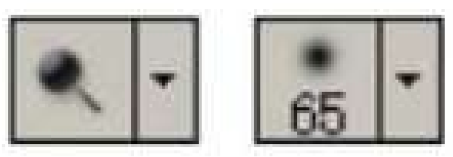
②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「5」にしました



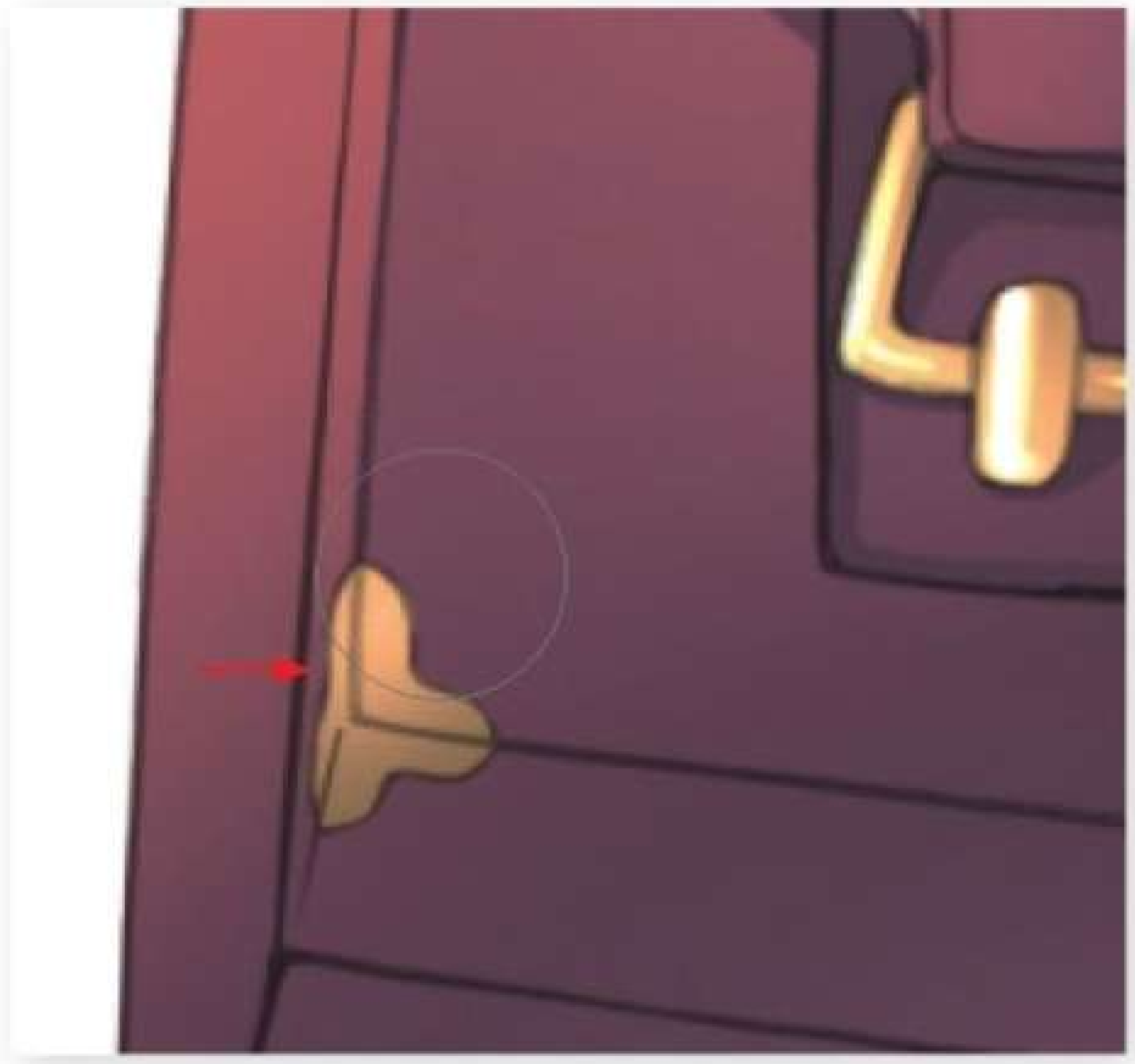
**16** 同じように他の金具も塗っていきます。光源を考えながら塗りましょう。



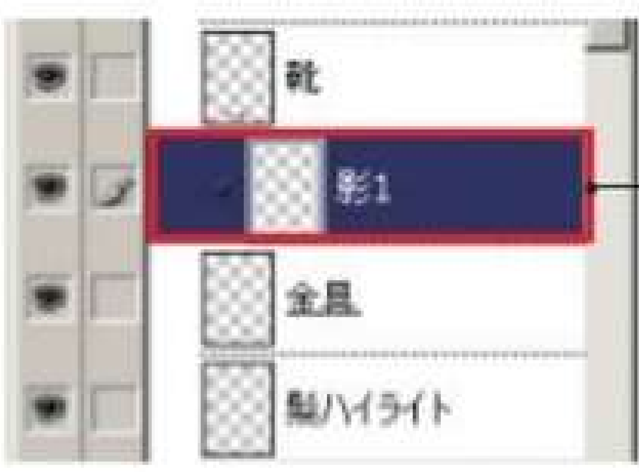

①「金具」レイヤーを選択中です




②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「65」にしました



**17** これだけでもそれなりに見えますが、もう1段影を入れるとより一層質感が出せるようになります。



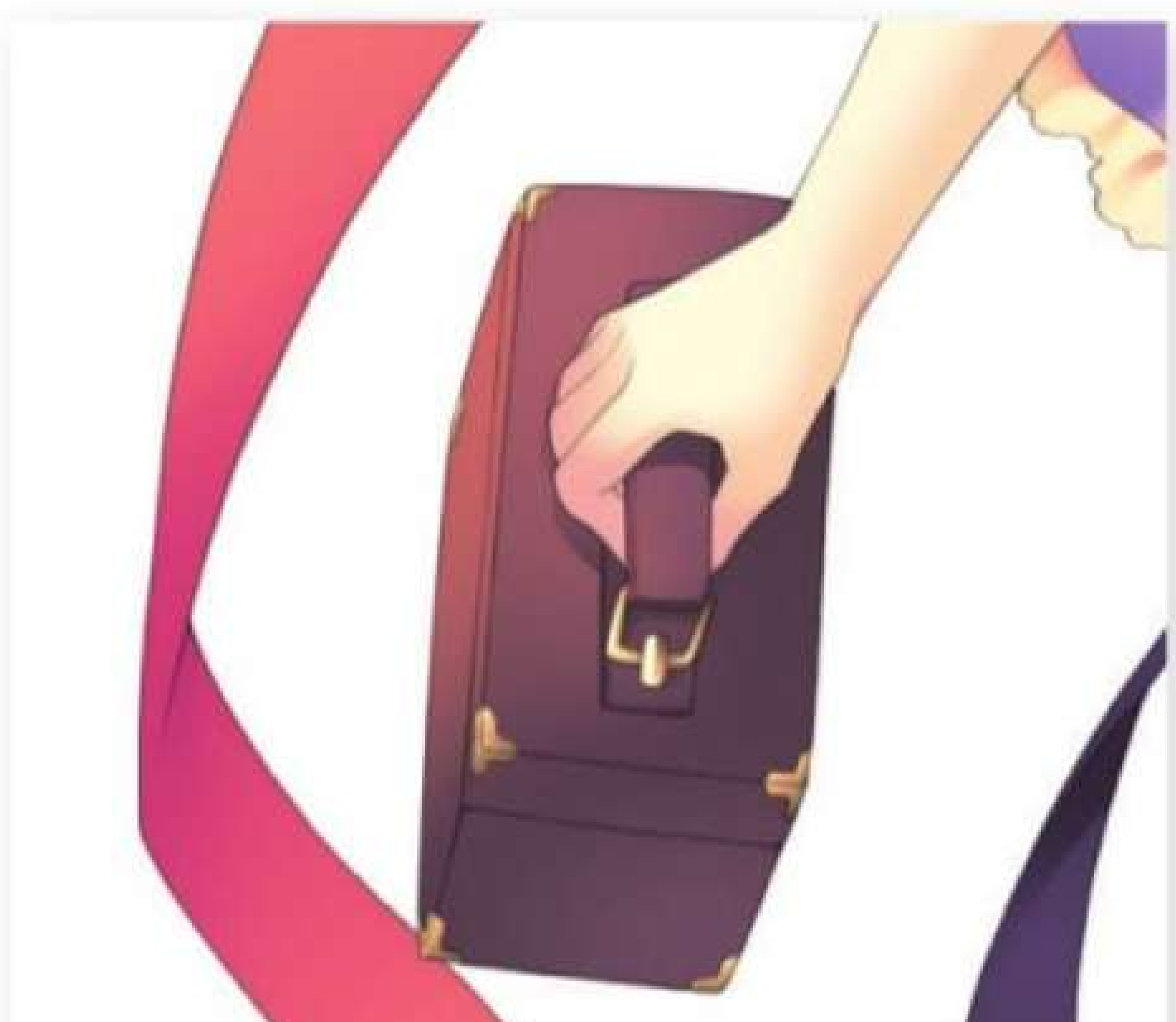

①新規レイヤーを作成し、名称を「影1」に変更しました




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「3」、描画色を設定しました

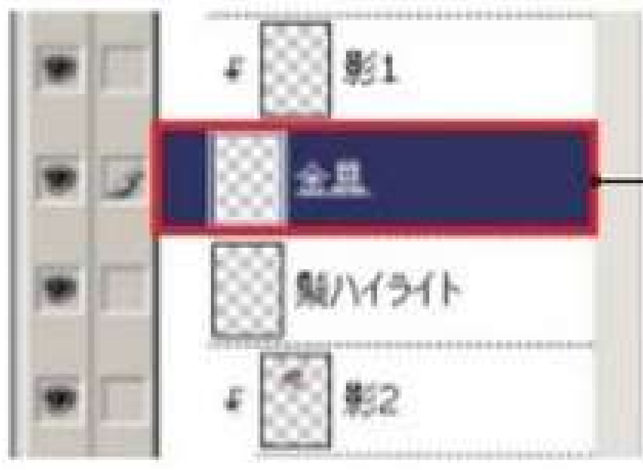


**18** 以上でカバンの完成です。繰り返しになりますが、「覆い焼き」ツールの露光量は調節しながらゆっくりと塗っていくことをお勧めします。露光量が多いと一気に光ってしまうためです。

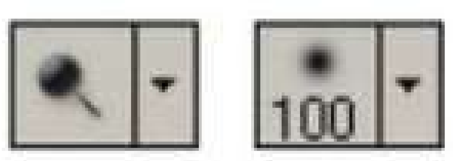


## 靴の陰影の着色

**01** 靴を塗ります。金具の部分は先ほどのカバンと同じ要領で、まず大雑把にハイライトを塗ります。




①「金具」レイヤーを選択しました

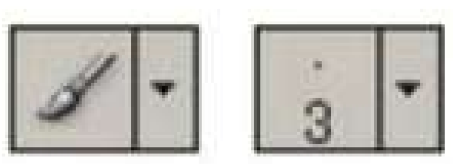



②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「100」にしました



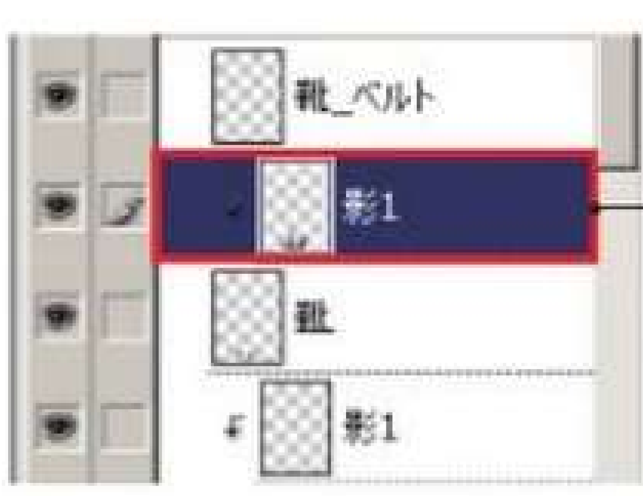


**02** 小さいサイズの「ブラシ」ツールで、仕上げます。金具の塗り方は慣れるととても簡単なので、何度も練習することをお勧めします。




「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「3」にしました

**03** 靴本体を塗ります。ボケ足の大きい「ブラシ」ツールでざっと陰影をつけます。




①「靴」レイヤーの上に新規レイヤー「影1」を作成し、「グループ化」を設定しました

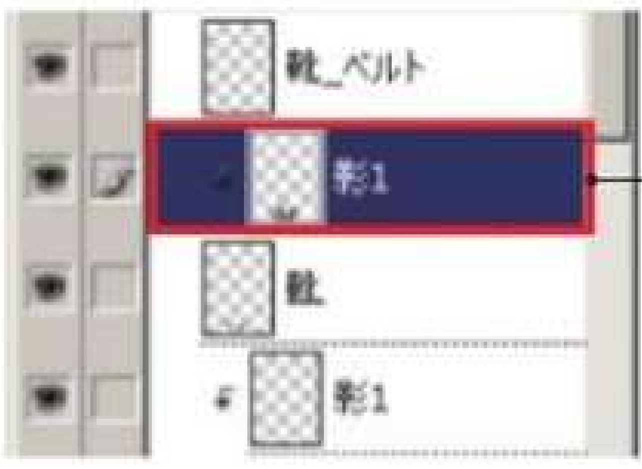



②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「200」、描画色を設定しました

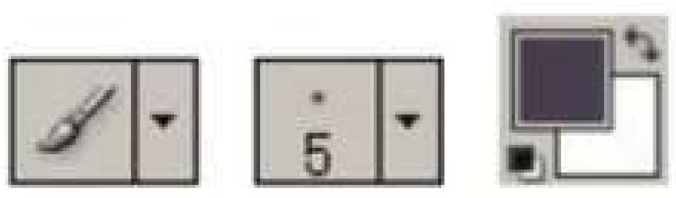




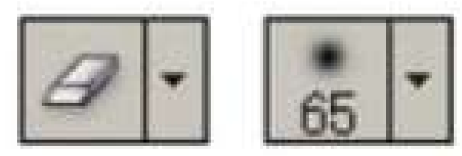
**04** シワなどを入れるとそれらしくなります。先端は馴染むようにぼかしました。




①「影1」レイヤーを選択中です




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「5」、描画色を設定しました




③「消しゴム」ツールを選択し、サイズは「65」にしました



→



**05** 立体感を出すために、もう1段影を入れましょう。




①新規レイヤー「影2」を作成し、「グループ化」を設定しました

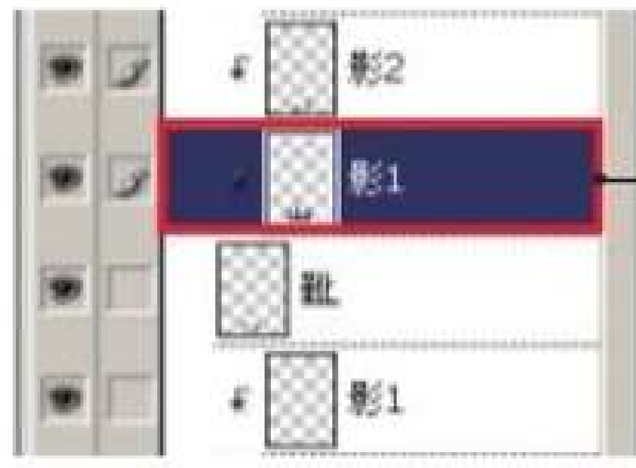



②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「200」、描画色を設定しました

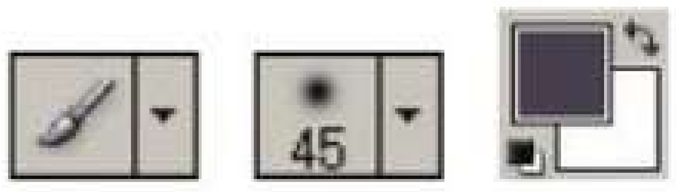


## 06

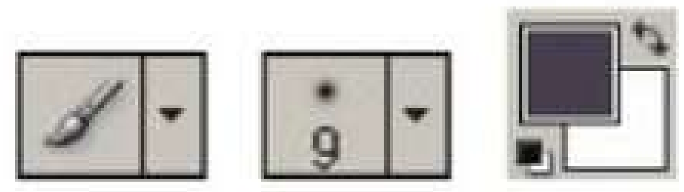
「消しゴム」ツールで影の形を整えながら、細かいところを塗っていきましょう。今回は塗りやすいように、ベルトの部分は別レイヤーに分けておきました。




①「影1」レイヤーを選択中です




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「45」、描画色を設定しました




③「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「9」、描画色を設定しました





## 07

段差のある部分などを中心に塗ります。



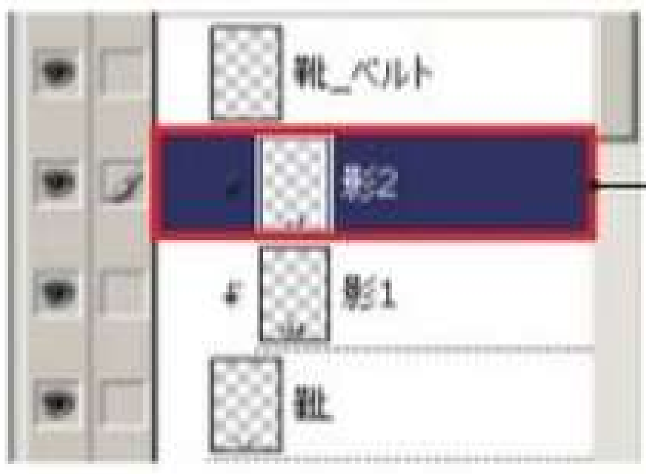

①「影2」レイヤーを選択しました



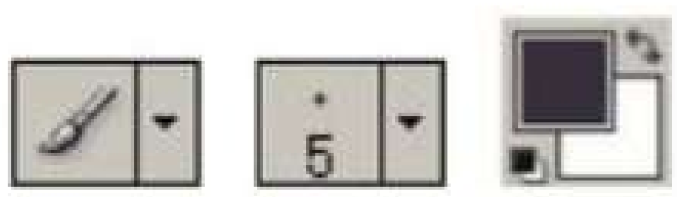

②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「5」、描画色を設定しました



## 08 ベルトの影を描きます。



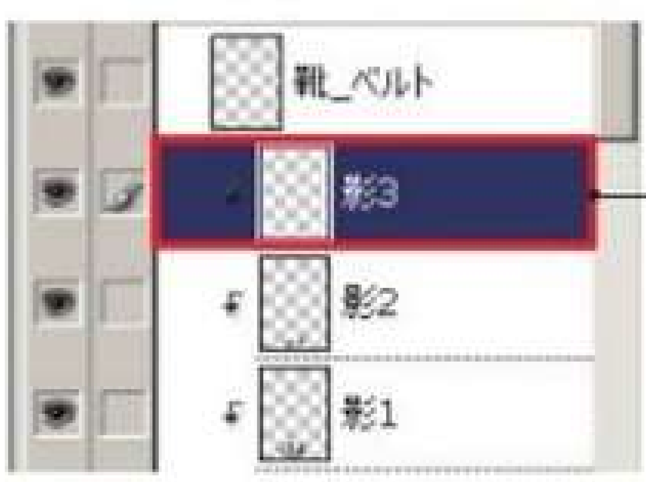

①「影2」レイヤーを選択中です



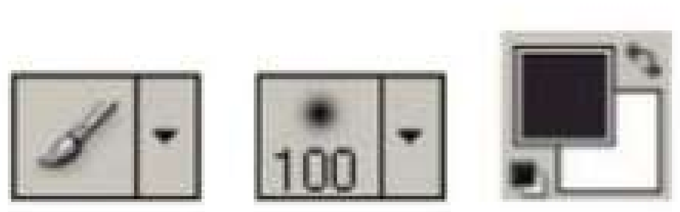

②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「5」、描画色を設定しました



## 09 今回はもうちょっと立体感を出したいので、もう1段影を入れました。



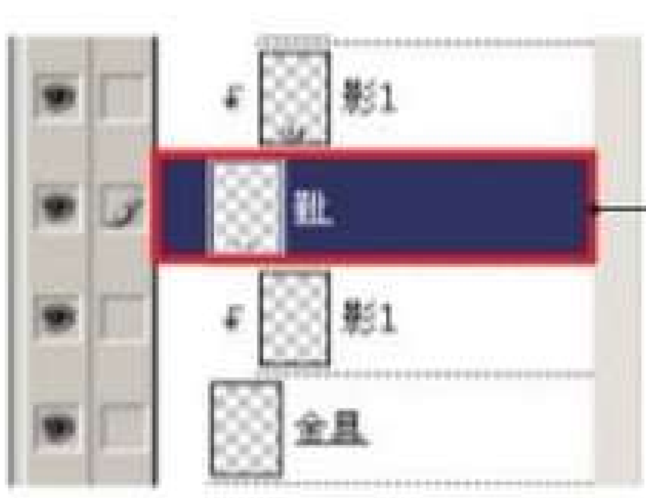

①新規レイヤー「影3」を作成し、「グループ化」を設定しました



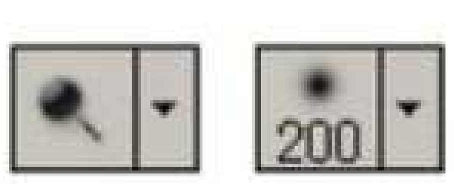

②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「100」、描画色を設定しました



## 10 最後に、ベースのレイヤーに「覆い焼き」ツールでツヤを入れれば出来上がりです。




①「靴」レイヤーを選択しました



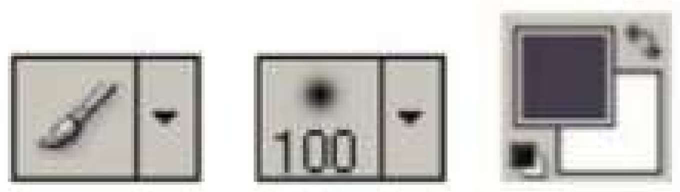

②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「200」にしました



## 11 次はパーツ分けをしておいたベルトの部分を塗ります。




①「靴_ベルト」レイヤーの上に新規レイヤー「影1」を作成し、「グループ化」を設定しました



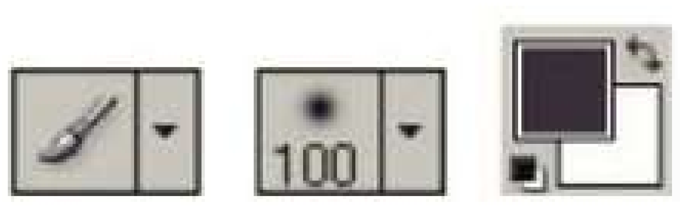

②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「100」、描画色を設定しました



## 12 本体と同じように、2段目の影を塗り重ねていきましょう。




①新規レイヤー「影2」を作成し、「グループ化」を設定しました



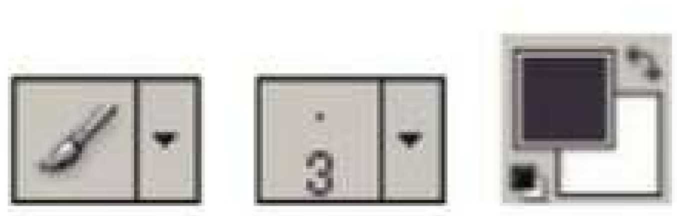

②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「100」、描画色を設定しました



## 13 飾りの部分の穴などにも影を入れると、さらに立体感が出ます。




①「影2」レイヤーを選択しました




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「3」、描画色を設定しました

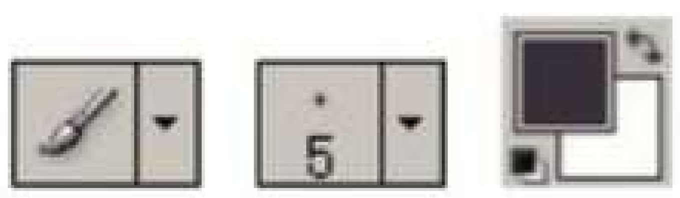


## 14

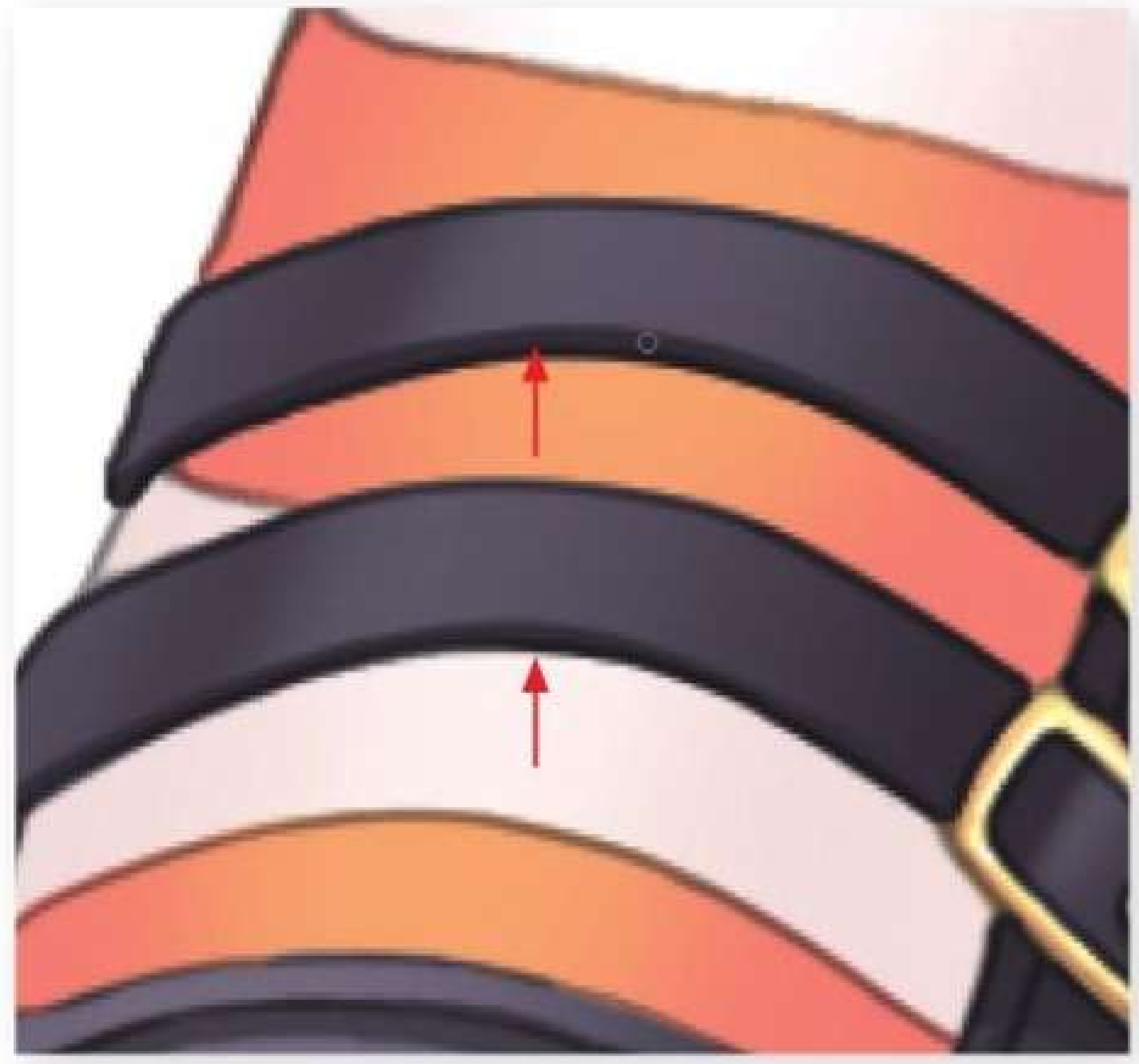
ベルトの厚みも忘れずに描きます。ブラシはボケ足の少ないもので塗りましょう。




①「影2」レイヤーを選択中です

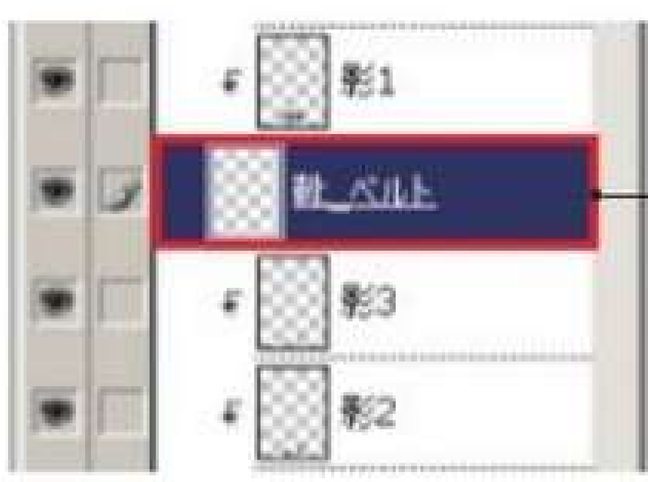



②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「5」、描画色を設定しました

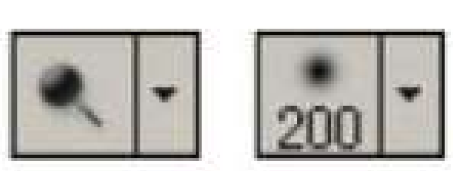


## 15

ベルトのベースも「覆い焼き」ツールで明るくします。




①「靴_ベルト」レイヤーを選択しました




②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「200」にしました



## 16

以上で靴の完成です。

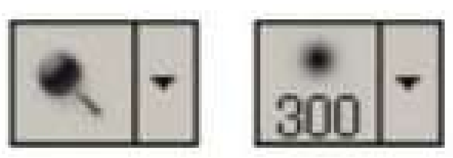


## プレートの陰影の着色

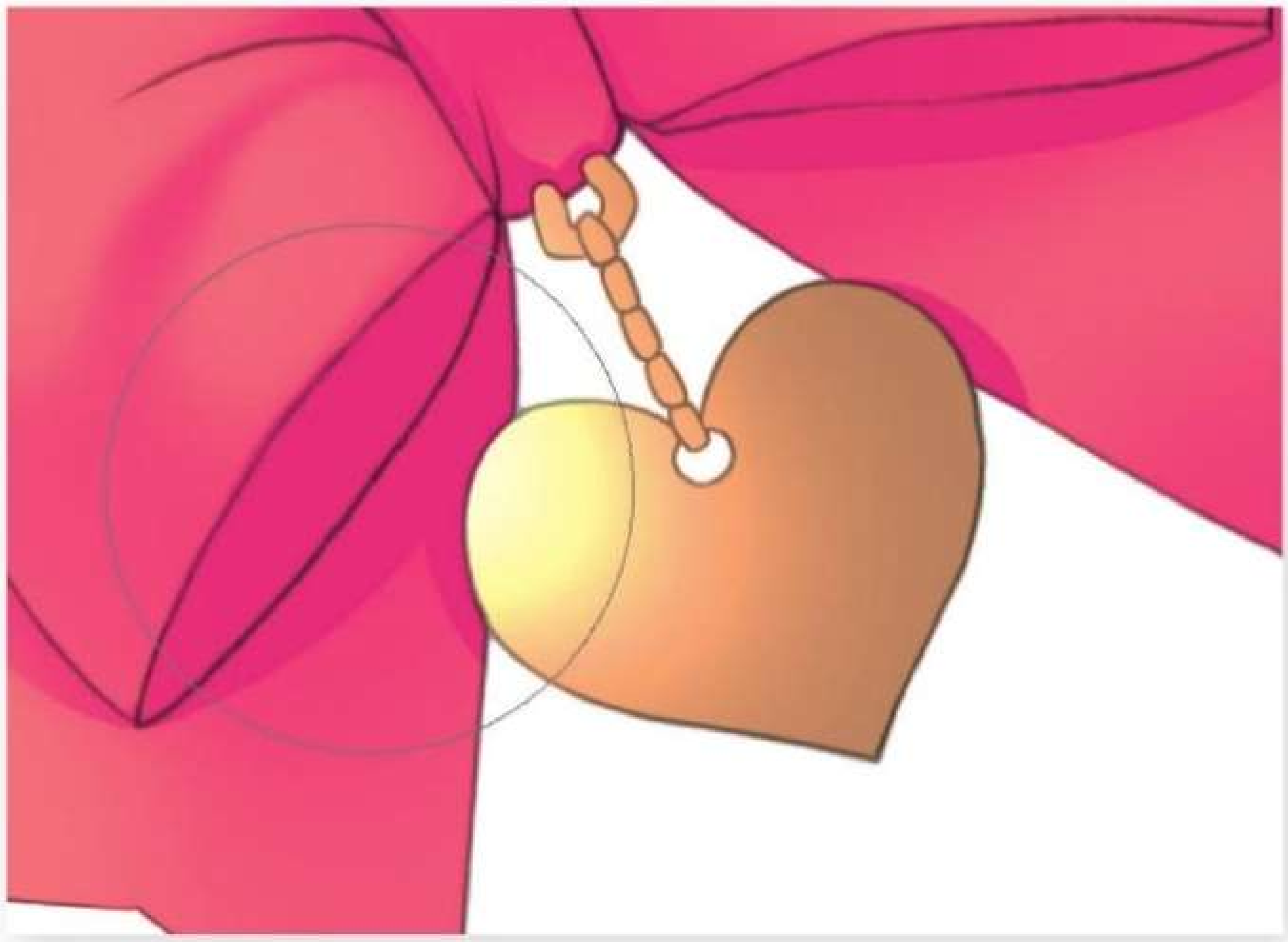
01 リボンについた、ハート型のプレートを塗ります。先ほどの金具と同じように、「覆い焼き」ツールを使います。




①「ハート」レイヤーを選択しました



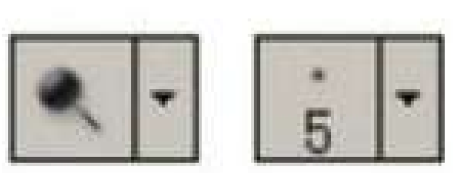

②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「300」にしました



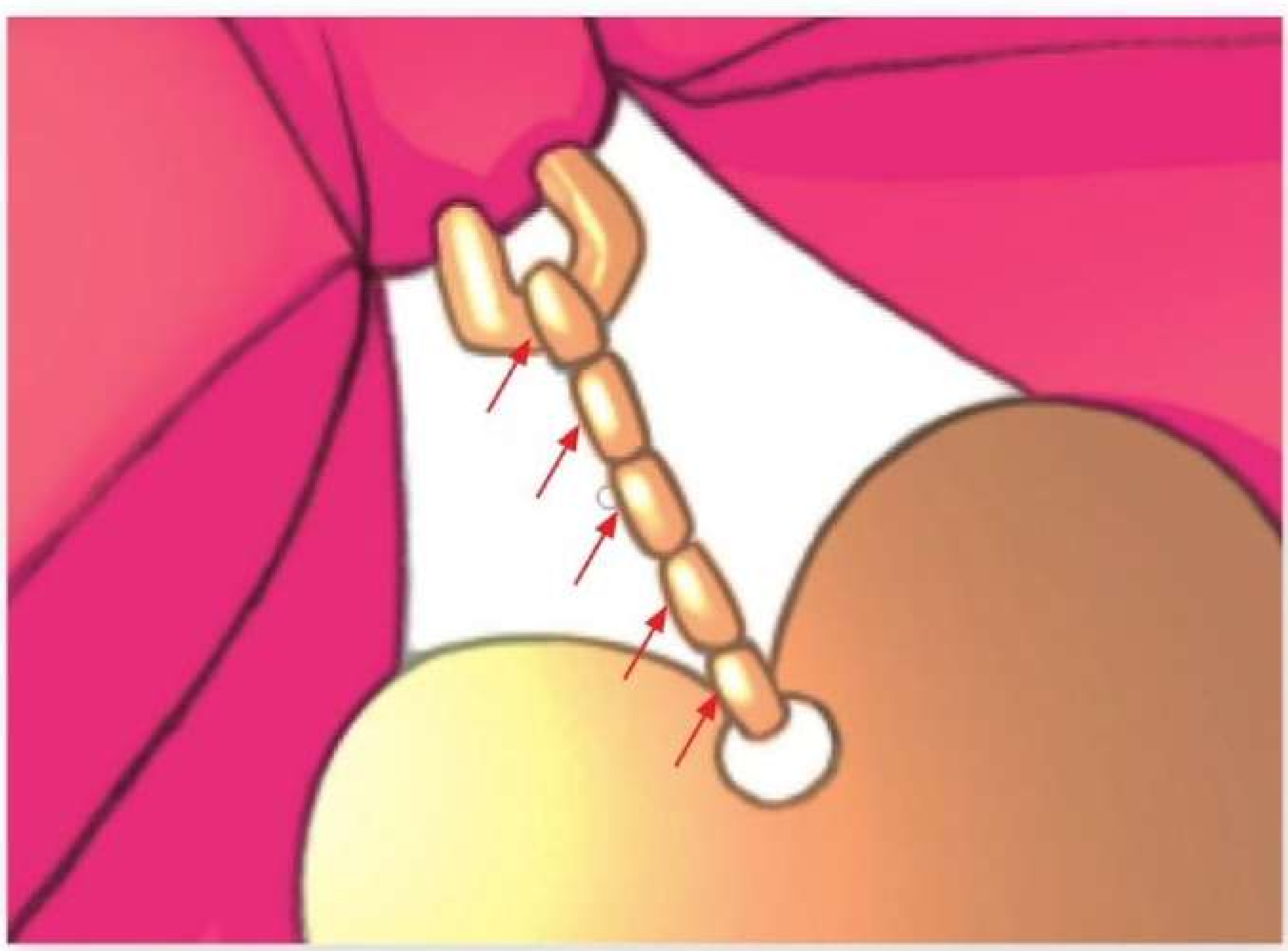
02 本体にグラデーションをかけたら、鎖にも細かく光を入れましょう。




①「ハート」レイヤーを選択中です




②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「5」にしました

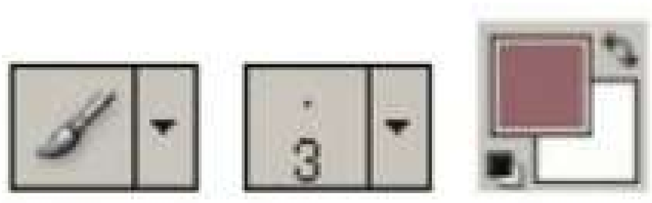


## 03

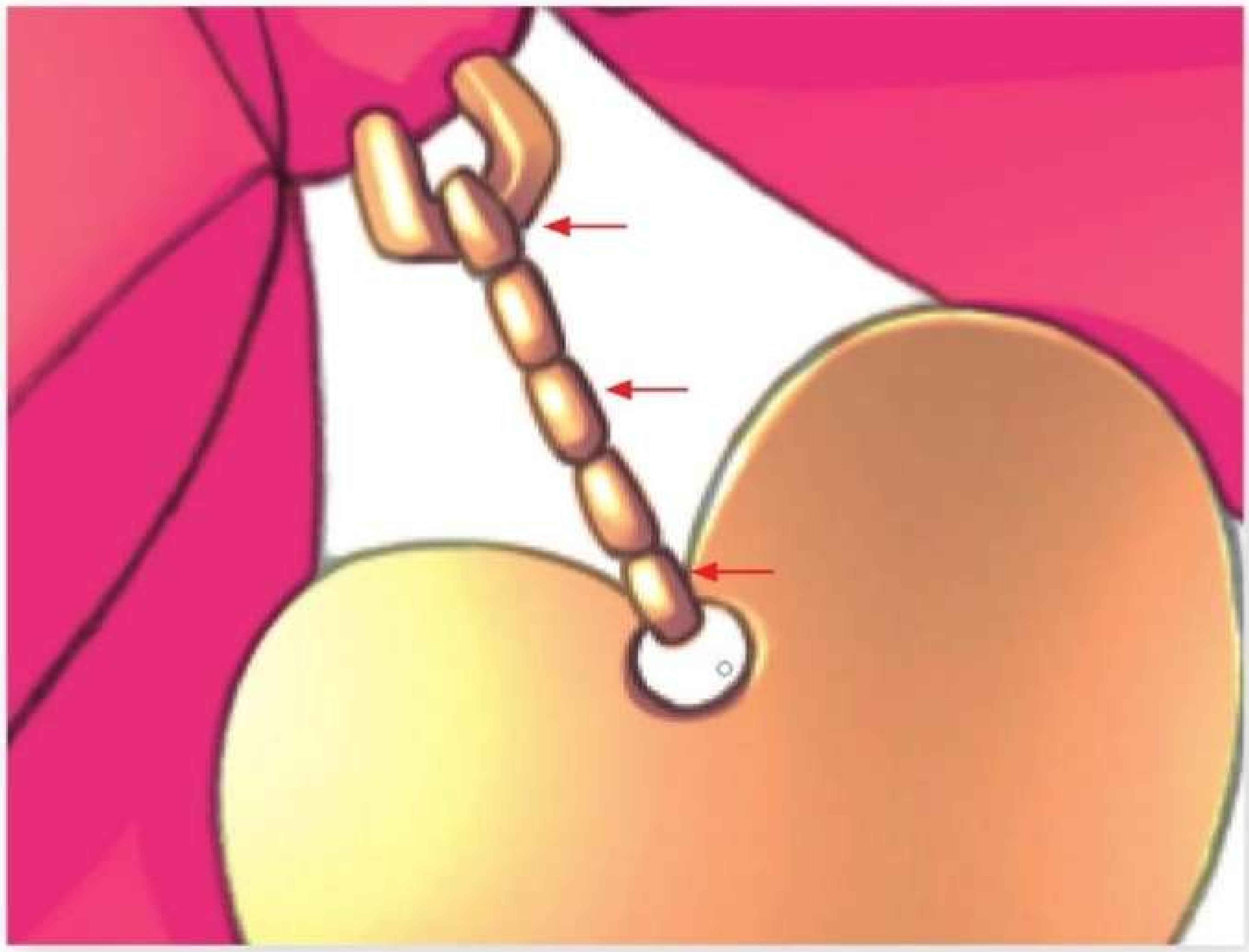
新規のレイヤーを作成し、影を入れます。ベースの色よりも少し赤味のある茶色にしました。




①「ハート」レイヤーの上に新規レイヤー「影1」を作成し、「グループ化」を設定しました




②「ブラシ」ツールを選択し、サイズは「3」、描画色を設定しました

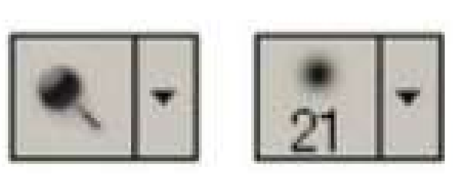


## 04

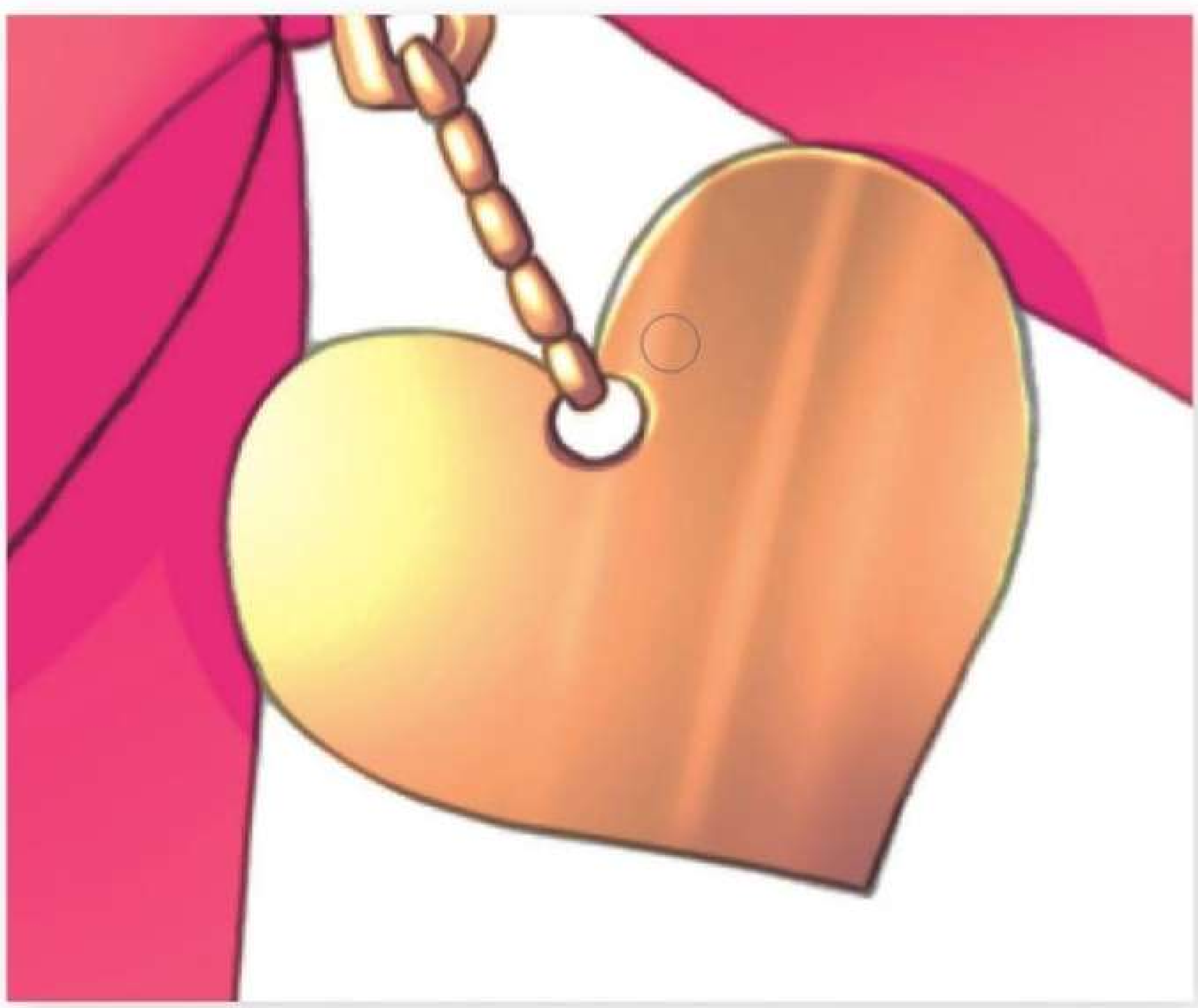
ちょっと寂しいので、「覆い焼き」ツールで斜線を入れてみました。金属らしく見えるでしょうか。




①「ハート」レイヤーを選択中です




②「覆い焼き」ツールを選択し、サイズは「21」にしました



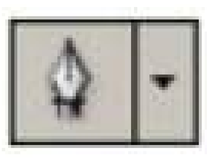
## 襟のラインの着色

01

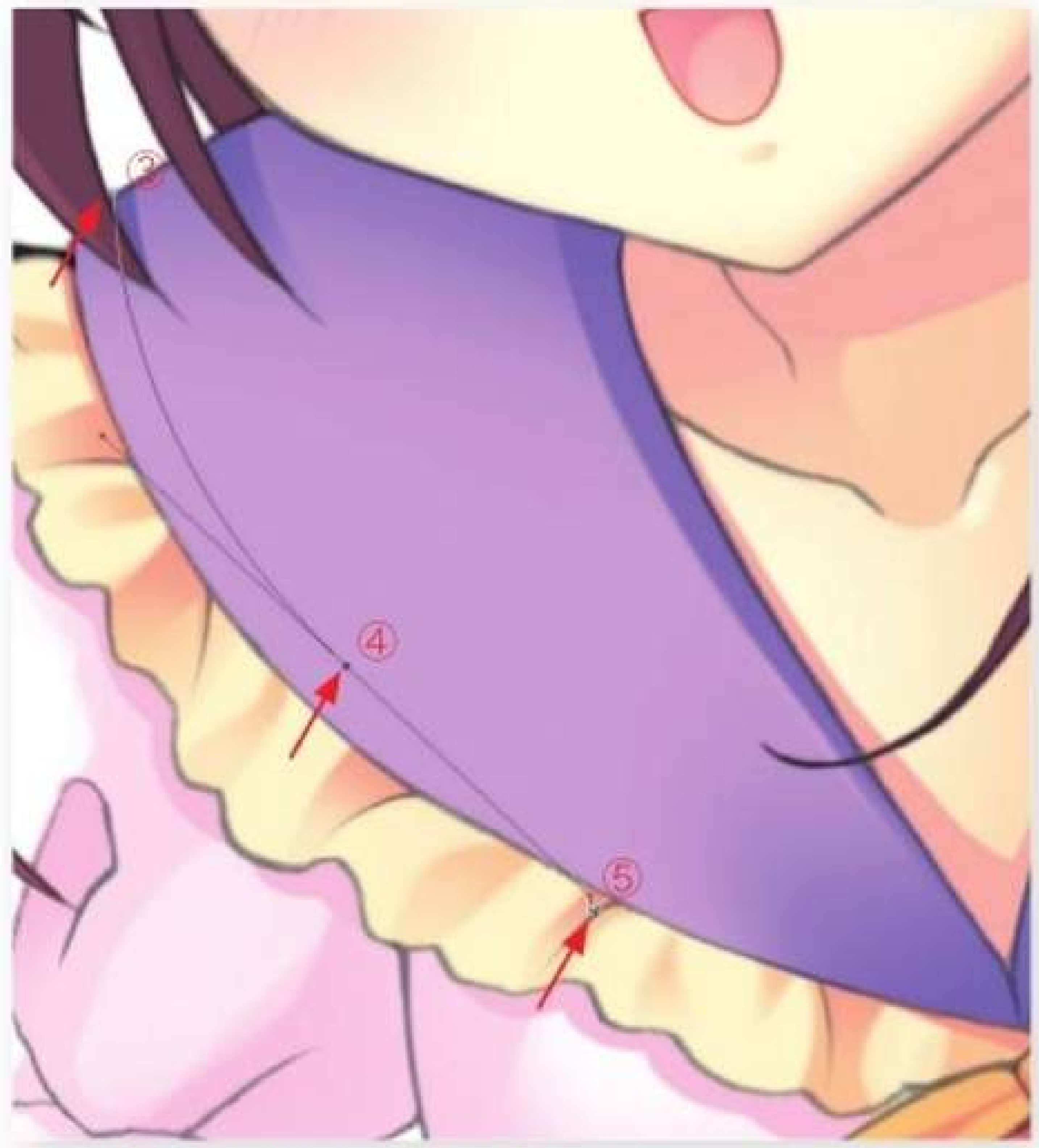
襟に飾りのラインを入れます。この場合、「ブラシ」ツールで描いても構いませんが、ちょっと大変なので「ペン」ツールを使います。まず、開始させたい地点を一度クリックします③。それからカーブさせたいところを一度クリックした状態で、ドラッグさせます④。するとハンドルが表れます⑤。




①ラインを描くための新規レイヤー「ライン」を作成しました



②「ペン」ツールを選択しました



02

その状態のまま終点部分をクリックします。これで作業用のパスが引けました。



03

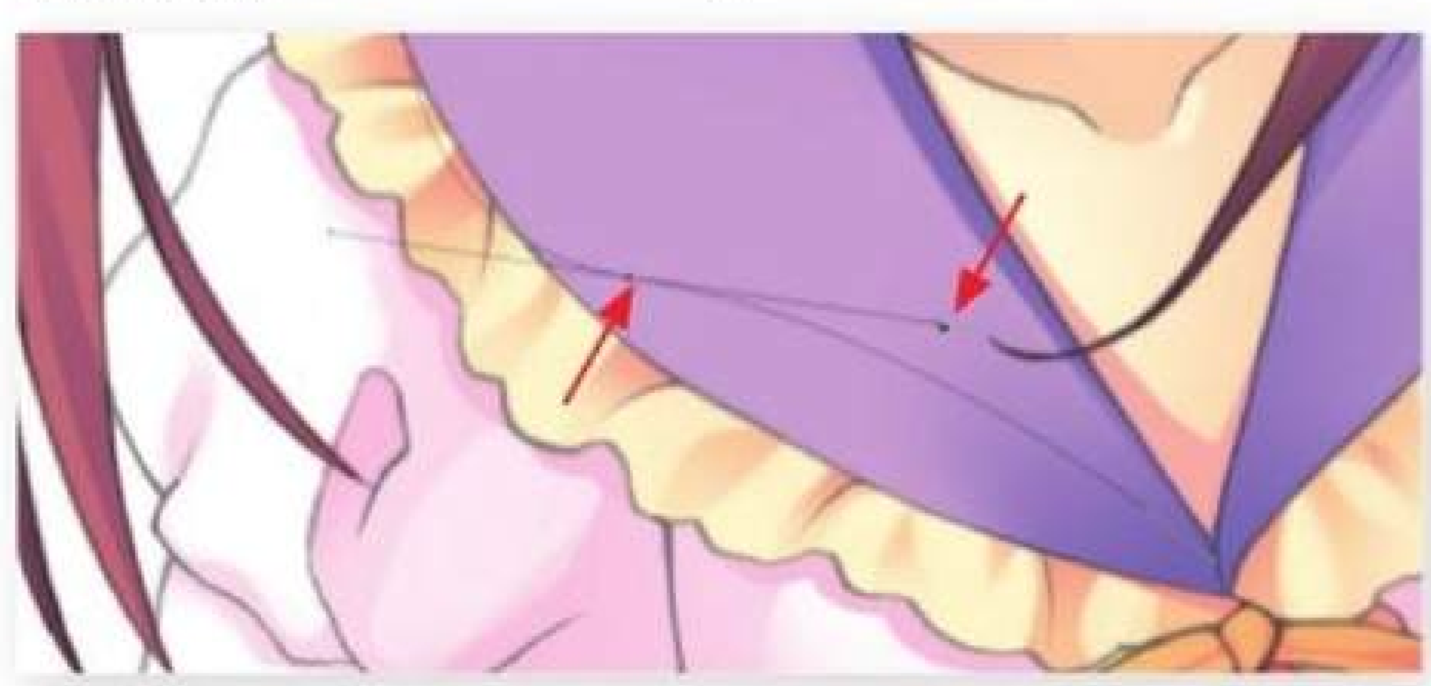
引いたラインが気に入らない時は、「Ctrl」(Win)／「Command」(Mac)キーを押しながらアンカーポイントをドラッグすると好きな位置に移動できるので、調整しましょう。



アンカーポイントを移動させました

04

同じように「Ctrl」(Win)／「Command」(Mac)キーを押しながらハンドルをドラッグすると、カーブの角度などを変更できます。いろいろと試してどんなふうに動くのか、体で覚えてしまうとよいでしょう。



TECHNIQUE

## アンカーポイントを編集する

「ペン」ツールにポインタを合わせて、マウスボタンを押したままにすると、「追加」「削除」「切り替え」などの他の「ペン」ツールを選ぶことができます。




「ペン」ツールのアイコンを押したままにすると、メニューが表示されます

「アンカーポイントの切り替え」ツールは、コーナーポイントとスムースポイントを切り替えることができます。ハンドルの表示されているアンカーポイントをクリックすると、ハンドルが消え、逆にハンドルのないアンカーポイントにはハンドルを出すこともできます。



①アンカーポイントからハンドルが表示されています



②この状態から「アンカーポイントの切り替えツール」でクリックすると、パスが直線になります

「アンカーポイントの追加」ツールはアンカーポイントを後から増やすことができます。失敗しても簡単に直せるので、練習してみてください。

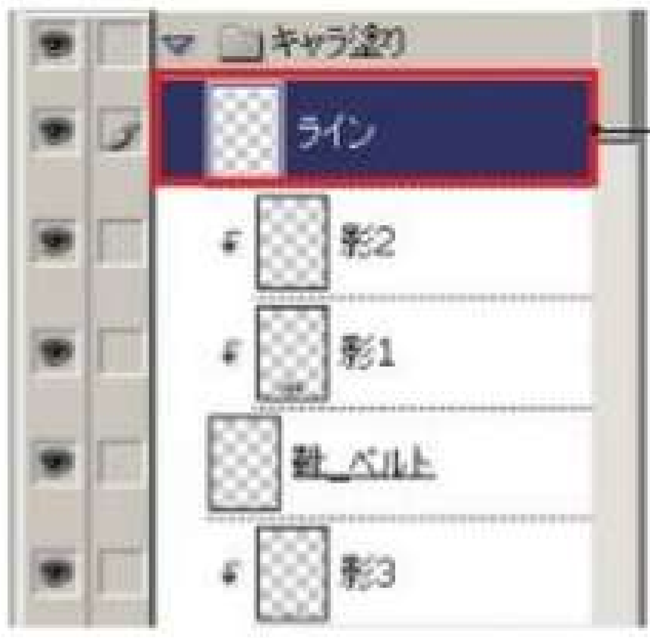


①「アンカーポイントの追加ツール」を選択し、ポイントを追加したいパスの位置にカーソルを移動します

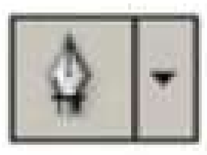


②クリックすると、アンカーポイントが追加されました

05 それではラインの引き方に戻ります。今回は襟の部分にラインを2本描きたいので、同じようにパスを引きます。



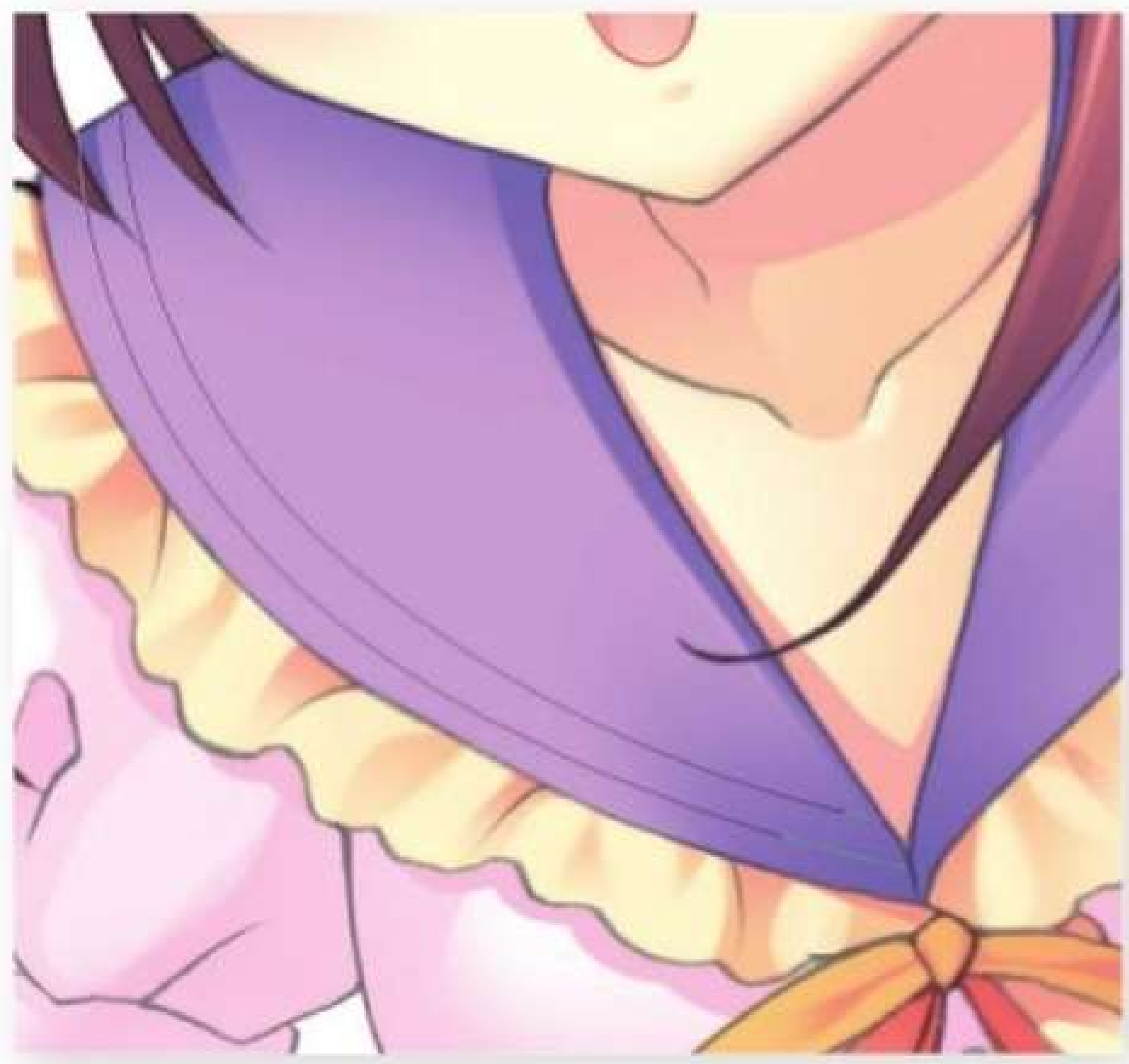

①「ライン」レイヤーを選択中です



②「ペン」ツールを選択しました



06 ラインの位置や丸みを整えて、パスを確定させました。

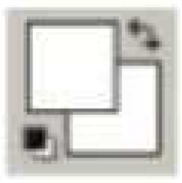


07 次に「レイヤー」パネルの「パス」タブを選択しましょう（表示されていない場合は、メインメニューの「ウィンドウ」メニュー→「パス」を選択すると表示されます）。




Chapter.01 Chapter.02 Chapter.03 Chapter.04

08 線の色と線の太さを選択します。今回の色は白、太さは9pxです。

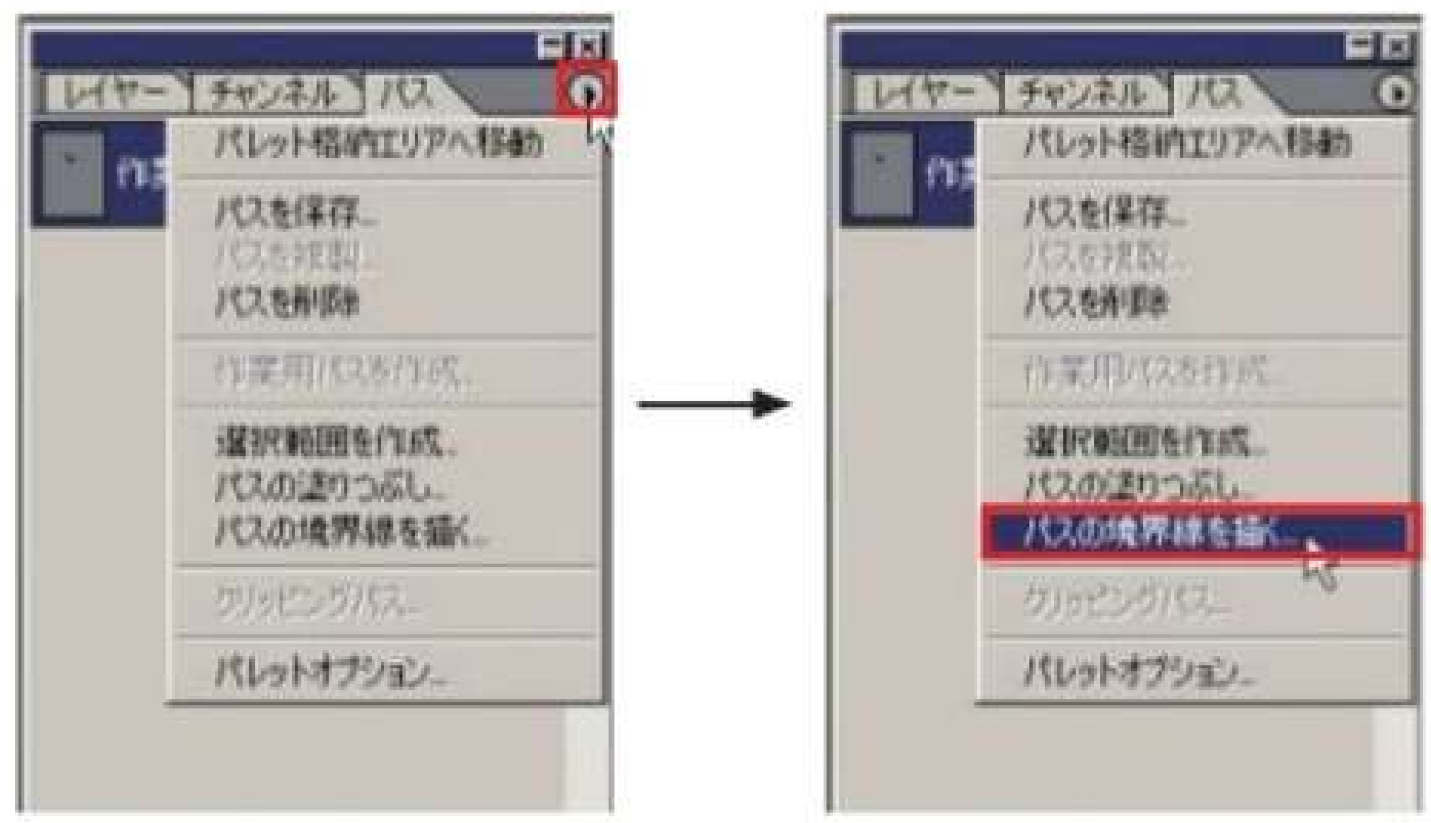


①描画色を選択しました

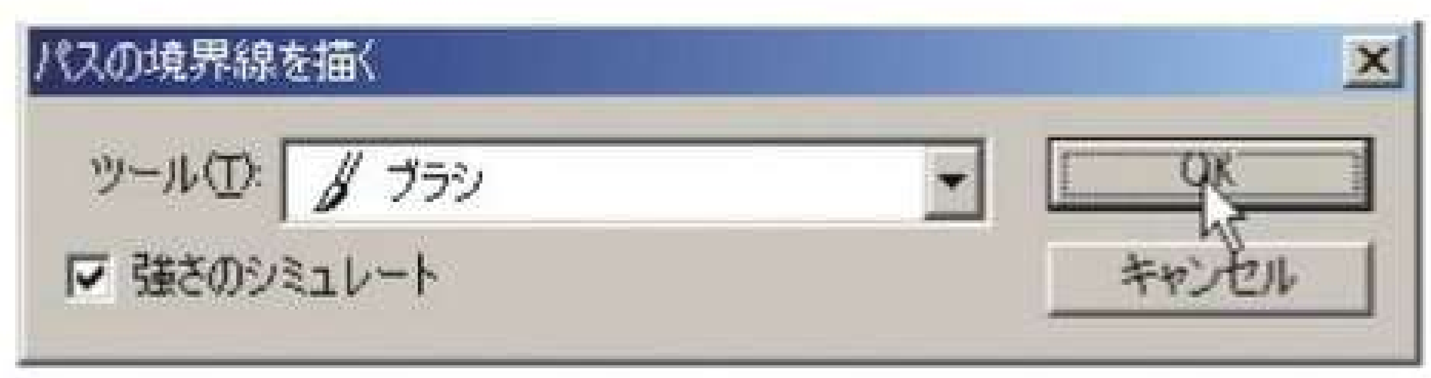


②サイズは「9」を選択しました

09 「作業用パス」がアクティブになっているのを確認してから、「パス」タブの右にあるトグルボタンを選択します。いろいろ項目が表示されるので、「パスの境界線を描く」を選びましょう。




10 メニューから「ブラシ」を選択して「OK」をクリックします。




11 すると図のように、綺麗なラインが引けました。手描きだとなかなか上手く引けない曲線も、「パスの境界線を描く」を使えば簡単にできてしまいます。

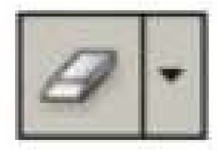


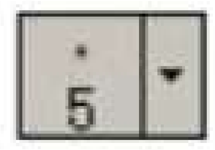
12 作業用パスは必要なければ捨ててしまいましょう。その後「レイヤー」タブを選択してレイヤーに戻り、はみだした部分を綺麗に消してラインの出来上がりです。




①「レイヤー」タブを選択しました

②「ライン」レイヤーを選択中です





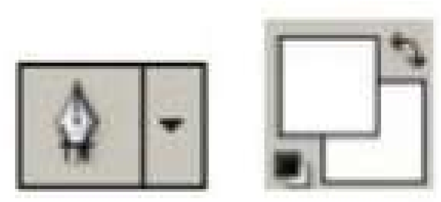

③「消しゴム」ツールを選択し、サイズは「5」にしました



13 同じように反対側の襟にもパスを引きます。




①「ライン」レイヤーを選択中です



②「ペン」ツールを選択し、描画色を設定しました

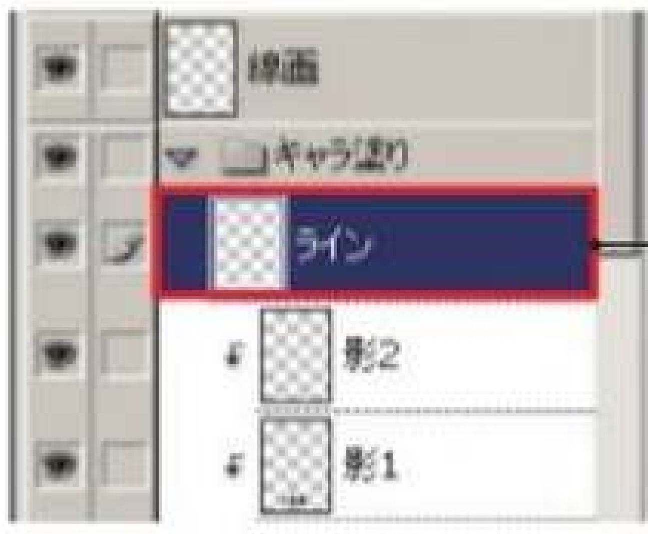


14 襟のラインが引けました。このような感じで、スカートの裾にもラインを引きます。

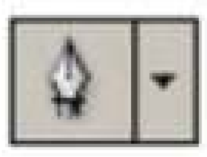


## スカートのラインの着色

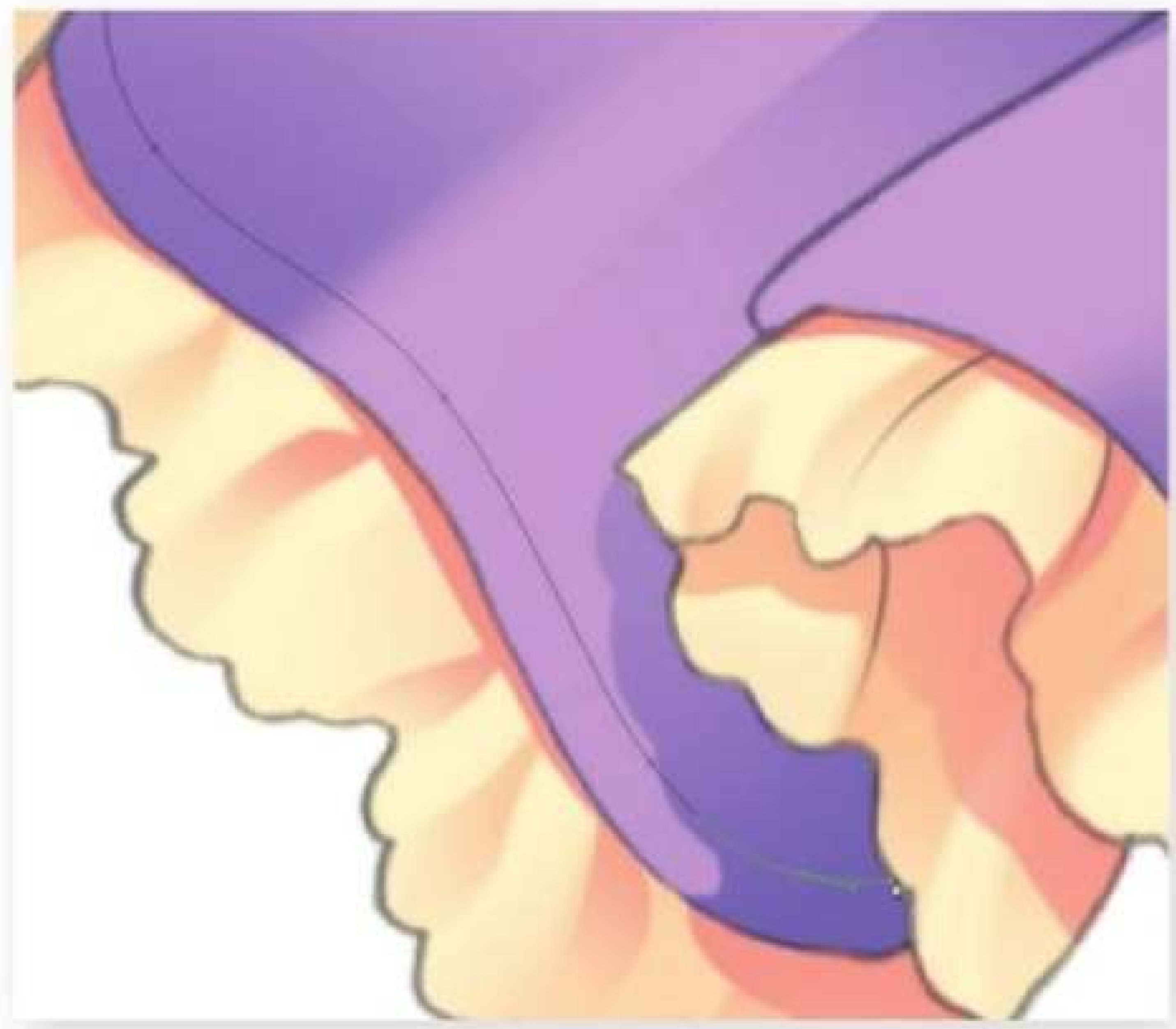
**01** スカートは襟の部分よりもカーブが多いので大変ですが、根気よく引いていきましょう。練習あるのみです！




①「ライン」レイヤーを選択中です



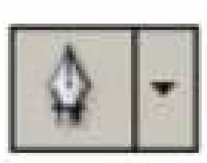
②「ペン」ツールを選択しました



**02** このような感じに引けました。あとは綺麗に整えて完成です。



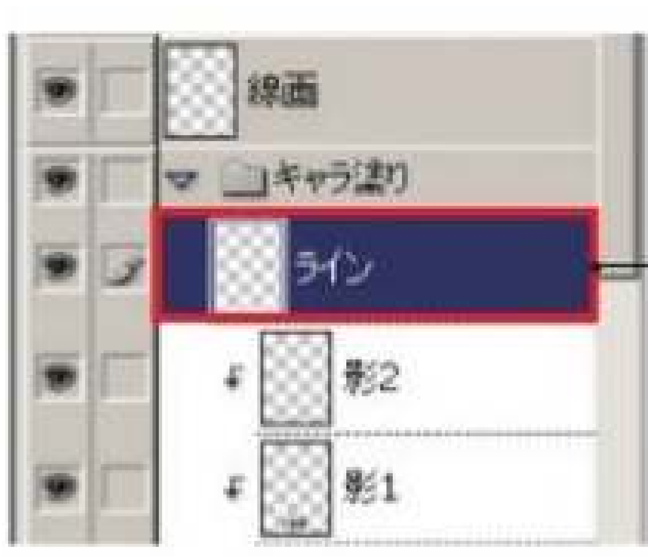

①「ライン」レイヤーを選択中です



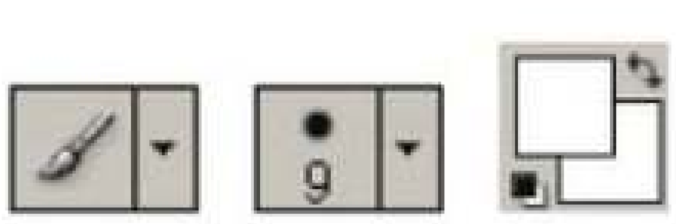
②「ペン」ツールを選択しました



**03** 「パスの境界線を描く」を選択して、ラインを引きます。




①「ライン」レイヤーを選択中です



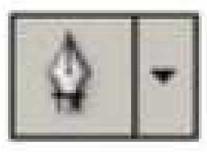

②「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「9」、描画色を設定しました



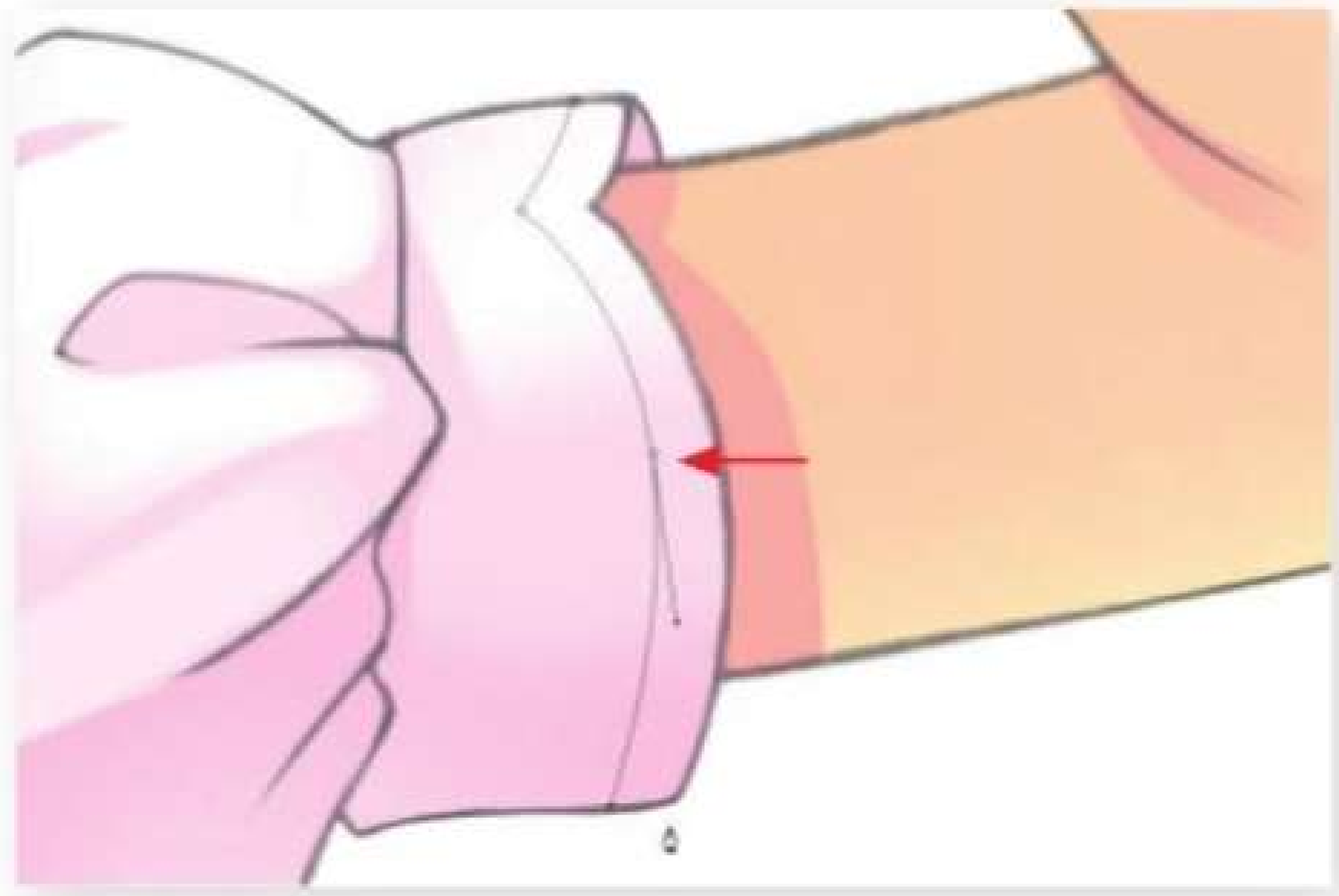
## 04 同じように、そでの部分にも1本だけラインを入れます。




①「ライン」レイヤーを選択中です

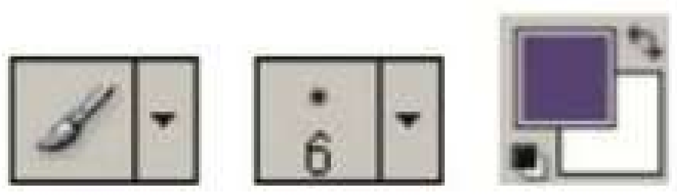


②「ペン」ツールを選択しました



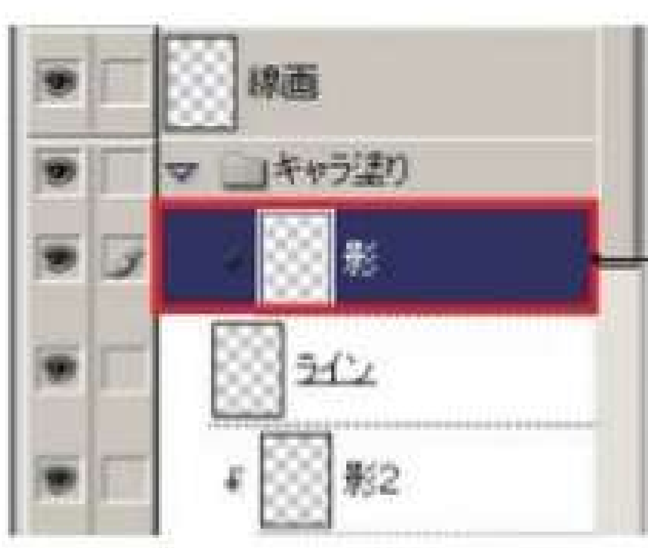


## 05 「パスの境界線を描く」を選択して、ラインを引きます。




「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「6」、描画色を設定しました

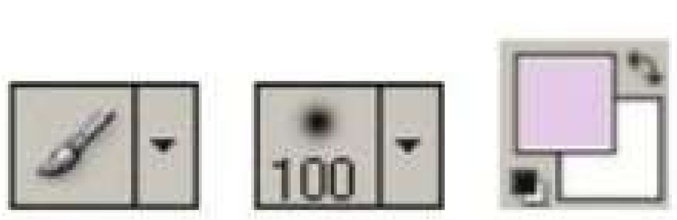
## 06 パスでラインが引けたら、他の部分と同じように新規レイヤーを追加して、ラインの上に影を塗ります。服の影の形に合わせて塗ると、馴染みます。




①「ライン」レイヤーの上に新規レイヤーの「影」を作成し、「グループ化」を設定しました




②「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「200」、描画色を設定して襟を塗りました




③「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「100」、描画色を設定してスカートを塗りました





07 これでキャラクターの塗りはひとまず完成です。



## 線画の着色

01 このままでキャラの着色を完成としてもいいですが、さらに線画の色を変えて全体に馴染んだ雰囲気にしてみましょう。新規に「グループ化」を設定したレイヤーを作成し、線画の上に色を塗ります。まずは肌色に合わせて、茶色系の色で塗ります。






①「線画」レイヤーの上に新規レイヤー「肌」を作成し、「グループ化」を設定しました




②「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「45」、描画色を設定しました

02 たまに「グループ化」を外して、塗りもれがないかを確認します。



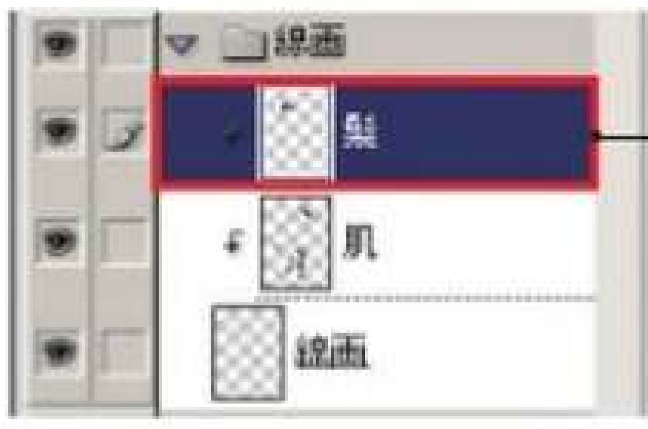
②グループが解除されたので、大雑把に塗ったカラーがそのまま表示されました



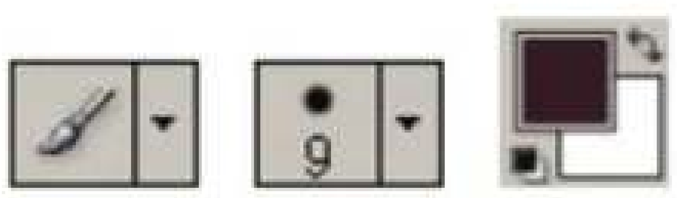

①「肌」レイヤーの「グループ化」を解除しました

## 03

同様に、髪など他の線画の色も変更しましょう。線画塗りつぶしのレイヤーはパーツごとに分けて塗ったほうが、あとで色の変更がしやすいです。




①新規レイヤー「髪」を作成し、「グループ化」を設定しました




②「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「9」、描画色を設定しました



## 04

フリルなどの線画は非常に細かいですが、根気よく塗っていきましょう。




①新規レイヤー「フリル」を作成し、「グループ化」を設定しました




②「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「23」、描画色を設定しました



## 05

カバンと背景のリボンなどの線画の色を塗って、色変え完成です。



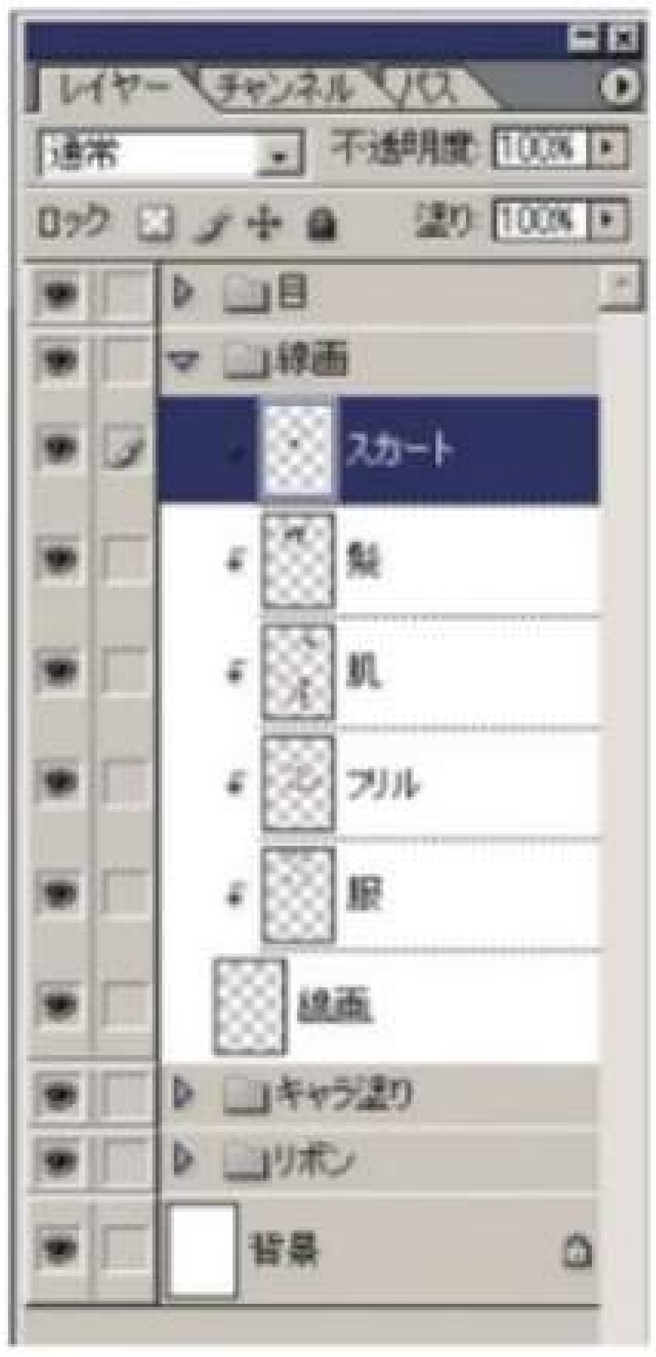

①新規レイヤーの「リボン」や「カバン」を作成し、「グループ化」を設定しました




②「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「50」、描画色を設定しました



06 このような感じで、キャラの線画の色変更ができました。塗る前より華やかな印象に見えると思います。




完成した状態のレイヤーです





②線画の色変更は上のように描画しました

07 ちなみに、レイヤーのグループ化を解除すると図のような感じになります。帽子のリボンや靴は黒っぽい色なので、あえて黒のままにしました。



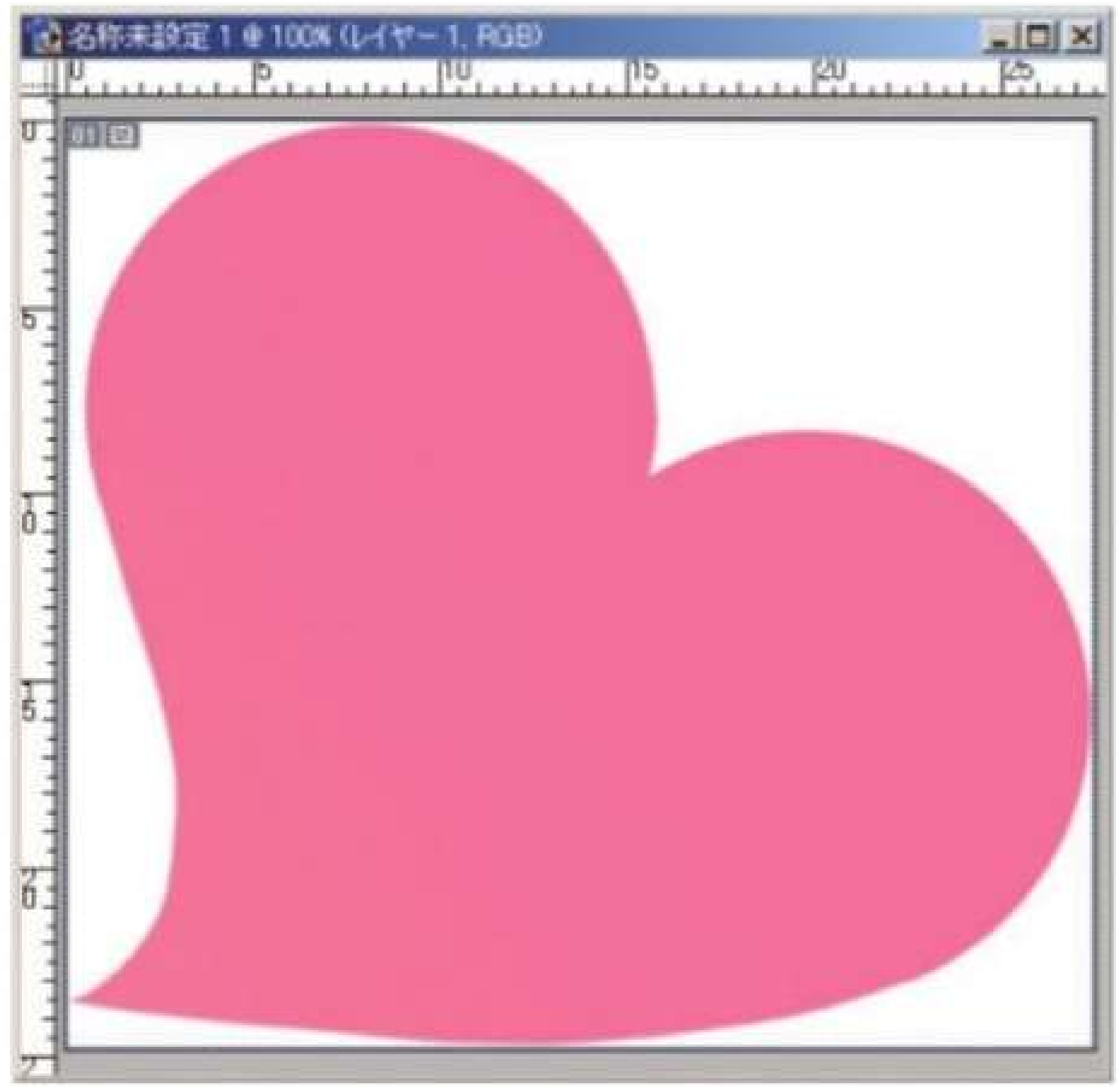

①「線画」レイヤーに設定したすべてのグループを解除しました

## 背景のデザイン

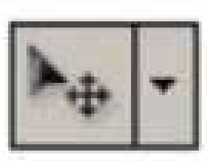
**01** 背景のデザインをします。今回はラフの段階で描いてあったハートをちりばめてみましょう。まず、新規のファイルを作成し、ハートのパーツをあらかじめ作っておきます。手描きでもいいですし、パスを使って作成してもいいでしょう。




新規ファイルにハートを描きました




**02** ハートのパーツをコピー＆ペーストで、メインのイラストに読み込ませます。



①「移動」ツールを選択しました




②「ハート」レイヤーをメインのイラストに読み込みました



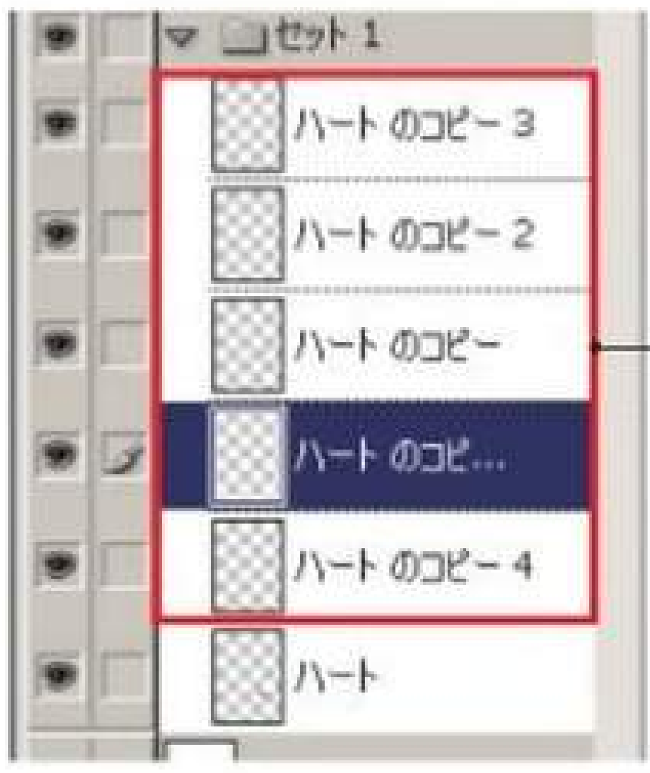
③背景にハートが読み込まれました

**03** メインメニューの「編集」メニュー→「自由変形」を選択し、大きさや角度を好きなように変えます。「Shift」キーを押しながら拡大縮小をすると、縦横比を維持したまま大きさが変えられます。



ハートの角度を修正しました

**04** ［02］でできた「ハート」レイヤーを5つ複製して、いろいろな大きさや角度に変更していきます。ランダム感が出るように注意してください。

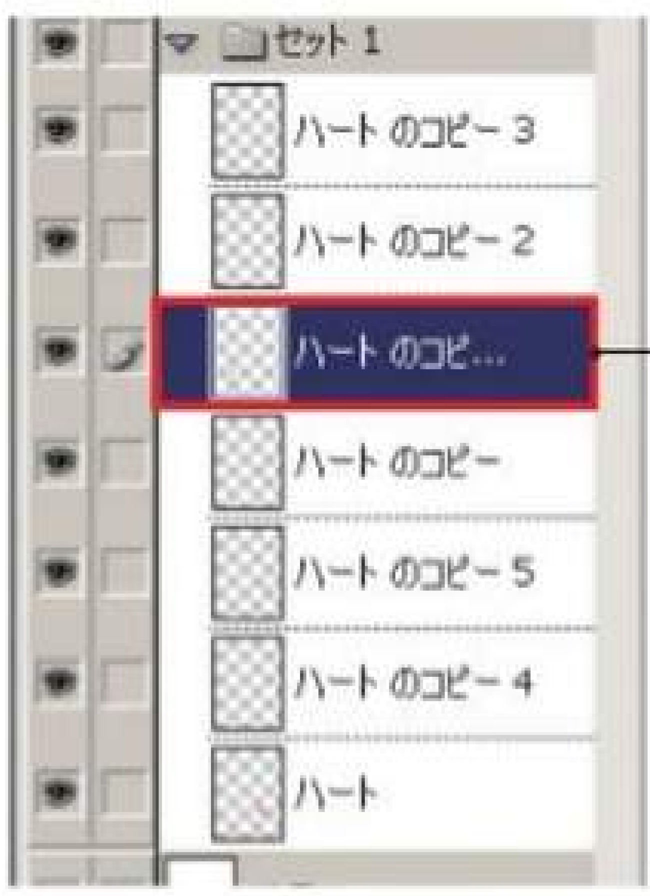



①「ハート」レイヤーを5つ複製しました



②複製した「ハート」レイヤーをバランスよく配置しました

**05** 反転させたい場合は、メインメニューの「編集」メニュー→「変形」→「水平方向に反転」を選択します。

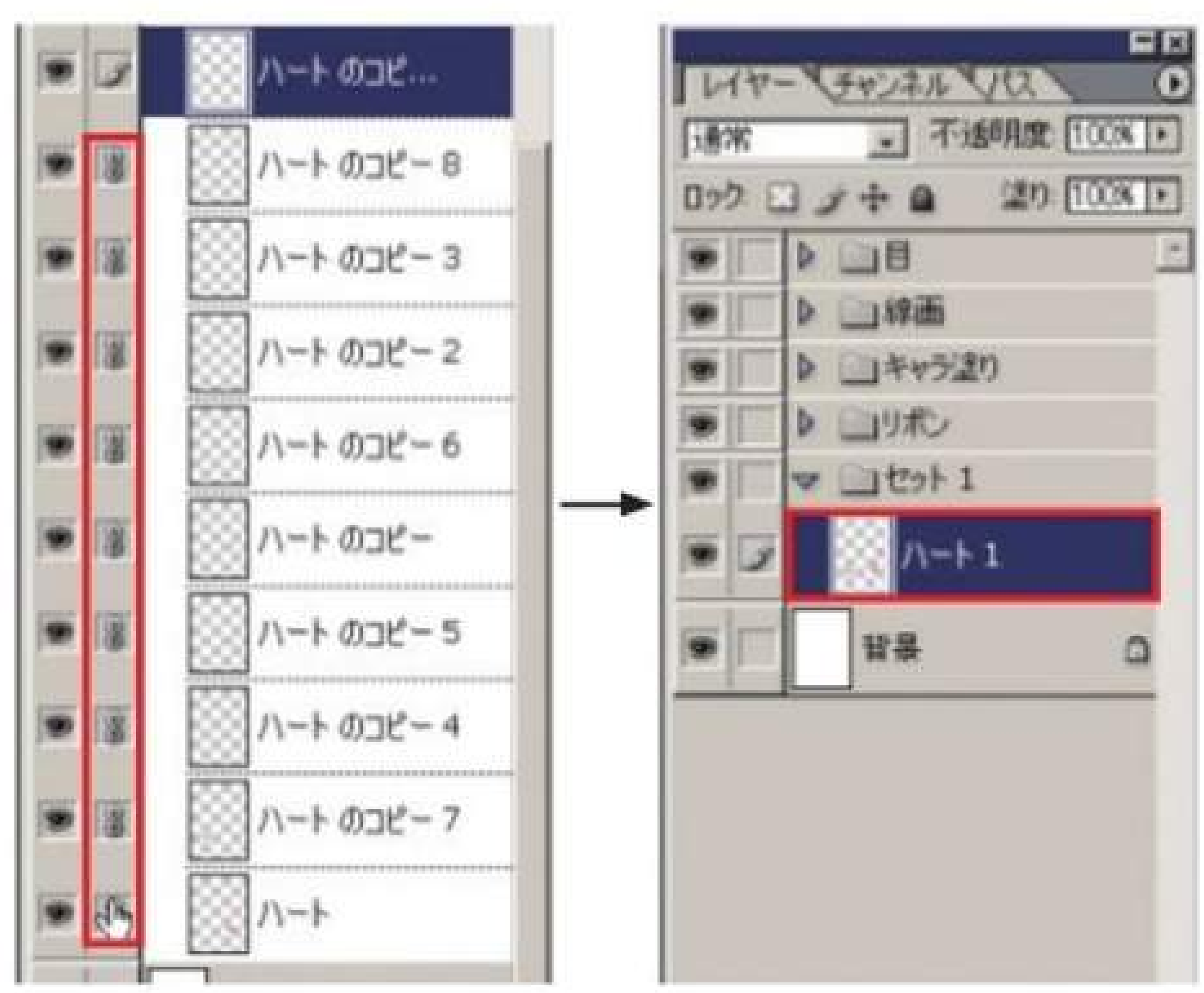



①6つ目の「ハート」レイヤーをコピーし、できた「ハートのコピー」レイヤーを選択しました



②「水平方向に反転」を選択して「ハートのコピー」を反転します

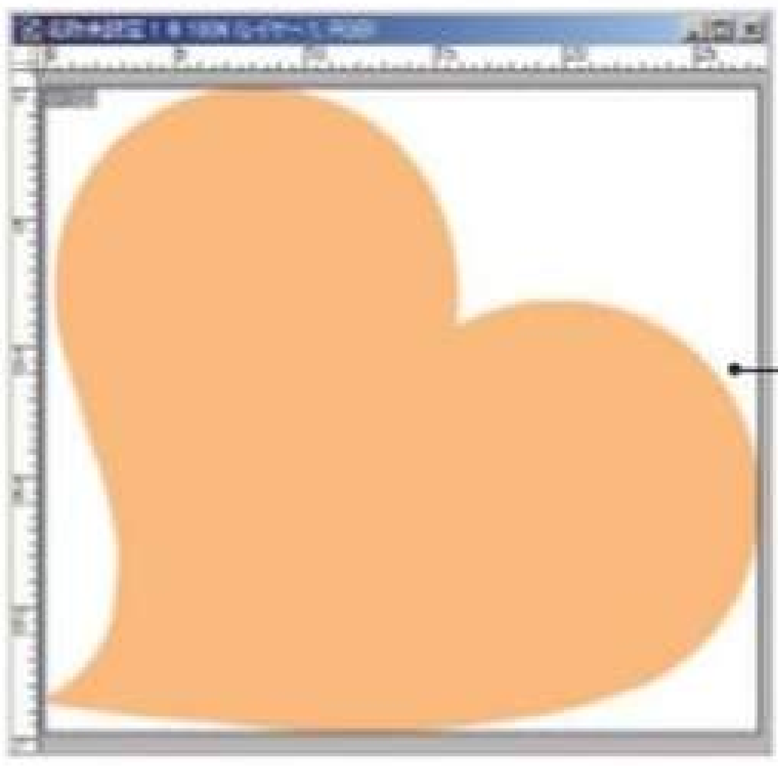
**06** 複製と配置が一通りできたら、「ハート」レイヤー同士を結合します。結合させたいレイヤーをリンクさせ、メインメニューの「レイヤー」メニュー→「リンク部分を結合」を選択すると、一気に結合できて便利です。



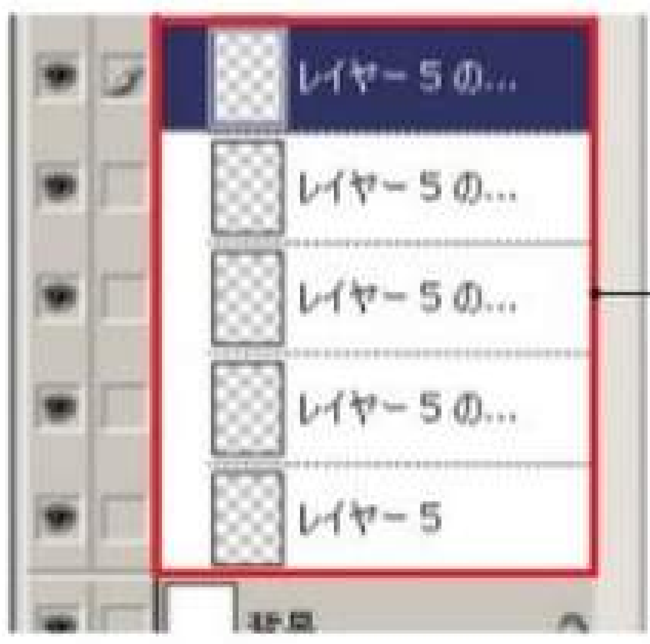

リンクを「ハート1」レイヤーに結合しました

## 07

まだ少しスカスカな感じがするので、もう一度同じようにハートを追加していきます。追加分は黄色っぽい色のハートにしました。



①黄色系のハートを作成しました




②黄色系のハートをメインのイラストに読み込んで4回複製し、拡大、縮小させて配置しました



## 08

ピンクのハートを結合したときのように、黄色のハートだけでレイヤーを結合しておきます。現在2枚の「ハート」レイヤーがあります。




黄色系のハートを「ハート2」レイヤーに結合しました



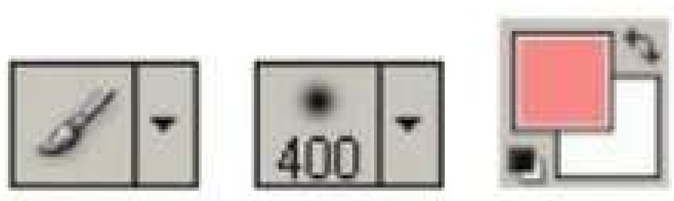
Chapter.01 Chapter.02 Chapter.03 Chapter.04

## 09

黄色いハートのレイヤー「ハート2」の上にグループを設定した新規レイヤーを作成し、1つずつブラシでグラデーションを描画します。




①黄色系のハートの統合レイヤーの上に、グループを設定した新規の「レイヤー5」を作成しました




②「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「400」、描画色を設定しました



## 10

黄色いハートのグラデーションが完成しました。同じようにピンクのハートにもグラデーションを描画します。



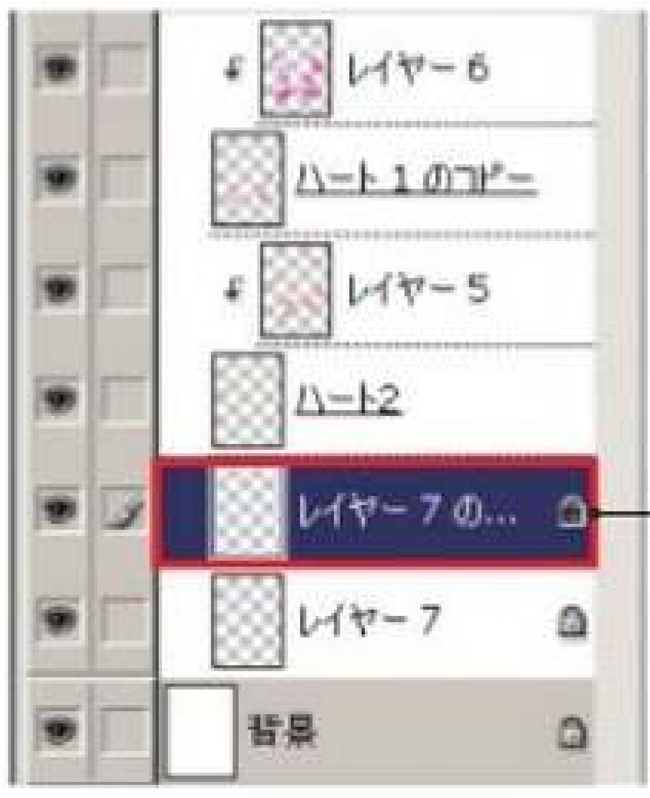

①新規の「レイヤー6」を作成し、「グループ化」を設定しました。




②「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「250」、描画色を設定しました



**11** まだ少し足りないような気がするので、さらにハートを追加します。今度はわかりやすく薄ピンクです。




薄ピンクのハートをメインのイラストに読み込みました





**12** リボンの内側を埋めるように配置してみました。上のほうに大きめのハートを配置して、バランスを取りました。

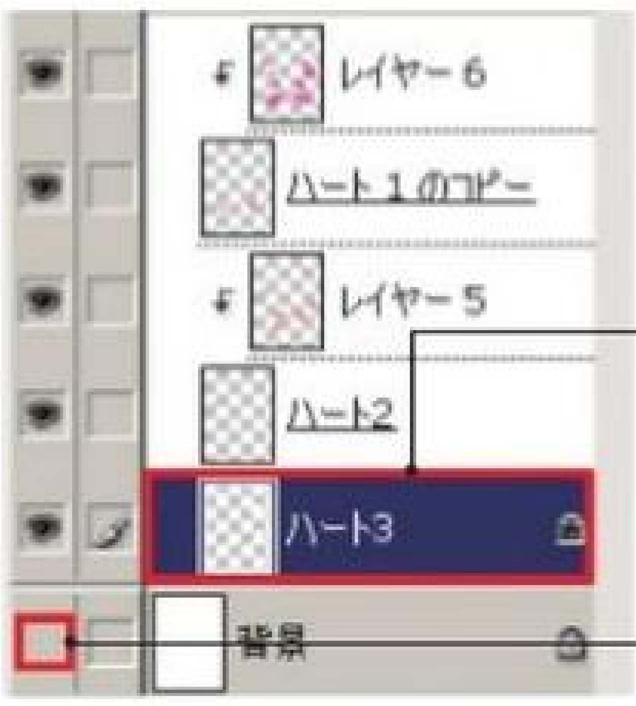



薄ピンクのハートを複製して配置し、「ハート3」レイヤーに統合しました



## 13

3枚目の「ハート」レイヤーを結合したら、色は白に塗りつぶします。「ブラシ」ツールで塗ってもいいですし、「色調補正」グループの機能で変更してもかまいません。「背景」レイヤーを非表示にしておくと確認しやすくなります。




③薄ピンクのハートをすべて白で塗りつぶしました

①「背景」レイヤーの「レイヤーの表示/非表示」をオフにしました

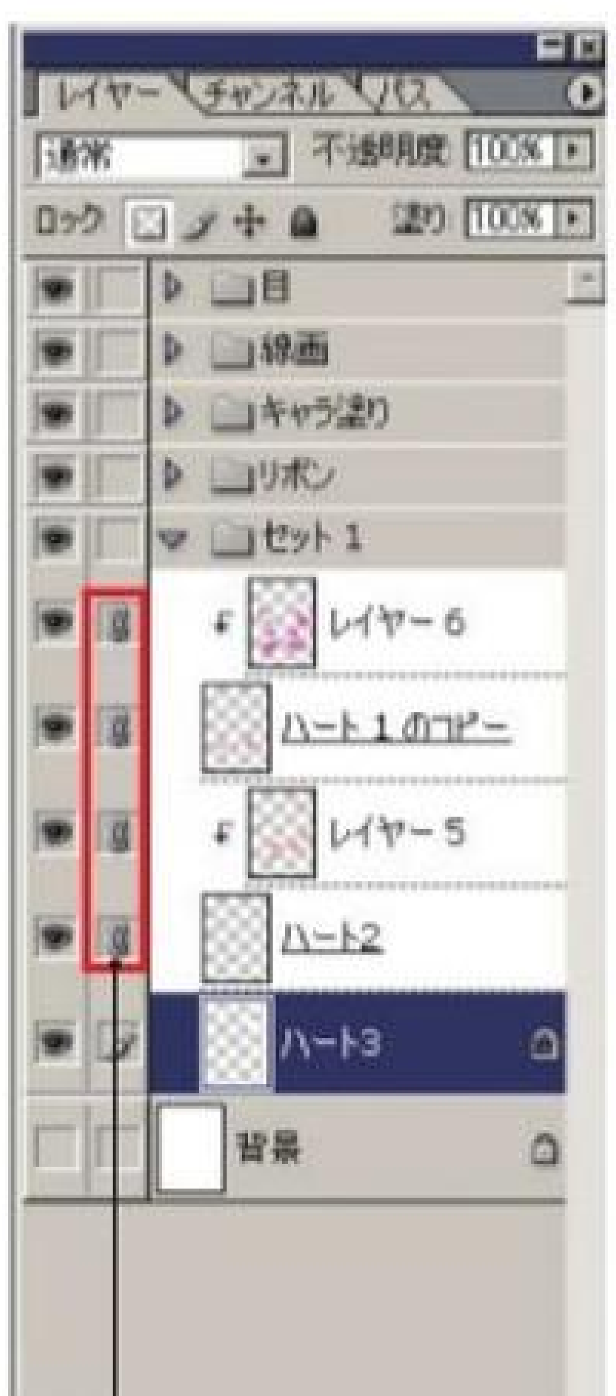



②「ブラシ」ツールを選択し、「サイズ」は「824」、描画色を設定しました

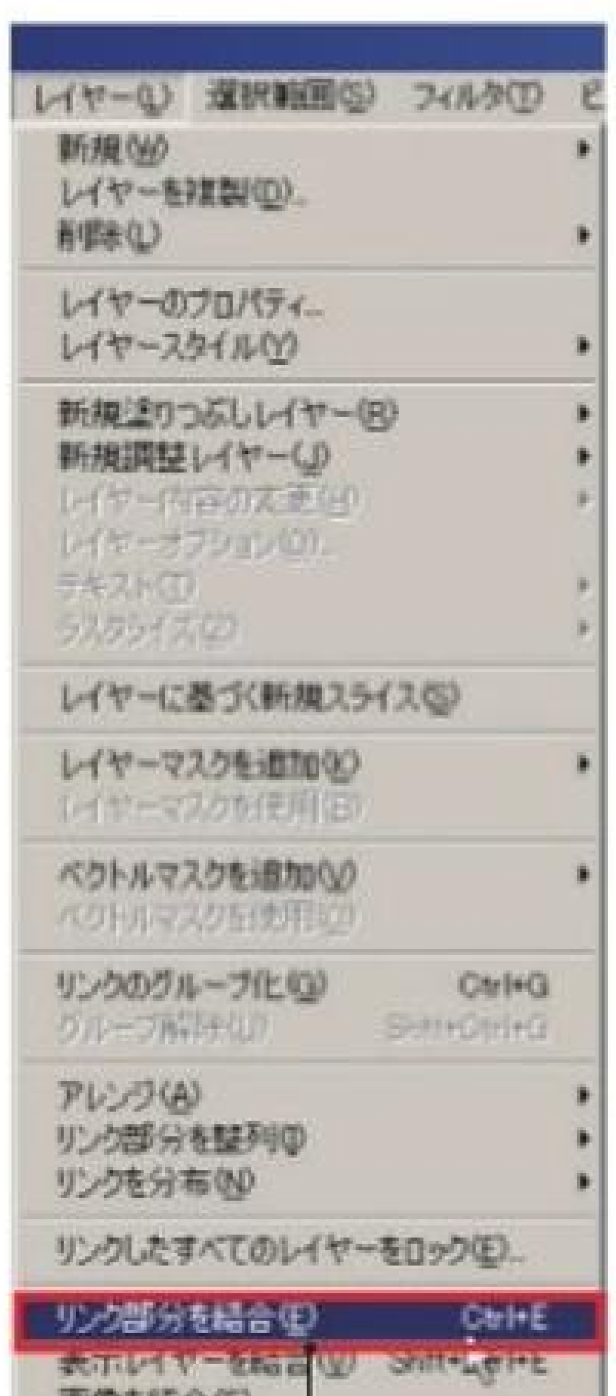


## 14

色が変更できたら、「ハート」レイヤーをすべて統合し、できたレイヤーをコピーします。




①結合したいレイヤーのリンクにチェックを入れます




②「リンク部分を結合」を選択しました




③「ハート3」レイヤーを選択しました



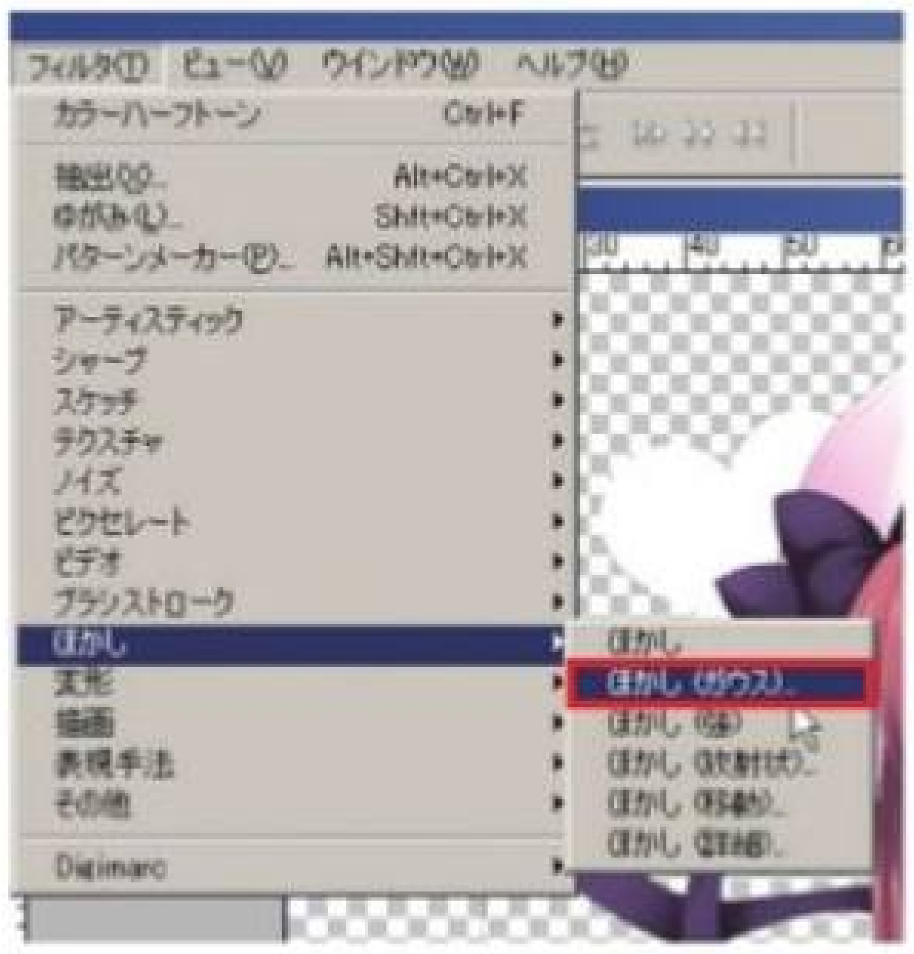

④「ハート3」レイヤーを複製しました

## 15

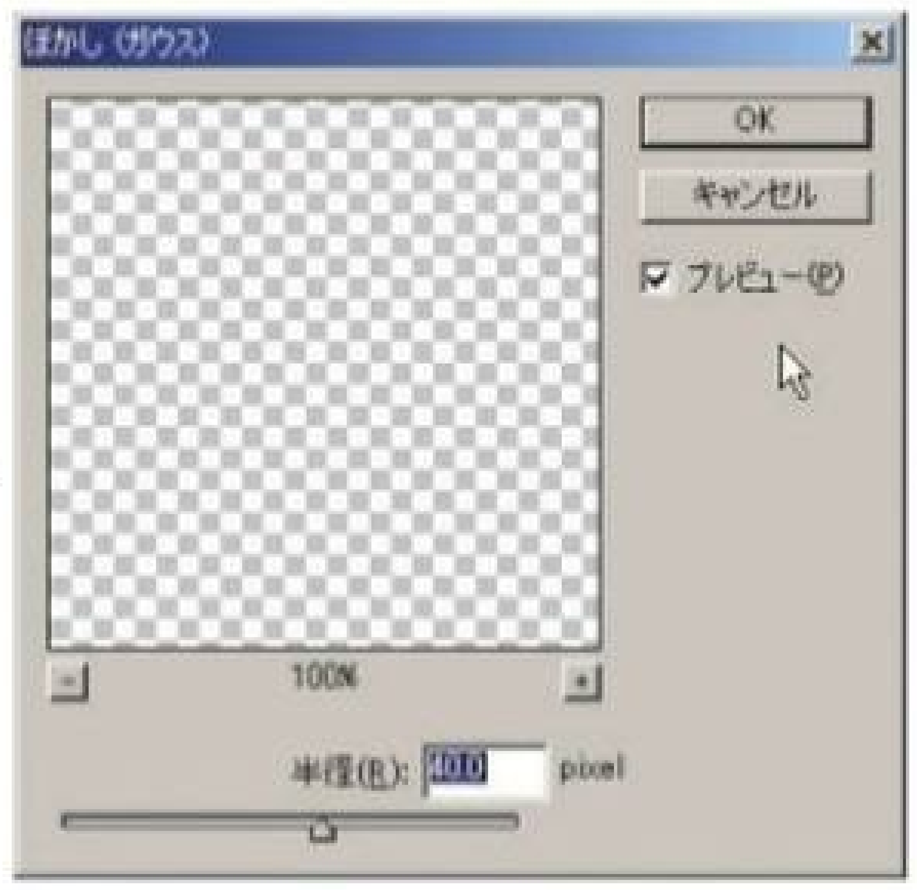
メインメニューの「フィルタ」メニュー→「ぼかし(ガウス)」を選択し、「半径」を少し大きめに設定します。プレビューにチェックを入れると適用後の状態が見られるので、確認しながら調整します。




①「ハート3のコピー」レイヤーを選択中です




②「ぼかし(ガウス)」を選択しました




③「半径」は「40」を設定しました



④すべてのハートをぼかしました

## 16

ぼかしたレイヤーが選択されているのを確認して、メインメニューの「選択範囲」メニュー→「選択範囲を読み込む」を選択します。




①「ハート3のコピー」レイヤーを選択中です




②「選択範囲を読み込む」を選択しました

③「チャンネル」は選択範囲を設定したいハートのレイヤーを選択しました




④「反転」チェックボックスにチェックを入れました



⑤ハートの外側の選択範囲が選択されました

17 その状態でクイックマスクを作ります。ツールボックスの「クイックマスクで編集」をクリックしてクイックマスクを作成します。

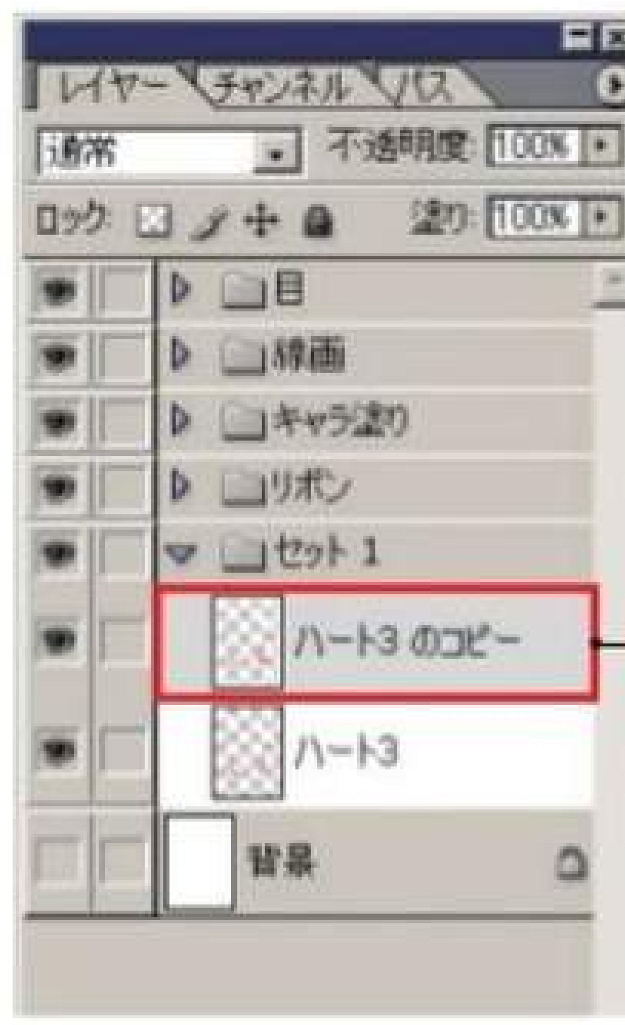


①「クイックマスクで編集」をクリックしました

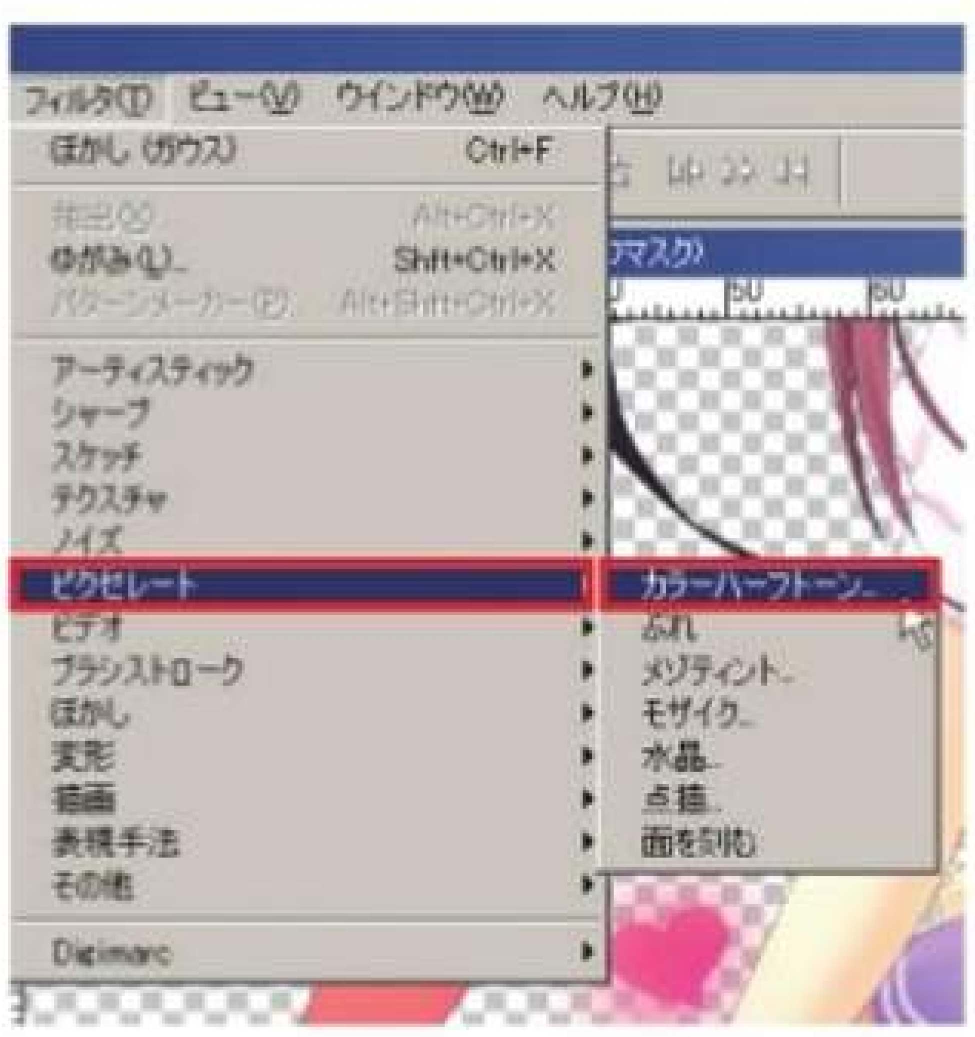


②選択範囲が赤いマスクとして表示されるようにしました

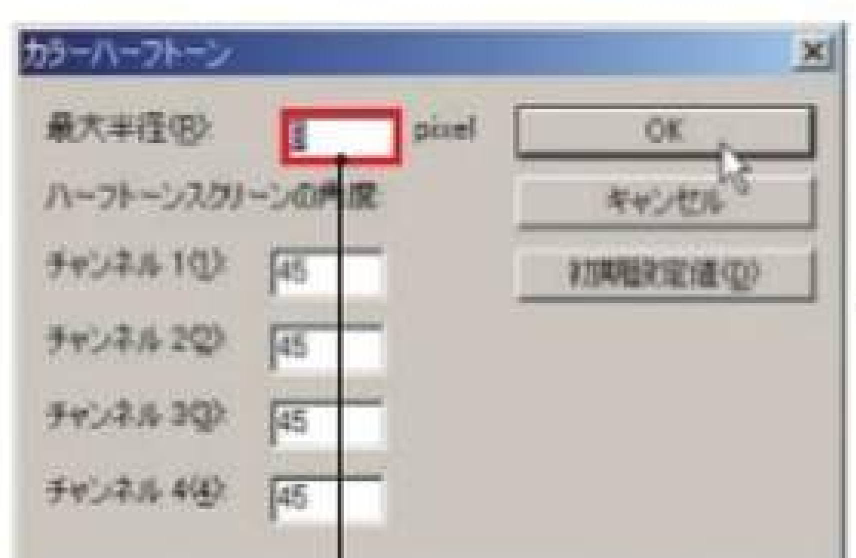
18 メインメニューの「フィルタ」メニュー→「ピクセレート」→「カラーハーフトーン」を選択します。「カラーハーフトーン」ダイアログが表示されるので、図のように数値を入力します。最大半径は好みで変更してください。「OK」を選択すると、図のような感じのドットパターンができました。




①「ハート3のコピー」レイヤーを選択中です




②「カラーハーフトーン」を選択しました




③「最大半径」は「8」を設定しました



④網点の効果が適用されました

## 19

その状態でクイックマスクモードを解除します。作成した時の左側のアイコンをクリックします。すると選択範囲ができました。



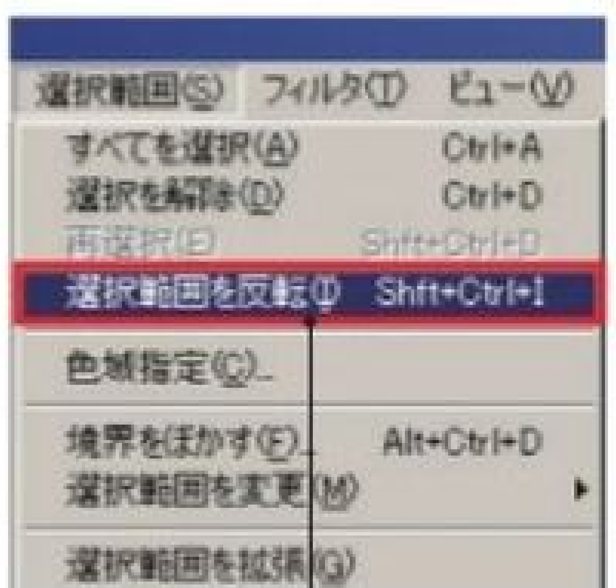
①「画像描画モードで編集」をクリックしました



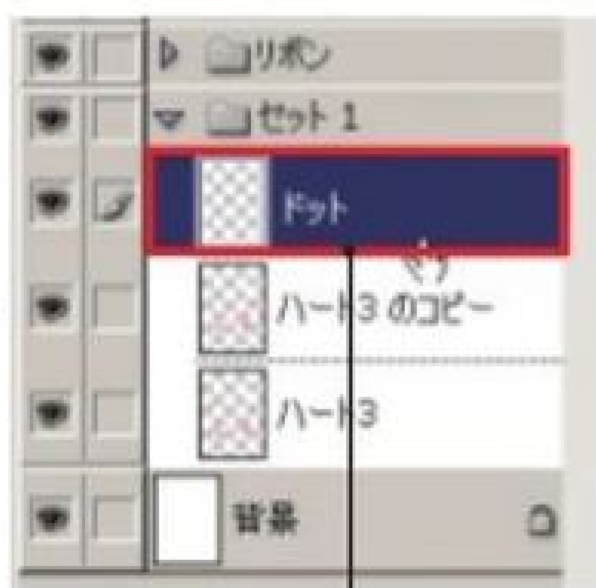
②選択範囲が設定されました

## 20

できた選択範囲を反転し、「ハート3のコピー」レイヤーの上に新しくレイヤーを作成します。




①「選択範囲を反転」を選択しました




③新規レイヤーの「ドット」を作成しました



②選択範囲が反転されました

## 21

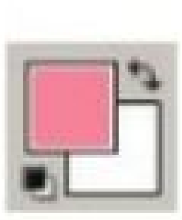
選択範囲を「塗りつぶし」ツールで塗ります。




①「ドット」レイヤーを選択中です



②「塗りつぶし」ツールを選択しました



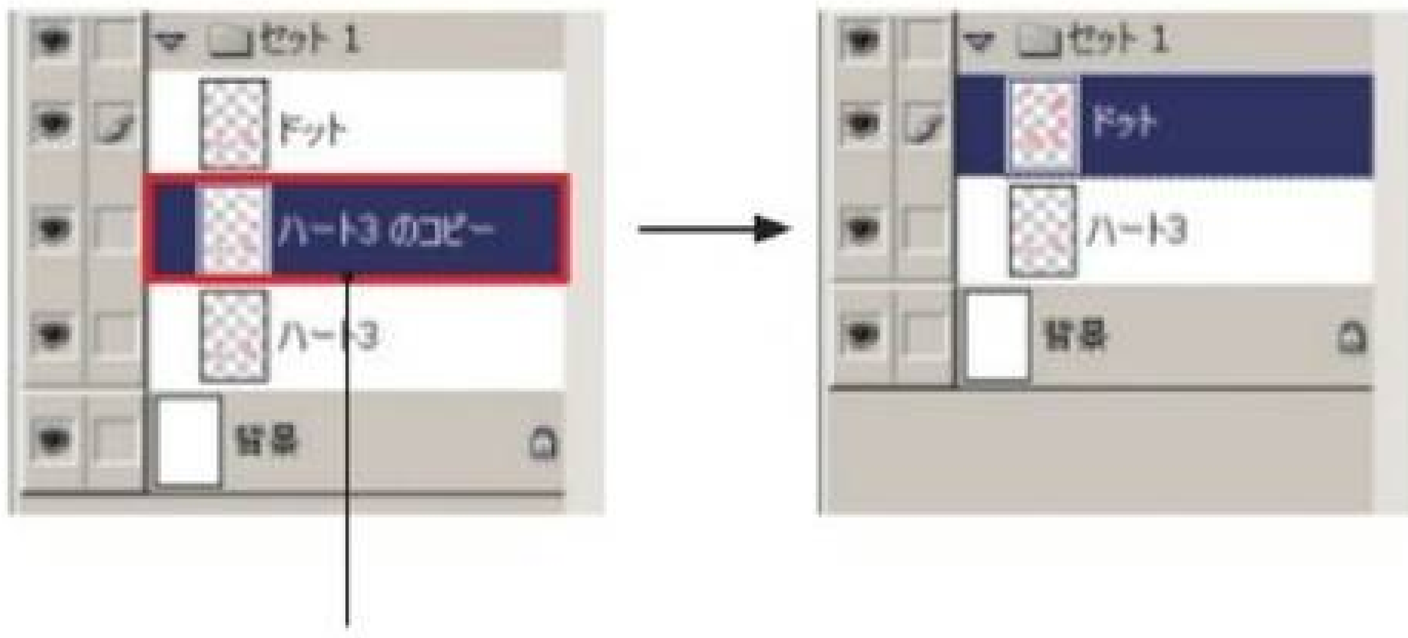
③「描画色」を選択しました



④選択範囲を塗りつぶしました

## 22

選択範囲を解除し、下にあるハートをぼかしたレイヤーは必要ないので削除しましょう。




①「ハート3のコピー」を選択しました

②「ハート3のコピー」を削除しました





②「ハート」レイヤーが上にきて、「ドット」レイヤーが下に移動しました

## 23

一番下にあった「ハート3」レイヤーを、「ドット」レイヤーの上に移動させます。




①「ハート3」と「ドット」を入れ替えました

## 24

「ドット」レイヤーの不透明度を調整して、出来上がりです。




②「不透明度」を「40」に設定しました

①「ドット」レイヤーを選択しました



③「ドット」レイヤーの網点が薄くなりました

25 全体を見て、気になる部分の調整や修正などして、すべて完成です。お疲れ様でした。

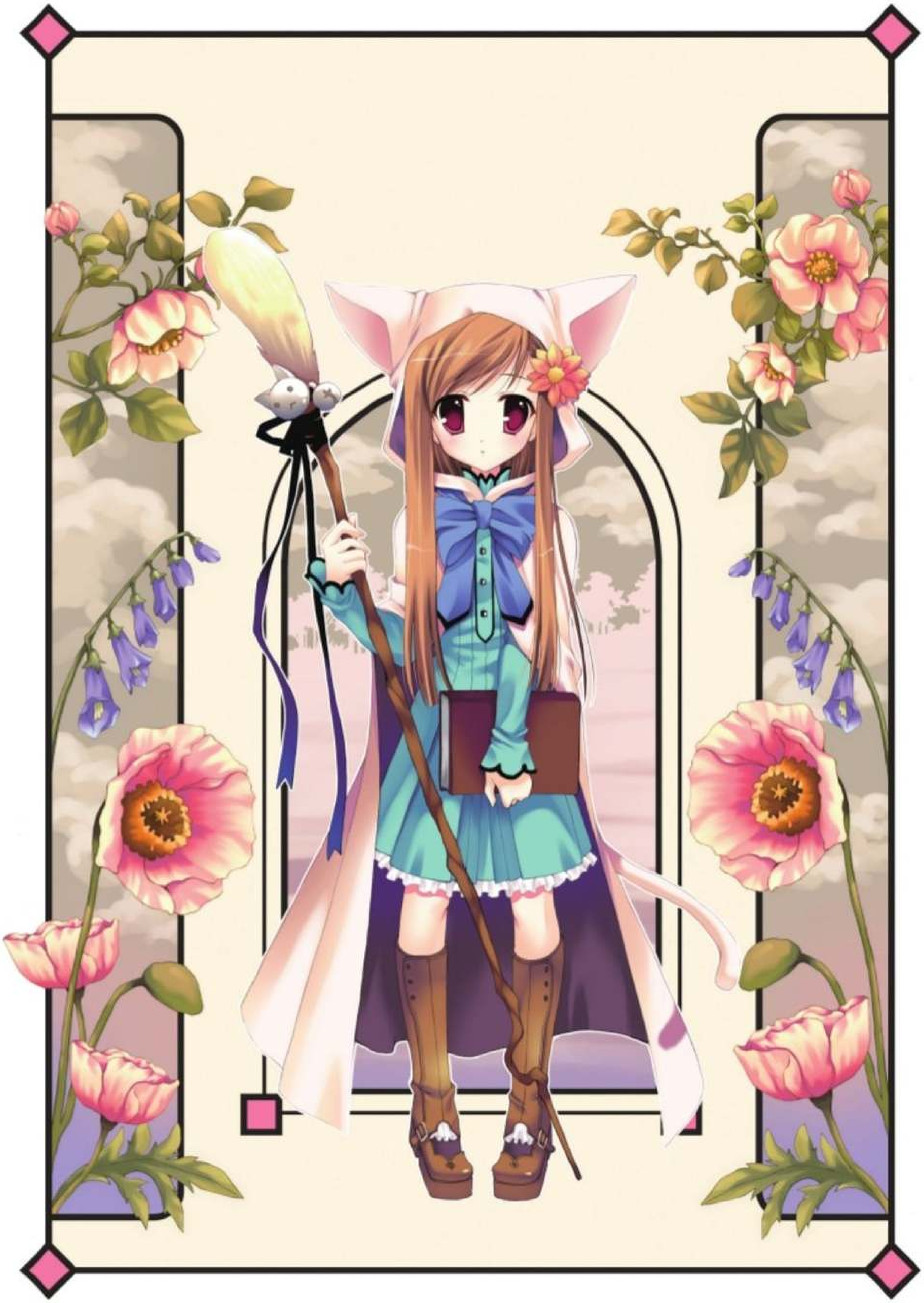


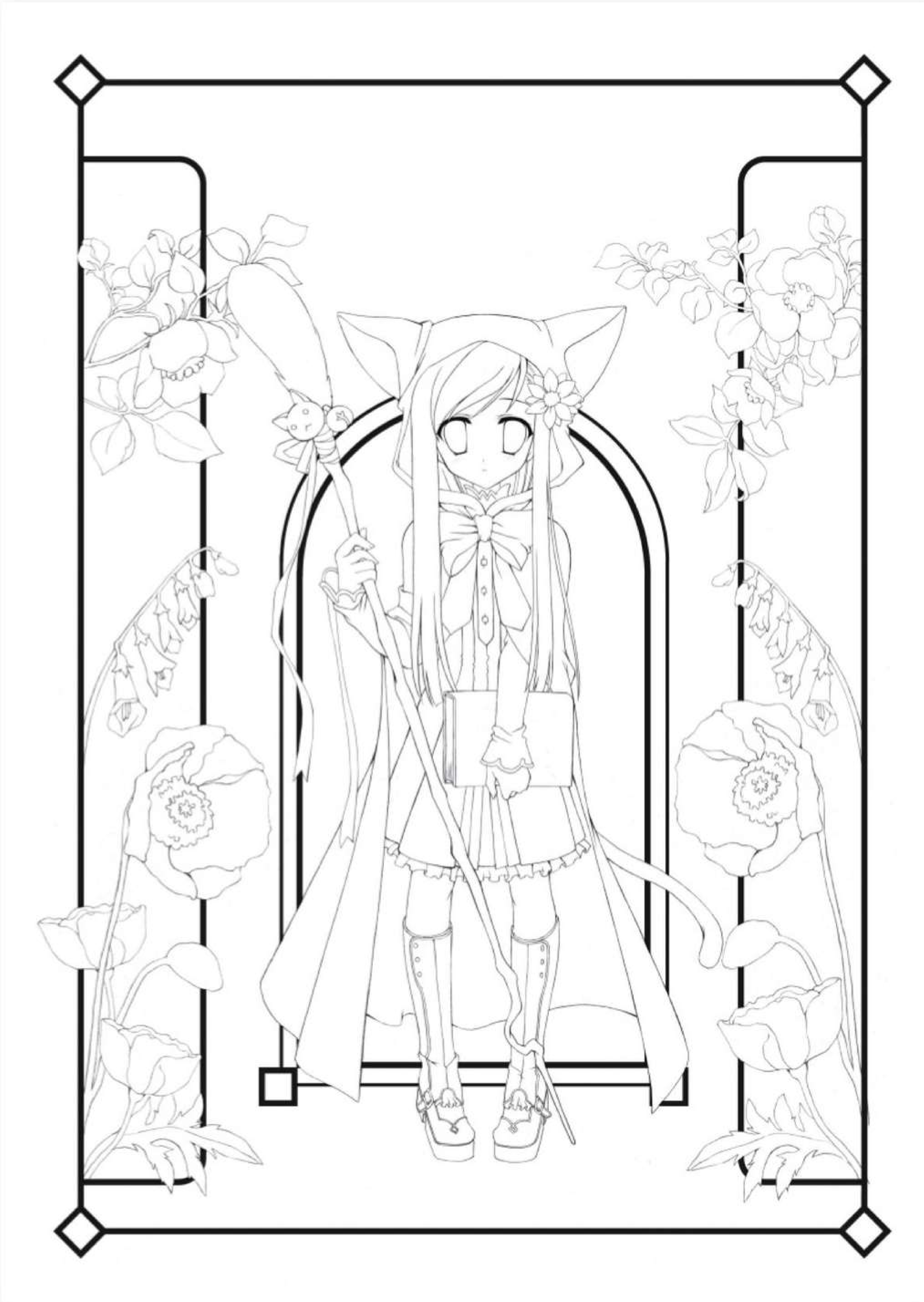
# Chapter. 04

## カラー＆線画ギャラリー



CG Illustration Techniques



















# あとがき

最後まで読んで頂きまして、ありがとうございました。いかがでしたでしょうか。少しでも参考になれば幸いです。

私は普段、雑誌や書籍の書き下ろしのお仕事を受けたり、ゲームの原画をしたり、サークルで同人誌を作ってコミックマーケットなどで頒布したり、いろいろなことに取り組んでます（もちろんイラストの投稿・閲覧が楽しめるサービス「Pixiv」にも投稿してますので、見かけたら暖かく見守って下さい。マイピクお待ちしてますー）。そのいろいろな作業の基本を1つにまとめたのが本書です。しかし、さすがに描き方を紹介するお仕事は初めてで、右も左も分からずに最初は本当に大変でした。特に何が一番大変だったかというと、おかしな話や絵を描くことより文章だった気がします。

普段、絵を描いたときの感想を聞かれると困ってしまうのですが、今回の執筆でもかなり悩みました。なぜなら、いつも感性に任せて彩色していることが多く、今回のように説明する、というのがどうも私には苦手だったりします。思っていることを、的確に言葉で分かるように表現するのってホントに難しい。ただ、こうやって終わってみると、苦労はしたけれど、おかげで自分でどう描いていたかを振り返る良い機会でもあって、自分も少しは成長できたのかな、なんて思います。

基本が身について塗れるようになりましたら本書の方法にとらわれず、自分独自の手順を見つけてください。ある意味、完成したイラストが全てであり、それが良いものでしたら、途中の手順に正解も不正解もありません。本書で紹介した過程は、分かるようになるまでの案内書でしかありません。こういうのは、「次はああしてみよう」とか「こうすれば前より早くできるかな？」など、いろいろなことにチャレンジしようという、好奇心も大切です。そうして、描いたイラストは知り合いと見せ合うのもよし、まとめて同人誌にするもよし。今の時代はインターネットもありますので、ご自分のサイトに載せたり、Pixivなどの投稿サイトに載せるのもいいでしょう。皆さんに評価してもらったり、自分なりの画廊を作ってみたり。絵を描くようになるとさまざまな世界が広がっていくと思います。

絵を描いていくと辛いことも悩むこともいっぱいありますが、やっぱり原点はお絵かきしているのが楽しい。思っていることをいろいろな形で表現できるのが楽しい。それを見てくれた方々と交流できるのが楽しい。だから続けられているんだなと常々思います。この気持ちを忘れずに描いていきたい……。またどこかでお会いできましたら、その時はよろしくお願いいたします。

2010年4月　Mitha

## Profile

### Mitha（ミサ）

東京在住。ミニスカニーソの女の子とうさぎをこよなく愛するフリーのイラストレーター。
主にゲーム原画やイラスト関係を中心にお仕事やってます。
代表作はPCゲーム『Gift』『マジスキ』『七ヶ音学園』など。
普段はIndico lite（インディコライト）というサークルで、コミケなどのイベントに出たり
同人誌を描いたりもしてるので、見かけたらよろしくお願いしますー。
好きな食べ物はチョコレート・クルミが入ったお菓子・アイスミルクティー！
http://members.jcom.home.ne.jp/indicolite/

Let's Make ★ Character【レッツ メイク キャラクター】

# CGイラストテクニック vol.4

2010年4月22日　初版第1刷発行

［イラスト＆解説］Mitha

［デザイン・DTP］Happy and Happy（甲谷 一 / 秦泉寺 眞妃）

［編集］和田 学

［発行人］籔内 康一

［発行所］
株式会社ビー・エヌ・エヌ新社
〒150-0022　東京都渋谷区恵比寿南一丁目20番6号
fax: 03-5725-1511　e-mail: info@bnn.co.jp
http://www.bnn.co.jp/

［印刷］シナノ印刷株式会社



ISBN978-4-86100-658-6
Printed in Japan